

2020年度
S セメスター(S1・S2)
科目紹介[シラバス抜粋]

東京大学教養学部前期課程

はじめに

この冊子には、2020年度のSセメスターに教養学部前期課程の1・2年生に対して開講される講義内容の概要（『科目紹介』）と、学年・科類・専門学部ごとの時間割（『時間割表』）が記載されています。

『科目紹介』では、時間割ごとに講義に関する情報を記載していますが、より詳しい情報は、UTAS (<https://utas.adm.utokyo.ac.jp/campusweb/>) のシラバスで公開していますので、履修を検討している講義については必ず参照してください。それぞれの講義内容をよく比較して、各自履修計画を立ててください。なお、こちらは『履修の手引き』のI-4に掲載されている、(表2)「前期課程で各科類の学生が取得すべき必要最低単位数」の順に記載されています。

『時間割表』は、「科類別時間割表」「総合科目等時間割表」「専門科目一覧表」に分かれています。受講するクラスが指定されている科目は、科類ごとに「科類別時間割表」に、受講するクラスが指定されていない総合科目、主題科目及び展開科目は、「総合科目等時間割表」に、各種情報が記載されています。

入学時に配付された『履修の手引き』を参照して、前期課程の修了要件を満たすためにはどの科目群からどの程度の単位の履修が必要か、進学志望の学部・学科等の要望科目・要求科目はどうなっているか、将来進むべき専門分野の基礎知識を十分につけ、あわせて幅広く深い教養を身につけるためにはどのような組み合わせで講義を履修するのがよいかなどを十分に考えて、バランスよく履修計画を立ててください。

教室の変更について

講義を受講する学生が、教室の収容人数を大幅に超え、多数の学生が椅子に座ることのできないケースが、近年目立ってきています。この問題を解決するために、教員からの教室変更の要望があり次第、随時教室の変更を行っています。

したがって、授業期間開始から履修科目確認・訂正期間終了時までは、特に掲示・UTASを確認して、教室変更の情報に十分注意してください。

また、履修科目確認・訂正期間以降についても、空調の故障等の原因により、急遽教室変更が生じることがありますので、教室変更の情報は随時確認するようにしてください。

S セメスター (S1・S2 ターム) 科目紹介

この電子ブックには S セメスター (S1・S2 ターム) に開講される科目の科目紹介 (シラバス) が掲載されていますので、履修計画を立てる際の参考にしてください。シラバスは本冊子以外にも、UTAS にログインの上、画面上「シラバス」メニューから「(シラバス参照)」を選択することでも参照ができます。UTAS 上のシラバスは本冊子の科目紹介よりも多くの情報が掲載されていますので、履修を考えている授業については、UTAS 上のシラバスも併せて参照するようにしてください。具体的には、「授業計画」「学習上のアドバイス」などの項目は、UTAS 上のシラバスのみに掲載されています。

科目紹介 (シラバス) 例 (科目ごとに掲載されている項目・情報は異なります)

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
①	②	東大概論	駒場 太郎	③	④	⑤	⑥	⑦
講義題目 目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス								
⑧								

①時間割コード

それぞれの授業に割り振られている固有の番号です。UTAS でシラバスを参照する際などに使用します。

②開講区分

授業が開講される期間を示します。それぞれの表示は以下の期間での開講を表します。

開講区分	正式名称	授業の開講期間
S	S セメスター	概ね 4～7 月
S1	S1 ターム	概ね 4～5 月
S2	S2 ターム	概ね 6～7 月

授業日の詳細については、表紙裏の授業等日程を参照してください。

③所属

教養学部（総合文化研究科）が開講する授業は、開講元の部会名又は学科（専攻）が掲載されています。
他学部・研究科等が開講する授業は、当該学部・研究科等の名前が掲載されています。

開講所属凡例

教養学部前期課程部会
英語
ドイツ語
フランス語・イタリア語
中国語
韓国朝鮮語
ロシア語
スペイン語
古典語・地中海諸言語
法・政治
経済・統計
社会・社会思想史
国際関係
歴史学
国文・漢文学
文化人類学
哲学・科学史
心理・教育学
人文地理学
物理
化学
生物
情報・図形
宇宙地球
相関自然
スポーツ・身体運動
数学
PEAK 前期
日本語
先進科学

教養学部
統合自然科学科

総合文化研究科
言語情報科学専攻
超域文化科学専攻 表象文化論コース
超域文科化学専攻 比較文学比較文化コース
地域文化研究専攻
地域文化研究専攻 アジア・日本文化研究コース

その他（後期課程諸学部、全学センターなど）
情報メディア科学委員会
法学部
医学部
新領域創成科学研究科
先端科学技術研究センター
生産技術研究所
人間の安全保障プログラム
etc.

④曜限

授業が行われる曜限が掲載されています。「集中講義」と記載されている授業は、特定の日程や授業期間外に行われることがありますので、授業内容を確認してください。

⑤単位

当該授業に合格した場合に得られる単位数が掲載されています。当項目の掲載がない科目については、『履修の手引き』p.6 に掲載されている内容に従います。

⑥教室

授業が行われる教室が掲載されています。表記と対応する号館・建物は以下のとおりです。

教室名称	建物名称
101～192	1 号館
511～534	5 号館
721～762	7 号館
900	講堂
10-101～10-308	10 号館
1101～1109	11 号館
1211～1233	12 号館
1311～1341	13 号館

教室名称	建物名称
KALS	17 号館 2 階
E21～E49	情報教育棟
K101～K502（下 2 桁目が 0）	21KOMCEE West
K011～K214（下 2 桁目が 1）	21KOMCEE East
学際交流ホール	アドミニストレーション棟 3 階
18 号館ホール	18 号館 1 階
音楽実習室, 舞台芸術実習室	コミュニケーションプラザ 北館

駒場キャンパスの建物配置図については教養学部前期課程 HP の建物配置図を参照してください。教室欄に「シラバス参照」と記載されている授業は、上表以外の教室や駒場キャンパス以外の場所で開講される授業のため、正しい開講場所をシラバスやガイダンス等で確認してください。

また、初回のみ通常と異なる教室で行われる授業や、授業開始後に教室変更が行われる授業がありますので、シラバスや掲示板・教養学部前期課程 HP のお知らせを随時確認し、実際に授業が行われる教室を正確に把握するようにしてください。

⑦対象

授業の対象となる科類やクラスが掲載されています。欄内の数字は組番号を表し、複数クラスが対象の場合は「6,16-18,20」のように範囲を示しています（この場合は 17 組も対象クラスに含みます）。「奇数」「偶数」と記載のある場合には、学生証番号末尾の数字の奇数・偶数で対象学生を示しています。本項目で指定されていない科類・クラス等に所属している学生は当該授業の履修登録を行うことができないので、注意してください。

⑧科目紹介の内容

具体的な科目紹介の内容が掲載されています。授業によっては、履修にあたっての注意点等が挿入されていることがあります。不明な点は教務課に必ず確認の上、履修登録を行うようにしてください。

英語の履修について

既修外国語の英語は各科目 1 単位または 2 単位で、計 5 単位の科目群であり、英語一列（教養英語）・英語二列 S（アカデミック・ディスカッション）・英語二列 W（アカデミック・ライティング）に分けられる（その他に総合科目 L 系列 3 単位）。

英語一列（教養英語）は共通教科書とこれに関連する音声教材を使用する習熟度別の授業である。英語二列 S も同じく習熟度別の授業であり、文科生、理科生とも FLOW(Fluency-Oriented Workshop)のプログラムにより実施する。英語二列 W は、文科生は ALESA(Active Learning of English for Students of the Arts)、理科生は ALESS(Active Learning of English for Science Students)のプログラムにより実施する。

●本冊子においては、次頁以降「英語一列」「英語二列 S」「英語二列 W」のシラバスが掲載されている。

●「英語一列」「英語二列 S」「英語二列 W」は所属クラスに応じてあらかじめ指定された授業を履修する。「英語一列」「英語二列 S」は習熟度別にクラスが分けられている。

●「英語一列」「英語二列 S」「英語二列 W」の 3 科目をそれぞれのターム・セメスターに履修するかについては、所属クラスにより異なり、下表の 4 つのグループにあらかじめ分けられる。「(クラス指定総合科目 L)」と記載されている部分については、総合科目 L 系列「英語中級」が所属クラスに対するクラス指定の授業として開講される。

所属クラス	ターム・セメスター			
	1S1	1S2	1A1	1A2
	1S		1A	
文一二 (8,11,22,25-26) 文三 (5,7,11,14,19) 理一 (1-4,12,17,18,20,23,31,35-36,39) 理二三 (11,13,20,23)	英語一列①	英語二列 S	(クラス指定 総合科目 L)	英語一列②
	(クラス指定総合科目 L)		英語二列 W	
文一二 (5-6,13,15,16,18-19,24) 文三 (6,10,12,17) 理一 (7,9,13,19,25,28,30,34,37) 理二三 (6-7,18,19,22)	英語一列①	(クラス指定 総合科目 L)	英語二列 S	英語一列②
	英語二列 W		(クラス指定総合科目 L)	
文一二 (1-3,7,10,17,20-21,23,27-28) 文三 (1-3,9,15-16) 理一 (8,11,16,21,24,27,29,33) 理二三 (4,8,9,14,17,21)	英語二列 S	英語一列①	英語一列②	(クラス指定 総合科目 L)
	(クラス指定総合科目 L)		英語二列 W	
文一二 (4,9,12,14) 文三 (4,8,13,18,20) 理一 (5-6,10,14-15,22,26,32,38) 理二三 (1-3,5,10,12,15-16,24)	(クラス指定 総合科目 L)	英語一列①	英語一列②	英語二列 S
	英語二列 W		(クラス指定総合科目 L)	

外国語（英語一列・特別クラス）

英語一列（教養英語）・特別クラス	
《英語一列①（教養英語）》	
目標・概要	「教養英語」は、本学教養学部の英語部会教員が教養課程における英語学習のために作成した、理科学、文科学を問わず学生の知的関心に応える高度で分野横断的な内容をもつ教科書『教養英語読本』と、これに関連したリスニング教材を使用して行う授業である。リスニング教材（音声）およびスクリプトは下記「関連ホームページ」で配信する。クラスは、学生の習熟度に合わせて三段階に分かれており、それぞれのグループの学生にもっとも適した進度や授業方法を採用する。その際、全クラスで共通して学習する部分を一定量設けて試験範囲とし、これに実力問題を加えた統一定期試験を実施する。
授業の方法	・「教養英語」が行われる時間帯には、それぞれ複数のクラスが設けられている。各クラスの教室割当は教務課掲示板に掲示する（他の語学クラスとは違うので注意すること）。 ・「教養英語」では、習熟度に応じて三つのグループを設定している。 グループ1： 約300名。授業は英語で行われる。指定された共通部分以外のテキストの範囲もカバーし、テキストの内容理解に加え、作文・ディスカッションなど応用的な活動も含まれる。 グループ2： 約900名。授業は原則として日本語で行われる。指定された共通部分以外のテキストの範囲もカバーし、テキストの正確な読解に加え、作文・ディスカッションなど各教員の個性を生かした応用的な活動も含まれる。 グループ3： 約1800名。授業は原則として日本語で行われる。指定された共通部分をカバーし、語彙・文法等を重視しながら読解力の養成を目指す、それを元にした発展的な活動を含むこともある。 ・具体的な授業スケジュール（教材の選択、利用方法、必要な準備など）は、授業開始後に各クラスで教員から伝達される。
成績評価方法	定期試験（統一試験）および平常点
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 教養英語読本Ⅱ 著者（訳者） 東京大学教養学部英語部会（編） 出版社 東京大学出版会
関連ホームページ	http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/efas/
《英語特別クラス》	
非英語圏からの留学生、及び入試の外国語を英語以外で受験した者で、かつ英語の履修を希望する者は、英語部会の許可を得て「英語特別クラス」の履修で「英語一列①」「英語二列」「総合科目Ⅰ系列 英語中級」の単位に充当することができる。履修希望者は掲示を参照し、教務課前期課程の窓口で申し出ること。	

授業科目名	担当教員	教室	開講	曜限	対象クラス
英語一列①	教養英語 担当教員	各教室	S1	火 3	1 年文一二（13,24-25）文三（11,17）理一（1-4,9,18-19）理二三（7,13）
				火 4	1 年文一二（6,8,18）文三（5,7,12）理一（20,30-31,34-35）理二三（11,18,22）
				水 2	1 年文一二（5,15,19,26）文三（6,19）理一（7,12,23,28,36）理二三（6,23）
				水 3	1 年文一二（11,16,22）文三（10,14）理一（13,17,25,37,39）理二三（19-20）
			S2	火 3	1 年文一二（1-3,7,9,27）文三（1-3,8-9）理一（5-6,16,27）理二三（1-3,5,12,17）
				火 4	1 年文一二（4,21,23）文三（16,18）理一（21-22,32,38）理二三（8,14-15）
				水 2	1 年文一二（10,14,20）文三（4,13）理一（11,14-15,24）理二三（4,9-10）
				水 3	1 年文一二（12,17,28）文三（15,20）理一（8,10,26,29,33）理二三（16,21,24）

外国語（英語二列 S）

Fluency-Oriented Workshop (FLOW)					
授業の目標・概要 The course aims to build students' confidence and ability to engage fluently and critically in a classroom discussion, to be aware of their weaknesses, and to have the tools to improve autonomously. 成績評価方法 Grades are based on active participation in class activities and on related assignments. ※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること					
時間割 コード	開講	曜限	担当教員	教室	対象クラス
30374	S 1	火 3	ナオミ バーマン	K114	1 年 文一ニ(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30375	S 1	火 3	ホールマン フランシス キャンドラー	516 教室	1 年 文一ニ(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30376	S 1	火 3	ハンセン キャサリン	10-206	1 年 文一ニ(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30377	S 1	火 3	BORDILOVSKAYA Anna	150 教室	1 年 文一ニ(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30378	S 1	火 3	TSAI Aurora Marjorie	517 教室	1 年 文一ニ(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30379	S 1	火 3	BROOKS Britton	534 教室	1 年 文一ニ(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30380	S 1	火 3	マニナン ジョン	515 教室	1 年 文一ニ(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30381	S 1	火 3	PAZDZIORA JOHN PATRICK	119 教室	1 年 文一ニ(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30382	S 1	火 3	沈 尚玉	10-204	1 年 文一ニ(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30383	S 1	火 3	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	157 教室	1 年 文一ニ(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30384	S 1	火 3	AKINDELE Tito	K113	1 年 文一ニ(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30385	S 1	火 3	DIETZ Richard	518 教室	1 年 文一ニ(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30386	S 1	火 3	Kartika Diana	K303	1 年 文一ニ(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30387	S 1	火 3	モレノ ペナランダ ラケル	10-202	1 年 文一ニ(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30388	S 1	火 3	テラシマ アレクサンドラ	152 教室	1 年 文一ニ(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30491	S 1	火 4	テラシマ アレクサンドラ	152 教室	1 年 文一ニ(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30492	S 1	火 4	BROOKS Britton	534 教室	1 年 文一ニ(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30493	S 1	火 4	BUENO Alex Falcon	120 教室	1 年 文一ニ(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30494	S 1	火 4	DIETZ Richard	518 教室	1 年 文一ニ(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30495	S 1	火 4	ジェームズ エリンガー	K402	1 年 文一ニ(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30496	S 1	火 4	ホールマン フランシス キャンドラー	516 教室	1 年 文一ニ(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30497	S 1	火 4	ハンセン キャサリン	10-206	1 年 文一ニ(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30498	S 1	火 4	Kartika Diana	K303	1 年 文一ニ(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30499	S 1	火 4	PAZDZIORA JOHN PATRICK	119 教室	1 年 文一ニ(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30500	S 1	火 4	RUIZ TADA Elisa	114 教室	1 年 文一ニ(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30501	S 1	火 4	BORDILOVSKAYA Anna	150 教室	1 年 文一ニ(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30502	S 1	火 4	沈 尚玉	10-204	1 年 文一ニ(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30503	S 1	火 4	ナオミ バーマン	K114	1 年 文一ニ(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30504	S 1	火 4	TSAI Aurora Marjorie	517 教室	1 年 文一ニ(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30505	S 1	火 4	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	157 教室	1 年 文一ニ(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
31824	S 1	火 4	AKINDELE Tito	K113	1 年 文一ニ(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30630	S 1	水 2	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	517 教室	1 年 文一ニ(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30631	S 1	水 2	モレノ ペナランダ ラケル	10-202	1 年 文一ニ(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30632	S 1	水 2	Kartika Diana	515 教室	1 年 文一ニ(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30633	S 1	水 2	ハンセン キャサリン	10-304	1 年 文一ニ(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30634	S 1	水 2	ジェームズ エリンガー	518 教室	1 年 文一ニ(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)

外国語（英語二列 S）

30635	S 1	水 2	BUENO Alex Falcon	117 教室	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30636	S 1	水 2	BROOKS Britton	115 教室	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30637	S 1	水 2	WEITEMIER Adam	119 教室	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30638	S 1	水 2	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	120 教室	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30639	S 1	水 2	ROBB Nigel	K212	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30640	S 1	水 2	テラシマ アレクサンドラ	114 教室	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30641	S 1	水 2	SEDDON Ryan John	118 教室	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30642	S 1	水 2	TSAI Aurora Marjorie	113 教室	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30643	S 1	水 2	沈 尚玉	10-204	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30718	S 1	水 3	木村 大輔	149 教室	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30719	S 1	水 3	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	120 教室	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30720	S 1	水 3	ROBB Nigel	10-102	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30721	S 1	水 3	TSAI Aurora Marjorie	113 教室	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30722	S 1	水 3	BROOKS Britton	115 教室	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30723	S 1	水 3	BORDILOVSKAYA Anna	516 教室	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30724	S 1	水 3	沈 尚玉	10-204	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30725	S 1	水 3	RUIZ TADA Elisa	114 教室	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30726	S 1	水 3	PAZDZIORA JOHN PATRICK	102 教室	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30727	S 1	水 3	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	116 教室	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30728	S 1	水 3	モレノ ペナランダ ラケル	10-202	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30729	S 1	水 3	BUENO Alex Falcon	117 教室	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30730	S 1	水 3	AKINDELE Tito	118 教室	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30731	S 1	水 3	Kartika Diana	515 教室	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30732	S 1	水 3	ディーエル グレゴリー ロジャース	10-206	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30733	S 1	水 3	ハンセン キャサリン	10-304	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
40157	S 2	火 3	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	157 教室	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40158	S 2	火 3	AKINDELE Tito	K113	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40159	S 2	火 3	テラシマ アレクサンドラ	152 教室	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40160	S 2	火 3	ナオミ バーマン	K114	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40161	S 2	火 3	DIETZ Richard	518 教室	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40162	S 2	火 3	TSAI Aurora Marjorie	517 教室	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40163	S 2	火 3	モレノ ペナランダ ラケル	10-202	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40164	S 2	火 3	マニナン ジョン	515 教室	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40165	S 2	火 3	ホールマン フランシス キャンドラー	516 教室	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40166	S 2	火 3	Kartika Diana	K303	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40167	S 2	火 3	BORDILOVSKAYA Anna	150 教室	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40168	S 2	火 3	ハンセン キャサリン	10-206	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40169	S 2	火 3	PAZDZIORA JOHN PATRICK	119 教室	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40170	S 2	火 3	沈 尚玉	10-204	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40171	S 2	火 3	BROOKS Britton	534 教室	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40181	S 2	火 4	TSAI Aurora Marjorie	517 教室	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40182	S 2	火 4	Kartika Diana	K303	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40183	S 2	火 4	ナオミ バーマン	K114	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)

外国語（英語二列 S）

40184	S 2	火 4	沈 尚玉	10-204	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40185	S 2	火 4	テラシマ アレクサンドラ	152 教室	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40186	S 2	火 4	BROOKS Britton	534 教室	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40187	S 2	火 4	BORDILOVSKAYA Anna	150 教室	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40188	S 2	火 4	ホールマン フランシス キャンドラー	516 教室	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40189	S 2	火 4	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	157 教室	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40190	S 2	火 4	ハンセン キャサリン	10-206	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40191	S 2	火 4	RUIZ TADA Elisa	114 教室	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40192	S 2	火 4	ジェームズ エリンガー	K402	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40193	S 2	火 4	DIETZ Richard	518 教室	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40194	S 2	火 4	BUENO Alex Falcon	120 教室	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40195	S 2	火 4	PAZDZIORA JOHN PATRICK	119 教室	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40319	S 2	火 4	AKINDELE Tito	K113	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40217	S 2	水 2	BUENO Alex Falcon	117 教室	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40218	S 2	水 2	WEITEMIER Adam	119 教室	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40219	S 2	水 2	BROOKS Britton	115 教室	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40220	S 2	水 2	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	120 教室	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40221	S 2	水 2	沈 尚玉	10-204	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40222	S 2	水 2	SEDDON Ryan John	118 教室	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40223	S 2	水 2	教員未定	113 教室	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40224	S 2	水 2	テラシマ アレクサンドラ	114 教室	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40225	S 2	水 2	ROBB Nigel	K212	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40226	S 2	水 2	モレノ ペナランダ ラケル	10-202	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40227	S 2	水 2	Kartika Diana	515 教室	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40228	S 2	水 2	ジェームズ エリンガー	518 教室	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40229	S 2	水 2	ハンセン キャサリン	10-304	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40230	S 2	水 2	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	517 教室	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40232	S 2	水 3	RUIZ TADA Elisa	114 教室	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40233	S 2	水 3	BUENO Alex Falcon	117 教室	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40234	S 2	水 3	Kartika Diana	515 教室	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40235	S 2	水 3	モレノ ペナランダ ラケル	10-202	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40236	S 2	水 3	木村 大輔	149 教室	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40237	S 2	水 3	沈 尚玉	10-204	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40238	S 2	水 3	教員未定	113 教室	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40239	S 2	水 3	ROBB Nigel	10-102	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40240	S 2	水 3	BORDILOVSKAYA Anna	516 教室	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40241	S 2	水 3	BROOKS Britton	115 教室	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40242	S 2	水 3	ハンセン キャサリン	10-304	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40243	S 2	水 3	ディーエル グレゴリー ロジャース	10-206	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40244	S 2	水 3	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	116 教室	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40245	S 2	水 3	PAZDZIORA JOHN PATRICK	102 教室	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40246	S 2	水 3	AKINDELE Tito	118 教室	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40247	S 2	水 3	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	120 教室	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)

外国語（英語二列 W）ALESA

Active Learning of English for Students of the Arts (ALESA)			開講区分	S
授業の目標・概要		This course introduces students to the skill of building an effective written argument in English supported by sources and evidence and to the conventions of formal writing. By the end of the course, students will: - be able to present a clear position which is supported by evidence and addresses alternative points of view; - understand the organisation and rhetorical features of an argumentative essay; - be familiar with basic stylistic conventions of academic writing.		
授業の方法		Class activities will include reading and analyzing argumentative writing in English; developing a position on a issue on the basis of individual research; engaging in a variety of pre-writing exercises; drafting and revising an essay; and using peer feedback to improve students' own and others' work in discussion and written comments. The class is taught in English, and students are encouraged to speak English in class. Graduate-student teaching assistants are available in the Komaba Writers' Studio to help students with their research, writing, and discussion.		
成績評価方法 関連ホームページ		Grades are based on writing assignments, discussion, and participation in class activities. http://ale.c.u-tokyo.ac.jp/		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割 コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
30031	月 2	ナオミ バーマン	K301	1 年 文一二(6,14)文三(4,10,20)
30032	月 2	ハンセン キャサリン	K302	1 年 文一二(6,14)文三(4,10,20)
30033	月 2	Kartika Diana	K303	1 年 文一二(6,14)文三(4,10,20)
30034	月 2	木村 大輔	116 教室	1 年 文一二(6,14)文三(4,10,20)
30035	月 2	TSAI Aurora Marjorie	115 教室	1 年 文一二(6,14)文三(4,10,20)
30037	月 2	沈 尚玉	10-204	1 年 文一二(6,14)文三(4,10,20)
30038	月 2	BROOKS Britton	117 教室	1 年 文一二(6,14)文三(4,10,20)
30039	月 2	ディーエル グレゴリー ロジャース	10-206	1 年 文一二(6,14)文三(4,10,20)
30040	月 2	ホールマン フランシス キャンドラー	515 教室	1 年 文一二(6,14)文三(4,10,20)
30041	月 2	片山 晶子	E25 教室	1 年 文一二(6,14)文三(4,10,20)
30042	月 2	モレノ ペナランダ ラケル	E35 教室	1 年 文一二(6,14)文三(4,10,20)
30867	木 2	ディーエル グレゴリー ロジャース	10-206	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)
30868	木 2	PAZDZIORA JOHN PATRICK	515 教室	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)
30869	木 2	片山 晶子	E39 教室	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)
30870	木 2	BUENO Alex Falcon	119 教室	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)
30871	木 2	BROOKS Britton	103 教室	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)
30872	木 2	ハンセン キャサリン	10-103	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)
30873	木 2	DIETZ Richard	518 教室	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)
30874	木 2	木村 大輔	114 教室	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)
30875	木 2	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	151 教室	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)
30931	木 3	ハンセン キャサリン	10-103	1 年 文一二(13,15,24)文三(13)
30932	木 3	モレノ ペナランダ ラケル	K402	1 年 文一二(13,15,24)文三(13)
30933	木 3	木村 大輔	114 教室	1 年 文一二(13,15,24)文三(13)
30934	木 3	DIETZ Richard	518 教室	1 年 文一二(13,15,24)文三(13)
30935	木 3	BUENO Alex Falcon	119 教室	1 年 文一二(13,15,24)文三(13)
30936	木 3	BROOKS Britton	103 教室	1 年 文一二(13,15,24)文三(13)
30937	木 3	PAZDZIORA JOHN PATRICK	515 教室	1 年 文一二(13,15,24)文三(13)
30938	木 3	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	158 教室	1 年 文一二(13,15,24)文三(13)

30939	木 3	ディーエル グレゴリー ロジャース	10-206	1 年 文一二(13,15,24)文三(13)
31054	金 1	PAZDZIORA JOHN PATRICK	152 教室	1 年 文一二(12,19)文三(8,12)
31055	金 1	ホールマン フランシス キャンドラー	517 教室	1 年 文一二(12,19)文三(8,12)
31056	金 1	Kartika Diana	K303	1 年 文一二(12,19)文三(8,12)
31057	金 1	沈 尚玉	10-204	1 年 文一二(12,19)文三(8,12)
31058	金 1	BUENO Alex Falcon	158 教室	1 年 文一二(12,19)文三(8,12)
31059	金 1	DIETZ Richard	KALS	1 年 文一二(12,19)文三(8,12)
31060	金 1	TSAI Aurora Marjorie	154 教室	1 年 文一二(12,19)文三(8,12)
31061	金 1	ディーエル グレゴリー ロジャース	10-206	1 年 文一二(12,19)文三(8,12)
31151	金 3	Kartika Diana	K201	1 年 文一二(5,16)文三(6,18)
31152	金 3	TSAI Aurora Marjorie	154 教室	1 年 文一二(5,16)文三(6,18)
31153	金 3	ナオミ バーマン	K114	1 年 文一二(5,16)文三(6,18)
31154	金 3	ディーエル グレゴリー ロジャース	10-206	1 年 文一二(5,16)文三(6,18)
31155	金 3	PAZDZIORA JOHN PATRICK	152 教室	1 年 文一二(5,16)文三(6,18)
31156	金 3	DIETZ Richard	KALS	1 年 文一二(5,16)文三(6,18)
31157	金 3	BUENO Alex Falcon	119 教室	1 年 文一二(5,16)文三(6,18)
31158	金 3	沈 尚玉	10-204	1 年 文一二(5,16)文三(6,18)

外国語（英語二列 W）ALESS

Active Learning of English for Science Students (ALESS)			開講区分	S
授業の目標・概要		In this course, students learn about formal scientific writing and style in English; the organization, language, and rhetoric of scientific papers; and the process of writing and preparing formal papers through peer review and revision. Grades are based on writing a research paper, giving a presentation, weekly written assignments, and on participation in class activities.		
成績評価方法				
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
30055	月 2	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	10-303	1 年 理一(5,13,19)
30056	月 2	SEDDON Ryan John	516 教室	1 年 理一(5,13,19)
30057	月 2	WEITEMIER Adam	118 教室	1 年 理一(5,13,19)
30058	月 2	ジェームズ エリンガー	119 教室	1 年 理一(5,13,19)
30059	月 2	AKINDELE Tito	517 教室	1 年 理一(5,13,19)
30060	月 2	神島 智子	E36 教室	1 年 理一(5,13,19)
30061	月 2	マニナン ジョン	K401	1 年 理一(5,13,19)
30102	月 3	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	10-303	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30103	月 3	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	518 教室	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30104	月 3	ROBB Nigel	10-101	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30105	月 3	RUIZ TADA Elisa	116 教室	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30106	月 3	SEDDON Ryan John	516 教室	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30107	月 3	テラシマ アレクサンドラ	115 教室	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30108	月 3	タヴァレス ヴァスケス ジェーゴ	KALS	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30109	月 3	WEITEMIER Adam	118 教室	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30110	月 3	AKINDELE Tito	158 教室	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30111	月 3	BORDILOVSKAYA Anna	517 教室	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30112	月 3	ホールマン フランシス キャンドラー	515 教室	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30114	月 3	ナオミ バーマン	K301	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30115	月 3	ジェームズ エリンガー	117 教室	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30116	月 3	マニナン ジョン	K401	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30117	月 3	モレノ ペナランダ ラケル	E35 教室	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30113	月 4	神島 智子	E36 教室	1 年 理一(7)理二三(1-3,10,15)
30199	月 4	マニナン ジョン	K401	1 年 理一(7)理二三(1-3,10,15)
30200	月 4	BORDILOVSKAYA Anna	517 教室	1 年 理一(7)理二三(1-3,10,15)
30201	月 4	テラシマ アレクサンドラ	115 教室	1 年 理一(7)理二三(1-3,10,15)
30202	月 4	ROBB Nigel	10-101	1 年 理一(7)理二三(1-3,10,15)
30203	月 4	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	518 教室	1 年 理一(7)理二三(1-3,10,15)
30204	月 4	RUIZ TADA Elisa	116 教室	1 年 理一(7)理二三(1-3,10,15)
30205	月 4	ジェームズ エリンガー	117 教室	1 年 理一(7)理二三(1-3,10,15)
30283	火 1	ROBB Nigel	10-102	1 年 理一(10)理二三(12,19)
30284	火 1	マニナン ジョン	10-202	1 年 理一(10)理二三(12,19)
30285	火 1	SEDDON Ryan John	516 教室	1 年 理一(10)理二三(12,19)
30286	火 1	ジェームズ エリンガー	118 教室	1 年 理一(10)理二三(12,19)

30287	火 1	神島 智子	114 教室	1 年 理一(10)理二三(12,19)
30288	火 1	タヴァレス ヴァスケス ジェーゴ	534 教室	1 年 理一(10)理二三(12,19)
30289	火 1	WEITEMIER Adam	517 教室	1 年 理一(10)理二三(12,19)
30577	水 1	SEDDON Ryan John	118 教室	1 年 理一(6,22,32,38)
30578	水 1	タヴァレス ヴァスケス ジェーゴ	KALS	1 年 理一(6,22,32,38)
30579	水 1	WEITEMIER Adam	119 教室	1 年 理一(6,22,32,38)
30580	水 1	AKINDELE Tito	518 教室	1 年 理一(6,22,32,38)
30581	水 1	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	116 教室	1 年 理一(6,22,32,38)
30582	水 1	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	517 教室	1 年 理一(6,22,32,38)
30583	水 1	BORDILOVSKAYA Anna	516 教室	1 年 理一(6,22,32,38)
30584	水 1	ホールマン フランシス キャンドラー	515 教室	1 年 理一(6,22,32,38)
30585	水 1	ナオミ バーマン	K201	1 年 理一(6,22,32,38)
30902	木 2	AKINDELE Tito	158 教室	1 年 理一(26)
30903	木 2	モレノ ペナランダ ラケル	K402	1 年 理一(26)
30904	木 2	ジェームズ エリンガー	120 教室	1 年 理一(26)
31076	金 1	テラシマ アレクサンドラ	155 教室	1 年 理二三(5-6,18)
31077	金 1	SEDDON Ryan John	156 教室	1 年 理二三(5-6,18)
31078	金 1	RUIZ TADA Elisa	116 教室	1 年 理二三(5-6,18)
31079	金 1	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	515 教室	1 年 理二三(5-6,18)
31080	金 1	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	10-304	1 年 理二三(5-6,18)
31081	金 1	神島 智子	E36 教室	1 年 理二三(5-6,18)
31192	金 3	マニナン ジョン	K402	1 年 理二三(7,22)
31193	金 3	ROBB Nigel	10-101	1 年 理二三(7,22)
31194	金 3	テラシマ アレクサンドラ	155 教室	1 年 理二三(7,22)
31195	金 3	WEITEMIER Adam	518 教室	1 年 理二三(7,22)
31196	金 3	ホールマン フランシス キャンドラー	517 教室	1 年 理二三(7,22)
31241	金 4	BORDILOVSKAYA Anna	517 教室	1 年 理一(37)理二三(16,24)
31242	金 4	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	10-304	1 年 理一(37)理二三(16,24)
31243	金 4	RUIZ TADA Elisa	116 教室	1 年 理一(37)理二三(16,24)
31244	金 4	WEITEMIER Adam	518 教室	1 年 理一(37)理二三(16,24)
31245	金 4	ROBB Nigel	10-101	1 年 理一(37)理二三(16,24)
31246	金 4	SEDDON Ryan John	156 教室	1 年 理一(37)理二三(16,24)
31247	金 4	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	KALS	1 年 理一(37)理二三(16,24)

基礎科目 ドイツ語

ドイツ語				開講区分	S
授業の目標・概要					
一列・二列では共通教材『Einblicke』（東京大学教養学部ドイツ語部会編）を用いて、週二回の授業により、文法と読解を中心に、会話練習を交えながら総合的にドイツ語を学習する。 履修者は必ず、同一クラスの一列と二列を履修すること。一列もしくは二列のみの履修は認められない。					
成績評価方法					
なお、L系列の科目、特にドイツ語初級（演習）も積極的に履修することを勧める。 平常点および試験によって行う。なお、1年生Sセメスターの一列・二列には同一の成績がつく。					
教科書					
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 ドイツ語共通教科書『Einblicke』 著者（訳者） 東京大学教養学部ドイツ語部会編					
関連ホームページ					
http://deutsch.c.u-tokyo.ac.jp/					
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること					
時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	教室	対象クラス
30074	月 2	ドイツ語一列①	大石 紀一郎	122 教室	1 年 理一(32)
30136	月 3	ドイツ語一列①	三宅 晶子	108 教室	1 年 理一(29)
30185	月 4	ドイツ語一列①	森井 裕一	1212 教室	1 年 文一二(21)
30270	火 1	ドイツ語一列①	高橋 亮介	105 教室	1 年 文一二(1)文三(1)理一(1)理二三(1)
30428	火 3	ドイツ語一列①	斉藤 渉	1213 教室	1 年 文三(16)
30440	火 3	ドイツ語一列①	一條 麻美子	1322 教室	1 年 理一(31)
30441	火 3	ドイツ語一列①	森 芳樹	1311 教室	1 年 理一(33)
30663	水 2	ドイツ語一列①	長木 誠司	102 教室	1 年 文三(15)
30683	水 2	ドイツ語一列①	足立 信彦	109 教室	1 年 理二三(20)
30746	水 3	ドイツ語一列①	田中 純	155 教室	1 年 理一(30)
30884	木 2	ドイツ語一列①	稲葉 治朗	106 教室	1 年 文一二(20)
30885	木 2	ドイツ語一列①	森 芳樹	107 教室	1 年 文一二(22)
30901	木 2	ドイツ語一列①	石原 あえか	10-308	1 年 理一(28)
31200	金 3	ドイツ語一列①	一條 麻美子	117 教室	1 年 理二三(17)
31201	金 3	ドイツ語一列①	梶谷 真司	156 教室	1 年 理二三(18)
31202	金 3	ドイツ語一列①	高橋 宗五	164 教室	1 年 理二三(19)
30050	月 2	ドイツ語二列	川喜田 敦子	105 教室	1 年 文三(15)
30072	月 2	ドイツ語二列	有信 真美菜	121 教室	1 年 理一(30)
30186	月 4	ドイツ語二列	有信 真美菜	112 教室	1 年 文一二(22)
30219	月 4	ドイツ語二列	足立 信彦	164 教室	1 年 理二三(20)
30421	火 3	ドイツ語二列	久保 哲司	1222 教室	1 年 文一二(21)
30439	火 3	ドイツ語二列	石原 あえか	10-103	1 年 理一(28)
30490	火 4	ドイツ語二列	金 志成	1221 教室	1 年 文一二(20)
30522	火 4	ドイツ語二列	久保 哲司	1222 教室	1 年 理二三(19)
30552	火 5	ドイツ語二列	金 志成	1221 教室	1 年 理二三(18)
30682	水 2	ドイツ語二列	識名 章喜	1212 教室	1 年 理二三(17)
30889	木 2	ドイツ語二列	斉藤 渉	512 教室	1 年 文三(16)
30905	木 2	ドイツ語二列	一條 麻美子	159 教室	1 年 理一(31)
30906	木 2	ドイツ語二列	大石 紀一郎	10-303	1 年 理一(32)
30985	木 4	ドイツ語二列	クリスティアン クリンク	K114	1 年 文一二(1)文三(1)理一(1)理二三(1)

31188	金 3	ドイツ語二列	新本 史斉	112 教室	1 年 理一(33)
31240	金 4	ドイツ語二列	三宅 晶子	106 教室	1 年 理一(29)

基礎科目 フランス語

フランス語				開講区分	S
授業の目標・概要		文理科生クラス、理理科生クラスとも、一列・二列を通じて文法および講読の基礎を固める。 文理科生は、これに加えて演習を履修し、発音や作文、初歩的な会話の練習、文法や講読の応用練習などを行う。 理理科生には、文理科生の演習に相当するものとして、国際コミュニケーション「フランス語初級（演習）」が自由選択できるので、積極的に参加してほしい。			
成績評価方法		平常点（出席・授業への参加態度および小テストなど）と学期末試験で総合的に評価する。			
教科書		授業中に指示をする。／Will specify at class time			
関連ホームページ		http://langue-fr.c.u-tokyo.ac.jp			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること					
時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	教室	対象クラス
30048	月 2	フランス語一列①	飛嶋 隆信	166 教室	1 年 文一二(24)
30051	月 2	フランス語一列①	森元 庸介	109 教室	1 年 文三(18)
30075	月 2	フランス語一列①	大森 晋輔	107 教室	1 年 理一(37)
30138	月 3	フランス語一列①	藤岡 俊博	105 教室	1 年 理一(38)
30139	月 3	フランス語一列①	大池 惣太郎	121 教室	1 年 理一(39)
30187	月 4	フランス語一列①	郷原 佳以	122 教室	1 年 文一二(23)
30195	月 4	フランス語一列①	大池 惣太郎	121 教室	1 年 文三(17)
30196	月 4	フランス語一列①	大森 晋輔	149 教室	1 年 文三(19)
30197	月 4	フランス語一列①	佐々木 悠介	152 教室	1 年 文三(20)
30271	火 1	フランス語一列①	COUCHOT Herve	101 教室	1 年 文一二(2)文三(2)理一(2)理二三(2)
30449	火 3	フランス語一列①	桑田 光平	1226 教室	1 年 理二三(21)
30451	火 3	フランス語一列①	関俣 賢一	1214 教室	1 年 理二三(23)
30452	火 3	フランス語一列①	斎藤 かぐみ	1232 教室	1 年 理二三(24)
30506	火 4	フランス語一列①	関俣 賢一	1214 教室	1 年 文一二(25)
30507	火 4	フランス語一列①	山田 広昭	1212 教室	1 年 文一二(26)
30508	火 4	フランス語一列①	斎藤 かぐみ	1232 教室	1 年 文一二(27)
30509	火 4	フランス語一列①	松村 剛	1213 教室	1 年 文一二(28)
30547	火 5	フランス語一列①	増田 一夫	105 教室	1 年 理一(34)
30548	火 5	フランス語一列①	藤岡 俊博	104 教室	1 年 理一(35)
30549	火 5	フランス語一列①	赤羽 悠	106 教室	1 年 理一(36)
30553	火 5	フランス語一列①	斎藤 かぐみ	1232 教室	1 年 理二三(22)
30675	水 2	フランス語二列	増田 一夫	K113	1 年 理一(37)
30676	水 2	フランス語二列	藤岡 俊博	153 教室	1 年 理一(38)
30677	水 2	フランス語二列	星埜 守之	K114	1 年 理一(39)
30771	水 4	フランス語二列	伊達 聖伸	10-103	1 年 文三(17)
30886	木 2	フランス語二列	松村 剛	108 教室	1 年 文一二(23)
30890	木 2	フランス語二列	渡邊 淳也	121 教室	1 年 文三(19)
30908	木 2	フランス語二列	坂本 さやか	157 教室	1 年 理一(35)
30909	木 2	フランス語二列	桑田 光平	162 教室	1 年 理一(36)
30914	木 2	フランス語二列	三浦 篤	164 教室	1 年 理二三(22)
30948	木 3	フランス語二列	篠原 学	107 教室	1 年 文一二(25)
30949	木 3	フランス語二列	関俣 賢一	109 教室	1 年 文一二(26)

基礎科目 フランス語

30950	木 3	フランス語二列	渡邊 淳也	121 教室	1 年 文一二(27)
30951	木 3	フランス語二列	松村 剛	108 教室	1 年 文一二(28)
30953	木 3	フランス語二列	森元 庸介	157 教室	1 年 文三(18)
30954	木 3	フランス語二列	片岡 大右	153 教室	1 年 文三(20)
30986	木 4	フランス語二列	ビゼ	10-202	1 年 文一二(2)文三(2)理一(2)理二三(2)
30994	木 4	フランス語二列	関俣 賢一	109 教室	1 年 文一二(24)
31012	木 4	フランス語二列	篠原 学	107 教室	1 年 理二三(23)
31083	金 1	フランス語二列	坂本 佳子	112 教室	1 年 理二三(21)
31189	金 3	フランス語二列	鈴木 順子	1211 教室	1 年 理一(34)
31203	金 3	フランス語二列	斎藤 かぐみ	157 教室	1 年 理二三(24)

基礎科目 中国語

中国語			開講区分	S	
授業の目標・概要					
※既習クラスは、内容が異なるので Web シラバスで確認すること 中国語の要である発音をしっかりと身につけた上で、文法の基礎を一年かけて一通り学習する。 ●文科生は選択必修科目の初級演習をあわせて履修し、コミュニケーション能力を養成する。クラス別に開講するので、自分のクラスの初級演習を履修すること。 ●理科生向けには、選択科目の「初級演習」を開講しているので、一、二列で習ったことをもとに、コミュニケーション能力を高めることが望ましい。(火 1 に開講)					
成績評価方法					
期末試験など					
教科書					
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 漢語課本 著者(訳者) 小野秀樹・賈黎黎・吉川雅之 著 出版社 白帝社					
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること					
時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	教室	対象クラス
30194	月 4	中国語一列①	大橋 義武	101 教室	1 年 文三(14)
30282	火 1	中国語一列①	阿古 智子	107 教室	1 年 理一(3)理二三(3)(TLP)
30518	火 4	中国語一列①	山影 統	153 教室	1 年 理一(27)
30521	火 4	中国語一列①	千葉 謙悟	532 教室	1 年 理二三(13)
30674	火 5	中国語一列①	石村 広	113 教室	1 年 理一(22)
30588	水 1	中国語一列①	小方 伴子	102 教室	1 年 理一(24)
30589	水 1	中国語一列①	波多野 真矢	157 教室	1 年 理一(26)
30655	水 2	中国語一列①	伊藤 徳也	516 教室	1 年 文一二(17)
30656	水 2	中国語一列①	波多野 真矢	157 教室	1 年 文一二(18)
30662	水 2	中国語一列①	吉川 雅之	10-103	1 年 文三(12)
30672	水 2	中国語一列①	小野 秀樹	532 教室	1 年 理一(19)
30681	水 2	中国語一列①	中村 元哉	108 教室	1 年 理二三(16)
30427	水 3	中国語一列①	中村 元哉	108 教室	1 年 文三(13)
30882	木 2	中国語一列①	松本 秀士	101 教室	1 年 文一二(14)
30900	木 2	中国語一列①	下出 宣子	104 教室	1 年 理一(25)
30941	木 3	中国語一列①	下出 宣子	104 教室	1 年 文一二(19)
30969	木 3	中国語一列①	河野 直恵	113 教室	1 年 理二三(15)
30987	木 4	中国語一列①	賈 黎黎	106 教室	1 年 文一二(3)文三(3)理一(3)理二三(3)
30991	木 4	中国語一列①	河野 直恵	113 教室	1 年 文一二(15)
30992	木 4	中国語一列①	渡辺 剛	104 教室	1 年 文一二(16)
31072	金 1	中国語一列①	王 英輝	104 教室	1 年 理一(20)
31185	金 3	中国語一列①	石井 剛	166 教室	1 年 理一(23)
31199	金 3	中国語一列①	谷垣 真理子	106 教室	1 年 理二三(14)
31223	金 4	中国語一列①	岩月 純一	101 教室	1 年 文一二(13)
31228	金 4	中国語一列①	田原 史起	105 教室	1 年 文三(11)
31238	金 4	中国語一列①	朝倉 友海	104 教室	1 年 理一(21)
30067	月 2	中国語二列	大橋 義武	101 教室	1 年 理一(24)
30069	月 2	中国語二列	毛 興華	159 教室	1 年 理一(25)
30130	月 3	中国語二列	張 政遠	104 教室	1 年 理一(19)
30132	月 3	中国語二列	大橋 義武	101 教室	1 年 理一(20)
30135	月 3	中国語二列	賈 黎黎	107 教室	1 年 理一(26)

30183	月 4	中国語二列	白 春花	108 教室	1 年 文一二(17)
30184	月 4	中国語二列	斉 金英	159 教室	1 年 文一二(19)
30193	月 4	中国語二列	李 彦銘	103 教室	1 年 文三(12)
30272	火 1	中国語二列	毛 興華	152 教室	1 年 文一二(3)文三(3)理一(3)理二三(3)
31224	火 1	中国語二列	山影 統	108 教室	1 年 文一二(15)
30419	火 3	中国語二列	山影 統	153 教室	1 年 文一二(16)
30436	火 3	中国語二列	吉川 雅之	1211 教室	1 年 理一(21)
30770	火 3	中国語二列	千葉 謙悟	532 教室	1 年 文三(13)
30488	火 4	中国語二列	石村 広	113 教室	1 年 文一二(14)
30587	水 1	中国語二列	青木 正子	103 教室	1 年 理一(23)
30680	水 2	中国語二列	青木 正子	103 教室	1 年 理二三(14)
30752	水 2	中国語二列	瀬地山 角	158 教室	1 年 理二三(15)
30717	水 3	中国語二列	朝倉 友海	1212 教室	1 年 文一二(13)
30736	水 3	中国語二列	田原 史起	1211 教室	1 年 文三(11)
30750	水 3	中国語二列	韓 燕麗	1214 教室	1 年 理二三(13)
30940	木 3	中国語二列	大橋 義武	106 教室	1 年 文一二(18)
30970	木 3	中国語二列	松本 秀士	101 教室	1 年 理二三(16)
30999	木 4	中国語二列	松本 秀士	101 教室	1 年 文三(14)
31000	木 4	中国語二列	菊池 真純	105 教室	1 年 理一(3)理二三(3)(TLP)
30291	金 3	中国語二列	賈 黎黎	1212 教室	1 年 理一(22)
31239	金 4	中国語二列	毛 興華	164 教室	1 年 理一(27)

※TLP 履修者は、対象クラスで TLP と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目 L 系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

基礎科目 ロシア語

ロシア語				開講区分	S
授業の目標・概要 成績評価方法		ロシア語文法の基礎の修得。 定期試験と平常点。 Sセメスターの期末テストは、「ロシア語一列」と「ロシア語二列」を1回に統一して行う。 適宜小テストを行うことがある。			
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 ロシア語をはじめよう 著者(訳者) 西中村浩、朝妻恵理子 出版社 朝日出版社 ISBN 978-4-255-55504-1			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること					
時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	教室	対象クラス
30098	月 3	ロシア語一列①	安岡 治子	149 教室	1 年 理一(4)
30099	月 3	ロシア語一列①	鳥山 祐介	112 教室	1 年 理一(5)
30273	火 1	ロシア語一列①	奈倉 有里	113 教室	1 年 文一二(4)文三(4) 理一(4-5)理二三(4)(TLP)
30389	火 3	ロシア語一列①	奈倉 有里	113 教室	1 年 文一二(4)
30424	火 3	ロシア語一列①	渡邊 日日	1224 教室	1 年 文三(4)
30519	火 4	ロシア語一列①	乗松 亨平	159 教室	1 年 理二三(4)
30690	水 3	ロシア語二列	安岡 治子	166 教室	1 年 文一二(4)文三(4) 理一(4-5)理二三(4) (TLP)
30891	木 2	ロシア語二列	古宮 路子	122 教室	1 年 理一(4)
30892	木 2	ロシア語二列	奈倉 有里	513 教室	1 年 理一(5)
31009	木 4	ロシア語二列	古宮 路子	155 教室	1 年 理二三(4)
31150	金 3	ロシア語二列	渡邊 日日	149 教室	1 年 文一二(4)
31172	金 3	ロシア語二列	乗松 亨平	151 教室	1 年 文三(4)

※TLP 履修者は、対象クラスで TLP と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目 L 系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

基礎科目 スペイン語

スペイン語		開講区分	S		
授業の目標・概要		S セメスターは週2回、A セメスターは週1回の授業が必修である。共通教科書を用い、1年間かけて、日常使われるスペイン語を理解し、簡単な文章を読んだり書いたり、またスペイン語でコミュニケーションをとるために必要な文法体系全体を学習する。同時にスペイン語文化圏の豊かで多彩な文化と社会への関心を深めていく。S セメスターでは内容を一列（文法）と二列（講読）に分け、A セメスターでは一列で文法・講読の両方を扱う。文系学生はこの他に外国人教員が担当するクラス指定の演習を履修しなければならない。理系学生にもこれに対応する「スペイン語初級（演習）」（理科生限定）を開講する。これらの演習科目では、教科書の進度に合わせ、発音、聞き取り、初歩的な会話の練習、文法の応用練習などを行う。他にも初級作文と初級会話の科目を開講しているので、積極的に参加してほしい。スペイン語を集中的に勉強したい学生のためには、インテンシブクラスを週2回開講する。これらを履修すれば、スペイン語の運用能力をいっそう高めることができる。			
成績評価方法	各教員に任されている。				
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Brújula-スペイン語学習の羅針盤 著者（訳者） 東京大学教養学部スペイン語部会 出版社 朝日出版社 ISBN 978-4-255-55111-1				
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること					
時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	教室	対象クラス
30064	月 2	スペイン語一列①	松尾 俊輔	162 教室	1 年 理一(9)
30127	月 3	スペイン語一列①	岡本 年正	106 教室	1 年 理一(12)
30990	月 4	スペイン語一列①	網野 徹哉	154 教室	1 年 文一二(11)
30431	火 3	スペイン語一列①	松尾 俊輔	1321 教室	1 年 理一(10)
30743	火 3	スペイン語一列①	半澤 忠彦	1312 教室	1 年 理一(14)
30485	火 4	スペイン語一列①	受田 宏之	1231 教室	1 年 文一二(7)
30551	火 5	スペイン語一列①	川崎 義史	107 教室	1 年 理二三(7)
30775	水 1	スペイン語一列①	網野 徹哉	112 教室	1 年 理一(17)
30290	水 2	スペイン語一列①	宮地 隆廣	162 教室	1 年 理一(18)
30629	水 2	スペイン語一列①	川崎 義史	166 教室	1 年 文一二(9)
30660	水 2	スペイン語一列①	松尾 俊輔	1221 教室	1 年 文三(9)
30661	水 2	スペイン語一列①	網野 徹哉	112 教室	1 年 文三(10)
30671	水 2	スペイン語一列①	石橋 純	1321 教室	1 年 理一(13)
30679	水 2	スペイン語一列①	高際 裕哉	1226 教室	1 年 理二三(8)
30592	水 3	スペイン語一列①	久住 真由	157 教室	1 年 理二三(9)
30693	水 3	スペイン語一列①	竹村 文彦	1312 教室	1 年 文一二(10)
30744	水 3	スペイン語一列①	高際 裕哉	1311 教室	1 年 理一(15)
30745	水 3	スペイン語一列①	渡辺 暁	112 教室	1 年 理一(16)
30747	水 3	スペイン語一列①	石橋 純	1321 教室	1 年 理二三(10)
30748	水 3	スペイン語一列①	金子 亜美	1322 教室	1 年 理二三(11)
30749	水 3	スペイン語一列①	若林 大我	1231 教室	1 年 理二三(12)
30769	水 4	スペイン語一列①	宮地 隆廣	162 教室	1 年 文三(8)
30206	木 2	スペイン語一列①	上 英明	102 教室	1 年 理一(11)
30275	木 4	スペイン語一列①	松尾 俊輔	164 教室	1 年 文一二(8)
31162	金 3	スペイン語一列①	和田 佳浦	159 教室	1 年 文一二(12)
31226	金 4	スペイン語一列①	和田 佳浦	159 教室	1 年 文三(7)
30044	月 2	スペイン語二列	栗林 ゆき絵	153 教室	1 年 文一二(8)
30065	月 2	スペイン語二列	岡本 年正	106 教室	1 年 理一(16)
30118	月 3	スペイン語二列	渡辺 暁	154 教室	1 年 理一(10)

30129	月 3	スペイン語二列	三浦 麻衣子	157 教室	1 年 理一(18)
30189	月 4	スペイン語二列	岡本 年正	106 教室	1 年 文三(8)
30190	月 4	スペイン語二列	三浦 麻衣子	157 教室	1 年 文三(9)
30208	月 4	スペイン語二列	松尾 俊輔	155 教室	1 年 理一(14)
30207	火 1	スペイン語二列	松尾 俊輔	112 教室	1 年 理一(13)
30426	火 3	スペイン語二列	受田 宏之	1231 教室	1 年 文三(7)
30486	火 4	スペイン語二列	石橋 純	102 教室	1 年 文一二(9)
31010	火 4	スペイン語二列	半澤 忠彦	1312 教室	1 年 理二三(9)
30968	火 5	スペイン語二列	上 英明	150 教室	1 年 理二三(11)
30644	水 2	スペイン語二列	金子 亜美	1211 教室	1 年 文一二(11)
30645	水 2	スペイン語二列	竹村 文彦	1312 教室	1 年 文一二(12)
30678	水 2	スペイン語二列	上 英明	1224 教室	1 年 理二三(7)
30774	水 4	スペイン語二列	久住 真由	157 教室	1 年 理一(11)
30897	木 2	スペイン語二列	倉田 量介	1311 教室	1 年 理一(15)
30898	木 2	スペイン語二列	愛場 百合子	113 教室	1 年 理一(17)
31227	木 2	スペイン語二列	松尾 俊輔	166 教室	1 年 文三(10)
30959	木 3	スペイン語二列	若林 大我	154 教室	1 年 理一(12)
30967	木 3	スペイン語二列	倉田 量介	156 教室	1 年 理二三(8)
31198	木 3	スペイン語二列	松尾 俊輔	164 教室	1 年 理二三(12)
30989	木 4	スペイン語二列	松浦 芳枝	108 教室	1 年 文一二(10)
31001	木 4	スペイン語二列	若林 大我	154 教室	1 年 理一(9)
31160	金 3	スペイン語二列	有田 美保	113 教室	1 年 文一二(7)
31197	金 3	スペイン語二列	半澤 忠彦	150 教室	1 年 理二三(10)

基礎科目 韓国朝鮮語

韓国朝鮮語				開講区分	S
授業の目標・概要 ●1年生初修クラス 文科生クラス、理科生クラスともに、一列・二列の授業では、共通教材を用いて授業を行います。はじめの数回の授業において文字と発音を完全に習得した後、引き続き、さまざまな文法事項と語彙を学んでいきます。 この授業では、一年間を通じて、基礎文法を完全に習得し、辞書を引きながら新聞・雑誌記事を読める程度、また簡単な内容ならば、自分の考えや意見を表現できる程度の力を身につけることを目指します。 文科生はこのほか、韓国人教員が担当する「初級（演習）①」を履修し、基礎知識の応用をはかっています。理科生には、文科生の「初級（演習）①」に相当する「初級（演習）」が設けられているので、積極的に参加して下さい。 成績評価方法 定期テストと平常点（出席、小テスト、課題など） 教科書 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 ことばの架け橋 [再改訂試用版] ※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること					
時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	教室	対象クラス
30062	月 2	韓国朝鮮語一列①	河崎 啓剛	112 教室	1 年 理一(6)
30173	月 4	韓国朝鮮語一列①	三ツ井 崇	102 教室	1 年 文一二(5)文三(5)
30520	火 4	韓国朝鮮語一列①	三ツ井 崇	166 教室	1 年 理二三(5)
30390	火 3	韓国朝鮮語二列	三ツ井 崇	166 教室	1 年 文一二(5)文三(5)
30783	水 4	韓国朝鮮語二列	齊藤 良子	104 教室	1 年 理二三(5)
31071	金 1	韓国朝鮮語二列	河崎 啓剛	150 教室	1 年 理一(6)

基礎科目 イタリア語

イタリア語		開講区分	S		
授業の目標・概要 ●初修クラス 「一、二列」では、発音からはじまり、初級文法を、S セメスターから A セメスターの前半までの期間に習得することが目標です。A セメスター後半は、比較的平易な現代文を中心としたテキストの読解と、文法知識の整理にあてます。教科書は東京大学イタリア語教材編集委員会編の『イタリア語のスタート』（白水社）と、中級読解用テキスト『ピアッツァ』（東京大学出版会）を使用します。 あわせて、ネイティヴスピーカの教員による、文法知識の定着と自然なイタリア語の習得のための「演習」が文科生には必修科目として開講されています。理科生は総合科目 L の「イタリア語初級（演習）」として選択できます。積極的に履修・参加して、表現力を身につけてください。 S セメスターの基本的な学習項目は以下のようになります。 1) 発音 2) イタリア語の文の基本的な成り立ち 3) 名詞の性と数 4) 主語人称代名詞と動詞 essere 5) 形容詞 6) 指示代名詞と指示形容詞 7) 動詞 avere 8) 規則動詞の現在活用形 9) 不規則動詞 10) 疑問詞 11) 前置詞と冠詞の結合形 12) 補助動詞 13) 近過去 14) 再帰動詞 15) 未来 ●既修クラス 総合科目 L として開講されている中・上級の演習・会話・作文・表現練習・読解・インテンシヴの授業を組み合わせて受講することが可能です。イタリア語の習得を通して、音楽、芸術、映画、デザインなど、文化のさまざまな分野に関して、新しいテーマを素材に用い、現代社会のさまざまな側面についてもふれます。 ●さらに選択可能な総合科目 L の科目として、初級・中級の会話・作文・表現練習も開講されているので、積極的に受講してください。（意欲的な履修者は、A セメスター以降、選択可能な総合科目 L の科目の中級イタリア語を受講することも可能です。）特に集中的に少人数のクラスでイタリア語を身につけて定着させたい履修者のためのインテンシブコースとして、文法事項の定着練習（1 コマ）とネイティブによる表現力の演習（1 コマ）を初級（1 年生）・中級（2 年生、ただし A セメスタには意欲的な 1 年生も受講可）ともに開講しています。ぜひ積極的に受講してください。 ●S セメスターにはイタリア語初級（第3外国語）3 コマが開講されていますが、そのうち1 コマ（金5 限）は秋始まりで文法をはじめたい履修者のためのもので、S セメスターはイタリア語初級文法後半になります。詳しくはシラバスを参照のこと。 成績評価方法 教科書 平常点と定期試験 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Italiano... in partenza! イタリア語のスタート 文法と練習 著者（訳者） 東京大学イタリア語教材編集委員会編 出版社 白水社 ISBN ISBN978-4-560-01763-0 関連ホームページ http://langue-fr.c.u-tokyo.ac.jp					
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること					
時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	教室	対象クラス
30100	月 3	イタリア語一列①	山崎 彩	162 教室	1 年 理一(7)
30101	月 3	イタリア語一列①	宮坂 真紀	153 教室	1 年 理一(8)
30217	月 4	イタリア語一列①	村松 真理子	156 教室	1 年 理二三(6)
30391	火 3	イタリア語一列①	池上 俊一	162 教室	1 年 文一二(6)
30425	火 3	イタリア語一列①	宮坂 真紀	523 教室	1 年 文三(6)
30669	水 2	イタリア語二列	宮坂 真紀	152 教室	1 年 理一(8)
30784	水 4	イタリア語二列	村松 真理子	107 教室	1 年 理二三(6)
30887	木 2	イタリア語二列	宮坂 真紀	150 教室	1 年 文三(6)
30893	木 2	イタリア語二列	山崎 彩	156 教室	1 年 理一(7)
30929	木 3	イタリア語二列	池上 俊一	102 教室	1 年 文一二(6)

基礎科目（日本語）

日本語			開講区分	S		
授業の目標・概要	[注意事項] ・基礎科目一列①、基礎科目二列を、一年次 S セメスターに履修すること。 ・日本語科目（基礎科目一列、二列 C、二列 P、総合科目 L 系列、選択必修科目）の履修方法やカリキュラム等について、基礎科目一列①の初回授業で説明があるので、必ず出席すること。 ・基礎科目一列①、および、基礎科目二列のクラス指定に関して、UTAS 上の指示に留意し従うこと。 ・基礎科目一列①、および、基礎科目二列の第 1 週初回授業に関して、UTAS 上の指示に留意し従うこと。 ・様々なガイダンス・導入活動のため、基礎科目一列、および、基礎科目二列の初回授業に必ず出席してください。 ・基礎科目二列(S1) の初回授業に必ず出席し日本語能力テストを受験すること。日本語を、前期課程外国語科目の既修外国語、或は、[既修・既修選択]の初修外国語相当として選択した学生は、授業開始時に日本語能力テストを受ける必要がある。 ・総合科目 L 系列科目(S1, S2)の希望登録について、UTAS 上の指示にも留意してください。 ----- ● 基礎科目 日本語一列① 1 年生 既修外国語（および「初修扱い既修外国語」） 『テーマで考え議論する日本語 - Active Learning in Academic Japanese -』 文理横断的なテーマに関して、文献リサーチ、読解・聴解、資料収集、調査、協働タスク、ディスカッション、プレゼンテーション等、様々な能動的な協働活動を通して、日本語の諸技能の習得・上達を目指しつつ、現象・問題や他者の意見を適格に理解する力、資料を分析しデータや論拠に基づき考え述べる力、自分の意見を構築し伝える力、議論し合う力、能動的学習力を養う。 一列授業と二列授業とは、連動しつつ相互に相補的な活動を行う。 『基礎科目 日本語一列』で扱うテーマやそのテーマでの読解・聴解・協働タスク・ディスカッション等の活動と連動して、『基礎科目 日本語二列 C』（正確な精読、構文・語彙習得中心）、および、『基礎科目 日本語二列 P』（アクティブラーニングの発表・プレゼンテーション中心）の授業を行う。 ● 基礎科目 日本語二列 C 1 年生 既修外国語（および「初修扱い既修外国語」） 『テーマで考え議論する日本語： 正確な精読、構文・語彙習得中心』 『基礎科目日本語一列』でのテーマや読解テキスト・活動と連動して、構文・語彙増強、正確な精読や要約・ライティング等を行う。 ● 基礎科目 日本語二列 P 1 年生 既修外国語（および「初修扱い既修外国語」） 『テーマで考え議論する日本語： アクティブラーニングの発表・プレゼンテーション中心』 『基礎科目日本語一列』でのテーマや読解テキスト・活動と連動して、アクティブラーニングのプレゼンテーション・レポート執筆を行う。 ----- ○ 総合科目 L 系列 「日本語中級」『滑らかに話すための日本語発音』 伝わりやすく自然な発音でコミュニケーションができるようになることを目標とする。また、大学での口頭発表等に必要の発音の習得を目指す。 ○ 総合科目 L 系列 「日本語上級」『文学作品を読む・味わう・まとめる・伝える その 1』（S1） 総合科目 L 系列 「日本語上級」『文学作品を読む・味わう・まとめる・伝える その 2』（S2） 日本の近代から現代にかけての文学に焦点をあて、作品に親しみながら、読む力、まとめる力、伝える力を養う。 ○ 総合科目 L 系列 「日本語上級」『読解を通じ、日本の歴史を考える』 日本の歴史について書かれた論説文・歴史小説等の読解を通じ、日本史における事象やその文化的背景についての理解を深め、現代との関わりについて批判的に検討する。					
成績評価方法	「成績評価方法」は、科目・授業列により異なるので、UTAS 上のそれぞれの科目のページを参照すること。 全般的に、毎回の授業活動(および予習・復習)を重視し、出席、授業活動参加、ディスカッション、クイズ、宿題等の課題、発表、試験、レポート等を総合して評価する。詳細については第一回目の授業で配布するシラバスで説明する。					
教科書	その他。／Other					
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること						
時間割コード	開講	曜限	授業科目名	担当教員	教室	対象クラス
30306	S	火 2	日本語一列①	藤井 聖子	10-103	1 年 文科 理科
31093	S	金 2	日本語一列①	藤井 聖子	10-205	1 年 文科 理科
30849	S 1	木 1	日本語二列 C	奥川 育子	10-205	1 年 文科 理科
31263	S 1	金 5	日本語二列 C	奥川 育子	10-201	1 年 文科 理科
40113	S 2	木 1	日本語二列 P	奥川 育子	10-205	1 年 文科 理科
40136	S 2	金 5	日本語二列 P	奥川 育子	10-201	1 年 文科 理科

情報

情報		開講区分	S
授業の目標・概要	※「情報」初回の授業は情報教育棟大演習室[E31 または E21]で行う。 ※ オンライン新規利用者講習を受講して ECCS の利用ができるようにしておくこと。 現代社会においては、すべての人が多様な場と状況において、情報システムとかかわらざるをえない。その際に正しくかつ適切な対応をするためには、情報の技術面だけでなく、その人間のおよび社会的な側面の正しい理解が必要である。 これは情報社会人の基本的素養であり、“知ることによって無知から自由になることができる”という意味である リベラルアーツそのものと言うことができる。 本科目の目的は、このような素養を、講義と演習とを通じて身に付けることである。 具体的には ・情報の人間に関連する側面 表現、認知、伝達 ・情報の社会に関連する側面 情報システム、情報関連の法、技術と社会 ・情報の問題解決に関する側面 データと計算のモデル、計算の複雑さ のそれぞれを、独立にではなく、他の側面の理解が可能なレベルまで掘り下げて学ぶ。 この科目の目的は、いわゆる「利用・活用」の方法を習うことではない。 なお、高等学校の教科「情報」で学ぶ項目のうち、機器操作の方法、Web ブラウザ、電子メール、デジタルの概念、著作権・知的財産権の基本、などは「既習」であることを前提とする。 ・全クラス共通の試験問題による期末試験を実施するが、教員が独自の問題を追加で出題することがある。 ・共通試験の出題範囲は「関連ホームページ」の「教科書の目次と必修学習項目」で指定されたものである。 ・期末試験の採点は教員ごとに行なう。 ・成績評価の方法は教員による。 (期末試験のみ、レポートを加味、そのほか)		
成績評価方法			
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 情報 第2版 (Introduction to the New Information World, 2nd Edition) 著者(訳者) 山口和紀[編] 出版社 東京大学出版会 ISBN 978-4-13-062457-2		
関連ホームページ	http://www.edu.c.u-tokyo.ac.jp/edu/information.html		
※講義の詳細については、UTAS を参照すること			

時間割 コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
30045	月 2	原田 至郎	E21 教室	1 年 文一二(9-11)
30063	月 2	辰己 丈夫	E31 教室	1 年 理一(8,18,34)
30128	月 3	笹田 耕一	E21 教室	1 年 理一(13,21-22)
30134	月 3	辰己 丈夫	E31 教室	1 年 理一(24,33,35-36)
30182	月 4	福田 玄明	E21 教室	1 年 文一二(14,16,20)
30210	月 4	柴山 悦哉	E31 教室	1 年 理一(17)理二三(16,19)
30274	火 1	萩谷 昌己	E21 教室	1 年 文一二(7)文三(5-6,17)
30281	火 1	蓮池 隆	E31 教室	1 年 文三(18-20)
30418	火 3	上條 俊介	E31 教室	1 年 文一二(15,18,26)文三(15)
30489	火 4	上條 俊介	E31 教室	1 年 文一二(17)文三(4,9-10)
30546	火 5	道畑 正岐	E21 教室	1 年 理一(25-27)
30550	火 5	福田 玄明	E31 教室	1 年 理二三(4-5,13,15)
30586	水 1	池尻 良平	E21 教室	1 年 理一(7,15,30)
30659	水 2	藤垣 裕子	E31 教室	1 年 文三(1-3,7,11,14,16)
30668	水 2	山口 和紀	E21 教室	1 年 理一(5,29)理二三(22)
30738	水 3	落合 秀也	E31 教室	1 年 理一(1-3,31)理二三(1-3,14)
30766	水 4	稲葉 真理	E21 教室	1 年 文一二(19,21-22)
30768	水 4	森畑 明昌	E31 教室	1 年 文一二(23-25)文三(12)
30881	木 2	村上 祐子	E21 教室	1 年 文一二(8,12-13)

30910	木 2	羽山 博	E31 教室	1 年 理一(37)理二三(11,18)
30956	木 3	飯尾 淳	E21 教室	1 年 理一(6,14,19)
30966	木 3	木本 充彦	E31 教室	1 年 理二三(6-7,21)
31002	木 4	田中 哲朗	E21 教室	1 年 理一(10-12)
31011	木 4	木本 充彦	E31 教室	1 年 理二三(10,12,24)
31069	金 1	松島 慎	E31 教室	1 年 理一(4,9,16)
31074	金 1	福永 アレックス	E21 教室	1 年 理一(38-39)理二三(17)
31171	金 3	植田 一博	E21 教室	1 年 文一二(27-28)文三(13)
31187	金 3	蔡 東生	E31 教室	1 年 理一(28)理二三(8-9,23)
31215	金 4	幸島 明男	E21 教室	1 年 文一二(1-6)文三(8)
31237	金 4	蔡 東生	E31 教室	1 年 理一(20,23,32)理二三(20)

情報 α			開講区分	S
授業の目標・概要 ***トピックについて*** 深層学習（ディープラーニング）は、近年発展著しい AI（人工知能）技術の中核を為す技術である。この技術は高い性能と汎用性を持つことから、自動運転や新薬創造などの社会の多くの領域に応用され、それぞれの分野で革新的な成果を出すことが期待されている。 また、この深層学習のメカニズムを理解するために、数学をベースにした理論も急速に発展している。AI 技術を効率的に制御・理解するためには、これらの理論の発展が必要不可欠である。 ***講義の目標*** この講義の目的は、以下の三つである。 1. 基礎的な情報の技術・社会的側面について学ぶ。 2. データ解析の基礎を理解し、その一ツールとしての深層学習の使い方をプログラミング演習を通して学ぶ。 3. 深層学習の理論を、数学演習を通して学ぶ。 ***講義の概要*** 最初の数回で、基礎科目「情報」に該当する内容を速習する。加えて、各回の講義の中で随時「情報」の内容をカバーする。 その後、機械学習の問題設定の基礎を学び、python を用いた演習で深層学習の実装を行う。後半では、数学的な理論を学び演習を通して定着を図る。 前半での演習では python を使うスキルが必要だが、知識は授業中に身につける前提で、意欲さえあればこれまでの経験は問わない。 ***システム*** 受講者数を 20 名程度に制限するので、ガイダンス時にプログラミング・数学などに関する基礎学力の確認と学習意欲に関する調査を行う。その結果、一週間以内に、第二回以降の受講対象者の学生証番号を正門横掲示板に発表する。 学期中と期末に課すレポートおよび出席状況をもとに評価する。 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 2020 年 4 月 6 日 6 限 11 号館 1106 教室（水 6 のガイダンスもこの日にまとめて行うので注意） ※講義の詳細については、UTAS を参照すること				
時間割 コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
30269	月 6	今泉 允聡	E38 教室	1 年 文科 理科
30840	水 6	今泉 允聡	E31 教室	1 年 文科 理科

身体運動・健康科学実習Ⅰ

身体運動・健康科学実習Ⅰ		開講区分		S
授業の目標・概要	週1回の授業を通じて 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技能を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。			
授業計画	第1回 教室で教科書を用いた授業（教室は掲示を参照） 第2回 体力テスト 第3回 教室で教科書を用いた授業 種目選択 第4回から 選択した種目での授業 セメスター中に2度、身体運動の科学的理解を目的とした共通授業を行う。共通授業はコミュニケーションプラザ北館3階の身体運動実習室で行う。 この他天候等により体育館種目が別の場所へ移動し、外種目を体育館で行うこともあるので、9号館前の掲示板を見ること。			
授業の方法	第3回目の授業で、種目選択を行う。スポーツコース（テニス、サッカー等）、フィットネスクース、サイエンスコースから選択する。その曜限に開設されている種目と説明は http://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/shintai/ を参照のこと。 種目選択以降は、各種目に分かれて行う。 基本的には自分の身体を動かして、実習することが第一であるが、各種目により様々なアプローチがなされる。セメスター中に2回、身体運動の科学的理解を目的とした共通授業を、通常とは別の場所で行う。教室での授業、身体運動の科学的理解のための授業だけでなく、通常の授業でも教科書『教養としての身体運動・健康科学』を用いるので、毎回持ってくる。毎回の授業における心拍数、体力テストの結果等も教科書に記入する。 通常授業での説明、教室での授業内容、科学的理解の授業、体力テスト等によって、セメスター末にレポートを提出する。			
成績評価方法	1 出席 身体運動・健康科学実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。 2 達成度 各自が選択履修している授業について、学習達成度の評価を行う。 3 体力テスト 4月と12月に行い、評価に含める。 4 レポート 通常授業での説明、教室での授業内容、体力テストの結果等を受けて、セメスター末にレポートを提出する。 5 その他 授業中にどのような態度で参加し、どのように自己の役割を認識し、実行しているか、学習内容をどれだけ理解しているのか、等を評価する。			
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 教養としての身体運動・健康科学 著者（訳者） 東京大学身体運動科学研究室編 出版社 東京大学出版会			
履修上の注意	種目選択後の種目変更は、特別な事情（病気、怪我等）が無い限り認めない。			
学習上のアドバイス	盗難が多いので注意する。体育館は、土足、飲食禁止。			
関連ホームページ	http://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/shintai/			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること				
時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30030	月 2	身体運動・健康科学実習Ⅰ	実技担当	1 年 文一二(4,23)文三(16-17)理一(7,10-11,17,20,26,38)
30429	火 3	身体運動・健康科学実習Ⅰ	実技担当	1 年 文三(18)理一(22-23,29-30,32,34-37,39)
30487	火 4	身体運動・健康科学実習Ⅰ	実技担当	1 年 文一二(13)文三(8,14,19-20)理一(24-25)理二三(1-3,7,17,21)
30692	水 3	身体運動・健康科学実習Ⅰ	実技担当	1 年 文一二(8,14,27)文三(9)理一(12,18-19,27)理二三(5-6,8)
30765	水 4	身体運動・健康科学実習Ⅰ	実技担当	1 年 文一二(16)理一(8,13-15)理二三(9-12,14-15)
30866	木 2	身体運動・健康科学実習Ⅰ	実技担当	1 年 文一二(1-3,5-6,24-25,28)文三(1-5,11) 理一(1-3,6,21)理二三(4,16)
30930	木 3	身体運動・健康科学実習Ⅰ	実技担当	1 年 文一二(9)文三(6)理一(4-5,9,16)理二三(13,18,22-24)
31161	金 3	身体運動・健康科学実習Ⅰ	実技担当	1 年 文一二(11,15,18-20,26)文三(7,10,12,15)理二三(20)
31216	金 4	身体運動・健康科学実習Ⅰ	実技担当	1 年 文一二(7,10,12,17,21-22)文三(13)理一(28,31,33)理二三(19)

身体運動・健康科学実習Ⅱ

身体運動・健康科学実習Ⅱ		開講区分	S	
授業の目標・概要	週1回の授業を通じて 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技能を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。			
授業計画	第1回 月曜3限または火曜2限で開講されている総合科目D系列「スポーツ・身体運動実習」の種目選択を実施する場所に集合し（場所は9号館前掲示板を参照）、この授業用に開講されている1種目（開講種目は未定）に登録手続きを行い、担当教員からガイダンスを受ける。 第2回以降 この曜限で開講されている種目での通常授業			
授業の方法	＊セメスター中に2度、身体運動の科学的理解を目的とした共通授業を行う。 基本的には自分の身体を動かして実習することが第一であるが、各種目により様々なアプローチがなされる。 セメスター中に2回、身体運動の科学的理解を目的とした共通授業を、通常とは別の場所で行う。教室での授業、身体運動の科学的理解のための授業だけでなく、通常の授業でも教科書『教養としての身体運動・健康科学』を用いるので、毎回持ってくる。			
成績評価方法	通常授業での説明、科学的理解のための共通授業等によって、セメスター末にレポートを提出する。 1 出席 身体運動・健康科学実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。 2 達成度 各自が選択履修している授業について、学習達成度の評価を行う。 3 体力テスト（未定） 4 レポート 通常授業での説明、共通授業等を受けて、セメスター末にレポートを提出する。 5 その他 授業中にどのような態度で参加し、どのように自己の役割を認識し、実行しているか、学習内容をどれだけ理解しているのか、等を評価する。			
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 教養としての身体運動・健康科学 著者（訳者） 東京大学身体運動科学研究室編 出版社 東京大学出版会			
履修上の注意	1 Aセメスターでクラス指定された「身体運動・健康科学実習Ⅱ」の履修登録を削除した者（2 Sで履修するため）に、および1 Aセメスターの「身体運動・健康科学実習Ⅱ」の単位未取得者が対象となります。			
学習上のアドバイス 関連ホームページ	盗難が多いので注意する。体育館は、土足、飲食禁止。傷害保険に加入することが望ましい。 http://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること				
時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30147	月 3	身体運動・健康科学実習Ⅱ(2S)	実技担当	2年 文科 理科
30307	火 2	身体運動・健康科学実習Ⅱ(2S)	実技担当	2年 文科 理科

身体運動・健康科学実習（メデikalケア）

身体運動・健康科学実習（メディカルケア）		開講区分	S
授業の目標・概要	週1回の授業を通じて 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体管理・操作技能を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。		
授業計画	第3回目までの授業は、クラス指定された身体運動・健康科学実習の曜限で受講する。体力テストは見学する。第3回目の種目選択で、履修する曜限を決め、第4回目以降からそのメディカルケアの曜限で受講する。		
授業の方法	各自の状態に合わせて、実習を行う。 基本的には自分の身体を動かして、実習することが第一であるが、各自の状態により様々なアプローチがなされる。教科書『教養としての身体運動・健康科学』を用いるので、毎回持ってくる。セメスター末にレポートを提出する。		
成績評価方法	1 出席 身体運動・健康科学実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。 2 達成度 各自の学習達成度について評価を行う。 3 レポート 授業での説明、実習内容、その結果等を受けて、セメスター末にレポートを提出する。 4 その他 授業中にどのような態度で参加し、どのように自己の役割を認識し、実行しているか、学習内容をどれだけ理解しているのか、等を評価する。		
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 教養としての身体運動・健康科学 著者（訳者） 東京大学身体運動科学研究室編 出版社 東京大学出版会		
履修上の注意	第1～3回目まで、クラス指定された身体運動・健康科学実習の授業に参加する。第4回目からメディカルケアコースの曜限に移行する。		
学習上のアドバイス	盗難が多いので注意する。体育館は、土足、飲食禁止。		
関連ホームページ	http://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること			

時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30003	月 1	身体運動・健康科学実習Ⅰ（メデikalケア3）	実技担当	1年 文科 理科
31819	月 1	身体運動・健康科学実習Ⅱ（メデikalケア3）	実技担当	2年 文科 理科
30232	月 5	身体運動・健康科学実習Ⅰ（メデikalケア1）	実技担当	1年 文科 理科
31820	月 5	身体運動・健康科学実習Ⅱ（メデikalケア1）	実技担当	2年 文科 理科
30292	火 1	身体運動・健康科学実習Ⅰ（メデikalケア3）	実技担当	1年 文科 理科
31821	火 1	身体運動・健康科学実習Ⅱ（メデikalケア3）	実技担当	2年 文科 理科
30597	水 1	身体運動・健康科学実習Ⅰ（メデikalケア2）	実技担当	1年 文科 理科
31822	水 1	身体運動・健康科学実習Ⅱ（メデikalケア2）	実技担当	2年 文科 理科

初年次ゼミナール文科の履修について

大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。

「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。

初年次ゼミナール文科はクラス指定の必修科目であり、以下の共通目標が定められている。

クラスごとに指定されたグループ（各2曜限）に開講されている授業のうち、1授業を選択して受講する。希望が集中した場合は抽選となる。本冊子とともに配布されたプリント「【重要】履修登録について」の該当箇所にしたがって、登録期間内に必ず履修希望登録を行うこと。なお、履修希望は必ず第8希望まで登録すること。

文科の2年生で初年次ゼミナール文科の単位を未取得の者は、科目登録方法が通常他クラス聴講等の手続きとは異なるので、同じく「【重要】履修登録について」を注意して読んでおくこと。

第1回授業時には、合同のガイダンスを行う。授業教室とは別の教室で行われるので注意すること。履修希望の授業を第8希望まで登録する必要があることから、できる限り指定されたグループの授業が行われる2曜限ともに出席することを勧める。ガイダンスが行われる教室については、掲示板等で告知する。

第2回授業時には、合同で、アカデミックマナーおよびアカデミックスキルに関するレクチャーと情報検索実習を行う。各自指定された曜限に授業を受けること。この回はカードリーダーで出欠を取るなので、必ず学生証を持参し、早めに教室に来ること。第2回授業の出席曜限の指定および教室の決定は概ね第1回授業時頃までに行い、掲示板等で通知する。

第3回目からは、少人数に分かれたクラスで授業が行われる。UTASにて決定された履修授業と教室を確認すること。

この授業の共通教材として『読む、書く、考える ―東京大学 初年次ゼミナール文科 共通テキスト―』を第2回目の授業時に全員に配布する。授業に持参するとともに、発表準備や論文執筆の前に熟読すること。

この授業に関する授業外サポートとして、大学院生が学習相談に応じるラーニングコモンズを21 KOMCEE West 地下のスペースで開く。開室時間や利用方法等については、授業時に告知する。

クラスごとの指定グループは下表のとおりである。

グループ名	開講曜限	対象クラス
グループ1	月4・水4	1年 文一二(4,6-7,28)文三(4,16,18)
グループ2	火1・木2	1年 文一二(10,19,26-27)文三(7,9,13)
グループ3	火3・木3	1年 文一二(8,12,14,17)文三(10,12,14)
グループ4	火4・金1	1年 文一二(1-3,5,11,15-16,22)文三(1-3,11,15)
グループ5	水2・金3	1年 文一二(13,21,24-25)文三(5,8,20)
グループ6	水3・金4	1年 文一二(9,18,20,23)文三(6,17,19)

初年次ゼミナール文科

グループ1 1年 文一(4,6-7,28)文三(4,16,18)

グループ1 1年 文一(4,6-7,28)文三(4,16,18)					
時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31727	月 4	名著から考える世界史	大塚 修	教養教育高度化機構	119 教室
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 歴史学における重要な作業の一つは、史料を正確に読解・分析し、それに基づいて論じることです。この授業では、歴史学研究で用いられる史料がどのようなものかを実際に体感し、それをどのような手法で扱い、分析していくのかについて学びます。具体的には、高校の世界史に登場する史料の中でも特に著名なもの（例えば池田嘉郎他編『名著で読む世界史 120』山川出版社、2016年に収録されている書物）の中から各自興味のある史料を選び、その日本語訳を一定の分量、通読します。そして、関連研究の成果を参照しながら、史料の性格について考察した上で、その史料を通じてどのような歴史が書けそうか、について考えます。さらに、その成果について報告・討論を行い、小論文を作成する作業を通じて、自分の考えを論理的に発信する能力を向上させることを目指します。 【学術分野】歴史学 【授業形態】ディシプリン型 文献批評型			
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。				
授業のキーワード	世界史、東洋史、西洋史、史料、イスラーム				
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook				
ガイダンス	第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

31728	月 4	現代哲学の最前線	國分 功一郎	教養教育高度化機構	516 教室
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 受験勉強を終えた今、すこし背伸びした勉強をしてみたいという学生もいることだろう。この授業では哲学の最新理論の一つ、「思弁的實在論」を学びながら、その気持ちに応えたい。具体的にはカンタン・メイヤサーというフランスの哲学者の著作『有限性の後で』をじっくりと読み解いていくことになる。これは哲学と科学の関係を根本から問い直すとともに、近代哲学の全体を批判した挑戦的な書物である。メイヤサーの問題意識を理解するために必要な近代哲学についての知識は授業の中で適宜補っていく。受講生は授業を通じて近代哲学についての理解を深めることができる。 【学術分野】哲学・科学史 【授業形態】文献批評型			
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。				
授業のキーワード	人文学、哲学、近代哲学、現代哲学、科学、思弁的實在論				
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook				
	書名	有限性の後で——偶然性の必然性についての試論			
	著者（訳者）	カンタン・メイヤサー（千葉雅也、大橋完太郎、星野太訳）			
	出版社	人文書院			
	ISBN	4409030906			
	その他	教科書は第3回の個別授業ガイダンスの後に入手すれば問題ない。もちろんあらかじめ入手して読んでおいてもよい。			
ガイダンス	第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

31729	月 4	東京の都心・副都心地域の変化と課題	松原 宏	教養教育高度化機構	K201
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 東京オリンピック・パラリンピックの開催は、東京の都心・副都心地域を大きく変貌させてきています。この授業では、都心・副都心地域から4地区を選び、地図作業や統計分析、現地調査を通じて、そうした地区の歴史的変化や現状についての理解を深めるとともに、今後の課題について考えていくことにします。 【学術分野】 人文地理学 【授業形態】 フィールド型			
成績評価方法		出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。			
授業のキーワード		東京、CBD、都心再開発、スマートシティ、クリエイティブ産業			
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook			
ガイダンス		第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31730	月 4	青年期の心理社会的問題を探究する	石垣 琢磨	教養教育高度化機構	120 教室
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 青年期は心理・社会的に大きな問題を抱えやすい発達段階であり、従来から「人生における疾風怒濤の季節」だと言われてきた。青年を取り巻く心理社会的環境について自らの力で探究することは、学生諸君にとっては自己認識を深め、将来を考える手段にもなり得よう。このゼミナールでは文献調査やインタビュー等の方法により、発達心理的・臨床心理学的側面だけでなく、教育、経済、法律などの諸側面から青年期を考えたい。 【学術分野】 心理・教育学 【授業形態】 ディシプリン型 フィールド型			
成績評価方法		出席、報告（口頭発表）および議論への貢献等の平常点と小論文（レポート）とで判断する。			
授業のキーワード		青年期、発達心理学、臨床心理学、教育、社会			
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook			
ガイダンス		第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31731	月 4	政治における因果関係	鹿毛 利枝子	教養教育高度化機構	118 教室
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 政治の世界において、「因果関係」とはどのように考えられるのだろうか。どのような条件の下でそれが「あり」、どのような条件の下でそれが「なかった」と判断できるのだろうか。この授業では、教科書（下記参照、ガイダンスの際にも説明）と受講者各自の選ぶ題材をもとに、考える。 【学術分野】 法・政治 【授業形態】 ディシプリン型			
成績評価方法		出席、グループや個人での発表、議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。			
授業のキーワード		政治学、因果関係、比較政治			
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook			
		書名 『原因を推論する』			
		著者（訳者） 久米郁男			
		出版社 有斐閣			
ガイダンス		第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31732	月 4	指標から社会を見る	岡田 晃枝	教養教育高度化機構	K402
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 国民がどれくらい幸せなのかを示す幸福度、国内社会がどれくらい民主的なのかを示す民主化度、国民がどれくらい自分の将来を自由に選択できる社会かを示す人間開発指数等、社会の質的側面を表す指標に注目する。それらの指標がどのような要素から構成されているかを知り、同程度の国家間の制度や社会状況を比較するなど、学術的な議論ができるようになることを目指す。 【学術分野】 国際関係 【授業形態】 ディシプリン型			
成績評価方法		出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。			
授業のキーワード		質的データ、量的データ、民主化度、幸福度、人間開発指数、政治的自由			
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook			
ガイダンス		第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31450	水 4	理論言語学と翻訳	渡邊 明	文学部	121 教室
授業の目標・概要	【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 翻訳においては正確さだけではなくわかりやすさも要求される。そうした状況で、理論言語学の知見から領域を限定し、それに関連して翻訳上具体的に生じる問題を言語学での観点から自ら定義し考察することによって言語分析の実際を体験することを目標とする。授業では、英語で書かれた書評論文から、日本語へ翻訳する際に注意が必要な箇所をこちらで抽出し、そこで使われている表現が日英語比較の分析上どのような具体的問題を提起するかを考察する小論文を作成してもらう。英語から日本語への翻訳では、ともすれば英語の文法的特徴に関心が向けられがちであるが、日本語の文法についての理解もそれに劣らず重要であることを体験してもらうことになるであろう。 【学術分野】言語学 【授業形態】ディシプリン型				
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。				
授業のキーワード	言語学、英語、日本語、疑問文、感嘆文、否定				
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31753	水 4	「偉人伝」を読む	永井 久美子	教養教育高度化機構	115 教室
授業の目標・概要	【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 子ども向けのものを含め、これまでに偉人伝に接してきた人は多いだろう。感動し、敬意を表する「純粋な」読み方も、もちろん存在する。ただしこの授業では、何が「偉業」とされ、それがどのような表現を用いて語られているかを、客観的に分析してもらう。その分析を通して、時代や社会が求める理想の人物像とは何かについて考察してほしい。 取り上げる伝記は各自が自由に選択するものとし、時代や地域は不問とする。評伝のほか、映画や漫画も分析対象としてよい。また、問題を論じるうえで必要な場合は、複数の人物や書物についての比較対照を行ってもよい。 授業では、選択したテーマの概要について各自に発表を行ってもらうほか、小論文の草稿についての意見交換を行うことを通して、最終課題の完成度を高めてゆく。 【学術分野】国文・漢文学 【授業形態】文献批評型				
成績評価方法	発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 草稿は期限内に提出されたもののみを評価の対象とする。				
授業のキーワード	人物伝、批評、問題意識				
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

31754	水 4	東京をフィールドワークする	田辺 明生	教養教育高度化機構	K302
授業の目標・概要 【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 この授業では、フィールドワークを通じて「問い」をたて「答え」を探究するための、文化人類学の基礎的方法を学んでもらう。受講生は自らの興味に基づいて「東京のいま」ととらえるための研究トピックを選び、それぞれフィールドワークを行う。まず自らのトピックについて文献調査を行い、フィールドワーク計画を作成する。その計画に基づいて、各自、参与観察やインタビューなどのフィールドワークを行う。そしてフィールドワークで得たデータを通じて、「問い」を立て直し、さらにその「答え」を導くことを試みる。 【学術分野】 文化人類学 【授業形態】 フィールド型 成績評価方法 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 授業のキーワード フィールドワーク、インタビュー、参与観察、文化人類学、東京 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。					
31755	水 4	国際関係について理論的に考える	湯川 拓	教養教育高度化機構	518 教室
授業の目標・概要 【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 国際関係論（国際政治学）という学問の見地から、国家間の協調と対立について理論的に考察する。具体的には、戦争・国際機構・地域主義・人権・内戦（平和構築）などのテーマについて考えることになる。最初に、研究者によって書かれた学術論文を読むことで「リサーチとは何か」という点を実感してもらったうえで、自分たち自身で研究を行い、それを報告し、最終的にはペーパーとしてまとめる。 「国際関係論」の専門的知識を養うことだけではなく、こうした作業を通して基本的なアカデミックスキル（適切なりサーチデザインを立てる、報告する、論文を執筆する）、特に論理的思考を身につけることを重視する。 【学術分野】 国際関係 【授業形態】 ディシプリン型 文献批評型 成績評価方法 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 授業のキーワード 国際関係、戦争と平和、国際制度 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。					

31756	水 4	経済事象における「因果」と「相関」	岡地 迪尚	教養教育高度化機構	102 教室
授業の目標・概要	【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 経済事象間の関係が、単なる相関であるのか、因果関係を有するのか、という点を見出すのは最も重要な分析の一つである。この授業では、我々が経済分析を行う際にどういう誤りを引き起こす可能性があり、それをどのようにして克服していくべきかを具体的な事例を用いながら学んでいく。 【学術分野】法・政治 経済・統計 社会・社会思想史 国際関係 歴史学 国文・漢文学 文化人類学 哲学・科学史 心理・教育学 人文地理学 【授業形態】ディシプリン型 フィールド型 文献批評型				
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。				
授業のキーワード	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 「原因と結果」の経済学 ― データから真実を見抜く思考法 著者（訳者） 中室牧子・津川友介 出版社 ダイアモンド社 ISBN 978-4-478-03947-2 その他				
ガイダンス	第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

グループ2 1年 文一(10,19,26-27)文三(7,9,13)

グループ2 1年 文一(10,19,26-27)文三(7,9,13)					
時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31733	火 1	食をめぐる語り	井坂 理穂	教養教育高度化機構	K501
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 この授業では、19世紀後半から20世紀前半にかけて日本で出版された料理書、家事指南書、食のあり方に関する評論などを手がかりとしながら、これらの記述の背景にある食の概念、栄養学・医学などの学問潮流、家族・ジェンダー観、国家・国民像などを探る。文献を丁寧に読み解きながら、その内容や背景に関する様々な問いをたて、それらの問いに答えるための方法を模索する。通時的な観点や地域横断的な観点も取り入れながら、多角的に考察したうえで、その成果を授業のなかで報告する。 【学術分野】 歴史学 【授業形態】 文献批評型			
成績評価方法		出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。			
授業のキーワード		食、日本、近代、ジェンダー、国民			
教科書		授業中に指示をする。／Will specify at class time			
ガイダンス		第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31734	火 1	日常生活の「当たり前」を再考する	関谷 雄一	教養教育高度化機構	115 教室
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 フィールドで要領よく情報収集をし、オリジナリティーにとんだ「発見」を導き出すためには、一定のアカデミックスキルに従って「問い」を組み立て、論理的に「答え」てゆく必要がある。 この授業では、文化人類学というディシプリンにおいて育まれてきた「問い」の立て方を学びながら、自らの生活時間・空間をフィールドに見立て、情報収集を行い、オリジナルで、かつアカデミックに意味のある「問い」を立て、それに対する「答え」を導き出す作業を行ってゆく。 この授業で重要な部分をなすフィールドワークは、日常生活の中で出会う場、空間、時間を援用しながら行ってみる。毎日乗る通学電車、好きな授業、部活動やサークル、アルバイト先、隣近所、SNS、行きつけのカフェ等が具体的には思い当たる。 こうした身近な生活時間・空間が、ちょっとしたアカデミックスキルや文化人類学的な視座を通して見つめなおすことにより、大きく「化ける」発見こそ、この授業を通して獲得してほしい事柄である。いまのところ、授業時間を使って皆でフィールドに出かけたり、特別な場を設けてフィールドワークをする予定はない。 自らの生活に埋め込まれている思わぬ「発見」は、地道なアカデミックスキルの獲得作業と先行研究分析により、かなり大きな確率で導かれることを理解してもらう。加えて、フィールドワークが、単なる量的な情報収集などではなく、人々との信頼関係や自らのフィールドへの持続的な働きかけにより、質的に大きく変わってゆくダイナミックな作業であることも理解してもらえよう、個々の学生の継続的かつ積極的な参加を促したい。 【学術分野】 文化人類学 【授業形態】 ディシプリン型 & フィールド型			
成績評価方法		出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。			
授業のキーワード		文化人類学、フィールドワーク、相対化、学際的視点、フィールドノート、エスノグラフィー			
教科書		授業中に指示をする。／Will specify at class time			
ガイダンス		第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31735	火 1	フランスを知る	谷本 道昭	教養教育高度化機構	116 教室
授業の目標・概要 成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 とりわけ 2015 年に起きた二回のテロ事件以降、フランス社会は大きく揺れ動き続けており、フランスに関心を持つ者も持たない者も、フランスの現状を知りさまざまに考察を深める必要に迫られている。そういった時流の中で、本演習では、担当教員の本来の専門であるフランスの文化芸術を直接的に取り上げることには控え、その前提となる社会そのものを学習、議論の対象としたい。 まずはフランスを論じる近年の日本語の著作、論文を精読し、「共和主義」「移民」「宗教」「教育」といった、今日のフランスを語るうえで欠かすことのできない用語や事象を理解していくことから始める。その後は履修者の希望や関心に配慮しながらトピックを選び、発展的な学習を進めていく。履修者には、調査報告、グループ発表などを行ってもらう予定。授業ではフランスを中心に扱うが、日本やその他の国の状況や事例と比較することでさらに理解を深め、そこから新たな問いを立てていくのも良いだろう。 【学術分野】 人文社会学 【授業形態】 ディシプリン型・文献批評型 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 フランス 現代社会 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31736	火 1	紛争と介入をめぐる諸問題	岡田 晃枝	教養教育高度化機構	KALS
授業の目標・概要 成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 現代の国際社会が直面するさまざまな問題のうち、紛争と介入をめぐる諸議論を取り上げ、文献を読み、批判的に検討しながら、学術的な論文の書き方と議論のあり方を学ぶ。主観的・直感的に「正邪」を議論するのではなく、事実関係を整理し、既存の議論をふまえた上で、「自分の」議論を説得的に展開できるようになることがこの授業の目標である。 【学術分野】 国際関係 【授業形態】 ディシプリン+文献批評型 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 紛争、軍事介入、人道的介入、和解、保護する責任、平和構築 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31737	火 1	法からみる世界と日本	北村 朋史	教養教育高度化機構	K301
授業の目標・概要 成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 日本は、安全保障、領土問題、戦後補償、通商紛争、難民問題等、様々な国際的課題に直面している。こうした課題について検討する視点もまた様々あるが、この授業では、法的な観点からこれら課題について考察する。こうした作業を通じて、学問的な「問い」の立て方やそれへの取り組み方、また報告や論文執筆の方法を学ぶ。リサーチと報告は、3～4名程度のグループで行う。小論文は、各受講生がさらにリサーチを進め、個人で執筆する。 【学術分野】 法・政治 【授業形態】 ディシプリン型、文献批評型 出席、報告および討論への貢献等の平常点、小論文で判断する。 世界、日本、法、国際法 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31757	木 2	歴史研究の現場に立つ——東洋史で 学ぶアカデミックスキル	杉山 清彦	教養教育高度化機構	115 教室
授業の目標・概要 成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 歴史学とは、人類の過去の営みの一面を史料に依拠して明らかにし、それに論理的説明を与える学問である。それゆえ、問題の発見にはみずみずしい好奇心が、史実の復元には史料に向き合う地道な努力と語学力が、そして問題の解決には柔軟な発想と論理構成力が不可欠である。そしてこの知的営みは、その根拠が「史料」であることを固有の特色とする以外、あらゆる学問的営為と共通している。このゼミナールでは、アジアを対象とする東洋史学の分野の中から、研究が塗り替わりつつあり、また学術的論争となっているトピックを取り上げて、研究文献を講読・検討する。それを通して、歴史学の方法を学ぶとともに、研究の現場を体験してもらいたい。 【学術分野】 歴史学 【授業形態】 ディシプリン型 文献批評型 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 歴史学、アジア、史料、実証、先行研究、歴史像 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31758	木 2	キルケゴール『不安の概念』を読む	古荘 真敬	教養教育高度化機構	118 教室
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 キルケゴールによれば、不安とは「自由のめまい」である。それは、われわれ人間が、動物的な直接性を生きたことをやめ、「可能性」という得体の知れないものに唆されながら存在せざるをえない以上、不可避免的に生じる「めまい」なのだ、と分析されている。そのような人間存在の根本構造の核心を、「性愛」や「罪」や「悪魔的なもの」との関連において考察した『不安の概念』(1844)は、20世紀の実存哲学を準備した人間存在論の古典である。この授業では、その論考の重要箇所を一緒に読解しながら、私たち人間のあり方の根っこに潜む不安な揺らぎの正体について共に考えてみたい。 本書は、けっして分かりやすい本ではない。キリスト教思想やヘーゲル哲学等に関する知識を前提したような、いささか独りよがりな書きぶりが、多くの読者を「挫折」させがちであるのも事実だろう。だが、自分たちとは異なる時代の異なる文化的伝統に属するこのような古典を苦勞して読むことを通して、必ずや、受講生の皆さんには、自分たちの人間理解と自己反省の幅を大いに広げるチャンスが与えられるに違いないと信じている。 授業は、キルケゴールのテキストの講読演習という形式をとって展開するが、目ざされているのは、単なるテキスト解釈ではなく、受講生各自が自分の問いを発見し、その問いを深く論理的に掘り下げていく修練を重ねてもらうことである。 【学術分野】 哲学・科学史 【授業形態】 ディシプリン型 文献批評型 成績評価方法 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 授業のキーワード 教科書 キルケゴール、不安、自由、デモニッシュなもの 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 『不安の概念』 著者（訳者） セーレン・キルケゴール 出版社 平凡社ライブラリー ISBN 4582768822 ガイダンス 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31759	木 2	セルバンテス作『ドン・キホーテ』を精読する	竹村 文彦	教養教育高度化機構	149 教室
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 スペインの作家セルバンテス（1547-1616）の手になる『ドン・キホーテ』（前篇 1605、後篇 1615）は、近代小説の元祖と評価され、フロベールやドストエフスキーをはじめとする世界の名だたる作家たちに多大な影響を与えてきた。この授業では、『ドン・キホーテ』前篇の抜粋を日本語で精読しながら、本作品のどこがそんなにすばらしいのか、古典文学を研究するとはどのような行為なのか、今日古典を読むことの意義は何なのか、といった問題を考えてゆきたい。また、これまでになされてきたこの小説の翻訳の比較検討も試みたい。 【学術分野】 外国文学 【授業形態】 文献批評型 成績評価方法 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 授業のキーワード 教科書 近代小説、書物と現実、語りの技法 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 セルバンテス 著者（訳者） セルバンテス（野谷文昭ほか） 出版社 集英社 ISBN 978-4-08-761046-8 その他 集英社文庫ヘリテージシリーズ ポケットマスターピース 13 ガイダンス 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31760	木 2	福沢諭吉『学問のすゝめ』を リライトする	徳盛 誠	教養教育高度化機構	116 教室
授業の目標・概要 【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 『学問のすゝめ』は、福沢諭吉が明治維新後の混乱期を生きる若者を念頭に、生活や行動のごく身近な事柄から政府や法律、国際関係の見方に到る大小さまざまな問題を、一個の人間としてどう生きるかという観点から、ていねいにまた生き生きと論じ、大きな反響を呼んだ著作である。しかしながら150年近い時代の変遷は、この書物を、名は知られていても実際には読まれることの少ない「古典」にしてしまっている。この授業では、2020年代の若い人に力ある書物として『学問のすゝめ』を再生させたい。 その目的に向けて、『学問のすゝめ』の精読を基礎としつつ、その諸々の表現や取り上げる事例、場合によっては思想をも対象として全面的な書き換えを試みる。 【学術分野】法・政治 経済・統計 社会・社会思想史 国際関係 歴史学 国文・漢文学 文化人類学 哲学・科学史 心理・教育学 人文地理学 【授業形態】ディシプリン型 フィールド型 文献批評型 成績評価方法 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 授業のキーワード 福沢諭吉、『学問のすゝめ』、近代、日本思想、リライト 教科書 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 学問のすゝめ 著者（訳者） 福沢諭吉 出版社 岩波書店 その他 岩波文庫 ガイダンス 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。					
31761	木 2	政治哲学を通じて論理を学ぶ	井上 彰	教養教育高度化機構	117 教室
授業の目標・概要 【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 政治哲学においては、自由、正義、デモクラシー（民主主義）といった概念・理念をめぐる、様々な論争が展開されてきた。本演習では、そうした政治哲学の鍵概念を中心に、（広い意味での）政治のあるべき姿についての根本的理解を深め、アカデミックな作法・技法、すなわち、批判的読解や自ら論証的議論を展開するための方法について学習する。 【学術分野】社会・社会思想史 【授業形態】文献批評型 成績評価方法 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 授業のキーワード 政治哲学、批判的読解、論証的議論 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。					

31762	木 2	社会科学における仮説の設定と その検証	木宮 正史	教養教育高度化機構	KALS
授業の目標・概要 成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス		【共通目標】大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を強調し、学ぶ姿勢の根本的な転換を図る。「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、学ばせる。また、学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解させる。そして「問い」の「答え」を導くに当たり、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃を含む）、議論と根拠の関係、などといったより基礎的な作法の習得、また図書館などの研究リソースの利用方法の習得を全体に対しておこなう。 【この授業の目標・概要】大学に入って社会科学を専攻するというのがどういうことであるのか、そうした理解の手がかりをつかむことを目標とする。政治学という特定のディシプリンに限定するというのではなく、広く社会科学全般の方法論に基づいて政治という現象を理解することを目的とする。そのうえで、以下の点について、各自が、授業における指導や学生相互の評価などを通して、自分の能力を切磋琢磨することを目標とする。 ① 課題の発見能力：自分のオリジナルな課題設定が求められる。「驚き」（自分の持っていた常識では測りきれない現実と直面する）とそれに対する社会科学的な認識（なぜ、そうした「驚くべき」現象が起こったのか。また、なぜ、従来の「常識」では、そうした新しい現象がおこることを予測し、理解することができなかったのか。） ② 仮説の提示能力：問題意識をいかに具体的な仮説に転換することができるか。問題意識を「仮説」という形で設定し直し、それを実証していくという作業に取り組む。仮説というのは、最も簡単な形では、2つの変数（事象）を見つけて、その2つの変数が、どのような条件のもとで、どのような関係（因果関係や相関関係など）にあるのかを提示することである ③ 調査・資料収集能力：いかに「汗を流して」自分の考え方を確かなものにする地道な作業を根気よく行えるか。(1)先行研究にあたる。(作成した文献リストを活用し、重要なものを中心に当該問題に関して、どのような議論が展開されているのか、どのような争点が存在するのかを中心に整理する。)(2)具体的な資料・データを集めて、それを検討する。仮説を実証するためには、どのような資料やデータが必要なのか。そして、そうした資料やデータはどこから入手するのか。また、そうした資料をどのように解釈するのか。 ④ 発表：いかに相手（特に自分とは意見を異にする人）を納得させられるか。レジュメの書き方や提示資料の選択を工夫することによって、いかに聴衆を飽きさせずに、興味関心を共有できるような発表を行うか。 ⑤ 論文の作成：自分の意見や構想を一方的に発表して、それで自己満足に浸るだけではだめである。自分の意見がなぜ正しいのか、もしくは説得力を持つのかを、具体的な証拠を提示することによって示す。 【学術分野】法・政治 【授業形態】ディシプリン・フィールド融合型 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する 社会科学、仮説、検証、丸山真男、相互評価 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

グループ3 1年 文一(8,12,14,17)文三(10,12,14)

グループ3 1年 文一(8,12,14,17)文三(10,12,14)					
時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31738	火 3	科学史の基礎	橋本 毅彦	教養教育高度化機構	118 教室
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 科学の歴史について、その概要と問いの立て方について学ぶ。古代から現代に至るまでの科学の歴史を大きく4つの時期（テーマ）に区分して、それぞれの時期における科学の発展に関する概観、その時期の科学史に関する諸問題について学び、科学史に関する研究論文（二次史料）、その時期の科学の文献（一次史料）を読解する。 4つの時期・テーマは、古代・中世における科学、近代の科学革命、19世紀の科学の発展、そして20世紀の科学史からは特に原爆開発を取り上げる。それぞれのテーマについて基本的な内容の説明を受けた後、受講者は科学史の研究文献（二次史料）を読解する。その後受講者は、一次史料を参考にしつつ、科学の歴史に関して自らの問いを見いだすことを目指す。 授業を通じて、科学の歴史に対する問いの立て方、科学史の問題に関するいかなる解答があるのかを学ぶ。 【学術分野】 哲学・科学史 【授業形態】 ディシプリン型			
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。				
授業のキーワード	科学史、科学革命、ガリレオ、進化論、原爆開発				
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 <科学の発想>をたずねて 著者（訳者） 橋本毅彦 出版社 左右社 ISBN 978-4903500423				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

31739	火 3	祭りを読む	沖本 幸子	教養教育高度化機構	115 教室
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 祭りに関心を寄せる学問はさまざまです。文学、歴史学、民俗学、社会学、文化人類学、民族音楽学、宗教学などなど。祭りがその地域の風土、暮らし、歴史、信仰などと深く関わっているからです。日本の祭りは、その土地で生きる人たちが、身の回りの自然や死者（祖先）たちとどう向き合い、生き合うか、という中ではぐくまれて来ました。そして、そうした感性が、能などの古典芸能や文学を支えてもいます。現代の都市に生きる人々とは異なる感性や美意識がそこにはあり、そうした感性や、そこに託された思想を探究することは、今ここに生きる私たちを相対化する座標軸を育て、自分たちの立ち位置を知ることでもあります。この授業では、特に祭りや芸能などの身体化された事象に注目しながら、日本文化を多角的に見るまなざしを養っていきたいと思います。 【学術分野】 法・政治 経済・統計 社会・社会思想史 国際関係 歴史学 国文・漢文学 文化人類学 哲学・科学史 心理・教育学 人文地理学 【授業形態】 ディシプリン型 フィールド型 文献批評型			
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。				
授業のキーワード	祭り、芸能、身体、自然、共同性				
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

31740	火 3	学びの心理学 ー学ぶ・教える・測るー	椿本 弥生	教養教育高度化機構	K402
授業の目標・概要 【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の背景・目的】 複雑さが増すこの社会において、他者と協調しながら学ぶこと、自らの学びを俯瞰し調整すること、他者の学びを支援すること、よりよく教えることなどの重要性も増している。しかし一方で、学んだり教えたりする行為は、さまざまな心理的・物理的要因などからうまくいかない場合も多いことが明らかになっている。この授業では、学ぶこと（学習）や教えること（教授）に関わる国内外の研究知見を参考にしながら、これまでも、そしてこれからも私たちの身近な存在であり、教育心理学の代表的な一分野でもある「教授・学習」を研究する方法を習得することを目的とする。具体的には、履修者各自で興味関心を活かした「問い」を設定し、「答え」を明らかにするための小規模な実験や調査を考えて実施してもらう。得られたデータを分析し、「問い」に対する「答え」を導いてほしい。 データ分析に自信がない人も、教員やTAが基本事項を講義・指導するため心配しなくてもよい。学びについて学術的に考えてみたい人は積極的に履修してほしい。 【この授業の目標】 以上の概要をふまえて、以下の学習目標を設定する。 ・教授・学習を研究するための問いを設定できる ・問いを明らかにするための研究方法を設定できる ・得られたデータを適切に分析できる ・分析の結果を正しく読み取り、妥当な解釈ができる ・討論や報告によって他者の学習に貢献できる ・学術論文の構造をもった小論文を執筆できる 【学術分野】 心理・教育学 【授業形態】 ディシプリン型 フィールド型 成績評価方法 研究報告および議論への貢献等の平常点 および小論文の合計点数で評価する。 a) 平常点（授業中の活動への参加・グループへの貢献）：40点満点 b) 小論文：60点満点 注1）単位取得のためには、i）a,bともに60%以上得点していること、ii）講義に2/3以上出席していること、の両方を満たす必要がある。 注2）特別な理由なく30分以上の遅刻・早退があった場合は、出席とみなさない。 注3）平常点と小論文の評価基準は、授業内で示す。適切な基準を作成するために、小論文の仮提出を求める場合がある。 授業のキーワード 学びの方法（学習方略）、いかに教えるか（認知支援）、学習・教授効果の測定、高次認知過程、メタ認知、データ分析 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。					
31741	火 3	国際法の視点から現代の国際的課題 を分析する	キハラハント 愛	教養教育高度化機構	KALS
授業の目標・概要 【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 世界は今、紛争の形態の変化、テロリズム、増える難民、安全保障制度の変化、気候変動など、様々な課題を抱えている。これらの課題について、法的な観点から考察し、その作業を通じて、文献の批判的な読解、学問的な「問い」の立て方、「問い」への答えの追求の仕方、批判的かつ建設的なディスカッション、研究の過程・結果の報告や論文執筆の方法を学ぶ。 【学術分野】 法・政治 【授業形態】 ディシプリン型 文献批評型 成績評価方法 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 授業のキーワード 国際法、国際的課題、紛争、難民、人権 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。					

31742	火 3	「グローバル化」における「不平等」と 「貧困」を考える	中西 徹	教養教育高度化機構	117 教室
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 「グローバル化」が進む中、ビケティやハラリが指摘したように、地球規模での「不平等」と「貧困」の問題が深刻化しつつある。この授業では、この問題を様々な観点から考察したい。 【学術分野】経済・統計 【授業形態】ディシプリン型 成績評価方法 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 授業のキーワード グローバル化、不平等、貧困 教科書 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 『21世紀の人類のための21の思考』 著者（訳者） ハラリ、ユヴァル・ノア（柴田裕之訳） 出版社 河出書房新社 ISBN 978-4-309-22788-7 ガイダンス 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31763	木 3	日本と東アジアの歴史 ー 前近代の国際関係	渡辺 美季	教養教育高度化機構	117 教室
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】史料および関連する文献（先行研究）の分析に基づいて立論するという歴史学の手法を、初歩的なレベルで身に付ける。具体的には、重要史料の抜粋に解説を付した『世界史史料集』（岩波書店）に収録された、前近代東アジアの国際関係に関わる史料（日本に関わるものを多く取り上げる）の中から、各自が興味・関心を持つものを選び、それに関する先行研究を読みつつ興味・関心を発展させ、報告および小論文の形でまとめ、発信する手法を学ぶ。 【学術分野】歴史学 【授業形態】ディシプリン型、文献批評型 成績評価方法 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 授業のキーワード 歴史学、史料、国際関係、日本、東アジア、前近代 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31764	木 3	三島由紀夫と戦後日本	田尻 芳樹	教養教育高度化機構	115 教室
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探索する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 2020年は日本の戦後文学を代表する作家三島由紀夫が衝撃的な割腹自殺を遂げてちょうど50周年に当たります。文壇のスターとして戦後脚光を浴び続けた三島でしたが、復興し経済発展を続ける日本の姿に強い違和感を感じていました。それは自らの存在に関する「ニヒリズム」ともつながっていました。この授業では彼の代表作『鏡子の家』（昭和34年）を読むことで、彼が見据えていた戦後社会の問題、さらにはより哲学的な、「世界の存在」の問題を考える糸口にしたいと思います。というのも彼が抱えていた問題は現代の問題に通じるところが非常に多いからです。三島由紀夫という『金閣寺』が真っ先に思い浮かぶ人が多いかもしれませんが、あの作品は実はきわめて難解です。それに比べ、三島自身も最も評価していた『鏡子の家』は構造が単純で読みやすく、かつ彼自身の思想がよりストレートに表現されている面があります。授業の前半はこの作品を読み、後半はこの作品へのさまざまな批評、研究を読みます。そして最終的に文学作品をアカデミックに研究する方法も会得していただきたいと思います。 【学術分野】国文・漢文学 【授業形態】文献批評型 成績評価方法 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 授業のキーワード 戦後日本、文学、三島由紀夫 教科書 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 鏡子の家 著者（訳者） 三島由紀夫 出版社 新潮文庫（改版） ISBN 978-4101050065 ガイダンス 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31765	木 3	芥川龍之介を読む	出口 智之	教養教育高度化機構	116 教室
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探索する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 高校の国語科でも多く扱われる教材「羅生門」を書いた芥川龍之介の短篇小説を取上げ、小説テキスト分析の基本的な考え方および文学研究の基礎を実践的に学ぶ。扱う作品については、学生から希望があればそれを生かしつつ、教員からも候補を提示し、最終的には授業の中で決定する。著名作からマイナーな作品まで、様々な芥川の作品を読んで作家への理解を深めつつ、これまでの国語とは異なる、創造的な読解の面白さを体感してほしい。 【学術分野】国文・漢文学 【授業形態】文献批評型 成績評価方法 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 授業のキーワード 日本近代文学、芥川龍之介、テキスト分析、文芸批評 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31766	木 3	映画と諸芸術	谷本 道昭	教養教育高度化機構	K301
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 古くから第七芸術ー建築、彫刻、絵画、音楽、詩、舞踊に次ぐ芸術ーと称されてきた映画は、実際、その誕生直後から先行する諸芸術と緊密に結びついてきただけでなく、新興芸術として、既存の技芸や新たな技術を貪欲に丸呑みしていくことで発展してきたといえる。今日の映画・映像表現を見れば、そこにいかに豊かで雑多な情報・記号が含み込まれているかを誰もが直感的に体感することができるだろうが、画面上ですべてを人工的に生成することのできる時代であればこそ、映画・映像がどのように構成されているのかを論理的、理知的に捉える能力を養う必要があるように思える。そのためには一度すべてを忘れ去り、原点に立ち返るほかない。 本演習では、まず、1895年のリュミエール兄弟による映画発明の時点、さらには映画発明以前の映画前史の時代にまで遡り、映画と諸芸術の関係をその起源から捉え、理解していく。その後は、メリエスによる初期SF、エミール・コールによる初期アニメーションから、無声映画の古典までを取り上げ、映画と諸芸術の関係の発展を追う。履修者がある程度の映画史的常識を身につけることができれば、現代まで視野を広げ、グループワーク、ディスカッションなどを行いつつ、映画と諸芸術の関係について、教室全体でより自由に議論を深めていくこととしたい。 【学術分野】映画・映像文化論 比較芸術論 【授業形態】ディシプリン型・フィールド型 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。			
成績評価方法		映画 映像文化論 比較芸術論			
授業のキーワード		教科書は使用しない。／Will not use textbook			
教科書		書名 『映画とは何か』上巻 著者（訳者） アンドレ・バザン 出版社 岩波書店・岩波文庫 ISBN ISBN-10: 4003357817			
ガイダンス		第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31767	木 3	ディレンマとつきあう平和構築	中村 長史	教養教育高度化機構	KALS
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 武力のせいで平和がこわれることもある一方で、武力によって平和がつくられることもある。このすっきりとは割り切れないディレンマこそ、戦争と平和の学問として出発した国際政治学が抱え続けてきた最も大きな難問の一つといってよい。そして、このようなディレンマは、国際政治の至るところにみつけることができる。 この授業では、国際政治学の一分野である広義の「平和構築」に焦点を当て、そこにみられるディレンマの分析を通して、国際政治の構造自体を理解することを目指す。具体的には、平和な状態の回復を目指す政策（人道的介入、対テロ武力行使、人道支援、仲介など）、維持を目指す政策（平和維持活動など）、定着を目指す政策（狭義の平和構築活動＝国家建設、国際刑事裁判、和解など）を扱う。 履修者が学期末に到達することを期待される目標は、以下の6点である。 ①平和構築に関する専門的な文献の意義や問題点を指摘することができる（課題文献の輪読で訓練⇒小論文に活かす） ②平和構築に関する資料や文献を自ら適切に収集することができる（紛争ケースブック作成で訓練⇒小論文に活かす） ③懐疑的な読者の存在を常に意識して、予想される反論にあらかじめ応答することができる（ディベートで訓練⇒小論文に活かす） ④平和構築のあらゆる段階に存在するディレンマについて、何が問題かを事例を挙げて説明することができる（すべての回で訓練⇒小論文に活かす）。 ⑤平和構築のあらゆる段階に存在するディレンマについて、それが生じる原因を事例を挙げて説明することができる（すべての回で訓練⇒小論文に活かす）。 ⑥平和構築のあらゆる段階に存在するディレンマについて、それを管理したり解決したりする方法を事例を挙げて説明することができる（すべての回で訓練⇒小論文に活かす）。 【学術分野】国際関係 【授業形態】ディシプリン型 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。			
成績評価方法		平和構築、国際政治、ディレンマ、紛争ケースブック、ディベート、実証			
授業のキーワード		教科書は使用しない。／Will not use textbook			
教科書		第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
ガイダンス					

グループ4 1年 文一(1-3,5,11,15-16,22)文三(1-3,11,15)

グループ4 1年 文一(1-3,5,11,15-16,22)文三(1-3,11,15)					
時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31743	火 4	史料を通じて知る 1950 年	外村 大	教養教育高度化機構	115 教室
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 現代史の史料に接し、わからないことがあった場合にはどのように調べるか、そこから何が読み取れるかなどの歴史史料の扱い方の基礎を習得する。今回の授業では、1950年に書かれた、ないし1950年を回想して書かれた、日本社会に関する史料を読んでいく。それを通じて、歴史のなかでのこの時期の位置、この時代の人びとがどのようなことを経験し、それについてどのように考えていたのか、今日それがどのような意味を持つのかを、考え、議論していく。 【学術分野】 歴史学 【授業形態】 ディシプリン型 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。			
成績評価方法		史料、冷戦、戦後、民主化、経済復興			
授業のキーワード		教科書は使用しない。／Will not use textbook			
ガイダンス		第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31744	火 4	哲学の古典を読む	山本 芳久	教養教育高度化機構	116 教室
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 哲学の古典を原典に即しながら丁寧に読み解いていく力を身につけていくことを目標とします。具体的には、西洋を代表する哲学書の一つであるトマス・アクィナス(1225-1274)の『神学大全』を、日本語訳で講読します。テーマは「感情について」です。一人では読み解きにくい哲学書を読み解くための技法を、みなさんが毎日抱く具体的な「感情」という身近なテーマに即しながら説明していきます。 【学術分野】 哲学・科学史 【授業形態】 文献批評型 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。			
成績評価方法		西洋哲学、倫理学、キリスト教、トマス・アクィナス、『神学大全』、感情			
授業のキーワード		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook			
教科書		書名 『トマス・アクィナス 肯定の哲学』			
著者（訳者）		山本芳久			
出版社		慶應義塾大学出版会			
ISBN		978-4766421712			
ガイダンス		第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31745	火 4	聖火リレーと江戸名所	田村 隆	教養教育高度化機構	KALS
授業の目標・概要 【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探索する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 来る東京オリンピックの聖火リレーは3月26日に福島県からスタートし、7月10日から24日にかけて東京都内を走る予定であるという。この授業では聖火リレーの東京ルート各区分に選ばれた「江戸名所」を取り上げ、『江戸名所図会』などの古文書を繙きながら古典から現代までの「名所」の今昔を追ってみたい。江戸時代には江戸や京都などの「名所」を解説する「名所図会」のシリーズが編まれた。そこでは『源氏物語』や『伊勢物語』などの古典も引用される。たとえば「隅田川」を例にとれば、本郷から隅田川へ続く「言問（こととい）通り」は『伊勢物語』の「いざ言問はん都鳥」に由来するし、お台場を走る「ゆりかもめ」の命名も元をたどれば「都鳥」に行き着く。「名所」の歴史をたどることを通じて、今の街の姿を再考し、あわせて古典に対する理解を深めるきっかけにしてほしい。 【学術分野】 国文・漢文学 【授業形態】 ディシプリン型 フィールド型 成績評価方法 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 授業のキーワード オリンピック、聖火リレー、名所図会、古典、都市、地図 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。					
31746	火 4	現代民主主義の思想的問題	森 政稔	教養教育高度化機構	117 教室
授業の目標・概要 【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探索する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 民主主義とは何か、については高校の公民科教科書などで触れられ、一応は勉強したことになっている。しかし、現代世界の政治で実際に民主主義がどのように作用しているのかを考えると、教科書的理解とはまるで異なることが生じているようである。このところ欧州での難民問題、排外主義的ポピュリズムの台頭など、民主主義をめぐる困難な問題が相次ぎ、さらに日本と韓国、中国など東アジアの国々における対立が深まっており、民主主義がこれらの問題に対処できるかどうか深刻に問われるようになった。本年はそれらと関係の深い現代民主主義の関わるテーマを3つ設定する。 1.近年のポピュリズムを中心とした民主主義の諸問題の検討。民主主義は危機と言われるなかで生き残れるかを考える。 2.ポスト資本主義：資本主義はこれまでどのように変質してきて、これからどのように変化するかを、社会の多様な側面(労働、地域、エコロジーなど)から考える。 【学術分野】 社会・社会思想史 【授業形態】 文献批評型 成績評価方法 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する 授業のキーワード 成熟社会、資本主義、ポピュリズム、民主主義、多文化社会、経済発展と民主化 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。					

31848	火 4	UTAS を参照	河合 玲一郎	教養教育高度化機構	E42 教室
授業の目標・概要 【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 UTAS を参照 【学術分野】 UTAS を参照 【授業形態】 UTAS を参照 成績評価方法 UTAS を参照 授業のキーワード UTAS を参照 教科書 UTAS を参照 ガイダンス 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。					
31448	金 1	歴史としての東大紛争	鈴木 淳	文学部	119 教室
授業の目標・概要 【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 何が史料でどのように用いるべきなのか、背景や因果関係をどうとらえるかなどの歴史研究の手法と大学とは何かという問題を意識しながら、実証的に報告し、建設的に批判し、レポートを書く手法を学ぶ。具体的には1968～69年の東大紛争（主体的に参加した者にとっては「東大闘争」）を取り上げる。 東大紛争の発端は、医学部卒業生の無給インターン制度廃止を求める医学部生の運動である。インターン制度に代わるものとして厚生省が提案した登録医制度に対しても反対運動が起こり、これをめぐって行われた学生処分抗議する医学部生の一部と他大学の活動家学生が1968年6月に第一次安田講堂占拠を行う。大学当局は機動隊に出動を要請して講堂の封鎖を解除した。この機動隊導入に対して全学的な学生の怒りが巻き起こり、7月には第二次安田講堂占拠に至る。安田講堂を「解放講堂」として自主管理し始めた学生たちは自らを全学共闘会議（全共闘）と称した。10月にはすべての学部が無期限ストライキに入る。駒場では第八本館（現八号館）等が全共闘によって封鎖された。社会における東京大学という存在および東大生である自分自身に根本的な疑問を抱いた全共闘の学生は、大学当局との妥協を拒否し、1969年1月18・19日機動隊との安田講堂攻防戦に至った。同年の東大入試は中止される。一方で、日本共産党影響下の日本民主青年同盟（民青）を中心とする、「大学民主化」を目指す学生たちは、大学当局と交渉の末1969年1月10日に「確認書」を交わす。その後東大全共闘は全国の学園闘争との連携を強めたが、東大各学部では順次ストライキが解除された。 以上の過程は、ベトナム戦争、中国の文化大革命、1960年・1970年の日米安保条約改定・延長といった国際情勢を背景とする。そして、学内外の諸勢力、治安当局や管轄官庁、大学当局など様々な主体の意向が交錯して、東大紛争は進行する。諸主体の対立はしばしば暴力に発展し、暴力的な状況は男女学生の性別役割分担を強化することもあった。こうした事情から、東大紛争・闘争の過程に関して書かれる／語られる内容は、書く／語る主体や目的・時期によって大きく異なる。本演習では、東大紛争に関する様々なビラ・当局文書・新聞記事・回顧録等について、史料としての性格を意識しながら内容を読み比べ、何らかの論点（「問い」）を見出し、根拠に基づいて既存の歴史叙述を批判し、自らの発見を実証的に叙述することを目指す。 歴史は客観的に描くことが求められるが、担当教員の専門である日本史、特に近現代史を、日本で暮らしてきた人が客観的に描くことは困難である。しかし、それを実証的に描くことで解釈を異にする人々との具体的な対話の意義を高めることは可能であり、それが学問の力である。諸君に身近となる東大を舞台とし、大学のありかたや存在意義を争点として繰り広げられた紛争の歴史も第三者的に眺めることは困難かもしれない。しかし、そうであるが故に史料に基づいて実証的に論じることの意義が理解しやすく、また本学で学ぶことの意味を考える手がかりも得られるのではないかと期待する。 【学術分野】 歴史学 【授業形態】 ディシプリン型 成績評価方法 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 授業のキーワード 史料、東大紛争、東大闘争、学生運動、新左翼（ニューレフト）、安田講堂 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。					

31452	金 1	史料/資料から読む歴史	河野 正	社会科学研究所	115 教室
授業の目標・概要 【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 歴史学における重要な2本の柱は、①先行研究の整理と②史料読解である。本ゼミナールでは双方を通じて歴史学の研究手法を初歩的に理解することを目指す。 ①については諸分野の近年の研究成果について検討をおこなう。ここでは、参加者自身が自分の問題関心のもとに文献を自ら探してくることも想定している。②については歴史学研究会編『世界史史料』（岩波書店、2006～2013）所収の史料や教員自身が翻訳した史料など、日本語で読む事ができる史料について読解をおこなう。 参加者に対しては①か②について発表を義務付ける。そのため本授業は上で挙げた目標のほか、レジュメ作成や発表方法を身につけることも目標とする。 【学術分野】歴史学 【授業形態】ディシプリン型・文献批評型 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス 史料読解、文献購読、一次史料 授業中に指示をする。／Will specify at class time 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。					
31768	金 1	古典をいかに読むのか—井筒俊彦の読み方を手がかりに	三村 太郎	教養教育高度化機構	120 教室
授業の目標・概要 【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 大学での学習では、文献を批判的に読み解いたうえで問いを立てることがたえず求められる。とはいえ、文献の批判的な読解はみなさんにとってなじみのないものかもしれない。そこで本授業では、様々な文明圏において残されてきた古典を精密に読み解いてきた先人たちの読み方を学ぶことで、文献の批判的な読解の手がかりを得ることを目指す。具体的には、稀代の古典の読み手である井筒俊彦がイスラームの聖典『クルアーン』を精密に読み解いた『コーランを読む』および『クルアーンにおける神と人間』を読みたい。 【学術分野】哲学・科学史 【授業形態】文献批評型 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス 井筒俊彦、イスラーム、古典読解 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。					

31769	金 1	社会史の世界	土屋 和代	教養教育高度化機構	117 教室
授業の目標・概要 【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 授業の前半では、アメリカ近現代史・西洋史を中心に、社会史が登場した背景、その射程、限界と可能性について基本文献を読みながら学ぶ。後半では、自らが設定した研究課題に関する文献を読み、批評する力、先行研究の整理の仕方、論の組み立て方、史料収集・解析の方法、注や参考文献の書き方を学ぶことで、論文を書くための方法を修得する。 【学術分野】歴史学 【授業形態】文献批評型 成績評価方法 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 授業のキーワード 歴史学、人種・エスニシティ、階級、ジェンダー、史料、問いの設定 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。					
31770	金 1	自由の境界と国家～歴史と社会科学 からの探究	伊藤 武	教養教育高度化機構	118 教室
授業の目標・概要 【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 現代の世界は、ポピュリズムの伸長、民主主義の後退（backsliding）、移民難民問題をめぐる亀裂の高まりなど、さまざまな危機に見舞われていると言われます。その背景には、経済的社会的に反映した先進国では当たり前前に確立されているとされた「自由」をめぐるパラドクスが存在します。自由の前提となる安全（security）を達成するには、強力な国家（「リヴァイアサン」）が不可欠です。しかし、国家が強くなり政治権力の専横や独裁国家が生じて、国家が弱くなり無政府状態（アナーキー）に陥っても、自由と安全は実現しません。自由の確立には、国家と社会、個人の微妙な対抗関係とバランスが必要なのです。 この授業では、最近刊行された定評ある国家形成と統治の質に関する本を手がかりに、そのようなパラドクスの問題と原因を「読み」解き、課題や解決策を「論じ」合い、考え抜いた議論と分析を「書く」ことを目指します。最終的には、皆さん自身が選んだテーマについて、しっかりとした書評（論文）を書くことを目標とします。 一見敷居の高い専門書の理解は難しいですが、クラスでの議論に加えて、TA や担当教員が事前の面談や事後の添削・コメントなどを通じて丁寧に指導します。 歴史から政治学・経済学など社会科学など多様な学問分野、ヨーロッパからアジア、アフリカ、アメリカなど多様な地域を横断する、重要な意義のあるテーマを扱います。科類に囚われず、幅広い関心を持つ方を歓迎します。 【学術分野】法・政治 （歴史・社会・経済とも関連する境界領域を扱います。 文理や科類を問わず関心のある方を歓迎します） 【授業形態】ディシプリン型 文献批評型 成績評価方法 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 授業のキーワード 自由、自由主義、国家、社会、セキュリティー、集合行為 教科書 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 『自由の命運—国家、社会、そして狭い回廊』上・下 著者（訳者） ダロン・アセモグル、ジェームズ・A・ロビンソン（櫻井祐子・訳） 出版社 早川書房 ISBN 9784152099105、9784152099112 その他 各自大学生協などで購入して持参してください。 ガイダンス 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。					

グループ5 1年 文一(13,21,24-25)文三(5,8,20)

グループ5 1年 文一二(13,21,24-25)文三(5,8,20)					
時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31748	水 2	駒場の歴史を歩く	田中 創	教養教育高度化機構	534 教室
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 駒場キャンパス内外にある歴史的モニュメントや遺構をきっかけとして、東京大学駒場キャンパスとその前身である旧制第一高等学校の歴史および渋谷・目黒・世田谷といった周辺地域の歴史を調べる。最終レポートでは、単に細かな地域史の調査で終わるのではなく、日本や世界の歴史のなかに駒場および周辺地域の歴史を位置づけることを目指す。 授業内の報告発表の準備を通じて、過去の研究文献を探し出し、自分なりの関心・問題を設定するための基礎的な方法を身につける。また、レジュメとパワーポイントを使った口頭発表を通じて、自分の意見の伝え方を訓練するほか、参考文献・脚注を伴う最終レポートの作成を通じて、学術論文の基本的な要素・作法を学ぶことを目指す。 【学術分野】歴史学 【授業形態】ディシプリン型、文献批評型			
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と最終レポートで判断する。				
授業のキーワード	歴史、日本史、第一高等学校（一高）、駒場、東京大学、教育史				
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

31750	水 2	東京の産業地区の変化と課題	鎌倉 夏来	教養教育高度化機構	K302
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 東京の産業地区の中から、調査対象地区（4班で4地区を想定）を選定する。調査方法や既存研究についての講義、地図の分析、統計分析、フィールドワークについての各班の報告・討論、それらをふまえた夏休みの調査、小論文の作成を行う。 【学術分野】人文地理学 【授業形態】フィールド型			
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。				
授業のキーワード	人文地理学、産業集積				
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

31749	水 2	哲学対話	石原 孝二	教養教育高度化機構	K201
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標】 哲学はソクラテスの対話実践とともに始まったものであり、哲学とは対話そのものだと考えることができる。この授業では、哲学対話の特徴を学び、様々なテーマに関して哲学対話の実践を行うことにより、哲学的な思考の基礎を身に付けることを目標としている。 哲学対話は「ディベート」ではない。相手を議論によって打ち負かすことを目的とするものではない。また何らかの合意を得ることを目的とするものでもない。対話そのものが目的であり、そこから何が得られるのかは、対話に参加する参加者一人一人に委ねられている。共有できる前提があればそこから出発し、何を言うことができるのかを共に探っていく。また前提が共有できなくても良い。前提が異なることを明確化するとともに、互いに受け入れられない前提からどのような帰結が導かれるのかを確認することこそが対話の重要なプロセスである。対話の空間を共有する参加者が、自分たちがもっている前提を出し合い、その前提からどのようなことが言えるのかを探っていくことになる。 この授業では、哲学対話を次のような特徴を持つものとして考えている。 1. 自分の意見と他者の意見の共通点と違いを明確化する。 2. 多様な意見を尊重し、合意を目指さない。 3. その時々に対話において、利用可能な情報は何か、その情報をもとに何を議論することができるのかを確認する。 4. 権威や根拠のない前提に頼らない。 5. 前提を明確化し、論理的に可能な帰結を導き出す。 6. 論理的に導出することが不可能な帰結を放棄することが難しい場合には、なぜそれを放棄することができないのかを明確化する。 哲学対話のテーマとしては、抽象的なものと具体的なものの両方を扱う。参加者の希望を聞きながら考えていくが、例えば以下のようなテーマが考えられる。 （抽象的なテーマ）生きていけるとはどのような状態なのか／言葉とは何か／意識とは何か／意思決定とは何か （具体的なテーマ）人工知能は知性を再現していると言えるのか／麻薬はなぜ規制されるべきなのだろうか／民主主義は良い政治制度なのだろうか／地球温暖化とはどのような事態なのか／グローバリズムとは何か／人間が動物を利用することは正当化されるか／人はなぜ人を助けるのか 授業では、小グループに分かれて各テーマについてディスカッションを行う。 適宜、対話の参考になるような哲学者の議論や関連する分野の資料・情報を紹介する。 【学術分野】 哲学・科学史 【授業形態】 ディシプリン型 文献批評型			
成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス		出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 哲学対話 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31751	水 2	思想としての東京 2020	桑田 光平	教養教育高度化機構	K301
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 この授業では、オリンピックの開催される 2020 年現在の東京という都市をめぐるさまざまな表象（representation）をリサーチし、私たちが生きる現在の東京がどのような都市であるのか、そして、東京はどのような思想的ポテンシャルを持っているのかを考える。そのために導きとして、磯田光一『思想としての東京』を講読し、その後、磯田の手法を参考にしつつ、グループに分かれて、各グループが東京に関するさまざまな表象（映画、文学、サブカルチャー、音楽、漫画等）をリサーチし、分析を行う。調査・分析の結果を討論しつつ、各自が小論文の形でリサーチの結果をまとめる。 【学術分野】 表象文化論 【授業形態】 フィールド型 文献批評型			
成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス		出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 東京、都市表象、カルチュラル・スタディーズ 授業中に指示をする。／Will specify at class time 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31752	水 2	人工社会を作ろう：マルチエージェント・シミュレーション入門	阪本 拓人	教養教育高度化機構	E25 教室
授業の目標・概要 【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探索する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 マルチエージェント・シミュレーション（MAS）と呼ばれるコンピュータ・シミュレーションの技法を使って、社会現象の理解を目指す授業である。MAS は、コンピュータの中に「エージェント」と呼ばれる多数の人工的な「生き物」を配置して相互作用をさせることで、いかなる集合的な秩序や動態が生成されるかを観察するシミュレーション手法である。個人や集団の間のネットワークの形成、市場での競争や独占、あるいは国家間の戦争や平和といった様々な現象を、コンピュータの中で実際に「作って理解する」ことを可能にする。 この授業では、まず、既製のソフトウェアを使った実習を通じて MAS というツールを身につけてもらう。その上で、各々の学生が関心を持つ社会現象を、関連する先行研究も踏まえながら、MAS を使ってモデル化する作業を行ってもらう。そして、コンピュータの中に作られた各自の「人工社会」の観察・分析を通じて、当該の社会現象に対し、理解を深めたり新たな知見を得たりしてもらう。 なお、本授業は文科系の初学者を想定しているため、MAS はもちろん、プログラミング等の知識・経験は前提にしていない。 【学術分野】社会科学全般 【授業形態】実習型 成績評価方法 出席、実習への取り組み等の平常点と小論文とで判断する。 授業のキーワード 学期末の小論文には、各自が作成した MAS モデルも添付してもらう。これも評価の対象である。 教科書 マルチエージェント・シミュレーション、人工社会、社会科学、複雑系、エージェント、シミュレーション 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 人工社会構築指南 著者（訳者） 山影進 出版社 書籍工房早山 ISBN 978-4904701034 ガイダンス 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。					
31449	金 3	宗教文化研究の多様なアプローチと 書評セッション	西村 明	文学部	114 教室
授業の目標・概要 【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探索する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 宗教文化を研究する際、哲学や思想研究、歴史学や人類学、社会学や心理学など人文社会系の多様な学問分野からの複合的なアプローチが駆使されている。この演習では、受講生と最新の研究論文を読みながらそうしたアプローチの多様性に触れ、各自書評という形式で小論文を作成することを目指す。 【学術分野】哲学・科学史 【授業形態】文献批評型 成績評価方法 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 授業のキーワード 宗教学、宗教研究、宗教文化、文献講読、書評、論文執筆 教科書 授業中に指示をする。／Will specify at class time ガイダンス 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。					

31453	金 3	現代中国政治 ——如何に真実に迫るか——	高原 明生	法学部	115 教室
授業の目標・概要 【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】真実を知りたい。しかし、わからない。それは情報が不足しているからか。それとも、そもそも真実が一つではないからなのか。世の中はわからないことだらけだ。その中で、どうすれば真実に迫り、様々な社会事象を説明し、人を納得させることができるのか。学者たちは、どのように説明してきたのか。批判的に検討してみよう。そして、自分で説明してみよう。何を説明すればよいのか？ それを考える力を養わねば。頭を絞ろう。面白くかつ大事な問いを考え出すこと。そしてさらに頭を絞って、明快な議論を展開し、読者を答えに導くこと。それがこの授業の目標だ。テーマは、現代中国政治。 【学術分野】政治、国際関係 【授業形態】ディシプリン型 フィールド型 文献批評型 成績評価方法 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 授業のキーワード 政治学、地域研究、現代中国、先行研究 教科書 授業中に指示をする。／Will specify at class time ガイダンス 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。					
31771	金 3	近世東アジア思想入門 —朱熹「大学章句序」を読む—	高山 大毅	教養教育高度化機構	116 教室
授業の目標・概要 【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 朱熹「大学章句序」を室鳩巢『大学章句新疏』に従い、熟読玩味することで、朱子学の思考の型を理解することを目指します（漢文テキストを漢文の注で読みます）。高校の教科書などの朱子学の説明からは、古めかしい抑圧的な思想といった印象しか持てないかもしれません。しかし、朱熹らの著作を実際に読んでみると、朱子学が、数百年にわたって東アジアの多くの知識人を魅了するだけの力を持った強靱な思想であることが見えてきます。朱子学の議論は、現代日本社会の一般的な思考とかけ離れていることも少なくないので、この授業を通じて、未知の秩序を有する不思議な異世界に迷い込むような経験ができるのではないかと思います。 返り点・送り仮名のついた江戸時代の版本を用いて、中国語による直読ではなく、訓読で読んでいきます。漢文で書かれた注釈にしたがい、漢文を訳読してもらい、各回の報告担当者の解釈の是非を議論します。注釈者の問題関心を内在的に把握できているかが問われます。 朱子学は、近世東アジアの知識人の共通の教養となっているので、思想だけでなく、文学や歴史に関心のある人にとっても得る所は大きいでしょう。 【学術分野】国文・漢文学 【授業形態】文献批評型 成績評価方法 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 授業のキーワード 思想史、朱子学、日本思想、中国思想 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。					

31772	金 3	移民社会を考える	伊東 直美	教養教育高度化機構	K303
授業の目標・概要 【この授業の目標・概要】 グローバル化が進む一方で、世界各地で移民・難民排斥運動、外国人嫌いの風潮が高まり、極右政党が台頭しつつある。もはや我々の社会を考える際に、移民の存在を無視することは出来ない。 移民と受け入れ社会での関係構築は古く、そして新しい問題である。その歴史的な連関性を検証することで、現代における我々の移民との共生の可能性を考察することを授業の目標とする。その際、国籍、シティズンシップの基本的な枠組みを理解し、これまでなされた研究を踏まえ、批判する方法を学ぶ中で、自身のテーマと「問い」を見出し、小論文を作成する。 【学術分野】 法・政治 社会・社会思想史 国際関係 歴史学 【授業形態】 ディシプリン型 成績評価方法 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 授業のキーワード 国籍、シティズンシップ、ナショナリズム、右翼、難民 教科書 授業中に指示をする。／Will specify at class time ガイダンス 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。					
31773	金 3	因果関係を明確にする	鍾 非	教養教育高度化機構	118 教室
授業の目標・概要 【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 数学的因果関係（関数 or 函数）かはともかく、「因果関係こそ、あらゆる学問の出発点」という認識には誰も同意せざるを得まい。歴史家でさえ、見た目は混沌とした史実を理路整然とした手法で分類・再分類する必要がある。その際、信憑性の高い、具体的な因果関係が動かぬ決め手。本講義は「因果関係を明確にする」というキャッチフレーズをかかげて、基礎練習を体に叩き込ませる。初年次ゼミナールを「料理教室」に喩えてみよう。フレンチ・イタリアン・中華・トルコのような具体的な「教室名」は決めず、「フライパンの振り方」「包丁の握り方」「野菜掃除の仕方」といった料理教室でのABCと一脈通じる学問の基礎の基礎に注目したい。一例を挙げよう。「因果関係の強さ」「相関係数の大きさ」「最小二乗法」の求め方がちんぷんかんぷんだと、将来、論文は書けそうもない。そこで、表計算ソフト Excel での「関数」という機能（統計を含む）に着目し、データを示す散布図の作成を皮切りに、回帰線の切片と傾き（最小二乗法）の求め方を明示。「政治」「社会」「経済」「法律」「哲学」（社会科学）の全貌やその一部を鮮やかに浮き彫りするための「プロの料理人」としての技の基本の基本（サッカーで言えば、lifting）を、しっかり身に付けさせたい。なお、「Lifting の回数」（いわば、小論文の技術的要求）は下記の通り。小論文（テーマは自由）には、「回帰線つきの散布図」（しかも、散布図のなかで、最小二乗法による計算結果である $y=a+bx$ や決定係数などを明記すること）が必須。 ★ITC-LMS（Information Technology Center - Learning Management System）を頻繁に check（文章特別講座あり）。 ○新聞を熟読玩味（小論文のネタ作りに最適）。 【この授業の目標・概要】 【学術分野】 法・政治 経済・統計 社会・社会思想史 国際関係 歴史学 国文・漢文学 文化人類学 哲学・科学史 心理・教育学 人文地理学 【授業形態】 ディシプリン型 フィールド型 文献批評型 成績評価方法 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 授業のキーワード 基本の基本＝プロの技 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。					

グループ6 1年 文一(9,18,20,23)文三(6,17,19)

グループ6 1年 文一(9,18,20,23)文三(6,17,19)					
時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31778	水 3	デジタル版『渋沢栄一伝記資料』で 歴史学の扉を開いてみる	山口 輝臣	教養教育高度化機構	K303
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 2024年から1万円札の顔となる渋沢栄一は、その生涯に関わる史料の重要部分がデジタル化されているという点で、希有な存在である。この授業の目標は、そのデジタル版『渋沢栄一伝記資料』を活用することにより、歴史学の作法を体験することにある。それにより、本を読んでお勉強する歴史から、史料を読んで考える歴史学の扉を開こうという試みである。 具体的には、デジタル版『渋沢栄一伝記資料』に触れることからはじめ、ほかの史料なども照合していくことで、受講生がそれぞれの研究課題を導く。次いで先行研究を探索して参考にしながら自らの議論を構築し、報告する。さらにその際に受けた批評に応えつつ、小論文へとまとめる。 渋沢栄一は実業家として知られるが、慈善活動などを通じて、経済以外のさまざまな領域にも関わった。官僚の経験もあり、論語に一家言あるなど、多彩な人物である。あなたの関心事が渋沢栄一を介してどう歴史研究と切り結ぶのか、この授業で実践してみようではありませんか。 【学術分野】 歴史学 【授業形態】 ディシプリン型 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。			
成績評価方法		歴史学、史料、先行研究、渋沢栄一			
授業のキーワード		教科書は使用しない。／Will not use textbook			
ガイダンス		第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31779	水 3	北輝次郎『国体論及び純正社会 主義』を読んで議論して書く	岡本 拓司	教養教育高度化機構	517 教室
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 【学術分野】 法・政治 経済・統計 社会・社会思想史 国際関係 歴史学 国文・漢文学 文化人類学 哲学・科学史 心理・教育学 人文地理学 【授業形態】 ディシプリン型 フィールド型 文献批評型 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。			
成績評価方法		第3回にこのシラバスを印刷して持参すること。持参しない場合には成績評価に一定の考慮を加える。			
授業のキーワード		北一輝、天皇制、進化論、天皇機関説			
教科書		プリントを配布する。／Will distribute handouts			
ガイダンス		書名 『北一輝思想集成』 著者（訳者） 北一輝 出版社 書肆心水 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31780	水 3	もう受けることのない高校の漢文の授業を、もう一度だけ思い出してみよう	谷口 洋	教養教育高度化機構	158 教室
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】入学おめでとう。新たな学びに胸ふくらませているときに、もうおさらばしたはずの高校の授業、それも漢文のを思い出してみようなんて、なんと無粋なと思うだろうが、それは大学で学ぶ姿勢と技法を身につけるこの授業の、一つの出発点を示したにすぎない。別に漢文の授業をするわけではないので、安心して選択してもらいたい。 高校には国語という教科があり、大学には文学部というところがある。両者はなんとなく似ているようで、文学部（あるいは教養学部に関連領域）には、高校で国語が好きだったという理由で進学する人も多いようだ。結構である。ただ、大学まで来て高校と同じことをするのも芸のない話だし、一方で進学してから「思ってたのと違う」というようなことは、できれば避けたい。 まずは、高校でほとんど誰もが習ったであろう『史記』の「四面楚歌」の話を思い出してみよう。それについて文学研究者が書いた論文を読みながら、研究という行為を追体験することが第一の目標である。そして、そこから得た問題について自ら資料を集めて考え—それは既に研究に一歩足を踏み入れたことになる—文章にまとめることが、第二の目標になる。さらに、それを受講者相互で批評することを行いたい。教員に教えられるのではなく、自ら学ぶこと、相互に学び合うことを、態度として身につけてほしいと願うからで、それが第三の、究極の目標である。 【学術分野】 国文・漢文学 【授業形態】 ディシプリン型と文献批評型の折衷。学生各自のテーマの立て方によって、がっつり漢文に取り組むことも、ひろく文学、言語、漢文教育などの諸問題に重点を置いて考えることも可能である。 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 漢文、文学、言語、教育、中国、日本 教科書は使用しない。／Will not use textbook その他 授業ではじめに使う資料はこちらで用意するので、高校の教科書を処分してしまった人も履修には全く問題ない。 ガイダンス 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31781	水 3	文学テキスト分析	谷本 道昭	教養教育高度化機構	K301
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 小説や詩などの文学テキストを対象とする文章はつまるところ感想文にすぎない、と揶揄されることがしばしばある。そういった声に対して、感想文で何が悪い、と開き直ることもできるだろうが、大学生たるもの、自身の感想を大切にしながら、文学テキストを学術的に論じる能力を養い、揶揄、批判、無理解をはね返す強さを身につけて欲しいとも思う。 さて、文学テキストを学術的に論じる（書く）ためには、テキストを学術的に分析する（読む）ことができなくてはならない。そこで本演習では、文学テキストを分析し論じるための基本的な技法やアプローチ方法を学び、感想文を脱却した文学論を執筆する力を実践的に習得していくことを目標としたい。テキストとしては日本近代文学、担当教員が専門とするフランス近現代文学、そのほか世界の文学から、だれもが知るような有名作品、重要作品を取り上げる予定。履修者には、課題となるテキストを読むだけでなく、グループワーク、調査、報告、発表などを通じて、積極的に授業に参加する姿勢を期待したい。 【学術分野】 文学 【授業形態】 ディシプリン型・文献批評型 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 文学 テキスト分析 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス					

31782	水 3	社会科学入門	西村 弓	教養教育高度化機構	518 教室
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探索する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 社会科学分野における、課題設定、プレゼンテーション、討論、論文執筆といった学問の基本的な技法の基礎を修得すること。 【学術分野】法・政治 【授業形態】ディシプリン型 文献批評型			
成績評価方法		出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。			
授業のキーワード		社会科学入門、法学入門、論文作成、国際法			
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook			
ガイダンス		第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31783	水 3	持続可能な開発について考える	岡田 晃枝	教養教育高度化機構	KALS
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探索する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 この授業では、国際社会が直面している地球規模問題群のうち、国連の「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に指定されたものについて、現状やこれまで（SDGs 制定以前含む）の国際的取組、その思想的背景など多角的に検討し、各自がこれらの問題に対するさまざまなアクターの取組について「問題」を設定して「検証」を行い、それを論文にまとめる。国際関係論や国際機構論、開発に関する学術論文だけでなく、国際機関の文書や報告書、資料の探し方や使い方についても学ぶことになる。また、文献から学ぶだけでなく、実務家を交えての議論も予定している。 【学術分野】国際関係 【授業形態】ディシプリン+ケーススタディ型			
成績評価方法		出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。			
授業のキーワード		グローバル・ゴールズ、持続可能な開発のための 2030 アジェンダ、地球規模問題群、SDGs、MDGs、国際機関			
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook			
ガイダンス		第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31451	金 4	片想い？ 相思相愛？ それとも？： 「日本」と「イスラーム世界」の 相互認識の歴史	森本 一夫	東洋文化研究所	114 教室
授業の目標・概要 【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 日本人とイスラーム世界の人びとは歴史を通じて互いをどのように認識してきたのだろうか。それぞれの「場」（時代、地域、...）における認識のあり方の背景にはどのような状況・文脈の違いを見通すことができるのだろうか（多分、受講生諸君の関心を最も惹くのは、ともに「西洋」と対峙しないといけなかった近代以降の状況か？）。さらに、そもそもの問題として、「日本人」や「イスラーム世界の人びと」などと一口に言っても、それは一体誰を指しているのだろうか。この講義では、「いかにも人文学的な」こうした問題系の中から自分が関心をもったテーマに関して小論文を書く過程で、高校までの「習う」勉強から、大学での成長のためにまずは覚えたい「考え、組み立てる」勉強への脱皮を目指す。 【学術分野】歴史学 【授業形態】ディシプリン型・文献批評型 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス 日本、イスラーム世界、他者認識、歴史、アジア 授業中に指示をする。／Will specify at class time 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。					
31774	金 4	様々な社会問題を考えるにあたり、 その問題を解決するためには何を 考えるべきか「考える」。	竹野 太三	教養教育高度化機構	K402
授業の目標・概要 【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 高校までの学びの大きな目的の一つは、正しい知識を身につけるということであったと思います。大学では、そうして得た知識をどのように活用するか、という視点も踏まえて学ぶことになると思います。様々な科目がある中で、初年次ゼミは、大学での学びを実践するために必要なことを経験することを目的としていると思います。この目的のために、当初年次ゼミでは、履修者の皆さんに、関心を持つトピックを選んでいただき、学期を通じてこの調査を行い、成果をお互いに発表し合う中で、学問的な交流を実践していただくことを予定しています。なお、初年次ゼミのクラスの中には、担当教員の専門に近い分野といったトピックを限定するものもありますが、当ゼミではそうではありませんので、ご注意ください。また、トピックを限定しませんので、文Ⅰ 文Ⅱ 文Ⅲ のどなたにも履修いただけます。小論文の執筆に加えて、幾つかの課題もあります。 【学術分野】法・政治 経済・統計 社会・社会思想史 国際関係 歴史学 国文・漢文学 文化人類学 哲学・科学史 心理・教育学 人文地理学 【授業形態】ディシプリン型 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス 論文の書き方、発表の仕方、議論の仕方 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。					

31775	金 4	祖父母の体験に学ぶ昭和史	長谷川 まゆ帆	教養教育高度化機構	117 教室
授業の目標・概要 【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 祖父母または曾祖父など、少し前の世代あるいはそれに準ずる人から体験を聞きながら、自分の知らない過去（昭和史）について学ぶ。彼(女)らの人生に昭和の時代や社会がいかなる影を落としているか、どのように影響しているかを探してみる。時代背景をよく理解するとともに、2011年の震災や原発問題を祖父母がどのように感じ考え受け止めていたかを戦争体験とも比較しながら聞いてみるのもよし。こうした聞き取り調査を通じて、履修者自身が自分の知りえなかった過去に出逢い、疑問や謎、違和感や驚きをそこから見つけ出ししていくとともに、それについてさらに文献を使って調べ、自分なりの答えを導きだしていく。またその自分の考えたことを他者に伝え、それについての討論を経て自身の認識を広げていく。他の人に自分の考えを過不足なく伝えたり、対話していく技法を学ぶこともねらいの一つである。 【学術分野】 歴史学 【授業形態】 フィールド型+ディシプリン型 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 授業のキーワード 昭和史、聞き取り、戦争、記憶、体験、過去 教科書 授業中に指示をする。／Will specify at class time ガイダンス 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。					
31776	金 4	ジェンダーと科学	四本 裕子	教養教育高度化機構	E25 教室
授業の目標・概要 【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 性には、生物学的に定義されるもの（sex）と、社会的・心理的に定義されるもの（gender）がある。この演習では、sex と gender を科学的に理解する。ヒト脳や身体の機能や構造に性差があるのかを検証し、現代社会におけるバイアスを、社会学的・心理学的視点から議論する。「文系」「理系」の枠を超えた「社会と人間の科学的理解」を目指す。 【学術分野】 心理・教育学 【授業形態】 ディシプリン型 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 授業のキーワード sex と gender、性的マイノリティ、心理学、脳科学、バイアス 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。					
31777	金 4	Excel によるデータ分析入門	倉田 博史	教養教育高度化機構	E35 教室
授業の目標・概要 【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探究する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 教科書の輪読、Excel によるデータ分析の実習、教員による講義、各人の個人研究を通して、データ分析の基礎事項を学び、統計資料からより効率的に情報を抽出するための知識と技能を身に付けることを目指す。 【学術分野】 経済・統計 【授業形態】 ディシプリン型 成績評価方法 出席、輪読、実習の成果、期末の小論文とで判断する。 期末の小論文は、自分の興味のあるデータの分析や、ある特定の統計的な概念について勉強した成果をまとめたもの、あるいは教員の側で用意したデータを分析した結果をまとめたものなどとなる。 授業のキーワード Excel、平均・分散・標準偏差、共分散・相関係数、回帰分析、最小2乗法、推定・検定 教科書 授業中に指示をする。／Will specify at class time ガイダンス 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。					

初年次ゼミナール理科の履修について

初年次ゼミナール理科はクラス指定の必修科目である。クラスごとに指定されたグループ（各 2 曜限）に開講されている授業のうち、1 授業を希望選択して受講する。希望が集中した場合は抽選となる。本冊子とともに配布されたプリント「【重要】履修登録について」の該当箇所にしたがって、登録期間内に必ず履修希望登録を行うこと。

第 1 回授業時には合同のガイダンスを行う。個別授業の教室とは別の教室で行われるので注意すること。各授業の開講される曜限で授業担当教員が授業紹介を行う。指定されたグループに割り当てられた 2 曜限のうち、履修を検討している授業の曜限のガイダンスに出席すること。

第 2 回授業時には、合同でサイエンティフィック・スキルに関する導入の共通講義を行う。教室は第 1 回のガイダンスと同様である。指定されたグループに割り当てられた 2 曜限のうちのどちらかで授業を受けること。

第 3 回目からは、少人数に分かれたクラスで授業が行われる。UTAS にて決定された履修授業と教室を確認すること。

この授業の教科書として『科学の技法—東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト—』がある。必要に応じて購入し、プレゼンテーション準備やレポート・論文執筆の際に参照すること。

また、初年次ゼミナール理科のウェブサイト FYS portal (<http://fye.c.u-tokyo.ac.jp/>) にてオンライン教材や教務情報、機材使用法等の情報を提供するので活用してほしい。また、ITC-LMS の初年次ゼミナール理科共通エリアで教材やお知らせを掲載することもある。

この授業に関する授業外サポートとして、21 KOMCEE West 地下のスペースでラーニングコモンズを開室し、アカデミックスキルに関する講習会や TA による学習相談、自習機材の貸し出しを行う。開室時間等は FYS portal や UTAS 上で告知する。

グループ名	開講曜限	対象クラス
グループ 1	月 4・水 4	1 年 理一(1-6,10,16,18-19)理二三(4,7)
グループ 2	火 1・木 2	1 年 理一(9,12,14,20,39)理二三(6,8,15,20)
グループ 3	火 3・木 3	1 年 理一(7-8,11,13,15,17)理二三(9-10,14,19)
グループ 4	火 4・金 1	1 年 理一(23,26,28-29,33,36-37)理二三(12,16,24)
グループ 5	水 2・金 3	1 年 理一(21,25,27,30-32)理二三(1-3,5,11,13,21)
グループ 6	水 3・金 4	1 年 理一(22,24,34-35,38)理二三(17-18,22-23)

第 1 回・第 2 回合同授業教室：UTAS, FYS portal で告知します

初年次ゼミナール理科

グループ1 1年 理一(1-6,10,16,18-19)理二三(4,7)

グループ1 1年 理一(1-6,10,16,18-19)理二三(4,7)					
時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31460	月 4	翼・空気の流れ・数値シミュレーション	今村 太郎	工学部	E25 教室
授業の目標・概要	本講義の目標は以下の3点です。 ①航空機の翼型周りの流体解析を通じて、流体力学について学ぶと共に、航空機の空力設計を体験してもらいます。 ②最先端の数値流体力学コード（拙研究室にて現在進行形で開発中！）を利用方法を学びます。計算機／ソフトウェアの利用方法やデータ可視化／データ分析方法についても学びます。 ③2つの課題に対して、個人／グループでのアプローチを行ってもらいます。				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	授業のタイプ（「問題発見・解決型」、総合工学、流体力学、航空機設計、授業のキーワード3、授業のキーワード4				
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31461	月 4	バーチャルリアリティ入門	檜山 敦	工学部	515 教室
授業の目標・概要	インタラクティブなバーチャルリアリティ体験をつくることを目標とする。				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	ワークショップ、情報工学、バーチャルリアリティ、3D モデル、音声の加工変換				
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31462	月 4	化学工学を理解して、地球温暖化に挑む	脇原 徹	工学部	E35 教室
授業の目標・概要	「持続可能な社会」を実現するためには地球温暖化問題を克服しなければならない。 既に地球温暖化による影響は各所に見られるようになってきたが、依然として CO2 をはじめとする地球温暖化ガスの排出量は増え続けているのが現状である。危機的状況にあるといっても過言ではない。この問題に取り組むためには、特にサイエンス&テクノロジーの役割は大きい。特に、“化学システム工学”がキーであり、本授業ではこれを学んでもらう。 化学システム工学とは、化学を基盤に、地球、社会、環境、安全など幅広い視野からシステムチックに対象をとらえる学問である。現実を踏まえた幅広い視野から対象をシステムチックに深く探求する。このアプローチこそが、現実の問題解決への具体的なビジョンを示す可能性をもっている。 この授業を通じて、地球温暖化は食い止めることが可能である、ということを理解してもらいたい。 1年生の少人数クラスでの議論を通して、正解が明らかでない問題について考える力を養うことを目的とする。意欲のある学生を歓迎したい。				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	地球温暖化、問題発見・解決型、エネルギー・環境、持続可能な社会、化学工学				
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31510	月 4	植物の多様性とその利用	伊藤 純一	農学部	K501
授業の目標・概要	私達の身の回りには多様な形や性質、成長様式を持った植物で溢れている。しかし、その多様性や人間生活との関わりについて深く考える機会は少ない。本講義では身近にある植物（作物）の多様性を発見し、人間の生活にどのように利用されているのかを理解することによって、植物の遺伝的多様性と遺伝資源の重要性を実感してもらおう。またその多様性が生み出されるメカニズムについての文献調査、考察、討論によって、科学的な思考や発表スキルを養う。また、実際に植物を栽培することによって環境との相互作用についても考察する。更に、今後の地球環境にどのような植物が必要になるかを、バイオテクノロジーの基本技術を学びつつ、自由に討論する。				
成績評価方法	出席、授業態度、レポート等				
授業のキーワード	生物多様性、遺伝資源、植物遺伝学、植物生理学、環境応答、バイオテクノロジー				
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

31511	月 4	ワンヘルスと感染症を考える	松本 安喜	農学部	K302
授業の目標・概要	ワンヘルス（One Health）は、人、動物、環境は相互に密接な関係があり、それらを総合的に良い状態にすることが真の健康である、という概念です。グローバル化が加速し、世界的な人口増加の中、環境・食糧・感染症といった、人類共通の課題がクローズアップされてきます。このような課題の克服には、世界は一つ、健康も一つ "One World, One Health" の観点から、地球規模で、分野横断的なアプローチが求められます。 この講義では、獣医学と農学国際の専門家が担当します。前半は日本の事情を中心に、後半は途上国の事情を中心に、ワンヘルスと感染症という観点から、動物や人類との関わりをトピックごとに考えます。講義の中では、現状を調査して課題についてグループディスカッションを行い、多様な意見を交換することで課題解決への糸口を探ります。				
成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス	講義の折り返し時点で、文京区弥生にある農学部キャンパスを見学する機会を設けています。ここでは、東大農学部の教授であった上野博士の忠犬ハチ公の臓器を教材に、犬の健康を侵すフィラリアを学んだり、農学部キャンパスにある世界動物保健機構（OIE）のアジア太平洋事務所の協力を得て国際機関の役割を紹介し、テーマについての理解を深めます。 初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 「問題発見・解決型」、農学/獣医学・公衆衛生学、感染症、健康、食料、環境 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31543	月 4	Quantum technologies and their future impact (英語)	HOLMES MARK JAMES	生産技術研究所	シラバス参照
授業の目標・概要	The overall aim of this course is not to gain a knowledge of quantum technologies per se, but to gain a knowledge of the scientific transferable skills required in a modern international research environment: Communication skills, scientific writing skills, group work skills, presentation skills. The course will proceed via the timeline of preparing for a "conference" that will be held in the final weeks, to which the students will submit their work, and give presentations.				
成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 Problem finding, Quantum technology, English, Communication, Writing, Presentation 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31550	月 4	海を知ろう	新里 宙也	大気海洋研究所	K301
授業の目標・概要	本授業は、大気海洋研究所所属の教員 2 名のリードのもと、「海」について様々な側面から掘り下げて考える機会を提供します。「能動的」な学びの過程を通じて皆さんに「研究」の初歩を体験してもらうことを目指します。海に関する予備知識は必要ありません。むしろ、海について学んだことのない方の履修を歓迎します。 本授業で主に行うのは、調べる、まとめる、発表する、議論する、といった作業です。この中でも、特に「議論」に重点を置きます。教員の発表を学生が聞く時間は必要最小限にし、学生が主体的に参加し進めてゆく授業となります。				
成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 議論・調査・発表、海洋・物理・地学・化学・生物 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31553	月 4	スピンの量子科学	三輪 真嗣	物性研究所	K303
授業の目標・概要	本講義では物性研究所所属の教員と一緒にナノサイエンス、特にスピントロニクスと呼ばれる研究舞台を題材にして「自分で調べること」「自分で考えること」「他人に説明（プレゼンテーション）すること」「他人と議論すること」を覚え、研究引いては社会で生きていくために必要な力を培うことを目標とします。 電子には電荷とスピン（磁石としての性質）の2自由度があります。スピンの性質がナノの世界で顕著に現れることに着目し、高度なレベルでエレクトロニクスを実現する研究分野をスピントロニクスと呼びます。しかし、スピントロニクスは本講義では題材にすぎず、スピントロニクスに詳しくなることは本講義の目的ではありません。従って、物理学を深く学ぼうとしている学生のみならず、化学・生物学を主に学ぶ学生の参加も歓迎します。				
成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス	初年次ゼミナール理科の評価方法により行います。 スピントロニクス、ナノサイエンス、物理 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

31454	水 4	代謝性疾患入門	山内 敏正、岩部 美紀	医学部	KALS
授業の目標・概要	(授業の概要と目的) 代謝性疾患とは、代謝に異常が起こっている疾患です。代表的な代謝性疾患には、糖尿病、肥満症、メタボリックシンドロームなどがあります。代謝とは何か、代謝性疾患とは何かについて知識を深めたり、グループごとに課題を設定して調べたり、議論しながら、代謝研究、生命科学研究、疾患・創薬研究の実際に迫ります。その過程において、理系・医学系の研究者とはどのような職業なのか、研究者になるためにはどのようなプロセスを踏むのか、研究生活に関する疑問に答えながら、議論を重ね、医学研究の魅力について理解を深めることを目的とします。 (授業の目標) ・グループワークを通して、協力しながら、課題を設定したり、自由に議論や質問することの楽しさに触れることができる。 ・代謝性疾患について、知識を深めることができる。 ・理系／医学系の研究者や医学／生命科学研究のイメージをつかむことができる。 初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
成績評価方法	問題発見・解決型、医学／代謝学、生命科学、糖尿病、肥満、生活習慣病				
授業のキーワード	教科書は使用しない。／Will not use textbook				
教科書	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
ガイダンス					
31463	水 4	未来のエネルギーを考える	鈴木 雄二	工学部	K401
授業の目標・概要	エネルギー問題の解決には、技術的な側面だけではなく、環境への配慮、経済性、地域特性といった多方面からの検討が必要です。本ゼミナールでは、現実の社会問題にはこういった複雑な背景があることを理解しながら、エネルギー問題の解決策や未来予測を行うことを通じて、問題解決能力の向上を図ることを目的とします。 まず、日本と世界のエネルギー事情を概観した後、(1)ガスタービン、エンジンなどのエネルギー変換の基盤技術、(2)日本のCO2排出量削減に必要な水素燃料、(3)自動車をめぐるエネルギー技術、の3つのテーマについて学習し、関連の学内研究施設の見学を行います。これら基本的な仕組みや原理に関する学習の後、グループに別れ、研究段階の技術から実用化された技術までの調査を行い、調査結果のプレゼンテーションを行います。現状のエネルギーに関する状況を把握した上で今後の課題を抽出し、将来展望を参加者全員で議論します。 初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
成績評価方法	問題発見・解決型、機械工学、エネルギー変換/エネルギーシステム、地球温暖化、電気自動車/ハイブリッド自動車、水素燃料				
授業のキーワード	教科書				
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31464	水 4	モーションコントロール入門 ---ロボットや車両を上手に動かす科学	古関 隆章	工学部	K201
授業の目標・概要	すでに高校の物理で習ってきたように、目の前のものから、天体に至るまで世にあるものは力学に関する物理法則にしたがって動いている。ニュートンにより提唱された力学の法則は数学的表現では、時間に関する二階の微分方程式の形をとり、ものをうまく動かすために、その微分方程式に基づく「動的な性質」を理解し取り扱うことが重要になる。ものの「動的な性質」に着目して対象をモデル化し、状態を計測し、リアルタイムに情報を処理して、入力をうまく決め、「思ったように物を動かす」一連の手法を制御という。ここでは、倒立振り子という、そのままでは倒れてしまうものを例題に、上手にものを動かすモーションコントロール＝運動制御について、グループでの議論、数値計算、実験を通じて学び、数式に基づいて論理的に考えることの大切さを体験することを目的とする。				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	授業のタイプ 実験データ解析型、学術分野 工学/電気電子工学、ロボット、車両、動的システム、運動制御				
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

31465	水 4	エネルギーと環境：人類社会の持続性 のための工学技術を考える	小林 肇	工学部	1109 教室
授業の目標・概要		(授業の概要) 地球温暖化の進行を緩和しつつ、社会の発展を維持するために十分なエネルギーの供給を続ける事は、一つの領域の技術や対策だけでは成し遂げることは出来ません。新たな技術オプションを創出して行くと共に、多様な技術群を結びつけ総体として最適に機能させるシステム思考的アプローチが必要となります。本ゼミでは、エネルギーと環境に関わる現行から最先端の多様な技術の小実験を行い、それら技術の基礎学理を学習するとともに、実験・データ解析・考察手法を習得します。さらに、そこで学習した知見と最新の技術動向を基に未来の新技术システムを自分たちでデザインし、持続可能性へ寄与する新たな方法論を提案・議論します。 小実験では、具体的には火力発電、太陽光発電、風力発電、燃料電池、水素エネルギー、ヒートポンプ、二酸化炭素地中貯留、温度差発電、バイオエネルギー変換に関するそれぞれ基礎的な実験を行います。単に技術の原理を学習するだけではなく、当該技術の現状を学んだり、課題を考察したりします。 また、エネルギー・環境に関わる最新の動向を調査・学習し、課題を正しく把握する事を通した上で、それらを解決する為の未来の技術システムをデザインします。システムとは、一つの技術をより良く機能させる方法論、または複数の技術を組み合わせたもの、あるいはある技術を中心としたビジネスモデルも含まれます。このデザインを小グループで独自に考案する事で、グローバルな問題に対するシステム思考的アプローチを身につけます。 (授業の目的) ・ エネルギー・環境に関わる多様な技術を深く掘り下げて研究する事により、工学的な方法論や考え方を学ぶ。 ・ エネルギー・環境に関わる最新の動向、課題を正しく把握する事を通し、これからの学習・研究の基盤知識とすると共に、グローバルな問題に対するシステム思考的アプローチを身につける。 ・ 実際に動作する装置を組み立て、実験する事により、問題解決能力を養う。 ・ 小グループで独自に調査、立案、検証、議論し、創造する楽しさを体験する。			
成績評価方法		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード 教科書		問題発見・解決・データ解析型、工学、エネルギー、環境、データ測定と解析、小実験 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会			
ガイダンス		第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31498	水 4	ロボットオペレーティングシステム	加藤 真平	理学部	E25 教室
授業の目標・概要		自律移動ロボットや自動運転システムの開発に欠かせなくなっているロボットオペレーティングシステム（ROS）を用いたプログラミング演習を行います。講義の中で提供されるセンサーのデータを利用して、仮想空間上でロボットや自動運転車を動かしてみることににより、自律移動ロボットや自動運転システムに必要なとされる要素技術を学びます。			
成績評価方法		作成したプログラムの提出とレポート評価。			
授業のキーワード 教科書		自律移動ロボット、自動運転システム 教科書は使用しない。／Will not use textbook			
ガイダンス		第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31499	水 4	世の中を変えた物理、変える物理	長谷川 修司	理学部	K303
授業の目標・概要		本ゼミでは、調査研究やグループ討論、プレゼン、相互批評などを通して、一つのテーマについて、自分自身で調査のやり方や方向性を決め、能動的に情報を集め、体系化して論文（レポート）にまとめあげるという体験をする。テーマとしては、物理学（とその周辺分野）における歴史的な発見や発明、あるいは将来大きな影響力を持つと考えられる物理学に関するトピックスを一つ選び、その内容を調べるだけでなく、それがその後どう展開され、現代社会や未来社会にどう繋がっているのか、われわれの認識や考え方、生活のしかたをどう変えた（る）のか、などを深堀する。テーマの設定や調査研究の進め方などは、グループディスカッションを通して自立的に設定する。最終的には、各個人のそれぞれのテーマに関して論文形式のレポートにまとめる。その作業過程で、プレゼンテーションや相互批評（ピアレビュー）などを行い、コミュニケーションスキルを高めるとともに最終レポートのブラッシュアップに役立てる。 議論のきっかけとして、最初に、すべてのノーベル物理学賞と関連するノーベル賞の一覧表を提供するが、それにとらわれず、自由にテーマを選んでよい。また、発明や発見の内容を学術的に正確に記述することにとらわれず、その発明や発見の意義を広く理解してもらえらる表現や議論を重視して進める。			
成績評価方法		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード 教科書 ガイダンス		ゼミ形式、物理学、ノーベル賞、科学史、科学と社会 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31512	水 4	ゲノムで何ができるか？	杉浦 幸二	農学部	K501
授業の目標・概要	【授業の概要】 生物の持つすべての遺伝情報をまとめて「ゲノム (genome)」と呼びます。我々は、このゲノムを解読し、利用することで多くの恩恵を受けてきました。実際、最新のニューストピックにも、ゲノム編集、メタゲノム解析、ゲノム医療、ゲノム育種など、「ゲノム」をキーワードとしたものが多く並んでいます。しかし、具体的なイメージがわからないのが現状だと思います。本ゼミナールでは、最新のニューストピックを、その学術基盤（原著論文）にまで掘り下げて理解していきます。さらに、最新のゲノム研究成果の社会実装の可能性を議論します。 【授業の目標】 ・グループワークを通して、コミュニケーションスキルを身につける。 ・学術論文を検索する手法を身につける。 ・プレゼンテーション技術の基礎を身につける。				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	問題発見・解決型、生命科学、ゲノム、プレゼンテーション、論文検索、グループ討論				
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook				
ガイダンス	第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31513	水 4	プラスチックと人類の共存を考える	岩田 忠久	農学部	K301
授業の目標・概要	プラスチックは石油から合成され、熱により様々な形に成形加工でき、軽くて、丈夫で長持ちし、人類の生活を劇的に快適にした 20 世紀の最大の産物であるといっても過言ではありません。しかし現在、プラスチックの焼却に伴う二酸化炭素排出による地球温暖化問題、石油資源の枯渇、海洋マイクロプラスチックなどの環境破壊および生態系への影響などが世界規模の解決すべき課題となっています。本初年次ゼミでは、前半部分で、プラスチックの環境への影響とその解決について、「生分解性プラスチック」と「バイオマスプラスチック」の観点から一緒に考えます。後半では、プラスチックと同様に、石油から製造され、製品の利用には欠かせない接着剤を取り上げ、接着剤と環境を主要テーマとして、低炭素社会とバイオマス利用の観点から一緒に考えます。接着の技術は紀元前のエジプトから利用されています。しかし、その現象は未だに科学的に解明されていません。接着することはわかっていても、接着のメカニズムはわかっていないのです。地球上で植物によって固定される炭素は、エネルギー化して CO2 として排出されても問題はないはずです。しかし、その炭素をより長く固定化することで、二酸化炭素の増加は食い止めることができると考えることもできます。粘着現象を解明することにより、炭素の固定化にいかに関与できるかを一緒に考えます。				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	授業のタイプ「問題発見・解決型」、ポリマー（高分子）、生分解性プラスチック、バイオマスプラスチック、接着剤、環境保全				
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts				
ガイダンス	第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31552	水 4	世界の海底物理・地質情報からプレートテクトニクスを"見る"	清水 久芳	地震研究所	E39 教室
授業の目標・概要	（概要） 今から約 100 年前、Alfred Wegener は、世界地図の上で大西洋を挟んだアフリカ・南アメリカ大陸両海岸線の類似した形を見て、大陸移動のアイデアを思いつきました。このアイデアは、当初、大陸を移動させる駆動力について明確な説明ができず、地球科学界では忘れ去られてしまいます。しかし、1950 年代以降、地球科学上の新しい証拠によって再評価され、プレートテクトニクス理論へと確立されました。その間にも、地形や地震・火山の分布の特徴や規則性から、地球のダイナミクスや歴史について様々な発見がされています。 現在、私たちは、Wegener の時代とは比較にならない膨大な地球情報や、それを視たり手を加える便利なツールを手に入れています。人工衛星や調査船による地形・3 次元地下構造探査、掘削による地下物質・状態の直接観察、海底ケーブルによる地震・地殻変動モニタリング、等により、地球の表面や内部が「どのようになっているか」は、ずいぶんと詳しく分かってきました。一方で、「なぜそのようになっているか」については、多くの問題が残されています。例えば、海溝型地震・津波が超巨大になる要素は何か、地球磁場なぜ逆転するのか、生物大量絶滅はなぜ起きたのか、などの根源的な問題はまだ理解されていません。 深海底は大半のプレート境界がある活動的な場所であり、また、新しいタイプの極小海底火山などの「発見」や、地殻とマントルの境界面がどこにあるのか、といった探索の要素が未だ残されています。残された秘境といっていいいでしょう。 本ゼミナールでは、最新のデジタル地球データを駆使して、皆さんにあまりなじみのない世界の海底の姿を観察し、その特徴が語る地球の歴史や未来の姿を描き出します。新しい規則性の発見や、斬新な仮説がこのゼミナールから生まれることを期待します。 （目標） ○「どのようになっているか」を知るため、情報を収集・分析するスキルを身につける。 ○「なぜそのようになっているか」という問題意識を持ち、解決に向けて取り組む姿勢を身につける。 ○グループで問題設定、情報共有、議論を行い、考えをまとめるグループワークを経験する。				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	問題発見・解決型、地球惑星科学/地球惑星科学、デジタル地球データ、プレートテクトニクス、地震・火山、地球・惑星の進化				
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook				
ガイダンス	第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

グループ2 1年 理一(9,12,14,20,39)理二三(6,8,15,20)

グループ2 1年 理一(9,12,14,20,39)理二三(6,8,15,20)					
時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31455	火 1	病気と遺伝の関係を探索する	藤本 明洋、馬淵 昭彦	医学部	E39 教室
授業の目標・概要		古くは 1900 年のメンデルの法則の再発見、1950 年代半ばの DNA 構造の提唱、今世紀始めのヒトゲノムプロジェクトの完遂によるヒトゲノム配列の解読の完了など、数多くのエポックメイキングな発見を含め様々な知見の積み重ねとそれを支える遺伝子工学技術を含む技術開発により遺伝学は大きな進展を遂げてきた。とりわけ、1990 年代以降の連鎖解析による単一遺伝子疾患の原因遺伝子の同定や 2000 年以降のゲノムワイド関連解析(GWAS)による非メンデル疾患に関連する感受性遺伝子の同定、更にはここ 10 年の次世代シーケンサー技術による大規模塩基配列解読の実現、新しい遺伝子導入技術の開発などにより、遺伝学とりわけ人類遺伝学の学問領域では急速な進歩が見られており、生命科学・医学の分野での応用も始まりつつある。 本授業シリーズでは、遺伝学分野を下支えしている基礎的解析手法および近年急速に進展したゲノムワイド関連解析とシーケンサー技術を紹介するとともに、その技術から実際どのような知見が得られたかを確認、実際に取得されたデータを使用した解析を行うとともに、(実際に次世代シーケンサーを運用しデータを取得、解析を行う。)			
成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 参加型授業、人類遺伝学、ゲノム、原因遺伝子、感受性遺伝子 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31466	火 1	体験で学ぶ電磁気学	関野 正樹	工学部	K303
授業の目標・概要		【授業の概要】 磁気浮上は、将来の高速鉄道への応用に関して注目を集めています。磁気による安定な浮上を実現する代表的な方法として、電磁力と制御技術の使用、超電導、反磁性効果などが知られています。電磁場を直接的に利用した現象である磁気浮上を通じて、目に見えない電磁場を体験的に理解することができます。本ゼミナールでは、科学おもちゃや、カエルを磁気浮上させた実験、超電導体など、様々な磁気浮上現象を題材として、磁気浮上の原理や、安定な浮上を実現する条件を考察します。磁場分布の測定も行い、電磁場を可視化することによって、理解を深めます。また、磁気推進やワイヤレス給電などの、関連のある題材を選択することもできます。各回の講義のはじめに、電磁気学の初歩的な講義も行います。小グループに分かれて、グループ毎に題材を選んで理論的検討や実験を行い、その結果を発表します。電磁気学は、理科系の広い分野と関係しており、本ゼミナールで身につけた電磁気学の理解や、現象をモデル化する技法は、様々な場面で役に立つことが期待されます。 【授業の目標】 ・自らの力で課題を定義し、それを解決するプロセスを体験する。 ・物理学の理論を、実際の問題の解決に活用するための応用力を養う。 ・現象の本質を抽出して単純なモデルで表現し、その振る舞いを考察する技法を身につける。 ・自分の考えをまとめて分かりやすくプレゼンテーションする能力を身につける。			
成績評価方法 授業のキーワード 教科書		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 問題発見・解決型、工学／電気電子工学、電磁気学、磁気浮上、磁気力、小実験 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 基本からわかる電磁気学講義ノート 著者(訳者) 市川紀充(著)、岩崎久雄(著)、澤野憲太郎(著)、野村新一(著)、松瀬貢規(監修) 出版社 オーム社			
ガイダンス		第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31467	火 1	システムダイナミクス入門	古田 一雄	工学部	E25 教室
授業の目標・概要		システムダイナミクスは、多数の変数とその相互作用の数理的因果関係をグラフィカルな表現を用いてモデル化し、コンピュータシミュレーションによってシステムの動的挙動を解明する手法である。この手法は 1970 年代に人類の未来を予測したローマクラブレポート「成長の限界」で有名になり、以来、生態系や経済社会系などの複雑システムの解析手法として用いられている。本ゼミでは、主に力学系、生態系、経済社会現象などを題材に、システムダイナミクスによるシステムモデリングの基礎を修得するとともに、加えて各自が興味を持つ対象のモデリングを通じて応用力とシステム思考力を養う。			
成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス		出席、発表、発表会での質疑への参加、レポートに基づいて行う システムダイナミクス、システムモデリング、一般システム理論、シミュレーション、未来予測 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31468	火 1	材料科学の課題と先端的应用 (問題発見・解決型)	坂田 利弥	工学部	K201
授業の目標・概要		<授業の概要> これまで材料科学分野で未解決の課題や将来こんな材料があればといった課題設定に対して調査し議論することで教科書に載っていない問題や社会的意義についてまとめプレゼンテーションを行う。教員から設定された以下の3つのサブテーマに対し、その背景から問題の抽出や発展させるための研究方法などグループに分かれ調査・討議し、最終プレゼンテーションをグループごとに行う。 <サブテーマ> サブテーマ1「デバイスの未来を劇的に変える身近な材料」 ・半導体の集積化技術はシリコンに対して予想される原理的限界に到達しつつあります。半導体デバイスが今後進化し続けるためには、新しい優れた材料の開発が急務です。その鍵を握っているのが、皆に身近な「鉛筆」の中にあるカーボン系材料です。カーボン系の歴史的背景の調査や、鉛筆の電気伝導の測定・解析等を通して、それが応用されていくであろうナノテクノロジーの将来を考えたい。 サブテーマ2「生物に学ぶ機能性高分子材料」 ・人類は古くから自然や生物にヒントを得て材料を開発してきました。近年の分子生物学やナノテクノロジーの進展は生物の分子レベル・ナノレベルでの理解を大きく深めたため、生物模倣技術も新展開を迎えています。本サブテーマでは生物に学ぶ機能性高分子材料の開発例を調査した後、どのような未来材料が考えられるかを議論します。 サブテーマ3「ものづくりから考える健康診断」 ・糖尿病患者が合併症を引き起こさないためには日頃の血糖値を自己管理する必要があります。また、アレルギーの発症は乳幼児で最も高く、その検査には多くの血液を採取する必要があります。このような自身の健康状態を診断するために様々なテクノロジーを駆使したバイオセンサが使われ、金属、半導体、高分子といった特徴ある機能を持った材料が使われています。本サブテーマでは、ものづくりの視点に立って健康診断の現状と課題について議論したい。			
成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 問題発見・解決型、材料科学、ナノテクノロジー、バイオマテリアル プリントを配布する。／Will distribute handouts 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31500	火 1	解析学の基礎	松本 久義	理学部	K302
授業の目標・概要		「数」というものがなかったらどうなっていただろう。 まずお金というものが成り立たなくてコンビニで三角サンドが買えないことになる。 時間が数で表せないので授業時間をきめて学生や教員が教室に集まるのも無理だろうし、体温を計るのにも困るので医者も大変である。 まあ要するに人間は物事を「数」に結び付けて理解しているのであり、そういうわけでは算数も含めると数学が学校教育の多くの部分を占めており、また他の多くの学問の基礎となっているわけである。 特に「長さ」と「数」を結びつけると、棒切れに等間隔に目盛を打つことになって、「物差し」ができる。 こういったことから「数」と「直線上の点」を対応させるという発想が自然に生まれる。「直線上の点」に対応する数が「実数」である。 物理学や統計学や工学を始めとして多くの分野で使われる解析学(高校の微分・積分を発展させた数学の分野)は実数を舞台としているし収束概念は解析学の柱石ともいえる基本要素である。 高校までの微分積分や点列の収束の扱いと異り、学問としての数学において、解析学は厳密に議論が展開される。 そのなかでも基本となるのは「デデキントの切断による実数の定義」と「イプシロン・デルタ論法による点列の収束の定義」である。 体験上ここで多くの学生はとまどったり、ややもすると拒否反応をおこしたりする場合もある。 「学問としての数学」などと権威主義っぽい書き方をしたが、当然「実数」とか「収束」とかいうことについてはいろいろな人がいろいろなことを考え(厳密性にこだわることへの批判もあった)、それを公表して長きにわたって戦いが行われてきたのである。(「デデキントの切断」は150年ぐらゐ、「イプシロン・デルタ論法」は200年ぐらゐの歴史がある。) これらの古典的な数学はあるいは現在の数学のありかた(他の学問もおなじだろうが)は、こういったタフな戦いの勝ち残りなのであり、こうして大学で教えられていることにはそれなりの理由がある。 この授業においては、全体を小グループにわけ、担当教員による講義、グループディスカッションなどを授業計画によって進め、最終的に「デデキントの切断による実数の定義」あるいは「イプシロン・デルタ論法による点列の収束の定義」のいずれかのテーマについて、この授業に参加していないような学生にもよくわかるような「理想的な講義」を自分達の手で作りあげるのが目標である。 このような体験を通じ、題材としてとりあげたテーマについて理解を深めるのみならず、文献・資料の収集法、グループによる共同学習の手法などについても習得する。また数学の意義についての自分なりの観点の確立に資するようにもしたい。 また本年度より新たなテーマとして上記の2つに加え「p-進体」も取り上げる。これは高校までの数学には出てこなかった物だが、数論においては基本的な物であり、暗号理論などへの応用の基礎にもなっている。			
成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 原理解明・伝達型、数学／解析学、実数、デデキントの切断、イプシロン・デルタ論法、p-進体 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31514	火 1	生物の多様性と機能を考える	宮下 直	農学部	515 教室
授業の目標・概要	地球上には記録されているだけで 200 万種近い生物がいます。私たち人類はただ 1 種の生物に過ぎないことを考えれば、驚くべきことです。私たちの暮らしは、一見こうした生物たちとは無縁のように感じられるかもしれませんが、決してそうではありません。衣食住に代表される日常は、実は生物の多様性に支えられているのです。ところが、ここ 50 年位の間で生物の多様性は著しく減じています。このままのペースで進むと将来は大量絶滅の時代を迎えることになりそうです。そうならないために、私たちは、生物多様性が維持されている仕組みを解き明かし、生物がもたらす恩恵を様々な観点から理解する必要があります。こうした理解が進めば、生態系や生物多様性を保全し、持続的に利用しようというモチベーションが高まるはずで、このゼミでは、生態学を専門とする教員と、生物工学を専門とする教員がコラボし、生物多様性のしくみや機能を皆さんと考えていきます。				
成績評価方法	全体構成は 2 つのユニットからなります。ユニット 1 では生物多様性の一般書を題材に、各グループで課題を設定し、文献調査などを通して本の内容を発展させたプレゼンテーションを行います。ユニット 2 では、教員との対話的なレクチャーを通して、生物の機能を工学的に考察し、最終日に生物の機能を参考にした機械を提案していただきます。				
授業のキーワード 教科書	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
ガイダンス	とくに出席と積極性を重視します。				
授業のキーワード 教科書	「問題発見・解決型」「論文読解型」、生物学、農学、生態系、保全生物、生物機械工学、バイオミメティックス				
ガイダンス	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook				
	書名 科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト				
	著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編				
	出版社 東京大学出版会				
	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31529	火 1	有機溶媒の科学	小島 達央	化学部会	E35 教室
授業の目標・概要	「溶液」という言葉を聞いた時に、「溶媒」としては水を真っ先に思い浮かべる人が多いかもしれません。しかし、少し視野を広げると日常生活でも水以外の溶媒、特に有機溶媒が使われていることに気づきます。また、産業界では目的に応じて多種多様な有機溶媒が使用されています。溶媒の選択は、目的を達成するための化学的な効率に基づくはずで、しかし、化学的な効率を理解するためには、どのような分子間相互作用が重要なのか、どのような分子構造がどのような化学的性質につながるのか、化学的性質を評価する適切なパラメータがないか、など化学的な理解を深める必要があります。また溶媒の選択には、化学的な効率のみならず、毒性や経済性など、さまざまな要因も影響しているはずで、この授業では、さまざまな有機溶媒について、どのような用途に用いられるのか、どのような性質があるのか、なぜそのような性質を示すのか、などについて化学的観点を中心に、少人数のグループに分かれて調査・討論し、まとめた内容をプレゼンテーションします。この過程を通して、分子の構造と性質の関係といった化学の理解を深めるとともに、効果的なコミュニケーションやプレゼンテーションの方法を学ぶことを目的とします。				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード 教科書	議論・調査・発表、化学、分子、物性、分子間相互作用				
ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook				
	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31549	火 1	ヒッグス粒子のみつけかた	石野 雅也	素粒子物理国際 研究センター	K402
授業の目標・概要	古代ギリシャの哲学者たちが「万物の根源・原初的要素は何者か？」と問い、「土・水・空気・火」と答えた数千年前から、素粒子物理学は人類共通の興味の対象であり続けている。その深遠な問いに対する答えをみつけるために、研究者たちは実験的に検証をするための道具（加速器、検出器、計算機）の性能を向上させ続け、実験的データとして記録・解析し、新しい人類共通の知として成果をまとめ、再解釈してきた。				
成績評価方法	この繰り返により、特に過去 40 年間、素粒子物理学の研究は急速な進歩を遂げ、素粒子の相互作用についての理解、初期宇宙に関する知見（科学的な推論を含む）を得てきた。「ヒッグス粒子の発見」は、2012 年夏に成し遂げられた歴史的なイベントで、翌年、ノーベル賞が授与された。これをきっかけに、素粒子物理学は次の大きな問いに挑戦するスタートラインに立ったところである。				
授業のキーワード	これまでの素粒子物理学が理解してきた世界、そこで使われる道具の原理、今後 どのような問いがあって どのようなアプローチをかけていくのか？ 授業中のやりとりを通じて、これらの事を理解し、また、それらのことが 意外と少数の基本原則から理解できることを実感できる様にしたいと思う。				
教科書	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
ガイダンス	授業のタイプ（「対話型」）、学術分野（物理/素粒子物理）、(1) 科学的で論理的な問い 推測 検証、(2) 素粒子物理・初期宇宙の疑問、(3) 素粒子物理実験の原理				
	授業中に指示をする。／Will specify at class time				
	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31469	木 2	社会インフラ構造物の計画と維持管理 ～橋梁と風力発電設備を例に	長山 智則	工学部	K301
授業の目標・概要	橋梁と風力発電設備を例として、社会インフラシステムの計画と維持管理について、学習する。				
成績評価方法	橋梁は、国土/都市計画等から構造形式、コスト、環境影響、維持管理まで多様な観点から計画・架設され長期間にわたり供用される。多面的な検討に基づく橋梁の計画と維持管理を疑似体験し、考える。				
授業のキーワード 教科書	風力発電は再生可能エネルギーの中で最も注目されており、現在多くの計画が進められている。実際の計画において不可欠となる賦存量とコストの算定について、現実的なプロジェクトの計画を体験することにより学習する。				
ガイダンス	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
	問題解決型、橋梁工学、風力発電工学、橋梁モニタリング・維持管理、風力発電賦存量・コスト評価				
	プリントを配布する。／Will distribute handouts				
	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

31470	木 2	住宅エネルギーの歴史と未来	前 真之	工学部	K201
授業の目標・概要 エネルギーは日々の快適で健康な生活に不可欠であるが、通常は意識することが少ない。一方でエネルギーは現代文明の基本であり、その収奪は今日にもつながる数々の戦争や紛争の原因となり、さらに地球温暖化問題は化石エネルギーへの過度の依存を不可能としている。CO2 排出が少なくエネルギー自給に有効とされた原子力は東日本大震災以降世界で停滞し、再生可能エネルギーは世界的に普及しつつあるが課題も多い。 本授業では、エネルギーの歴史を調査した上で 2030 年・2050 年のエネルギーを見通し、それにふさわしい住宅の形を提案する。住宅は快適で健康な生活の大基本であるが、日本においては設備の高効率化は進んだものの、断熱気密はおざなりにされたため、今後の省エネや健康確保にむけては更なる改善が不可欠である。住宅に求められる性能は気候によって大きく異なることから、グループごとに寒冷地・温暖地・蒸暑地の異なる地域を担当する。 成績評価方法 最終プレゼンテーションおよび出席 授業のキーワード 住宅 生活 エネルギー 化石エネルギー、原子力エネルギー 再生可能エネルギー、設備 効率 暖房 冷房 給湯 照明 家電、地球温暖化 自然災害、ゼロエネルギー住宅 ZEH、快適 健康 温熱環境 空気質 教科書 授業中に指示をする。／Will specify at class time ガイダンス 第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。					
31471	木 2	物理のための数学ゼミ	吉川 純一	工学部	E35 教室
授業の目標・概要 物理学では、様々な現象の中に法則性を見いだして、それを数学的に記述します。また、その数学から予想される現象は、実験的に確かめられます。こうした過程の中で、それまで思いもしなかった応用が見つかることがあります。例えば、量子力学の応用としての量子コンピュータなどです。 この授業では、基礎となる数学を学び、物理の記述にどう生かされるのかを調べ、受講者同士の議論を通して理解を深めます。文献の検索、発表資料の作成、科学的な内容でのコミュニケーションの経験を積みます。最終的には、4 名程度のグループに分かれて、興味のあるテーマを自ら設定し、他の受講者の前で発表してもらいます。物理に関連していれば基本的にどんなテーマでもよいので、面白い発表を期待しています。 成績評価方法 初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 授業のキーワード 問題発見・解決型、物理学／量子力学、相互学習、サイエンスコミュニケーション、グループワーク 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。					
31501	木 2	量子情報技術を「正しく」理解する	村尾 美緒	理学部	E25 教室
授業の目標・概要 従来型の情報処理や情報通信の限界を超えるブレイクスルーの候補として、量子コンピュータや量子暗号、量子テレポーテーションなどの量子情報技術が最近注目を集めている。これらの量子情報技術は、量子エンタングルメントや量子測定など、日常の直感に反する量子力学の特性を情報処理や情報通信に利用したものであり、量子情報技術を「正しく」理解するためには、情報処理の観点を取り入れた量子力学の正しい理解が必要である。しかし、量子力学は一般にはなじみの薄い概念であり、報道などにおいても不適切な解説をたびたび見かける。本講義では、量子情報技術を「正しく」理解し、量子力学を習ったことのない人々にもわかりやすく正しく説明できるようになることを目標とする。 成績評価方法 初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 授業のキーワード 授業のタイプ（講義・演習・調査・発表）、物理学、量子力学、量子情報技術、量子計算、量子情報 教科書 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会 ガイダンス 第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。					
31515	木 2	東日本大震災・原発事故における環境 汚染を考える	濱本 昌一郎	農学部	K302
授業の目標・概要 概要 2011 年に起きた東日本大震災で、東北から関東地方の太平洋沿岸は地震と津波による大きな被害を受けた。津波による海底のヘドロ等の陸域への拡散、被災した工場等からの有害物質の大気・公共用水域・地下水・土壌への漏出、津波による廃棄物の海洋への流出や油汚染等、国民の健康への悪影響や生活環境の悪化が懸念された。また、福島第一原子力発電所事故により放出され福島県西部を中心に広く降下沈着した放射性物質は、9 年経った現在でも様々な農林産物の生産・流通を妨げ、当該地域の農業復興を妨げる大きな要因となっている。 本ゼミナールでは、東日本大震災・原発事故の問題に関わる学術論文や報告書を収集・整理し、震災および原発事故による環境汚染の状況と復旧の現状、農林水産業への影響について学びます。この問題の重要性と、社会経済、政策制度との関わりも含めて今後求められる環境汚染対策について考えを進めていきます。本ゼミナールを通して、自然科学研究の思考や方法論についても理解してもらいます。 震災・原発事故以降、当該地域での調査と放射性物質に関する研究室内での実験に携わってきた農学生命科学研究科の教員 2 人と大学院生が授業を担当します。 授業の目標：東日本大震災・原発事故における環境汚染問題を通して、 ・解決すべき問題に対して主体的に情報を取捨し自ら課題を設定する力を身に着ける。 ・グループによる課題設定、進捗状況の共有、プレゼンテーションの実施、質疑応答といった共同作業のスキル、またグループワークにおける主体的な関わり方を身に付ける。 ・自然科学の研究技法を通じた論理的思考法・批判的思考法、建設的な議論の組み立て方を身に付ける。 成績評価方法 初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 授業のキーワード 文献検索、グループワーク、農林業、土壌学、水圏環境化学、環境科学 教科書 授業中に指示をする。／Will specify at class time ガイダンス 第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。					

31516	木 2	100 年後の日本の国土を考える	堀田 紀文	農学部	K303
授業の目標・概要	日本は陸地面積の約 3 分の 2 が森林に覆われた自然の豊かな国である。しかしながら、100 年前には荒廃山地が広がっていた。明治政府による施策と、先人たちの努力によって山に緑が回復したのである。今後は、気候変動や人口減少、技術革新等に対応した新たなランドデザインが必要である。本ゼミナールでは、100 年後の国土をデザインするためにこれから必要となる研究や技術開発について考えたい。まず、空中写真や衛星画像などを用いて、森林や国土の変遷や多様性を実際に確認する。併せて、写真測量の原理や、その発展形である最新の画像解析技術についても学ぶ。次に、森林の多面的機能に基づきグループごとにテーマを設定して論文のレビューを行い、森林に関わる今後の重要な研究課題や研究の方向性について討議し、発表する。そのうえで、100 年後の国土のあり方について総合的に討論を行い、ゼミナールのまとめとする。				
成績評価方法	(授業の目標)				
授業のキーワード	・研究課題における問題点を文献に基づき把握する。 ・異なる学問分野を融合することの意義を知る。 ・成果をとりまとめて発表し、コメントに応じて修正するというプロセスを経験する。				
教科書	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 森林科学、森林の多面的機能、国土の変遷、論文講読＋問題発見、プレゼンテーション				
ガイダンス	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会 第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31530	木 2	液体としての水の特異性について考える	平岡 秀一	化学部会	K501
授業の目標・概要	水 = H ₂ O は我々にとっても最も身近でかつ不可欠な物質です。水はその極めて単純な分子構造にもかかわらず、様々な特異な性質が知られています。これらの水の特異な性質は何に由来しているのでしょうか？また、水は我々生命にとって必須の物質だと考えられていますが、なぜなのでしょう？水がないとどのようなことが起こり、水の代わりとなる別の物質はないのでしょうか。溶媒としての水の特異性の一つに疎水効果と呼ばれる現象がありますが、なぜそのようなことが起こるのでしょうか。また、疎水効果に相当する現象は、水以外の溶媒では起こらないのでしょうか。このように、水を取り巻く様々な現象を考えてみたいと思います。特に本講義では水中で自発的に集合化する立方体形の分子集合体である「ナノキューブ」という分子を題材に、これらの問題について考えます。また、講義の後半では「ナノキューブ」の形成の原理に基づいて、受講生が新しい分子のデザインにも挑戦します。				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	水、化学、疎水効果、分子自己集合、ファンデルワールス力				
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会				
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31533	木 2	ホルモンからヒトの行動を考える	坪井 貴司	生物部会	K401
授業の目標・概要	(授業の概要) わたしたちの複雑な生命活動は、多種多様なホルモンが、環境変化に応じて、適切に血液中へ分泌されることによって調節されています。この多種多様なホルモンは、ごく微量で驚くべき作用をします。例えば、「恋」や「食欲」、そして「睡眠」もこのホルモンによって調節されます。 本ゼミナールでは、ホルモンの生理作用やその生理作用を利用した先端医療への応用の可能性、そして生命倫理に関する課題について、各グループ内で討議を行い、その中で、仮説を設定し、そして結論を導き出し、その内容をゼミナール時間中にプレゼンテーションします。これらを通して、仮説から結論に至るまでの科学的な思考における基礎的な能力の習得を目指します。				
成績評価方法	(授業の目標) ・研究課題における目的や問題点を認識し、その解決のための手段を考えるという活動を行います。 ・仮説をたて、結論に至るまでに必要な科学的プロセスを考え、行動します。 ・自分の考えを、分かりやすく他人に伝え、情報を共有することで新たなアイデアや知見を得るための、コミュニケーション能力の基礎を身につけます。 初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	問題発見・解決型、生物／生理学・神経科学、ホルモン、神経、内分泌、グループワーク				
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 知識ゼロからの東大講義 そうだったのか！ヒトの生物学 著者（訳者） 坪井貴司 出版社 丸善出版 ISBN 9784621304518				
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

グループ3 1年 理一(7-8,11,13,15,17)理二三(9-10,14,19)					
時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31457	火 3	医学の考え方を身につける～Precision medicine 時代の循環器学の基礎から 応用まで～	瀧本 英樹	医学部	シラバス参照
授業の目標・概要		<概要>病気とは何か？疾患はどうやって発症するか？本授業では、医学において最も重要なこの課題について、循環器疾患（心臓や血管の病気）を題材に取り組みます。生命をシステムとして捉える医学・分子生物学・システム生物学・データサイエンスの概念を自分のものにして、Precision medicine（精密医療）における問題を自ら発見してそれを解決する授業を行います。<目標>医学の原理を理解し、そこに潜む問題点を自ら見出し、それを解決する手段を考え、グループで議論して自らの考えをわかりやすくプレゼンテーションできるようにすることを目指します。これは将来の医学研究の土台となるでしょう。			
成績評価方法		毎回の授業におけるグループディスカッション、プレゼンテーションを総合的に評価します。			
授業のキーワード		問題発見・解決型、医学、循環器学、分子生物学、システム生物学、データサイエンス			
教科書		授業中に指示をする。／Will specify at class time			
ガイダンス		第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31472	火 3	建物振動の計測と制御	伊山 潤	工学部	E25 教室
授業の目標・概要		建物を想定した振動応答解析理論の概要を学び、応答解析計算、計測の自習および応答制御を想定したケーススタディを行います。			
成績評価方法		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード		実験・実習、工学／建築構造、振動・応答、構造解析			
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook			
ガイダンス		書名 科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31473	火 3	知能ロボット入門	新山 龍馬	工学部	K201
授業の目標・概要		ロボットは、人間・機械・情報を結ぶ知的なシステムです。ロボットは、コンピュータ単体とは違って、自ら移動したり、ものを動かしたりすることができます。生物の仕組み、特に脳神経系の働きは、知的なロボットを作るヒントになります。一方、人間以上の速度やパワー、インターネット上の知識の利用など、生物を超え得る潜在力を持っています。この授業では、知能ロボットを構成する基本要素や、知的な振る舞いの作り方を学ぶため、最新版の LEGO Mindstorms を利用して実際にロボットを作ってもらいます。ただし、LEGO はあくまで入門の道具であって、授業の中では、最新のロボット研究の成果にも触れてもらい、知能とはなにか、現代社会で必要とされるロボット・システムとは何かを、議論してもらいます。また、グループワークを通じた、工学的な思考方法の習得や、問題解決のアイディアをわかりやすく伝える技術の学習も狙いです。			
成績評価方法		授業の目標： ・ ロボットや知能といった未定義で学際的なことがらに対して、グループ討論や能動的な調査に基づいて客観的に論じることができるようになる ・ 工学の観点から問題を発見し、実際の製作を通じてそれを解決するプロセスを身につける ・ 自分の考えを整理し、適切に他人と分担して、複雑なシステムであっても、順序立てて簡潔に説明できる能力を身につける			
授業のキーワード		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
教科書		問題発見・解決型、工学／知能機械・ロボティクス、グループワーク、ものづくり、知的情報処理			
ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31474	火 3	機械学習の数理と実践	鈴木 大慈	工学部	K301
授業の目標・概要		機械学習は現在の人工知能を支える基礎技術である。本講義では、機械学習の各種手法を学習することで、その理論と使い方を理解する。特に、理論を通してどのような数学が用いられているかを体感する。また、グループに分かれて各グループごとに機械学習手法の解説資料に目を通し、その実装と応用を行う。機械学習の理論と実践を学ぶことでその原理を体感し理解することが目標である。			
成績評価方法		講義の前半では各種手法の理論を学び後半ではその実践を行う。前半と後半の間に各グループごと前半の内容をまとめたプレゼンテーションを行い、講義最終回には後半の実践編における達成物に関するプレゼンテーションを行う。			
授業のキーワード		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
教科書		ガイダンス・初回授業で説明			
ガイダンス		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31475	火 3	化学のブレークスルーに学ぶ(1) (無機化学・物理化学編)	齊藤 圭亮	工学部	E35 教室
授業の目標・概要		化学のブレークスルーに学ぶ(1)(無機化学・物理化学編) では、工学部応用化学科で現在 精力的に研究が行われている無機化学・物理化学系の世界最先端のトピックをとりあげ、その研究がもたらした各分野のブレークスルーを学びます。本講義では、無機化学・物理化学をベースにした材料開発について、基本原理から実際の研究の様子、応用展開に至るまでを論文輪読、文献調査およびそれらに携わった研究者達の話の中でより身近に感じ、学ぶことができます。主に、触媒、電池、機能性ナノ材料、蛋白質などを題材にして、これらの研究がどのように生まれ、どのようなブレークスルーがあったか、また、これらの研究やその応用展開が現在どのように社会の役に立っているのかを、ゼミナール形式の授業で、分かりやすく学ぶことができます。また、実際の研究現場を見学することで、最先端の研究がどのように生まれるか、どのように行われているかを体験していただけます。			
成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 応用化学、無機化学、物理化学 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31517	火 3	多様化する食と安全性について 考えてみよう	関澤 信一	農学部	K302
授業の目標・概要		人類は有史以来、食料を効率的に生産することに多大な努力を払い、様々な植物、畜産物、そして水産物の domestication を成し遂げてきました。世界規模での人口増加が予想される現在、効率的食料生産技術開発の重要性はますます増加していくと予想されます。 一方で、このような効率性食料生産技術に起因する様々な問題も顕在化しています。例えば、高密度環境での生産は病原体の伝搬が起りやすく、また生産対象生物の移動に伴う病原体の移動は、感染症の拡大をもたらします。人工飼育条件下で与えられる人為的な餌が、生産対象種の健康に影響を及ぼす例も知られています。 『食』は人類が生きていくためには必須な存在です。そのため、人類社会の持続的発展には、食料生産技術に関連する課題への解決も求められることになります。 本講義では、農学と獣医学の専門家が担当します。穀物等の食料や畜産物を中心に、“健康”に関連するトピックごとに考えていきます。講義の中では、関連する資料に基づいてグループディスカッションを行い、討議を通じて問題の理解と課題解決への道筋を探っていきます。 講義の一部で、実際の食料生産・供給現場を訪問することで、食料を安全に提供することに対してどのような取り組みを実施しているか、また、それが限りなく完全には実施されるためには、どのような仕組みを取り入れているか、また、規制当局の関与についても学んでいきます。 初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
成績評価方法 授業のキーワード 教科書		問題発見・解決型、農学、食料生産、健康、科学プレゼンテーション、ディスカッション 教科書は使用しない。／Will not use textbook			
ガイダンス		書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31542	火 3	疾患克服を目指した医科学研究の実際 ―疾患の分子病態から予防、診断、 治療法を考える―	石井 健、小沢 学	医科学研究所	K401
授業の目標・概要		がん・免疫疾患・感染症・神経疾患などの疾病を克服し、健康で長生きできる社会を実現するためには、疾病の原因となる感染源や遺伝子変異を同定するとともに、動物モデルなどを駆使しながらその異常と病態発症・進展における分子メカニズムを解明することが極めて重要です。そして、得られたデータを新しい予防・診断・治療法の開発へと発展させていく必要があります。私達の医科学研究所では、最先端のゲノム編集技術を用いた動物モデル開発や膨大な患者サンプル等を使用した実験の基礎医学研究から、基礎実験データを臨床に活かすためのトランスレーショナルリサーチ、さらには AI やスパコンを駆使した高度な数学的手法によるデータ解析、そして様々な疾患を予防するためのワクチン開発など、基礎から応用までを包括的に統合する体制で医科学研究を推進しています。 本ゼミナールでは、グループ学習を通して、まず（１）我々の健康を脅かす感染症とはどのようなものかについての理解を深めるとともに、（２）その原因を解明し対処法を構築する上で必要不可欠である動物モデルの樹立方法について学んでもらいます。さらに、（３）得られた基礎医学情報を如何にして応用に結びつけていくかについてワクチン開発を題材として皆さんと考察していきます。その過程で、医科学研究の持つ自然科学的な側面にとどまらず、ヒトゲノム編集は許されるのか？動物のヒト化はどこまで許容されるのか？といった倫理的問題、および医療の安全性と危険性はどのようにバランスを取ればよいのか？反ワクチン運動はなぜ起こるのか？といった社会的な側面からも医科学研究の現状について議論を深めていく予定です。			
成績評価方法 授業のキーワード 教科書		開催場所 通常は駒場キャンパスで実施します。個別授業に移る前の４月後半、あるいは５月前半の一コマ（医科学研究所の施設の都合上、授業が予定されている日時とは異なる場合があります）を医科学研究所の施設見学（スパコン、実験施設等）とします。 初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 問題発見・解決型、医科学、感染症、ゲノム編集、動物モデル、ワクチン開発 教科書は使用しない。／Will not use textbook			
ガイダンス		書名 科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31544	火 3	地震による地盤災害から社会を護る	清田 隆	生産技術研究所	シラバス参照
授業の目標・概要		(授業の概要) 私たちの生活に深刻なダメージを与える自然災害発生メカニズムを紐解くと、その多くが地盤の挙動と密接な関係がある。東日本大震災、熊本地震、北海道胆振東部地震などの近年の地震を振り返ってみても、造成地の崩壊や液状化による構造物やインフラの深刻な被害が数多く発生している。本ゼミナールでは、これら地盤災害の発生メカニズム、および地盤災害から社会を護る手段を、グループディスカッションを通じて理解を深めます。 (授業の目的) そもそも地盤とは何なのか、地震時に地盤はどのように振る舞うか、地盤の強度はどのように発現されるかなど、基本的な議論や過去の地震被害の取りまとめや発表、学生が自ら作成する地盤模型を用いた実験を通じて、地盤防災研究を体験します。 (開講場所) 駒場リサーチキャンパス (駒場 II) 生産技術研究所 総合研究実験棟 As 棟 中セミナー室 (As301・302) アクセス・キャンパスマップ http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/ja/access/			
成績評価方法		初年次ゼミナール理科の評価方法によって行われます。			
授業のキーワード		問題発見・解決型、地盤工学／土質力学、地盤材料の強度・変形特性、模型実験			
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook			
ガイダンス		第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31548	火 3	先端科学技術の現場を「体験」する	石北 央	先端科学技術研究センター	K501
授業の目標・概要		この授業では、皆さんが今いる駒場キャンパスと先端科学技術研究センター（先端研）が位置する駒場リサーチキャンパスを舞台に、世界と競い合う最高水準の先端科学技術を体験してもらいます。最先端研究が、キャンパスの殻の中に閉じこもる旧来型の研究ではなく、学術の進展や社会の変化に機動的に挑戦して人間と社会に向かっていることを、この授業で実感できるはず。先端研の根幹の研究領域（環境・エネルギー、情報、材料、生物医科学、バリアフリー、社会科学）の中から、今年の講義では、基礎的な概論とともに3つの話題を紹介します。基礎から最新のトピックまでざっくりと体験できるはず。 1) 「概論」(石北 央)：先端研の最先端研究の概略を紹介するとともに、光エネルギー、光合成、蛋白質、量子化学、理論計算の接点をテーマに先端科学技術の一端をちょっとだけ覗いてみます。 2) 先端研「量子情報物理工学」分野 (×3 回) 不破麻里重 3) 先端研「身体情報学分野」分野 (×3 回) 瓜生 大輔 4) 先端研「グローバルセキュリティ・宗教」分野 (×3 回) 小泉 悠			
成績評価方法		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード		問題発見・解決型、量子コンピューター、超伝導量子ビット、バーチャルリアリティ、ウェアラブル技術、ロシアの軍事・安全保障政策、蛋白質、理論化学			
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook			
ガイダンス		第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31476	木 3	途上国開発に学ぶプロジェクトマネジメントとコンクリート工学	高橋 佑弥	工学部	K303
授業の目標・概要		途上国開発をはじめとした国際建設プロジェクトにおいては、調査・計画・契約・施工などそれぞれの段階で、技術者が工学的判断を行うことが必要である。様々な制限や制約条件下で複数の要因のトレードオフの中、技術者の主体的判断のもと問題を解決することが求められるが、時として、異なる関係主体に関する理解が不十分なことによりプロジェクトの成功が危ぶまれることもある。例えば、橋の建設において、工事手順への配慮に欠いた造形を重視した設計が施工会社の工事失敗リスクを増大させてしまうような事例も生じている。援助国・被援助国政府、住民、設計会社、コンサルタント、施工会社といった異なる主体間の連携と相互理解のもと、それぞれが適した判断を行うことが大切である。本ゼミナールでは、上記の観点から、途上国のインフラ開発を題材として、国際建設プロジェクトの運営を疑似体験する。案件形成・計画からプロジェクト遂行・建設までを異なる立場で体感することで、問題の発見・解決の姿勢や多角的視点を身に着けると共に、建設プロジェクトに関わる工学分野（建設マネジメント、コンクリート工学）の基礎を学ぶことを目標とする。			
成績評価方法		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード		問題発見・解決+ものづくり型、工学/建設マネジメント・建設材料、海外建設プロジェクト、途上国開発、プロジェクトマネジメント、コンクリート			
教科書		プリントを配布する。／Will distribute handouts			
ガイダンス		第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31477	木 3	化学を使って生命や分子の謎を解く： 「がんの早期診断・治療法を考える」	山東 信介	工学部	K401
授業の目標・概要		「生命」は化学物質の変換を巧みに行い自律的に活動する複雑なシステムです。また「分子」はそれら化学物質の基本的な構成単位であり、その活動や機能の発現において中心的な役割を担っています。 生命や分子を「化学」の視点から眺め理解することは、我々自身やまわりの現象を深く知る上で欠かすことができません。わたしたちは「化学」の力を使って、自らの創造力を「分子」をデザインすることにより具現化することができます。それによって生命現象の理解や病気の治療法を考案したり、自然界にはない新たな機能を持つ分子や素材を生み出すことが可能となります。まさにこの分野は、21世紀の人類社会が抱える多くの諸問題を解決する糸口を提供します。 本ゼミナールでは、生命現象を司る分子の働きに焦点を当て、化学や分子の視点からどのようにアプローチし、どのようにアイデアを具現化するかについて、文献調査やディスカッションを通じて主体的に考え、オリジナリティの高い提案を行うことを目標に進めていきます。具体的には、がんの早期診断・治療法の開発に役立つ機能性分子のデザインに挑戦します。はじめに、分子設計のストラテジーを実際に活躍する機能性分子の例から学習します。その後、実際に現代社会で問題となっている疾病を対象として自ら課題設定し、がんの早期診断・治療に向けた有用な新規分子の提案を行ないます。 授業の目標： ・解決すべき問題に対して自ら課題を設定し、解決法を提案する主体性を育成する。 ・グループによる課題設定、進捗状況の共有、プレゼンテーションの実施、質疑応答といった共同作業のスキル、またグループワークにおける主体的な関わり方を身に付ける。 ・自然科学の研究技法を通じた論理的思考法・批判的思考法、建設的な議論の組み立て方を身に付ける 初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 問題発見・解決型、化学/生命科学、グループディスカッション 授業中に指示をする。／Will specify at class time 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス					
31502	木 3	材料をつくり出す化学	長谷川 哲也	理学部	120 教室
授業の目標・概要		化学がつくり出す様々な先端材料（超伝導体や磁性体、太陽電池、光触媒など）について、なぜそのような性質を示すのか、またどのような応用あるかについて調べ発表を行うとともに、簡単なデモンストレーションや実験を通して材料を体験する。			
成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 問題発見・解決型、化学/材料化学、先端材料、物性化学、デバイス 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31522	木 3	薬の開発にどのように化学が関わっているか	平野 圭一	薬学部	K302
授業の目標・概要		本講義では、有機化学の基本的な考え方を学びつつ、最新のトピックスを交えながら様々なアプローチで薬への理解を深めることを目標とします。 各授業では、簡単なガイダンスの後にグループディスカッションを行い、その結果をプレゼンテーションする形をとります。 サイエンティフィックなテーマに関してグループ内で意見のコンセンサスを取り、資料を作成し、論理的にプレゼンテーションする能力の獲得を目指します。			
成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス		出席 有機化学、くすり、グループディスカッション、プレゼンテーション 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31525	木 3	生命現象のモデル化と実験検証	若本 祐一	物理部会	118 教室
授業の目標・概要	(授業の概要と目的) 生物学の歴史を振り返ると、メンデルの遺伝の法則に代表されるように、現象を担う「もの」の実体が理解されるより前に生命現象自体の「こと」としての定量的関係や法則性がまず理解され、その背景原理の解明につながった事例が多くみられます。近年になり、計測技術の進展も相まって、生命科学の研究では、定性的な実験データだけでなく、定量的なデータが多く得られるようになってきています。その結果、これまで物理学で主に行われてきたような、理論モデルの予言と実験結果の厳格な定量比較により、モデルや仮説の妥当性を厳しく検証し「こと」としての生命現象の本質に迫る研究が実現しつつあります。 そこで本授業では、グループワークや文献紹介、モデル構築や実験を通して、生命現象にみられる定量関係、定量法則について理解を深めるとともに、自ら新たな仮説をモデルとして表現し、その妥当性を評価したり、自ら仮説を検証する実行可能な実験を立案・実行できる能力を養うことを目指します。 この授業の具体的な目標は以下のとおりです。 (授業の目標) ・様々な生命現象にみられる定量関係、定量法則について理解を深める。 ・実験により明らかにされた生命現象に対し、その背景原理について自ら仮説やモデルを立てられるようになる。 ・自分の仮説を検証するための適切な検証実験を立案できるようになる。 ・自分のモデルをもとに、理論解析や数値シミュレーションなどにより、自ら結論や新たな予言を導くことができるようになる。 ・生命現象を「もの」の観点から知るだけでなく、「こと」として捉える観点を身につける。 成績評価方法 初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 授業のキーワード 問題発見・解決型、物理/定量生物学、モデル化、実験、仮説検証、グループワーク 教科書 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会 ガイダンス 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31534	木 3	哺乳類の受精・卵割の特性	大杉 美穂	生物部会	K201
授業の目標・概要	<概要> 受精・卵割による新たな生命の誕生は、異形配偶子形成を行う生物に普遍的な生命現象である一方、生物種によって驚くほどの多様性も示します。 本ゼミナールでは、まず受精に関連するキーワードを含む一般のニュース記事（過去1年分）の中から興味をもったものを選び、内容について科学的に説明するためのグループごとの調査・発表を通して受精についての普遍的な知識を得ます。 その後、その記事の元となった学術論文について調査・発表を繰り返す過程で、受精過程が多様であることにどのような意義や利点があるのか（あるいはないのか）、私たちヒトを含む哺乳動物の受精・発生にはどのような特性があるかについて議論を進め、理解を深めます。 <目標> ・教科書的な知識を丸覚えするのではなく、それがどのような観察結果や実験結果から導かれたものであるかを理解する。 ・「まだわかっていないことは何か」を意識しながら学び、科学的課題の設定や仮説の立て方とその検証方法について知る。 ・人にわかってもらうためのプレゼンテーション技術の基礎を身につける。 成績評価方法 初年時ゼミナール理科の評価方法によって評価します 授業のキーワード 生命科学、受精、繁殖、哺乳類、生殖医療・再生医療 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

31545	木 3	デザイン・エンジニアリング・ワーク ショップ ～ 機能的で美しいものを作るための観察、コンセプトワーク、 スケッチ、プロトタイピング	山中 俊治	生産技術研究所	シラバス参照
授業の目標・概要		※開講場所：生産技術研究所（駒場第二キャンパス） S 棟 2 階 ギャラリー-S-2 会議室 【背景】 デザインという言葉は、かつては装飾的な「意匠」の意味で使われていましたが、今日では人々の生活を豊かにするための幅広い価値創出の技術として、様々な分野で活用されるようになりました。本授業ではデザインについて、次のような新しい定義を採用します。 「デザイン：人工物あるいは人工環境と人との間で起こるほぼ全てのことを計画し、幸福な体験を実現すること」 便利で使いやすく美しい人工物をデザインするには、基本機能を設計するための幅広い自然科学と、人のふるまいを理解するための人文科学の知識、自然物や抽象形態に対する繊細な美的感覚と表現力が必要です。いずれも習得に時間がかかる巨大な体系ですが、最も重要なのはそれぞれの方法論の違いを理解し、常に多視点、多重思考で考えることです。 【目的】 ・科学知識と美的感覚、論理思考と手作業、概念操作とプロトタイピングなど、相反する創造プロセスを同時に扱うための「振り子」思考を身につける ・アイデア創出の方法を学ぶ ・アイデアを具現化し、人に伝えるためのプロトタイピング手法を学ぶ ・スケッチや立体物製作のための基本となる物の見方、身体の使い方を学ぶ 【概要】 後述の 3 つの課題に挑戦してもらいます。 制作は、しばしばホームワークであり、かなりハードワークになります。 【参考】 教員のひととなりを知りたい場合は、下記のブログや Twitter を参考にしてください。 ・ブログ「デザインの骨格」 http://lleedd.com/blog/ 2014 年から更新されていませんが、デザインの基礎となるものの見方や考え方をエッセイ風に記録したものです。 ・twitter @Yam-eye https://twitter.com/Yam_eye ・Instagram https://www.instagram.com/yam_sketch/ 山中のスケッチ置き場です。 初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 問題発見解決型演習、デザイン・エンジニアリング、スケッチ、プロトタイピング、アイデアの作り方、ユーザビリティ			
成績評価方法	授業のキーワード	イ			
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 気になるモノを描いて楽しむ 観察スケッチ 著者（訳者） 檜垣万里子 出版社 ホビージャパン ISBN 978-4798619187				
ガイダンス	第 1 回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

31551	木 3	身近な CO2・PM2.5 濃度の変動を 捕らえる	今須 良一	大気海洋研究所	K501
授業の目標・概要		（授業の概要） 地球温暖化は温室効果ガスの大量放出により引き起こされます。その中で最も重要で身近なものは二酸化炭素(CO2)です。一方、健康に深刻な影響を及ぼす大気汚染物質の一つとして PM2.5 が問題となっています。本ゼミナールでは、簡易測定装置を用いて身近な環境における CO2 や PM2.5 の濃度変動を測定し、そのデータの解析、結果の考察を通じて、科学的なものの考え方や論理の展開の仕方を身につけます。また、関心がある場合には、赤外線強度の測定装置（サーモグラフィー）も用いた実験も行えます。これらは、グループ単位での測定実験、解析、発表、および、全員での質疑応答の形式で行います。これと併せ、あるテーマについて講義形式で話題提供し、グループ討議や全体討論を通じて、科学的なものの見方の幅を広げていくことを目指します。 （授業の目標） ・自分たちで行った測定結果を題材に、論文や口頭発表の構成要素である、序論・手法・結果・議論の展開ができるようになる。 ・実験の立案、実施、まとめの過程で、個人の考えを出し合い、議論を通してグループとしての考えや提案をまとめる能力を身につける。 ・研究発表に対して質問する能力を向上させる。また、発表者は質問や批判に対しての対応力を強化する。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 期末試験は行わず、毎回の作業への取り組みや、発言頻度・内容により評価を行います。				
授業のキーワード	問題発見・解決型、地球科学/気象、気候変動・地球環境、発想力、調整能力、観察力				
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook				
ガイダンス	第 1 回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

グループ4 1年 理一(23,26,28-29,33,36-37)理二三(12,16,24)					
時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31478	火 4	知能ロボット入門	鳴海 拓志	工学部	K401
授業の目標・概要	ロボットは、人間・機械・情報を結ぶ知的なシステムです。ロボットは、コンピュータ単体とは違って、自ら移動したり、ものを動かしたりすることができます。生物の仕組み、特に脳神経系の働きは、知的なロボットを作るヒントになります。一方、人間以上の速度やパワー、インターネット上の知識の利用など、生物を超え得る潜在力を持っています。この授業では、知能ロボットを構成する基本要素や、知的な振る舞いの作り方を学ぶため、最新版のLEGO Mindstormsを利用して実際にロボットを作ってもらいます。ただし、LEGO はあくまで入門の道具であって、授業の中では、最新のロボット研究の 成果にも触れてもらい、知能とはなにか、現代社会で必要とされるロボット・システムとは何かを、議論してもらいます。また、グループワークを通じた、工学的な思考方法の習得や、問題解決のアイディアをわかりやすく伝える技術の学習も狙いです。				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	問題発見・解決型、工学／知能機械・ロボティクス、グループワーク、ものづくり、知的情報処理				
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31479	火 4	体験的ものづくり学 ー3D プリンタに よるコマづくりー	三村 秀和	工学部	K201
授業の目標・概要	(授業の概要) 日本は、「ものづくり」が重要と言われていますが、「ものづくり」とは何でしょう？自動車、パソコン、テレビ、携帯・・・と製品が、まず思い浮かびますね。こうした製品に加えて、ライト、センサー、タイヤ、レンズなどの部品や、銅、ウエハ、ガラス、プラスチックなどの素材を生み出すことも、「ものづくり」です。 この「ものづくり」というのは、目標とする機能があり、それを満たす設計を行い、その設計に基づいて実際に作製し、作られた製品を評価するという一連の流れで成り立っています。「ものづくり」は、お互いが関連しており、作製方法を知らなければ、設計できませんし、目標とする機能の設定もできません。 本講義では、「コマ」の作製を通じて、ものづくりの一連の流れを体験してもらいます。「コマ」は誰もが知っていますね？なぜ、「コマ」は倒れずに回るのでしょうか？よく回る「コマ」はどういったものなのでしょう？その答えを、剛体と回転に関する力学を勉強してもらい、理解してもらいます。そして、その物理的な理解をベースに各グループが自由な発想の元、「オリジナルなコマ」を提案、設計し、実際に3D プリンタで作製してもらいます。3D プリンタは、優れていますが何でも作れるというものではありません。3D プリンタを実際に体験し、精度などの特徴を理解して、設計にフィードバックします。 このように、本講義では、コマの力学、設計、3D プリンタを勉強し、「世界オンリーワンのコマ」の作製を通して、「ものづくり」に関する総合的な知識を身につけます。				
成績評価方法	(授業の目標)				
授業のキーワード	・回転、剛体に関する力学、ものづくり設計、3D プリンタに関する知識を学びます。				
教科書	・与えられた課題の物理的特徴を理解し、ものづくり設計に活用する思考法を身につけます。				
ガイダンス	・作製方法を理解し、ものづくり設計にフィードバックする能力を身につけます。				
	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
	実験データ解析型、工学/力学、設計、生産、3 Dプリンタ、剛体の力学、設計、CAD				
	教科書は使用しない。／Will not use textbook				
	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31480	火 4	化学のブレークスルーに学ぶ(2) (有機化学・分析化学編)	澤田 知久	工学部	K501
授業の目標・概要	有機化学・分析化学におけるブレークスルーとなる発見や成果をもたらした研究に関して、その背景と基礎知識を講義や文献読解により学ぶとともに、世界最先端の研究現場やその舞台裏に触れる。研究の基礎となる理論や手法を身につけた上で、それを基に研究がどのように展開され応用技術や新しい概念に結びついたのかを順を追って学ぶ。				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	応用化学、有機化学、分析化学				
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook				
ガイダンス	書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

31481	火 4	原子力エネルギー・放射線医療と社会/ Nuclear Energy / Radiation Medicine and Society	上坂 充	工学部	E25 教室
授業の目標・概要		原子力エネルギーと放射線医療の原理を理解し、それらの社会受容性を討論する。原子力エネルギーにつき、他のエネルギー源との比較、地球環境、国際関係、放射線がん医療につき、放射線人体影響、放射線安全、他の治療法との比較、社会受容性につき、リスクコミュニケーションを学習し、討論する。複雑な問題の中から課題とその解決方法の発見を試みる。最後は討論内容をプレゼンテーションし、発表技術も向上させる。			
成績評価方法		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価する。			
授業のキーワード		問題発見・解決型、工学/システム創成、原子力発電、放射線がん治療、社会受容性			
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook			
ガイダンス		第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31503	火 4	解析学の基礎	下村 明洋	理学部	108 教室
授業の目標・概要		大学での標準的な数理科学の立場から観ると、高等学校までの数学於いて極限と連続性や微分積分の取り扱いはやや直観に頼ったものであり、大学での学問としての数理科学ではこの分野は厳密な理論が展開される。「数理科学の立場からに厳密に記述された微分積分学（解析学の初歩）の文献の実数、極限、連続性等に関する部分」を受講生が輪読する事により、この分野に関する理解を深める事を目標とする。この科目は、受講生による発表形式（黒板を使用）で行うので、受講生が能動的に学習し発表内容を他の人に説明する能力を身に付ける事も目標とする。この分野の能動的な学習を通して、数理科学的な思考力を養う事も目標である。			
成績評価方法		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード		文献輪講型、数理科学/解析学、実数、極限、連続性			
教科書		授業中に指示をする。／Will specify at class time			
ガイダンス		第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31504	火 4	宇宙・惑星・地球物理学の進め方	笠原 慧	理学部	E41 教室
授業の目標・概要		地球惑星科学が対象とする分野は地球の内部から太陽系外の宇宙空間まで、多岐に渡ります。なかでも気候変動や宇宙・惑星のトピックはニュース・テレビ番組や科学雑誌でしばしば取り上げられるため、中高生でも科学好きであれば「現象論的な知識」を得る機会は多いでしょう。ところが、報道内容のような結論がどのような「観測根拠」と「推論過程」で導かれたのかについては、理解されていないことがほとんどです。これら観測根拠や推論過程は、発見の事実と比べて地味で小難しい内容であることが大抵ですが、これこそが科学を科学たらしめている本質です。惑星探査プロジェクトのような100億円超の大型予算を要する研究計画も、こうした理学的議論に立脚して形成されています。本ゼミでは、こうした観測データと物理の基本法則に基づいた科学的議論を体験します。前半は気候変動に関するデータ解析、後半は、宇宙・惑星探査の計画立案を扱います。			
		（1）気候変動 エルニーニョ現象は、東太平洋赤道域の海面水温が、平年よりも暖くなる気候変動現象である。この現象が発生すると、世界各地に異常気象を引き起こすことから、活発に研究が行われている。本ゼミでは、いくつかのグループに分かれて、エルニーニョ現象に関するデータ解析を実際に行い、得られた結果に関する考察を行う。			
		【テーマ例1】温暖化に伴い、エルニーニョ現象は、どのように変化するのだろうか？気候変動に関する政府間パネル（IPCC：Intergovernmental Panel on Climate Change）」が利用した大気海洋結合モデルによる温暖化実験の結果の解析を行うことにより調べる。			
		【テーマ例2】エルニーニョ現象は太平洋熱帯域で発生するが、同様の現象が、インド洋や大西洋でも発生するのだろうか？インド洋や大西洋の海面水温データ等を解析することにより、他の現象について調べる。			
		得られた結果は、レポートにまとめる。また、他のグループの学生が執筆したレポートのピアレビューを行う。			
		（2）宇宙・惑星探査 複数のチームを作り、それぞれ過去の宇宙・惑星探査の調査、および将来探査の提案プレゼンテーションを実施する。			
成績評価方法		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード		講義・輪講・理論実習、気候変動・エルニーニョ現象、宇宙・惑星探査、探査ミッション、観測、データ解析			
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook			
ガイダンス		第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31518	火 4	私たちの身近にあるワンプクな タンパク質を科学する	新井 博之	農学部	K302
授業の目標・概要		【授業の概要】 生体内で起こるほとんどすべての生命現象はタンパク質を必要としています。タンパク質はアミノ酸が連結した高分子ですが、その配列によって機能が異なります。例えば、物質輸送にかかわるタンパク質、貯蔵にかかわるタンパク質、運動に必要なタンパク質、生体構造を維持するタンパク質、生体防御にかかわるタンパク質、情報を伝えるタンパク質などがあります。我々は、これらのタンパク質を取り出し、食べることによって栄養素として、あるいはいろいろな産業応用をして、実生活に役立てています。そこで本講義では、私たちの身近にある興味あるタンパク質を選び、性質やその利用法を考えると同時に、その重要性を体験し、この経験をもとに、他の人達に、そのタンパク質の重要性を納得してもらうツールを作ることを目標とします。			
		【授業の目標】 ・グループワークを通じて、集団での問題設定、情報共有、討論、役割分担などコミュニケーションスキルを身につけます。			
成績評価方法		・自分たちの知りたい科学情報を検索する手法を習得します。 初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
		（この講義での個別評価基準） 自分で考え、自分で課題を見つけ出す。			
授業のキーワード		問題発見・解決型、生物／タンパク質、グループワーク			
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook			
ガイダンス		第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31538	火 4	人間行動のメカニズムを科学的に探る —創造性と意思決定を例にして—	植田 一博 横山 ゆりか	情報・図形部会	K301
授業の目標・概要 人間行動のメカニズムに関する科学的関心が、現代日常世界の課題と関係していることを理解し、日常世界の体験と科学的研究の両者を結ぶ研究テーマを企画することを試みる。 第Ⅰ部では創造性の向上が現代社会の様々な場面で課題となっていることを学び、創造性を高める環境デザインを対象にして研究テーマを考える。実際に企業・研究所で行われている創造性向上のためのオフィス環境改善の事例を見て、その背景にある研究を探索する。探索を通して最終的には自分の実証したい新しい研究テーマを見つけ、探索した研究の手法を参考にして実証研究を企画することを目標とする。 また第Ⅱ部では、日常における判断と意思決定を対象にして研究テーマを考える。認知科学分野で行われている判断と意思決定の実験を体験し、実験に不可欠な統計について学んだあと、統計処理を念頭に入れた自分たちの実験計画を作成する。前半より踏み込んだかたちで、実際に実施可能な実験計画を作成することを試みる。					
成績評価方法 初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 (この講義での個別の評価基準) 日常的な出来事から研究のテーマを見つけ出し、科学的検討のプロセスに落とし込むことができたか 授業のキーワード 論文読解・問題発見・研究企画、認知科学、環境心理学、心理学実験・フィールド調査 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。					
31539	火 4	月を見よう	小河 正基	宇宙地球部会	E35 教室
授業の目標・概要 近年、再び人工衛星による月の探査が計画され、月への関心が高まっている。このゼミナールでは、JAXA 宇宙科学研究所の KADIAS というホームページで公開されている、リモートセンシングで得られた地形や地表面の化学組成などの分布データを見て、月とはどのようなところか考察する。ネットで得られる情報に振り回されることなく、自分の目にはどのように見えるかを論ずることを希望する。作業は4-5人程度の班に別れて行ってもらおう。 班ごとにレポートを提出することが前提。その上で、出席して実際に作業に参加することを重視する。					
成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス 月、リモートセンシングデータ、地形、化学組成、重力、磁場 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。					
31458	金 1	麻酔の科学：意識・痛み・生体情報 管理を考える	伊藤 伸子	医学部	K501
授業の目標・概要 概要： 外科手術を安全に行うために麻酔は不可欠であり、意識と痛みを適切に管理することがその本質である。全身麻酔によりものの言えぬ患者の手術を安全に遂行し再び目を覚まし感覚を蘇らせるために、麻酔科医は様々な生体情報を監視し、電子制御された医療機器が駆使されている。しかし意識と痛みの本質・薬剤による意識への作用・痛みへの作用の全容は未だ未解明なことが多い。私たちの身近にある痛みへの対処法や麻酔をめぐる問題について、歴史や現在までの結論を探りながら、科学的思考の習得を目指す。 目標： 学術的知見から科学的思考プロセスを学ぶ 未解決の問題を発見し研究計画を立てる グループワークを通じて、情報共有、討論、役割分担など、コミュニケーションスキルを身につける					
成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス 初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 論文読解・問題発見・解決型、麻酔、痛み、神経科学、発達、リスク管理 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。					
31482	金 1	東京の街を歩き、その空間について 考える	廣井 悠	工学部	114 教室
授業の目標・概要 本授業は、フィールド体験型ゼミナールとして、駒場キャンパス及びその周辺や東京の街を歩き、その空間の特徴を把握しながら魅力と課題を発見し、それらを表現する力を養うことを目的としています。授業では、まず、1つの小さな街とも言える駒場キャンパス及びその周辺をフィールドに、現地踏査と情報収集(写真撮影、寸法測定、観察等)、収集した情報に基づく空間の特徴の把握、魅力や課題に関する討議と整理、整理した内容の表現・発表(大判ポスター)といった一連の作業を7名程度の少人数グループで行います。次に、個人で、東京の街を歩き、魅力的な街を3ヶ所選び、その魅力について発表を行います。そして、小人数グループで「東京の魅力的な街マップ」を作成します。					
成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス 出席点、平常点(授業における貢献度)、個人課題・グループ作業の成果物 キャンパス、街、資料収集・分析、現地踏査、発表、グループ作業 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。					
31483	金 1	ロケット工学から見た深宇宙探査	小泉 宏之	工学部	K301
授業の目標・概要 実際にやること： 1. 目的地を知る(文献調査) 2. 行く方法の設計(打上げロケット選定、文献調査、軌道設計、軌道の解析計算、軌道の数値計算、エンジンの選定、推進剤質量の計算、ペイロード最大化) 初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。					
成績評価方法 授業のキーワード 教科書 解決型(深宇宙ミッション立案)、宇宙工学、深宇宙探査、軌道 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 宇宙はどこまで行けるか 著者(訳者) 小泉宏之 出版社 中央公論新社 ISBN 4121025075 ガイダンス 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。					

31484	金 1	社会シミュレーション入門	和泉 潔	工学部	K201
授業の目標・概要	※後半の数回分(グループワーク)を6月土曜日の午後に本郷キャンパスで行う予定です。 履修希望者は上記日程の都合が合うことを確認して下さい。 ●社会現象のモデリング&シミュレーションにより「答えのない問題を解く力」を身につける ●「研究の基礎的な流れ」を学ぶ (授業の概要) 現実社会では正解がない問題、答えがひとつとは限らない問題、解法の指針がわからない問題が数多く存在します。実際に社会に出た時、そういった問題に向き合うためには、自ら考え仮説を立て検証する「仮説検証能力」が必要となります。 本授業では、仮説検証能力向上のアプローチとして、社会現象を対象としたモデリング&シミュレーションの技術を学びます。特に、現実社会では実験が難しい事象について、コンピュータを用いて検証を行う技術を身につけます。 エージェントと呼ばれる社会の中での個人のような働きをするプログラムが多数集まって社会現象を再現するエージェントシミュレーションという技術を学びます。 また仮説検証能力は、学術研究分野において重要な基礎であり、モデリング&シミュレーションの考え方は、今後研究活動を始めるにあたり効果的な事前学習となります。 (授業の目標) - プログラミング言語の習得だけではなく、現象をモデリングするスキルを身につける。 - 実際の研究・開発の流れを学ぶ。 - 社会経済現象に関するデータを解析しモデルを構築する工学的手法を学ぶ。 - モデルを用いた計算機シミュレーションから、予測・制御・設計を行う手法を学習する。 - シミュレーション言語を用いた、社会現象のマルチエージェントモデルの作成を行う。 - グループワークを通して自分の考えを相手に伝え、相手の考えを理解することでプロジェクト実施時におけるコミュニケーション能力を養う。				
成績評価方法	出席と通常講義での課題・発表及び最終レポートで評価します。				
授業のキーワード 教科書 ガイダンス	問題発見・解決型、システム科学、社会シミュレーション、モデリング 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31505	金 1	高エネルギー宇宙物理学の幕開け	馬場 彩	理学部	516 教室
授業の目標・概要	宇宙物理学は、人類が空を見上げた時に始まった最初の学問の一つである。それ以来数千年、人類は「宇宙は冷たくからっぽで静かな世界」だと考えてきた。しかし 20 世紀に入り、膨張宇宙の発見とともに人類の世界観を変えたのが、天体からの X 線やニュートリノの発見であった。これらは天体が超高温・高エネルギーでなければ発することができず、宇宙には高エネルギー現象が満ち溢れていることがわかってきた。 本講義では、最初に「X 線宇宙物理学」に焦点をあて、どのような経緯でこの分野が始まり新しい知見を得たか、検出技術や天体物理を交えながら理解を進める。その後、グループごとにサブテーマを決め、正確に、かつ分かりやすく説明する。				
成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス	グループごとの議論とその発表をもとに行う 高エネルギー宇宙物理学、X 線宇宙物理学、素粒子物理学 プリントを配布する。／Will distribute handouts 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31506	金 1	分子の世界への招待	磯部 寛之	理学部	E39 教室
授業の目標・概要	Central Science とも称される「化学」の成り立ちについて学ぶ。データベース検索などを活用し、知識が形成される過程を、学術論文を中心として学生自身が主体的に学び取る。また、学んだことをグループ学習によるプレゼンテーションにより他者にわかりやすく伝える体験を通して、プレゼンテーションに関わる技能を学ぶ。化学の分野を題材にしながら、科学一般の基礎となる学術的スキルを実践的に習得することを目標とする。また、1 コマは本郷の研究室にて有機化学の最前線の研究現場を見学し、関連する化学実験を体験する。				
成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 論文読解・演習型、化学/有機化学、少人数ゼミ、化学、情報検索、プレゼンテーション 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31523	金 1	薬学を支える基盤技術の役割と貢献	前田 和哉	薬学部	K401
授業の目標・概要	授業の目標、概要：新薬を開発するためには、少なくとも十数年に及ぶ研究期間と莫大な研究開発費を要します。創薬研究のプロセスは、探索研究、開発研究、臨床研究に大きく分類され、それぞれの研究段階において多くの研究分野が創薬を支えています。本授業においては、分子の細胞内動態・機能を明らかにする蛍光イメージング法、薬のターゲットであるタンパク質の立体構造を明らかにする X 線結晶構造解析や核磁気共鳴法、薬物が投与された後の体内での薬物の挙動を明らかにする薬物動態を取り上げ、これらの技術が創薬においてどのような役割を果たしているのかを論文読解やグループワークを通して理解します。授業で取り上げる技術をはじめとする様々な創薬基盤技術の今後の可能性をグループで調査・議論し、プレゼンテーションを行います。				
成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 情報収集・問題解決型、物理系薬学、蛍光イメージング、X 線結晶構造解析、核磁気共鳴法、薬物動態 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

31540	金 1	フューチャー・オブ・マインド	坂口 菊恵	教養教育高度化機構	K302
授業の目標・概要	脳機能や身体運動のイメージング技術の普及と、得られたデータの機械学習処理との組み合わせにより、頭で想像することにより機器を操作したり、思考をデータ化して他者に送ったりといった SF のような技術の基礎は既にできており、今後の急速な発展が見込まれている。また、知的作業の多くを AI により代替できるようになった場合、教育の価値はどこにあるのか、膨大になる情報のヒトによる処理能力を上げるにはどうすべきかへの関心が高まっており、Brain-computer(machine) interface やニューロフィードバックがひとつの解として提示されている。本授業の前半では、近年の情報処理技術の進展がどのように社会実装され、神経科学や教育、社会システムのあり方を変えつつあるかリサーチして発表する。後半では、簡易的なウェアラブル脳波計を用い、コンピュータからセンサーデータにアクセスしてクラウドデータベースにアップロードし、分析結果を図示したり、学習効率を上げるアプリケーションをつくる、もしくは作成計画をつくることをめざす。				
成績評価方法	習得しうるデータや現時点で各自が利用できる分析技術をもとに、研究やサービスに役立てるには何をおさえるべきか、発想を重視する。				
授業のキーワード	問題発見解決・データ解析型、心理学／情報、ブレインマシンインターフェース、モバイル脳機能計測、教育ビッグデータ、IoT				
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook				
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

グループ5 1年 理一(21,25,27,30-32)理二三(1-3,5,11,13,21)

グループ5 1年 理一(21,25,27,30-32)理二三(1-3,5,11,13,21)					
時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31456	水 2	スキンケア研究を通して健康科学 研究手法を学ぶ	春名 めぐみ	医学部	E39 教室
授業の目標・概要	本講義では、実際に研究計画の立案・研究調査・分析・発表を行います。一連の研究を行うことで、健康科学や看護科学の研究とはどのようなものなのかを学びます。 この講義を通して、研究とはどのようなものなのかを身近に感じてもらうことはもちろん、世の中にある「健康に良い・悪い」「効果がある・効果がない」とはどのように検証していくのか、また測定を通して測定誤差の原因や対処について考えることで、どのように情報と向き合えば良いのかを理解し、研究方法論についての基礎的な理解を深めることを目標とします。				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	問題発見・解決型、調査、研究、スキンケア、看護科学、健康				
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科 著者（訳者）／Author(Translator) 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会				
ガイダンス	第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31485	水 2	工学×デザイン～ワークショップで 学ぶ理系のためのデザイン	村上 存	工学部	K501
授業の目標・概要	■ 授業の目標 ・異なるテーマのワークショップを通して、ものづくりにおけるデザイン（設計）を体験します。 ・グループワークによる問題設定、分析、アイデア発想、プレゼンテーションのプロセスを身につけます。 ・デザインに必要な基礎的な工学的知識を身につけます。 ■ 授業の概要 良いデザイン（設計）とは何でしょうか。それは、単に見た目が美しいだけでなく、安全で、使いやすく、使うと嬉しくなるような人にとって思いやりのある設計を指すかもしれません。あるいは、シンプルな構造で優れた性能を発揮する巧妙な設計を意味することもあるかもしれません。この様に、ものづくりにおける「デザイン」の意味は多様です。本ゼミでは、グループワークによるワークショップを通して、ものづくりにおける多様なデザインの観点と、それに必要な方法を理解します。 前半では、身の回りから、危険、非効率、分かりにくい、使いにくいなどの「困った」デザインを調査・発掘し、問題の本質を議論します。そして、それらを「よい」デザインに変えるアイデアを提案、プレゼンテーションします。 後半では、軽くて安全な構造物をデザインすることを目的に、パスタで橋を作るパスタブリッジコンテストを通じて、機能を達成するための工学デザインを体験します。最終回は、グループごとに発表会を行い、それぞれのデザインについて議論します。				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	問題発見・解決型、機械工学／設計、デザイン、力学、理論＋実践、発想・創造				
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会				
ガイダンス	第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31486	水 2	数学・物理をプログラミングで考える	田浦 健次朗	工学部	K401
授業の目標・概要	より詳しくは以下の URL を参照 http://pmp.eidos.ic.u-tokyo.ac.jp/ コンピュータ（プログラミング）を使って、数学や物理の問題、実世界の問題を数学や物理の言葉で定式化した問題を解く方法を学びます。そうすることを通してプログラミング、数学、物理を学ぶとともに、それらの分野に対する勉強の動機・意欲が高まることを期待します。 実際の問題をいくつか、例・テンプレートとして提示し、グループに別れて解法や、問題の発展形や一般化などについて議論します。それと並行して、プログラミングの基本について、演習します。最後に、お互いが解いた問題について発表しあう、発表会を行います。途中でも、グループの間でのアイデア交換や進捗状況の共有のため、適宜ミニ発表会を行います。KOMCEE でグループごとに机を分け、ノート PC を用いてプログラミングや文献調査を行います。				
成績評価方法	出欠、授業への参加意欲など				
授業のキーワード	プログラミング、Python、物理シミュレーション、微分方程式				
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts				
ガイダンス	第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

31487	水 2	材料科学の最前線	南部 将一	工学部	K402
授業の目標・概要		『とても堅くて、どんな鋭い矛（ほこ）でも突き通せない楯』— そんな不可能を可能にする学問について考えてみましょう。実際、社会から科学技術への期待や要求の中には、不可能とさえ思えるほどの無理難題が多くあります。一般には、強固な物質はしなやかな変形ができません。電気抵抗の小さな材料は電流をよく通しますが、高い電圧をかけられません。これらの全く異なる要求を両立させることはとても困難に見えるかもしれませんが、もし2つの相反する要求（トレードオフ）を満たす物質が作り出せるとしたら・・・材料科学には、そんな一見すると不可能にみえる要求を実現するという重要な使命があります。例えば、強くてタフな材料、低抵抗になったり高抵抗になったりする材料。社会が求める機能を発揮させるように生み出された新しい材料（マテリアル）が、現代の技術革新（ブレークスルー）には重要な役割を果たしています。 本講義は、そんな最先端の材料科学について基礎を学びます。材料技術の進展によって、原子レベルに至る微細構造を制御することが可能になりつつあり、所望の特性を持つ材料を自由に設計して創り出せる時代は、すぐそこまで来ています。この授業では、高強度材料や電子デバイス材料、医療用材料などの技術についての解説文を題材としながら、いかにして相反する要求（トレードオフ）を克服する技術を生み出すことができるのか、その基礎を学びます。これらの事例を通じ、社会に貢献するための科学技術とは何かを体感してください。 【 題材の例 】 1) 超高強度材料を目指せ： 持続可能な社会を可能にするためには輸送機器の軽量化と安全性の両立が不可欠であり、今までにない強くて伸びる新材料の開発が求められています。これを実現可能とするための、最先端の材料研究を調査します。 2) 電流のオン/オフを変えられる材料とその仕組み： 情報機器の頭脳となる集積回路では微細加工されたトランジスタが何億個も並び、それぞれの材料中の電流がオン・オフと切り替わって動作します。どのようにこのスイッチを実現するのか、最先端電子デバイスの材料と構造を調査します。 3) ハイドロゲルの医用応用： ハイドロゲルは、90%程度の水と 10%程度の網目状高分子から出来ています。その組成は、生体軟組織と極めて近く、医用材料として注目を集めています。医用応用を行う上で、どのような材料設計が重要になるのか、最先端の医用材料について調査します。 【 授業の目標 】 学術論文の構成を知り、学術研究を行ううえでの基礎を身につけます。調査・研究とグループ討議や研究発表を通じ、学術的なコミュニケーション能力を身につけます。材料科学を題材にしながら基礎研究と最先端技術との関連についての実例を学び、科学技術が社会にどのようにに関わり、貢献することができるのかを議論し、理解を深めます。			
成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 論文読解型、材料工学、構造材料、電子デバイス材料、高分子ゲル プリントを配布する。／Will distribute handouts 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31519	水 2	初年次ゼミ 食糧生産の持続可能性を 考える	高橋 一生	農学部	E35 教室
授業の目標・概要		地球上の全ての生物は資源を消費することによって生命を維持しているが、その資源は有限であるにも拘らず、多様な生物と環境の調和によって形成される生命維持システムの働きで生物は今日まで生存してきた。しかし、その機能していた生命維持システムは崩れ始めている。現在、地球規模で人口爆発と砂漠化が同時進行しており、食料不足は極めて深刻である。一方、豊かな生活を求めて人類が作り出した物質が引き起こした環境汚染は陸圏、水圏、大気圏に及び、他方で資源エネルギーを大幅に消耗した。このままの状況が続けば、人類社会の維持・発展は極めて困難になる。 本ゼミナールでは、人類生存にとって不可欠な食料生産について、その背景にある問題点を整理し、持続可能な食糧生産について討論することで考えを深める。			
成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 「問題発見・解決型」、「人口爆発」、「気候変動」、「環境負荷」、「農業生産」、「水産資源管理」 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31524	水 2	薬学を支える生物学の役割と貢献	名黒 功	薬学部	K303
授業の目標・概要		薬学部では、生命現象の理解を究めつつ、最終的なアウトプットとして創薬を視野に入れた研究を行っています。生命現象を深く理解するためには、生物を構成する最小単位である細胞のことを詳しく知る必要があります。そして細胞のことを詳しく知る方法として正常な細胞と正常でない細胞を比較し、その違いがどこから生じているのか調べることはとても有効な手段です。数多ある病気の原因は各々ですが、究極的には特定の細胞の機能異常が病気を引き起こしているとみなすことができます。これはすなわち病気の原因を探ることが正常な細胞の本来あるべき姿を知る手がかりにもなることを意味します。 このゼミナールでは創薬の対象となりうる各種の病気やその発症原因について学習しながら、正常な細胞の姿の一端を知ることが目的とします。さらにそれらの疾患を治療するためにはどのような戦略を取り、どのような創薬ストラタジーがあるかということをグループで考え、プレゼンテーションも行います。これらの作業を通じて文献やデータベースの探索方法、グループディスカッションの仕方、わかりやすいスライドの作成・発表方法などの習得も目指します。			
成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 論文読解型・問題解決型、生物学/薬学、細胞生物学、分子生物学、創薬、グループワーク 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31531	水 2	科学者を評価する・化学と生命科学の境界を知る	吉本 敬太郎	化学部会	KALS
授業の目標・概要	【はじめに】 皆さんの「化学」のイメージは、周期表や反応式、化合物名や成経路の暗記、さらにモル収支の計算など、覚えることばかりで計算が面倒、泥臭い実験、汚い白衣のイメージ、、、なんて方が多いでしょうか。一方、「生命科学」のイメージは、オートファジー、iPS 細胞、難病治療薬、遺伝子編集などのトピックスが最近メディアでも華々しく報道され、非常に輝いて見えるのかもしれませんが、しかし、「化学」と「生命科学」はとても深く密接な関係にあります。化学の発展無しには生命科学の発展はありません。 本授業は、「生命科学」の研究分野において「化学」が極めて重要な要素・学問であることを学び、皆さんに「今まで知らなかった"生命化学"」に出会ってもらうことを大きな目的としています。さらに、研究者という職業について深く知ること、また昨今話題となっている研究者のモラルについても考えたいと思います。研究者を公平に評価する"物差し"を皆さんとディスカッションしながら考えていきたいと思っています。 研究者を評価する物差しや化学と生命の融合領域について考えるなかで、アイディアの出し方、グループディスカッションの経験を積んでいただくことを大きな目的としています。 【授業の概要】 以下の2テーマについて、グループワークを行います。 1) 研究者を評価する物差しや化学と生命の融合領域について考える 2) 「分子認識化学」「材料化学」「生命科学」をキーワードとする境界領域研究について考える グループディスカッション後、発表・討論することを最終的な目標として設定しています。このための事前準備（議論、提案、プレゼンなどの訓練）は、基本的には本講義内で行います。				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	化学（材料化学・バイオマテリアル）、生命科学、メカノバイオロジー、幹細胞、学者・研究者、グループディスカッション				
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31546	水 2	バイオメテック・エンジニアリング	砂田 祐輔	生産技術研究所	シラバス参照
授業の目標・概要	生物の優れた仕組みに着想を得たモノづくりの斬新な企画提案を行う。 そのために、 （1）生物の優れた機能を解明した研究、またはバイオメテック・バイオインスパイアドというキーワードに基づいて行われたモノづくり研究の過去の例を学ぶ（文献検索と読解、発表を通じた情報共有）。 （2）小グループに分かれて、（1）で得られた情報などを参考に議論し、柔軟な発想で、生物の優れた仕組みに着想を得たモノづくりの企画を考える（課題解決のためのグループワーク）。 これらを通じて、 ・コミュニケーション能力を伸ばす。 ・プロジェクトを推進する時に、何が分かっている、何が分かっているのか、何が問題で、どうやったら解決できるのか、自分の頭で考える能力を身につける。 ・試行錯誤やプロジェクト推進の難しさと、計画性の重要性などを学ぶ。 ・自分の考えを、分かりやすく他人に伝え、情報を共有することで、新たなアイディアや知見を得るためのコミュニケーション能力の基礎を身につける。				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	プロジェクト提案／企画提案、バイオインスパイアド、バイオメテック				
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31488	金 3	環境科学のウソ・ホント	片山 浩之	工学部	516 教室
授業の目標・概要	気候変動懐疑論をはじめとして、環境問題は生活に身近であることや健康との結びつきも強いことから、疑似科学（似非科学、トンデモ科学）の対象にもなっている。これまでに多くの疑似科学的説明が世間で広く流布しているが、それらのいくつかを取り上げ、説明としてどこに問題があるといえるか、どこは信用できるのか、班に分かれてのディベートなどを通して理解を深める。また、疑似科学の問題点を説明する論理力を身につけることは理系の学士の素養として重要であり、科学的知見の発信作法の背後にある意味についても理解できよう。また、未知の分野を批判的に理解する道具をここで身につけ、科学的興味を広げることにつながることを期待している。				
成績評価方法	個人課題や発表の成果物に基づいて行う。討議等における積極性を考慮する。				
授業のキーワード	問題発見・解決型、環境問題、疑似科学、気候変動懐疑論、マイナスイオン、温泉				
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

31489	金 3	物理のための数学ゼミ	荒井 俊人	工学部	K401
授業の目標・概要	大学で物理学を勉強するに当たり必要と思われる数学的知識をゼミ形式の演習と発表を通して理解を深めます。物理学習得のための数学の初歩を学び、数学が実際にどのように使われているかを自ら調べ、調べた内容を他の受講者の前で発表します。力学、電磁気学など、身近な物質の性質を研究対象としている物性物理学を中心的な題材としますが、それ以外の興味ある物理学のトピックに着目しても構いません。受講者を4,5名から成るグループに分け、各グループで興味ある物理学のテーマを設定し、そこに使われている数学について解説したり、自分で関連した問題を作成して解法を解説する形式で進めます。受講者間の討議や文献検索を通して内容をまとめ、それをプレゼンテーションによって他人に分かりやすく伝える事を学びます。				
成績評価方法	出席・演習の理解度・発表を総合して行う。				
授業のキーワード	問題発見・解決型、物理学／物性物理学、物理数学、グループワーク、サイエンスコミュニケーション				
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31490	金 3	やってみよう！化学を使った社会設計	杉山 弘和	工学部	K501
授業の目標・概要	本ゼミでは、化学の知識を活かして、身近な社会課題に解決策を提案するための手法を学びます。まず基礎知識を取得するために、以下のような演習課題を解きます。 ・エアコンの効率が100%にならないのはなぜか？（熱力学の応用） ・スイカを冷やすまでにどれくらい時間が必要か？（微分方程式の応用） ・PET ボトルのリサイクルは環境に良いのか？（プロセス工学の応用） これを土台に、グループワークで以下のようなテーマに取り組みます。テーマ設定は自由です。 ・医療・医薬の問題 ・環境問題 ・エネルギー問題				
成績評価方法	本ゼミの狙いは、化学や関連分野の基礎知識をネットワーク化・システム化し、実際の課題解決に活用できるツールとして身に着けることです。教員やティーチングアシスタントの大学院生と密にやり取りするゼミを目指します。				
授業のキーワード	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
教科書	問題発見・解決型、化学・システム工学、演習・グループワーク、情報学、工学、モデル化・シミュレーション・最適化 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31491	金 3	データ分析を通じた将来予測	合田 隆	工学部	E25 教室
授業の目標・概要	データ分析とは現時点で入手可能なデータから（個別のデータにはあまり意味を持たない場合でも）重要な情報を抽出することが目標であり、取り扱うデータの種類、性質、どのような情報を抽出したいのか、などに応じて適切な分析手法を選択する必要があります。特に将来予測、すなわち現時点までの推移データから将来起こりうる推移を「外挿」することを目的とする場合、分析結果の少しの違いが予測幅に大きな変化をもたらします。				
成績評価方法	本ゼミナールでは、（あまり深く立ち入りませんが）種々の統計的分析手法について文献調査・学習をし、その差異を理解した上で、（興味のある事象についての）データ収集、適切な分析手法の選定と適用、結果の解釈とまとめ、という一連の流れを体験してもらいます。データ分析への関心が高まることを期待しています。				
授業のキーワード	グループワークへの取り組みによって評価します。				
教科書	問題発見・解決型、データ分析、数理統計				
ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31526	金 3	From AI to ALIFE	池上 高志	物理部会	K302
授業の目標・概要	昨今の人工知能ブームの根底にあるのはプログラミングである。レクチャーでは、複雑系やALIFE（人工生命：細胞やDNAではなく、情報としての、あるいはプログラムとしての生命）の研究を学ぶことで、昨今のプログラミングにベースを置く構成的な科学を習得する。そのひとつの表現としてのメディアアートを実践する。特に、サウンド・アートに重きを置いたプログラミングの技法を学ぶ。				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	プログラムを通して考える科学とアート、メディア・アート、アート、複雑系、プログラム、AI				
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

31535	金 3	植物の気孔はどのように動くのか？ 気孔の動きから光合成を考える	和田 元	生物部会	515 教室
授業の目標・概要		植物や藻類が行う光合成は、光エネルギーを利用して水を酸化するとともに空気中の二酸化炭素を固定してでんぶんなどの有機化合物を合成するプロセスであり、地球上のほとんどの生物のエネルギーの源はこの光合成に由来している。この授業では、植物がどこで、どのように光合成を行っているのか、光合成のしくみについて講義を通してまず理解し、その上で、光合成の原料である二酸化炭素の取り入れ口である植物の気孔がどのように開いたり、閉じたりできるのか、その開閉の仕組みを、最新の研究論文の読解やグループワーク、プレゼンテーションを通して理解する。また、理解したことを他人にわかりやすく伝え、お互いに情報共有することで、新たなアイデアや知見を得るためのコミュニケーション能力の基礎も身につける。さらに、気孔開閉の研究において、何がまだわかっていないのか、その未解明の問題を解くためにはどのようなアプローチがあるのか、具体的なアイデアを出して、今後の可能性について議論する。			
成績評価方法 授業のキーワード 教科書		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価する。 論文読解、生物/植物、光合成、気孔、食糧問題/エネルギー問題、グループワーク 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会			
ガイダンス		第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31536	金 3	歩行や走行など移動(locomotion)の 神経機構	柳原 大	スポーツ・身体 運動部会	K301
授業の目標・概要		【授業の概要と目標】 私たちの生命活動及び行動において、様々な身体運動のなかでもとりわけ歩行や走行(locomotion)はその基盤となります。本ゼミナールでは、歩行や走行が脳を含めた生体のどのような仕組みにより発現し、調節されているのか、また、外部環境とどのように相互作用し、協調しているのかについて、実際の実験と観察を交えながら学習していく。グループ内で討議を行い、「参考資料及び文献の収集」、「問いあるいは仮説の設定」、「研究方法の設定」、「論述の組み立て」などのアカデミックスキルを学ぶ。それらの内容はゼミナール時間中にプレゼンテーションします。これらを通して、仮説から結論に至るまでの科学的な思考における基礎的な能力の習得を目指します。			
成績評価方法 授業のキーワード 教科書		【学術分野】神経生理学、運動生理学、計算論的神経科学、バイオメカニクス 初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 身体運動、歩行、神経科学、脳、筋骨格、問題発見・解決型 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会			
ガイダンス		第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31547	金 3	災害対策原論（情報技術、計測機器、 シミュレーション等を用いた次世代の 災害対策を体験し研究する）	沼田 宗純	生産技術研究所	シラバス参照
授業の目標・概要		開講場所：東京大学生産技術研究所 Be504 号室、フィールド演習 授業の目標、概要： 首都直下地震や南海トラフの巨大地震をはじめ現在発生が危惧されている大規模災害は、多くの人命や家屋に甚大な被害をもたらし、我が国の経済や産業のみならず、人々の暮らしや価値観、社会の在り様まで、大きく変化させると考えられます。自然災害が頻発する我が国において、人命を守り、被害を軽減する防災は、国力を左右する重要な施策です。しかし、現在の少子高齢化による人口減少や財政的な制約を考えれば、「公助」の拡充は望むべくもなく、国として「自助」と「共助」を進め、災害対策を担える優秀な人材を社会の様々なセクターに配置することが必要です。 我が国では、これまでも一般の国民から政府まで、災害に対する様々な訓練や対策を行ってきました。しかし、2016年の熊本地震でも、自治体から住民までが、「混乱」や「機能不全」に陥り、十分に対応できない状況が各所で発生しました。これは、都道府県や政府、中央省庁においても同様であり、未だ改善の余地が大きいと言えます。 このような状況を踏まえ、市町村、都道府県、国の行政職員をはじめ、国民各層の災害対応能力を高めるため、2018年10月、「災害対策トレーニングセンター」を開設いたしました。「災害対策トレーニングセンター、DMTC: Disaster Management Training Center」は、体系的かつ実践的な教育訓練を主眼に置き、東京大学生産技術研究所及び東京大学大学院 情報学環を中心に、関係機関や学部、研究室及び一般財団法人生産技術研究奨励会の研究会に所属する企業各社が協働し、我が国に適した具体的な災害対応訓練及び教育システムの標準化を研究、開発、提供するものです。同時に、災害対応に関わる最新の知見、技術を集積し、効率的な災害対応としてトレーニングに反映させ、国内外に提示します。 将来的には、防災の優秀かつ実践的な人材の国際的な養成機関として、持続的な発展を遂げられるものとするとともに、人類を待ち受ける未来の様々な災害、困難な事象に対し、乗り越える知恵と技術を生み出せる人材を養成、輩出し、社会に貢献します。 本授業では、DMTCが進めている災害対策の基本から情報技術、観測技術を活用した災害対策をマスターする。これにより各種技術の取得だけでなく、災害対策のプロフェッショナルな知識が身に付く。 DMTCのWEBサイト： http://tdmtc.tokyo/ 初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
成績評価方法 授業のキーワード 教科書		授業のタイプ：問題解決、課題解決、体験、学術分野（大分類/小分類）を記載：リスク、災害対策、情報技術、観測技術、フィールド演習 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会			
ガイダンス		第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

グループ6 1年 理一(22,24,34-35,38)理二三(17-18,22-23)

グループ6 1年 理一(22,24,34-35,38)理二三(17-18,22-23)					
時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31492	水 3	未来医療工学	牛田 多加志	工学部	K401
授業の目標・概要	医療の発展はめざましいものがあるが、それは医学の基礎知識に工学の技術を複合させることにより実現している。さらなる将来の医療の発展を目指して様々な医療工学が現在、研究されている。本ゼミでは、その中から再生医療工学、医療機器デザインの視点から、それぞれの基礎知識、文献検索、医療工学技術の提案、プレゼンテーションについてグループワークを進める。				
成績評価方法	出席、学習姿勢およびプレゼンテーション評価				
授業のキーワード	再生医療、組織再生、医療機器、デザイン、人工知能				
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook				
ガイダンス	第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31493	水 3	データ解析により予測する 2050 年の 世界の鉄鋼産業	井上 純哉	工学部	E25 教室
授業の目標・概要	授業のキーワード「鉄」は 3000 年に渡り、私たちの生活と社会を支えてきました。自動車、鉄道、建物など身の回りの多くの製品には鋼材が使われています。世界最長の吊り橋の明石海峡大橋、東京スカイツリーなどのランドマークも鋼材により作られています。これから先も、鋼材が私たちの社会の基盤材料であることは間違いありません。本授業では、日本および世界の過去（1950-2015 年）の様々なデータ（人口、経済発展（GDP/人）、粗鋼生産量、鋼材の用途別消費量、製品の寿命など）を解析し、鋼材消費量がどのような因子と相関があるかデータ解析を行います。そして、相関解析から得た知見を基に、2050 年までの世界の鉄鋼需要の予測を行います。				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	データ解析、マテリアル工学・産業エコロジー、将来需要推計、環境制約				
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook				
ガイダンス	書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31494	水 3	化学で健康長寿社会に貢献するには？	相田 卓三	工学部	K201
授業の目標・概要	健康長寿社会の実現は、世界の中でも高齢化が進んでいる我が国にとって大きな目標です。しかしながらそれを実現するには、医学研究者による病気の予防、診断、治療などの医療開発だけでは十分ではありません。なぜなら、このような先進医療を行うにはそれを支える医療製品の開発が同時に求められるからです。従って、医学研究者のみならず、細胞や遺伝子を扱う分子生物学の研究者、プラスチックや高分子材料を扱う材料工学の研究者などが、学問領域の枠を超えて研究開発を行う事が必要不可欠となります。このような状況においてわたしたち化学者は、「化学」の力を使って、必要とされる性質や機能をもった「化学材料」をデザインし、合成することができます。それら化学材料を用い、医療技術を支え、健康的な生活をサポートする製品を生みだすことが可能となります。				
成績評価方法	本ゼミナールでは、機能性分子・機能素材に焦点を当て、健康長寿社会における様々な課題を解決するために、化学材料の視点からどのようにアプローチし、どのようにアイデアを具現化するかについて、文献調査やディスカッションを通じて主体的に考え、オリジナリティの高い提案を行うことを目標に進めていきます。				
授業のキーワード	具体的には、健康や長寿に貢献する機能分子・分子集合体・材料をデザインすることに挑戦します。例えば、人工血管にはどのような性能が求められ、現在使用されている人工血管における化学材料の課題・問題点を調べ、合成化学や材料化学の観点から解決する方法を提案します。世界でまだ誰も考えていない化学材料をつくることを考えてみましょう。				
教科書	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
ガイダンス	「問題発見・解決型」、化学、化学材料、分子集合体、ナノ構造 授業中に指示をする。／Will specify at class time 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31507	水 3	植物の多様性	川北 篤	理学部	K212
授業の目標・概要	【授業の概要】 植物は芽生えたその地にとどまり一生を終えるため、外敵から逃げることも、適した交配相手を探しにいくこともできません。それゆえ、環境、特に動物との相互作用は植物の進化に重要な影響を及ぼしてきたと考えられています。身近な植物においても、棘を発達させて物理的に被食防衛を免れる、種子や花粉を動物に運搬させるなど多様な適応が観察できますが、植物とそれを取り巻く動物との相互作用には未知のことが多く残されています。				
成績評価方法	本ゼミナールでは、野外で植物を直接観察することにより、植物の種や形態の多様性、また植物を取り巻く生物間相互作用に関する理解を深めます。前半では主に種や形態の多様性をテーマに、後半では動物との相互作用をテーマに観察を行い、観察の中で生じた疑問に対しアプローチしていく方法を習得します。				
授業のキーワード	【授業の目標】 ・植物の生態に関する観察方法を習得する ・野外での観察から新たな問題を発見するプロセスを経験する				
教科書	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
ガイダンス	フィールド体験及び問題発見・解決の複合型、生物学/植物、野外観察、多様性、生態学 プリントを配布する。／Will distribute handouts 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

31508	水 3	生命を分子・情報から読み解く	飯野 雄一	理学部	E39 教室
授業の目標・概要	2008 年のノーベル化学賞の対象となったのは下村脩博士らによる緑色蛍光蛋白質（GFP）の発見とその応用であった。緑色蛍光蛋白質は生物学や医学の研究を塗り替え、いろいろな生命現象を目の当たりに見ることができるようになった。本ゼミナールでは緑色蛍光蛋白質がどう見つかりどう使われているか、実際の観察を交えながら学習し、今後どういう可能性があるかについて各グループで調べながら考察する。さらに、生命現象を支える分子についての理解をふまえ、ゲノミクス、バイオインフォマティクス、システム生物学などそれらの全体像を捉える生物情報科学分野の近年の進展とその社会との接点（合成生物学、個人ゲノム解析、遺伝子検査など）に関して考察する				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	問題発見・解決型、生物学／分子生物学、生物学／生物情報科学、生命現象のしくみ、蛍光蛋白質(GFP)				
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook				
ガイダンス	書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会 第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31520	水 3	「食の問題」を科学者目線で考えよう	中嶋 正敏	農学部	E35 教室
授業の目標・概要	都市生活者の我々にとって、農産活動を身近な存在として意識することは少なく、食料（食品）を消費する者としての立場で極めて間接的に農業と接しています。現在の我が国の食料消費においては、肥満や廃棄ロスなど過度な食の摂取にまつわる問題と、拒食や「こども食堂」など食の摂取不足にまつわる問題とが併存しています。世界的にも飢餓と飽食が発生しており、食料供給体制のアンバランスを招いている状態となっています。他方、農産活動のための様々な技術的革新は、こうした食料問題や資源環境問題を考える上で重要であり、私たちの日常生活にも少なからぬ影響を及ぼしています。この授業では比較的身近な情報を用いて、自分たちの日常生活で発生している様々な視点から「食の問題」に目を向け、その解決に向けた方向性や具体的対策を自主的に学ぶことを目指しています。				
成績評価方法	基本的には発表および質疑応答の出来映えにより行います。なお、毎回の授業出席を前提とした班としての行動を求めていますので、班内での作業進行に遅延が生じるほど頻度の高い欠席は評価を下げます。また、途中回において小課題を設定した場合は、それも評価に含めます。				
授業のキーワード	問題発見・解決型、生物／主に植物（動物なども含む）、食料生産、人口増大、飢餓・飽食、気候変動				
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook				
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31527	水 3	数式の可視化・直感的理解・訴求力	齋藤 晴雄	物理部会	E38 教室
授業の目標・概要	目標 1 数式を含む定理、法則について可視化を用いた説明の能力を身に着けること 目標 2 定理、法則の意味を他者に分かるように伝える能力を身に着けること 目標 3 授業で取り扱わなかった定理、法則については、自分の理解のレベルが自分で判断できるようになること。 高度情報化社会の中で、我々に求められる「知」の形が変化しつつあるということがしばしば語られています。一方、理系学問の骨組みであり、主要言語でもあるところの「数式」については、社会の中での受け取られ方にまったく変化が見られません。				
成績評価方法	高度情報化以前も以後も、一般社会の中での「数式」は、まったく意味不明なものであり、敬遠すべきものの代表格とされています。一方、その意味を理解するものにとっては、「数式」には深い意味があり、物理では世界観の一部をなしています。しかし「数式」の意味を理解していると自負している「専門家」はともすれば、本来の意味を超えて使ってしまうがちで、それが再び一般社会での敬遠傾向を強め不信を招いているようです。				
授業のキーワード	このように、「数式」をとりまく状況は、社会の高度情報化の影響を今のところまったく受けていないように見えます。したがって、もし 1 年生の皆さんが、数式の意味を正確に他人に伝達する能力を身に着けたとすれば、それは今後の皆さんの人生にとって、大きな武器となる可能性があります。言い換えれば、A I では代替できない仕事が出来ようになる、ということです。				
教科書	この授業では、数学の定理や物理法則をテーマとして選び、それを他人に分かるように説明する方法を皆さんに考えてもらいます。その際「可視化」が重要な方法となりますので、多少のプログラミングが必要になります。もちろん「可視化」以外の視点も必要になるでしょう。				
ガイダンス	遅刻、欠席は厳禁です。 複数回の「達成度アンケート」を行います。これはテストではありませんので、回答内容が成績に影響することはありません。 授業の性格上、学力的な達成度でなく、努力の度合いを評価します。 原理解明・伝達型、「数学」「物理学」、定理、物理法則、可視化、プログラミング 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31528	水 3	相対論について考える	酒井 邦嘉	物理部会	K302
授業の目標・概要	（授業の目標） ・サイエンスにおける問題発見と解決方法の基礎を学び、結論だけでなく科学者の思考過程そのものを理解できるようになる。 ・「科学発表の 3 原則」である、「正しく、分かりやすく、短く」を心がけて実践に生かせるようになる。 ・自ら問題に取り組みながら科学研究に必要な「論理的な思考力」を磨くことで、学問の進め方の基礎を身につける。 （授業の概要） 物理学の発展の歴史に相対論を位置付け、アインシュタインの仕事を通して発見の軌跡を自分たちで追体験します。また、科学研究の成果をいかに正確に、そして分かりやすく伝えるかを重視して、議論や発表の基本を学びます。小グループ分けによる協調学習を通して、論理的な思考力を深めることを目指します。				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	問題発見・解決型、物理学／物理一般、アインシュタイン、相対論、科学の基礎				
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook				
ガイダンス	書名 『高校数学でわかるアインシュタイン』 著者（訳者） 酒井邦嘉著 出版社 東京大学出版会 第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

31532	水 3	分子の形を知り、物質をデザインする	真船 文隆	化学部会	K501
授業の目標・概要 (授業の概要) 水分子が、1個の酸素原子と2個の水素原子からなり、折れ曲がった二等辺三角形のかたちをとることはよく知られています。このように非常に小さな分子の構造はどのようにして決定されたのでしょうか。本初年次ゼミでは、この疑問から出発し、分子の形がどうすればわかるのかを調べ、なぜわかるのかを考えてもらいます。具体的にどのような測定データにもとづき分子の構造が決まるのかを、様々な文献やデータベースにもとづいて調べます。そのあと、それぞれ1個の元素を選び、その元素のもつ特徴を明らかにしながら、どういう物質を構成しうるのかを考えます。授業の進行は、4, 5人のグループで行い、グループ毎にテーマを設定してもらいます。グループ中で様々なアイデアを出してもらい、また議論してもらい、最終的にグループ毎にまとめた結果を発表してもらいます。 (授業の目標) 1. 分子のかたちはそうすればわかるかという素朴な問いから、この疑問を解き明かすというアカデミック体験をしてもらいます。 2. グループごとに1つの元素を選択し、その元素からどのような物質ができそうかを考えます。 3. 問題を解決するにあたって、グループワークをしてもらい、お互い疑問点を出し、議論し、分からない部分は教合いコミュニケーション能力を身につけます。 4. 最終的に自ら設定した課題について、その結果を発表してもらい、プレゼンテーションの能力を身につけます。 成績評価方法 初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価する。 授業のキーワード 化学、原子・分子、構造、分光学、スペクトル 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。					
31459	金 4	移植医療と国際診療～臨床医療のグローバル化について考える	田村 純人	医学部	K303
授業の目標・概要 「グローバル化」はこれからの日本を担う若者にとって避けて通れないキーワードである。戦後復興の象徴としてオリンピック・万博が開催された時代から、半世紀が経過しグローバル化は情報技術の発達と市民社会への浸透も相まって、あらゆる面で大きく進み、その影響は広範に及んでいる。 国民皆保険制度による日本の医療もまた、この変化とは無縁ではない。国境に制約される医療制度と、グローバル化による人の移動の拡大の影響の、いわば、せめぎ合いが「医療のグローバル化」の姿である。国民皆保険制度が極めて発達し強固に守られてきたところに、新たな社会発展の基盤として国境を越えた人の往来の活性化が政策となり、医療もその発展の一翼を担うことを期待され、政府主導による対応が急速に進められているところに今の日本の特徴がある。 「日本の医療は素晴らしい」、イメージだけをもとに、「医療のグローバル化」の中で躊躇なく訪日を選択すると期待する向きもあるかもしれない。しかしながら、そう簡単ではない。日本の医療の強みは有機的な医療システム全体にあり、ジャパンプランドのみで医療を分かりやすく国外に発信するのは意外に難しい。 移植医療を例にとってみると、技術的にも臨床成績の上でも、世界に冠たるものがあり、臓器移植に必須の免疫抑制剤の開発をはじめとする研究業績もすぐれている。一方で、移植医療は患者個人で完結するものではなく、ドナーの存在が不可欠であり、成立には通常の医療資源とは異なるレベルでの社会的合意が必要である。マーケットフォースによるグローバル化が今後も情け容赦なくすすむ中で、倫理観と戦略のバランスを図り、発展の途を探ることが求められる。 オリンピック前に開講される本プログラムを通して、移植医療を題材に、臨床医療をグローバル化というキーワードで捉えたときにあらわれる課題を共に考える過程を通じて、次の万博が開催される頃には社会に巣立っているであろう学生に、各々の分野の現場で「グローバル化」を咀嚼するスキルをみつけて頂きたい。 成績評価方法 評価については、点数化はせず可否のみ 授業のキーワード 移植医療、臓器移植、組織移植、国際診療、臨床医療、グローバル化 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。					

31495	金 4	社会のためのロボティクス	山下 淳	工学部	K201
授業の目標・概要	(授業の概要) 医療・福祉・生産から極限環境調査や災害対応まで、さまざまな現場でロボット技術 (Robot Technology) が活用されています。 本授業では、ロボットについて初めて学ぶ学生のために、世界の第一線で活躍中のロボット研究のトップランナーたちが、社会とロボットの関わり、社会のための最先端ロボット技術について解説します。また、文献調査、グループ討論、プレゼンテーション実習などを行い、社会のためのロボット技術に関する理解を深め、ロボットの役割について考えます。ロボット実習では、実際のロボット技術に触れ、最新のロボットについて学習します。更に、これらの体験を通じて学習した内容に関してプレゼンテーションやグループ討論を行い、科学技術に関するコミュニケーション能力の向上を図ります。 ロボティクスは、精密工学、情報科学、機構学、運動学、制御工学、計測工学、人工知能などの幅広い内容を含む総合的な学問です。 授業を通じてロボットに関する基礎知識を身に付け、ロボット研究の奥深さや面白さを感じとって下さい。また、社会とロボットの関わりについて、考えてみて下さい。 本授業はきっかけを与える入口です。自分から積極的に情報収集をすることにより、ロボットに対する理解と興味が更に深まることでしょう。 (授業の目的) ・社会のためのロボット技術に関する理解を深め、最先端ロボット技術に関する知識を身につけます。 ・ロボット実習の結果を解析し、そこから導かれる結論を論理的かつ客観的に考察する力を身につけます。 ・自分の考えを他人に分かりやすく伝える科学技術プレゼンテーション能力と、他人とディスカッションを行うコミュニケーション能力の基礎を身につけます。				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	問題発見・解決・実験データ解析型、工学・情報科学／ロボティクス、ロボット技術、ロボットと社会・人間、ロボットと医療・福祉、ロボットとサービス				
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook				
	書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科				
	著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編				
	出版社 東京大学出版会				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31496	金 4	数学・物理をプログラミングで考える	山崎 俊彦	工学部	K401
授業の目標・概要	昨年までの講義の様子は以下の URL を参照 http://www.eidos.ic.i.u-tokyo.ac.jp/~tau/lecture/programming_math_physics/ コンピュータ（プログラミング）を使って、数学や物理の問題、実世界の問題を数学や物理の言葉で定式化した問題を解く方法を学びます。そうすることを通してプログラミング、数学、物理を学ぶとともに、それらの分野に対する勉強の動機・意欲が高まることを期待します。 実際の問題をいくつか、例・テンプレートとして提示し、グループに別れて解法や、問題の発展形や一般化などについて議論します。それと並行して、プログラミングの基本について、演習します。最後に、お互いが解いた問題について発表しあう、発表会を行います。途中でも、グループの間でのアイデア交換や進捗状況の共有のため、適宜ミニ発表会を行います。				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	プログラミング、Python、微分方程式、シミュレーション				
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

31497	金 4	電子回路で学ぶモデリング手法	三田 吉郎	工学部	E38 教室
授業の目標・概要	本ゼミでは、凡そ理科を志す者にとって必須のスキルとなる「未知の現象を正確に観察、定量化し、モデルを立てて振舞いを理解する」作業を、具体的な電子回路を例にとってわかりやすく学習し、身に付けることを目的とする。 本講義では、学生の理解の進捗を注意深く観察し、講義・演習の長短を含め柔軟に対応する。 学習する回路の例: (0)実験設備製作体験 (1)線型な回路、非線形な回路(スケールの議論) (2)振動する現象 I(定常状態) (3)振動する現象 II(過渡的応答) (4)能動素子の考え方 (5)増幅回路 (6)発振回路 (7)変調復調回路(AM 送受信機) (8)その他の素子(MEMS 等) 身に付けらるスキルの例: (あ)現象を数式で表現して理解する手法 (い)スケール(ログ、リニア)を変えた特性の評価 (う)周波数領域での事象の理解 (え)時間領域での事象の理解と周波数との関連性 (お)線形化による見通しのよい特性理解 (か)電気系で使用する様々な器具に触れる(テスタ、オシロスコープなど)				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	講義と演習、工学／実験による現象理解、電子回路、線形回路、非線形回路、線形化				
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会				
ガイダンス	第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31509	金 4	地球環境と生命	板井 啓明	理学部	E39 教室
授業の目標・概要	この授業では、地球の表層における物質の循環プロセスと、その生物との関わりについて学習します。地球表層は、大気・海洋・土壌など性質の異なるシステムから構成され、物質循環の解析法はシステムごとに特徴があります。これら環境中の化学および微生物生態に関するとトピックとして、環境汚染物質・放射性物質、生物多様性保全などを題材にグループワークを実施し、環境動態・生体毒性・環境浄化などに対する異なる視点を共有します。その後、文献調査・データ解析を通して問題解決法について洞察します。授業を通じ、以下の目標を達成します。 ・地球環境における物質循環要素を理解できるようになる。 ・環境・生態系を対象にした基礎的なデータ解析ができるようになる。 ・環境汚染に対する理学・工学的視点を身につける				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	問題発見・解決型、物質循環/微生物、グループワーク、微量元素、放射性物質、生物多様性				
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会				
ガイダンス	第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31521	金 4	「農と食と環境にまつわる社会調査 メソッドを学ぶ」	八木 洋憲	農学部	K501
授業の目標・概要	このゼミでは、農業、食生活、環境といったテーマに関する社会調査メソッドを実践を通じて学びます。具体的には、人々が農業や環境に対して感じるイメージ、農業政策に対する考え方、スマート農業や食料生産に対する考え方といった「意識」はいかなるものか、農業体験や農業支援、食生活、環境配慮といった「行動」や、これからの「意向」はどのようなものか、といった社会的な問いに対して、どのようにアプローチすればよいのか、いかにしてバイアスを排除できるのか、あるいは、どのように関係性を導けるのか、といったことを学びます。ゼミの初盤には、農業、食生活、環境に対する「社会的問い」について議論を通じて整理していきます。この際に、これまでの関連する研究について、可能な範囲で読んでもらいます。ゼミの中盤では、問いを明らかにするための調査設計を行い、実際に対象を決めて調査を行います（なお、対象はゼミ生が実行可能な範囲とします。）最後に、その結果をとりまとめて、プレゼンを行い、議論を行います。以上を通じて、農、食、環境に関する実態を再認識するとともに、社会調査メソッドの意義や課題を知り、その導入について経験することをねらいとします。				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	実際の調査体験を通じて実践的に学びます、食料・農業・農村経済学、農業・食料・農村・環境・ITC、社会調査、プレゼンテーション				
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会				
ガイダンス	第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

31537	金 4	健康増進&スポーツパフォーマンス 向上のための食事学	寺田 新	スポーツ・身体運動部会	K301
授業の目標・概要	健康を維持・増進させたり、スポーツ選手のパフォーマンスを向上させたりするうえで、食事は重要な要素の一つとなっている。書店では、そうした目的を達成するための食事法に関する書籍が数多く販売されており、ネット上にも様々な情報が氾濫している。これらの情報のうち、どれを信じてよいのかわからなくなったことはないだろうか。このように世の中に溢れている食事に関する情報に対して、それらを総合的に考え、自分に当てはまる情報を取捨選択する能力を身につけることが必要とされている。このゼミでは、まず、世の中に広まっている食事に関する理論がどのようにして構築されてきたのか？それらはどのような科学的根拠に基づいているのか？ということについての検証を通じて「食のリテラシー」を身につけることを目指す。さらに、簡単な実習・実験を行いながら、実際に自分たちが研究者となって食事法に関する新たな科学的理論を構築しようとした場合、どのような実験を行ったらよいのか？また、得られたデータをわかりやすく伝えるためには、どのような発表を行えばよいのか？ということについて考え、一連の研究プロセスについて学ぶことを目標とする。				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	論文読解型/データ解析型、栄養学・スポーツ栄養学、健康科学、スポーツ科学				
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook				
ガイダンス	書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31541	金 4	身近な物理でサイエンス	松本 悠	教養教育高度化機構	K302
授業の目標・概要	簡単な測定や実験データ整理・解析、ものづくり等を実際に経験してもらい、試行錯誤や実験の難しさと計画性の重要性などを学んでもらいます。限られた材料・工具・時間の中で、自由な発想をもって、問題発見と解決方法・実験方法などを自分たちで考案してもらいます。小グループに分かれ、議論による協調学習を通して、コミュニケーション能力を伸ばしてもらいます。 ・何かを研究する時に、何が分かっている何が分かっているのか、何が問題でどうやったら解決できるのか、自分の頭で考えることができるようになる ・実験データの簡単な解析方法と、そこから導かれる結論を論理的かつ客観的に論じる力を身につける ・自分の考えを、分かりやすく他人に伝え、情報を共有することで新たなアイデアや知見を得るための、サイエンスコミュニケーション能力の基礎を身につける				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 （この講義での個別の評価基準）				
授業のキーワード	より良いデータ取得を目指して、独自性のある、コストパフォーマンスの良い、実験機の開発・改良ができたか				
教科書	問題発見・解決型、データ解析型、物理、小実験、サイエンスコミュニケーション				
ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

基礎科目 社会科学

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30554	S	法 I	西村 弓	法・政治	火 5	1331 教室	1 年 文二 2 年 文二
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	法学入門—国際的視点から この授業では法学を学んでいくにあたっての基礎的な思考方法を修得することを目指します。条文・判決文・学説等の法学的テキストを厳密に読み、解釈する力を養うことがその目標の 1 つとなります。 具体的な素材は授業中に示しますが、現代においては国内社会と国際社会が相互に大きく影響しあっていることから、法規律の国際的側面を中心に引き上げ、さまざまに生じている具体的な事案に即して検討を進める予定です。 期末試験 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30598	S	法 I	白石 忠志	法・政治	水 1	900 教室	1 年 文一 2 年 文一
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	法学入門 文科一類の学生が現代において法を学ぶための見晴らしを得るきっかけを、できるだけ幅広い範囲から提供することを目標とします。立法・行政・司法などのいずれかに偏ることなく広やかに、漠然とした知識だけでなく実際に具体的な文書等に接する経験も積み、また、外国との比較・交流・発信などの状況も紹介します。 授業開始時までにさらに授業計画を具体化し個人ウェブサイトに掲げる予定です。「関連ホームページ」に掲げたものですが、「白石忠志」を検索すれば見つかるでしょう。 1 冊だけの教科書に頼ることはなく、随時、参考となる書籍やネット上の資料等に言及し、その一部を配布するなどして皆で読みます。 基本的には期末試験によって評価します。このほかに ITC-LMS 等で短文によるフィードバック等を求める場合がありますが、それらを成績に加味するか否かは、その都度、明瞭かつ公正に、教室や ITC-LMS 等で伝えます。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30599	S	法 I	弥永 真生	法・政治	水 1	1313 教室	1 年 文三 2 年 文三
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	社会における法の役割 主として社会・ビジネスにおいて、法がどのような役割を果たしているのかについて、ニュース記事などを題材にして、解説を加える。そのプロセスにおいて、法律学〔主として、私人間の関係を規律する私法〕の基本的知識を併せて理解していただくことを目的とする。 グループ・レポート(1 グループ 5 人以内。ただし、1 人で提出することも認める)40 点、期末試験 60 点の割合で評価する。ただし、授業中に発言を求めた際の的確な発言に対しては、当該学生に与えられたグループ・レポートの評価に、合計の得点が 40 点を超えない範囲で、加点を行う。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30148	S	政治 I	鹿毛 利枝子	法・政治	月 3	1313 教室	1 年 文二 文三 2 年 文二 文三
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	比較政治学入門 政治学の基本的な概念や考え方を紹介する。詳細は初回の授業時に説明する。 期末試験。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30149	S	政治 I	上神 貴佳	法・政治	月 3	743 教室	1 年 文一 2 年 文一
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	政治学の基礎概念 本講義は政治学における基礎的な概念を紹介し、受講生が政治現象を理解するための一助となることを目標とする。とくに、現代の政治を構成する中心的な原理としてのデモクラシーについて考察する。 期末試験で評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 現代政治理論 [新版] 著者（訳者） 川崎修・杉田敦編 出版社 有斐閣アルマ ISBN 978-4-641-12454-7 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30150	S	経済 I	岡地 迪尚	経済・統計	月 3	1106 教室	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	経済学基礎 経済学の基礎として学ぶべき事項はミクロ経済学・マクロ経済学・計量経済学に大別される。本講義では、3つの分野のエッセンスを広く浅く講義する。 期末試験。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30555	S	経済 I	中西 徹	経済・統計	火 5	1323 教室	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	経済 I：発展途上国における経済と社会 発展途上国の社会経済を対象として経済学の分析が有する意義と限界について検討します。 開発政策の原理とその歴史、および貧困層の経済行動を検討することによって、発展途上国の社会変動についての理解を深めると同時に、これを補完ないしは代替する地域研究の役割について理解することを目標とします。 原則として期末試験（レポート課題を課す場合にはレポートを含める）による。 講義初回に説明する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30151	S	社会 I	山本 理奈	社会・社会思想史	月 3	1225 教室	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	社会学入門——現代社会を考える 本講義の目標は、社会学の基礎概念および基礎理論を学ぶことを通して、「社会的なもの（見方）」を身につけることにあります。 まず講義の前半では、「社会とはなにか」という問いをめぐり、これまで提示されてきた社会学の古典的な基礎概念、および隣接学問領域の重要概念を学びます。つぎに講義の後半では、現代社会の基礎理論を学ぶことを通して、私たちの生きる現代日本社会とはどのような社会であるのかを考察します。 定期試験を中心として評価を行います。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30556	S	社会 I	小山 裕	社会・社会思想史	火 5	743 教室	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		社会学入門 現代社会の諸問題を念頭におきつつ、社会学の基礎概念と基礎理論を学習する。 学期末試験を中心におこなう。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30557	S	数学 I	新井 敏康	数学	火 5	721 教室	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		数学 I 文科学向けに一変数関数の微分法と積分法に関する基礎的内容を扱う科目である。社会科学に関連する題材を織り交ぜ、数学的な概念を把握することに重点をおいて講義する。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、担当教員によって順序は異なることがある。 主として定期試験によるが、担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場合がある。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 微分積分読本 著者（訳者） 小林昭七 出版社 裳華房 ISBN 4-7853-1521-0 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30600	S	数学 I	辻 雄	数学	水 1	743 教室	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		数学 I 文科学向けに一変数関数の微分法と積分法に関する基礎的内容を扱う科目である。社会科学に関連する題材を織り交ぜ、数学的な概念を把握することに重点をおいて講義する。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、担当教員によって順序は異なることがある。 主として定期試験によるが、担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場合がある。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30601	S	数学 I	逆井 卓也	数学	水 1	761 教室	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		数学 I 文科学向けに一変数関数の微分法と積分法に関する基礎的内容を扱う科目である。社会科学に関連する題材を織り交ぜ、数学的な概念を把握することに重点をおいて講義する。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、担当教員によって順序は異なることがある。 主として定期試験によるが、担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場合がある。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30558	S	数学Ⅱ	三竹 大寿	数学	火 5	533 教室	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		数学Ⅱ 文科生向けの、ベクトルと行列に関する基礎的な内容や、計算手法を理解するための科目である。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、担当教員によって順序は異なることがある。この科目を履修した後に、より進んだ内容を総合科目 「数理科学概論Ⅱ」で学ぶことができる。					
評価方法 教科書 ガイダンス		主として定期試験によるが、担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場合がある。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30602	S	数学Ⅱ	古田 幹雄	数学	水 1	1331 教室	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		数学Ⅱ 文科生向けの、ベクトルと行列に関する基礎的な内容や、計算手法を理解するための科目である。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、担当教員によって順序は異なることがある。この科目を履修した後に、より進んだ内容を総合科目 「数理科学概論Ⅱ」で学ぶことができる。					
評価方法 教科書 ガイダンス		主として定期試験によるが、担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場合がある。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

基礎科目 人文科学

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30152	S	哲学 I	古荘 真敬	哲学・科学史	月 3	1331 教室	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要	哲学の根本的問い わたしたちの誰もが一度は向き合わざるをえないであろう「哲学の根本的問い」の幾つかについての考察を展開していきながら、関連する哲学史上の古典的テキストを紹介し、受講生の皆さんの今後の哲学的思索の厚みが増すようにお手伝いしたい。 考察の出発点は、わたしたちの日常生活である。まずは、各々の「わたし」が、生活の現場において遭遇するさまざまな問題に対処しながら生きる日常の基本構造を振り返ってみよう。そのうえで、「知の根拠」「行為と自由」「人格と倫理」「真理と価値」「生の意味」といった事柄をめぐる哲学の基本的な問いを、具体的に展開していきたい。 実のところ、「哲学」とは、何ら特別なものではない。わたしたちは、さまざまな問題に忙しく対処しながら生きる日常のなか、ふと立ち止まり、「いったい自分たちは何をやっているのだろうか？ こうしたことはいったい何を意味しているだろうか？」と問い直さざるをえなくなることがあるのではないか。わたしたちは、走ってばかりはいられない。走るにしても、走ることに意味を問わざるをえない。その問いとともに始まるのが、急ぎ足で前進することとは異質な「哲学」の時間なのである。この営みには、人間の歴史と同じくらい古い歴史がある。人間は、人間であるかぎり哲学する。 さあ、君も立ち止まって考えよう。						
評価方法 教科書 ガイダンス	期末試験の成績で評価する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30603	S	哲学 I	鈴木 貴之	哲学・科学史	水 1	K212	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要	哲学の根本問題から哲学とは何かを考える 哲学の根本問題の多くは、古代ギリシア時代から論じ続けられているものです。しかし、哲学という学問には、その時代から大きな進歩がないようにも見えます。このことは、哲学の問いは無意味な問いであることや、それらは別の方法で探究した方がよいことを示唆しているのでしょうか。そうではないかもしれません。哲学の根本問題は、われわれが当然成り立つと考えている一連の事柄がじつは両立不可能だということや、一見説明できてあたりまえの事柄にじつはきちんとした説明を与えることができないことを明らかにするものだからです。哲学の根本問題は、われわれの常識的なものの見方には重大な問題が潜んでいることを示しているのかもしれないです。 この授業では、哲学の根本問題のいくつかを題材として、哲学とはどのような学問なのか、哲学の問題は他の学問が扱う問題とどのように異なるのか、哲学の問題に正解はあるのか、といったことについて考えていきます。						
評価方法 教科書 ガイダンス	学期末の筆記試験（70％）と小レポート（30％）の内容によって評価します。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30559	S	倫理 I	阿部 善彦	哲学・科学史	火 5	1102 教室	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要	人間探求 自己探求としての倫理、そして、他者とともにこの世界で生きるための倫理の探求 さまざまなテキストを手がかりにしながら、人間が生きるための根本問題を探求する。それは一方では、わたしがいかに生きるべきか、わたしが生きる意味は何か、という人間探求、自己探求という形をとり、そこから幸福や自由が課題として浮かび上がる。他方、わたしが生きるのは、いまここにおいて、であり、それは過去から未来とのつながり、また、そこにとも生きる人々とのつながりから切り離し得ない以上、他者とともにとともにこの世界で生きるとはいかなることか、という探求も必要となる。そこから、他者、自然、生命、世界、正義、愛、人間の尊厳という課題が浮かび上がる。そうした探求の手がかりとなるテキストをともに読み、対話によって互いの理解を共有しながら、自らの考えと言葉を深めてゆく。そのために思考停止せずに考え続けることが重視される。						
評価方法 教科書 ガイダンス	学期末試験のほか、教員の指示する提出物、グループディスカッションをはじめとする授業内での活動の精度による。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30153	S	歴史Ⅰ	杉山 清彦	歴史学	月 3	525 教室	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要	ユーラシアのなかの「中国」史 現在われわれの眼前には、「中国」と呼ばれ、また自らもそう称する国家が存在しており、その領域で生起してきたできごととは「中国史」と称される。しかし、現在の中国の領域の半分以上は、漢字文化を共有しない人びとが歴史的に住まい、活動してきた地域であり、他方、「中国」というまとまりを与えてきた漢字文化は、現在の中国の領域を超えて、朝鮮半島・日本列島・インドシナ半島東北部に広がっている。このようにみるならば、「中国」というまとまりや「中国史」という語りは決して自明のものではなく、長い時間の中で絶えず変化しながら形づくられ、また特定の時期に明確な事情から創出されたものであったとさえいえよう。 本講義では、漢人（漢民族）を自明の存在とみるのではなく、彼らをも歴史的に形成され変遷してゆく存在と捉え、かつあくまでも数ある人間集団の一つ（ずば抜けて巨大ではあるが）にすぎないものとして扱い、東部ユーラシアの諸社会との対比を意識しながら、その特質と歴史の展開を概観する。						
評価方法	主に期末の論述試験によって評価する。場合により、講義中に随時課す小テスト・小レポートなどの評価を加味して判断する。						
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30154	S	歴史Ⅰ	渡辺 美季	歴史学	月 3	K011	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要	東アジア世界のなかの琉球 琉球は、12 世紀前後に王国形成を開始し、その後「沖縄県」として日本に組み込まれる 1879 年まで、東アジア世界の歴史的展開と密接に連動しつつ、その一王国として存続してきた。王国の対外関係の主軸となったのは 14 世紀後半に開始された中国（明・清）との君臣関係（冊封・朝貢関係）である。いっぽうで 1609 年、琉球は薩摩の大名・島津氏の軍事侵攻に敗れ、以後は徳川幕府の支配をも受けるようになった。すなわち 1609 年（薩摩の侵攻）から 1879 年（王国の消滅）までの 270 年間、琉球は中国・日本に二重に臣従する「王国」であった。 現代とは異なる、このような国際関係および王国の形態は、いかにして形成・維持されたのだろうか。本講義では、東アジア世界がどのような歴史的展開を共有し、その中で琉球がいかなる役割を果たしたのかという観点から、琉球王国の歴史を時間軸に沿ってひも解いていく。 これにより現在の諸地域や国家を相対化する視点を養い、また長いタイム・スパンで事象を捉える姿勢を身に付けることを目指したい。						
評価方法	学期末の試験を主とし、授業中の課題などを加味して総合的に判断する。 ＊ただし受講人数によっては試験をレポートに変更する可能性がある。						
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30560	S	歴史Ⅰ	井坂 理穂	歴史学	火 5	525 教室	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要	歴史学を知る 「歴史を学んで何になるんだろう」——年号や人名の暗記に苦しんだ受験勉強の最中に、そんな風に思ったことはないだろうか。しかし歴史学とはもちろん暗記ではない。「史料に基づき過去の人間生活の事象を研究する学問」である。それは専門的な学問領域であると同時に、“歴史学的にみる・考える”という普遍的な思考力を身に付けるためのトレーニングでもある。物事を長いタイムスパンで捉える力、経験不可能な物事に対するリアルな推測力、「現在」を相対的に視る力——歴史学によって必然的に養われるこれらの力は、過去を振り返るときだけでなく、今を生き、未来を踏み誤らないためにも必要不可欠のものだろう。 この授業では、受講生が歴史学の基礎を学びながら、“歴史学的にみる・考える”力を養うことを目的に、教養学部 6 名の歴史学教員がリレー形式で講義する。歴史学の研究とは、どのような発想と手法によって進められ、その結果どのような歴史像が描き出されるのか。歴史学を専門的に学びたい学生ばかりでなく、“歴史学的にみる・考える”力を身に付けたいと考えるすべての文科生に受講してほしい。						
評価方法	学期末の試験を主とし、授業中の課題などを加味して総合的に判断する。						
教科書 ガイダンス	授業中に指示をする。／Will specify at class time 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30604	S	歴史Ⅱ	外村 大	歴史学	水 1	159 教室	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		東アジアの中の日本戦後史 1945 年の敗戦とそれにつづく連合軍の占領によって、日本は大きな変革を迫られた。そして、実際に諸改革が実行され、国際社会との関係も新たなものとなった。そして 1950 年半ばころには相対的に安定した制度や社会の仕組み、人々の意識や関係の結び方が生まれたといえよう。これは、その後の日本のあり方を規定し現在にも影響を及ぼしている。この授業ではまず、それがどのようなものでありなぜいかなる経緯で成立したかを確認していく。 それを踏まえて、さらに戦後日本の枠組みがどのように変化していったかやそもそもそれがどのような問題点、限界をもつものであったのかを考えていくことをこの授業のもう一つの課題としたい。 その際、東アジアの近隣諸国、特に旧植民地との関係や、戦後日本の多数派と異なる体験をした人々・地域に着目し、通常の「戦後史」では語られてこなかった事実を重視し、その視点からこれまで一般的に語られてきた戦後史の再検討を試みたい。 受講態度、学期末に提出するレポートなどから総合的に判断する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					
評価方法 教科書 ガイダンス							

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30605	S	ことばと文学Ⅰ	坪井 栄治郎	英語	水 1	511 教室	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		言語の構造とその動態 この講義では、最初に簡単に言語学という学問分野の概観をした後に、いくつかの言語現象を見ることを通して、人間の言語の規則性・体系性・普遍性を知るとともに、自己完結的に閉じた規則の体系として人間の言語を見ることを難しくさせる、言語の柔軟性・相対性に対する理解を得ることを目的とします。初回授業時にガイダンスを行い、どんな言語現象をどんな観点から取り上げるのか説明しますので、関心のある方は初回授業に出てみてください。言語学ってどんな学問分野なんだろう、という関心のある方を歓迎します。					
評価方法 教科書 ガイダンス		ミニレポートと期末試験による。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2020 年 04 月 08 日 1 限／1st Period 通常授業と同じ教室					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30606	S	ことばと文学Ⅰ	小野 秀樹	中国語	水 1	532 教室	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		「ことば」から見る中国人の思考と感覚 本授業では、現代中国語でのコミュニケーションにおける、日常ありふれた「ことば（の使用）」の実態を明らかにし、そのことによって、中国語という言語の特徴を詳らかに示すとともに、中国人の思考や認識、感覚などを分析することを目指す。 言語学のサピア＝ウォーフの仮説（言語相対性仮説）は「言語の違いは、思考や世界の認識に対して影響を及ぼす」と主張するものであるが、確かに、個別の言語はそれを母語とする人々の思考や認知との間に深い関係を有している。換言すれば、「言語」は少なくとも「人」を造っている重要な要素の一つであり、各言語に見られる種々の様相は、それを用いる人々の思惟や感覚、思想などの反映された所産だと言って良いだろう。 授業では、中国語の特徴を考察する基準として、日本語（と英語）の実態との比較を行ない、対照的に考察することにより、日中（英）語の相違点についても考える。たとえば、日常用いる挨拶ひとつを取り上げてみても、日本語の「こんにちは」に対して、中国語では“你好！”，英語では“Hello / Good afternoon”など、一見同じような意味の挨拶語は存在するものの、細かく観察すれば、これらの挨拶語の使用実態と意味がまったく同一ではないことが理解できる。その相違点は、それぞれの母語話者が有している思考と感覚の違いに基づくものである。 本授業では、こういった、いずれの言語にも存在する、似て異なる「ことば」の実態を取り上げつつ、中国語の特徴について考えてみたい。					
評価方法		以下の 2 つに基づき成績を評価する。 1) 毎回の授業で提出してもらうリアクションペーパー 2) 期末レポート					
教科書 ガイダンス		プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30561	S	ことばと文学Ⅱ	品田 悦一	国文・漢文学	火 5	109 教室	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要	『万葉集』東歌を読む 東歌は『万葉集』巻十四所載の短歌 230 余首の総称。前半の 90 余首は国別に分類されているが、それらをも含めすべて作者不明。全巻中の異彩ともいべき歌々であり、性愛の歓喜をほがらかに歌い上げたものや、誇張された表現で笑いを誘うものが多い。 東歌は過去百年あまり、防人歌とともに『万葉集』の庶民全階級的布陣の例証と見なされ、国民歌集としての万葉像を支えてきた。読みの更新を通じて認識を抜本的に変更する。						
評価方法	定期試験を行なう。ただし、全問題の約半分の配点を占める設問は、授業中に予告しておく。また、授業の進行次第では、リアクション・ペーパーを書かせる回があるかもしれない。						
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 万葉集本文篇 著者（訳者） 佐竹昭広・木下正俊・小島憲之 出版社 塙書房 ISBN 4-8273-0081-X						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30155	S	ことばと文学Ⅲ	矢田 勉	国文・漢文学	月 3	761 教室	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要	日本語研究の歴史 日本人は、近代西洋言語学の移入以前から、独自の自言語研究の枠組みを有していた。「国語学」は近代の諸学問領域の中で、西洋合理主義科学とは異なる基盤を有する数少ない分野の一つである。そこに「国語学」が内包する方法的限界もある一方で、日本発信の研究方法论を導きうる可能性も有している。 本講義では、中世歌学・連歌論から近世国学にいたる流れの中で行われてきた伝統的国語研究は、いかなる思想的基盤を有し、それが何を明らかにし、何を明らかにし得なかったのかを論ずる。また、研究への対象化のなされ方から、日本語という言語の特質についても逆照射を行いたい。						
評価方法	授業中への取り組み（30%程度）と期末試験（70%程度）により総合的に判定する。						
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts						
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30157	S	心理Ⅰ	四本 裕子	心理・教育学	月 3	900 教室	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要	心理学概論 ヒトや動物の心や行動を対象とする心理学は、その科学的測定の特殊さゆえ、誤った理解や理論が社会に広がることも多い。心理学は、人間の心と行動の理解を目指す歴史ある学問であるが、心理学における研究手法は、科学技術の発達とともに常に変容しつづけている。本講義では、これまでの心理学実験の例やそこから導きだされた理論を学ぶことにより、心理学の基礎を学術的に理解することを目標とする。						
評価方法	持ち込み禁止の期末試験。						
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook						
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30562	S	心理 I	田谷 修一郎	心理・教育学	火 5	1313 教室	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		心理学概論 誰しも「心とはこういうものだ」という素朴な信念を持っているだろう。しかしそうした内省が、我々のものの見方の持つバイアス（歪み）の影響を逃れることは難しい。心理学とは科学的な手続きによってこのバイアスを回避し「心」の仕組みについて普遍性のある説明を与えることを目指す学問である。本講義ではまず「心理学の成り立ち」について触れ「心」を測定することの難しさと、その困難を先人たちがどのように乗り越えようとしてきたかを学ぶ。その上で、過去の研究から導かれる「人の心の基本的な仕組み及び働き」についてデモンストレーションや模擬実験を交えながら解説していく。単に現象や理論について知るだけでなく、研究の手続きについても学ぶことで、心理学の可能性と現時点における限界の双方について考えることのできる講義を目指す。					
評価方法 教科書 ガイダンス		試験を中心に評価する。コメントシートの内容など、授業への積極的貢献を評価する可能性がある。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

基礎実験Ⅲ・基礎実験Ⅳ

基礎実験Ⅲ・基礎実験Ⅳ		開講区分	S	
授業の目標・概要	自然科学の学習に不可欠な基本的な知識・技能を習得する。 1) 将来の自然科学の発展に対応できるように、自然科学諸分野の基礎的な実験方法と概念を理解できるようにする。 2) 基礎講義の内容を、基礎実験によってよりよく理解できるようにする。 3) 未知の自然現象の解明を目的とする科学実験に必要な観察力・姿勢を養い、自ら実験を計画する場合に不可欠な基本的技法を習得できるようにする。			
授業の方法	自然科学の学習に不可欠な基本的な知識・技能を習得する。 1) 将来の自然科学の発展に対応できるように、自然科学諸分野の基礎的な実験方法と概念を理解できるようにする。 2) 基礎講義の内容を、基礎実験によってよりよく理解できるようにする。 3) 未知の自然現象の解明を目的とする科学実験に必要な観察力・姿勢を養い、自ら実験を計画する場合に不可欠な基本的技法を習得できるようにする。			
成績評価方法	◆基礎実験（物理学）では出席、試問、及び実験ノート（実験最終日に提出）で成績を評価する。 ◆基礎実験（化学）では出席、予習、実験ノート、試問、片付け、及び実験報告書（提出期限は次回実験日の午後1時）で成績を評価する。			
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 基礎実験（物理学）の教科書は学術図書出版社の『基礎物理学実験』、基礎実験（化学）の教科書は東京化学同人の『基礎化学実験』である。			
履修上の注意	その他 教科書は駒場生協で入手可能である。 ◆第1回授業日に行うガイダンスには必ず出席すること。 ◆過去ノートの持ち込みはカンニングとみなす。 ◆実験中は携帯電話の電源を切っておくこと。実験中の携帯電話の使用はカンニング行為とみなされる場合がある。 ◆実験室及び実験室のある建物内は禁煙である。また、実験室は飲食厳禁である。 【基礎実験Ⅳの履修】 ◆S2に開講される基礎実験Ⅳは、履修者数の状況によっては開講曜日の変更が行われる。その際には再度希望日の選択が可能である。 ◆履修登録方法などの詳細は、基礎実験Ⅲの初回に実施されるガイダンスで周知する。			
※講義の詳細については、UTASを参照すること				
時間割コード	開講	曜限	科目名	対象クラス
30096	S 1	月 3, 月 4	基礎実験Ⅲ(物理学)	2 年 理一(1-5,7,9,13-14,18)
30437	S 1	火 3, 火 4	基礎実験Ⅲ(物理学)	2 年 理一(23-25,29,33,36,39)
30739	S 1	水 3, 水 4	基礎実験Ⅲ(物理学)	2 年 理一(6,12,20-21,31,34-35)
30957	S 1	木 3, 木 4	基礎実験Ⅲ(物理学)	2 年 理一(8,10-11,15-17,19)
31183	S 1	金 3, 金 4	基礎実験Ⅲ(物理学)	2 年 理一(22,26-28,30,32,37-38)
30097	S 1	月 3, 月 4	基礎実験Ⅲ(化学)	2 年 理一(1-5,7,9,13-14,18)
30438	S 1	火 3, 火 4	基礎実験Ⅲ(化学)	2 年 理一(23-25,29,33,36,39)
30740	S 1	水 3, 水 4	基礎実験Ⅲ(化学)	2 年 理一(6,12,20-21,31,34-35)
30958	S 1	木 3, 木 4	基礎実験Ⅲ(化学)	2 年 理一(8,10-11,15-17,19)
31184	S 1	金 3, 金 4	基礎実験Ⅲ(化学)	2 年 理一(22,26-28,30,32,37-38)
40014	S 2	月 3, 月 4	基礎実験Ⅳ(物理学)	2 年 理一
40044	S 2	火 3, 火 4	基礎実験Ⅳ(物理学)	2 年 理一
40109	S 2	水 3, 水 4	基礎実験Ⅳ(物理学)	2 年 理一
40119	S 2	木 3, 木 4	基礎実験Ⅳ(物理学)	2 年 理一
40134	S 2	金 3, 金 4	基礎実験Ⅳ(物理学)	2 年 理一
40015	S 2	月 3, 月 4	基礎実験Ⅳ(化学)	2 年 理一
40045	S 2	火 3, 火 4	基礎実験Ⅳ(化学)	2 年 理一
40110	S 2	水 3, 水 4	基礎実験Ⅳ(化学)	2 年 理一
40120	S 2	木 3, 木 4	基礎実験Ⅳ(化学)	2 年 理一
40135	S 2	金 3, 金 4	基礎実験Ⅳ(化学)	2 年 理一

基礎生命科学実験・生命科学実験

基礎生命科学実験・生命科学実験		開講区分	S	
授業の目標・概要	生命科学研究に必要な知識・技能を習得する。 1) 基礎的な実験方法の原理を理解し、その技法を習得する。 2) 本実験を通して、基礎講義の内容を深く理解する。 3) 未知の自然現象の解明に必要な観察力・姿勢を養う。			
授業の方法	生命科学研究に必要な知識・技能を習得する。 1) 基礎的な実験方法の原理を理解し、その技法を習得する。 2) 本実験を通して、基礎講義の内容を深く理解する。 3) 未知の自然現象の解明に必要な観察力・姿勢を養う。			
成績評価方法	成績は、出席、レポート、後片付け、その他で評価する。			
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 基礎生命科学実験 第2版 著者（訳者） 東京大学教養学部・基礎生命科学実験編集委員会 編 出版社 東京大学出版会 ISBN 978-4-13-062218-9			
履修上の注意	・ S 1「基礎生命科学実験」の履修を希望する文科生は初回実験が開催される日（4/6～4/10のうち、履修を希望する曜日）に必ず出席して受講希望の旨を教職員に申し出、履修希望カードを提出すること。これに加え、受講に際しては教務課に履修認定カードを提出する必要がある。下記 HP 参照のこと。 ・ S 2「生命科学実験」履修希望者は火、水、木から希望する受講曜日を選択すること。2 回目の訂正期間に履修を変更する者は、6 月 9 日の S2 ターム開始前までに教職員に必ず連絡すること。 ・ S 2「生命科学実験」履修者は、S 1「基礎生命科学実験」を履修していることが望ましい。			
関連ホームページ	「実験補遺」の PDF (http://lecture.ecc.u-tokyo.ac.jp/~cbioexp/hoi.pdf) を印刷して持参すること。 教科書を読み、添付の DVD を見て、予習してくること。			
※講義の詳細については、UTAS を参照すること				
時間割コード	開講	曜限	科目名	対象クラス
30141	S 1	月 3, 月 4	基礎生命科学実験	2 年 理二三(4,6,9,11)
30447	S 1	火 3, 火 4	基礎生命科学実験	2 年 理二三(10,16,21,24)
30751	S 1	水 3, 水 4	基礎生命科学実験	2 年 理二三(14-15,17-18)
30965	S 1	木 3, 木 4	基礎生命科学実験	2 年 理二三(5,8,19-20,22)
31190	S 1	金 3, 金 4	基礎生命科学実験	2 年 理二三(1-3,7,12-13,23)
40046	S 2	火 3, 火 4	生命科学実験	2 年 理科
40111	S 2	水 3, 水 4	生命科学実験	2 年 理科
40121	S 2	木 3, 木 4	生命科学実験	2 年 理科

数理科学基礎

数理科学基礎		開講区分	S 1	
授業の目標・概要	科学・技術の礎となる数理科学の基礎的内容を学び、高等学校で学んだ数学から大学で学ぶ数学への橋渡しとする。 講義は微分積分と線型代数の二つのテーマからなり、それぞれ通しの授業として開講される。本科目の講義内容は S2 タームから始まる「微分積分学」「線型代数学」に接続する。			
成績評価方法	主として S1 ターム末に行われる定期試験によるが、担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場合がある。			
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time			
関連ホームページ	https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/ms_sl.html			
※講義の詳細については、UTAS を参照すること				
時間割 コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
30078	月 2, 水 1	辻 雄、植野 義明	524 教室	1 年 理二三(11-13)
30079	月 2, 水 1	金井 雅彦、村上 順	724 教室	1 年 理二三(14-17)
30595	月 2, 水 1	田中 公、山浦 義彦	741 教室	1 年 理二三(18-20)
31825	月 2, 水 1	河澄 響矢、岡崎 龍太郎	723 教室	1 年 理二三(1-7)
31826	月 2, 水 1	緒方 芳子、小林 正典	523 教室	1 年 理二三(8-10)
31827	月 2, 水 1	白石 潤一、岩木 耕平	721 教室	1 年 理二三(21-24)
30211	月 4,木 3	高山 茂晴、飯田 正敏	724 教室	1 年 理一(20-23)
30213	月 4,木 3	WILLOX RALPH、山崎 満	523 教室	1 年 理一(28-31)
30214	月 4,木 3	吉野 太郎、梶原 健	741 教室	1 年 理一(32-35)
30215	月 4,木 3	斎藤 毅、下川 航也	721 教室	1 年 理一(36-39)
30961	月 4,木 3	寺田 至、松田 茂樹	723 教室	1 年 理一(24-27)
31177	火 4,金 3	関口 英子、大場 清	724 教室	1 年 理一(2,4-5,8)
31828	火 4,金 3	入江 慶、大坪 紀之	523 教室	1 年 理一(1,17-19)
31829	火 4,金 3	緒方 芳子、戸瀬 信之	524 教室	1 年 理一(3,11-13)
31830	火 4,金 3	松井 千尋、津田 照久	723 教室	1 年 理一(6-7,9-10)
31831	火 4,金 3	竹内 知哉、斉藤 義久	531 教室	1 年 理一(14-16)

微分積分学①

微分積分学①		開講区分	S 2	
授業の目標・概要		代数学、幾何学とともに、数学の根幹をなす解析学について、その基本的な考え方や方法を学ぶ。力学における運動方程式などに代表されるように、自然界の多くの現象が、微分積分学を用いて記述される。微分積分学は、あらゆる科学技術の基礎となっている。微分積分学は17世紀末に、ニュートンやライプニッツらによって創成された。ニュートンは量の変化の記述に注目し、速度、加速度などの物理量を表現するために微分の概念を導入した。「微分積分学の基本定理」により、区分求積法によって定義される積分は、微分の逆操作であることが、明確に認識されるようになった。 微分積分学では、極限をとること、無限和をとることなどの操作が重要な役割を果たす。このような微分積分学の基礎となる極限の厳密な定義は、19世紀後半から整えられていった。この授業では、「数理科学基礎」で学んだ極限の扱いに基づき、微分積分学の基礎と応用を学ぶ。具体的な項目は以下の通りである。S2タームの「微分積分学①」で項目1,2を扱い、Aセメスターの「微分積分学②」で項目3～6を扱うことを目安とするが、担当教員によって、順序や内容に一部変更が加えられる場合がある。 1. 一変数関数の微分 (微分の基本性質、テーラーの定理、テーラー展開) 2. 多変数関数の微分 (偏微分と全微分、合成関数の微分の連鎖律) 3. 多変数関数の微分 (続き) (高階偏微分、多変数のテーラーの定理とその応用) 4. 一変数関数の積分 (区分求積法、微分積分学の基本定理) 5. 多変数関数の積分 (多重積分と累次積分、多重積分の変数変換公式) 6. 無限級数と広義積分 (関数列の収束、広義積分) 実数の連続性に基づく微分積分学の基礎の厳密な展開は、2年次Sセメスターの総合科目「解析学基礎」で学ぶことができる。将来、本格的に数学を使う分野に進学しようという場合は「解析学基礎」によって微分積分学の理論的基礎を修得することをすすめる。なお、「解析学基礎」は1年次Sセメスターでも履修することができる。また、2年次Sセメスターの総合科目として、「微分積分学」の直接的な続きにあたる「微分積分学続論」、および「微分積分学」で学んだ事項の応用にあたる「常微分方程式」、「ベクトル解析」が開講される。		
成績評価方法		主として定期試験によるが、担当教員によって小テストやレポートを含めて評価する場合がある。		
教科書		授業中に指示をする。／Will specify at class time		
関連ホームページ		https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/calculus.html		
※講義の詳細については、UTASを参照すること				
時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
40002	月 2	岡崎 龍太郎	723 教室	1 年 理二三(1-7)
40003	月 2	緒方 芳子	523 教室	1 年 理二三(8-10)
40004	月 2	辻 雄	524 教室	1 年 理二三(11-13)
40005	月 2	金井 雅彦	724 教室	1 年 理二三(14-17)
40006	月 2	山浦 義彦	741 教室	1 年 理二三(18-20)
40007	月 2	岩木 耕平	721 教室	1 年 理二三(21-24)
40016	月 4	高山 茂晴	724 教室	1 年 理一(20-23)
40017	月 4	松田 茂樹	723 教室	1 年 理一(24-27)
40018	月 4	WILLOX RALPH	523 教室	1 年 理一(28-31)
40019	月 4	吉野 太郎	741 教室	1 年 理一(32-35)
40020	月 4	斎藤 毅	721 教室	1 年 理一(36-39)
40062	火 4	大坪 紀之	523 教室	1 年 理一(1,17-19)
40063	火 4	大場 清	724 教室	1 年 理一(2,4-5,8)
40064	火 4	緒方 芳子	524 教室	1 年 理一(3,11-13)
40065	火 4	津田 照久	723 教室	1 年 理一(6-7,9-10)
40066	火 4	斉藤 義久	531 教室	1 年 理一(14-16)

線型代数学①

線型代数学①			開講区分	S 2
授業の目標・概要				
線型代数学の萌芽である行列は多変数の連立一次方程式を効率的、統一的に扱う手法として発明された。また、行列式は方程式の解がただ一つ存在するための条件として発見された。ベクトルの概念の起こりは古典力学にあり、その意味で線型代数学の歴史は古い。しかし行列の本質である線型性概念の真の威力が認識され、数学の一分野として線型代数学が確立したのは新しく、20世紀にはいつてのことであった。 自然界や社会科学における現象は一般には複雑で一次方程式で表せることはまれだが、一次近似によりその本質的な部分をとらえることは常套手段であり、線型代数学の考え方は非常に有効である。また、量子力学や、フーリエ解析などに現れる無限次元のベクトル空間を扱うための基礎ともなっており、線型代数学の応用については枚挙にいとまがない。このように、線型代数学の考え方は現代数学や理論物理学においてはもちろんのこと、工学、農学、医学、経済学などにおいても基本的な考え方として浸透しており、応用範囲も広い。線型代数学は理論的には単純で明快であるが、その反面、抽象的な概念操作にある程度慣れないと理解しにくい面もある。線型代数学を身につけるには、演習などのさまざまな問題にあたり、理解を深めることが必要である。「数理科学基礎」において学んだ線型代数に関する知識を前提とする。 S2タームの「線型代数学①」で以下の項目1,2を扱い、Aセメスターの「線形代数学②」で項目3～6を扱うことを目安とするが、担当教員によって、順序や内容に一部変更が加えられる場合がある。 1. ベクトル空間、線型写像 2. 生成系、一次独立性、基底 3. 内積 4. 行列式 5. 固有値、固有ベクトル 6. 対称行列の対角化と二次形式				
成績評価方法				
教科書				
関連ホームページ				
※講義の詳細については、UTAS を参照すること				
時間割 コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
40072	水 1	河澄 響矢	723 教室	1 年 理二三(1-7)
40073	水 1	小林 正典	523 教室	1 年 理二三(8-10)
40074	水 1	植野 義明	524 教室	1 年 理二三(11-13)
40075	水 1	村上 順	724 教室	1 年 理二三(14-17)
40076	水 1	権業 善範	741 教室	1 年 理二三(18-20)
40077	水 1	白石 潤一	721 教室	1 年 理二三(21-24)
40114	木 3	飯田 正敏	724 教室	1 年 理一(20-23)
40115	木 3	寺田 至	723 教室	1 年 理一(24-27)
40116	木 3	山崎 満	523 教室	1 年 理一(28-31)
40117	木 3	梶原 健	741 教室	1 年 理一(32-35)
40118	木 3	下川 航也	721 教室	1 年 理一(36-39)
40129	金 3	入江 慶	523 教室	1 年 理一(1,17-19)
40130	金 3	関口 英子	724 教室	1 年 理一(2,4-5,8)
40131	金 3	戸瀬 信之	524 教室	1 年 理一(3,11-13)
40132	金 3	松井 千尋	723 教室	1 年 理一(6-7,9-10)
40133	金 3	竹内 知哉	531 教室	1 年 理一(14-16)

数理科学基礎演習・数学基礎理論演習

数理科学基礎演習・数学基礎理論演習						
授業の目標・概要	数学は講義を聴いただけでは意味を理解することが難しく、自分の手を動かして計算や証明をやってみる必要がある.S1 タームの「数理科学基礎演習」は「数理科学基礎」の講義と,S2 タームの「数学基礎理論演習」は「微分積分学①」・「線型代数学①」の講義と一体であり、練習問題を解くことによって講義に対する理解を助け、応用力を養う. 講義内容に即した応用問題の他に、講義の理解を深めるための証明問題や、講義で触れられなかった内容に関する補足問題を適宜付け加えることもある.S1 タームの「数理科学基礎演習」の成績評価は、「数理科学基礎」の成績に演習の平常点などを加味して行う.S2 タームの「数学基礎理論演習」の成績評価は、「微分積分学①」「線型代数学①」の成績 に演習の平常点などを加味して行う.					
成績評価方法	「数理科学基礎」および「微分積分学①」・「線型代数学①」の成績に演習の平常点などを加味して行う.					
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time					
関連ホームページ	https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/					
※講義の詳細については、UTAS も参照すること						
時間割コード	開講	曜限	科目名	担当教員	教室	対象クラス
30143	S 1	月 3	数理科学基礎演習	辻 雄、田中 雄一郎	524 教室	1 年 理二三(11-13)
40010	S 2	月 3	数学基礎理論演習	辻 雄、田中 雄一郎	524 教室	1 年 理二三(11-13)
30144	S 1	月 3	数理科学基礎演習	金井 雅彦、鮑 園園	724 教室	1 年 理二三(14-17)
40011	S 2	月 3	数学基礎理論演習	金井 雅彦、鮑 園園	724 教室	1 年 理二三(14-17)
30140	S 1	月 3	数理科学基礎演習	牛腸 徹、河澄 響矢	723 教室	1 年 理二三(1-7)
40008	S 2	月 3	数学基礎理論演習	牛腸 徹、河澄 響矢	723 教室	1 年 理二三(1-7)
30145	S 1	月 3	数理科学基礎演習	鮑 園園、田中 公	741 教室	1 年 理二三(18-20)
40012	S 2	月 3	数学基礎理論演習	鮑 園園、權業 善範	741 教室	1 年 理二三(18-20)
30146	S 1	月 3	数理科学基礎演習	山本 宏子	721 教室	1 年 理二三(21-24)
40013	S 2	月 3	数学基礎理論演習	山本 宏子	721 教室	1 年 理二三(21-24)
30142	S 1	月 3	数理科学基礎演習	緒方 芳子、牛腸 徹	523 教室	1 年 理二三(8-10)
40009	S 2	月 3	数学基礎理論演習	緒方 芳子、牛腸 徹	523 教室	1 年 理二三(8-10)
30536	S 1	火 5	数理科学基礎演習	牛腸 徹	523 教室	1 年 理一(1,17-19)
40067	S 2	火 5	数学基礎理論演習	牛腸 徹	523 教室	1 年 理一(1,17-19)
30540	S 1	火 5	数理科学基礎演習	斉藤 義久、竹内 知哉	531 教室	1 年 理一(14-16)
40071	S 2	火 5	数学基礎理論演習	斉藤 義久、竹内 知哉	531 教室	1 年 理一(14-16)
30537	S 1	火 5	数理科学基礎演習	清野 和彦	724 教室	1 年 理一(2,4-5,8)
40068	S 2	火 5	数学基礎理論演習	清野 和彦	724 教室	1 年 理一(2,4-5,8)
30538	S 1	火 5	数理科学基礎演習	緒方 芳子、中村 勇哉	524 教室	1 年 理一(3,11-13)
40069	S 2	火 5	数学基礎理論演習	緒方 芳子、中村 勇哉	524 教室	1 年 理一(3,11-13)
30539	S 1	火 5	数理科学基礎演習	津田 照久、松井 千尋	723 教室	1 年 理一(6-7,9-10)
40070	S 2	火 5	数学基礎理論演習	津田 照久、松井 千尋	723 教室	1 年 理一(6-7,9-10)
31004	S 1	木 4	数理科学基礎演習	中村 勇哉	724 教室	1 年 理一(20-23)
40122	S 2	木 4	数学基礎理論演習	中村 勇哉	724 教室	1 年 理一(20-23)
31005	S 1	木 4	数理科学基礎演習	山本 宏子、寺田 至	723 教室	1 年 理一(24-27)
40123	S 2	木 4	数学基礎理論演習	山本 宏子、寺田 至	723 教室	1 年 理一(24-27)
31006	S 1	木 4	数理科学基礎演習	WILLOX RALPH、山崎 満	523 教室	1 年 理一(28-31)
40124	S 2	木 4	数学基礎理論演習	WILLOX RALPH、山崎 満	523 教室	1 年 理一(28-31)
31007	S 1	木 4	数理科学基礎演習	吉野 太郎、梶原 健	741 教室	1 年 理一(32-35)
40125	S 2	木 4	数学基礎理論演習	吉野 太郎、梶原 健	741 教室	1 年 理一(32-35)

数理科学基礎演習・数学基礎理論演習

31008	S 1	木 4	数理科学基礎演習	清野 和彦	721 教室	1 年 理一(36-39)
40126	S 2	木 4	数学基礎理論演習	清野 和彦	721 教室	1 年 理一(36-39)

力学A

力学A		開講区分	S	
授業の目標・概要		古典力学の基本法則とその具体的応用を微積分や解析幾何等の数学的手法を用いて考察し、物理学における論理的・体系的理解への基礎を学ぶ。高校での物理学を履修したという前提に立って講義する。具体的な項目は以下の通りだが、実際の内容や順序は教員によって多少の違いがあり、特に＊印のついた項目は省略される場合がある。 1. 序論：物理学の世界 2. 運動の記述 ・デカルト座標 ・ベクトルとその演算（内積、外積など） ・極座標（2次元、＊3次元） ・次元と単位系 3. 運動の法則 ・ニュートンの三法則 ・質量と力 ・簡単な運動の例（自由落下など） ・力積と運動量 ・仕事とエネルギー（線積分） ・保存力とポテンシャル（グラディエント） 4. 運動の解析 ・落体の運動（速度に依存する抵抗がある場合を含む） ・慣性質量と重力質量 ・単振り子・調和振動 ・減衰振動 ＊強制振動（共鳴） ・力のモーメント ・中心力と角運動量 ・万有引力とケプラーの法則 5. 運動の相対性と慣性力 ・慣性系とガリレイ変換 ・並進加速度系と慣性力 ・回転系（遠心力とコリオリ力） 6. 多粒子系 ・内力と外力 ・重心運動と相対運動 ＊対称性と保存則 ・二体系（換算質量、衝突など） ＊7. 剛体の運動 ＊剛体の自由度と運動方程式 ＊慣性能率 ＊対称性と保存則 ＊剛体の平面運動 ＊8.力学の原理 ＊仮想仕事、ダランベールの原理 ＊ハミルトンの原理（最小作用） ＊対称性と保存則 ＊ラグランジュの運動方程式		
成績評価方法		主として定期試験によるが、担当教員の UTAS シラバスを参照すること		
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook		
※講義の詳細については、UTAS を参照すること				
時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
30776	水 4	井上 純一	533 教室	1 年 理一(20-22)
30778	水 4	大井 万紀人	723 教室	1 年 理一(23-25)
30779	水 4	※塩見 雄毅	523 教室	1 年 理一(26-29)
30780	水 4	※簗口 友紀	761 教室	1 年 理一(30-33)
30781	水 4	※鈴木 康夫	1323 教室	1 年 理一(34-36)
30782	水 4	※堀田 知佐	531 教室	1 年 理一(37-39)
30785	水 4	米谷 玲皇	721 教室	1 年 理二三(16-18)
30786	水 4	澁谷 憲悟	724 教室	1 年 理二三(19-21)
30787	水 4	下村 裕	741 教室	1 年 理二三(22-24)
31230	金 4	大谷 宗久	524 教室	1 年 理一(1-6)
31232	金 4	酒井 一博	531 教室	1 年 理一(7-9)
31233	金 4	※藤井 宏次	532 教室	1 年 理一(10-12)

31234	金 4	※松田 恭幸	523 教室	1 年 理一(13-16)
31235	金 4	溝口 俊弥	1225 教室	1 年 理一(17-19)
31248	金 4	※大泉 匡史	721 教室	1 年 理二三(1-6)
31249	金 4	※木本 哲也	741 教室	1 年 理二三(7-9)
31250	金 4	庄田 耕一郎	1108 教室	1 年 理二三(10-12)
31251	金 4	矢向 謙太郎	761 教室	1 年 理二三(13-15)

【注意】基礎科目「力学 A」を他クラス聴講する場合、または文科生が要求科目として履修（履修許可科目）する場合は、※の教員の授業を選択し履修すること。なお、同じクラスに登録希望者が集中する場合には、人数を制限することがある。

力学B

力学B		開講区分		S
授業の目標・概要		入試で物理学を選択しなかった学生のうち希望する者を対象とする。 高度な問題や詳細には深入りをせず、例題や宿題を多用することにより、 物理学がどのような局面で役に立つのかを学ぶ。 具体的な項目は以下の通りだが、実際の内容や順序は教員によって多少の違いがあり、特に＊印のついた項目は省略される場合がある。 1. 序論：物理学の世界 2. 運動の記述 ・デカルト座標 ・ベクトルとその演算（内積、外積など） ・極座標（2次元、＊3次元） ・速度と加速度 ・次元と単位系 3. 運動の法則 ・ニュートンの三法則 ・質量と力 ・簡単な運動の例（自由落下など） ・力積と運動量 ・仕事とエネルギー（線積分） ・保存力とポテンシャル（グラディエント） 4. 運動の解析 ・落体の運動（＊速度に依存する抵抗がある場合を含む） ＊慣性質量と重力質量 ・単振り子・調和振動 ＊減衰振動 ＊強制振動（共鳴） ・力のモーメント ・中心力と角運動量 ・万有引力とケプラーの法則 5. 運動の相対性と慣性力 ・慣性系とガリレイ変換 ・並進加速度系と慣性力 ・回転系（遠心力と＊コリオリ力） 6. 多粒子系 ・内力と外力 ・重心運動と相対運動 ＊対称性と保存則 ・二体系（衝突、＊換算質量など） ＊7.剛体の運動 ＊剛体の自由度と運動方程式 ＊慣性能率 ＊剛体の平面運動		
成績評価方法		主として定期試験によるが、担当教員の UTAS シラバスを参照すること		
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook		
※講義の詳細については、		UTAS を参照すること		
時間割 コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
30777	水 4	新井 宗仁	524 教室	1 年 理一(20-39)理二三(16-24)
31231	金 4	鳥井 寿夫	511 教室	1 年 理一(1-19)理二三(1-15)

熱力学

熱力学		開講区分		S
授業の目標・概要		熱力学は、膨大な数の原子・分子等のミクロ（微視的）な粒子の集団から成るマクロ（巨視的）な物質の状態を、温度、圧力、体積などのマクロな物理量を用いて記述し、いくつかの基本原則をもとに、マクロな観点から物質の状態がいかに変化するかを考察する学問体系である。熱力学は、力学、電磁気学とともに古典物理学の基礎を構成している。ここで学ぶ内部エネルギー、エントロピーなどの概念は理科生にとって必須の基礎概念である。以下に標準的な講義内容を示すが、担当教員によって項目の順序や内容は若干異なる。講義では、高校までに習った初等数学以外に、偏微分等の数学的手法を用いることがあるが、その場合は、そのつど必要に応じて講義で解説される。 0.序論 熱力学とは何か？ミクロな系とマクロな系、力学や電磁気学との対比 1.熱平衡状態 温度、圧力、状態量、示強変数と示量変数、状態方程式 2.熱力学第一法則 熱量と仕事、熱の仕事当量、内部エネルギー、定積熱容量（定積比熱）と定圧熱容量（定圧比熱） 3.熱力学第二法則 第二法則の諸表現（Thomson の原理、Clausius の原理）、可逆循環過程、Carnot サイクル、不可逆過程、準静的過程、熱機関の効率、熱力学的絶対温度、Clausius の不等式、エントロピー 4.自由エネルギー Helmholz の自由エネルギー、Gibbs の自由エネルギー、Maxwell の関係式 その他、オプションとして取り上げられるトピックス 混合のエントロピー、エンタルピー、Joule-Thomson 過程、Legendre 変換、熱力学第三法則、相平衡、相律、Clapeyron-Clausius の式、Le Chatelier の原理、化学ポテンシャル、Gibbs-Duhem の関係式、Maxwell の等面積則 成績評価方法 教科書 主として定期試験によるが、担当教員の UTAS シラバスを参照すること 教科書は使用しない。／Will not use textbook		
※講義の詳細については、UTAS を参照すること				
時間割 コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
30052	月 2	※池田 昌司	1101 教室	1 年 理一(1-3,12,14-15)
30066	月 2	関野 恭弘	1102 教室	1 年 理一(22-23,27)
30071	月 2	桃井 勉	761 教室	1 年 理一(28,31,33,39)
30666	水 2	藤山 茂樹	531 教室	1 年 理一(4,6,9)
30673	水 2	※加藤 岳生	525 教室	1 年 理一(20,34-35)
30741	水 3	※森松 治	525 教室	1 年 理一(7,11,32)
30895	木 2	下村 裕	721 教室	1 年 理一(8,10)
30896	木 2	岸根 順一郎	741 教室	1 年 理一(13,16,18)
30899	木 2	※風間 洋一	1102 教室	1 年 理一(19,29,38)
31070	金 1	※尾関 之康	721 教室	1 年 理一(5,17,21)
31073	金 1	上田 正仁	741 教室	1 年 理一(24-25,30)
31186	金 3	※菊川 芳夫	721 教室	1 年 理一(26,36-37)

【注意】基礎科目「熱力学」を他クラス聴講する場合、または文科生が要求科目として履修（履修許可科目）する場合は、※の教員の授業を選択し履修すること。なお、同じクラスに登録希望者が集中する場合には、人数を制限することがある。

化学熱力学

化学熱力学			開講区分	S
授業の目標・概要 熱力学では、多数の原子分子の集団から成る物質の状態を圧力、体積、温度などの巨視的な量を用いて指定し、いくつかの基本原理解をもとに、巨視的な観点から物質がいかに変化するかを考察していく。これらは、化学平衡や化学反応を理解する上での基礎的な概念を与える。本講義では、化学への応用をめざして熱力学を学ぶ。以下に標準的な講義項目を示すが、教員によって実際の順序や内容は若干異なる。 1. 序論 熱平衡状態、温度と熱、状態量（示強性、示量性）、状態方程式（理想気体、ファン・デル・ワールス気体） 2. 熱力学第一法則 熱と仕事、内部エネルギー、準静的過程、定積過程と定圧過程、エンタルピー、熱容量（比熱）、ヘスの法則 3. 熱力学第二法則 熱機関とカルノーサイクル、第二法則の諸表現（トムソンの原理、クラウジウスの原理）、不可逆過程、クラウジウスの不等式、エントロピー 4. 自由エネルギー ヘルムホルツエネルギー、ギブスエネルギー、マックスウェルの関係式、ギブスエネルギーの圧力・温度依存性 5. 化学ポテンシャルと化学平衡 相平衡と相律、クラペイロン・クラウジウスの式、化学ポテンシャル、化学平衡、質量作用の法則、ル・シャトリエの原理 成績評価方法 教科書 担当教員の UTAS シラバスを参照の事。 その他。／Other				
※講義の詳細については、UTAS を参照すること				
時間割 コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
30443	火 3	藤田 雅弘	741 教室	1 年 理一 理二三(4,16,18,20,22)
30445	火 3	細野 暢彦	721 教室	1 年 理一 理二三(6,8,11,15)
30911	木 2	小倉 賢	1101 教室	1 年 理一 理二三(1-3,5,7,9-10)
30912	木 2	瀬川 浩司	761 教室	1 年 理一 理二三(12-13,17,19)
30913	木 2	若杉 桂輔	1331 教室	1 年 理一 理二三(14,21,23-24)

物性化学

物性化学		開講区分	S 1	
授業の目標・概要		物質の多様な構造、性質および反応を理解するための、基礎的な化学の概念、理論を具体的な化合物を例にして学ぶ。以下の項目とその関連事項を内容とするが、教員により順序や重点の置き方に少し違いがある場合もある。 1. 多原子分子の構造 ルイス構造と分子構造、共有結合の方向性、混成軌道 2. パイ結合の化合物 共役二重結合、共鳴、ベンゼン、芳香族化合物 3. パイ電子と分子軌道 パイ電子近似、LCAOMO、変分法、HOMO と LUMO 4. 配位結合の化合物 Lewis 酸・塩基、金属錯体と配位結合、遷移金属錯体と d 軌道、結晶場 分裂 5. 分子間相互作用と凝集系、生体高分子化学 van der Waals 力、水素結合 6. 結晶の構造と結合 最密充填、単純格子、イオン半径と結晶構造、金属と半導体 7. イオン結晶 格子エネルギー、Madelung 定数、Born-Haber サイクル		
成績評価方法		担当教員の UTAS シラバスを参照の事。		
教科書		その他。／Other		
関連ホームページ		http://www.iis.u-tokyo/~houjou/hjlab_wiki/		
※講義の詳細については、UTAS を参照すること				
時間割 コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
30053	月 2, 木 2	北條 博彦	525 教室	2 年 理一(4,18,39)理二三(12)
30068	月 2, 木 2	横田 泰之	1225 教室	2 年 理一(25-26)理二三(13)
30070	月 2, 木 2	廣瀬 靖	531 教室	2 年 理一(27-28)理二三(10-11)
30133	月 3, 木 3	内田 さやか	1101 教室	2 年 理一(22-24,29)
30137	月 3, 木 3	吉本 敬太郎	1102 教室	2 年 理一(30,36-38)
30073	月 2, 木 2	西川 昌輝	532 教室	2 年 理一(32-33)理二三(14-15)
30080	月 2, 木 2	青木 優	533 教室	2 年 理二三(16-17,19,24)
30131	月 3, 木 3	竹中 康将	531 教室	2 年 理一(20)理二三(1-3,7,21,23)
30430	火 3, 金 3	佐藤 守俊	533 教室	2 年 理一(1-3,5,8,11)
30435	火 3, 金 3	豊田 太郎	1101 教室	2 年 理一(15,17,35)理二三(4)
30432	火 3, 金 3	寺尾 潤	1102 教室	2 年 理一(12-14)理二三(22)
30442	火 3, 金 3	宮島 謙	1108 教室	2 年 理二三(5-6,9,20)
30513	火 4, 金 4	片山 正士	1102 教室	2 年 理一(6,10,16)理二三(18)
30515	火 4, 金 4	溝口 照康	533 教室	2 年 理一(7,9,31,34)
30517	火 4, 金 4	豊田 太郎	1101 教室	2 年 理一(19,21)理二三(8)

生命科学

生命科学		開講区分	S	
授業の目標・概要	本講義は理科1類の学生に特化し、生命現象の中でも数式で表しやすい内容を計算演習とコンピュータの活用により学ぶ。数理ダイナミクスの観点から生命現象の謎に迫るおもしろさを実感してもらうことを期待する。具体的には、以下のような内容を予定している。 1. 生命科学の基礎 2. 生体物質：細胞を作り上げる物質群 3. 細胞の構造と増殖 4. 生命の駆動力：代謝と自由エネルギー 5. 遺伝情報 6. 生命のシステムの理解 7. 生命のダイナミクスとパターン形成 8. マクロなダイナミクス 9. 生命科学の数理的展開			
成績評価方法	毎回行う練習問題と試験			
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 演習で学ぶ生命科学 著者（訳者） 東京大学生命科学教科書編集委員会 編 出版社 羊土社			
※講義の詳細については、UTAS を参照すること				
時間割 コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
30198	月 4	矢島 潤一郎	524 教室	2 年 理一(6,11,16,22)
30209	月 4	佐藤 健	531 教室	2 年 理一(17,23-24,32)
30664	水 2	黒田 大祐	524 教室	2 年 理一(1-2,27-30,33)
30665	水 2	寺田 透	533 教室	2 年 理一(3,26,35,39)
30667	水 2	長谷川 禎彦	523 教室	2 年 理一(5,15,18,21)
30894	木 2	飯野 雄一	524 教室	2 年 理一(8,12-14)
30907	木 2	山口 哲志	1108 教室	2 年 理一(34,36-38)
31179	金 3	杉山 宗隆	532 教室	2 年 理一(4,7,9,19)
31181	金 3	館野 正樹	1225 教室	2 年 理一(10,20,25,31)

生命科学 I

生命科学 I		開講区分	S	
授業の目標・概要	生命科学の基本概念と遺伝・膜構造・代謝を中心とした生命現象のしくみについて、分子から細胞までの構成原理を概観する。 1. 生物の多様性と斉一性 2. タンパク質の構造と機能 3. 遺伝子と遺伝情報 4. 細胞の構造 5. 代謝と光合成			
成績評価方法	定期試験			
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 理系総合のための生命科学 第5版 著者（訳者） 東京大学教養学部理工系生命科学教科書編集委員会 編 出版社 （株）羊土社 ISBN ISBN 9784758121026			
※講義の詳細については、UTAS を参照すること				
時間割 コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
30216	月 4	美川 務	532 教室	1 年 理二三(5,9,12-14)
30218	月 4	豊島 陽子、教員未定	533 教室	1 年 理二三(17-18,21-22,24)
31075	金 1	矢島 潤一郎	1106 教室	1 年 理二三(1-3,7-8,20,23)
31082	金 1	池内 昌彦	532 教室	1 年 理二三(10-11,15,19)
31191	金 3	渡邊 雄一郎	1331 教室	1 年 理二三(4,6,16)

展開科目 社会科学ゼミナール

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31611	S	社会科学ゼミナール (法・政治)	増井 良啓	法学部	月 5	E39 教室	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		The Economist を読む 社会科学に深い関心のある 2 年生を主対象としたゼミです。 英語の運用能力を「使い物になる」レベルに高めることは、駒場時代に集中的に行うべき訓練のうち、おそらく最も重要なもののひとつです。そこで、雑誌 The Economist の最新号から、広い意味で法学政治学に関係する興味深い記事を選び、会読します。目標は、大人の文章を精密かつ批判的に読むこと、そして、いま世界で何が起きているかを柔軟に感じとり他者と議論すること、にあります。 履修希望者が 20 名を超えた場合は、小論文の試験を実施して選考します。そのため、初回授業に必ず出席すること。受講許可は第 2 回目までに掲示によって告知します。					
評価方法 教科書 ガイダンス		平常点による。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2020 年 04 月 06 日 5 限／5th Period					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31612	S	社会科学ゼミナール (法・政治)	源河 達史	法学部	火 5	119 教室	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ヨーロッパ中世 (11-14 世紀) の法学 中世ヨーロッパにおける法学の歴史 (11 世紀から 15 世紀) に関する論文 (英語) を読み、内容を理解し、報告・議論することを試みます。英語の学術論文を精確に読み、理解すること、内容をまとめること、法学が歴史的に形成されたことを学ぶこと、が目標となります。					
評価方法 教科書 ガイダンス		平常点 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31789	S	社会科学ゼミナール (法・政治)	福岡 安都子	法・政治	金 5	117 教室	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		公法学の判例を読む 公法学分野の基本的判例を選び、読解のトレーニングを行う。法学について基礎知識が未だ特に無い 1 年生、あるいは文 I 以外の学生でも、果敢に挑戦して頂きたい。実定法学の土台にある基礎的な考え方や歴史的背景、法的言語の在り方など、広い関心を有する意欲的な学生の参加を歓迎する。					
評価方法 教科書 ガイダンス		平常点による。なお、学期末には、簡単な小論文を提出してもらう。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31790	S	社会科学ゼミナール (経済・統計)	佐藤 俊樹	経済・統計	月 3	155 教室	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ルーマンを読む(1) マスメディアのリアリティ(6) 教員の所属組織上「経済学・統計学」になっているが、j 授業の内容は社会学のマスメディア論とシステム論である。具体的には、ニクラス・ルーマンの『マスメディアのリアリティ』を読んでいく。担当教員の専門と関心から、厳密なテキスト読解ではなく、経験的な社会の探究に役立つ分析用具として読んでいく。 といっても、決してすらすら読める文章ではないので、実際には、毎年、一行一行解説しながらゆっくり読み進めている。今年は第 11 章「リアリティの構築」からになるが、必要な予備知識はその都度解説するので、それ以前の章を読んでおく必要は特にない。 一応、それぞれの水準でかまわないから、意欲をもって自分で考えていくことを身につけるのを目標にしているが、一見全く意味不明な彼の文章が、実際にはきわめて論理的で、かつマスメディアや現代社会に対する具体的かつ鋭い洞察に富んでいることを体験してもらえば、それでよい。						
評価方法	授業時間中の参加度と学期末に提出してもらったレポートで評価するが、授業に参加していれば目標はほぼ達成されるので、レポートの方の課題は重いものではない。						
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 マスメディアのリアリティ 著者（訳者） ニクラス・ルーマン（林香里訳） 出版社 木鐸社 ISBN 4-8332-2366-X						
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

展開科目 人文科学ゼミナール

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31606	S	人文科学ゼミナール (哲学・科学史)	古田 徹也	文学部	木 2	534 教室	2 年 文科 理科
講義題目	倫理学の重要文献を日本語で読む						
授業の目標概要	いま読まれるべき倫理学上の重要文献のうち、初学者でも比較的読み通しやすいものを選んで日本語で精読する、基礎的な演習です。						
評価方法	今回は、アイリス・マードック著『善の至高性』(菅豊彦・小林信行訳、九州大学出版会)を通読します。この著作は、現代の倫理学のあり方およびそれに対する批判の可能性を知るうえで重要な位置を占めるものと言ってよいでしょう。						
	本講義では、この『善の至高性』の読解を通じて、倫理学の基本概念や議論の仕方を学びつつ、同時に、哲学的文献を精読して要約する基本的な技術を身につけることを目指します。						
教科書	なお、本授業は少人数のゼミナール(演習)として位置づけられるものであるため、受講希望者多数の場合はやむをえず抽選により人数を調整します。受講者の上限は一応 20 名に設定しますが、多少の人数超過は柔軟に認めます。						
	・担当回のレジュメの水準、および、毎回のディスカッションへの貢献度を考慮して、成績を評価します。						
ガイダンス	・担当者にならなかった者には、レポートを課します。						
	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook						
	書名 善の至高性						
	著者(訳者) アイリス・マードック						
	出版社 九州大学出版会						
	ISBN 9784873783048						
	その他 本書は現在絶版で入手不可能であるため、受講者にはコピーを配布します。(教科書を各自で購入する必要はありません。)						
	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31264	S	人文科学ゼミナール (歴史学)	長谷川 まゆ帆	歴史学	金 5	116 教室	2 年 文科 理科
講義題目	1 8 世紀フランスの社会史ー啓蒙期の公と私、公共空間を考えるー						
授業の目標概要	近年、フランス近世期についての歴史学研究は、ルソーやヴォルテール、サド、スピノザなど、文学や思想、哲学の領域にあるとされてきた文献にも分け入り、いまだかつてない角度からこの時代の人々の感情やふるまい、メディアや表象の変化について問い、公共性や主体の問題を再検討しつつある。この人文科学ゼミナールでは、こうしたフランス 1 8 世紀の社会史の成果に触れる入門的入り口として、以下のような文献を演習形式で読んでいく。履修者の顔ぶれをみてではあるが、できればフランス語の文献にも触れ、読む予定である。						
	■アントワヌ・リルティ「有名人の孤独」『セレブの誕生ー<著名人>の出現と近代社会』名古屋大学出版会、2 0 1 8 年、158-237 頁。						
	ここでは主としてルソーの生涯が扱われているが、有名になったことでその<著名性>により個人生活が侵害されていると感じ、次第に引きこもり、パラノイア的な隠遁へと向かうルソーの苦悩を描き、1 8 世紀に出現する新しい公共空間ー現代にも通じるーが照らし出している。現代的な内容である。						
	■Lilti, Antoine, " Vies privees, espace public", L'heritage des Lumieres, : Anvibalences de la modernite, EHESS Galimard Seuil, 2019, pp. 167-196.(「私生活、公共空間」『啓蒙の遺産ー近代の両義性』(社会科学高等研究院、ガリマール及びスィユ社、2019 年)						
評価方法	これは、ソシアビリティ(人と人との絆、しがらみも含む)や、人々の絆/交渉がいかなるものであったかに関わり、これまでの社会史の成果にも深くリンクする内容である。日常性と公共性空間の交錯、メディアや表象を通じて意識や感情が形作られていくことを考えさせてくれる。						
	歴史学研究の最前線の議論、方法に触れることをねらいとする。						
教科書	1 9 世紀に明確になっていく文明のかたちは、1 8 世紀には必ずしも自明ではなかった。						
	フランス革命は、1 9 世紀の近代社会の起原、始まりと考えられることが多いが、実際には、						
ガイダンス	1 8 世紀は古いものと新しいもの、フランスの内部と外部がふれあい、絡み合う複雑な多文化社会であり、さまざまな実験や模索がなされていた時代でもある。こうした 1 8 世紀社会の変						
	動をみていくことで、18 世紀の社会と文化を考えてみたい。						
	筆記試験はしない。普段の授業での取り組み、リアクションペーパーの提出、期末課題の提出などによって評価する。						
	授業中に指示をする。／Will specify at class time						
	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

展開科目 人文科学ゼミナール

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31294	S	人文科学ゼミナール (テキスト分析)	田原 史起	中国語	金 2	117 教室	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国の都市=農村関係を考える。 現代中国の都市=農村関係のテーマに関わる新聞記事や学術論文を輪読する。この授業の目標は二つである。①標準的な現代中国語の読解を通じ、よく出てくる書き言葉の言い回しに慣れ、構文を掴む練習を行う。これにより各自が関心を持つ領域の文章を自力で読めるように訓練する。②文章の背景について授業担当者が解説することで、中国社会の動態について字面以上の立体的な理解を獲得する。					
評価方法 教科書 ガイダンス		出席と平常点 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31252	S	人文科学ゼミナール (テキスト分析)	竹内 恵子	ロシア語	金 4	115 教室	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語テキスト講読 ロシア語の初級文法を一通り学習した人を対象に、ロシア語の散文および韻文のテキスト読解を通して、中級レベルの文法、語彙や構文の習得を目指します。 また、ロシア社会やロシア文化に関するテキストを読むことで、ロシアという異文化を理解するための知識を得ることをも目標とします。					
評価方法		平常点（出席、訳読の完成度、授業への参加度など）80％ 期末試験 20％					
教科書 ガイダンス		プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

展開科目 自然科学ゼミナール

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31610	S	自然科学ゼミナール (生命科学)	和田 洋一郎	アイソトープ 総合センター	集中	シラバス 参照	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	放射線関連技術の最先端と地域振興の現状 【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。 東京大学では放射線に関して、生命科学から工学、物理学、数理学まで広範な領域にわたる研究が行われている。全学センターとしてアイソトープ総合センターはその拠点となり、学内の放射線利用者への教育と同時に、放射線を使った先端的研究が行われている。学外に向けては原子力発電所事故の被災自治体や地元教育研究機関と協力して、除染・測定を含む学術的活動を継続的にを行い、帰還を支援している。当センターはこれらの活動を通じて、被災地住民にとって真に重要な課題を明らかにし、これに取り組むために従来の学問の限界や枠組みを押し広げる努力を行っている。放射線影響、特に低線量の内部被ばくメカニズム解明やそれに対する防護については未知の点が多く、集学的な対応が必要であることから、その全貌を把握する系統的機会は少ない。そこで、本講義においては可及的に多様な視点から放射線が生体に及ぼす現象平易に解説することを目的とする。また、当センターは放射線を製造する加速器研究者や、分析装置の研究者と共に、生体イメージングや、α線核種を用いた医薬品開発を行っており、先端的なアイソトープ利用の拠点としての役割も果たしているため、最新の学問的潮流を踏まえて、放射線の有効利用の現状と次の展開についても解説することが可能である。特に、アイソトープ総合センターの教職員が取り組む研究とその成果をとりあげることににより、現実的な課題から最先端の科学研究に至るまで概観することを本講義の目的とする。 「放射線影響と利用」では、(受講希望者が多数の場合には、)、受講を希望する理由書に基づき選抜を実施する。履修希望者は本講義の受講を希望する理由を A4 用紙 1 枚程度に記載し、第 1 回講義の際に提出すること。選抜結果は、第 2 回講義前までに掲示する。 なお、この講義は「福島復興学（仮称）」の支援により測定、復興支援に携わる現場担当者の話を聞く機会としての側面も有している。						
評価方法	それぞれの講義のうち幾つかを選択した上でレポート提出を求め、通常点及び最終回に予定している測定演習の成績と総合して理解度を判定、評価する。						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特定日を行う。／Will conduct guidance at another time 2020 年 04 月 06 日 5 限／5th Period1 号館 108 教室						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31094	S	自然科学ゼミナール (生命科学)	嶋田 正和	生物	金 2	K401	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	「花と昆虫の野外生物学」 自然界では、春から初夏にかけてたくさんの花が咲き乱れ、その蜜や花粉を求めてたくさんの昆虫が花にやって来る。この授業は、自然界での花と昆虫の相互作用と花をめぐる生物多様性の成り立ちを進化生態学的に理解するのが目標である。マルハナバチが来ない場合は、ジェネラリストの訪花昆虫であるハナアブ、狩りバチ、甲虫、アリなどを採集して、壺深い花に特化したスペシャリストのマルハナバチとの違いを比較する。 最初 3 回の講義とその後の野外実習及び標本づくりの組み合わせで成り立っている。5 月 GW 明けの週末を使った日光実習、それ以降の授業中の昆虫採集と KOMCEE East の実習室での標本づくり、そしてインターネットでの検索の組み合わせで成り立っている。野外実習は雨天のときは屋内での作業となるので、私からの案内に注意すること。最終的に、期末レポートを仕上げて終了となる。 受講生は 3 名 1 班のグループで班ごとにまとまって活動することになる。4 月の初回ガイダンスで本授業の概要を簡単に述べ、その直後に、受講生の人数を絞るためにプレイスメント・テストを実施する。なぜなら、東大理学部附属日光植物園と東大駒場キャンパスでの野外実習では、対象となるマルハナバチの来る植え込みはごく限られ、大人数が動くで状況ではマルハナバチも逃げてしまうので、授業が不可能となる。4 班 12 名だけの限られた人数で授業を実施することを了承してほしい。プレイスメント・テストを受講しない学生は、この授業を受講できないので、要注意。 毎週金曜の授業だけでなく、週末の野外実習も入るので、変則的なスケジュールであることに注意。						
評価方法	出席、 平常の活動、討議などの総合力 期末レポート						
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日を行う。／Will conduct guidance at first time 2020 年 04 月 10 日 2 限／2nd Period 講義室						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31608	S	自然科学ゼミナール (数理科学)	田中 公	数理科学研究科	水 5	515 教室	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	圏論入門 圏論は種々の数学理論（集合の理論やベクトル空間の理論）を一般的な枠組みの元で取り扱う理論であり、現代の代数学や幾何学において基本的な道具となっている。圏論を学ぶ事により、多くの数学概念を俯瞰的な立場から捉える事が出来るようになり、より統一的に理解する事が出来るようになる。従って、早期に圏論を習得する事によって得られる利点は多い。その一方、抽象度が高い為、感覚を掴む事が難しい分野でもある。 本ゼミナールは少人数で実施する事が望ましい為、受講希望者が多数の場合は、第 1 回目に選抜試験を実施し、第 2 回目で発表順などを決める。受講希望者が多数でない場合は、第 1 回目に発表順などを決める。選抜試験を実施する場合は、選抜結果を第 2 回目までに掲示する。						
評価方法 教科書	発表内容や出席点による。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Category Theory(2nd edition) 著者（訳者） Steve Awodey 出版社 Oxford University Press ISBN 978-0199237180 その他						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31607	S	自然科学ゼミナール (数理科学)	WILLOX RALPH	数理科学研究科	木 5	108 教室	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	自然科学に現れる微分方程式 本ゼミナールでは、自然科学において、さまざまな現象を記述する微分方程式について学ぶ。力学に現れる運動方程式から始めて、波動方程式、熱方程式、ラプラス方程式などを扱う。また、将来、解析力学などで必要になる変分法にもふれる。 自然現象に現れる課題について、受講者がワークの形で取り組めるようにする。 なお、本科目では、受講希望者が多数の場合には受講を希望する理由書に基づき選抜を実施する。履修希望者は本講義の受講を希望する理由を A4 用紙 1 枚程度に記載し、第 1 回講義の際に提出すること。 選抜結果は、第 2 回講義前までに掲示する。						
評価方法 教科書 ガイダンス	発表を中心とした授業への参加によって評価する。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31609	S	自然科学ゼミナール (情報科学)	伊東 乾	学際情報学府	火 4	E38 教室	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	暗号資産と国富・・・から発展して：公共性と STREAMM Bitcoin によって普及した Blockchain など、暗号資産をめぐる数理と、それに立脚する公共性の問題を扱う予定であるが、折からのコロナウイルスの伝染やそれにまつわる風聞、各国政府の対策や、緊急時対応の良しあしなど、公共性に関わる喫緊のトピックスが多くみられる。2 年生前期の文理共通科目として、根拠に基づく政策 Evidence-based Policy の重要性を多角的に検討したい。とりわけ機械学習、人工知能ルーチンが随所で活用、陳腐化する Beyond AI Society における倫理、あるいは法理 ELSI の観点から、経済社会の公共性を検討したい。また東京大学がミュンヘン工科大学等と国際提案してゆく新しい自由 7 学科 STREAMM=Science, Technology, Reflection, Ethics, Arts, Mathematics and Music 科学・技術・熟慮・倫理・藝術・数学・音楽 のあり方についても触れたいと考える。						
評価方法 教科書 ガイダンス	出席と演習参加+簡単なレポート プリントを配布する。／Will distribute handouts. 第一回授業日に行う。Will conduct guidance at first time.						

「英語中級」「英語上級」について

【科目概要】

「英語中級」は指定されたクラスのみが履修できるもの（指定クラス型）と全クラスに開かれたもの（全クラス型）がある。「英語上級」はすべて全クラス型である。

S2ターム、A2タームの授業を含む、いずれの授業もセメスター開始時に履修希望の登録を行い、希望者が多数の授業については抽選を行う。各セメスターに履修できるのは指定クラス型、全クラス型をそれぞれ1コマまでである。

○履修の削除について

全クラス型授業の登録は削除できない。指定クラス型の授業は、同じセメスターの全クラス型授業に登録を認められた場合のみ削除できる。

○2年生の履修について

2年生が抽選登録できるのは、全クラス型のみとなる。ただし、追加募集の対象となっている場合に限り、指定クラス型も履修することができる。

【抽選登録】

「英語中級」および「英語上級」はUTASで希望登録を行う。所定の期間中にUTASログイン後の【抽選対象科目希望登録】画面から希望する授業を登録する。

特定の授業に学生の希望が集中した場合に抽選が行われ、外れた学生は下位の希望順位の授業に振り分けられることになる。希望を登録していない授業に振り分けられることはない。ただし、希望したいずれの授業にも振り分けられないことはある。

○追加募集について

学生数に余裕のある場合は追加募集を行う。追加募集授業の履修登録方法は、追加募集対象授業の発表時に指示する。追加募集の対象となっていない授業については、担当教員の許可を得ても履修登録は認められない。

(注意事項)

- ・総合科目L系列の英語には、「英語中級・セメスター制授業」、「英語中級・ターム制授業」、「英語上級・セメスター制授業」、「英語上級・ターム制授業」の4種類の授業がある。同一教員による同一種類の授業を複数履修することはできない。
 - ・英語上級は各授業のシラバスに記載された習熟度レベルに到達した者を対象とする。
 - ・Sセメスターの際には、抽選登録または追加募集登録する際に、初年次ゼミナールが自身のクラスに割り当てられる各2曜限には登録しないこと。
 - ・TLP生は、TLP履修者用の科目と重複する曜限にも登録しないよう注意すること。
- なお、一度当選した科目は履修登録を削除することはできない。

総合科目 L 英語中・上級

英語中級（クラス指定ターム型）火 3

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30392	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	後藤 春美	英語	火 3	103 教室	1 年 文一二(9)文三(8) 理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
講義題目 授業の目標概要	国際関係史（英語講読） Antony Best et al (eds), International history of the twentieth century and beyond (New York: Routledge, 2015) のうち、20 世紀前半の部分を読む。教材は歴史の教科書であるが、歴史の授業ではない。一人で英文を正確に読めるようになることを目標とする。						
評価方法	平常点（授業で訳読を担当した時の出来、予習の有無）と、最終授業時間に行うテストで評価する。なお、出席は平常点に勘案するが、予習をせずに教室に座っているだけでは出席とはみなされない。必ず予習をして授業に臨んでほしい。						
教科書	その他。／Other その他 初回の方は、プリントを用意して当日教室で配布する。二回目以降は、全体を ITC-LMS にアップするので、各自でダウンロードして欲しい。						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30393	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	牛村 圭	英語	火 3	149 教室	1 年 文一二(9)文三(8) 理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
講義題目 授業の目標概要	英語で日本近現代史を読む 外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。						
評価方法	発表を含めた平常点、学期中実施の語彙力試験、そして期末の筆記試験による。						
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30394	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	大井 赤亥	英語	火 3	151 教室	1 年 文一二(9)文三(8) 理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
講義題目 授業の目標概要	現代政治思想の「方向感覚（Orientation）」 19・20 世紀から現代にかけての代表的な政治思想（イデオロギー）について、それらが生じてきた歴史的背景、掲げた目的、達成や現状について、英語圏で使用されている標準的な教科書を通して理解を深める。具体的には、20 世紀の思想と体制を大きく規定した、①共産主義、②全体主義、③リベラリズム（「リベラルな平等」および新自由主義）、④デモクラシーを取りあげ、それらの表象で括られた思想と政治体制について理解し、議論を行う。これらの内容に習熟することは、政治概念についての基本的教養をもたらすのみならず、現代世界の動向を把握するためのシティズンシップ教育としての目的も帯びている。						
評価方法	授業内でのプレゼンテーション（40%）、レポート（40%）、出席（20%）によって判断する。						
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Political Ideologies (Sixth Edition) 著者（訳者） Andrew Heywood 出版社 Palgrave, 2017						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30395	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	佐原 彩子	英語	火 3	1221 教室	1 年 文一二(9)文三(8) 理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
講義題目 授業の目標概要		New Windows on America: What Jeff Bezos Wants The goal is to read an article in English (from The Atlantic Magazine) to understand current issues in the U.S. in English. The article is on the founder of Amazon and his master plan. Students need to read an article in five weeks to gain information in English and to be familiar with various issues in English. Through this course, students will improve their reading skills qualitatively as well as quantitatively through various activities in classes and at home.					
評価方法 教科書 ガイダンス		Quizzes (five quizzes in total) and Class Activities (including discussions) (60%)/Final (40%) 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30396	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	三吉 美加	英語	火 3	158 教室	1 年 文一二(9)文三(8) 理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
講義題目 授業の目標概要		優れた短編作品を深読みする 短編作品を精読した後、その背景にある社会状況、歴史、文化などについて知識を深めていく。また、シンボリックな表現に注目しながら、作者や作品の世界観を探っていく。グループでの話し合いを行いながら、コミュニケーション能力の向上も目指す。					
評価方法 教科書 ガイダンス		平常点（授業時の積極的姿勢とグループワーク時の発言、予習状況） 40%、試験と小テスト 60% 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30397	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	リチンスキ ダン	英語	火 3	156 教室	1 年 文一二(9)文三(8) 理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
講義題目 授業の目標概要		Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.					
評価方法 教科書 ガイダンス		Attendance and participation in interactive activities with instructor and classmates: 30% Individual Assignments: 70% 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30398	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	土屋 和代	英語	火 3	154 教室	1 年 文一二(9)文三(8) 理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
講義題目 授業の目標概要	現代アメリカにおける差別と平等 戦間期を起点とし、公教育の場における人種隔離を禁じた 1954 年のブラウン判決以降、全米各地で劇的に展開した黒人解放運動は、アフリカ系アメリカ人の生活を大きく変えただけでなく、アメリカ社会を根底から揺さぶり再編するものだった。奴隷としての身分から解放されて以降も「二級市民」としての地位を押しつけられてきたアメリカ黒人たちが、自らの権利を求め立ち上がった運動の歴史について、黒人解放運動に関連する文献を読み、学ぶ。上記の文献を通して、語彙、成句、パラグラフの構成や展開等を学び、英文読解力を向上させる。関連するドキュメンタリー等を視聴し、背景となるアメリカの黒人解放運動と 20 世紀の米国の歴史、社会、文化についての理解を深める。						
評価方法 教科書	授業への貢献・コメントペーパー40%、期末テスト 60% プリントを配布する。／Will distribute handouts 書名 From #BlackLivesMatter to Black Liberation 著者(訳者) Keeanga-Yamahtta Taylor 出版社 Haymarket Books						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30399	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	アンダル ジャクリーン	英語	火 3	155 教室	1 年 文一二(9)文三(8) 理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
講義題目 授業の目標概要	Colonial Encounters This reading and discussion based course will use different texts to develop students' skills in English comprehension and discussion. The course will draw on fiction, essays and autobiographical writing related to the colonial encounter between Britain and the Caribbean. It will focus on the work of the British writer Andrea Levy. Students will learn to engage with the language and ideas in the selected texts and to discuss their responses to the readings in class. Texts will be distributed in class.						
評価方法 教科書	Assessment will be based on class participation, individual presentations and written commentaries 教科書は使用しない。／Will not use textbook						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
40148	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	佐原 彩子	英語	火 3	1221 教室	1 年 文一二(13,24)文三(17) 理一(9,19)理二三(7)
講義題目 授業の目標概要	New Windows on America: Reading A New Yorker's Article The goal is to read an articles in English (from The New Yorker) to understand current issues in the U.S. in English. The article is on the issue of opioids and society. Students need to read the article in five weeks to gain information in English and to be familiar with various issues in English. Through this course, students will improve their reading skills qualitatively as well as quantitatively through various activities in classes and at home.						
評価方法 教科書	Quizzes (five quizzes in total) and Class Activities (including discussions) (60%)/Final (40%) 教科書は使用しない。／Will not use textbook						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
40149	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	三吉 美加	英語	火 3	158 教室	1 年 文一二(13,24)文三(17) 理一(9,19)理二三(7)
講義題目 授業の目標概要		優れた短編作品を深読みする 短編作品を精読した後、その背景にある社会状況、歴史、文化などについて知識を深めていく。また、シンボリックな表現に注目しながら、作者や作品の世界観を探っていく。グループでの話し合いを行いながら、コミュニケーション能力の向上も目指す。					
評価方法 教科書 ガイダンス		平常点（授業時の積極的姿勢とグループワーク時の発言、予習状況） 4 0 %、試験と小テスト 6 0 % 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
40150	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	土屋 和代	英語	火 3	154 教室	1 年 文一二(13,24)文三(17) 理一(9,19)理二三(7)
講義題目 授業の目標概要		現代アメリカにおける差別と平等 戦間期を起点とし、公教育の場における人種隔離を禁じた 1954 年のブラウン判決以降、全米各地で劇的に展開した黒人解放運動は、アフリカ系アメリカ人の生活を大きく変えただけでなく、アメリカ社会を根底から揺さぶり再編するものだった。奴隷としての身分から解放されて以降も「二級市民」としての地位を押しつけられてきたアメリカ黒人たちが、自らの権利を求め立ち上がった運動の歴史について、黒人解放運動に関連する文献を読み、学ぶ。上記の文献を通して、語彙、成句、パラグラフの構成や展開等を学び、英文読解力を向上させる。関連するドキュメンタリー等を視聴し、背景となるアメリカの黒人解放運動と 20 世紀の米国の歴史、社会、文化についての理解を深める。					
評価方法 教科書		授業への貢献・コメントペーパー40%、期末テスト 60% プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス		書名 From #BlackLivesMatter to Black Liberation 著者（訳者） Keeanga-Yamahtta Taylor 出版社 Haymarket Books 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
40151	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	牛村 圭	英語	火 3	149 教室	1 年 文一二(13,24)文三(17) 理一(9,19)理二三(7)
講義題目 授業の目標概要		英語で日本近現代史を読む 外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。					
評価方法 教科書 ガイダンス		発表を含めた平常点、学期中実施の語彙力試験、そして期末の筆記試験による。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
40152	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	リチンスキ ダン	英語	火 3	156 教室	1 年 文一二(13,24)文三(17) 理一(9,19)理二三(7)
講義題目 授業の目標概要	Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.						
評価方法	Attendance and participation in interactive activities with instructor and classmates: 30% Individual Assignments: 70%						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
40153	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	アンダル ジャクリーン	英語	火 3	155 教室	1 年 文一二(13,24)文三(17) 理一(9,19)理二三(7)
講義題目 授業の目標概要	Colonial Encounters This reading and discussion based course will use different texts to develop students' skills in English comprehension and discussion. the course will draw on fiction, essays and autobiographical writing related to the colonial encounter between Britain and the Caribbean. It will focus on the work of the British writer Andrea Levy. Students will learn to engage with the language and ideas in the selected texts and to discuss their responses to the readings in class. Texts will be distributed in class.						
評価方法	Assessment will be based on class participation, individual presentations and written commentaries.						
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
40154	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	後藤 春美	英語	火 3	103 教室	1 年 文一二(13,24)文三(17) 理一(9,19)理二三(7)
講義題目 授業の目標概要	国際関係史 (英語講読) Antony Best et al (eds), International history of the twentieth century and beyond (New York: Routledge, 2015) のうち、20 世紀前半の部分を読む。教材は歴史の教科書であるが、歴史の授業ではない。一人で英文を正確に読めるようになることを目標とする。						
評価方法	平常点 (授業で訳読を担当した時の出来、予習の有無) と、最終授業時間に行うテストで評価する。なお、出席は平常点に勘案するが、予習をせずに教室に座っているだけでは出席とはみなされない。必ず予習をして授業に臨んでほしい。						
教科書	その他。／Other その他 初回の方は、プリントを用意して当日教室で配布する。二回目以降は、全体を ITC-LMS にアップするので、各自でダウンロードして欲しい。						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
40155	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	大井 赤亥	英語	火 3	151 教室	1 年 文一二(13,24)文三(17) 理一(9,19)理二三(7)
講義題目 授業の目標概要	現代政治思想の「方向感覚 (Orientation)」 19・20 世紀から現代にかけての代表的な政治思想 (イデオロギー) について、それらが生じてきた歴史的背景、掲げた目的、達成や現状について、英語圏で使用されている標準的な教科書を通して理解を深める。具体的には、20 世紀の思想と体制を大きく規定した、①共産主義、②全体主義、③リベラリズム (「リベラルな平等」および新自由主義)、④デモクラシーを取りあげ、それらの表象で括られた思想と政治体制について理解し、議論を行う。これらの内容に習熟することは、政治概念についての基本的教養をもたらすのみならず、現代世界の動向を把握するためのシティズンシップ教育としての目的も帯びている。						
評価方法	授業内でのプレゼンテーション (40%)、レポート (40%)、出席 (20%) によって判断する。						
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Political Ideologies (Sixth Edition) 著者 (訳者) Andrew Heywood 出版社 Palgrave, 2017						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

英語中級（クラス指定ターム型）火 4

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30462	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	三吉 美加	英語	火 4	158 教室	1 年 文一二(4)文三(18) 理一(22,32,38)理二三(15)
講義題目 授業の目標概要		優れた短編作品を深読みする 短編作品を精読した後、その背景にある社会状況、歴史、文化などについて知識を深めていく。また、シンボリックな表現に注目しながら、作者や作品の世界観を探っていく。グループでの話し合いを行いながら、コミュニケーション能力の向上も目指す。					
評価方法 教科書 ガイダンス		平常点（授業時の積極的姿勢とグループワーク時の発言、予習状況） 40%、試験と小テスト 60% 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30463	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	リチンスキ ダン	英語	火 4	156 教室	1 年 文一二(4)文三(18) 理一(22,32,38)理二三(15)
講義題目 授業の目標概要		Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.					
評価方法		Attendance and participation in interactive activities with instructor and classmates: 30%					
教科書 ガイダンス		Individual Assignments: 70% 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30464	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	大井 赤亥	英語	火 4	151 教室	1 年 文一二(4)文三(18) 理一(22,32,38)理二三(15)
講義題目 授業の目標概要		現代政治思想の「方向感覚（Orientation）」 19・20 世紀から現代にかけての代表的な政治思想（イデオロギー）について、それらが生じてきた歴史的背景、掲げた目的、達成や現状について、英語圏で使用されている標準的な教科書を通して理解を深める。具体的には、20 世紀の思想と体制を大きく規定した、①共産主義、②全体主義、③リベラリズム（「リベラルな平等」および新自由主義）、④デモクラシーを取りあげ、それらの表象で括られた思想と政治体制について理解し、議論を行う。これらの内容に習熟することは、政治概念についての基本的教養をもたらすのみならず、現代世界の動向を把握するためのシティズンシップ教育としての目的も帯びている。					
評価方法 教科書		授業内でのプレゼンテーション（40%）、レポート（40%）、出席（20%）によって判断する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook					
ガイダンス		書名 Political Ideologies (Sixth Edition) 著者（訳者） Andrew Heywood 出版社 Palgrave, 2017 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30465	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	アンダル ジャクリーン	英語	火 4	155 教室	1 年 文一二(4)文三(18) 理一(22,32,38)理二三(15)
講義題目 授業の目標概要		Colonial Encounters This reading and discussion based course will use different texts to develop students' skills in English comprehension and discussion. The course will draw on fiction, essays and autobiographical writing related to the colonial encounter between Britain and the Caribbean. It will focus on the work of the British writer Andrea Levy. Students will learn to engage with the language and ideas in the selected texts and to discuss their responses to the readings in class. Texts will be distributed in class.					
評価方法 教科書 ガイダンス		Assessment will be based on class participation, individual presentations and written commentaries 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30466	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	土屋 和代	英語	火 4	154 教室	1 年 文一二(4)文三(18) 理一(22,32,38)理二三(15)
講義題目 授業の目標概要		「多人種都市」ロスアンジェルス スペイン領地として誕生し 1848 年にアメリカの都市となったロスアンジェルスは、20 世紀初頭までは中西部出身のアン グロサクソン系の農民が人口の大多数を占める「アングロの街」としての特徴を強くもっていた。20 世紀に入り、中南 米、アジア、東欧・南欧など様々な地域からの移民と、人種隔離制度下にあった南部から機会を求めて移住した黒人の 「越境者」が急増する中で、世界で最も「多人種化」が進んだ都市の一つへと変容した。ロスアンジェルスは、経済、政治、 文化の変化とこの「多人種化」がいかに重なり合い、現代のロスアンジェルス形成するに至ったかを探る。 英文読解力を向上させるとともに、関連する映画、戯曲を視聴し、背景となる 20 世紀米国の歴史、社会、文化について の理解を深める。					
評価方法 教科書 ガイダンス		出席・授業への貢献 20%、期末テスト 50%、コメント 30% プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30467	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	牛村 圭	英語	火 4	149 教室	1 年 文一二(4)文三(18) 理一(22,32,38)理二三(15)
講義題目 授業の目標概要		英語で日本近現代史を読む 外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつ つ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題 材として用いる。					
評価方法 教科書 ガイダンス		発表を含めた平常点、学期中実施の語彙力試験、そして期末の筆記試験による。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30468	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	後藤 春美	英語	火 4	103 教室	1 年 文一二(4)文三(18) 理一(22,32,38)理二三(15)
講義題目 授業の目標概要	国際関係史 (英語講読) Antony Best et al (eds), International history of the twentieth century and beyond (New York: Routledge, 2015) のうち、20 世紀前半の部分を読む。教材は歴史の教科書であるが、歴史の授業ではない。一人で英文を正確に読めるようになることを目標とする。						
評価方法	平常点 (授業で訳読を担当した時の出来、予習の有無) と、最終授業時間に行うテストで評価する。なお、出席は平常点に勘案するが、予習をせずに教室に座っているだけでは出席とはみなされない。必ず予習をして授業に臨んでほしい。						
教科書	その他。/Other その他 初回のは、プリントを用意して当日教室で配布する。二回目以降は、全体を ITC-LMS にアップするので、各自でダウンロードして欲しい。						
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30469	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	Williams David	英語	火 4	162 教室	1 年 文一二(4)文三(18) 理一(22,32,38)理二三(15)
講義題目 授業の目標概要	Critical Discussion and Thinking The purpose of this class is to build students' English language reading and thinking skills beyond simple description to a more critical and analytical point. Each week students will focus on one topic and critically examine and consider an English language text in a group. At the end of this course it is expected that students will be able to critically consider and assess a range of contemporary topics of domestic and international significance, and be able to reflect better on their own culture. Students will find that the skills acquired in this class will help them to express themselves in other areas of their academic studies; it is hoped the class will be an encouragement to see English language as an investment for the future.						
評価方法	Assessment for this class will be based on four elements: (i) a series of role sheets filled out for the discussion circle (45% approx.) (ii) weekly vocabulary test (15%) (iii) one in-class presentation (15%) (iv) final examination (25%) In order to gain a top grade for this course students are expected to make an original and unique contribution to each class.						
教科書	プリントを配布する。/Will distribute handouts						
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
40172	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	Williams David	英語	火 4	162 教室	1 年 文一二(6,18)文三(12) 理一(30,34)理二三(18,22)
講義題目 授業の目標概要	Critical Discussion and Thinking The purpose of this class is to build students' English language reading and thinking skills beyond simple description to a more critical and analytical point. Each week students will focus on one topic and critically examine and consider an English language text in a group. At the end of this course it is expected that students will be able to critically consider and assess a range of contemporary topics of domestic and international significance, and be able to reflect better on their own culture. Students will find that the skills acquired in this class will help them to express themselves in other areas of their academic studies; it is hoped the class will be an encouragement to see English language as an investment for the future.						
評価方法	Assessment for this class will be based on four elements: (i) a series of role sheets filled out for the discussion circle (45% approx.) (ii) weekly vocabulary test (15%) (iii) one in-class presentation (15%) (iv) final examination (25%) In order to gain a top grade for this course students are expected to make an original and unique contribution to each class.						
教科書	プリントを配布する。/Will distribute handouts						
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
40173	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	後藤 春美	英語	火 4	103 教室	1 年 文一二(6,18)文三(12) 理一(30,34)理二三(18,22)
講義題目 授業の目標概要	国際関係史 (英語講読) Antony Best et al (eds), International history of the twentieth century and beyond (New York: Routledge, 2015) のうち、20 世紀前半の部分を読む。教材は歴史の教科書であるが、歴史の授業ではない。一人で英文を正確に読めるようになることを目標とする。						
評価方法	平常点 (授業で訳読を担当した時の出来、予習の有無) と、最終授業時間に行うテストで評価する。なお、出席は平常点に勘案するが、予習をせずに教室に座っているだけでは出席とはみなされない。必ず予習をして授業に臨んでほしい。						
教科書	その他。/Other その他 初回の方は、プリントを用意して当日教室で配布する。二回目以降は、全体を ITC-LMS にアップするので、各自でダウンロードして欲しい。						
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
40174	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	牛村 圭	英語	火 4	149 教室	1 年 文一二(6,18)文三(12) 理一(30,34)理二三(18,22)
講義題目 授業の目標概要	英語で日本近現代史を読む 外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。						
評価方法	発表を含めた平常点、学期中実施の語彙力試験、そして期末の筆記試験による。						
教科書	プリントを配布する。/Will distribute handouts						
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
40175	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	土屋 和代	英語	火 4	154 教室	1 年 文一二(6,18)文三(12) 理一(30,34)理二三(18,22)
講義題目 授業の目標概要	「多人種都市」ロスアンジェルス スペイン領地として誕生し 1848 年にアメリカの都市となったロスアンジェルスは、20 世紀初頭までは中西部出身のアン グロサクソン系の農民が人口の大多数を占める「アングロの街」としての特徴を強くもっていた。20 世紀に入り、中南 米、アジア、東欧・南欧など様々な地域からの移民と、人種隔離制度下にあった南部から機会を求めて移住した黒人の 「越境者」が急増する中で、世界で最も「多人種化」が進んだ都市の一つへと変容した。ロスアンジェルスは、経済、政治、 文化の変化とこの「多人種化」がいかに重なり合い、現代のロスアンジェルスを形成するに至ったかを探る。 英文読解力を向上させるとともに、関連する映画、戯曲を視聴し、背景となる 20 世紀米国の歴史、社会、文化について の理解を深める。						
評価方法	出席・授業への貢献 20%、期末テスト 50%、コメント 30%						
教科書	プリントを配布する。/Will distribute handouts						
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
40176	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	アンダル ジャクリーン	英語	火 4	155 教室	1 年 文一二(6,18)文三(12) 理一(30,34)理二三(18,22)
講義題目 授業の目標概要	Colonial Encounters This reading and discussion based course will use different texts to develop students' skills in English comprehension and discussion. the course will draw on fiction, essays and autobiographical writing related to the colonial encounter between Britain and the Caribbean. It will focus on the work of the British writer Andrea Levy. Students will learn to engage with the language and ideas in the selected texts and to discuss their responses to the readings in class. Texts will be distributed in class.						
評価方法 教科書 ガイダンス	Assessment will be based on class participation, individual presentations and written commentaries. 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
40177	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	大井 赤亥	英語	火 4	151 教室	1 年 文一二(6,18)文三(12) 理一(30,34)理二三(18,22)
講義題目 授業の目標概要	現代政治思想の「方向感覚 (Orientation)」 19・20 世紀から現代にかけての代表的な政治思想 (イデオロギー) について、それらが生じてきた歴史的背景、掲げた目的、達成や現状について、英語圏で使用されている標準的な教科書を通して理解を深める。具体的には、20 世紀の思想と体制を大きく規定した、①共産主義、②全体主義、③リベラリズム (「リベラルな平等」および新自由主義)、④デモクラシーを取りあげ、それらの表象で括られた思想と政治体制について理解し、議論を行う。これらの内容に習熟することは、政治概念についての基本的教養をもたらすのみならず、現代世界の動向を把握するためのシティズンシップ教育としての目的も帯びている。						
評価方法 教科書	授業内でのプレゼンテーション (40%)、レポート (40%)、出席 (20%) によって判断する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Political Ideologies (Sixth Edition) 著者 (訳者) Andrew Heywood 出版社 Palgrave, 2017						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
40178	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	三吉 美加	英語	火 4	158 教室	1 年 文一二(6,18)文三(12) 理一(30,34)理二三(18,22)
講義題目 授業の目標概要	優れた短編作品を深読みする 短編作品を精読した後、その背景にある社会状況、歴史、文化などについて知識を深めていく。また、シンボリックな表現に注目しながら、作者や作品の世界観を探っていく。グループでの話し合いを行いながら、コミュニケーション能力の向上も目指す。						
評価方法 教科書 ガイダンス	平常点 (授業時の積極的姿勢とグループワーク時の発言、予習状況) 40%、試験と小テスト 60% 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
40179	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	リチンスキ ダン	英語	火 4	156 教室	1 年 文一二(6,18)文三(12) 理一(30,34)理二三(18,22)
講義題目 授業の目標概要	Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.						
評価方法	Attendance and participation in interactive activities with instructor and classmates: 30% Individual Assignments: 70%						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

英語中級（クラス指定ターム型）水 2

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30646	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	小野 五弥子	英語	水 2	151 教室	1 年 文一二(14)文三(4,13) 理一(14-15)理二三(10)
講義題目		Contemporary Japanese society in English academic texts 学術文献から見る現代日本社会					
授業の目標概要		The aim of this course is to enable students to read and critically engage with academic articles written in English. In class, students will discuss topics related to contemporary Japanese society, namely gender, the body and popular culture. このクラスでは、日本の現代社会について英語で書かれた学術文献を読みます。内容は、ジェンダー論・身体論・ポップカルチャー等です。					
評価方法		Active class participation, including class discussions (30%) Weekly assignments (35%) Final written report (35%)					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30647	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	岩佐 将志	英語	水 2	156 教室	1 年 文一二(14)文三(4,13) 理一(14-15)理二三(10)
講義題目		英語で読み解く現代社会					
授業の目標概要		この授業では、現代社会の動向を社会的な視点から考察している英語文献を題材とし、英文読解の訓練を行う。ここで取り上げるのは、デジタル技術、移動のための技術、整形手術といった一連の科学技術の進展が現代人の自己意識、身体、空間認識等に与える影響を考察している社会学者の著作である。そこでは、これらの科学技術がもたらした社会変化の加速や人間関係の変化に対応するために、個人が絶えず自らを作り変えるよう迫られ、持続したアイデンティティを保つことが困難になっているという見方が、さまざまな事例を通じて示される。この著作を読み解くことを通じ、その洗練された議論に触れると同時に、そこで用いられる幅広い語彙や表現を習得することを目指す。					
評価方法		授業内の発表、小テスト、期末エッセーから総合的に判断する。					
教科書		プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス		書名 Identity Troubles: An Introduction 著者（訳者） Anthony Elliott 出版社 Routledge ISBN 9780415837118 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30648	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	具 裕珍	英語	水 2	10-205	1 年 文一二(14)文三(4,13) 理一(14-15)理二三(10)
講義題目		Reading Social Issues in English					
授業の目標概要		This course introduces students to various social issues in both domestic and international aspects. You will read a variety of text such as newspaper articles, speeches, and short research papers during this term. It will help students to have a broad perspective on social issues and better understand current events in the world. You will also develop academic interests for the future research through the readings.					
評価方法		Reading Memo and Presentation (10% * 3 = 30%), Final Report (40%), Class Participation (20%), Attendance (10%)					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30649	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	坪井 栄治郎	英語	水 2	10-101	1 年 文一二(14)文三(4,13) 理一(14-15)理二三(10)
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	生得性と後天的環境の影響についての英文を読む 生得性と後天的環境の影響の関係について書かれた英文を読むことを通して、そうした現象についての理解を深めるとともに、読解力の向上を図る。 小試験の点数と授業中の performance(質問された時の解答の出来、授業への参加・集中度) に最終授業時に行う試験の成績で評価。最終試験で 6 割、小試験と授業中の performance で 4 割の評価比率。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30650	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	高橋 英海	英語	水 2	1231 教室	1 年 文一二(14)文三(4,13) 理一(14-15)理二三(10)
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	英語で世界を読む 英語はいまや英米豪などの英語圏のみの言語ではなく、事実上の世界の共通語であり、世界への扉である。本授業では、世界の中の英米豪以外の地域、特にアジアや中東・アフリカ地域から発信されるニュースなどを読みながら、世界への視野を広めるとともに英語の理解力を高める。 授業への参加度およびテストによる。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30651	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	加治屋 健司	英語	水 2	155 教室	1 年 文一二(14)文三(4,13) 理一(14-15)理二三(10)
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	英語で読む芸術理論 オックスフォード大学出版局の概説書シリーズの『芸術理論』を読みます。184 ページの薄い本です。英語の語彙を増やすこと、一定量の英語を読むのに慣れること、英語を通して未知の対象を確実に学ぶことを目標とします。 小テストの結果と授業中の発言を踏まえて総合的に成績を付けます。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Art Theory: A Very Short Introduction 著者(訳者) Cynthia Freeland 出版社 Oxford University Press ISBN 0192804634 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30652	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	アンダル ジャクリーン	英語	水 2	150 教室	1 年 文一二(14)文三(4,13) 理一(14-15)理二三(10)
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	Colonial Encounters This reading and discussion based course will use different texts to develop students' skills in English comprehension and discussion. the course will draw on fiction, essays and autobiographical writing related to the colonial encounter between Britain and the Caribbean. It will focus on the work of the British writer Andrea Levy. Students will learn to engage with the language and ideas in the selected texts and to discuss their responses to the readings in class. Texts will be distributed in class. Assessment will be based on class participation, individual presentations and written commentaries. 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30653	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	三吉 美加	英語	水 2	154 教室	1 年 文一二(14)文三(4,13) 理一(14-15)理二三(10)
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	優れた短編作品を深読みする 短編作品を精読した後、その背景にある社会状況、歴史、文化などについて知識を深めていく。また、シンボリックな表現に注目しながら、作者や作品の世界観を探っていく。グループでの話し合いを行いながら、コミュニケーション能力の向上も目指す。 平常点（授業時の積極的姿勢とグループワーク時の発言、予習状況） 4 0 %、試験と小テスト 6 0 % 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30654	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	石原 剛	英語	水 2	149 教室	1 年 文一二(14)文三(4,13) 理一(14-15)理二三(10)
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	多種多様な英語ディスカッションやリスニング練習を通して、英語の表現力と理解力を養成する 教育、環境、家族など多岐にわたるテーマを用いて、自分の考えを英文でパラグラフにまとめたり、様々な英語 Discussion や英語 Listening 練習を行い、必要な情報や重要な意見を的確に英語で表現し、かつ理解する能力を養う。その為に、ディスカッションの場で良く使用される英語表現や重要語彙だけでなく、確認、批判、同意などの技法を学ぶことで、効果的に英語でコミュニケーションを進める経験をしてもらう。特に、アイディアを効果的に整理し、主張を明確にまとめ、的確な英語表現で発信できるような練習や、様々なジャンルやテーマのリスニング教材を利用して、必要な情報を効率よく把握する練習を行う。具体的には、予測の仕方や、図などを利用した情報整理の方法、話者の声のトーンなどに注目することで真意を推し量る技術などを学ぶ。 期末試験:50% 授業内活動（出席状況、授業への貢献、提出物、小テスト）など：50% 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Mosaic 1: Listening/Speaking 著者（訳者） Jami Hanreddy & Elizabeth Whalley 出版社 McGraw Hill ISBN 9781259070389 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
40207	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	高橋 英海	英語	水 2	1231 教室	1 年 文一二(5,15,19)文三(6) 理一(7,28)理二三(6)
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	英語で世界を読む 英語はいまや英米豪などの英語圏のみの言語ではなく、事実上の世界の共通語であり、世界への扉である。本授業では、世界の中の英米豪以外の地域、特にアジアや中東・アフリカ地域から発信されるニュースなどを読みながら、世界への視野を広めるとともに英語の理解力を高める。 授業への参加度およびテストによる。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
40208	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	岩佐 将志	英語	水 2	156 教室	1 年 文一二(5,15,19)文三(6) 理一(7,28)理二三(6)
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	英語で読み解く現代社会 この授業では、現代社会の動向を社会的な視点から考察している英語文献を題材とし、英文読解の訓練を行う。ここで取り上げるのは、デジタル技術、移動のための技術、整形手術といった一連の科学技術の進展が現代人の自己意識、身体、空間認識等に与える影響を考察している社会学者の著作である。そこでは、これらの科学技術がもたらした社会変化の加速や人間関係の変化に対応するために、個人が絶えず自らを作り変えるよう迫られ、持続したアイデンティティを保つことが困難になっているという見方が、さまざまな事例を通じて示される。この著作を読み解くことを通じ、その洗練された議論に触れると同時に、そこで用いられる幅広い語彙や表現を習得することを目指す。 授業内の発表、小テスト、期末エッセーから総合的に判断する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 書名 Identity Troubles: An Introduction 著者（訳者） Anthony Elliott 出版社 Routledge ISBN 9780415837118 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
40209	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	坪井 栄治郎	英語	水 2	10-101	1 年 文一二(5,15,19)文三(6) 理一(7,28)理二三(6)
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	生得性と後天的環境の影響についての英文を読む 生得性と後天的環境の影響の関係について書かれた英文を読むことを通して、そうした現象についての理解を深めるとともに、読解力の向上を図る。 小試験の点数と授業中の performance（質問された時の解答の出来、授業への参加・集中度）に最終授業時に行う試験の成績で評価。最終試験で 6 割、小試験と授業中の performance で 4 割の評価比率。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
40210	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	具 裕珍	英語	水 2	10-205	1 年 文一二(5,15,19)文三(6) 理一(7,28)理二三(6)
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	Reading Social Issues in English This course introduces students to various social issues in both domestic and international aspects. You will read a variety of text such as newspaper articles, speeches, and short research papers during this term. It will help students to have a broad perspective on social issues and better understand current events in the world. You will also develop academic interests for the future research through the readings. Reading Memo and Presentation (10% * 3 = 30%), Final Report (40%), Class Participation (20%), Attendance (10%) 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
40211	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	加治屋 健司	英語	水 2	155 教室	1 年 文一二(5,15,19)文三(6) 理一(7,28)理二三(6)
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	英語で読む芸術理論 オックスフォード大学出版局の概説書シリーズの『芸術理論』を読みます。184 ページの薄い本です。英語の語彙を増やすこと、一定量の英語を読むのに慣れること、英語を通して未知の対象を確実に学ぶことを目標とします。 小テストの結果と授業中の発言を踏まえて総合的に成績を付けます。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Art Theory: A Very Short Introduction 著者(訳者) Cynthia Freeland 出版社 Oxford University Press ISBN 0192804634 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
40212	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	石原 剛	英語	水 2	149 教室	1 年 文一二(5,15,19)文三(6) 理一(7,28)理二三(6)
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	多種多様な英語ディスカッションやリスニング練習を通して、英語の表現力と理解力を養成する 家族、健康、宇宙開発など多岐にわたるテーマを用いて、自分の考えを英文でパラグラフにまとめたり、様々な英語 Discussion や英語 Listening 練習を行い、必要な情報や重要な意見を的確に英語で表現し、かつ理解する能力を養う。その為に、ディスカッションの場で良く使用される英語表現や重要語彙だけでなく、確認、批判、同意などの技法を学ぶことで、効果的に英語でコミュニケーションを進める経験をしてもらう。特に、アイディアを効果的に整理し、主張を明確にまとめ、的確な英語表現で発信できるような練習や、様々なジャンルやテーマのリスニング教材を利用して、必要な情報を効率よく把握する練習を行う。具体的には、予測の仕方や、図などを利用した情報整理の方法、話者の声のトーンなどに注目することで真意を推し量る技術などを学ぶ。 期末試験:50% 授業内活動(出席状況、授業への貢献、提出物、小テスト) など:50% 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Mosaic 1: Listening/Speaking 著者(訳者) Jami Hanreddy & Elizabeth Whalley 出版社 McGraw Hill ISBN 9781259070389 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
40213	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	三吉 美加	英語	水 2	154 教室	1 年 文一二(5,15,19)文三(6) 理一(7,28)理二三(6)
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	優れた短編作品を深読みする 短編作品を精読した後、その背景にある社会状況、歴史、文化などについて知識を深めていく。また、シンボリックな表現に注目しながら、作者や作品の世界観を探っていく。グループでの話し合いを行いながら、コミュニケーション能力の向上も目指す。 平常点(授業時の積極的姿勢とグループワーク時の発言、予習状況) 40%、試験と小テスト 60% 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
40214	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	小野 五弥子	英語	水 2	151 教室	1 年 文一二(5,15,19)文三(6) 理一(7,28)理二三(6)
講義題目	Contemporary Japanese society in English academic texts 学術文献から見る現代日本社会						
授業の目標概要	The aim of this course is to enable students to read and critically engage with academic articles written in English. In class, students will discuss topics related to contemporary Japanese society, namely gender, the body and popular culture. このクラスでは、日本の現代社会について英語で書かれた学術文献を読みます。内容は、ジェンダー論・身体論・ポップカルチャー等です。						
評価方法	Active class participation, including class discussions (30%) Weekly assignments (35%) Final written report (35%)						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
40215	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	アングル ジャクリーン	英語	水 2	150 教室	1 年 文一二(5,15,19)文三(6) 理一(7,28)理二三(6)
講義題目	Colonial Encounters						
授業の目標概要	This reading and discussion based course will use different texts to develop students' skills in English comprehension and discussion. the course will draw on fiction, essays and autobiographical writing related to the colonial encounter between Britain and the Caribbean. It will focus on the work of the British writer Andrea Levy. Students will learn to engage with the language and ideas in the selected texts and to discuss their responses to the readings in class. Texts will be distributed in class.						
評価方法	Assessment will be based on class participation, individual presentations and written commentaries.						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

英語中級（クラス指定ターム型）水 3

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30709	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	中尾 まさみ	英語	水 3	153 教室	1 年 文一二(12)文三(20) 理一(10,26)理二三(16,24)
講義題目 授業の目標概要		英語圏の短編小説を読む 20 世紀に英語圏で書かれた短編小説を講読します。英語を日常の言語として使用する国や地域は世界中に数多くあり、そこで書かれる文学作品もまた、それを生んだ社会、歴史、文化を反映して実に多彩な魅力を放っています。授業では、そうした作品を丁寧に読んで英語表現や文法構造などを解析する力をつけるとともに、文化的背景についても学びます。					
評価方法 教科書 ガイダンス		平常点(授業参加、小テスト等)および期末試験 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30710	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	岩佐 将志	英語	水 3	156 教室	1 年 文一二(12)文三(20) 理一(10,26)理二三(16,24)
講義題目 授業の目標概要		英語で読み解く現代社会 この授業では、現代社会の動向を社会的な視点から考察している英語文献を題材とし、英文読解の訓練を行う。ここで取り上げるのは、デジタル技術、移動のための技術、整形手術といった一連の科学技術の進展が現代人の自己意識、身体、空間認識等に与える影響を考察している社会学者の著作である。そこでは、これらの科学技術がもたらした社会変化の加速や人間関係の変化に対応するために、個人が絶えず自らを作り変えるよう迫られ、持続したアイデンティティを保つことが困難になっているという見方が、さまざまな事例を通じて示される。この著作を読み解くことを通じ、その洗練された議論に触れると同時に、そこで用いられる幅広い語彙や表現を習得することを目指す。					
評価方法 教科書		授業内の発表、小テスト、期末エッセーから総合的に判断する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 書名 Identity Troubles: An Introduction 著者（訳者） Anthony Elliott 出版社 Routledge ISBN 9780415837118					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30711	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	小野 五弥子	英語	水 3	151 教室	1 年 文一二(12)文三(20) 理一(10,26)理二三(16,24)
講義題目 授業の目標概要		Contemporary Japanese society in English academic texts 学術文献から見る現代日本社会 The aim of this course is to enable students to read and critically engage with academic articles written in English. In class, students will discuss topics related to contemporary Japanese society, namely gender, the body and popular culture. このクラスでは、日本の現代社会について英語で書かれた学術文献を読みます。内容は、ジェンダー論・身体論・ポップカルチャー等です。					
評価方法		Active class participation, including class discussions (30%) Weekly assignments (35%) Final written report (35%)					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30712	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	三吉 美加	英語	水 3	154 教室	1 年 文一二(12)文三(20) 理一(10,26)理二三(16,24)
講義題目 授業の目標概要		優れた短編作品を深読みする 短編作品を精読した後、その背景にある社会状況、歴史、文化などについて知識を深めていく。また、シンボリックな表現に注目しながら、作者や作品の世界観を探っていく。グループでの話し合いを行いながら、コミュニケーション能力の向上も目指す。					
評価方法 教科書 ガイダンス		平常点（授業時の積極的姿勢とグループワーク時の発言、予習状況） 40%、試験と小テスト 60% 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30713	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	具 裕珍	英語	水 3	10-205	1 年 文一二(12)文三(20) 理一(10,26)理二三(16,24)
講義題目 授業の目標概要		Presentation on Your Research in English Presentation is to orally explain to an audience what you have investigated, researched or claimed to be worth considering. Recently, conveying information skillfully to others has become increasingly important. Research community is naturally expected to give presentations about their research in a various venue. Further, they must also give presentations at academic meetings and conferences once they begin research in a specific field. Taking its necessity into consideration, this class is designed to provide students opportunities presenting their research project(s) in English. You will introduce a brief outline of your research (e.g. research questions, research methods, brief summary of main arguments, etc.) to your classmates for 10 minutes. Your classmates will give you feedback on your draft presentation. With this feedback, you will improve your presentation. Throughout this process, you will be expected to learn how to make an academic presentation.					
評価方法 教科書 ガイダンス		Draft Presentation (30%), Final Presentation (40%), Class Participation (20%), Attendance (10%) 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30714	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	アンダル ジャクリーン	英語	水 3	150 教室	1 年 文一二(12)文三(20) 理一(10,26)理二三(16,24)
講義題目 授業の目標概要		Colonial Encounters This reading and discussion based course will use different texts to develop students' skills in English comprehension and discussion. the course will draw on fiction, essays and autobiographical writing related to the colonial encounter between Britain and the Caribbean. It will focus on the work of the British writer Andrea Levy. Students will learn to engage with the language and ideas in the selected texts and to discuss their responses to the readings in class. Texts will be distributed in class.					
評価方法 教科書 ガイダンス		Assessment will be based on class participation, individual presentations and written commentaries. 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30715	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	矢田部 修一	英語	水 3	10-201	1 年 文一二(12)文三(20) 理一(10,26)理二三(16,24)
講義題目 授業の目標概要		ニュースの英語の聞き取り 英語のニュースを正確に聞き取る練習をすることを通じて英語の聴解力を伸ばすことを目指す。主に National Public Radio (NPR)のウェブサイトにある音声教材として用いる。					
評価方法 教科書 ガイダンス		中間試験と期末試験のでき具合に基づいて成績評価を行なう。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

総合科目 L 英語中・上級

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30716	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	坪井 栄治郎	英語	水 3	10-101	1 年 文一二(12)文三(20) 理一(10,26)理二三(16,24)
講義題目 授業の目標概要		知覚と認識 知覚や認識のあり方について書かれた英文を読むことを通して、関連する事柄についての理解を深めるとともに、読解力の向上を図る。					
評価方法		小試験の点数と授業中の performance(質問された時の解答の出来、授業への参加・集中度) に最終授業時に行う試験の成績で評価。最終試験で 6 割、小試験と授業中の performance で 4 割の評価比率。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
40248	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	三吉 美加	英語	水 3	154 教室	1 年 文一二(16)文三(10) 理一(13,25,37)理二三(19)
講義題目 授業の目標概要		優れた短編作品を深読みする 短編作品を精読した後、その背景にある社会状況、歴史、文化などについて知識を深めていく。また、シンボリックな表現に注目しながら、作者や作品の世界観を探っていく。グループでの話し合いを行いながら、コミュニケーション能力の向上も目指す。					
評価方法		平常点(授業時の積極的姿勢とグループワーク時の発言、予習状況) 4 0 %、試験と小テスト 6 0 %					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
40249	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	中尾 まさみ	英語	水 3	153 教室	1 年 文一二(16)文三(10) 理一(13,25,37)理二三(19)
講義題目 授業の目標概要		英語圏の短編小説を読む 20 世紀に英語圏で書かれた短編小説を講読します。英語を日常の言語として使用する国や地域は世界中に数多くあり、そこで書かれる文学作品もまた、それを生んだ社会、歴史、文化を反映して実に多彩な魅力を放っています。授業では、そうした作品を丁寧に読んで英語表現や文法構造などを解析する力をつけるとともに、文化的背景についても学びます。					
評価方法		平常点(授業参加、小テスト等)および期末試験					
教科書 ガイダンス		プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
40250	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	小野 五弥子	英語	水 3	151 教室	1 年 文一二(16)文三(10) 理一(13,25,37)理二三(19)
講義題目	Contemporary Japanese society in English academic texts 学術文献から見る現代日本社会						
授業の目標概要	The aim of this course is to enable students to read and critically engage with academic articles written in English. In class, students will discuss topics related to contemporary Japanese society, namely gender, the body and popular culture. このクラスでは、日本の現代社会について英語で書かれた学術文献を読みます。内容は、ジェンダー論・身体論・ポップカルチャー等です。						
評価方法	Active class participation, including class discussions (30%) Weekly assignments (35%) Final written report (35%)						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
40251	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	岩佐 将志	英語	水 3	156 教室	1 年 文一二(16)文三(10) 理一(13,25,37)理二三(19)
講義題目	英語で読み解く現代社会						
授業の目標概要	この授業では、現代社会の動向を社会的な視点から考察している英語文献を題材とし、英文読解の訓練を行う。ここで取り上げるのは、デジタル技術、移動のための技術、整形手術といった一連の科学技術の進展が現代人の自己意識、身体、空間認識等に与える影響を考察している社会学者の著作である。そこでは、これらの科学技術がもたらした社会変化の加速や人間関係の変化に対応するために、個人が絶えず自らを作り変えるよう迫られ、持続したアイデンティティを保つことが困難になっているという見方が、さまざまな事例を通じて示される。この著作を読み解くことを通じ、その洗練された議論に触れると同時に、そこで用いられる幅広い語彙や表現を習得することを目指す。						
評価方法	授業内の発表、小テスト、期末エッセーから総合的に判断する。						
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts						
ガイダンス	書名 Identity Troubles: An Introduction						
	著者（訳者） Anthony Elliott						
	出版社 Routledge						
	ISBN 9780415837118						
	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
40252	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	アンダル ジャクリーン	英語	水 3	150 教室	1 年 文一二(16)文三(10) 理一(13,25,37)理二三(19)
講義題目	Colonial Encounters						
授業の目標概要	This reading and discussion based course will use different texts to develop students' skills in English comprehension and discussion. the course will draw on fiction, essays and autobiographical writing related to the colonial encounter between Britain and the Caribbean. It will focus on the work of the British writer Andrea Levy. Students will learn to engage with the language and ideas in the selected texts and to discuss their responses to the readings in class. Texts will be distributed in class.						
評価方法	Assessment will be based on class participation, individual presentations and written commentaries.						
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
40253	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	坪井 栄治郎	英語	水 3	10-101	1 年 文一二(16)文三(10) 理一(13,25,37)理二三(19)
講義題目 授業の目標概要		知覚と認識 知覚や認識のあり方について書かれた英文を読むことを通して、関連する事柄についての理解を深めるとともに、読解力の向上を図る。					
評価方法		小試験の点数と授業中の performance(質問された時の解答の出来、授業への参加・集中度) に最終授業時に行う試験の成績で評価。最終試験で 6 割、小試験と授業中の performance で 4 割の評価比率。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
40254	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	矢田部 修一	英語	水 3	10-201	1 年 文一二(16)文三(10) 理一(13,25,37)理二三(19)
講義題目 授業の目標概要		ニュースの英語の聞き取り 英語のニュースを正確に聞き取る練習をすることを通じて英語の聴解力を伸ばすことを目指す。主に National Public Radio (NPR)のウェブサイトにある音声を教材として用いる。					
評価方法		中間試験と期末試験のでき具合に基づいて成績評価を行なう。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
40255	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	具 裕珍	英語	水 3	10-205	1 年 文一二(16)文三(10) 理一(13,25,37)理二三(19)
講義題目 授業の目標概要		Presentation on Your Research in English Presentation is to orally explain to an audience what you have investigated, researched or claimed to be worth considering. Recently, conveying information skillfully to others has become increasingly important. Research community is naturally expected to give presentations about their research in a various venue. Further, they must also give presentations at academic meetings and conferences once they begin research in a specific field. Taking its necessity into consideration, this class is designed to provide students opportunities presenting their research project(s) in English. You will introduce a brief outline of your research (e.g. research questions, research methods, brief summary of main arguments, etc.) to your classmates for 10 minutes. Your classmates will give you feedback on your draft presentation. With this feedback, you will improve your presentation. Throughout this process, you will be expected to learn how to make an academic presentation.					
評価方法		Draft Presentation (30%), Final Presentation (40%), Class Participation (20%), Attendance (10%)					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

英語中級（クラス指定セメスター型）月 2

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30021	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	瀧野 みゆき	英語	月 2	514 教室	1 年 文一二(1-3,20) 文三(1-3,5,7,9,11) 理一(4,35-36)
講義題目	プロフェッショナルのための共通語としての英語 Communicating in English as Professionals						
授業の目標概要	プロフェッショナルとして、将来にわたって世界の人と英語を使って協働できるようになることを目標に、実践的な英語使用の考え方とスキルを学びます。 英語を多様な文化・国籍をもった人とコミュニケーションする共通語として使うことをイメージしながら、1) グローバル社会の英語の役割、2) プロフェッショナルとして英語を使うための基本的な考え方とルール、そして3) 英語を将来にわたって長期的に学び、使っていくための英語学習方法、の3点を学ぶことを目指します。 授業では、ケースやタスクをもとに実際に英語を使い、国際協働のための英語の表現や話し方を練習し、実社会で英語を使う土台となる基本的スキルを学びます。						
評価方法	英語のコミュニケーションに重要なリスニング力の強化を、授業外学習で自律的に行います。 授業への積極的な参加・提出物・授業内ミニテスト 55% 授業内のタスクへの積極的・効果的参加、提出物、授業内に行う範囲を指定されたリスニング教材の「聴き取り・理解を確認するミニテスト」の結果によって総合的に評価 中間プレゼン 20% 定められたテーマに沿って3分程度の個人プレゼンを行う・講師と学生の相互評価の総合点 期末プレゼン 25% 定められたテーマに沿って3分程度の個人プレゼンを行う・講師と学生の相互評価の総合点						
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 VOA ニュースフラッシュ 2020 年度版 著者（訳者） アルク 出版社 アルク ISBN 978-4-7574-3605-3 その他 授業外のリスニング課題の教材として使います。授業の教材はプリント配布します。						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30022	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	岩崎 徹	英語	月 2	150 教室	1 年 文一二(1-3,20) 文三(1-3,5,7,9,11) 理一(4,35-36)
講義題目	元祖ミュージカルの台本を読む						
授業の目標概要	『キャッツ』や『オペラ座の怪人』のロイド・ウェバーの約 100 年前、ヴィクトリア朝末期のロンドンで大流行し、英語圏に広まった「サヴォイ・オペラ」は、元祖ミュージカルとも言えるべき喜歌劇だ。諷刺の利いたギルバートの台本（・歌詞）と軽快で親しみやすいサリヴァンの曲で、現在でも人気が高い。今学期は、レパートリーの中から、無実の死刑囚をロンドン塔から救出する物語で、もっともグランド・オペラ的とされる『ロンドン塔の衛兵』をビデオを鑑賞しながら読み、イギリス的ユーモアを味わう。洗練された英語で書かれた台詞、韻を踏んだ歌詞、それに時代背景や上演のエピソードなどについての詳しい注、と多様な文体にふれる機会にもなる。						
評価方法	試験の成績に出席、平常点を加味する。						
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30023	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	平賀 優子	英語	月 2	151 教室	1 年 文一二(1-3,20) 文三(1-3,5,7,9,11) 理一(4,35-36)
講義題目 授業の目標概要		英語発音演習—発音力から聴解力へ— この授業では英語の発音力を磨いて聴解力の向上を目指します。発音練習（音読）は、模倣からのみでなく音声学の理論（特に、IPA：International Phonetic Alphabet）やシャドーイング、オーバーラッピングの手法を用いて行います。また、応用言語学に基づく英語学習の方法も随時紹介し、自学自習ができる能力を養成します。					
評価方法		学期末テスト、平常点					
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 英語音声の基礎と聴解トレーニング 著者（訳者） 杉森 幹彦他 出版社 金星堂					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30024	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	志子田 祥子	英語	月 2	10-203	1 年 文一二(1-3,20) 文三(1-3,5,7,9,11) 理一(4,35-36)
講義題目 授業の目標概要		Let's Read and Discuss: Reading Short Stories The aim of this course is to help students improve their reading and communication skills in English, through a range of student-centred activities designed to stimulate responses and promote social interactions in the classroom, including pair/group work and discussion. We will read a selection of short stories written by contemporary authors, including but not limited to the ones published in The New Yorker magazine. It is hoped that the course will help students not only to develop their reading fluency, but also to learn to enjoy authentic texts, as well as opening up new horizons.					
評価方法		Active class participation and significant contribution (approx. 30%); successful completion of a series of activities and assignments, including presentations, a short essay and vocabulary quizzes (approx. 70%). 理由の如何にかかわらず、授業開始後 30 分以上の遅刻、および授業終了 30 分以前の早退は欠席とみなす。遅刻・早退 2 回で欠席 1 回とみなす。4 回以上の欠席は不可。					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30025	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	メズールール ジェルマン	英語	月 2	113 教室	1 年 文一二(1-3,20) 文三(1-3,5,7,9,11) 理一(4,35-36)
講義題目 English Through Advertising, and Advertising's Role in Society 授業の目標概要 The goal of this course is to assist students in understanding the relationships between advertising and the modern consumer-oriented society. By the end of this class, students will be able to present and discuss issues in a researched and structured manner. We will study advertising campaigns from TV, the Internet and print media, discover the sales messages contained in these and how they reach their consumer targets. We will also research the way similar products are marketed differently for different cultures or countries. In addition, we will evaluate the way different societies use PSAs (Public Service Announcements) to raise awareness of important issues such as Domestic Violence (DV), HIV/AIDS, substance abuse, etc. Topics covered will include: - TV Commercial Strategies - Print Advertisements Design Analysis - PSAs, NGOs and lobbying - Advertising controversies (political advertising, advertising tobacco and alcohol, advertising to children, gender and racial stereotypes in advertising.) 評価方法 30%: Digital Portfolio 20%: Learning Journal 10%: Report on Museum Visit 20%: Presentation 20%: Active contribution to the class 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 特に行わない。／Will not conduct guidance							

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30026	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	佐藤 光	英語	月 2	154 教室	1 年 文一二(1-3,20) 文三(1-3,5,7,9,11) 理一(4,35-36)
講義題目 英語の小説を聴きながら読む 授業の目標概要 朗読の音声を聞きながら、小説を読むことによって、聴解力と読解力の向上を目指します。小説は、説明文と日常会話から構成されているという意味で、外国語を学ぶためには最適の教材です。今回使用する教材には、20 世紀初頭のアメリカを舞台として「善人」が多く登場します。善意が幸せを呼ぶこともあれば、裏目に出ることもあり、人生について考えてみたい人、心の洗濯をしてみたい人、「善人」は胡散臭いけれど、だから興味があるという人、そもそも英語で短編小説を読むという体験をしてみたい人、を歓迎します。 評価方法 学期末試験と授業時の質問に対する回答状況をふまえて、総合的に判断します。 教科書 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 O. ヘンリー短篇集 出版社 朝日出版社 ISBN 978-4-255-15126-7 ガイダンス 特に行わない。／Will not conduct guidance							

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30027	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	サーギル ジェームズ クリストファー	英語	月 2	155 教室	1 年 文一二(1-3,20) 文三(1-3,5,7,9,11) 理一(4,35-36)
講義題目 授業の目標概要		Writing Myth, Reading Culture: An Introduction to Folklore This course will provide students with a foundation in working in English to conduct folkloric studies. Working through a series of comparative case studies, your class activities will be based around group discussions, presentations, in-class readings and student-led work - each designed to help develop your verbal and analytic skills in English language. Students will examine folklore from a cross-cultural perspective, exploring folktales, ghost stories, myths and legends from the geographical East and West. As well as assessing the role of folklore from both contemporary and historical viewpoints, the class will also introduce students to methodological approaches in the investigation of folklore. You will be required to write a research paper and give short presentations in English, as well as to undertake various homework tasks throughout the course (readings, creative assignments, compiling research etc.). The class will be based on in-class discussion and presentation of ideas in English.					
評価方法		Attendance, Participation and Engagement: 30% Presentation: 30% Research Paper: 40%					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30028	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	堀越 庸一郎	英語	月 2	103 教室	1 年 文一二(1-3,20) 文三(1-3,5,7,9,11) 理一(4,35-36)
講義題目 授業の目標概要		楽園はどこにある—Ronald Blythe, Akenfield: Portrait of an English Village (1969)を読む あなたの楽園はどこにありますか。日本人の楽園はどこにあるのでしょうか。イギリス人の楽園は村にあります。「愛すべき農村」のイメージ。都会と違って恐ろしいことは何も起きない、知らない者が侵入してくることもない、皆が皆をよく知っていて、親密な人間関係のなかで、多少の悶着も厄介ごと、すべてユーモアと笑顔と、ゆるいキリスト教的モラルで乗り越えられていく、そういう居心地のいい楽園。そこで繰り返される生産のサイクル。春、夏、収穫、冬。今年も、来年も、いつまでも。いつかこんな薄汚れた都会を離れて、緑に囲まれたコテージに住み、そういう「本当に確実なもの、本当に大切なもの」を手に入れるんだ。都会に寓居するイギリス人はそうやって、永遠の楽園としてのカントリーライフを夢見ている。 『エイケンフィールド：あるイングランドの村の肖像 Akenfield: Portrait of an English Village』(1969) は、そういう「楽園」の実際の住民たちの談話を、作家ロナルド・ブライズ Ronald Blythe がまとめたものです。1960 年代後半、戦後のイギリス社会が経験した大変革がようやく落ち着き、19 世紀から続く大農業恐慌がようやく終わり、農村社会が豊かになり始めた頃、イングランドのある農村に住んでいた、実在の住民たちの声です。 話し言葉を書き起こしたものが多くの部分を占めているので、そういった部分はアカデミックな硬い英語ではありません。むしろ、この時代や地域に独特の言い回しや方言がある程度書き込まれているので、そのへんが面白いところです。世の中には、公的な文書や研究書、あるいは文学作品などの「真面目な」文章よりも、小説やエッセイなどの「気楽な」文章の方が圧倒的に多いわけで、そういう硬くない英文を読むための読解力や知識の習得を目標のひとつとしています。それから、授業内容は基本的にテキストの精読になります。テキストをきちんと精読するためには作法があり、それはそのテキストが「気楽な」エッセイであろうと「真面目な」研究論文であろうと、また千年前に書かれた古英語の文書だろうと、同じです。この「作法」をお伝えしたい、そういう授業です。					
評価方法		授業中の和訳に対する評価、および学期末レポート (3~4 頁分の英文の和訳)。					
教科書 ガイダンス		プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30029	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	WONG Michelle	英語	月 2	10-308	1 年 文一二(1-3,20) 文三(1-3,5,7,9,11) 理一(4,35-36)
講義題目 授業の目標概要		TED Talks - Discussions and Presentations The primary goal of this course is to improve your confidence in using English to converse on a range of familiar and unfamiliar topics. Through discussion activities and presentations, you will expand your vocabulary as well as develop communication strategies to express yourself more accurately and confidently.					
評価方法		70% Assignments and quizzes 30% Participation					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

英語中級（クラス指定セメスター型）月 3

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30119	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	平沢 慎也	英語	月 3	151 教室	1 年理一(11,16-17,23,27,31)
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	Roald Dahl のミステリー短編を読む Roald Dahl のミステリー短編 "Lamb to the Slaughter" を精読しながら、以下のことを目指します。 ・英語の文章が単語の連鎖ではなく慣習的な言い回し・フレーズ・構文の連鎖に見えるようになること。 ・読んだら分かる英文について「自分で言えるか [書けるか]」と自問する習慣を身につけること。 ・コーパスを利用して英語の使用頻度を調べる方法を身につけること。 ・英文のイントネーションにはいくつかの基本的なルール・パターンがあることを理解し、初見の英文を適切なイントネーションで読めるようになること。 ほぼ隔週の小テスト（60%）＋中間コーパス調査（10%）＋学期末コーパス調査（30%） プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30120	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	瀧野 みゆき	英語	月 3	514 教室	1 年理一(11,16-17,23,27,31)
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	プロフェッショナルのための共通語としての英語 Communicating in English as Professionals プロフェッショナルとして、将来にわたって世界の人と英語を使って協働できるようになることを目標に、実践的な英語使用の考え方やスキルを学びます。 英語を多様な文化・国籍をもった人とコミュニケーションする共通語として使うことをイメージしながら、1) グローバル社会の英語の役割、2) プロフェッショナルとして英語を使うための基本的な考え方やルール、そして3) 英語を将来にわたって長期的に学び、使っていくための英語学習方法、の3点を学ぶことを目指します。 授業では、ケースやタスクをもとに実際に英語を使い、国際協働のための英語の表現や話し方を練習し、実社会で英語を使う土台となる基本的スキルを学びます。 英語のコミュニケーションに重要なリスニング力の強化を、授業外学習で自律的に行います。 授業への積極的な参加・提出物・授業内ミニテスト 55% 授業内のタスクへの積極的・効果的参加、提出物、授業内に行う範囲を指定されたリスニング教材の「聴き取り・理解を確認するミニテスト」の結果によって総合的に評価 中間プレゼン 20% 定められたテーマに沿って3分程度の個人プレゼンを行う・講師と学生の相互評価の総合点 期末プレゼン 25% 定められたテーマに沿って3分程度の個人プレゼンを行う・講師と学生の相互評価の総合点 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 VOA ニュースフラッシュ 2020 年度版 著者（訳者） アルク 出版社 アルク ISBN 978-4-7574-3605-3 その他 授業外のリスニング課題の教材として使います。授業の教材はプリント配布します。 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30121	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	メズールール ジェルマン	英語	月 3	113 教室	1 年理一(11,16-17,23,27,31)
講義題目 授業の目標概要	English Through Advertising, and Advertising's Role in Society The goal of this course is to assist students in understanding the relationships between advertising and the modern consumer-oriented society. By the end of this class, students will be able to present and discuss issues in a researched and structured manner. We will study advertising campaigns from TV, the Internet and print media, discover the sales messages contained in these and how they reach their consumer targets. We will also research the way similar products are marketed differently for different cultures or countries. In addition, we will evaluate the way different societies use PSAs (Public Service Announcements) to raise awareness of important issues such as Domestic Violence (DV), HIV/AIDS, substance abuse, etc. Topics covered will include: - TV Commercial Strategies - Print Advertisements Design Analysis - PSAs, NGOs and lobbying - Advertising controversies (political advertising, advertising tobacco and alcohol, advertising to children, gender and racial stereotypes in advertising.)						
評価方法	30%: Digital Portfolio 20%: Learning Journal 10%: Report on Museum Visit 20%: Presentation 20%: Active contribution to the class						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30122	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	愛甲 雄一	英語	月 3	152 教室	1 年理一(11,16-17,23,27,31)
講義題目 授業の目標概要	グローバル・イシューについて考える 本授業では、英米圏における国際関係論（国際政治学）の学部生向け教科書として使用されることも多いテキスト『The Globalization of World Politics (edited by John Baylis et al., 2020, Oxford University Press) 』に掲載された「グローバル・イシュー」に関する各章の読解を行なっていく。 この作業を通じて、本授業の受講者は、今日世界的に重要な問題として知られる様々なテーマ（具体的には、地球環境問題、難民・移民問題、テロリズムなど）についての概要を把握したうえで、こうした諸問題の具体的な解決策を考察するための素養を身に付けることができる。またこれらの問題について、他者との基礎的な意見交換が英語を用いてできるようになる。						
評価方法	平常点（30%）：授業内における貢献度などに応じて、総合的に評価する。 プレゼンテーション（30%）：各受講者には最低でも学期中に 1 回の英語によるプレゼンテーションを課す（その回数は、受講生の数による）。なおそのプレゼンテーションは、発表する日の前の回で扱ったテキストの内容の概略を、パワーポイントを使用して発表するものとする。 テスト（40%）：学期中に 2 回行なう「内容確認テスト」の獲得スコアに応じて、配点を行なう。						
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30123	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	岩崎 徹	英語	月 3	150 教室	1 年理一(11,16-17,23,27,31)
講義題目 授業の目標概要	ミュージカルの台本を読む ブッチーニのオペラ『蝶々夫人』の舞台を現代ベトナムに置き換えたミュージカル『ミス・サイゴン』（今年 5 月から帝劇で上演予定）の台本を再演の舞台映像を見ながら読む。制作スタッフに取材した英文資料を参照して、作品分析を行う。また、ベトナム戦争の時代背景について学び、欧米の視点から見たアジアについての問題点についても考察する。						
評価方法	試験の成績に出席、平常点を加味する。						
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30124	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	堀越 庸一郎	英語	月 3	103 教室	1 年理一(11,16-17,23,27,31)
講義題目 授業の目標概要	楽園はどこにある—Ronald Blythe, Akenfield: Portrait of an English Village (1969)を読む あなたの楽園はどこにありますか。日本人の楽園はどこにあるのでしょうか。イギリス人の楽園は村にあります。「愛すべき農村」のイメージ。都会と違って恐ろしいことは何も起きない、知らない者が侵入してくることもない、皆が皆をよく知っていて、親密な人間関係のなかで、多少の悶着も厄介ごと、すべてユーモアと笑顔と、ゆるいキリスト教的モラルで乗り越えられていく、そういう居心地のいい楽園。そこで繰り返される生産のサイクル。春、夏、収穫、冬。今年も、来年も、いつまでも。いつかこんな薄汚れた都会を離れて、緑に囲まれたコテージに住み、そういう「本当に確実なもの、本当に大切なもの」を手に入れるんだ。都会に寓居するイギリス人はそうやって、永遠の楽園としてのカントリライフを夢見ている。 『エイケンフィールド：あるイングランドの村の肖像 Akenfield: Portrait of an English Village』(1969) は、そういう「楽園」の実際の住民たちの談話を、作家ロナルド・ブライズ Ronald Blythe がまとめたものです。1960 年代後半、戦後のイギリス社会が経験した大変革がようやく落ち着き、19 世紀から続く大農業恐慌がようやく終わり、農村社会が豊かになり始めた頃、イングランドのある農村に住んでいた、実在の住民たちの声です。 話し言葉を書き起こしたものが多くの部分を占めているので、そういった部分はアカデミックな硬い英語ではありません。むしろ、この時代や地域に独特の言い回しや方言がある程度書き込まれているので、そのへんが面白いところです。世の中には、公的な文書や研究書、あるいは文学作品などの「真面目な」文章よりも、小説やエッセイなどの「気楽な」文章の方が圧倒的に多いわけで、そういう硬くない英文を読むための読解力や知識の習得を目標のひとつとしています。それから、授業内容は基本的にテキストの精読になります。テキストをきちんと精読するためには作法があり、それはそのテキストが「気楽な」エッセイであろうと「真面目な」研究論文であろうと、また千年前に書かれた古英語の文書だろうと、同じです。この「作法」をお伝えしたい、そういう授業です。						
評価方法 教科書 ガイダンス	授業中の和訳に対する評価、および学期末レポート (3~4 頁分の英文の和訳)。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30125	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	志子田 祥子	英語	月 3	10-203	1 年理一(11,16-17,23,27,31)
講義題目 授業の目標概要	Let's Read and Discuss: Reading Short Stories The aim of this course is to help students improve their reading and communication skills in English, through a range of student-centred activities designed to stimulate responses and promote social interactions in the classroom, including pair/group work and discussion. We will read a selection of short stories written by contemporary authors, including but not limited to the ones published in The New Yorker magazine. It is hoped that the course will help students not only to develop their reading fluency, but also to learn to enjoy authentic texts, as well as opening up new horizons.						
評価方法	Active class participation and significant contribution (approx. 30%); successful completion of a series of activities and assignments, including presentations, a short essay and vocabulary quizzes (approx. 70%). 理由の如何にかかわらず、授業開始後 30 分以上の遅刻、および授業終了 30 分以前の早退は欠席とみなす。遅刻・早退 2 回で欠席 1 回とみなす。4 回以上の欠席は不可。						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30126	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	WONG Michelle	英語	月 3	10-308	1 年理一(11,16-17,23,27,31)
講義題目 授業の目標概要	TED Talks - Discussions and Presentations The primary goal of this course is to improve your confidence in using English to converse on a range of familiar and unfamiliar topics. Through discussion activities and presentations, you will expand your vocabulary as well as develop communication strategies to express yourself more accurately and confidently.						
評価方法	70% Assignments and quizzes 30% Participation						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

英語中級（クラス指定セメスター型）月 4

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30175	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	WONG Michelle	英語	月 4	10-308	1 年 文一二(10) 理一(8,12)理二三(8)
講義題目	TED Talks - Discussions and Presentations						
授業の目標概要	The primary goal of this course is to improve your confidence in using English to converse on a range of familiar and unfamiliar topics. Through discussion activities and presentations, you will expand your vocabulary as well as develop communication strategies to express yourself more accurately and confidently.						
評価方法	70% Assignments and quizzes 30% Participation						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30176	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	瀧野 みゆき	英語	月 4	514 教室	1 年 文一二(10) 理一(8,12)理二三(8)
講義題目	プロフェッショナルのための共通語としての英語 Communicating in English as Professionals						
授業の目標概要	プロフェッショナルとして、将来にわたって世界のひとと英語を使って協働できるようになることを目標に、実践的な英語使用の考え方とスキルを学びます。 英語を多様な文化・国籍をもった人とコミュニケーションする共通語として使うことをイメージしながら、1) グローバル社会の英語の役割、2) プロフェッショナルとして英語を使うための基本的な考え方とルール、そして3) 英語を将来にわたって長期的に学び、使っていくための英語学習方法、の3点を学ぶことを目指します。 授業では、ケースやタスクをもとに実際に英語を使い、国際協働のための英語の表現や話し方を練習し、実社会で英語を使う土台となる基本的スキルを学びます。						
評価方法	英語のコミュニケーションに重要なリスニング力の強化を、授業外学習で自律的に行います。 授業への積極的な参加・提出物・授業内ミニテスト 55% 授業内のタスクへの積極的・効果的参加、提出物、授業内に行う範囲を指定されたリスニング教材の「聴き取り・理解を確認するミニテスト」の結果によって総合的に評価 中間プレゼン 20% 定められたテーマに沿って3分程度の個人プレゼンを行う・講師と学生の相互評価の総合点 期末プレゼン 25% 定められたテーマに沿って3分程度の個人プレゼンを行う・講師と学生の相互評価の総合点						
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 VOA ニュースフラッシュ 2020 年度版 著者（訳者） アルク 出版社 アルク ISBN 978-4-7574-3605-3 その他 授業外のリスニング課題の教材として使います。授業の教材はプリント配布します。						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30177	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	メズールール ジェルマン	英語	月 4	113 教室	1 年 文一二(10) 理一(8,12)理二三(8)
講義題目 授業の目標概要	English Through Advertising, and Advertising's Role in Society M4 The goal of this course is to assist students in understanding the relationships between advertising and the modern consumer-oriented society. By the end of this class, students will be able to present and discuss issues in a researched and structured manner. We will study advertising campaigns from TV, the Internet and print media, discover the sales messages contained in these and how they reach their consumer targets. We will also research the way similar products are marketed differently for different cultures or countries. In addition, we will evaluate the way different societies use PSAs (Public Service Announcements) to raise awareness of important issues such as Domestic Violence (DV), HIV/AIDS, substance abuse, etc. Topics covered will include: - TV Commercial Strategies - Print Advertisements Design Analysis - PSAs, NGOs and lobbying - Advertising controversies (political advertising, advertising tobacco and alcohol, advertising to children, gender and racial stereotypes in advertising.)						
評価方法	30%: Digital Portfolio 20%: Learning Journal 10%: Report on Museum Visit 20%: Presentation 20%: Active contribution to the class						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30178	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	高橋 和子	英語	月 4	10-203	1 年 文一二(10) 理一(8,12)理二三(8)
講義題目 授業の目標概要	TOEFL の後は、名作を英語で読もう 本授業では、授業前半で TOEFL の reading 問題を扱う。授業後半では、英語を学ぶ大学生ならば理科系・文科系に関わらず、一度は英語で読んでおきたい名作の名場面を取り上げる。随時、名作の中心場面の映像（映画）の視聴、ディスカッション・プレゼンテーション等を取り入れることによって、バランスのとれた英語力育成を目標にする。						
評価方法	授業参加度：60%、出席（TOEFL の Reading 問題、名作に対する課題を含む）、ディスカッション、プレゼンテーションの成果を含む。 学期末試験・レポート：40%						
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Official TOEFL iBT Tests Volume 2 著者（訳者） ETS (Educational Testing Service) 出版社 McGraw-Hill Education						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30179	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	加藤 恒昭	英語	月 4	150 教室	1 年 文一二(10) 理一(8,12)理二三(8)
講義題目 授業の目標概要	科学エッセイを読む The Best American Science and Nature Writing 2019 に収録されている科学エッセイ（非専門家向けのエッセイ，分野は偏らないように選択）を読んでいくことを通じて，論述のための構文と文章構成および科学関連語彙に関する理解を深める．週 2,000 語（4-5 頁）程度ずつ読み進んでいき，1~3 週でひとつのエッセイを読み終わる．議論の流れを掴みつつ，大事な部分を丁寧に読んでいくことを心がける．該当箇所はプリントにて配布する（書籍の形で持っていたい場合は参考文献参照）． 語彙力を補強するために，「東大英単」（参考文献参照）より自然科学で用いられることが多い語を選び，小テストを実施する．						
評価方法	予習報告状況，授業時間中の単語小テスト（「授業の方法」参照），学期末の筆記試験を 20%, 30%, 50% ずつの割合で評価する．						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない．／Will not use textbook 特に行わない．／Will not conduct guidance						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30180	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	平沢 慎也	英語	月 4	151 教室	1 年 文一二(10) 理一(8,12)理二三(8)
講義題目 授業の目標概要	Roald Dahl のミステリー短編を読む Roald Dahl のミステリー短編 "Lamb to the Slaughter" を精読しながら，以下のことを目指します． ・英語の文章が単語の連鎖ではなく慣習的な言い回し・フレーズ・構文の連鎖に見えるようになること。 ・読んだら分かる英文について「自分で言えるか [書けるか]」と自問する習慣を身につけること。 ・コーパスを利用して英語の使用頻度を調べる方法を身につけること。 ・英文のイントネーションにはいくつかの基本的なルール・パターンがあることを理解し，初見の英文を適切なイントネーションで読めるようになること。						
評価方法	ほぼ隔週の小テスト（60%）＋中間コーパス調査（10%）＋学期末コーパス調査（30%）						
教科書 ガイダンス	プリントを配布する．／Will distribute handouts 特に行わない．／Will not conduct guidance						

英語中級（クラス指定セメスター型）火 1

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30276	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	オデイ ジョン	英語	火 1	151 教室	1 年 文一二(23) 文三(15)理二三(11,23)
講義題目 授業の目標概要		Philosophy (Applied Ethics) This is a content-oriented course that focuses on topics in Philosophy, and Applied Ethics in particular. We will first cover some of the major philosophical approaches to ethical issues, such as virtue theory, utilitarianism, and others. With this as background, students will be presented with an ethical issue, read about it, and present the arguments in class and lead a discussion. Possible topics include: * Human Rights * Hunger and Poverty * War and Violence * Gender Roles and Morality * Racial and Ethnic Discrimination					
評価方法		Weekly participation in class discussion, and one major class presentation.					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30277	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	松本 和子	英語	火 1	10-201	1 年文一二(23) 文三(15)理二三(11,23)
講義題目 授業の目標概要		はじめてのニュース英語 ニュース英語を繰り返し聞き、シャドイングを行うことで、ニュース番組で使われている「生の英語」の速さ・発音に慣れることを目指す。					
評価方法		シャドイング・授業参加・試験					
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook					
		書名 British News Update 2					
		著者（訳者） Knowles, Timothy et al.					
		出版社 金星堂					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30278	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	小林 宜子	英語	火 1	155 教室	1 年文一二(23) 文三(15)理二三(11,23)
講義題目 授業の目標概要		Reith Lectures の読解と聴解を通して英語の理解力を養う 毎年、イギリスの公共放送局 BBC のラジオで放送される Reith Lectures のスクリプトと音声教材として用い、各界を代表する専門家が一般の聴衆向けに行なった講演内容の読解と聴解を通じて英語の理解力を養います。講演の内容は政治、法律、科学技術、芸術、倫理など多岐にわたります。特に印象深く、啓発的な内容の講演を 6～7 つほど選び、英文を細部まで正確に理解する力を養うとともに、講演で扱われた種々のテーマについても考察します。					
評価方法		毎週行われる小テストの成績、課題への取り組み、授業への参加度、および期末試験の成績を総合して評価します。なお、授業回数の 3 分の 1 以上を欠席した場合は、理由の如何に関わらず、単位を認めません。					
教科書		プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30279	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	遠藤 泰生	英語	火 1	102 教室	1 年文一二(23) 文三(15)理二三(11,23)
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	アメリカ合衆国黒人逃亡奴隷の自伝を読む 19 世紀アメリカ合衆国の文学の古典に逃亡奴隷が残した自伝があります。その中でも最も有名な Frederick Douglass の自伝を読みます。「自由 (freedom)」が何によって構成されるのか、考えさせる作品になっています。 学期中の小テストと期末テスト。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 The Portable Frederick Douglass 著者 (訳者) Frederick Douglass 出版社 Penguin Classics ISBN 9780143106814 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30280	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	トム・ガリー	英語	火 1	103 教室	1 年文一二(23) 文三(15)理二三(11,23)
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	Travelers' Tales about Japan After Japan's opening to the world in the mid-19th century, many foreign visitors and residents published accounts of their experiences in the country. In this class, we will read excerpts from books about Japan that were published in Britain and the United States between about 1855 and 1914, and we will discuss what those writings reveal not only about Japan and foreigners' perceptions of Japan but also about how people in general try to understand and describe unfamiliar countries and cultures. The reading passages will be taken from books available for free through the Internet Archive. Some of the passages will be chosen by the students based on their interests. Students will be graded based on attendance, preparation, class participation, and either a final examination, which will cover the vocabulary and content of the passages read in class, or a final paper, which will be due a few weeks after the semester ends. (The teacher will announce by the middle of the semester whether there will be a final examination or a final paper.) 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

英語中級（クラス指定セメスター型）火 5

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30541	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	Williams David	英語	火 5	162 教室	1 年 理一(24,33) 理二三(9)
講義題目 授業の目標概要		Intermediate Reading, Thinking & Discussion The purpose of this class is to build students' English language reading and thinking skills beyond simple description to a more critical and analytical point. Taking a contemporary, thematic approach students will critically examine and consider authentic and semi-authentic texts in groups where texts will be revisited after in depth pre-class reading. The themes explored in class will be exclusively on contemporary British culture. At the end of this course it is expected that students will be able to critically consider and assess a wide range of contemporary topics of domestic and international significance. Students will find that the skills acquired in this class will assist in expressing themselves in other areas of their academic studies, and later in their professional lives.					
評価方法		Assessment for this class will be based on evidence of completed homework reading (40%), weekly vocabulary quiz (10%), two forum-based presentations (25%), a final assessment (25%) and active class participation. In order to gain a top grade for this course students are expected to make an original and unique contribution to each class.					
教科書 ガイダンス		プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30542	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	牛村 圭	英語	火 5	149 教室	1 年 理一(24,33) 理二三(9)
講義題目 授業の目標概要		New York Times で世界を読む New York Times に掲載された署名入り記事に注釈が付された教材を精読する。さまざまな今日の諸問題が、英語ではどのように表現されて論じられているかを知る機会とするにとどまらず、学生諸君の文理にわたる知的関心を高めることを目指したい。					
評価方法 教科書		担当した訳文の発表を含めた平常点、学期中に実施の語彙力テスト、そして学期末の筆記試験による。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 ニューヨークタイムズ社会点描 出版社 英潮社					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30543	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	リチンスキ ダン	英語	火 5	156 教室	1 年 理一(24,33) 理二三(9)
講義題目 授業の目標概要		English Lectures on General Physics This course will provide lectures on a series of Physics topics selected to ensure a balance between presentation of basic concepts and terminology, diagrams and formulas as well as proper reasoning about the underlying principles and mechanisms, using adequate English language. Although mainly intended for students interested to major in sciences, effort is made to select stand-alone content, presented so that it could be accessible to those specializing in other areas as well. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on two fronts: (i) comprehension of the studied Physics topics and (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various scientifically-valid perspectives, analyze problems, provide solutions and envision applications.					
評価方法		Attendance and participation in interactive activities with instructor and classmates: 30% Individual Assignments: 70% While emphasis in evaluation will not be on the mastering of the Physics content itself, highest grades will require a good performance with respect to both (i) and (ii) objectives.					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30544	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	高橋 和子	英語	火 5	10-308	1 年 理一(24,33) 理二三(9)
講義題目 授業の目標概要	Pronunciation and Listening 概要：英語発音とリスニング力の向上を目指すクラスである。特に発音訓練に重点をおくため、発音だけには自信がなく、自分が話した英語が聞き手に通じにくいと感じている人が履修することをお勧めする。主に、発音記号に沿って注意すべき英語音声について学び、ひとつずつ発音練習をしていく。加えて、英語独特の音の連結、消失、弱化やイントネーション、リズムを学び、リスニングの訓練を行う。また、聞き手に理解してもらえるように、文章の音読やプレゼンテーションを行う。 目標：英語を聞き、話す際に重要である英語音声の基礎知識を習得し、実践で活かせる力をつけることが本授業の目的である。将来、国際的な場において英語で発信、発表するための確かな道具を手に入れよう。本授業の到達目標は次の通りである。(1) 英語音声を正しく理解し、発音できるようになる。(2) 日本人にとって紛らわしい英語発音を聞き分けられるようになる。(3) 専門用語を含む英文を、発音記号を調べ、正しく音読できるようになる。(4) 英語リスニング力を向上させる。						
評価方法	個別発音テスト 40%、リスニングテスト 20%、単語テストとレポート 20%、授業参加（発表、出席を含む）20% を総合して評価する予定。						
教科書	個別発音テストにおいては 44 問中 35 問以上正しく発音できることが必要である。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 DVD&CD でマスター 英語の発音が正しくなる本 著者（訳者） 鷺見由理 出版社 ナツメ社 ISBN 13: 978-4816344640 その他 下記の参考書も授業で使用する。教科書と参考書、計 2 冊は購入の必要あり。						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30545	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	藤尾 美佐	英語	火 5	10-201	1 年 理一(24,33) 理二三(9)
講義題目 授業の目標概要	世界で勝つための英語プレゼンテーション 英語コミュニケーションにおいて、プレゼンテーション(以下プレゼン)は不可欠なスキルである。また他のスキルと比べ、パフォーマンス的要素も強く、プレゼンスキルを学ぶことによって、英語の非母語話者であっても、母語話者以上のプレゼンターになることができる。本コースでは、英語のプレゼンに必要な基本的なスキル(プレゼンの構成、資料作成、英語のデリバリー、非言語コミュニケーション(ジェスチャー、アイコンタクトなど)の効果的な使い方)を学んだ後、授業内でグループ・プレゼンテーションを実施する。さらに、他のグループおよび自分自身のプレゼンのレビューを行うことにより、洞察を深めていく。授業は、英語と日本語の両方で行う(インストラクションにも極力英語を使用する予定)。						
評価方法	授業への積極的な参加・提出物・プレゼンテーション・レポート						
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 20 ステップで学ぶ 日本人だからこその英語プレゼンテーション 著者（訳者） 藤尾 美佐 出版社 DHC 出版						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

英語中級（クラス指定セメスター型）水 1

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30572	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	吉国 浩哉	英語	水 1	114 教室	1 年 理一(1-3,18,20-21)
講義題目 授業の目標概要		American Short Stories Believe it or not, there is such a thing as literature in America, and the purpose of this course is to familiarize students with this strange thing called American literature, which is usually considered a “minor” literature from the viewpoint of the history of civilization in the world. In the process to pursue this purpose, students will find themselves in a situation in which they cannot avoid reading more in English than they did in high schools. As a result, it is not totally unlikely that students might be able to develop their “reading skills” (whatever this phrase means). At least, it is very likely that students will become “used to” reading a considerable amount of texts written in English. As an English language course, there will be lectures on grammar and syntax that are used in the texts, but overall comprehension of the story and active interpretation on the side of the reader will receive more emphasis. This course will be taught in Japanese. Grade evaluation depends on the quiz, participation, and the final exam. Those students who miss four or more classes will not be permitted to take the final exam.					
評価方法		授業中に指示をする。／Will specify at class time					
教科書 ガイダンス		授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30573	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	清水 晶子	英語	水 1	10-205	1 年 理一(1-3,18,20-21)
講義題目 授業の目標概要		Democracy Now!を議論する アメリカの代表的なインディペンデント・メディアの一つである Democracy Now! (http://www.democracynow.org/) を教材として、リスニング／ディスカッション／プレゼンテーションの練習を行う。この授業の目的は、英語での議論のインプットに慣れること、特定の話題について先行する調査や分析を適切に理解してまとめ、それに基づいて自分の見解を提示する経験を積むことである。					
評価方法		出席重視。宿題、グループワークへの参加・貢献度、および最終プレゼンテーションによって総合的に評価する。学期末試験は実施しない。					
教科書 ガイダンス		通常点において成績が合格に達しなかったとしても、エクストラの課題提出による救済措置は取らない。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30574	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	松本 和子	英語	水 1	10-201	1 年 理一(1-3,18,20-21)
講義題目 授業の目標概要		はじめてのニュース英語 ニュース英語を繰り返し聞き、シャドイングを行うことで、ニュース番組で使われている「生の英語」の速さ・発音に慣れることを目指す。					
評価方法		シャドイング・授業参加・試験					
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook					
		書名 British News Update 2 著者（訳者） Knowles, Timothy et al. 出版社 金星堂					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30575	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	近藤 亮介	英語	水 1	117 教室	1 年 理一(1-3,18,20-21)
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	ランドスケープから見る英米史 芸術（文学・絵画・庭園・映画など）に表象されるランドスケープの考察を通して、英米の歴史について学ぶ。「ランドスケープ (landscape)」は、日本語で「風景」と訳されるが、もともとは「風景画」を意味していた。この事実、ランドスケープが自然そのものではなく、自然と人間との関係において構築されるものであることを示唆している。英文読解や映画鑑賞を通して、ランドスケープに潜むさまざまな文化的・社会的・政治的意味を考えたい。 出席・授業への参加度 50%、学期末レポート 50%。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30576	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	加藤 恒昭	英語	水 1	115 教室	1 年 理一(1-3,18,20-21)
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	科学エッセイを読む The Best American Science and Nature Writing 2019 に収録されている科学エッセイ（非専門家向けのエッセイ、分野は偏らないように選択）を読んでいくことを通じて、論述のための構文と文章構成および科学関連語彙に関する理解を深める。週 2,000 語（4-5 頁）程度ずつ読み進んでいき、1~3 週でひとつのエッセイを読み終わる。議論の流れを掴みつつ、大事な部分を丁寧に読んでいくことを心がける。該当箇所はプリントにて配布する（書籍の形で持っていたい場合は参考文献参照）。 語彙力を補強するために、「東大英単」（参考文献参照）より自然科学で用いられることが多い語を選び、小テストを実施する。 予習報告状況、授業時間中の単語小テスト（「授業の方法」参照）、学期末の筆記試験を 20%, 30%, 50% ずつの割合で評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

英語中級（クラス指定セメスター型）木 2

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30876	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	ナルト デリック	英語	木 2	152 教室	1 年 文一二(7,11) 文三(14)
講義題目 授業の目標概要		Creative Thinking Albert Einstein once said that “creative imagination” is central to scientific progress. Apple Co-Founder Steve Jobs, like many business leaders nowadays, likewise stressed that creativity differentiates average individuals and companies from exceptional ones. As important as creativity is said to be in today’s competitive global economy, what the creative process requires or involves is usually left unexplained. This course, therefore, aims to familiarize participants with what creative thinking entails, why it is important, where it comes from, and how individuals can improve their critical faculties to enable them to thrive in our era of rapid technological, social, political and economic change. By the end of the course students, besides improving their English speaking, listening, and writing skills, will learn: -- why creativity is becoming increasingly important in today's global economy -- how some of the greatest innovators in human history have applied creative thinking to achieve breakthroughs in the realms of science, business, and the arts -- how they can overcome thinking blocks, formulate effective questions, create the right environment for creative thinking, and turn their creative thoughts into action					
評価方法		Writing assignments: 30% (10% + 20%) Presentations: (2 x 20) 40% Participation: 30%					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30877	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	吉国 浩哉	英語	木 2	153 教室	1 年 文一二(7,11) 文三(14)
講義題目 授業の目標概要		American Short Stories Believe it or not, there is such a thing as literature in America, and the purpose of this course is to familiarize students with this strange thing called American literature, which is usually considered a “minor” literature from the viewpoint of the history of civilization in the world. In the process to pursue this purpose, students will find themselves in a situation in which they cannot avoid reading more in English than they did in high schools. As a result, it is not totally unlikely that students might be able to develop their “reading skills” (whatever this phrase means). At least, it is very likely that students will become “used to” reading a considerable amount of texts written in English. As an English language course, there will be lectures on grammar and syntax that are used in the texts, but overall comprehension of the story and active interpretation on the side of the reader will receive more emphasis. This course will be taught in Japanese.					
評価方法		Grade evaluation depends on the quiz, participation, and the final exam. Those students who miss four or more classes will not be permitted to take the final exam.					
教科書 ガイダンス		授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30878	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	戸谷 陽子	英語	木 2	10-203	1 年 文一二(7,11) 文三(14)
講義題目 授業の目標概要 メディアの英語 時事問題・政治・経済・国際関係・文化芸術・科学・テクノロジー・医療といった幅広いジャンルの話題を特集／収録したテレビ、ビデオ、ラジオ番組等、アメリカの報道メディアの番組（CBS, National Public Radio, New York Times Video 等）を視聴覚教材として視聴し、その上でワークシートを配布し、内容や語彙、用法を確認し、さらにトランスクリプトや関連記事の読解により理解を深め、知的な内容の報道番組をごく自然に理解する「実用レベル」の英語力と思考力を訓練することを目的とする。 評価方法 教科書 ガイダンス 小テスト 60%、期末テスト 40% 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance							

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30879	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	小田 悠生	英語	木 2	154 教室	1 年 文一二(7,11) 文三(14)
講義題目 授業の目標概要 国際人口移動の基本概念と現代世界の諸課題 この授業では、平易な英語で書かれたテキストと新聞記事、ビデオを併用しながら、特定テーマに関する一般向けの報道から入門者向けの概説書まで速読できる力を身につけます。中心とする指定教科書は、いわゆる「新書」相当のものであり、各自の専門分野・前提知識を問わず、アカデミックな文章を読解することができるようになることが目標です。リーディングのテーマは、国際人口移動です。日本でも入国管理法の改正に伴い、「外国人労働者」や「移民」に関する議論が活発となっていますが、移民とは誰を指すのかといった基本的問題に始まり、現代の世界において国境が持つ意味といった問題まで、様々なイシューについて考えてみましょう。 評価方法 出席回数が三分の二を満たさない場合、単位は認めない。 毎回の宿題提出：30% 授業内課題への取り組み：30% 期末試験: 40% 教科書 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 International Migration: A Very Short Introduction. 2nd edition. 著者（訳者） Khalid Koser 出版社 Cambridge: Oxford UP, 2016. ISBN 978-0198753773 ガイダンス 特に行わない。／Will not conduct guidance							

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30880	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	大橋 理枝	英語	木 2	155 教室	1 年 文一二(7,11) 文三(14)
講義題目 授業の目標概要 Communication in Japan 毎回の授業の前半では日本でのコミュニケーションについて論じたテキストを精読する。後半では前半で扱った内容に関して英語でグループディスカッションを行う。世界の中での英語についてのテキストの聴解を行うこともある。 評価方法 教科書 授業への参加と授業中に行うテストの結果で判断する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Delighting in Cultures: A vision of Japan's future 著者（訳者） Roger Pulvers 出版社 金星堂 ISBN 978-4-7647-3885-0 ガイダンス 特に行わない。／Will not conduct guidance							

英語中級（クラス指定セメスター型）木 3

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30942	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	久世 恭子	英語	木 3	150 教室	1 年 文一二(21)文三(19) 理二三(4,17,20)
講義題目 授業の目標概要		'Language Myths' & 'Pygmalion' 言語に関する「神話」について言語学者が一般向けに解説するテキスト'Language Myths'を主教材とし、読解力向上を目指すだけでなく、言語神話形成の背景にある社会問題や文化への関心も養う。また、内容に関連のある戯曲'Pygmalion'の読み合わせや映画 Pygmalion/My Fair Lady の視聴を取り入れることにより、文学的な作品にも触れる。					
評価方法 教科書		授業参加・発表 20%、小テスト 20%、課題 10%、筆記試験 50% 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Language Myths 著者（訳者） Laurie Bauer and Peter Trudgill (eds.) 出版社 Penguin ISBN 978-0-14-026023-6					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30943	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	中山 匡美	英語	木 3	10-303	1 年 文一二(21)文三(19) 理二三(4,17,20)
講義題目 授業の目標概要		ニュース英語でインプットからアウトプットへ 日本の出来事、あるいは日本とも関係の深い世界の出来事についての英文ニュースを文字と音声で正しく理解し、ニュースで頻繁に使われる語彙や表現を自分の言葉として使えるようになることを目標とする。また、英文ニュース特有の表現や構成についても学び、英語でニュースを書くことをめざす。					
評価方法 教科書		3 回以上欠席した学生は評価の対象とならない。授業への参加姿勢、小テスト、課題、定期試験を総合して評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 時事英語の総合演習—2020 年度版— 著者（訳者） 堀江洋文、加藤香織、小西和久、宮崎修二、内野泰子 出版社 朝日出版社 ISBN 978-4-255-15656-9					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30944	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	大橋 理枝	英語	木 3	155 教室	1 年 文一二(21)文三(19) 理二三(4,17,20)
講義題目 授業の目標概要		Communication in Japan 毎回の授業の前半では日本でのコミュニケーションについて論じたテキストを精読する。後半では前半で扱った内容に関して英語でグループディスカッションを行う。世界の中での英語についてのテキストの聴解を行うこともある。					
評価方法 教科書		授業への参加と授業中に行うテストの結果で判断する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Delighting in Cultures: A vision of Japan's future 著者（訳者） Roger Pulvers 出版社 金星堂 ISBN 978-4-7647-3885-0					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30945	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	戸谷 陽子	英語	木 3	10-203	1 年 文一二(21)文三(19) 理二三(4,17,20)
講義題目 授業の目標概要		メディアの英語 時事問題・政治・経済・国際関係・文化芸術・科学・テクノロジー・医療といった幅広いジャンルの話題を特集／収録したテレビ、ビデオ、ラジオ番組等、アメリカの報道メディアの番組（CBS, National Public Radio, New York Times Video 等）を視聴覚教材として視聴し、その上でワークシートを配布し、内容や語彙、用法を確認し、さらにトランスクリプトや関連記事の読解により理解を深め、知的な内容の報道番組をごく自然に理解する「実用レベル」の英語力と思考力を訓練することを目的とする。					
評価方法 教科書 ガイダンス		小テスト 60%、期末テスト 40% 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30946	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	ナルト デリック	英語	木 3	152 教室	1 年 文一二(21)文三(19) 理二三(4,17,20)
講義題目 授業の目標概要		Creative Thinking Albert Einstein once said that “creative imagination” is central to scientific progress. Apple Co-Founder Steve Jobs, like many business leaders nowadays, likewise stressed that creativity differentiates average individuals and companies from exceptional ones. As important as creativity is said to be in today’s competitive global economy, what the creative process requires or involves is usually left unexplained. This course, therefore, aims to familiarize participants with what creative thinking entails, why it is important, where it comes from, and how individuals can improve their critical faculties to enable them to thrive in our era of rapid technological, social, political and economic change. By the end of the course students, besides improving their English speaking, listening, and writing skills, will learn: -- why creativity is becoming increasingly important in today's global economy -- how some of the greatest innovators in human history have applied creative thinking to achieve breakthroughs in the realms of science, business, and the arts -- how they can overcome thinking blocks, formulate effective questions, create the right environment for creative thinking, and turn their creative thoughts into action					
評価方法		Writing assignments: 30% (10% + 20%) Presentations: (2 x 20) 40% Participation: 30%					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30947	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	グレノン イザベル	英語	木 3	151 教室	1 年 文一二(21)文三(19) 理二三(4,17,20)
講義題目 授業の目標概要		Professional presentation skills The main objective of this course is to enable students to develop the skills necessary to properly organize, articulate and support their ideas when preparing for an oral presentation. These skills include the ability to argue for your opinion (thesis statement) by providing clear arguments supported by facts, statistics, or real examples. In addition, students will learn how to make an effective use of PowerPoint. Although the class assignment focuses primarily on the preparation of an academic presentation, the skills developed throughout this class are applicable to other domains, such as the preparation of marketing pitches, job interviews, progress reports, and so on.					
評価方法		Participation 10% Outline 10% Script draft 30% Presentation 50%					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

英語中級（クラス指定セメスター型）金 1

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31063	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	矢島 宏紀	英語	金 1	102 教室	1 年 文一二(25,27) 理二三(13-14)
講義題目 授業の目標概要		植民地時代から 19 世紀前半のアメリカにおける宗教、改革運動、領土拡張 【概要】 アメリカ（史）において宗教は政治や社会を動かす原動力の一つと言われます。本授業では、初期アメリカにおける宗教と社会改革・領土拡張の関係について書かれた英文を読みます。最初の数回で初期アメリカ史についての概説書を読んで必要な基礎知識を仕入れ、その後、宗教と政治・社会の関係について論じる研究書や論文を読みます。 【目標】 アカデミックな英文を正確に理解するために必要となる解釈力と語彙力を高める。 英文の概要を簡潔かつ正確な日本語で要約できるようになる。 アメリカの歴史や社会に関する知識を得て現代アメリカについての理解を深める。					
評価方法		期末試験（50％） 発表（30％） 態度・貢献（20％） 授業時の態度（出欠状況含む）を加減して最終評価を下す。 欠席数が授業回数の 1/3 を超えると単位認定（期末試験受験）不可。列車遅延は大規模な事案のみ考慮する。ただし、個人の過失によらない遅刻・欠席（公欠含む）であっても、単位認定のため追加課題が課される。					
教科書 ガイダンス		プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31064	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	川崎 修一	英語	金 1	103 教室	1 年 文一二(25,27) 理二三(13-14)
講義題目 授業の目標概要		「学校では扱われない英語の文法や構文」に関する文献を読む 本授業の目標は、一義的には学術的な英文を完璧に読むための読解力の養成である。また、学校文法で扱われることのない文法や構文などの言語現象に関する様々な文献を読み、英語についての洞察を深めることを第二の目標とする。					
評価方法		小テスト（40％）と学期末試験（60％）					
教科書 ガイダンス		プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31065	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	佐藤 洋一	英語	金 1	149 教室	1 年 文一二(25,27) 理二三(13-14)
講義題目 授業の目標概要		Strategic management in business English In this course, you will learn various kinds of English vocabulary and expressions necessary for practical business communication. You will be expected to develop your business English knowledge, including spoken and written communication and critical thinking skills, while learning various kinds of authentic English.					
評価方法		Weekly homework (quizzes) 30% Final exam 30% Presentation 20% Active Participation 20%					
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 『Strategic Management in Business English』 著者（訳者） Yoichi Sato, Steven William Smoley & Seisho Ano 出版社 播磨書院 ISBN 978-4-87768-334-4					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31066	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	ポター サイモン	英語	金 1	153 教室	1 年 文一二(25,27) 理二三(13-14)
講義題目 授業の目標概要	Exploring the Human Condition through Dialogs The objectives are to get some practice using the English language by reading dialogs in which the speakers talk about important or interesting issues, writing answers to questions about chapter contents, preparing oral presentations, and performing in front of the class. For an overview of the course, please see the "Schedule" below.						
評価方法	Each week students will receive points that reflect their answers to the questions (individual work) and the group presentations, and the grade for the entire course will be based on the summation of these.						
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Dialogs Among Thoughtful Folk 著者(訳者) Moatfield 出版社 Intelligence Gate Enterprises						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31067	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	清水 徹郎	英語	金 1	K402	1 年 文一二(25,27) 理二三(13-14)
講義題目 授業の目標概要	Reading and Listening to The New York Times インターネット版 The New York Times から記事とビデオを選び、リスニングとリーディングの演習を行う。リスニングでは生の英語に慣れ、大意を把握できるようになることを目標とする。リーディングでは、用語・慣用表現に加えて、レトリックと論理の組み立てについても正確に読みとれるようになることを目指す。質疑・説明・ディスカッション等は、すべて英語で行う。授業の終わりに英語で短いコメントを書いて提出。また復習を兼ねた小テストを定期的に行い、語彙力の増進を図る。						
評価方法	平常点(出席、予習状況を含む総合的学習態度)約 25%+小テスト他の合計約 35%+学期末テスト約 40%をめやすとする。欠席・遅刻の多い場合(欠席 3 回超、なお遅刻 3 回で欠席 1 回に換算)は、上記のめやすに関わらず「不可」の評価とする。						
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 The New York Times (Digital Subscription at the Academic Rate) 著者(訳者) The New York Times 出版社 The New York Times その他 毎回予習用に通達する URL から教材記事へのアクセスは可能ですが、関連記事を読むにはデジタル版定期購読が必要なので、Academic Rate で 1 月までの定期購読を強く勧めます。 https://www.nytimes.com/subscriptions/inyt/ed u/lp8LXQ6.html?campaignId=6Y4QR						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

英語中級（クラス指定セメスター型）金 3

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31164	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	勅使河原 三保子	英語	金 3	121 教室	1 年 文一二(17,22) 文三(16)理一(29,39)
講義題目 授業の目標概要		英語で提供された情報の理解と分析 話題性のある事柄や現代社会の諸問題をテーマとしたオンライン記事を読んだり動画を視聴したりすることにより、英語で提供された情報の理解と分析の訓練を行います。同じテーマでも異なる見解に立って書かれた記事を比較したり、主張の根拠となる資料に当たってみたりします。また、様々な訛りのある英語にも触れる機会を持ち、ある程度聞き取れるようになるよう、英語圏以外の訛りのある英語を話す話者の動画も扱います。					
評価方法 教科書 ガイダンス		テーマごとに行う小テスト（計 50%）、グループワーク（30%）、課題（20%） 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31165	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	グレノン イザベル	英語	金 3	102 教室	1 年 文一二(17,22) 文三(16)理一(29,39)
講義題目 授業の目標概要		Professional presentation skills The main objective of this course is to enable students to develop the skills necessary to properly organize, articulate and support their ideas when preparing for an oral presentation. These skills include the ability to argue for your opinion (thesis statement) by providing clear arguments supported by facts, statistics, or real examples. In addition, students will learn how to make an effective use of PowerPoint. Although the class assignment focuses primarily on the preparation of an academic presentation, the skills developed throughout this class are applicable to other domains, such as the preparation of marketing pitches, job interviews, progress reports, and so on.					
評価方法		Participation 10% Outline 10% Script draft 30% Presentation 50%					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31166	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	清水 徹郎	英語	金 3	K211	1 年 文一二(17,22) 文三(16)理一(29,39)
講義題目 授業の目標概要		Reading and Listening to The New York Times インターネット版 The New York Times から記事とビデオを選び、リスニングとリーディングの演習を行う。リスニングでは生の英語に慣れ、大意を把握できるようになることを目標とする。リーディングでは、用語・慣用表現に加えて、レトリックと論理の組み立てについても正確に読みとれるようになることを目指す。質疑・説明・ディスカッション等は、すべて英語で行う。授業の終わりに英語で短いコメントを書いて提出。また復習を兼ねた小テストを定期的に行い、語彙力の増進を図る。					
評価方法		平常点(出席、予習状況を含む総合的学習態度)約 25%+小テスト他の合計約 35%+学期末テスト約 40%をめやすとする。欠席・遅刻の多い場合(欠席 3 回超、なお遅刻 3 回で欠席 1 回に換算)は、上記のめやすに関わらず「不可」の評価とする。					
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 The New York Times (Digital Subscription at the Academic Rate) 著者（訳者） The New York Times 出版社 The New York Times その他 毎回予習用に通達する URL から教材記事へのアクセスは可能ですが、関連記事を読むにはデジタル版定期購読が必要なので、Academic Rate で 1 月までの定期購読を強く勧めます。 https://www.nytimes.com/subscriptions/inyt/ed u/lp8LXQ6.html?campaignId=6Y4QR					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31167	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	田尻 芳樹	英語	金 3	108 教室	1 年 文一二(17,22) 文三(16)理一(29,39)
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	短編小説を読む この授業では 20 世紀の英語圏のノーベル賞クラスの作家の短編をいくつか精読し、20 世紀の世界の歴史や新しい文学形式に注意を向けながら、英語の読解力増進を図ります。精読の授業ですので、細かいニュアンスも含めてすべてを訳出していきます。その過程で、英語の表現に関して辞書を丹念に調べたり、文脈に応じての意味をじっくり考えたりする訓練をします。 平常の参加度と期末テスト。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31168	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	古田 直肇	英語	金 3	103 教室	1 年 文一二(17,22) 文三(16)理一(29,39)
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	「悪の陳腐さ」を通して人間性を探り、「自由」を思索する 本講義では、政治哲学者ハンナ・アーレントの提唱した概念である「悪の陳腐さ (the banality of evil)」と経済学者フリードリッヒ・フォン・ハイエクの提唱した「自由主義 (liberalism)」について受講生とともに思索を深めていきたい。その作業を通して、複雑な思考を英語で理解し、英語で表現する力を涵養していく。 アーレントは、その著書『エルサレムのアイヒマン』において、悪を成すのは、特別な人間ではなく、むしろ普通の人間であると指摘している。もし、アーレントの言うように、凡人こそが邪悪な行為をするのだとすれば、我々は一様に悪に陥る可能性を秘めていることとなる。では、一体、どのようにすれば、我々は、「陳腐な悪」に陥らずに済むのだろうか。学期中、前半部では、様々な角度からこの問いに対して向き合っていくが、特に人間の自由意志について考えを巡らせることが多くなるだろう。 学期の後半は、ハイエクの著作・論文を精読していく。ハイエクの思想のエッセンスを理解することを通して、社会における個人の自由について思索を深めていきたい。ハイエクが人間の自由についてどう考えていたか、この理解を踏み台として受講生には自分の自由論を形作ってもらう。これが学期後半の到達目標である。 受講生は、TED Talk などのインターネットの動画視聴あるいは英文のリーディングを課題として課されるので、事前に配布される Study Questions に答えておくことが求められる。受講生自身が自分の手と頭を使って下調べをして講義に臨んでいることを前提にして、教員は授業を行う。自分の頭で人間性の本質を理解しようと足掻き続けることを厭わないもの、「呻きつつ求める」(パスカル『パンセ』)ものを歓迎したい。 本講義の到達目標は、以下の通りである。 ・「悪の陳腐さ」「自由主義」について、その概念と由来・歴史的背景を正確に理解し、その概要を英語で説明できる。 ・「悪の陳腐さ」「自由主義」に関する自分の見解を、わかりやすい英語で説明できる。 ・「実践知」「自由意志」「決定論」「実存主義」「個人主義」といった概念を正確に理解し、その概要を英語で説明できる。 また、それについての自分の見解を英語で述べるができる。 Attendance and participation: 30% Mid-term exam: 30% Final exam: 40% プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31169	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	ミルズ アンソニー	英語	金 3	10-308	1 年 文一二(17,22) 文三(16)理一(29,39)
講義題目 授業の目標概要	Improving English Language Presentation Skills For many of us it is sometimes necessary to make oral presentations in front of an audience. This happens both at university and in the world outside, We also often need to know how to respond appropriately and constructively to presentations by others and take part in discussions. A lot of people find these activities stressful, especially if the language that is used is not their own first language. This course aims to give the participants practice in making and responding to oral presentations in English. Each student will make three English-language presentations during the course and all students are expected to participate actively in class discussions.						
評価方法	Grades will be calculated according to this system. Attendance is required and you will lose 1% each time you are absent or late to class. Presentations max: 60% (10% for the 1st, 20% for the 2nd, 30% for the 3rd) Active participation max: 20% Written work max. 20% (1 essay of about 500 words, based on the final presentation) TOTAL 100%						
教科書 ガイダンス	There will be no final examination. 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31170	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	ポター サイモン	英語	金 3	153 教室	1 年 文一二(17,22) 文三(16)理一(29,39)
講義題目 授業の目標概要	Exploring the Human Condition through Dialogs The objectives are to get some practice using the English language by reading dialogs in which the speakers talk about important or interesting issues, writing answers to questions about chapter contents, preparing oral presentations, and performing in front of the class. For an overview of the course, please see the "Schedule" below.						
評価方法	Each week students will receive points that reflect their answers to the questions (individual work) and the group presentations, and the grade for the entire course will be based on the summation of these.						
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Dialogs Among Thoughtful Folk 著者（訳者） Moatfield 出版社 Intelligence Gate Enterprises						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

英語中級（クラス指定セメスター型）金 4

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31217	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	ポター サイモン	英語	金 4	153 教室	1 年 文一二(8,26,28) 理二三(21)
講義題目 授業の目標概要		Exploring the Human Condition through Dialogs The objectives are to get some practice using the English language by reading dialogs in which the speakers talk about important or interesting issues, writing answers to questions about chapter contents, preparing oral presentations, and performing in front of the class. For an overview of the course, please see the "Schedule" below.					
評価方法		Each week students will receive points that reflect their answers to the questions (individual work) and the group presentations, and the grade for the entire course will be based on the summation of these.					
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Dialogs Among Thoughtful Folk 著者（訳者） Moatfield 出版社 Intelligence Gate Enterprises					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31218	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	LANDAU Samantha	英語	金 4	155 教室	1 年 文一二(8,26,28) 理二三(21)
講義題目 授業の目標概要		Maritime Economy and the Weird Tale This class will focus on reading a variety of short "weird tales" that concern the maritime economy between the mid-1800s to early WWII, touching on monsters, shipwrecks, and weird sea places. Students will consider how these stories criticize nautical transport, slavery and the slave economy, colonialism, and human greed. This course is designed to engage students in interdisciplinary approaches to reading a text. This course also aims to teach students to deeply consider historical contexts when reading literature. Students who want to understand psychological, economic, or scientific aspects of literature are encouraged to take this course.					
評価方法		Final Report: 40%, Written assignments (Including Mid-term Report): 30%, In-class assignments and participation: 30%					
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 From the Depths and Other Strange Tales of the Sea 著者（訳者） Mike Ashley 出版社 British Library (Tales of the Weird) ISBN 978-0-7123-5236-9					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31219	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	ミルズ アンソニー	英語	金 4	10-308	1 年 文一二(8,26,28) 理二三(21)
講義題目 授業の目標概要		Improving English Language Presentation Skills For many of us it is sometimes necessary to make oral presentations in front of an audience. This happens both at university and in the world outside, We also often need to know how to respond appropriately and constructively to presentations by others and take part in discussions. A lot of people find these activities stressful, especially if the language that is used is not their own first language. This course aims to give the participants practice in making and responding to oral presentations in English. Each student will make three English-language presentations during the course and all students are expected to participate actively in class discussions.					
評価方法		Grades will be calculated according to this system. Attendance is required and you will lose 1% each time you are absent or late to class. Presentations max: 60% (10% for the 1st, 20% for the 2nd, 30% for the 3rd) Active participation max: 20% Written work max. 20% (1 essay of about 500 words, based on the final presentation) TOTAL 100%					
教科書		There will be no final examination. 教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31220	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	勅使河原 三保子	英語	金 4	121 教室	1 年 文一二(8,26,28) 理二三(21)
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	英語で提供された情報の理解と分析 話題性のある事柄や現代社会の諸問題をテーマとしたオンライン記事を読んだり動画を視聴したりすることにより、英語で提供された情報の理解と分析の訓練を行います。同じテーマでも異なる見解に立って書かれた記事を比較したり、主張の根拠となる資料に当たってみたりします。また、様々な訛りのある英語にも触れる機会を持ち、ある程度聞き取れるようになるよう、英語圏以外の訛りのある英語を話す話者の動画も扱います。 テーマごとに行う小テスト (計 50%)、グループワーク (30%)、課題 (20%) 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31221	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	清水 晶子	英語	金 4	10-205	1 年 文一二(8,26,28) 理二三(21)
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	Democracy Now!を議論する アメリカの代表的なインディペンデント・メディアの一つである Democracy Now! (http://www.democracynow.org/) を教材として、リスニング／ディスカッション／プレゼンテーションの練習を行う。この授業の目的は、英語での議論のインプットに慣れること、特定の話題について先行する調査や分析を適切に理解してまとめ、それに基づいて自分の見解を提示する経験を積むことである。 出席重視。宿題、グループワークへの参加・貢献度、および最終プレゼンテーションによって総合的に評価する。学期末試験は実施しない。 通常点において成績が合格に達しなかったとしても、エクストラの課題提出による救済措置は取らない。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31222	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	アンダル ジャクリーン	英語	金 4	149 教室	1 年 文一二(8,26,28) 理二三(21)
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	Politics, Society and Culture This reading and discussion based course will use different texts to develop students' skills in English comprehension and discussion. The course will largely draw on texts related to contemporary politics, society and culture. Students will learn to engage with the language and ideas in the selected texts and to express their views on them in class. Readings for the class will be distributed in class or will be available on line. Assessment includes class participation, individual presentations and written commentaries. 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

英語中級・上級 全クラス型

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30233	S	英語中級	小川 浩之	英語	月 5	156 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		History and Theory of International Relations 英語の学術雑誌に掲載された論文の読解を通して、国際関係の歴史と理論について学ぶ。1 週間で扱う英文は 4～6 ページ程度である。 授業での発表、質疑応答と議論への貢献、期末試験から総合的に評価する。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30234	S	英語中級	サーギル ジェームズ クリストファー	英語	月 5	155 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		Geographies of Horror This course will introduce students to the role of geography in cinematic and literary horror, exploring the ways in which filmmakers and writers have tried to imagine the supernatural qualities of the world that surrounds them. Starting with a short introduction to cultural geography, the classes will move on to discuss specific English language examples of gothic, monstrous and ecological horror. You will be studying the works of a range of influential writers, including; M.R. James, H.P Lovecraft and Shirley Jackson. You will consider how the supernatural entities that appear in horror (ghosts, vampires, zombies etc.) can be seen to tell us about place and environment, expressing the complex relationship between people and the landscapes they inhabit. Using cultural geography as a backdrop for the course, students will examine the impact of horror on the way we think about and describe the threat of the natural world. A number of short readings will provide opportunities for weekly class discussions and presentations in English, and develop comprehension of the texts that accompany the course. Students will be expected to read excerpts and short stories in English on a weekly basis as preparation for in-class activities and presentations. Furthermore, this course aims to help you develop your analytical skills in working with English language texts and audio-visual materials. Attendance, Participation and Engagement: 30% Presentation: 30% Research Paper: 40% 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30235	S	英語中級	加藤 恒昭	英語	月 5	150 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		科学エッセイを読む The Best American Science and Nature Writing 2019 に収録されている科学エッセイ（非専門家向けのエッセイ、分野は偏らないように選択）を読んでいくことを通じて、論述のための構文と文章構成および科学関連語彙に関する理解を深める。週 2,000 語（4-5 頁）程度ずつ読み進んでいき、1~3 週でひとつのエッセイを読み終わる。議論の流れを掴みつつ、大事な部分を丁寧に読んでいくことを心がける。該当箇所はプリントにて配布する（書籍の形で持っていたい場合は参考文献参照）。 語彙力を補強するために、「東大英単」（参考文献参照）より自然科学で用いられることが多い語を選び、小テストを実施する。 予習報告状況、授業時間中の単語小テスト（「授業の方法」参照）、学期末の筆記試験を 20%, 30%, 50% ずつの割合で評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30308	S	英語中級	サーギル ジェームズ クリストファー	英語	火 2	151 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	An Introduction to Cultural Geography This course will provide students with an opportunity to explore the complex terrain of Cultural Geography through English language texts. Starting with an overview of cultural geography, the course will then look at specific cultural, critical and aesthetic theory, helping students to reflect on the relationship between culture, nature and representation. Each class will focus on a particular cultural geographic theme (e.g. the culture-nature divide; mobility; the anthropocene; landscape and memory; urbanism and rurality; folklore and landscape). By the end of the course students will have a comprehensive understanding of the connections between people, landscape and the geographic imagination. The course is designed to develop your critical thinking, discussion and presentation, and reading skills and will therefore require you to read short academic articles and take part in class discussion on a weekly basis. You will be expected to prepare for classes in advance and play an active role in the discussion, presentation and defence of your ideas throughout the course. Students should be prepared to share their ideas with the rest of the class.						
評価方法	Attendance, Participation and Engagement: 30% Presentation: 30% Research Paper: 40%						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30309	S	英語中級	伊藤 たかね	英語	火 2	153 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	英語音声学入門：理屈で学ぶ英語の発音・聞き取り 英語の発音（調音）の仕組みの初歩を学び、英語の音声の特徴や日本語の音声との違いを理解することによって、英語の発音および聞き取りの力を伸ばすことを目指す。 あわせて発音記号も学ぶ。 語学を習得する「カン」があまり良くないけれど、理屈は好き、発音・聞き取りは苦手だけど上達したい、という学生向き。						
評価方法 教科書 ガイダンス	毎回の宿題、小テスト、期末試験で総合的に評価する 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30310	S	英語中級	寺澤 盾	英語	火 2	154 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	プレゼンテーションの基礎 本授業では、英語によって明晰かつ説得力のあるプレゼンテーションを行うことを目標にする。そのために、まず、モデルとなるプレゼンテーションのビデオを視聴し、その後、発表原稿の作成の仕方を学んでいく。併せて、発表に関する質疑応答のスキル、発表をより効果的に行うためのハンドアウトや視覚的資料の用い方についても学んでいく。						
評価方法 教科書 ガイダンス	授業への参加度、提出課題、プレゼンテーションなどを総合して評価する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30311	S	英語中級	松本 和子	英語	火 2	10-201	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	はじめてのニュース英語 ニュース英語を繰り返し聞き、シャドイングを行うことで、ニュース番組で使われている「生の英語」の速さ・発音に慣れることを目指す。 シャドイング・授業参加・試験 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 British News Update 2 著者（訳者） Knowles, Timothy et al. 出版社 金星堂 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30788	S	英語中級	後藤 春美	英語	水 4	153 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	国際関係史（英語講読） Antony Best et al (eds), International history of the twentieth century and beyond (New York: Routledge, 2015) のうち、20 世紀前半の部分を読む。教材は歴史の教科書であるが、歴史の授業ではない。一人で英文を正確に読めるようになることを目標とする。 平常点（授業で訳読を担当した時の出来、予習の有無）と、最終授業時間に行うテストで評価する。なお、出席は平常点に勘案するが、予習をせずに教室に座っているだけでは出席とはみなされない。必ず予習をして授業に臨んでほしい。 その他。／Other その他 初回の方は、プリントを用意して当日教室で配布する。二回目以降は、全体を ITC-LMS にアップするので、各自でダウンロードして欲しい。 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30799	S	英語中級	伊藤 たかね	英語	水 5	155 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	英語音声学入門：理屈で学ぶ英語の発音・聞き取り 英語の発音（調音）の仕組みの初歩を学び、英語の音声の特徴や日本語の音声との違いを理解することによって、英語の発音および聞き取りの力を伸ばすことを目指す。 あわせて発音記号も学ぶ。 語学を習得する「カン」があまり良くないけれど、理屈は好き、発音・聞き取りは苦手だけど上達したい、という学生向き。 毎回の宿題、小テスト、期末試験で総合的に評価する 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30800	S	英語中級	佐藤 光	英語	水 5	122 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	アガサ・クリスティ『パディントン発 4 時 50 分』（ラジオドラマ）を聴く <目標>耳から入る英語に慣れることと、作中で使われる日常会話の英語表現を吸収することを目指します。 <概要>この授業では、Agatha Christie, 4.50 from Paddington をもとに BBC Radio 4 が制作したラジオドラマを聴きます。 ラジオドラマなのでスクリプトは存在しません。また、著作権の関係で、ラジオドラマ CD を複製することもできません。 授業時間を最大限に活用してください。なお、原作を必ず手に入れて、授業と並行して読み進めて下さい。Harper Collins 版、William Morrow Paperbacks 版、Kindle 版などがありますが、Christie の原作であれば、どれを使ってもかまいません。 推理小説、英文学、イギリス文化に興味のある人を歓迎します。						
評価方法 教科書	出席、質問に対する回答、試験から総合的に判断します。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 4.50 from Paddington 著者（訳者） Agatha Christie 出版社 Harper Collins ISBN 0008196583						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30801	S	英語中級	秦 邦生	英語	水 5	153 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	短編小説の精読ならびに映像版との比較 まず英語で短編小説を精読し、その後、それらを原作とする映像作品（短編映画や TV ドラマ）を視聴することで、言語 テキストと映像テキストとの比較を行います。授業全体としては、①英文読解力、②文体や形式に配慮した文学テキスト 解釈、③技法や演出に注目した映像テキスト分析、④双方の深い理解にもとづく原作と映像テキストとの比較、⑤文学か ら映像への「アダプテーション（翻案）」に関する理解という 5 つの力を、実践をつうじてやしなうことを目標とします。						
評価方法 教科書	平常点（発言などを通じた授業への貢献とプレゼンテーション）ならびに期末課題による総合評価。 プリントを配布する。／Will distribute handouts						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31096	S	英語中級	秦 邦生	英語	金 2	152 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	短編小説の精読ならびに映像版との比較 まず英語で短編小説を精読し、その後、それらを原作とする映像作品（短編映画や TV ドラマ）を視聴することで、言語 テキストと映像テキストとの比較を行います。授業全体としては、①英文読解力、②文体や形式に配慮した文学テキスト 解釈、③技法や演出に注目した映像テキスト分析、④双方の深い理解にもとづく原作と映像テキストとの比較、⑤文学か ら映像への「アダプテーション（翻案）」に関する理解という 5 つの力を、実践をつうじてやしなうことを目標とします。						
評価方法 教科書	平常点（発言などを通じた授業への貢献とプレゼンテーション）ならびに期末課題による総合評価。 プリントを配布する。／Will distribute handouts						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31097	S	英語中級	LANDAU Samantha	英語	金 2	155 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	Introduction to American Gothic Fiction This course is an overview introduction to American Gothic fiction. In this class, students will learn to read literature in an interdisciplinary way. They will approach American Gothic through the lens of American social issues and in the context of American history. In addition to stories, students may be introduced to history, social criticism, gender theory, cultural theory, and scientific theories that suit the story we are discussing. Students who want to understand psychological, scientific, or historical aspects of literature are encouraged to take this course. Final Report: 40%, Written assignments (Including Mid-term Report): 30%, In-class assignments and participation: 30% プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31098	S	英語中級	遠藤 泰生	英語	金 2	156 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	アメリカ合衆国黒人逃亡奴隷の自伝を読む 19 世紀アメリカ合衆国の文学の古典に逃亡奴隷が残した自伝があります。その中でも最も有名な Frederick Douglass の自伝を読みます。「自由 (freedom)」が何によって構成されるのか、考えさせる作品になっています。 学期中の小テストと期末テスト。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 The Portable Frederick Douglass 著者 (訳者) Frederick Douglass 出版社 Penguin Classics ISBN 9780143106814 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31099	S	英語中級	田尻 芳樹	英語	金 2	108 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	短編小説を読む この授業では 20 世紀の英語圏のノーベル賞クラスの作家の短編をいくつか精読し、20 世紀の世界の歴史や新しい文学形式に注意を向けながら、英語の読解力増進を図ります。精読の授業ですので、細かいニュアンスも含めてすべてを訳出していきます。その過程で、英語の表現に関して辞書を丹念に調べたり、文脈に応じての意味をじっくり考えたりする訓練をします。 平常の参加度と期末テスト。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31265	S	英語中級	清水 晶子	英語	金 5	10-205	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Democracy Now!を議論する アメリカの代表的なインディペンデント・メディアの一つである Democracy Now! (http://www.democracynow.org/) を教材として、リスニング／ディスカッション／プレゼンテーションの練習を行う。この授業の目的は、英語での議論のインプットに慣れること、特定の話題について先行する調査や分析を適切に理解してまとめ、それに基づいて自分の見解を提示する経験を積むことである。						
評価方法	出席重視。宿題、グループワークへの参加・貢献度、および最終プレゼンテーションによって総合的に評価する。学期末試験は実施しない。						
教科書 ガイダンス	通常点において成績が合格に達しなかったとしても、エクストラの課題提出による救済措置は取らない。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31266	S	英語中級	秦 邦生	英語	金 5	152 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	短編小説の精読ならびに映像版との比較 まず英語で短編小説を精読し、その後、それらを原作とする映像作品（短編映画やTV ドラマ）を視聴することで、言語テキストと映像テキストとの比較を行います。授業全体としては、①英文読解力、②文体や形式に配慮した文学テキスト解釈、③技法や演出に注目した映像テキスト分析、④双方の深い理解にもとづく原作と映像テキストとの比較、⑤文学から映像への「アダプテーション（翻案）」に関する理解という5つの力を、実践をつうじてやしなうことを目標とします。						
評価方法	平常点（発言などを通じた授業への貢献とプレゼンテーション）ならびに期末課題による総合評価。						
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31267	S	英語中級	松本 和子	英語	金 5	10-103	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	社会言語学入門 本演習では、簡単な英語で書かれた社会言語学の入門書を基本書として輪読しながら、社会とことばとの密接な関係への理解を深めていくことを目指す。具体的には、言語変異と変化、スタイル、言語意識、言語選択、社会階級、社会的ネットワーク、実践共同体、ジェンダー、言語接触などに関する基本的な議論に考察を加えていく予定である。受講者は社会言語学に関する事前知識を必要としないが、「ことば」に興味と関心を抱いていることは講義の理解を深める上で役立つ。文献は英書であるが、対象地域はアジアやヨーロッパなど、世界各地に存在する多言語社会、多方言社会に及ぶものであり、英語圏に限定されない。						
評価方法	授業・議論への参加、発表（ハンドアウトを含む）、課題、試験を総合的に評価。						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31268	S	英語中級	LANDAU Samantha	英語	金 5	155 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Literature and Social Criticism In this course, students will learn to read literature through the lens of social issues. Students will read several short stories by American author Shirley Jackson such as "The Lottery" and "Flower Garden" and examine theoretical, political, and historical contexts that underpin the stories. In addition to the stories, they will be introduced to social criticism and cultural theory on race and politics from the 1940s and 1950s. In their discussions, presentations, and written work, students will focus on how to approach literature from an interdisciplinary standpoint, and how to deeply read a story for its context and multiple meanings.					
評価方法 教科書 ガイダンス		Final Report: 40%, Written assignments (Including Mid-term Report): 30%, In-class assignments and participation: 30% プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30236	S	英語上級	トム・ガリー	英語	月 5	151 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Travelers' Tales about Japan After Japan's opening to the world in the mid-19th century, many foreign visitors and residents published accounts of their experiences in the country. In this class, we will read excerpts from books about Japan that were published in Britain and the United States between about 1855 and 1914, and we will discuss what those writings reveal not only about Japan and foreigners' perceptions of Japan but also about how people in general try to understand and describe unfamiliar countries and cultures. The reading passages will be taken from books available for free through the Internet Archive. Some of the passages will be chosen by the students based on their interests.					
評価方法		Students will be graded based on attendance, preparation, class participation, and either a final examination, which will cover the vocabulary and content of the passages read in class, or a final paper, which will be due a few weeks after the semester ends. (The teacher will announce by the middle of the semester whether there will be a final examination or a final paper.)					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

総合科目 L 系列 ドイツ語

ドイツ語初級(演習)①		開講区分	S	
授業の目標・概要	発音練習・聴き取り・文法ドリル・読解や表現の練習などを行い、一列・二列の授業で学習した文法の知識の定着を図る。特に文法と会話の練習に重点を置く。 In dem Kurs werden überwiegend Grammatik- und Gesprächsuebungen durchgefuehrt, die sich an den Themen des Grammatikbuchs in der ersten und zweiten Reihe orientieren.			
成績評価方法	平常点（出席、宿題）および試験によって行う。 Regelmäßige Anfertigung der Hausaufgaben und Tests. Aktive Teilnahme wird vorausgesetzt.			
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 ドイツ語共通教科書 著者（訳者） 東京大学教養学部ドイツ語部会編			
関連ホームページ	http://deutsch.c.u-tokyo.ac.jp/			
※講義の詳細については、UTAS を参照すること				
時間割 コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
30422	火 3	オプヒュルス 鹿島	108 教室	1 年 文一二(22)
30737	水 3	ヘルマン ゴチェフスキ	学際交流ホール	1 年 文三(16)
30767	水 4	クリスティアン クリンク	K114	1 年 文一二(20)
30952	木 3	ククリンスキ ルーベン	149 教室	1 年 文三(15)
30993	木 4	I・カウフマン	112 教室	1 年 文一二(21)
30326	火 2	長木 誠司	155 教室	1 年文科(TLP)
31119	金 2	田中 純	116 教室	1 年文科(TLP)

※TLP 履修者は、対象クラスで「1 年文科(TLP)」と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目 L 系列英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30237	S	ドイツ語初級（演習）	有信 真美菜	ドイツ語	月 5	112 教室	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	ドイツ語初級文法の復習と読解・聞き取り・作文への応用 必修の初級外国語としてドイツ語を受講している理系の1年生を対象とした授業である。共通教科書『Einblicke』で学ぶ文法事項準拠しながら、語彙力の強化、読解、聞き取り、作文の練習を通じて、基礎力の定着とドイツ語の実践を目指す。 平常点とレポート。 レポートの方法や内容は、授業の方法によって変動するため、第1回の授業での相談内容に応じて、授業内で確定する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 ドイツ語共通教科書『Einblicke』第4版（2018年） 著者（訳者） 東京大学教養学部ドイツ語部会編 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2020年04月06日5限／5th Period						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30312	S	ドイツ語初級（演習）	オブヒュルス 鹿島	ドイツ語	火 2	114 教室	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	ドイツ語会話 初めてドイツ語を学ぶ学生をめざし、DVD付きの教科書を使って日常生活における基礎的なドイツ語表現（聞き取り、コミュニケーション能力、単語習得）の運用能力を養う。 Der Zweck dieses Kurses ist es, mit Hilfe von DVDs und entsprechenden Übungen dazu, die kommunikativen Fähigkeiten (Hörverständnis, Sprech- und Kommunikationsfähigkeit, Entwicklung des Vokabulars) der Teilnehmer zu entwickeln. 平常点（出席、宿題）および試験によって行う。 Regelmäßige Anfertigung der Hausaufgaben und Tests. Aktive Teilnahme wird vorausgesetzt. 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 ドイツ語の時間くときめきミュンヘン>(Meine Deutschstunde – Liebesgrüße aus München) 著者（訳者） 清野智昭、時田伊津子、牛山さおり 出版社 朝日出版社 ISBN 9784255253701 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30325	S	ドイツ語初級（演習）	長木 誠司	ドイツ語	火 2	155 教室	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	ドイツ語演習（TLP クラス指定科目） In dem Kurs wird zum einen das in der 1. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt und zum anderen werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs richtet sich an Anfänger ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A1+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の一系列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠のA2のレベルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。 Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. 授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Menschen A1, Kursbuch 著者（訳者） Sandra Evans et al. 出版社 Hueber ISBN 978-3-19-101901-3 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31117	S	ドイツ語初級（演習）	田中 純	ドイツ語	金 2	116 教室	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語演習（TLP クラス指定科目） In dem Kurs wird zum einen das in der 1.und 2. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt und zum anderen werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs richtet sich an Anfänger ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A1+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の第一列・第二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A1 のレベルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。						
評価方法 教科書	授業への積極的な参加、宿題、試験などによって総合的に評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Menschen A1. Kursbuch. Deutsch als Fremdsprache 著者（訳者） Evans, Sandra et al. 出版社 Hueber ISBN 978-3-19-101901-3						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30802	S	ドイツ語初級（会話）	ククリンスキ ルーベン	ドイツ語	水 5	150 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語初級（会話）、Deutsch-Konversation für Anfänger/innen 初めてドイツ語を学ぶ学生をめざし、日常生活における基礎的なドイツ語会話の運用能力を養う。授業の目標はドイツ語圏における認定試験“Goethe Zertifikat A1”に必要なドイツ語能力の養成にある。会話の授業であるため、重点は口頭の練習及び語彙の増やすことにある。 Der Kurs richtet sich an Anfänger/innen. Geübt werden alltägliche Szenen aus dem nahen Lebensumfeld. Ziel ist der Erwerb mündlicher Ausdrucksfähigkeiten auf dem Niveau des Goethe Zertifikats A1. Im Mittelpunkt des Unterrichts stehen direkte Sprechübungen und die Erweiterung des Wortschatzes.						
評価方法	平常点（授業への参加・宿題・出席率）・小テスト・期末試験（口頭試験）を総合的に評価する。中でも授業への積極的な参加を高く評価する。 Mündliche Mitarbeit im Unterricht, die Zwischentests und die mündliche Prüfung werden zusammen verrechnet. Schwerpunkt der Notengebung bildet die mündliche Mitarbeit im Unterricht.						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30313	S	ドイツ語初級（作文）	大石 紀一郎	ドイツ語	火 2	10-303	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語初級作文 ドイツ語の文法学習と並行して学んだ知識を能動的に用いる練習を行い、文法的な規則や語彙の定着を図るとともに、英語をモデルとしないで外国語を学ぶことについて考える機会を提供する。						
評価方法	全体の 3 分の 2 以上の参加を前提として、継続的に出席して積極的に参加した履修者を平常点で評価し、時間内で複数回の筆記試験を実施して、これらを総合的に評価する。						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31100	S	ドイツ語初級（表現練習）	高橋 亮介	ドイツ語	金 2	154 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス ドイツ語初学者を対象とした科目である。基礎的な文法事項を確認しつつ、日常会話でよく使われる表現を学び、自らのスキルとして身につけることに重点を置く。 出席状況、授業参画、中間試験、授業時間を利用した期末試験などの基準に基づき、総合的に評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 入門ドイツ語プラクティッシュ 著者（訳者） 三宅恭子／ミヒャエラ・コッホ 出版社 三修社 ISBN 978-4-384-12263-3 特に行わない。／Will not conduct guidance							

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30248	S	ドイツ語初級 （インテンシヴ）	I・カウフマン	ドイツ語	月 5	10-102	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス ドイツ語演習（TLP クラス指定科目） In dem Kurs wird zum einen das in der 1. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt und zum anderen werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs richtet sich an Anfänger ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A1 des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の一系列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A1 のレベルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。 Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. 授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Menschen A1, Kursbuch 著者（訳者） Evans, Sandra et al. 出版社 Hueber ISBN 978-3-19-101901-3 特に行わない。／Will not conduct guidance							

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30314	S	ドイツ語初級 (インテンシヴ)	ククリンスキ ルーベン	ドイツ語	火 2	103 教室	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語初級 (インテンシヴ) この授業では、必修の一・二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A1 レベルに必要な能力を養うことを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練などを行う。練習の重点は、A1 レベルのドイツ語認定試験に合わせて学習者の語彙を増やすことにある。 Dieser Kurs richtet sich an Anfänger/innen ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache, die zeitgleich in den Kursen der 1.+2. Reihe deutsche Grammatik lernen. In Ergänzung dazu wird in diesem Kurs das grammatische Wissen durch Übungen in den vier Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben in der Praxis gefestigt. Der Kurs zielt das Niveau A1 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens (GER) an. Die Teilnehmer/innen üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. Im Mittelpunkt der Übungen steht die Erweiterung des Wortschatzes im Hinblick auf die Anforderungen des Goethe Zertifikats A1.						
評価方法	授業への参加、宿題、小テスト、期末試験によって総合的に評価する。中でも授業への積極的な参加を高く評価する。 Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Am Semesterende findet eine Überprüfung des Leistungsstandes statt. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. Schwerpunkt der Benotung bildet die aktive Beteiligung am Unterricht.						
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 studio [express] A1 著者 (訳者) Hermann Funk et.al. 出版社 Cornelsen-Verlag ISBN 9783065499712						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30854	S	ドイツ語初級 (インテンシヴ)	ククリンスキ ルーベン	ドイツ語	木 1	149 教室	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語演習 (TLP クラス指定科目) In dem Kurs wird das in der 1.+2. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt, und es werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs richtet sich an Anfänger/innen ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A1+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer/innen üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の一・二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A1 のレベルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。						
評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. 授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。						
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Menschen A1, Kursbuch 著者 (訳者) Evans, Sandra et al. 出版社 Hueber ISBN 978-3-19-101901-3 その他						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30812	S	ドイツ語初級 (インテンシヴ)	I・カウフマン	ドイツ語	木 5	112 教室	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語演習 (TLP クラス指定科目) In dem Kurs wird zum einen das in der 1. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt und zum anderen werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs richtet sich an Anfänger ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A1 des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の一系列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A1 のレベルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。						
評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. 授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。						
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Menschen A1, Kursbuch 著者 (訳者) Evans, Sandra et al. 出版社 Hueber ISBN 978-3-19-101901-3						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31028	S	ドイツ語初級 (インテンシヴ)	ククリンスキ ルーベン	ドイツ語	木 5	149 教室	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語初級 (インテンシヴ) この授業では、必修の一・二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A1 レベルに必要な能力を養うことを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練などを行う。練習の重点は、A1 レベルのドイツ語認定試験に合わせて学習者の語彙を増やすことにある。 Dieser Kurs richtet sich an Anfänger/innen ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache, die zeitgleich in den Kursen der 1.+2. Reihe deutsche Grammatik lernen. In Ergänzung dazu wird in diesem Kurs das grammatische Wissen durch Übungen in den vier Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben in der Praxis gefestigt. Der Kurs zielt das Niveau A1 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens (GER) an. Die Teilnehmer/innen üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. Im Mittelpunkt der Übungen steht die Erweiterung des Wortschatzes im Hinblick auf die Anforderungen des Goethe Zertifikats A1.						
評価方法	授業への参加、宿題、小テスト、期末試験によって総合的に評価する。中でも授業への積極的な参加を高く評価する。 Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Am Semesterende findet eine Überprüfung des Leistungsstandes statt. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. Schwerpunkt der Benotung bildet die aktive Beteiligung am Unterricht.						
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 studio [express] A1 著者 (訳者) Hermann Funk et.al. 出版社 Cornelsen-Verlag ISBN 9783065499712						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31118	S	ドイツ語初級 (インテンシヴ)	ククリンスキ ルーベン	ドイツ語	金 2	103 教室	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語演習 (TLP クラス指定科目) In dem Kurs wird das in der 1.+2. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt, und es werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs richtet sich an Anfänger/innen ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A1+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer/innen üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の一・二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A1 のレベルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。						
評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. 授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。						
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Menschen A1, Kursbuch 著者 (訳者) Evans, Sandra et al. 出版社 Hueber ISBN 978-3-19-101901-3						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31029	S	ドイツ語初級 (第三外国語)	クリスティアン クリンク	ドイツ語	木 5	K114	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Deutsche Grammatik / German Grammar (Anfänger / Beginner) Dieser Kurs ist für Studierende ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache konzipiert (Stufe A1 des Europäischen Referenzrahmens). Im Mittelpunkt steht die Vermittlung der grundlegenden deutschen Grammatik. Durch diverse Übungen sollen grundlegende sprachliche Fähigkeiten (Hören, Lesen, Schreiben, Sprechen) erlernt werden. Der Kurs beginnt im Sommersemester (April) und wird im darauffolgenden Wintersemester (September) fortgeführt. Studenten können sich allerdings auch nur für einen der beiden Kurse einschreiben, sollten aber beachten, dass der Kurs im Sommersemester ein reiner Anfängerkurs und im Wintersemester ein Fortsetzungskurs auf Niveau A1.1 ist. This course is designated for students without any previous knowledge of German (Level A1 of the European Reference Framework). The course focuses on the foundation of the German grammar. Through various exercises, students are taught the essentials of the language (listening, reading, writing, speaking). The course starts in the spring semester (April) and will be continued in the autumn semester (September). Students can take either or both courses, but they should be aware that the course starting in April is a class for complete beginners and the one starting in September requires knowledge of the German language roughly equal to the A1.1 level of the European Reference Framework.						
評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der Qualität der Beiträge im Seminar, den Hausaufgaben und Tests. Relevant for the evaluation are the quality of the contribution in class, homework as well as tests.						
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Menschen A1/1 Kursbuch & Menschen A1/1 Arbeitsbuch 著者 (訳者) Evans, Sandra et al. & Glas-Peters, Sabine et al. 出版社 Hueber, Verlag GmbH & Co. KG ISBN 978-3-19-361901-3 & 978-3-19-311901-8						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31101	S	ドイツ語初級 (第三外国語)	新本 史斉	ドイツ語	金 2	112 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	初習ドイツ語 『リヒトホーフ初級ドイツ文法』（本冊文法、別冊会話練習、朝日出版社）とプリントを用いて、ドイツ語文法の学習を進めつつ、ドイツ語を読む・話す・書く力の基礎を身につけていきます。 文法を一通り学んだ後は、同時代のトピックを扱うテキスト（プリントで配布）の講読を通じて、読む・聞く能力の向上を目指します。						
評価方法 教科書	平常点（宿題、授業内演習への参加、作文提出）および試験によって行う。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 リヒトホーフ、初級ドイツ語文法 著者（訳者） 松鶴、高本他 出版社 朝日出版社 ISBN 978-4--255-25426-5						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30238	S	ドイツ語中級（演習）	高橋 宗五	ドイツ語	月 5	152 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語テキスト講読 皆さんは昨年度一年をかけてドイツ語の初歩を学びました。この授業ではさらに上を目指します。一年生の時に学んだことの復習を兼ねて基本を学び直すと同時に基本的な文法事項、語法や語彙についての理解を深めます。 例えば、um ～ kommen という表現を独和辞典で調べると「～を失う」と説明されています（例えば ums Leben kommen = sterben）。しかし um は「喪失」の対象だけでなく、jn um ～ bitten の um のように「獲得」の対象をも表しますから um ～ kommen は「～を求めてやってくる」という意味にもなります。つまり日本で出ている独和辞典の um ～ kommen の説明はすべて不十分でありその意味では間違っています。この um の例のようにある単語がまったく逆の意味を持つことは珍しくありません。何故そうなのかを基本に立ち返って考え理解する必要があります。ドイツ語の分離動詞の aufessen は英語の動詞熟語 eat up と同じ意味で、「残らず食べる」「平らげる」という意味です。何故 auf や up という副詞的表現が essen/eat に付け加わると「食べる」から「平らげる」へと意味が変化するのでしょうか。auf/up にはどのような意味があるのでしょうか。このようなことをお考えになったことがありますか。ドイツ語の分離動詞や英語の動詞熟語には対応するものが色々あります。英語学習の際に動詞熟語は暗記するよう教わったかもしれませんが、副詞（ドイツ語であれば分離の前綴り）と動詞の基本的な意味が理解できていれば何故そのような意味になるか理解できますから無暗矢鱈と暗記をする必要はなくなります。この授業ではこうした基本的な事柄の理解を深めることに主眼をおきます。 また日本人がドイツ語を学ぶ上で難しいものに副詞があります。auch, doch, noch, nur, schon 等の副詞はそれぞれ too, but/however, still/yet, only, already 等の英語に訳せそうですが、そう簡単ではありません。英語の副詞は単純ですがドイツ語の副詞は微妙なニュアンスを表すことも多く、理解は容易ではありません。英語を母語とする人にとっても難物です。しかし同様の副詞を持つギリシャ語を母語とする人にとっては難しくありません。ドイツ語の副詞は外国人にとって一般に難しいのですが、逆にそうであるからこそ研究が進んでいます。日本にはこの方面の優れた辞書もありますから心配しないで下さい。微妙なニュアンスを表す副詞の理解を深めることも この授業の目標のひとつです。 このほか前置詞や話法の助動詞も日本人には難しい学習事項です。基本的な前置詞は分離動詞の前綴りにもなりその意味で前置詞の基本的な意味を理解することは極めて重要です。しかし基本をしっかり理解すれば難しくはありません。 またドイツ語は個々の単語の意味を明確に定義することが難しいことがしばしばあります。文脈や文章の中に納まって初めてその単語の意味が明確になることの多い言語です。別の言い方をすると辞書に記載されている訳語をそのまま用いても達意の訳文にならないことがよくあります。辞書としてはできるだけ例文の多い辞書をお勧めします。こうしたドイツ語の特質を考えると個々の単語の基本的意味や語法を学ぶことが如何に重要であるかがお分かりいただけると思います。 ドイツ語では動詞の位置を除けば語順はかなり自由な印象があります。それはその通りですが、それでも語順には規則がありますし、同じ単語を使った文章でも語順が異なればニュアンスも異なってきます。語順についても基本を押さえておきたいと思います。 この授業では二三のテキストを読みます。ひとつは Hänsel und Gretel です。ドイツ語としては朗読されれば三四歳の子供にも容易に理解できる水準ですが、しかしそれはこのテキストが外国人のドイツ語学習者にとって容易に理解できることを意味しません。留学から帰ってきた院生ですら理解できなかつたり誤訳したりするほどです。何故か。理由は単純です。その院生たちが、三四歳のドイツ人の子供ならば普通に持っているドイツ語の基本的な理解力を持っていないからです。この授業ではドイツ語のテキストを読みながらドイツ語の基本的な理解を深めます。この Märchen を読み終えたら Thomas Mann か/と Franz Kafka のテキストを読みます。 ドイツ語学習の難しさは学習者の母語が何であるか、それが例えば日本語であるか英語であるかによって異なります。外国語学習は、半年とか一年間特別なコースに通い特訓を受けない限り授業時間の何倍何十倍かの時間を自学自習に費やさなければなりません。この授業ではドイツ語を学ぶ際に日本人が特に気を付けなければならないところに焦点をあて、自学自習にも資するように授業を進めます。 学期末に通常の筆記試験を行い成績評価とします。 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 特に行わない。／Will not conduct guidance						
評価方法 教科書 ガイダンス							

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31120	S	ドイツ語中級（演習）	斉藤 渉	ドイツ語	火 2	115 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語中級演習（TLP クラス指定科目） Der Kurs richtet sich an Lerner mit grundlegenden Kenntnissen der deutschen Sprache. Ziel des Kurses ist es, die Fertigkeiten Sprechen, Hören, Lesen und Schreiben auszubauen und zu festigen, so dass am Ende des Kurses die Stufe B1 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens erreicht wird. Die Lerner sollen dann in der Lage sein, über Themen des alltäglichen Lebens, der Arbeit und Freizeit zu kommunizieren, und über Erfahrungen, Interessen, Ansichten, Ziele und Pläne zu sprechen. この授業は、ドイツ語の基礎知識をもつ学習者を対象とする。授業の目標は、聴く・読む・話す・書くの技能を向上・定着させ、受講終了後にはヨーロッパ言語共通参照枠の B1 レベルに到達することである。受講者は、日常生活、仕事、余暇のさまざまなテーマについてコミュニケーションをおこない、自分の経験、関心、意見、目標、計画などについて説明できるようになる。						
評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt.						
教科書	授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Menschen B1: Deutsch als Fremdsprache / Kursbuch 著者（訳者） Julia Braun-Podeschwa et al. 出版社 Hueber ISBN 978-3192119033						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30684	S	ドイツ語中級（演習）	稲葉 治朗	ドイツ語	水 2	116 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語演習（TLP クラス指定科目） トライリンガル・プログラム用の演習授業。ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）の A2 から始め、最終的には B1 レベルに相当する言語運用能力を養成する。 1 年生で習得した基礎文法をもとに、さまざまな応用練習、読み物、会話などによって補いながら、ドイツ語能力をレベルアップさせる。週 2 回のネイティブ教員（クリンク先生）による授業と連動して、発展的な学習を進める。						
評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs, sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. 授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価します。やむを得ない場合を除き、授業には毎回出席することを前提とします。						
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Menschen A3. Kursbuch. Deutsch als Fremdsprache 著者（訳者） Evans, Sandra et al. 出版社 Hueber ISBN 978-3-19-101901-3						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31102	S	ドイツ語中級（演習）	工藤 達也	ドイツ語	金 2	109 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語テキスト読解 ドイツ語文法の基礎知識をすでに習得した（1 年次のドイツ語必修科目履修済み）学生が、ドイツ語テキストを実践的に読むことを通して、これまで培ったドイツ語能力をさらに発展させる。 テキストの内容は歴史や政治、時事的な話題など、「社会科」的な文献を選ぶ。リクエストがあれば応じるので、積極的に授業に参加してください。						
評価方法	出席と授業に取り組む姿勢（小テスト、発表の回数と質等）を主とする平常点と学期末に行う期末試験の結果を合算して評価する。						
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31269	S	ドイツ語中級（演習）	三宅 晶子	ドイツ語	金 5	106 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ドイツ語中級（演習） 初級文法を学習済みの受講者を対象として、練習問題・DVDを使ったドイツ語会話・中級文法・独作文・テキスト読解等を通して、ドイツ語の総合的な能力のさらなる発展と強化、ドイツ文化の理解を目指します。レベルとしては、欧州言語共通参照枠 A2 ないしはドイツ語検定 3 級（文法全体を勉強し終えたレベル）を確実にし、さらにその上の B 1 ないしは独検 2 級取得可能なレベルを目標とします。					
評価方法 教科書 ガイダンス		積極的な授業参加、小テスト、期末テスト 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30803	S	ドイツ語中級（会話）	クリスティアン クリンク	ドイツ語	水 5	K114	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Konversationskurs (Mittelstufe) - ドイツ語中級（会話） Dieser Kurs ist für Studierende mit Vorkenntnissen der deutschen Sprache konzipiert (Stufe A2-B1 des Europäischen Referenzrahmens). Im Mittelpunkt steht die Entwicklung der Kommunikationsfähigkeit. Die bisher erworbenen sprachlichen Fertigkeiten sollen gefestigt und automatisiert werden. Das Hörverständnis soll verbessert, der Wortschatz erweitert und die Ausdrucksfähigkeit ausgebaut werden. Besonders die mündliche Kommunikation soll gezielt gefördert werden. 初級程度の会話力を持つひとのための授業です。コミュニケーション能力を高めるために、すでに得た会話能力をいっそう確実にし、すらすらと話せるようにしましょう。また、聴き取り能力を向上させ、語彙を増やし、高度な表現力を身につけましょう。					
評価方法		Die Bewertung ergibt sich aus der aktiven Teilnahme im Kurs, den Ergebnissen der Hausaufgaben und einer mündlichen Prüfung am Ende des Semesters. Regelmäßige Anwesenheit wird vorausgesetzt. 授業への積極性、宿題、学期末の口述試験によって評価します。出席は前提とします。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31103	S	ドイツ語中級（作文）	I ・カウフマン	ドイツ語	火 2	108 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ドイツ語中級（作文） Der Kurs richtet sich an Studenten mit Grundkenntnissen der deutschen Sprache. Ziel des Kurses ist die Verbesserung der Schreibfähigkeit im Allgemeinen und das Einüben unterschiedlicher Schreibstile. Wir üben das Schreiben von unterschiedlichen Arten von Texten (z.B. Alltagstexte, Beschreibungen, Inhaltsangaben und Zusammenfassungen, Erörterungen), wobei die Schwerpunktsetzung abhängig von den Interessen und dem Niveau der Teilnehmer erfolgt. Neben Stilmerkmalen der unterschiedlichen Textsorten werden die wesentlichen Mittel zur Herstellung der Textkohärenz besprochen und geübt. 中級の学生向け。書く能力全般を向上させ、さまざまな文体・種類の文章（日常的な文章、描写、要約、論述など）を書く練習をする。そのさい履修者の関心やレベルを重視する。					
評価方法		Evaluiert werden die im Kurs angefertigten schriftlichen Aufgaben. 作文の課題によって評価する。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30222	S	ドイツ語中級 (インテンシヴ)	クリスティアン クリンク	ドイツ語	月 4	K114	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語演習 (TLP クラス指定科目) トラILINGガル・プログラム用の演習授業。ヨーロッパ言語共通参照枠 (CEFR) の A2 から始め、最終的には B1 レベルに相当する言語運用能力を養成する。 1 年生で習得した基礎文法をもとに、さまざまな応用練習、読み物、会話などによって補いながら、ドイツ語能力をレベルアップさせる。週 1 回の日本人教員 (稲葉先生) による授業と連動して、発展的な学習を進める。						
評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs, sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. 授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価します。やむを得ない場合を除き、授業には毎回出席することを前提とします。						
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Menschen B1. Kursbuch. Deutsch als Fremdsprache 著者 (訳者) Braun-Podeschwa, Julia et al. 出版社 Hueber ISBN 978-3-19-211903-3						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31042	S	ドイツ語中級 (インテンシヴ)	I・カウフマン	ドイツ語	水 5	K113	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語中級演習 (TLP クラス指定科目) Der Kurs richtet sich an Lerner mit grundlegenden Kenntnissen der deutschen Sprache. Ziel des Kurses ist es, die Fertigkeiten Sprechen, Hören, Lesen und Schreiben auszubauen und zu festigen, so dass am Ende des Kurses die Stufe B1 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens erreicht wird. Die Lerner sollen dann in der Lage sein, über Themen des alltäglichen Lebens, der Arbeit und Freizeit zu kommunizieren, und über Erfahrungen, Interessen, Ansichten, Ziele und Pläne zu sprechen.						
評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs, der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und 2 Tests. 授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。						
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Menschen B1, Kursbuch 著者 (訳者) Julia Braun-Podeschwa et.al 出版社 Hueber ISBN 978-3-19-211903-3						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30327	S	ドイツ語中級 (インテンシヴ)	I・カウフマン	ドイツ語	金 2	10-204	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語中級演習 (TLP クラス指定科目) Der Kurs richtet sich an Lerner mit grundlegenden Kenntnissen der deutschen Sprache. Ziel des Kurses ist es, die Fertigkeiten Sprechen, Hören, Lesen und Schreiben auszubauen und zu festigen, so dass am Ende des Kurses die Stufe B1 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens erreicht wird. Die Lerner sollen dann in der Lage sein, über Themen des alltäglichen Lebens, der Arbeit und Freizeit zu kommunizieren, und über Erfahrungen, Interessen, Ansichten, Ziele und Pläne zu sprechen.						
評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs, der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und 2 Tests. 授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。						
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Menschen B1, Kursbuch 著者 (訳者) Julia Braun-Podeschwa et.al 出版社 Hueber ISBN 978-3-19-211903-3						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31121	S	ドイツ語中級 (インテンシヴ)	クリスティアン クリンク	ドイツ語	金 2	K114	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	ドイツ語演習 (TLP クラス指定科目)						
授業の目標概要	トライリンガル・プログラム用の演習授業。ヨーロッパ言語共通参照枠 (CEFR) の A2 から始め、最終的には B1 レベルに相当する言語運用能力を養成する。 1 年生で習得した基礎文法をもとに、さまざまな応用練習、読み物、会話などによって補いながら、ドイツ語能力をレベルアップさせる。週 1 回の日本人教員 (稲葉先生) による授業と連動して、発展的な学習を進める。						
評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs, sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. 授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価します。やむを得ない場合を除き、授業には毎回出席することを前提とします。						
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Menschen B1. Kursbuch. Deutsch als Fremdsprache 著者 (訳者) Braun-Podeschwa, Julia et al. 出版社 Hueber ISBN 978-3-19-211903-3						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

総合科目 L 系列 フランス語

フランス語初級(演習)①		開講区分	S	
授業の目標・概要		一列・二列で文法および講読の基礎を学習していることを踏まえ、演習では発音や作文、初歩的な会話の練習、文法や講読の応用練習などを行う。 この授業科目は文科生を対象としたものであるが、理科生に対しては、これに相当するものとして、国際コミュニケーション「フランス語初級（演習）」が開講されているので、積極的に参加してほしい。		
成績評価方法		平常点（宿題、出席、発言等）と期末試験で総合的に評価する。		
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 『Rythmes & communication (リズムコミ！ フランス語会話)』 著者（訳者） アルベリック・ドリブル、ベアトリックス・ファイフ、寺田寅彦 出版社 朝日出版社 ISBN 978-4-225-35275-6		
※講義の詳細については、UTAS を参照すること				
時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
30188	月 4	デルヴロワ ミカエル	10-205	1 年 文一二(26)
30423	火 3	ビゼ	159 教室	1 年 文一二(23)
30657	水 2	ファイフ ベアトリクス	K211	1 年 文一二(27)
30658	水 2	DE VOS PATRICK HENRI	1105 教室	1 年 文一二(28)
30734	水 3	ファイフ ベアトリクス	K211	1 年 文一二(25)
30772	水 4	アルベリック ドリブル	112 教室	1 年 文三(20)
31174	金 3	ビゼ	122 教室	1 年 文三(17)
31175	金 3	CAPEL Mathieu	104 教室	1 年 文三(19)
31225	金 4	マルティネル ルイ	107 教室	1 年 文一二(24)
31229	金 4	アガエス ジュリアン	10-203	1 年 文三(18)
30330	火 2	寺田 寅彦	107 教室	1 年文科(TLP)
30331	火 2	郷原 佳以	112 教室	1 年文科(TLP)

※TLP 履修者は、対象クラスで「1 年文科(TLP)」と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目 L 系列英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30328	S	フランス語初級（演習）	寺田 寅彦	仏語・伊語	火 2	107 教室	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	T L P フランス語演習（1 年次） T L P（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（T L P 用）、そしてイン テンシヴ・コース（T L P 用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。 期末試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Amical Niveau 1 著者（訳者） Sylvie Poisson-Quinton, Evelyne Sirejols 出版社 CLE International ISBN 978-2-09-038602-8 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30329	S	フランス語初級（演習）	郷原 佳以	仏語・伊語	火 2	112 教室	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	T L P フランス語演習（1 年次） T L P（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（T L P 用）、そしてイン テンシヴ・コース（T L P 用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。 期末試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30804	S	フランス語初級（演習）	デルヴロワ ミカエル	仏語・伊語	水 5	10-308	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	フランス語初修 一列・二列での学習内容を踏まえながら、発音や作文、初歩的な会話の練習、文法や講読の応用練習などをおこないま す。文科生の必修授業「フランス語演習」に対応する授業内容を理科生に向けて開く、ということが趣旨です。 平常点（宿題、出席、発言等）と期末試験で総合的に評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 『Rythmes & communication (リズムコミ！ フランス語会話)』 著者（訳者） アルベリック・ドリブル、ベアトリックス・ファイフ、寺田寅彦 出版社 朝日出版社 ISBN 978-4-225-35275-6 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30315	S	フランス語初級（会話）	Vallienne Corinne	仏語・伊語	火 2	113 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	Parlons français ! 会話の例文を読んでからペアで練習します。学生同士のコミュニケーションが中心です。教科書の練習問題をしながら、聞く、読む、話す、書くの4つの能力も鍛えます。初心者を対象とします。 平常点 40 点、期末テスト 60 点 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 SPIRALE NOUVELLE EDITION/LIVRE DE L'ELEVE 著者（訳者） CREPIEUX+CALLEN+TAKASE+NEGISHI 出版社 Hachette FLE ISBN 9782014015812 その他 履修人数に制限をかける場合があるので、教科書を事前に購入しないこと。 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31270	S	フランス語初級（読解）	須藤 佳子	仏語・伊語	金 5	105 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	フランス語読解の基礎力をつける この授業では、初級文法にもとづき基本語彙をもちいて書かれた、フランスの文化や社会についての文章を読んでいきます。 文の構造を正確に把握した訳読をおこなうことで、初級文法の知識を補いつつ定着させ、基本語彙を身につけ、読解の基礎力を養います。 まとまりのある平易な文章を、辞書をたよりに自力で読めるようになることを目指します。 平常点および期末テストにより評価します。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Culture & Actualité - Découvrons la France ! 著者（訳者） 久保田剛史ほか 出版社 朝日出版社 ISBN 978-4-255-35289-3 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30006	S	フランス語初級 （インテンシヴ）	アルベリック ドリブル	仏語・伊語	月 1	K201	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	T L P フランス語インテンシヴ・コース（1 年次） T L P（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（T L P 用）、そしてインテンシヴ・コース（T L P 用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。 期末試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Amical Niveau 1 著者（訳者） Sylvie Poisson-Quinton, Evelyne Sirejols 出版社 CLE International ISBN 978-2-09-038602-8 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30007	S	フランス語初級 (インテンシヴ)	アガエス ジュリアン	仏語・伊語	月 1	10-203	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	T L P フランス語インテンシヴ・コース (1 年次) T L P (トライリンガル・プログラム) 履修生のための授業。一列・二列 (文法と講読)、演習 (T L P 用)、そしてイン テンシヴ・コース (T L P 用) を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。 期末試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Amical Niveau 1 著者 (訳者) Sylvie Poisson-Quinton, Evelyne Sirejols 出版社 CLE International ISBN 978-2-09-038602-8 ガイダンス 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30239	S	フランス語初級 (インテンシヴ)	アルベリック ドリブル	仏語・伊語	月 5	K201	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	フランス語初級 (インテンシヴコース) このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる 2 つの授業のうちの 1 つで、フラ ンス語をより深く勉強したい学生向きに 開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。 ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培う授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用い る授業があります。このクラスを受講する学生は、水曜 5 限の授業 (フランス語初級 (インテンシヴ)、ドリブル) も受 講しなくてはなりません。S セメスターと A セメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して 履修することが望めます。 参加者の規則正しい出席を前提としています。宿題、定期試験によって評価をします。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Interactions 1 - Niveau A1.1 - Livre de l'élève + DVD Rom - 2ème édition 著者 (訳者) Gael Crépieux, Olivier Massé, Jean-Philippe Rousse 出版社 Clé International ISBN 978-2090386974 その他 開講時に指示します (学期開始の時点ですでに教科書が販売されていても初回終了までは購入しないこ と)。 ガイダンス 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30240	S	フランス語初級 (インテンシヴ)	アガエス ジュリアン	仏語・伊語	月 5	10-303	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	フランス語初級 (インテンシヴコース) このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる 2 つの授業のうちの 1 つで、フラ ンス語をより深く勉強したい学生向きに 開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。 ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培う授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用い る授業があります。このクラスを受講する学生は、木曜日 1 限の授業 (フランス語初級 (インテンシヴ)、アガエス) も 受講しなくてはなりません。S セメスターと A セメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通し て履修することが望めます。 春学期の目的: DELF のレベル A1 に達する 参加者の規則正しい出席を前提としています。宿題、定期試験によって評価をします。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Atelier A1 cahier d'activités 著者 (訳者) Marie-Noëlle Cocton, Emilie Pommier, Delphine Ripaud, Marie Rabin 出版社 Didier FLE ISBN 9782278092291 ガイダンス 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30805	S	フランス語初級 (インテンシヴ)	アルベリック ドリブル	仏語・伊語	水 5	112 教室	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	フランス語初級（インテンシヴコース） このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる 2 つの授業のうちの 1 つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに 開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培う授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、水曜 5 限の授業（フランス語初級（インテンシヴ）、ドリブル）も受講しなくてはなりません。S セメスターと A セメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。						
評価方法 教科書	参加者の規則正しい出席を前提としています。宿題、定期試験によって評価をします。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Interactions 1 - Niveau A1.1 - Livre de l'élève + DVD Rom - 2ème édition 著者（訳者） Gael Crépieux, Olivier Massé, Jean-Philippe Rousse 出版社 Clé International ISBN 978-2090386974 その他 開講時に指示します（学期開始の時点ですでに教科書が販売されていても初回終了までは購入しないこと）。						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30850	S	フランス語初級 (インテンシヴ)	アガエス ジュリアン	仏語・伊語	木 1	10-203	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	フランス語初級（インテンシヴコース） このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる 2 つの授業のうちの 1 つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに 開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培う授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、木曜日 1 限の授業（フランス語初級（インテンシヴ）、アガエス）も受講しなくてはなりません。S セメスターと A セメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。						
評価方法 教科書	春学期の目的：DELF のレベル A1 に達する 参加者の規則正しい出席を前提としています。宿題、定期試験によって評価をします。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Atelier A1 cahier d'activités 著者（訳者） Marie-Noëlle Cocton, Emilie Pommier, Delphine Ripaud, Marie Rabin 出版社 Didier FLE ISBN 9782278092291						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31122	S	フランス語初級 (インテンシヴ)	アガエス ジュリアン	仏語・伊語	金 2	10-202	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	T L P フランス語インテンシヴ・コース（1 年次） T L P（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（T L P 用）、そしてインテンシヴ・コース（T L P 用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。						
評価方法 教科書	期末試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Amical Niveau 1 著者（訳者） Sylvie Poisson-Quinton, Evelyne Sirejols 出版社 CLE International ISBN 978-2-09-038602-8						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31275	S	フランス語初級 (インテンシヴ)	アルベリック ドリブル	仏語・伊語	金 5	10-203	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		T L P フランス語インテンシヴ・コース (1 年次) T L P (トライリンガル・プログラム) 履修生のための授業。一列・二列 (文法と講読)、演習 (T L P 用)、そしてイン テンシヴ・コース (T L P 用) を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。 期末試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Amical Niveau 1 著者 (訳者) Sylvie Poisson-Quinton, Evelyne Sirejols 出版社 CLE International ISBN 978-2-09-038602-8 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30806	S	フランス語初級 (第三外国語)	小野 潮	仏語・伊語	水 5	117 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		フランス語初級 フランス語の初級文法の骨格を理解する。 フランス語のテキストを正しく音読できるようにする。 辞書を引きながら簡単なフランス語を理解できるようにする。 学期末の試験 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 新・東京―パリ、初飛行 著者 (訳者) 藤田裕二、藤田知子、Sylvie Gilet 出版社 駿河台出版社 ISBN 978-4-411-01124-4 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30241	S	フランス語初級 (第三外国語)	芹生 尚子	仏語・伊語	金 2	150 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		フランス語初級 (第三外国語) フランス語の初級文法を理解する。フランス語の発音の規則を学び、テキストを音読できるようになる。仏和辞典の引き 方を理解し、購読の基礎を固める。 平常点 (授業への積極的参加、予習) および学期末の試験によって総合的に判断する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 とことんフランス語 著者 (訳者) 山崎吉朗ほか 出版社 朝日出版社 ISBN 978-4-255-35220-6 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30759	S	フランス語中級（演習）	伊達 聖伸	仏語・伊語	水 3	10-103	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	T L P フランス語インテンシヴ・コース（2 年次） T L P（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（T L P 用）、そしてイン テンシヴ・コース（T L P 用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。 期末試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Édito niveau B1 出版社 Didier ガイダンス 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31276	S	フランス語中級（演習）	原 和之	仏語・伊語	金 5	107 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	T L P フランス語インテンシヴ・コース（2 年次） T L P（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（T L P 用）、そしてイン テンシヴ・コース（T L P 用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。 期末試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Édito niveau B1 出版社 Didier ガイダンス 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30316	S	フランス語中級（会話）	ラタンジオ リリアンヌ	仏語・伊語	月 2	10-103	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	中級会話 フランス文化の様々な側面を学ぶとともに、実践的な会話能力を高める。 授業時間中の参加度による平常点と定期試験による。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 ヴレマン 著者（訳者） Liliane Lattanzio, Nao Sawada 出版社 三修社 ISBN 9784384232097 ガイダンス 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31253	S	フランス語中級（作文）	ビゼ	仏語・伊語	金 4	122 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	Composition écrite Ce cours a pour objectif de former et d'entraîner les étudiants à la composition et à la rédaction (en français). Les sujets à partir desquels nous travaillerons seront choisis avec les étudiants (selon le niveau du groupe). Nous étudierons principalement l'emploi des temps du passé en français et travaillerons sur la rédaction de petits récits, à partir notamment du film de Kurosawa Akira, Rashomon.. Deux travaux seront notés en cours de semestre (contrôle continu), et un examen écrit à la fin du semestre (contrôle final). 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31205	S	フランス語中級（表現練習）	マルティネル ルイ	仏語・伊語	金 3	107 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	“Apprendre le français par le cinéma, la littérature francophones” 映画とフランス語圏文学で学ぶ仏語						
授業の目標概要	Ce cours vous propose d'apprendre le français par le cinéma francophone. Au programme, films et documentaires francophones. En fonction du programme, du temps, de votre progression. Ce n'est pas “une séance cinéma”. Après chaque film (1 ou 2 par semestre), il faut réaliser des travaux, des présentations écrites et orales (fiche technique, résumé, analyse, présentation de personnages, de pays francophones, de thèmes sociaux, culturels, ...) sur des modèles donnés. Avec le professeur en activité-classe, il faut travailler sur des documents pédagogiques (fiche de vocabulaire, de grammaire, d'expressions orales (extraits de films), écrites (répliques, chansons à lire, mémoriser, jouer). フランス語圏の映画を教材にしてフランス語を学ぶ 授業では仏語の映画やドキュメンタリーを見ます。皆さんの理解具合にあわせて進めます。授業は映画鑑賞会ではないので、見た後に（学期に 1 本か 2 本）筆記や口頭で発表をしていただきます（テクニカルな特徴、要約、分析、人物紹介、国の紹介、社会や文化の紹介など）。単語、文法、口頭表現（映画から）や、筆記表現（表現、歌などを読み覚えて使ってみる）をそれぞれ学びます。						
評価方法	Participation (10 pts), Présentation orale (10 pts X 3) Présentation écrite (20 pts X 3) = 100 points 授業での貢献（10 点）、口頭発表（10 × 3 点）、筆記試験（20 × 3 点）で 合計 100 点						
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30754	S	フランス語中級（読解）	王寺 賢太	仏語・伊語	木 2	514 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	ジャン・イポリット「インフォメーションとコミュニケーション」を読むー現代言語思想へのイントロダクション						
授業の目標概要	第二次世界大戦後のフランス哲学界の重鎮で、ヘーゲル注釈やハイデガー哲学の導入で大きな貢献をした、ジャン・イポリットは晩年、同時代の言語論に旺盛な関心を示した。本講義では、このイポリットの 1967 年の講演「インフォメーションとコミュニケーション」の抜粋をフランス語で精読する。この講演は、＜インフォメーションとコミュニケーション＞と題された第一部と、「人間的言語活動と人間的コミュニケーションの独自性 授業では、イポリット「インフォメーションとコミュニケーション」をプリントで配布し、この抜粋の訳読を中心に進める。前半は、「理系」的な情報学・遺伝学の議論、後半は、言語学（パンヴェニスト）・哲学（フッサール）・精神分析（ラカン）の議論など「文系」の分野に重点が置かれている。この講演録の読解を通じて、現代フランス語の論説文の読解力を身につけることが第一の目標である。イポリットは、この講演で、同時代の諸分野の議論を、非専門家向けに専門的術語をできるだけ用いずに解説することをモットーとしており、予備知識のない者にも、20 世紀後半から現代にかけての言語をめぐる考察の展望を得るためには格好のテキストとなっている。したがって、この授業を通じて、フランス語で言語論に動員されるさまざまな基本的術語、基本概念を身に着けることもできるだろう。						
評価方法	授業での訳読と期末の課題を総合して評価する。						
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 dans "Figures de la pensée philosophique", p. 928-971. 著者（訳者） Jean Hyppolite, "Information et communication" 出版社 Presses universitaires de France ISBN 2 13 043886 5 その他 原書購入の必要はありません						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance 初回授業にて						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30084	S	フランス語中級 (インテンシヴ)	アルベリック ドリブル	仏語・伊語	月 2	K201	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	T L P フランス語インテンシヴ・コース (2 年次) T L P (トライリンガル・プログラム) 履修生のための授業。一列・二列 (文法と講読)、演習 (T L P 用)、そしてイン テンシヴ・コース (T L P 用) を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。 期末試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Édito niveau B1 出版社 Didier ガイダンス 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30223	S	フランス語中級 (インテンシヴ)	アガエス ジュリアン	仏語・伊語	月 4	10-303	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	T L P フランス語インテンシヴ・コース (2 年次) T L P (トライリンガル・プログラム) 履修生のための授業。一列・二列 (文法と講読)、演習 (T L P 用)、そしてイン テンシヴ・コース (T L P 用) を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。 期末試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Édito niveau B1 出版社 Didier ガイダンス 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30454	S	フランス語中級 (インテンシヴ)	DE VOS PATRICK HENRI	仏語・伊語	火 3	116 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	Pratique intensive du français Ce cours s'attachera à consolider les bases syntaxiques et lexicales déjà acquises et à les enrichir à travers divers types d'exercices de compréhension et d'expression orale. Des exercices écrits seront aussi proposés qui seront suivis de leur exploitation dans l'échange de la parole. On s'y consacrera aussi à la pratique de l'exposé et de la discussion à partir de sujets choisis en commun. Les matériaux seront divers: textes, chansons, films, etc. et dépendront des pôles d'intérêt des étudiants. 1. Contrôle continu (exposé et participation au cours) 2. Devoir final. 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30972	S	フランス語中級 (インテンシヴ)	ビゼ	仏語・伊語	木 3	10-202	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	Cours de français intensif Ce cours a pour objectif d'encourager les étudiants à parler français à travers des exercices et des performances improvisées. Le contrôle est CONTINU. Les étudiants sont donc évalués pour trois ou quatre travaux PENDANT LES COURS. Il n'y a pas d'examen final. 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31043	S	フランス語中級 (インテンシヴ)	アガエス ジュリアン	仏語・伊語	木 5	10-203	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	T L P フランス語インテンシヴ・コース (2 年次) T L P (トライリングル・プログラム) 履修生のための授業。一列・二列 (文法と講読)、演習 (T L P 用)、そしてインテンシヴ・コース (T L P 用) を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。 期末試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Édito niveau B1 出版社 Didier 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31208	S	フランス語中級 (インテンシヴ)	アルベリック ドリブル	仏語・伊語	金 3	10-203	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	T L P フランス語インテンシヴ・コース (2 年次) T L P (トライリングル・プログラム) 履修生のための授業。一列・二列 (文法と講読)、演習 (T L P 用)、そしてインテンシヴ・コース (T L P 用) を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。 期末試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Édito niveau B1 出版社 Didier 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30293	S	フランス語上級 (会話)	アガエス ジュリアン	仏語・伊語	火 1	10-203	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		Cours de conversation en français niveau avancé (DELF B1/B2 et plus) Nous allons étudier l'actualité des pays francophones et discuter à propos de sujets et de thèmes variés. Nous demanderons également aux étudiants de participer à l'élaboration du programme afin d'étudier des thématiques qui les concernent et pour lesquelles ils ont un intérêt. Examen final, présentations, rapports, attitude et participation en classe, absences. 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31295	S	フランス語上級 (読解)	原 和之	仏語・伊語	月 4	158 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		研究のフランス語への招待 学部後期課程の研究で必要になる水準のフランス語読解能力を身につける。 平常点および期末試験によって総合的に評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

総合科目 L 系列 中国語

中国語初級(演習)①			開講区分	S
授業の目標・概要 一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。一年を通して基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とするため、授業ではできるだけ中国語を使用する。 注意事項：クラス別に開講するので、自分のクラスの演習を履修すること。 成績評価方法 期末試験と小テストなど 教科書 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 漢語課本 聴解・会話演習テキスト 著者（訳者） 毛 興華 ※講義の詳細については、UTAS を参照すること				
時間割 コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
30047	月 2	林 立梅	157 教室	1 年 文一二(16)
30181	月 4	毛 興華	105 教室	1 年 文一二(13)
30192	月 4	賈 黎黎	107 教室	1 年 文三(11)
30420	火 3	喬 志航	112 教室	1 年 文一二(19)
30764	水 4	中原 裕貴	152 教室	1 年 文一二(15)
30883	木 2	鄧 芳	105 教室	1 年 文一二(17)
30888	木 2	王 前	112 教室	1 年 文三(12)
30998	木 4	柴 森	162 教室	1 年 文三(13)
31062	金 1	斉 金英	121 教室	1 年 文一二(18)
31163	金 3	張 玉萍	105 教室	1 年 文一二(14)
31173	金 3	李 雲	162 教室	1 年 文三(14)

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30294	S	中国語初級（演習）	李 洵	中国語	火 1	106 教室	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	中国語の基礎を固める理系生のためのトレーニング 1 年理系生を対象とした演習授業である。 一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とし、授業ではできるだけ中国語を使用する。 出席(10%)、平常点(10%)、期末試験(80%)で総合的に評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 漢語課本 聴解・会話演習テキスト 著者（訳者） 毛興華 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31123	S	中国語初級 （表現練習）	鄧 芳	中国語	金 2	151 教室	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	TLP 中国語 理系生のための基礎トレーニング TLP（トライリンガル・プログラム）理系履修生のための科目。中国語一列・二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。TLP 修了必須科目ではないが、できるだけ参加することが望ましい。 期末試験と小テストなど 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 『汉语纵横 精读』 ○級 著者（訳者） 马燕华 出版社 北京语言大学出版社 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30004	S	中国語初級 （インテンシヴ）	林 立梅	中国語	月 1	157 教室	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	中国語の実践能力を養うためのトレーニング E 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。月曜日 1 限（林立梅教員）と金曜日 2 限（王英輝教員）をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』） 実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。今学期は 5 クラス開講し各クラス定員を 2 0 名までとする。希望者多数の場合は抽選を行う。各クラスの組み合わせは下記のとおり。 【A】担当教員：賈黎黎 開講曜限：木 5 と金 2 抽選日：4 月 9 日（木）5 限 【B】担当教員：毛興華 開講曜限：月 5 と木 1 抽選日：4 月 6 日（月）5 限 【C】担当教員：賈黎黎 開講曜限：月 5 と水 5 抽選日：4 月 6 日（月）5 限 【D】担当教員：毛興華 開講曜限：火 2 と金 2 抽選日：4 月 7 日（火）2 限 【E】担当教員：林立梅・王英輝 開講曜限：月 1 と金 2 抽選日：4 月 6 日（月）1 限 ☆初回の授業でクラス分け（人数多数の場合には抽選）を行うため必ず出席をすること。 ☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。 【注意事項】 抽選で履修が認められた者は必ずそのクラスを履修すること。他のクラスの抽選に参加することを認めない。 抽選に漏れた者は、他の授業の抽選に参加することが可能である。 期末試験など 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 聞いて話す 初級中国語インテンシヴ 著者（訳者） 小嶋美由紀・李佳樑 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30242	S	中国語初級 (インテンシヴ)	毛 興華	中国語	月 5	105 教室	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語の実践能力を養うためのトレーニング B 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。月曜日 5 限と木曜日 1 限をセットで履修することを義務付ける。(参照『履修の手引き』) 実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。今学期は 5 クラス開講し各クラス定員を 20 名までとする。希望者多数の場合は抽選を行う。各クラスの組み合わせは下記のとおり。 【A】担当教員：賈黎黎 開講曜限：木 5 と金 2 抽選日：4 月 9 日（木）5 限 【B】担当教員：毛興華 開講曜限：月 5 と木 1 抽選日：4 月 6 日（月）5 限 【C】担当教員：賈黎黎 開講曜限：月 5 と水 5 抽選日：4 月 6 日（月）5 限 【D】担当教員：毛興華 開講曜限：火 2 と金 2 抽選日：4 月 7 日（火）2 限 【E】担当教員：林立梅・王英輝 開講曜限：月 1 と金 2 抽選日：4 月 6 日（月）1 限 ☆初回の授業でクラス分け（人数多数の場合には抽選）を行うため必ず出席をすること。 ☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。 【注意事項】 抽選で履修が認められた者は必ずそのクラスを履修すること。他のクラスの抽選に参加することを認めない。 抽選に漏れた者は、他の授業の抽選に参加することが可能である。						
評価方法 教科書	期末試験など 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 聞いて話す 初級中国語インテンシヴ 著者（訳者） 小嶋美由紀・李佳樑						
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30243	S	中国語初級 (インテンシヴ)	賈 黎黎	中国語	月 5	107 教室	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語の実践能力を養うためのトレーニング C 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。月曜日 5 限と水曜日 5 限をセットで履修することを義務付ける。(参照『履修の手引き』) 実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。今学期は 5 クラス開講し各クラス定員を 20 名までとする。希望者多数の場合は抽選を行う。各クラスの組み合わせは下記のとおり。 【A】担当教員：賈黎黎 開講曜限：木 5 と金 2 抽選日：4 月 9 日（木）5 限 【B】担当教員：毛興華 開講曜限：月 5 と木 1 抽選日：4 月 6 日（月）5 限 【C】担当教員：賈黎黎 開講曜限：月 5 と水 5 抽選日：4 月 6 日（月）5 限 【D】担当教員：毛興華 開講曜限：火 2 と金 2 抽選日：4 月 7 日（火）2 限 【E】担当教員：林立梅・王英輝 開講曜限：月 1 と金 2 抽選日：4 月 6 日（月）1 限 ☆初回の授業でクラス分け（人数多数の場合には抽選）を行うため必ず出席をすること。 ☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。 【注意事項】 抽選で履修が認められた者は必ずそのクラスを履修すること。他のクラスの抽選に参加することを認めない。 抽選に漏れた者は、他の授業の抽選に参加することが可能である。						
評価方法 教科書	期末試験など 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 聞いて話す 初級中国語インテンシヴ 著者（訳者） 小嶋美由紀・李佳樑						
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30317	S	中国語初級 (インテンシヴ)	毛 興華	中国語	火 2	152 教室	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語の実践能力を養うためのトレーニング D 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。火曜日 2 限と金曜日 2 限をセットで履修することを義務付ける。(参照『履修の手引き』) 実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。今学期は 5 クラス開講し各クラス定員を 20 名までとする。希望者多数の場合は抽選を行う。各クラスの組み合わせは下記のとおり。 【A】担当教員：賈黎黎 開講曜限：木 5 と金 2 抽選日：4 月 9 日 (木) 5 限 【B】担当教員：毛興華 開講曜限：月 5 と木 1 抽選日：4 月 6 日 (月) 5 限 【C】担当教員：賈黎黎 開講曜限：月 5 と水 5 抽選日：4 月 6 日 (月) 5 限 【D】担当教員：毛興華 開講曜限：火 2 と金 2 抽選日：4 月 7 日 (火) 2 限 【E】担当教員：林立梅・王英輝 開講曜限：月 1 と金 2 抽選日：4 月 6 日 (月) 1 限 ☆初回の授業でクラス分け (人数多数の場合には抽選) を行うため必ず出席をすること。 ☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。 【注意事項】 抽選で履修が認められた者は必ずそのクラスを履修すること。他のクラスの抽選に参加することを認めない。 抽選に漏れた者は、他の授業の抽選に参加することが可能である。						
評価方法 教科書	期末試験など 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 聞いて話す 初級中国語インテンシヴ 著者 (訳者) 小嶋美由紀・李佳樑						
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30332	S	中国語初級 (インテンシヴ)	白 春花	中国語	火 2	102 教室	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLP 中国語実践トレーニング (初級会話) この授業はトライリンガル・プログラム (TLP) の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。 特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。						
評価方法 教科書	授業態度・小テスト・期末試験等を総合的に評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 汉语縦横 会話 0 級 第二版 著者 (訳者) 盛双霞 出版社 北京言語大学出版社						
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time 追って連絡をする。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30333	S	中国語初級 (インテンシヴ)	鄧 芳	中国語	火 2	118 教室	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLP 中国語実践トレーニング (初級会話) この授業はトライリンガル・プログラム (TLP) の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。 特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。						
評価方法 教科書	授業態度・小テスト・期末試験等を総合的に評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 汉语縦横 会話 0 級 第二版 著者 (訳者) 盛双霞 出版社 北京言語大学出版社						
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time 追って連絡をする。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30334	S	中国語初級 (インテンシヴ)	菊池 真純	中国語	火 2	158 教室	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLP 中国語実践トレーニング (初級会話) この授業はトライリンガル・プログラム (TLP) の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。 特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。						
評価方法 教科書	授業態度・小テスト・期末試験等を総合的に評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 汉语縦横 会話 0 級 第二版 著者 (訳者) 盛双霞 出版社 北京言語大学出版社						
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time 追って連絡をする。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30807	S	中国語初級 (インテンシヴ)	賈 黎黎	中国語	水 5	114 教室	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語の実践能力を養うためのトレーニング C 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。月曜日 5 限と水曜日 5 限をセットで履修することを義務付ける。(参照『履修の手引き』) 実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。今学期は 5 クラス開講し各クラス定員を 20 名までとする。希望者多数の場合は抽選を行う。各クラスの組み合わせは下記のとおり。 【A】担当教員：賈黎黎 開講曜限：木 5 と金 2 抽選日：4 月 9 日（木）5 限 【B】担当教員：毛興華 開講曜限：月 5 と木 1 抽選日：4 月 6 日（月）5 限 【C】担当教員：賈黎黎 開講曜限：月 5 と水 5 抽選日：4 月 6 日（月）5 限 【D】担当教員：毛興華 開講曜限：火 2 と金 2 抽選日：4 月 7 日（火）2 限 【E】担当教員：林立梅・王英輝 開講曜限：月 1 と金 2 抽選日：4 月 6 日（月）1 限 ☆初回の授業でクラス分け（人数多数の場合には抽選）を行うため必ず出席をすること。 ☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。 【注意事項】 抽選で履修が認められた者は必ずそのクラスを履修すること。他のクラスの抽選に参加することを認めない。 抽選に漏れた者は、他の授業の抽選に参加することが可能である。						
評価方法 教科書	期末試験など 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 聞いて話す 初級中国語インテンシヴ 著者（訳者） 小嶋美由紀・李佳樑						
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30851	S	中国語初級 (インテンシヴ)	毛 興華	中国語	木 1	102 教室	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語の実践能力を養うためのトレーニング B 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。月曜日 5 限と木曜日 1 限をセットで履修することを義務付ける。(参照『履修の手引き』) 実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。今学期は 5 クラス開講し各クラス定員を 20 名までとする。希望者多数の場合は抽選を行う。各クラスの組み合わせは下記のとおり。 【A】担当教員：賈黎黎 開講曜限：木 5 と金 2 抽選日：4 月 9 日（木）5 限 【B】担当教員：毛興華 開講曜限：月 5 と木 1 抽選日：4 月 6 日（月）5 限 【C】担当教員：賈黎黎 開講曜限：月 5 と水 5 抽選日：4 月 6 日（月）5 限 【D】担当教員：毛興華 開講曜限：火 2 と金 2 抽選日：4 月 7 日（火）2 限 【E】担当教員：林立梅・王英輝 開講曜限：月 1 と金 2 抽選日：4 月 6 日（月）1 限 ☆初回の授業でクラス分け（人数多数の場合には抽選）を行うため必ず出席をすること。 ☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。 【注意事項】 抽選で履修が認められた者は必ずそのクラスを履修すること。他のクラスの抽選に参加することを認めない。 抽選に漏れた者は、他の授業の抽選に参加することが可能である。						
評価方法 教科書	期末試験など 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 聞いて話す 初級中国語インテンシヴ 著者（訳者） 小嶋美由紀・李佳樑						
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30855	S	中国語初級 (インテンシヴ)	白 春花	中国語	木 1	150 教室	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	TLP 中国語実践トレーニング (初級リスニング) この授業はトライリンガル・プログラム (TLP) の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。 授業態度・小テスト・期末試験等を総合的に評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 汉语縦横 聴力 0 級 第二版 出版社 北京言語大学出版社 ガイダンス 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30856	S	中国語初級 (インテンシヴ)	李 彦銘	中国語	木 1	151 教室	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	TLP 中国語実践トレーニング (初級リスニング) この授業はトライリンガル・プログラム (TLP) の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。 授業態度・小テスト・期末試験等を総合的に評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 汉语縦横 聴力 0 級 第二版 出版社 北京言語大学出版社 ガイダンス 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30974	S	中国語初級 (インテンシヴ)	菊池 真純	中国語	木 3	105 教室	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	TLP 中国語実践トレーニング (初級リスニング) この授業はトライリンガル・プログラム (TLP) の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。 授業態度・小テスト・期末試験等を総合的に評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 汉语縦横 聴力 0 級 第二版 出版社 北京言語大学出版社 ガイダンス 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31030	S	中国語初級 (インテンシヴ)	賈 黎黎	中国語	木 5	106 教室	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語の実践能力を養うためのトレーニング A 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。木曜日 5 限と金曜日 2 限をセットで履修することを義務付ける。(参照『履修の手引き』) 実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。今学期は 5 クラス開講し各クラス定員を 20 名までとする。希望者多数の場合は抽選を行う。各クラスの組み合わせは下記のとおり。 【A】担当教員：賈黎黎 開講曜限：木 5 と金 2 抽選日：4 月 9 日（木）5 限 【B】担当教員：毛興華 開講曜限：月 5 と木 1 抽選日：4 月 6 日（月）5 限 【C】担当教員：賈黎黎 開講曜限：月 5 と水 5 抽選日：4 月 6 日（月）5 限 【D】担当教員：毛興華 開講曜限：火 2 と金 2 抽選日：4 月 7 日（火）2 限 【E】担当教員：林立梅・王英輝 開講曜限：月 1 と金 2 抽選日：4 月 6 日（月）1 限 ☆初回の授業でクラス分け（人数多数の場合には抽選）を行うため必ず出席をすること。 ☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。 【注意事項】 抽選で履修が認められた者は必ずそのクラスを履修すること。他のクラスの抽選に参加することを認めない。 抽選に漏れた者は、他の授業の抽選に参加することが可能である。						
評価方法 教科書	期末試験など 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 聞いて話す 初級中国語インテンシヴ 著者（訳者） 小嶋美由紀・李佳樑						
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31104	S	中国語初級 (インテンシヴ)	毛 興華	中国語	金 2	164 教室	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語の実践能力を養うためのトレーニング D 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。火曜日 2 限と金曜日 2 限をセットで履修することを義務付ける。(参照『履修の手引き』) 実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。今学期は 5 クラス開講し各クラス定員を 20 名までとする。希望者多数の場合は抽選を行う。各クラスの組み合わせは下記のとおり。 【A】担当教員：賈黎黎 開講曜限：木 5 と金 2 抽選日：4 月 9 日（木）5 限 【B】担当教員：毛興華 開講曜限：月 5 と木 1 抽選日：4 月 6 日（月）5 限 【C】担当教員：賈黎黎 開講曜限：月 5 と水 5 抽選日：4 月 6 日（月）5 限 【D】担当教員：毛興華 開講曜限：火 2 と金 2 抽選日：4 月 7 日（火）2 限 【E】担当教員：林立梅・王英輝 開講曜限：月 1 と金 2 抽選日：4 月 6 日（月）1 限 ☆初回の授業でクラス分け（人数多数の場合には抽選）を行うため必ず出席をすること。 ☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。 【注意事項】 抽選で履修が認められた者は必ずそのクラスを履修すること。他のクラスの抽選に参加することを認めない。 抽選に漏れた者は、他の授業の抽選に参加することが可能である。						
評価方法 教科書	期末試験など 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 聞いて話す 初級中国語インテンシヴ 著者（訳者） 小嶋美由紀・李佳樑						
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31105	S	中国語初級 (インテンシヴ)	王 英輝	中国語	金 2	104 教室	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語の実践能力を養うためのトレーニング E 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。月曜日 1 限（林立梅教員）と金曜日 2 限（王英輝教員）をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』） 実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。今学期は 5 クラス開講し各クラス定員を 20 名までとする。希望者多数の場合は抽選を行う。各クラスの組み合わせは下記のとおり。 【A】担当教員：賈黎黎 開講曜限：木 5 と金 2 抽選日：4 月 9 日（木）5 限 【B】担当教員：毛興華 開講曜限：月 5 と木 1 抽選日：4 月 6 日（月）5 限 【C】担当教員：賈黎黎 開講曜限：月 5 と水 5 抽選日：4 月 6 日（月）5 限 【D】担当教員：毛興華 開講曜限：火 2 と金 2 抽選日：4 月 7 日（火）2 限 【E】担当教員：林立梅・王英輝 開講曜限：月 1 と金 2 抽選日：4 月 6 日（月）1 限 ☆初回の授業でクラス分け（人数多数の場合には抽選）を行うため必ず出席をすること。 ☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。 【注意事項】 抽選で履修が認められた者は必ずそのクラスを履修すること。他のクラスの抽選に参加することを認めない。 抽選に漏れた者は、他の授業の抽選に参加することが可能である。						
評価方法 教科書	期末試験など 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 聞いて話す 初級中国語インテンシヴ 著者（訳者） 小嶋美由紀・李佳樑						
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31106	S	中国語初級 (インテンシヴ)	賈 黎黎	中国語	金 2	157 教室	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語の実践能力を養うためのトレーニング A 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。木曜日 5 限と金曜日 2 限をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』） 実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。今学期は 5 クラス開講し各クラス定員を 20 名までとする。希望者多数の場合は抽選を行う。各クラスの組み合わせは下記のとおり。 【A】担当教員：賈黎黎 開講曜限：木 5 と金 2 抽選日：4 月 9 日（木）5 限 【B】担当教員：毛興華 開講曜限：月 5 と木 1 抽選日：4 月 6 日（月）5 限 【C】担当教員：賈黎黎 開講曜限：月 5 と水 5 抽選日：4 月 6 日（月）5 限 【D】担当教員：毛興華 開講曜限：火 2 と金 2 抽選日：4 月 7 日（火）2 限 【E】担当教員：林立梅・王英輝 開講曜限：月 1 と金 2 抽選日：4 月 6 日（月）1 限 ☆初回の授業でクラス分け（人数多数の場合には抽選）を行うため必ず出席をすること。 ☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。 【注意事項】 抽選で履修が認められた者は必ずそのクラスを履修すること。他のクラスの抽選に参加することを認めない。 抽選に漏れた者は、他の授業の抽選に参加することが可能である。						
評価方法 教科書	期末試験など 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 聞いて話す 初級中国語インテンシヴ 著者（訳者） 小嶋美由紀・李佳樑						
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30159	S	中国語初級 (第三外国語)	林 立梅	中国語	月 3	156 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国語入門 中国語学習の重要な基礎となる”発音”と”文法”を学ぶ。半年間のみの授業なので、続けて学習をしたい者は A セメスターに別の教員によって同じテキストで開講される、第三外国語の授業を継続的に履修することが可能である。授業の性質上 50 名を定員とする。初回授業で定員を超えている場合に抽選を行うので履修希望者は必ず出席をすること。					
評価方法 教科書		期末試験など 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 北京の風 著者（訳者） 木村英樹・小野秀樹・陳蓉 著 出版社 白帝社 ISBN 9784891742492					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31031	S	中国語初級 (第三外国語)	毛 興華	中国語	木 5	102 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国語入門 中国語学習の重要な基礎となる”発音”と”文法”を学ぶ。半年間のみの授業なので、続けて学習をしたい者は A セメスターに別の教員によって同じテキストで開講される、第三外国語の授業を継続的に履修することが可能である。授業の性質上 50 名を定員とする。初回授業で定員を超えている場合に抽選を行うので履修希望者は必ず出席をすること。					
評価方法 教科書		期末試験など 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 北京の風 著者（訳者） 木村英樹・小野秀樹・陳蓉 著 出版社 白帝社 ISBN 9784891742492					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31107	S	中国語初級 (第三外国語)	張 玉萍	中国語	金 2	105 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国語の基礎 この授業は直接教授法を取り入れ、基本的に中国語で中国語を教えるものである。教員の一方的な説明に終始することなく、学生とのやり取りや学生同士の様々な形の練習を通して、中国語の表現力・思考力を次第に身につけるようにする。PEAK の学生向けとなっているため、できるだけ日本語は使わずに中国語で講義をする。S セメスターは I、A セメスターはその続きの II である。					
評価方法 教科書		期末試験と小テスト・中国語での発表および授業参加など 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 『おぼえチャイナ I 』 著者（訳者） 八木章好 鄭麗媚 出版社 朝日出版社					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30083	S	中国語中級（演習）	鍾 非	中国語	月 2	158 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語作文と和訳 中国語作文（奇数週）と和訳（偶数週）を隔週で行う。前者はいろいろなレベルの中国語作文（和文中訳）。後者は近年出版された中国語の単行本（経済・政治・社会；向こうの出版社）を拼音（ピンイン）に基づき正確に朗読した後（もちろん、本には拼音表記なし）、流麗に和訳してゆく（中文和訳）。「いろいろ」と主張しただけに、受講者に「作文に終着駅などない」ことを強く気づかせる（＝自称「上級者」の出端を挫く）。「和訳」である以上、みなさまに本格的な日本語訳の醍醐味を存分に味わわせる。ありとあらゆるレベルの受講者に対応可能。日中両国の慣用句・ことわざ・熟語・成語などを習慣的且つ瞬間的に言う・書く技を身に付けさせる。						
評価方法 教科書 ガイダンス	出席を含む平常点。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30085	S	中国語中級（演習）	菊池 真純	中国語	月 2	102 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLP 中国語 読解を中心とした応用トレーニング この授業は、トライリンガル・プログラム（TLP）の一環として位置づけられている。対象となる学生は TLP の二年生及びそれと同等以上の中国語能力を有する学生である。TLP クラスに所属していない学生は、初回授業で実施される「プレイスメントテスト」を必ず受験すること。テストの結果でレベル判定をする。また、20 名を超える場合は人数制限を行う場合がある。 この授業の履修を通じて、いままで学んだ文法知識などをベースにさらに複雑な中国語の文章を読みながら読解能力をいっそう高めることを目標とする。 読解を通して中級程度の文法知識や読み解く要領をマスターするだけでなく、様々なジャンルの文章を吟味することを通して中国の歴史・社会・文化への理解をいっそう深める。						
評価方法 教科書	期末テストと小テスト、平常点 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 漢語縦横 精読課本 2 著者（訳者） 李煒東 出版社 北京語言大学出版社						
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30455	S	中国語中級（演習）	李 彦銘	中国語	火 3	114 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLP 中国語 読解を中心とした応用トレーニング この授業は、トライリンガル・プログラム（TLP）の一環として位置づけられている。対象となる学生は TLP の二年生及びそれと同等以上の中国語能力を有する学生である。TLP クラスに所属していない学生は、初回授業で実施される「プレイスメントテスト」を必ず受験すること。テストの結果でレベル判定をする。また、20 名を超える場合は人数制限を行う場合がある。 この授業の履修を通じて、いままで学んだ文法知識などをベースにさらに複雑な中国語の文章を読みながら読解能力をいっそう高めることを目標とする。 読解を通して中級程度の文法知識や読み解く要領をマスターするだけでなく、様々なジャンルの文章を吟味することを通して中国の歴史・社会・文化への理解をいっそう深める。						
評価方法 教科書	期末テストと小テスト、平常点 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 漢語縦横 精読課本 2 著者（訳者） 李煒東 出版社 北京語言大学出版社						
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30607	S	中国語中級（演習）	菊池 真純	中国語	水 1	153 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLP 中国語 読解を中心とした応用トレーニング この授業は、トライリンガル・プログラム（TLP）の一環として位置づけられている。対象となる学生は TLP の二年生及びそれと同等以上の中国語能力を有する学生である。TLP クラスに所属していない学生は、初回授業で実施される「プレースメントテスト」を必ず受験すること。テストの結果でレベル判定をする。また、20 名を超える場合は人数制限を行う場合がある。 この授業の履修を通じて、いままで学んだ文法知識などをベースにさらに複雑な中国語の文章を読みながら読解能力をいっそう高めることを目標とする。 読解を通して中級程度の文法知識や読み解く要領をマスターするだけでなく、様々なジャンルの文章を吟味することを通して中国の歴史・社会・文化への理解をいっそう深める。						
評価方法 教科書	期末テストと小テスト、平常点 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 漢語縦横 精読課本 2 著者（訳者） 李煒東 出版社 北京語言大学出版社						
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30852	S	中国語中級（演習）	何 珍時	中国語	木 1	103 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ステップアップした中国語（中級レベル）の総合的学習 1 年間の中国語学習を終えた人を対象に、中国語の読解力と表現力を中心に、やや高度な文法事項の学習を行う。初級の次のステップとして中級レベルの能力を養うことを目標とする。						
評価方法 教科書	期末試験などの成績を総合的に評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 中国語中級教科書 読物・文法編 著者（訳者） 中川正之・沈国威 編著 出版社 白帝社 ISBN 4-89174-188-0						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31254	S	中国語中級（演習）	李 雲	中国語	金 4	162 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ステップアップした中国語（中級レベル）の総合的学習 1 年間の中国語学習を終えた人を対象に、中国語の読解力と表現力を中心に、やや高度な文法事項の学習を行う。初級の次のステップとして中級レベルの能力を養うことを目標とする。						
評価方法 教科書	期末試験などの成績を総合的に評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 中国語中級教科書 読物・文法編 著者（訳者） 中川正之・沈国威 編著 出版社 白帝社 ISBN 4-89174-188-0						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30523	S	中国語中級（会話）	喬 志航	中国語	火 4	112 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語中級会話 目標 長文読解能力を向上させることと、広範で複雑な話題についても明瞭に自分の意見を表現できることを目標とする。 中国語を使った研究を始める基礎的な力がある。 異文化の理解につとめ、多様な価値観への寛容性を身につけるよう期待する。 概要 中国語を一年間学習した学生を対象に、中国語の長文読解と文法事項を教え、そしてテーマごとに中国語会話の練習を行う。 中国語圏の歴史や文化、社会情勢などに関係するテーマについて、言葉の背景にある中国の社会、政治、文化、歴史などについての知識をも積極的に取り入れて、言葉の微妙なニュアンスを感じ取り、真のコミュニケーション能力を養うと同時に、異文化への理解力を培うように心掛けたい。 授業のはじめに、教員による本文の内容確認をし、関連する表現や文法事項について説明を行う。そのうえで、学生による発表・討論、またはディベートを行う。それを通じて、中国語による表現力を強化させていく。						
評価方法 教科書 ガイダンス	平常点（出席率、授業中の積極性など）、期末試験に基づいて評価する。平常点 30%，期末試験 70%。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30755	S	中国語中級（会話）	中原 裕貴	中国語	水 3	152 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	楽しく中国語をしゃべろう この授業では「聞く」「話す」を中心に進める。中国語を話すにはまず「聞く」事から始める。授業の初期段階では「聞く」訓練をし、できるだけ中国語で話し、中国語で答えてもらうことを視野に入れる。そのほかに「図を見て話す」、「与えられた語彙で会話をする」など「話す」を徹底的にする。 目標は普通の会話を中国語で不自由に交わすことである。						
評価方法	出席 20% 授業参加 30% テスト 50%						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31032	S	中国語中級（会話）	姚 毅	中国語	木 5	156 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	コミュニケーション能力を高めるための実践的授業 初級段階で学習した文法項目を応用し、語彙を増やしながら、中国語のコミュニケーション能力を高めるための実践的授業である。勉強、買物、趣味、仕事、交友など日常触れるさまざまな場面を話題にし、「聞く」「話す」の反復練習を通して、その場面に関する典型的表現を覚えていく。また、習ったことを活かし、自分自身の経験、感想などについて発表してもらう。						
評価方法 教科書	平常点（授業の参加・小テスト）と期末試験を吟味して評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 会話と読解中心やさしく楽しい中級中国語―中国基礎知識 12 篇 著者（訳者） 郭 春貴 郭 久美子 出版社 白帝社 ISBN 978-4-86398-269-7						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30973	S	中国語中級（作文）	柴 森	中国語	木 3	162 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		やや高度の中級作文練習 基礎復習から始め、中国語の構文を中心にした文法事項を系統的に学習しながら、さまざまな練習問題を解いていく。自分の伝えたいことをできるだけ幅広く中国語で表現できることを目指す。 試験（期末試験）と平常点（課題など）による総合的評価。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30853	S	中国語中級（読解）	下出 宣子	中国語	木 1	104 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		中国当代の童話、散文、小説から数編を読む。 中国語初級（1 年次で『現代汉语基础』または『基础汉语』を教科書として）を学び終えたレベルの学生を対象とする。 中国語の童話や当代作家の散文、小説から数編を選んで精読する。 初級で学んだ文法の基礎を復習、確認しつつ、やや複雑な文の構造、中国語のものの捉え方や表現法を理解し、長文を読解する力を養う。また、散文や小説の内容を通して、中国の文化や生活、人情に触れる。 期末試験 50%、平常点（予習や発表などの授業への積極的な取り組み）50% 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30161	S	中国語中級 （インテンシヴ）	菊池 真純	中国語	月 3	102 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		TLP 中国語実践トレーニング（中級会話） この授業は、トライリンガル・プログラム（TLP）の一環として位置づけられている。対象となる学生は TLP の二年生及びそれと同等以上の中国語能力を有する学生である。TLP クラスに所属していない学生は、初回授業で実施される「プレイスメントテスト」を必ず受験すること。テストの結果でレベル判定をする。また、20 名を超える場合は人数制限を行う場合がある。 この授業の履修を通じて、日常会話はもちろん、場面ごとに合う適切な表現を身につけることを目標とする。 授業態度・小テスト・期末試験等を総合して評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 汉语纵横 会话 2 著者（訳者） 赵清永 出版社 北京语言大学出版社 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30526	S	中国語中級 (インテンシヴ)	白 春花	中国語	火 4	1322 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLP 中国語実践トレーニング (中級会話) この授業は、トライリンガル・プログラム (TLP) の一環として位置づけられている。対象となる学生は TLP の二年生及びそれと同等以上の中国語能力を有する学生である。TLP クラスに所属していない学生は、初回授業で実施される「プレースメントテスト」を必ず受験すること。テストの結果でレベル判定をする。また、20 名を超える場合は人数制限を行う場合がある。 この授業の履修を通じて、日常会話はもちろん、場面ごとに合う適切な表現を身につけることを目標とする。						
評価方法 教科書	授業態度・小テスト・期末試験等を総合して評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 汉语纵横 会話 2 著者 (訳者) 赵清永 出版社 北京语言大学出版社						
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30685	S	中国語中級 (インテンシヴ)	李 彦銘	中国語	水 2	1233 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLP 中国語実践トレーニング (中級作文) この科目は前期 TLP(トライリンガル・プログラム)の一環に位置づけられている。対象となる学生は TLP 二年生、またはそれと同等以上の中国語能力を有していると認められる学生である。TLP クラスに所属していない学生は、初回授業で実施される「プレースメントテスト」を必ず受験すること。テストの結果でレベル判定をする。また、20 名を超える場合は人数制限を行う場合がある。 この授業では、日常的に良く使われる複文の文型をマスターするのが最初の目標であって、複文に慣れてから、本格的な作文を週に一回作成し、添削を通して、中国語の文章の書き方を少しずつ覚えていく。一学期の勉強を通して、普通の短い文章を書けることを目標とする。						
評価方法 教科書	平常点と期末試験を総合的に見た上で評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 中国語作文のための短文練習—中文造句 著者 (訳者) 中山時子・飯泉彰裕 出版社 東方書店 ISBN 978-4-407-99560-5						
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30789	S	中国語中級 (インテンシヴ)	賈 黎黎	中国語	水 4	114 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語中級インテンシブ会話 中級インテンシブ聴解をセットで履修することが望ましい。水曜日 4 限では、主に会話の訓練を行う。						
評価方法 教科書	期末試験がありません。出席率、受講態度、毎回の課題発表に基づいて評価します。						
ガイダンス	授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30975	S	中国語中級 (インテンシヴ)	王 前	中国語	木 3	112 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLP 中国語実践トレーニング (中級作文) この科目は前期 TLP(トライリンガル・プログラム)の一環に位置づけられている。対象となる学生は TLP 二年生、またはそれと同等以上の中国語能力を有していると認められる学生である。TLP クラスに所属していない学生は、初回授業で実施される「プレースメントテスト」を必ず受験すること。テストの結果でレベル判定をする。また、20 名を超える場合は人数制限を行う場合がある。 この授業では、日常的に良く使われる複文の文型をマスターするのが最初の目標であって、複文に慣れてから、本格的な作文を週に一回作成し、添削を通して、中国語の文章の書き方を少しずつ覚えていく。一学期の勉強を通して、普通の短い文章を書けることを目標とする。						
評価方法 教科書	平常点と期末試験を総合的に見た上で評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 中国語作文のための短文練習—中文造句 著者(訳者) 中山時子・飯泉彰裕 出版社 東方書店 ISBN 978-4-407-99560-5						
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31013	S	中国語中級 (インテンシヴ)	毛 興華	中国語	木 4	102 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	耳を澄ませてリスニングチャレンジ この授業では主に聞き取りの訓練を行う。 会話中心の中級インテンシヴ (水 4) とセットで履修することを強くお勧めします。 街中で録音した自然な会話を聞き、初級で習得した単語や構文を点検するとともに、日常会話やテレビの報道番組などが聞き取れることを目指す。 受講生のレベルに応じ、教科書以外の資料を配布することがある。						
評価方法 教科書	課題、期末試験 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 街なかの中国語 著者(訳者) 孟国 主編、井田綾 訳 出版社 東方書店 ISBN 978-4-497-21208-5						
ガイダンス	その他 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31084	S	中国語中級 (インテンシヴ)	鄧 芳	中国語	金 1	151 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLP 中国語実践トレーニング (中級会話) この授業は、トライリンガル・プログラム (TLP) の一環として位置づけられている。対象となる学生は TLP の二年生及びそれと同等以上の中国語能力を有する学生である。TLP クラスに所属していない学生は、初回授業で実施される「プレースメントテスト」を必ず受験すること。テストの結果でレベル判定をする。また、20 名を超える場合は人数制限を行う場合がある。 この授業の履修を通じて、日常会話はもちろん、場面ごとに合う適切な表現を身につけることを目標とする。						
評価方法 教科書	授業態度・小テスト・期末試験等を総合して評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 汉语纵横 会话 2 著者(訳者) 赵清永 出版社 北京语言大学出版社						
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31209	S	中国語中級 (インテンシヴ)	白 春花	中国語	金 3	109 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		TLP 中国語実践トレーニング（中級作文） この科目は前期 TLP(トライリンガル・プログラム)の一環に位置づけられている。対象となる学生は TLP 二年生、またはそれと同等以上の中国語能力を有していると認められる学生である。TLP クラスに所属していない学生は、初回授業で実施される「プレースメントテスト」を必ず受験すること。テストの結果でレベル判定をする。また、20 名を超える場合は人数制限を行う場合がある。 この授業では、日常的に良く使われる複文の文型をマスターするのが最初の目標であって、複文に慣れてから、本格的な作文を週に一回作成し、添削を通して、中国語の文章の書き方を少しずつ覚えていく。一学期の勉強を通して、普通の短い文章を書けることを目標とする。					
評価方法 教科書		平常点と期末試験を総合的に見た上で評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 中国語作文のための短文練習—中文造句 著者（訳者） 中山時子・飯泉彰裕 出版社 東方書店 ISBN 978-4-407-99560-5					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30318	S	中国語上級（演習）	秋山 珠子	中国語	火 2	149 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国語映像翻訳実習 本授業は、中国語の映像作品（劇映画、ドキュメンタリー、ビデオアート、テレビ作品等）の字幕翻訳の実習を通し、1) 言語・音声および映像が伝えるイメージを分析し、2) 的確な日本語に翻訳する力を身につけ、3) 既存の字幕翻訳ルールを再検討し、デジタル化、グローバル化が進む今日の映像文化にふさわしい字幕翻訳の方法を模索することを目標とする。またその過程で、映像翻訳の可能性/不可能性を考察し、作品の背景となる中国の社会や文化に関する理解を深めていく。(G8－10)					
評価方法 教科書		提出物、授業貢献度（出席状況・授業への取り組み・発表など）と最終試験の成績から総合的に判断する。 授業中に指示をする。／Will specify at class time					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30915	S	中国語上級（会話）	王 雪萍	中国語	月 2	156 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国語で現代中国について討論しよう 本科目は中国語上級者、ニアネイティブの学生を対象とした授業である。中国語の文章読解、及び中国語での発表、討論を目標としている。授業内容については、現代中国の政治、歴史、教育、社会、文化に対する理解を深めることも意識したい。中国は 1978 年から改革・開放政策を開始し、40 年以上の改革を経て、経済は目覚ましく発展し、社会も大きく変容してきた。今や世界とりわけアジア地域に大きな影響力をもつ大国の一つとなっている。2010 年に中国の GDP は世界 2 位となり、中国人も大国としての自負と責任感を持ち始めた。しかし経済大国になった中国は、多くの問題をなお抱えている。それらの問題は、中国の今後の発展に大きな影響を及ぼしている。この授業では、中国の政治、歴史、社会、教育、文化などの問題に関する話題について教員の説明及び学生の発表を行いながら、簡単な中国語の文章を読み進めていく。学生のレベルに合わせて、徐々に文章の難易度を高めていく。各話題について、まずその話題に教員と発表する学生による解説、背景説明、そして学生との討論を行うことで、理解を深めたい。授業の内容に合わせて、適宜に映像資料を使用する。					
評価方法 教科書		平常点と発表、最終発表会による プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31108	S	中国語上級（作文）	斉 金英	中国語	金 2	121 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	中国語上級作文 読解力、応用力を磨きながら、中国語で自分の「考え」を書くことができることを目標とする。 現代中国の世相を反映する中国語の課題文章の読解、ディクテーションなどを通して、中国語の表現力が自然と身につくことを図る。そのうえで、授業中のディスカッションを通して整理した「考え」を授業後に作文にする。次の授業中に課題作文を取り上げて添削の解説をする。なお、基本文型の応用や独特な言い回しの基礎を固めるために、毎回の授業で日文中訳のトレーニングをする。 課題の完成度、授業態度、期末作文に基づいて総合的に評価する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30808	S	中国語上級（読解）	張 政遠、 WANG QIN	中国語	水 5	118 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	魯迅を読む 魯迅の『吶喊』を読むこと。魯迅の思想を理解すること。 平常点 100% プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance						

総合科目 L 系列 ロシア語

ロシア語初級(演習)①		開講区分		S
授業の目標・概要		正確な発音を実につけて、簡単なテキストを読む。内容を理解した上で、テキストに関して質疑応答ができるようにする。		
成績評価方法		平常点など。		
教科書		プリントを配布する。／Will distribute handouts		
※講義の詳細については、UTAS を参照すること				
時間割 コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
30988	木 4	Gutova Ekaterina	157 教室	1 年 文一二(4)
30995	木 4	Grecko Valerij	121 教室	1 年 文三(4)
31017	木 4	ゴルボフスカヤ リュボーフィ	517 教室	1 年文科(TLP)

※TLP 履修者は、対象クラスで「1 年文科(TLP)」と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目 L 系列英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31016	S	ロシア語初級（演習）	ゴルボフスカヤ リュボーフィ	ロシア語	木 4	517 教室	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	ロシア語初級（演習） 正確な発音を身につけて、簡単なテキストを読む。内容を理解した上で、テキストに関して質疑応答ができるようにする。 【この授業は理系 1 年生用のものです。】 平常点など。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31109	S	ロシア語初級（演習）	Grecko Valerij	ロシア語	金 2	120 教室	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	現代ロシア語の基礎 基礎的なロシア語運用能力を身につけることを目標とする。日常生活に密着したトピックを扱いながら、パターン・プラクティスを通じて、聞く、話す、読む、書くという 4 つのスキルをバランスよく習得する。書かれたテキストだけでなく、ビデオなどのメディアも用いながら、ノンバーバル・コミュニケーションや言語を使用する際の態度についても学ぶ。 平常点（授業中の発言、発表）、課題の提出、テスト プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30756	S	ロシア語初級（会話）	Grecko Valerij	ロシア語	水 3	119 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	ロシア語会話の基礎 ロシア語ネイティブの教員が担当する初心者向けロシア語会話の授業。基礎的なロシア語運用能力（特に聞き、話す能力）を習得することを目指すとともに、ロシアの社会や文化に対する理解を深めることを目標とする。 日常生活に密着した場面を設定して、会話練習を行う。また、毎回の授業で取り上げるトピックを通して、ロシアでの生活や社会事情、ロシア特有の習慣などについての知識を得る。 平常点（授業中での発言、発表）、課題の提出、テスト プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30008	S	ロシア語初級 （インテンシヴ）	Gutova Ekaterina	ロシア語	月 1	156 教室	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	ロシア語初級（インテンシヴ） TLP 生を対象にしたインテンシヴ・コースである。ネイティブ・スピーカーの先生が担当し、ロシア語のリスニングやスピーキングの基礎を集中的に学習する。S セメスターではアルファベットを習得し、正確な発音を目指すところから始める。2 コマセットで履修すること（月曜 1 限と金曜 5 限）。 授業貢献度（出席、予習）、提出課題、小テスト、学期末試験などを考慮して総合的に評価する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 書名 Русский сезон 出版社 Златоуст 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30244	S	ロシア語初級 (インテンシヴ)	安岡 治子	ロシア語	月 5	153 教室	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		ロシア語 (インテンシヴ) 必修のロシア語に加えて、さらなるロシア語知識の獲得を目指す。 日常の授業、および期末テスト プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30809	S	ロシア語初級 (インテンシヴ)	Grecko Valerij	ロシア語	水 5	119 教室	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		現代ロシア語の基礎 基礎的なロシア語運用能力を身につけることを目標とする。日常生活に密着したトピックを扱いながら、聞く、話す、読む、書くという 4 つのスキルをバランスよく習得する。 ※「初級インテンシヴ」は週 2 コマをセットでのみ履修できます。かならず月曜 5 限の授業と両方を履修してください。 平常点 (授業中の発言、発表)、課題の提出、テスト プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31277	S	ロシア語初級 (インテンシヴ)	Gutova Ekaterina	ロシア語	金 5	102 教室	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		ロシア語初級 (インテンシヴ) TLP 生を対象にしたインテンシヴ・コースである。ネイティブ・スピーカーの先生が担当し、ロシア語のリスニングやスピーキングの基礎を集中的に学習する。S セメスターではアルファベットを習得し、正確な発音を目指すところから始める。2 コマセットで履修すること (月曜 1 限と金曜 5 限)。 授業貢献度 (出席、予習)、提出課題、小テスト、学期末試験などを考慮して総合的に評価する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 書名 Русский сезон 出版社 Златоуст 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31271	S	ロシア語初級 (第三外国語)	竹内 恵子	ロシア語	金 5	103 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		ロシア語初級 (第三外国語) ロシア語を全く初めて学ぶ人、または初めから学び直したい人を対象にした授業です。アルファベット (キリル文字) の学習から始め、発音の法則やイントネーションを学び、ごく初歩的な文法事項が理解できるようになることを目指します。 平常点 (出席、小テスト、授業への参加度など) 50%、期末試験 50% 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 初級ロシア語 20 課 著者 (訳者) 桑野 隆 出版社 白水社 ISBN 978-4-560-08614-8 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30245	S	ロシア語中級（演習）	毛利 公美	ロシア語	月 5	154 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語中級（演習） ロシア語の初級文法を習得した学生を対象とし、ロシア語で書かれたさまざまなテキストを丁寧に読みながら、中級レベルの文法、語彙、構文の習得を目指す。必要に応じ、基礎文法の確認のための練習問題の実施、関連語彙や構文の解説、リーディング（音読）の練習を行うことで、総合的なロシア語運用能力を高める。講読するテキストを通じてロシア語文化圏の人々が常識として共有する文化的な背景知識を身につける。					
評価方法 教科書 ガイダンス		平常点（授業への取り組み）と期末課題（人数によっては試験）により総合的に判断する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30563	S	ロシア語中級（会話）	Gutova Ekaterina	ロシア語	火 5	1105 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語中級 一年間学習したロシア語の基礎的知識を発展させ、応用力をつけることを目指す。その際「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」という4つの側面をバランスよく学習することを目標とする。身近なテーマから始め、様々な話題を取り上げ、文法事項を復習しながら、また語彙を増やししながら、口頭表現を身につける。発音やイントネーションも重視する。また作文の練習を行う。					
評価方法 教科書 ガイダンス		出席、授業への積極的な参加、宿題提出状況を総合的に判断して評価する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30757	S	ロシア語中級（作文）	丸山 由紀子	ロシア語	水 3	103 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語中級作文 既習文法事項、語彙を適切に用いることが出来ると同時に、一歩上の文法、語彙も取り入れた、より豊かで大人の文章をロシア語で書けるようになるのが目標です。					
評価方法 教科書 ガイダンス		出席状況、課題の出来映え、授業への貢献度で総合的に判断します。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30524	S	ロシア語中級 (インテンシヴ)	渡邊 日日	ロシア語	火 4	1224 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		ロシア語中級 (インテンシヴ) / Russian Language (Intermediate) ロシア語文法を 1 年以上学んだ初級修了者を対象に、非ネイティブが迷いやすい文法事項 (アスペクト、移動動詞、無人称文など) について説明を行い、練習問題を解いてきてもらって、文法力を強固なものとします。 毎回の授業貢献度 (試験を行うこともあります)。 プリントを配布する。/ Will distribute handouts 特に行わない。/ Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30527	S	ロシア語中級 (インテンシヴ)	Gutova Ekaterina	ロシア語	火 4	1105 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		ロシア語中級 (インテンシヴ) TLP 生 2 年生用のインテンシヴ授業である。週 2 コマ行い、ネイティブ・スピーカーの先生がリスニング、スピーキングに関して高度な運用能力を育成する。取り上げられたテーマに関する会話やディスカッション能力を養う。 授業貢献度 (出席、課題、宿題)、小テスト、期末テストなどを考慮して総合的に評価する。 プリントを配布する。/ Will distribute handouts 書名 Первые шаги. Часть 3. 出版社 Златоуст 特に行わない。/ Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31033	S	ロシア語中級 (インテンシヴ)	ゴルボフスカヤ リュボーフィ	ロシア語	木 5	517 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		自分の考え方をロシア語で表現する実力を高める ロシア語短い作文、発表の訓練 授業参加、3 回発表 プリントを配布する。/ Will distribute handouts 書名 Говорите по-русски 著者 (訳者) С.Хавронина 出版社 М. Русский язык. 2014 第一回授業日に行く。/ Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31044	S	ロシア語中級 (インテンシヴ)	Gutova Ekaterina	ロシア語	木 5	157 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		ロシア語中級 (インテンシヴ) TLP 生 2 年生用のインテンシヴ授業である。週 2 コマ行い、ネイティブ・スピーカーの先生がリスニング、スピーキングに関して高度な運用能力を育成する。取り上げられたテーマに関する会話やディスカッション能力を養う。 授業貢献度 (出席、課題、宿題)、小テスト、期末テストなどを考慮して総合的に評価する。 プリントを配布する。/ Will distribute handouts 書名 Первые шаги. Часть 3. 出版社 Златоуст 特に行わない。/ Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30792	S	ロシア語上級（演習）	鳥山 祐介	ロシア語	水 4	155 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		ロシア語上級（演習）／ Russian Language (Advanced) TLP ロシア語 2 年生は必ず履修する授業です。精読を繰り返しながら、中級文法を学びつつ、語彙を増やし、読解力の向上を目指します。 毎回の授業貢献度（試験を行うこともあります）。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30916	S	ロシア語上級（会話）	Grecko Valerij	ロシア語	木 2	1105 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		ロシア語会話表現（応用） ロシア語運用能力（特に聞き、話す能力）をさらに伸ばすことを目指すとともに、ロシアの社会や文化に対する理解を深めることを目標とする。 授業では日常生活や身近な話題に取材した短い文章やスキットなどを使って、会話練習を重点的に行う。日常的な場面でよく使われる言い回しを習得し、語彙を増やすとともに、比較的複雑な構造をもった表現を正しく聞き取り、自分でも使えるようになることを目指す。また、毎回の授業で取り上げる題材を通して、ロシアでの生活や社会事情についての知識も身につける。 ※前期課程（1・2 年生）でこの授業を履修できるのは、「ロシア語既習」で入学した学生のみです。 平常点（授業中の発言、発表）、課題の提出、小テスト プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31206	S	ロシア語上級（作文）	Grecko Valerij	ロシア語	金 3	120 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		ロシア語の文章表現 ロシア語のさまざまな文体（日常会話、新聞や雑誌の記事、文学作品、学術論文など）を読み、それらを分析して、実際にそれぞれの文体でロシア語の文章を書く練習を行う。ロシア語運用能力をさらに高め、特に書く能力を向上させることを目指す。最終的には学術的な内容をもつレポートや論文をロシア語で書く能力を身につける。また、さまざまなスタイルの文章に触れることを通じて、ロシア文化やロシア事情に対する理解を深めることを目指す。 ※前期課程（1・2 年生）でこの授業を履修できるのは、「ロシア語既習」で入学した学生のみです。 平常点（授業中の発言、発表）、宿題、レポート プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30790	S	ロシア語上級（読解）	丸山 由紀子	ロシア語	水 4	103 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語論文購読 ロシア語を2年以上学習した学生を対象に、学術論文の精読を通して、アカデミックな文体で書かれたテキストを正確に読む力を養う。文法事項を正確に把握し、文脈を考慮して適切な訳語を選定しながらテキストを読むことで、今後、各自が必要なロシア語文献を読むための基礎力を身につけることを目指す。 ※前期課程（1・2年生）でこの授業を履修できるのは、「ロシア語既習」で入学した学生のみです。					
評価方法		1. 授業への貢献度、担当箇所の和訳の完成度。 2. 学期末レポート。					
教科書 ガイダンス		プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

総合科目 L 系列 スペイン語

スペイン語初級(演習)①		開講区分	S	
授業の目標・概要	スペイン語初級は共通教科書を用い、S セメスターでは1列で文法を学び、2列で講読を行う。この演習では、教科書の進度に合わせ、発音、聞き取り、初歩的な会話の練習、文法の応用練習などを行い、スペイン語の運用能力を高めることをめざす。文系はクラス指定の演習を設けてある。理系ではこれに対応する「スペイン語初級(演習)」(理科生限定)を開講するので、積極的に参加してほしい。			
成績評価方法	各教員に任されている。			
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Brújula-スペイン語学習の羅針盤 著者(訳者) 東京大学教養学部スペイン語部会 出版社 朝日出版社			
※講義の詳細については、UTAS を参照すること				
時間割 コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
30043	月 2	ドニャス ベレニャ アントニオ	108 教室	1 年 文一二(7)
30046	月 2	ロサレス パトリシア	104 教室	1 年 文一二(12)
30174	月 4	ロサレス パトリシア	104 教室	1 年 文一二(9)
30191	月 4	イサベル カルロス	162 教室	1 年 文三(10)
30401	火 1	ドニャス ベレニャ アントニオ	104 教室	1 年 文一二(11)
30400	火 3	イサベル カルロス	1212 教室	1 年 文一二(10)
30628	水 2	ドニャス ベレニャ アントニオ	159 教室	1 年 文一二(8)
30735	水 3	ドニャス ベレニャ アントニオ	159 教室	1 年 文三(7)
30996	木 4	イサベル カルロス	122 教室	1 年 文三(8)
30997	木 4	FERNANDEZ HERBOSO	158 教室	1 年 文三(9)
30249	月 5	ドニャス ベレニャ アントニオ	166 教室	1 年文科(TLP)

※TLP 履修者は、対象クラスで「1 年文科(TLP)」と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目 L 系列英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30009	S	スペイン語初級（演習）	イサベル カルロス	スペイン語	火 2	116 教室	1 年 理科
講義題目	Seminario de español para el TLP						
授業の目標概要	TLP スペイン語演習 Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana. コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。						
評価方法	Exámenes parciales y examen final: 70% Participación y tareas: 30% 小テストと期末テスト 70 点 平常点 30 点						
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Entre amigos 1 (2a edición)（総合スペイン語コース初級 改訂版） 著者（訳者） スペイン語教材研究会 編 出版社 朝日出版社 ISBN 978-4-255-55055-8						
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time その他(「授業目標、概要」参照)／Others(Refer to "Course Objectives")						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31110	S	スペイン語初級（演習）	AIT MORENO ISAAC	スペイン語	火 2	117 教室	1 年 理科
講義題目	スペイン語初級（演習）						
授業の目標概要	スペイン語初級は共通教科書を用い、S セメスターでは 1 列で文法を学び、2 列で講読を行う。この演習は理科学限定で、教科書の進度に合わせ、発音、聞き取り、初歩的な会話の練習、文法の応用練習などを行い、スペイン語の運用能力をいっそう高めることをめざす。理科学は積極的に参加してほしい。						
評価方法	授業の初回に説明する。						
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Brújula-スペイン語学習の羅針盤 著者（訳者） 東京大学教養学部スペイン語部会 出版社 朝日出版社 ISBN 978-4-255-55111-1						
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31034	S	スペイン語初級（会話）	FERNANDEZ HERBOSO	スペイン語	木 5	158 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	スペイン語（初級会話）						
授業の目標概要	練習を通して、文法とその機能についての内容を体系化し、生徒の理解を強化する。また、授業を通して学んだことを、それぞれの生徒が活用し表現できるようにすることを目指す。 その他に文法、単語のレベルを DELE A2 まで引き上げていく。						
評価方法	毎週の課題 4 0 %、授業への参加度 1 0 %、学期末テスト及び口頭試験 5 0 %						
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31272	S	スペイン語初級（会話）	エクトル シエラ	スペイン語	金 5	150 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	¿HABLAMOS? スペイン語での基本的なコミュニケーション スペイン語で日常生活について話せるようになることを目指す。 自己紹介、天気や家族、好きなこと、嫌いなこと、料理の簡単な感想、町の様子、過去にしたことや近い未来にしたいことについての会話の演習を行う。 スペイン語らしい発音や自然なイントネーションの習得を目指す。また、前学期で学習した規則動詞の現在形、現在進行形や近未来の復習をした上で、不規則動詞や再帰動詞を使った会話を習得する。						
評価方法	参加 30%、宿題・パフォーマンス・態度・授業への貢献 30%、プレゼン 40%						
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts						
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31111	S	スペイン語初級（作文）	有田 美保	スペイン語	金 2	113 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	スペイン語初級（作文） 本コースは、和文（おもに単文）から適切にスペイン語文にするための解説と演習を中心としたものである。一年生の初修外国語（文科・理科）の授業で既習あるいは学習中である文法事項を『書く』ことを通して復習するとともに、能動的な言語応用を図る諸君の積極的な学びの場となるように展開していく。初修外国語の授業でカバーされなかった語彙やフレーズ、またさまざまな話題や言語使用のシーンにふれて、本言語の運用の幅を広げてほしい。						
評価方法	授業時間後半で行う類題西訳をセメスター中 3 回提出、出来栄えや仕上げの丁寧さによって評点を受ける（1 回＝25 点満点×3 回＝75 点 単語テスト 25 点と合わせて 100 点満点となる）。その得点から、欠席・遅刻・早退、宿題未遂行、態度不良などがある場合には減点し（最大 30 点めやす）、また質問・発言など積極的な態度が伺える者にのみプラス評価（最大 10 点めやす）を入れ、最終評価を算出する。						
教科書	「特別な理由」（診断書のある疾病、立証書類で客観性の認められる就職活動・学業活動・冠婚葬祭、遅延証明のある交通機関の遅延、等）による欠席（またはそれにともなう未提出課題）については、都度教員に相談すること。 遅延提出物は受け取らない。 試験は返却せず、教員からの総評コメント入りスリップを受け取る方式をとる。						
ガイダンス	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Paso Doble~Primer Paso 著者（訳者） 有田美保 出版社 弘学社 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30246	S	スペイン語初級（インテンシヴ）	イサベル カルロス	スペイン語	月 5	162 教室	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	スペイン語初級 必修スペイン語に加えてスペイン語を集中的に勉強したい学生のために、インテンシヴクラスを開講する。内容は会話と作文で、必修の授業の進度に合わせながら実践的な運用能力を獲得することをめざす。履修人数を制限し、週 2 回の授業に出席することを義務とする。2 つの授業ともスペイン語ネイティブの教員（カルロス・イサベル）が担当する。						
評価方法	授業初回で示される。						
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Nuevo Avance Básico A1,A2 著者（訳者） Concha Moreno, Victoria Moreno, Piedad Zurita 出版社 SGEL ISBN 978-84-9778-595-2 その他 教科書の最初の半分、1 課から 9 課まで						
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30813	S	スペイン語初級 (インテンシヴ)	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	水 5	120 教室	1 年 文科 理科
講義題目	Curso intensivo de español para el TLP						
授業の目標概要	TLP スペイン語インテンシヴ Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana. コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。						
評価方法	Exámenes parciales y examen final: 70% 小テストと期末テスト 70 点						
教科書	Participación y tareas: 30% 平常点 30 点 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Entre amigos 1, 2da edición 著者（訳者） スペイン語教材研究会編 出版社 朝日出版社						
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time その他(「授業目標、概要」参照)／Others(Refer to "Course Objectives")						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31036	S	スペイン語初級 (インテンシヴ)	イサベル カルロス	スペイン語	木 5	122 教室	1 年 文科 理科
講義題目	スペイン語初級						
授業の目標概要	必修スペイン語に加えてスペイン語を集中的に勉強したい学生のために、インテンシヴクラスを開講する。内容は会話と作文で、必修の授業の進度に合わせながら実践的な運用能力を獲得することをめざす。履修人数を制限し、週 2 回の授業に出席することを義務とする。2 つの授業ともスペイン語ネイティブの教員（カルロス・イサベル）が担当する。						
評価方法	授業初回で示される。						
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Nuevo Avance Básico A1,A2 著者（訳者） Concha Moreno, Victoria Moreno, Piedad Zurita 出版社 SGEL ISBN 978-84-9778-595-2						
ガイダンス	その他 教科書の最初の半分、1 課から 9 課まで 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31045	S	スペイン語初級 (インテンシヴ)	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	木 5	166 教室	1 年 文科 理科
講義題目	Curso intensivo de español para el TLP						
授業の目標概要	TLP スペイン語インテンシヴ Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana. コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。						
評価方法	Exámenes parciales y examen final: 70% 小テストと期末テスト 70 点						
教科書	Participación y tareas: 30% 平常点 30 点 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Entre amigos 1, 2da edición 著者（訳者） スペイン語教材研究会編 出版社 朝日出版社						
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time その他(「授業目標、概要」参照)／Others(Refer to "Course Objectives")						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30335	S	スペイン語初級 (インテンシヴ)	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	金 2	153 教室	1 年 文科 理科
講義題目	Curso intensivo de español para el TLP						
授業の目標概要	TLP スペイン語インテンシヴ Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana. コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。						
評価方法	Exámenes parciales y examen final: 70% 小テストと期末テスト 70 点						
教科書	Participación y tareas: 30% 平常点 30 点 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Entre amigos 1, 2da edición 著者（訳者） スペイン語教材研究会編 出版社 朝日出版社						
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time その他(「授業目標、概要」参照)／Others(Refer to "Course Objectives")						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30566	S	スペイン語初級 (インテンシヴ)	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	金 5	153 教室	1 年 文科 理科
講義題目	Curso intensivo de español para el TLP						
授業の目標概要	TLP スペイン語インテンシヴ Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana. コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。						
評価方法	Exámenes parciales y examen final: 70% 小テストと期末テスト 70 点						
教科書	Participación y tareas: 30% 平常点 30 点 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Entre amigos 1, 2da edición 著者（訳者） スペイン語教材研究会編 出版社 朝日出版社						
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time その他(「授業目標、概要」参照)／Others(Refer to "Course Objectives")						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30005	S	スペイン語初級 (第三外国語)	栗林 ゆき絵	スペイン語	月 1	153 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	スペイン語初級						
授業の目標概要	スペイン語の骨格を 35 の基本文を軸にしてひととおり学ぶ。スペイン語は動詞の活用と名詞修飾語句の変化が 2 つの柱であるが、その基本のしくみを身につけることを目標とする。また、活用形から不定詞(原形)を導きだし正しく辞書が引けるようになること(=講座終了後も独学で続けられること)も本講座の目標のひとつである。						
評価方法	平常点 20%(小テスト)、期末試験 80%の予定。						
教科書	出席点は数値化しないが、小テスト(毎回開始時 5 分程度)を受けたものを出席とみなす。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 きらりスペイン語 著者（訳者） 栗林ゆき絵 出版社 朝日出版社 ISBN 4-255-55059-6						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30336	S	スペイン語中級 (インテンシヴ)	石橋 純	スペイン語	火 3	102 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		TLP スペイン語 インテンシヴ (2 年次) 新聞や論説文、学術論文など、スペイン語で書かれた多様な文章を精読し、高度な文章読解力、解釈力を身につけることを目標とする。また、伝統音楽・ポピュラー音楽の歌詞を利用し、スペイン語による詩的・芸術的表現にも触れる。 学期中に 3 回の試験と随時課す課題による。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30857	S	スペイン語中級 (インテンシヴ)	川崎 義史	スペイン語	木 1	152 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		スペイン語ニュースの聞き取りと読解を通して、スペイン語力の更なる向上を目指します。 小テストの点数のみで評価します プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30567	S	スペイン語中級 (インテンシヴ)	網野 徹哉	スペイン語	金 5	108 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		TLP スペイン語 インテンシヴ (2 年次) 新聞や論説文、学術論文など、スペイン語で書かれた多様な文章を精読し、高度な文章読解力、解釈力を身につけることを目標とする。また、映画のスク립トなどを利用し、聞き取りの能力を高めることも付随的にこなう。 小テストおよび期末試験をもちいた評価を予定している。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30814	S	スペイン語中級 (インテンシヴ)	宮地 隆廣	スペイン語	金 5	151 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		TLP2 年生 (文系) 向けスペイン語中級演習 CEFR 準拠 A2 レベルのスペイン語運用能力を身につける目的で、それよりもやや難解な教材を扱う。 出席・授業参加 50% 期末試験 50% 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Agencia ELE 3 著者 (訳者) Fernández, Claudia 出版社 SGEL ISBN 978-84-9778-991-2 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31035	S	スペイン語中級 (演習)	ガルシア ルイス カスティージョ カルロス	スペイン語	水 5	149 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	¡Habla en español! Español Intermedio Este curso está planteado como un primer paso para que los estudiantes lleguen a ser usuarios independientes del español. En las clases realizaremos actividades para practicar principalmente la expresión oral y aumentar el vocabulario. Practicaremos también la comprensión auditiva y la comprensión y la expresión escritas. Trabajaremos con diferentes tipos de textos y presentaremos aspectos socioculturales.						
評価方法	この授業は、学生が自立したスペイン語話者となるための最初の一步として組み立てられています。 授業では主に口頭表現及び語彙を増やすための演習を行います。またリスニングと文章表現も学習します。様々な資料を用いて学習する所で、社会文化にも触れることができます。						
教科書 ガイダンス	40% Asistencia, participación y tareas de clase. 60% Exámenes 40%:出席、授業中の積極性、課題 60%:試験 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31255	S	スペイン語中級 (会話)	エクトル シエラ	スペイン語	金 4	150 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	¿HABLAMOS? スペイン語を通じて西洋式のコミュニケーション 様々なトピックについて話せるようになることを目指す。スペイン語らしい発音や自然なイントネーションの習得を練習する。文法を復習しながら、会話を習得する。						
評価方法	日本語での婉曲的なコミュニケーションと違って、西洋人の「メタフォリックなコミュニケーション」を理解するために、良く使われている婉曲動詞（迂言動詞）や動詞を使った慣用句を積極的に学ぶ。 コースと授業の最初は日本語で説明を行うが、後半はスペイン語だけで行う予定。						
教科書 ガイダンス	参加 30%、宿題・パフォーマンス・態度・授業への貢献 30%、プレゼンテーション 40%。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30319	S	スペイン語中級 (インテンシヴ)	ドニャス ベレニャ アントニオ	スペイン語	火 2	104 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Curso intensivo de español, nivel intermedio El objetivo del curso es consolidar y ampliar el conocimiento de la lengua española de los estudiantes a través de las cuatro destrezas lingüísticas (comprensión oral, expresión oral, comprensión oral y comprensión escrita).						
評価方法	Participación en clase: 10 % Tareas: 30 % Exámenes: 60 %						
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31112	S	スペイン語中級 (インテンシヴ)	ドニャス ベレニャ アントニオ	スペイン語	金 2	114 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	Curso intensivo de español, nivel intermedio						
授業の目標概要	El objetivo del curso es consolidar y ampliar el conocimiento de la lengua española de los estudiantes a través de las cuatro destrezas lingüísticas (comprensión oral, expresión oral, comprensión oral y comprensión escrita).						
評価方法	Participación en clase: 10 % Tareas: 30 % Exámenes: 60 %						
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31037	S	スペイン語中級 (読解)	内田 兆史	スペイン語	木 5	10-303	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	ラテンアメリカを中心にしたスペイン語圏のニュース、講演、会話や曲を聞き取り、内容を理解することでスペイン語という視点を獲得し、世界を、あるいは日本を複眼的に眺める武器にしましょう。						
授業の目標概要	スペイン語を用いて世界を、日本語複眼的に眺める手段について学び、たとえばニュースについて日本や英語圏のメディアでの取り上げられ方とスペイン語世界での取り上げられ方との違いについて考察することにより、複眼的に世界を眺められるようになる。						
評価方法	授業内でのリスニングテスト 20%、予習に基づいたテキスト読解 40%、期末テスト 40%						
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts						
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31124	S	スペイン語中級 (演習)	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	火 2	106 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	News in Spanish Noticias en Español						
授業の目標概要	この授業ではコミュニケーションのために必要な実践練習を行います。1 年次に学習した文法項目の復習を行い、文法を自分のものとするをめざします。さらに発音を練習するとともに、スペイン語でのコミュニケーション能力を向上させ、スペイン語圏のさまざまな文化について学びます。ヨーロッパ言語共通参照枠の A1 から A2 レベルに対応しています。						
評価方法	授業への参加、ショートテスト、課題の提出、/ 口頭試験。 70% / 30%						
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook						
ガイダンス	書名 Es noticia.						
	著者（訳者） Nakajima, Satoko, Sato, Saichi, Taranco, David						
	出版社 Editorial Sanshusha						
ガイダンス	ISBN ISBN: 978-4-384-4216-6 C 1805						
	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31278	S	スペイン語中級 (演習)	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	木 2	1214 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		News in Spanish Noticias en Español					
授業の目標概要		この授業ではコミュニケーションのために必要な実践練習を行います。1 年次に学習した文法項目の復習を行い、文法を自分のものとすることをめざします。さらに発音を練習するとともに、 スペイン語でのコミュニケーション能力を向上させ、 スペイン語圏のさまざまな文化について学びます。ヨーロッパ言語共通参照枠の A 1 から A 2 レベルに対応しています。					
評価方法		授業への参加、ショートテスト、課題の提出、/ 口頭試験。 70% / 30%					
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Es noticia. 著者（訳者） Nakajima, Satoko, Sato, Saichi, Taranco, David 出版社 Editorial Sanshusha ISBN ISBN: 978-4-384-4216-6 C 1805					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30220	S	スペイン語上級 (演習)	ドニヤス ベレニャ アントニオ	スペイン語	月 4	166 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	Práctica de español, nivel avanzado						
授業の目標概要	El curso de práctica de español avanzado tiene un triple objetivo: en primer lugar, consolidar y ampliar el conocimiento gramatical de los estudiantes a través de las cuatro destrezas lingüísticas (comprensión oral, expresión oral, comprensión oral y comprensión escrita); a continuación, alcanzar una mayor fluidez oral; por último, fomentar el conocimiento por parte de los estudiantes de diversos temas relativos al mundo hispanico.						
評価方法	Participación en clase: 10 % Tareas: 60 % Exámenes: 30 %						
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31791	S	スペイン語上級 (会話)	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	木 3	166 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	América Latina en su literatura. Principales tendencias de la narrativa (I).						
授業の目標概要	In this course, students will learn concepts such as "imagination", "fantasy" and "reality", related to Latin American literature, by reading some works of major authors. Students may improve their skills in Spanish language through readings and writing exercises. They may also strengthen aspects of grammar, syntax and vocabulary of Spanish. En este curso, los estudiantes aprenderán conceptos como "imaginación", "fantasía" y "realidad", relacionados con la literatura latinoamericana, mediante la lectura de algunas obras de los principales autores. Los estudiantes pueden mejorar sus habilidades en el idioma español a través de lecturas y ejercicios de escritura. También pueden fortalecer aspectos de gramática, sintaxis y vocabulario del español.						
評価方法	授業への参加、ショートテスト、課題の提出、/ 口頭試験。 70% / 30%						
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30917	S	スペイン語上級 (作文)	FERNANDEZ HERBOSO	スペイン語	木 2	1221 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	スペイン語による作文の授業						
授業の目標概要	Aprender a escribir bien en una nueva lengua requiere del aprendizaje de un género discursivo totalmente nuevo. Este curso de redacción tiene como fin dotar a los alumnos de las estructuras conceptuales imprescindibles que les permitan comprender el objetivo del texto y cómo realizarlo. El enfoque consiste en la introducción de los modelos conceptuales que permitan al estudiante reorganizar sus ideas y su entorno tanto dentro del aula como fuera de ella para facilitar el aprendizaje de este nuevo el discurso escrito en español. Los niveles de referencia de español que abordaremos son B1-B2 y C1. 新しい言語で正しく書くことを学ぶには、まったく新しい論法を学ぶ必要がある。この授業では、文章を書く目的とその実行方法を理解できるようにするための基本的な概念構造を学生に提供することを目的としている。授業の方法は、スペイン語で書かれたこの新しい論法の学習を容易にするために、学生が自分の考えを教室の内外で再編成できるようにする概念モデルを紹介することである。 授業で使用するスペイン語のレベルは前半が B1~B2、後半が C1 である。						
評価方法	Método de evaluación: La evaluación continua del trabajo diario en el aula y de la producción de textos que se pidan en la clase. 期末試験は実施しない。毎回の授業で課す課題によって評価する。						
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Trivium. Manual de composición escrita 著者（訳者） Arturo Escandón 出版社 Liberas Press ISBN 978-4-909580-02-3						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

総合科目 L 系列 韓国朝鮮語

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30691	S	韓国朝鮮語初級（演習）①	崔 泰源	韓国朝鮮語	水 3	K114	1 年 文一二(5)文三(5)
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	韓国朝鮮語初修（文系） 韓国朝鮮語のネイティブ教員が担当する。一列・二列の授業で学んだ基礎知識の定着と、さらに「スピーキング」「リスニング」「リーディング」「ライティング」の諸領域におけるバランスの取れた理解・表現能力の向上を目指す。 授業への積極的な参加に基づく平常点と期末試験を用いて評価する。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31019	S	韓国朝鮮語初級（演習）①	崔 泰源	韓国朝鮮語	木 4	152 教室	1 年 文科 TLP
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	韓国朝鮮語初級（演習）① TLP 韓国朝鮮語一列・二列の授業で学んだ基礎知識の定着と、さらに「スピーキング」「リスニング」「リーディング」「ライティング」の諸領域におけるバランスの取れた理解・表現能力の向上を目指す。 授業への積極的な参加に基づく平常点と期末試験を用いて評価する。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30564	S	韓国朝鮮語初級（演習）	崔 泰源	韓国朝鮮語	火 5	1231 教室	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	韓国朝鮮語初級（演習） 韓国朝鮮語のネイティブ教員が担当する。一列・二列の授業で学んだ基礎知識の定着と、さらに「スピーキング」「リスニング」「リーディング」「ライティング」の諸領域におけるバランスの取れた理解・表現能力の向上を目指す。 ※この授業の履修を希望する人は、「韓国朝鮮語初級（一列・二列）」または「韓国朝鮮語初級（第三外国語）」を履修中か、それと同等の学力を持っていることが望まれます。 授業への積極的な参加に基づく平常点と期末試験を用いて評価する。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31018	S	韓国朝鮮語初級（演習）	崔 泰源	韓国朝鮮語	木 4	152 教室	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	韓国朝鮮語初級（演習）① TLP 韓国朝鮮語一列・二列の授業で学んだ基礎知識の定着と、さらに「スピーキング」「リスニング」「リーディング」「ライティング」の諸領域におけるバランスの取れた理解・表現能力の向上を目指す。 授業への積極的な参加に基づく平常点と期末試験を用いて評価する。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31038	S	韓国朝鮮語初級（会話）	金 東漢	韓国朝鮮語	木 5	150 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	韓国朝鮮語の基礎固め（その1） 本講義は主に初心者の受講生が対象になります。 そのため、最初はハングルの形や発音を習い、続いて複数の文字が並ぶ際に起きる様々な音の変化について勉強します。 その後、基本的な文法知識も交えながら、簡単な挨拶文や自己表現などの総合学習に移り、次のステップの土台を築いていく予定です。 課題などの平常点＋授業最終日（7月9日）の小テスト 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 「新・韓国語レッスン初級」 著者（訳者） 金東漢・張銀英 出版社 スリーエーネットワーク ISBN 978-4-88319-781-1 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30010	S	韓国朝鮮語初級 （インテンシヴ）	ジ ミンギョン	韓国朝鮮語	月 1	152 教室	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	韓国朝鮮語初級 インテンシヴ一列 必修授業に加えて韓国朝鮮語を集中的に勉強したい学生を対象に、韓国朝鮮語一列・二列の学習内容に基づきながら活動 中心の授業を行う。聞き取り、会話、読解、作文の全領域の連携を強化することで、実践的な運用能力の獲得を目指す。 期末試験、課題、小テスト、授業への参加などで総合的に評価する。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30337	S	韓国朝鮮語初級 （インテンシヴ）	ジ ミンギョン	韓国朝鮮語	火 2	150 教室	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	韓国朝鮮語初級 インテンシヴ二列 必修授業に加えて韓国朝鮮語を集中的に勉強したい学生を対象に、韓国朝鮮語一列・二列の学習内容に基づきながら活動 中心の授業を行う。聞き取り、会話、読解、作文の全領域の連携を強化することで、実践的な運用能力の獲得を目指す。 期末試験、課題、小テスト、授業への参加などで総合的に評価する。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31014	S	韓国朝鮮語初級 (インテンシヴ)	金 東 漢	韓国朝鮮語	木 4	150 教室	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	基礎知識の確立と定着（その1） 韓国朝鮮語のネイティブ教員が担当するこの「インテンシヴ」クラスでは、 ハングル文字と発音のルールを始め、初級レベルの文法・会話・作文などの 総合練習を通じて、一列・二列の授業で学んだ知識の応用・発展と 表現力の向上及びその定着を目指す。 毎週の課題の出来具合や受講態度などの平常点＋授業最終日（7月9日）の小テスト 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 「大学韓国語演習」 著者（訳者） 金東漢 出版社 白帝社 ISBN 978-4-86398-154-6 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31113	S	韓国朝鮮語初級 (インテンシヴ)	ジ ミンギョン	韓国朝鮮語	金 2	158 教室	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	韓国朝鮮語初級 インテンシヴ二列 必修授業に加えて韓国朝鮮語を集中的に勉強したい学生を対象に、韓国朝鮮語一列・二列の学習内容に基づきながら活動 中心の授業を行う。聞き取り、会話、読解、作文の全領域の連携を強化することで、実践的な運用能力の獲得を目指す。 期末試験、課題、小テスト、授業への参加などで総合的に評価する。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30295	S	韓国朝鮮語初級 (第三外国語)	張 銀英	韓国朝鮮語	火 1	157 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	韓国朝鮮語初級 文字と発音を確認しながら、基本的な文法と会話などを学ぶ。 「読む」「書く」「聴く」「話す」の基本をしっかりと身につけるようにする。 できるだけ韓国朝鮮語を使って授業を行う。 「小テスト」と「期末試験」 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 新・韓国語レッスン初級 著者（訳者） 金東漢・張銀英 出版社 スリーエーネットワーク ISBN 978-4-88319-781-1 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30320	S	韓国朝鮮語初級 (第三外国語)	岩井 智彦	韓国朝鮮語	火 2	10-304	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	韓国語入門・初級 韓国語を本格的に身につけようとしている方を対象にした授業です。S・A 両セメスターの受講を前提として授業を進め、通年で初級レベルの韓国語力が確実に身につくことを目標とします。 S セメスターは発音や文字等、入門レベルから始め、初級レベルの学習項目の前半部分を学びます。 なお、履修にあたっては、履修上の注意を必ず確認してください。 課題・小テストおよび期末テスト 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 韓国語へのとびら 著者（訳者） 吉本一ほか 出版社 朝日出版社 ISBN 978-4-255-55617-8 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30918	S	韓国朝鮮語初級 (第三外国語)	崔 泰源	韓国朝鮮語	木 2	1212 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	韓国朝鮮語初級の文法と会話 このクラスの履修を希望する人は、A セメスターの「韓国朝鮮語初級（第三外国語）」を履修済みか、それと同等の学力を持っていることが望まれます。 この授業では韓国朝鮮語の基礎文法と語彙を体系的に学習したうえで、様々な場面で実践的に使用できるコミュニケーション能力を身につけることを目指します。 授業への積極的な参加に基づく平常点と小テストや期末試験を用いて評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 根と幹 著者（訳者） 生越直樹・生越まり子・池玫京 出版社 朝日出版社 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30338	S	韓国朝鮮語中級 (演習)	崔 泰源	韓国朝鮮語	火 2	1105 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	韓国朝鮮語中級演習（T L P 用） T L P（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（T L P 用）、そしてインテンシブ・コース（T L P 用）を合わせて、集中的に韓国朝鮮語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。 授業への積極的な参加に基づく平常点と期末課題を用いて評価する。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30321	S	韓国朝鮮語中級 (会話)	張 銀英	韓国朝鮮語	火 2	157 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	韓国朝鮮語中級会話 短文会話を覚え、なおかつ応用できるような練習を通じて会話力の上達を目指す。 漫画やニュースなどを題材にして、その裏にある文化的背景を踏まえながら、生きた表現を学ぶ。 できるだけ韓国朝鮮語を使って授業を行う。 「期末試験」と「課題」 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 「シャドウイングで学ぶ韓国語短文会話 5 0 0」 著者（訳者） 張銀英 出版社 スリーエーネットワーク ISBN 978-4-88319-444-5 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31207	S	韓国朝鮮語中級 (会話)	ジ ミンギョン	韓国朝鮮語	金 3	158 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	韓国朝鮮語上級（会話） 様々な会話場面における語彙と文型を覚えていくことで、的確な表現・伝達ができるように練習する。また、韓国朝鮮語らしい表現法を身につけ、コミュニケーション能力の向上を目指す。 課題や授業参加などの平常点、期末テスト 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31039	S	韓国朝鮮語中級 (作文)	崔 泰源	韓国朝鮮語	木 5	152 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	韓国朝鮮語の作文練習(中級) 初級レベルの韓国朝鮮語の文法を理解したうえで「基本作文→発展作文→課題作文」の段階的な訓練を通じて、日常生活に必要な文章が自由に書ける程度の表現能力を身につけることを目指す。メールやエッセイ作成などの課題については、教員による添削をもとに誤用の分析と解説を行う。 ※この授業は、2014 年度以前入学者のうち、既修/初修 韓国朝鮮語語二列③ の単位未取得者には、読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 出席、課題、発表などの平常点と期末試験による評価。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30322	S	韓国朝鮮語中級 (表現練習)	根本 理恵	韓国朝鮮語	火 2	10-101	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語中級 言葉と文化の理解を中心に 韓国朝鮮語の初級教材を学び終えた学習者を対象とする。基礎知識を発展させることを目標に日常会話を取り入れながら語彙を増やす他、さまざまな文章に触れる機会を設けて変則活用や慣用句など、文法事項のまとめも行う。会話練習と読解練習はもちろんのこと、視聴覚教材を活用してヒアリングにも力を入れ、「聞く」「話す」「読む」「書く」力をバランスよく伸ばしたい。					
評価方法 教科書 ガイダンス		平常点、課題の提出または期末テスト。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31040	S	韓国朝鮮語中級 (読解)	植田 喜兵成智	韓国朝鮮語	木 5	151 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語の文章の講読 韓国朝鮮語の新聞や雑誌の記事、論説、小説など様々な種類の文章を講読する。各文章の解説を通じて、中級以上の文法事項および韓国朝鮮語の独特の語彙や表現などを理解する。また多様な文章の講読を通じて、現代の韓国社会や文化についても理解を深める。					
評価方法 教科書 ガイダンス		授業での発表 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30086	S	韓国朝鮮語中級 (インテンシヴ)	ジ ミンギョン	韓国朝鮮語	月 2	152 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語中級 インテンシヴ一列 韓国朝鮮語を集中的に学習したい人を対象に、「聞く」「話す」「読む」「書く」全領域における韓国朝鮮語能力の向上を目指す。初級で学んだ韓国朝鮮語の基礎内容を応用・表現する力をつけ、中級の文型や語彙を増やしていく。聞き取りや会話はもちろん、中級レベルの文章を読み、自分の考えを韓国朝鮮語でまとめられるように練習する。					
評価方法 教科書 ガイダンス		期末試験、課題、小テスト、授業への参加などで総合的に評価する。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30296	S	韓国朝鮮語中級 (インテンシヴ)	ジ ミンギョン	韓国朝鮮語	火 1	150 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語中級 インテンシヴ二列 韓国朝鮮語を集中的に学習したい人を対象に、「聞く」「話す」「読む」「書く」全領域における韓国朝鮮語能力の向上を目指す。初級で学んだ韓国朝鮮語の基礎内容を応用・表現する力をつけ、中級の文型や語彙を増やしていく。聞き取りや会話はもちろん、中級レベルの文章を読み、自分の考えを韓国朝鮮語でまとめられるように練習する。					
評価方法 教科書 ガイダンス		期末試験、課題、小テスト、授業への参加などで総合的に評価する。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30525	S	韓国朝鮮語上級 (作文)	崔 泰源	韓国朝鮮語	火 4	1225 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	韓国朝鮮語の作文練習（上級） 日本語の直訳ではなく韓国朝鮮語らしい表現を用いる作文練習を通じて、現地の大学や大学院への留学も想定した書籍・資料を読み込める読解力やレポート・論文を執筆できる表現力を身につけることを目指す。短いレポート作成などの課題については、教員による添削をもとに誤用の分析と解説を行う。 授業への積極的な参加に基づく平常点と期末課題を用いて評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

総合科目 L 系列 イタリア語

イタリア語初級(演習)①		開講区分	S	
授業の目標・概要	会話、作文など、イタリア語の表現の練習を中心に行い、より実践的なコミュニケーション能力の習得と文法知識の定着をめざします。			
成績評価方法	平常点と定期試験（最終授業時）。			
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time			
関連ホームページ	http://langue-fr.c.u-tokyo.ac.jp			
※講義の詳細については、UTAS を参照すること				
時間割 コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
30049	月 2	マルコ ビオンディ	K402	1 年 文三(6)
31159	金 3	マルコ ビオンディ	K113	1 年 文一二(6)

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31273	S	イタリア語初級 (演習)	マルコ ビオンディ	仏語・伊語	金 5	K301	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要		イタリア語初級演習 習った文法の知識を復習しながら実際のコミュニケーションに結びつけることをネイティブのイタリア語教員といっしょに目指します。生きたイタリア語の教材等を使って、理解力を高めながら、話したり書いたりする応用力を高め、コミュニケーション能力をみがきましょう。理科生向けの演習です。					
評価方法 教科書 ガイダンス		学期末筆記試験（最終授業時）と平常点だけではなく、毎回の授業に積極的に参加しているか、総合的に評価します。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30323	S	イタリア語初級 (会話)	DANIELI Daniela	仏語・伊語	火 2	K301	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		イタリア語初級会話 ネイティヴスピーカーの教員とともに、イタリア語の初歩を身につけながら、基本的なコミュニケーションと、自然な会話を学びます。					
評価方法 教科書 ガイダンス		平常点と最終授業時の試験 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30791	S	イタリア語初級 (会話)	USICCO Francesca	仏語・伊語	水 4	K212	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		イタリア語初級会話 ネイティヴスピーカーの教員とともに、イタリア語の初歩を身につけながら、基本的なコミュニケーションと、自然な会話を学びます。					
評価方法 教科書 ガイダンス		平常点と最終授業時の試験 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31041	S	イタリア語初級 (作文)	大崎 さやの	仏語・伊語	木 5	155 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		イタリア語初級（作文） イタリア語の初級文法を学びながら、作文の練習をします。					
評価方法 教科書 ガイダンス		平常点と期末試験（最終授業時に行います）。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 イタリア語練習問題集 著者（訳者） デイ・ルッソ、長神、西本 出版社 白水社 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31114	S	イタリア語初級 (作文)	野里 紳一郎	仏語・伊語	金 2	107 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	イタリア語初級（第三外国語）I イタリア語の基本文法の理解。 学期末試験（最終授業時）。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31274	S	イタリア語初級 (表現練習)	DANIELI Daniela	仏語・伊語	金 5	K303	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	E allora...? Questo corso è rivolto sia agli studenti che affrontano lo studio dell'italiano per la prima volta o con una conoscenza di base della lingua, sia a chi conosce già la grammatica ma vuole estendere la conoscenza del vocabolario e delle espressioni utili ad affrontare le situazioni più comuni della vita quotidiana. （この講義は、初めてイタリア語を勉強しようとする人も、文法の基礎はあるがよりボキャブラリーや表現を広げて、日常的な場で使えるようになりたいという人も対象です） Si terrà conto delle presenze, della partecipazione e interesse alle attività proposte in classe e ai risultati positivi conseguiti attraverso tali attività. 授業への参加と、クラスでのアクティビティを考慮します。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30324	S	イタリア語初級 (インテンシヴ)	宮坂 真紀	仏語・伊語	火 2	156 教室	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	初級イタリア語の応用 基礎科目の初修外国語でイタリア語初級クラスを受講する学生を対象にイタリア語能力を向上させるための初級コース。読解・文法・作文に取り組む授業1コマと、ネイティブ教員の指導のもと会話や聞き取りを中心とする授業1コマのあわせて2コマを履修することにより、イタリア語の応用力を集中的に身につけることを目指します。 授業への取り組み（課題提出も含む）と学期末試験の結果をもとに評価を行います。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31015	S	イタリア語初級 (インテンシヴ)	マルコ ビオンディ	仏語・伊語	木 4	K301	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	Bravissimo! Questo corso è rivolto a chi desidera esercitarsi nell'ascolto e nella conversazione per il livello principiante-elementare intensivo (A1). 初修イタリア語・国際コミュニケーションのイタリア語科目に加えて、聞き取り・会話をより集中的に勉強したい人が対象です。 Per la valutazione si terrà conto delle presenze (di almeno 3/4), della partecipazione, dell'interesse per la materia, del risultato di un minitest a metà corso e di un test scritto finale. （出席点と平常点および最終試験を総合して評価します） 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30160	S	イタリア語初級 (第三外国語)	野里 紳一郎	仏語・伊語	月 2	149 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	イタリア語初級（第三外国語）Ⅰ イタリア語の基本文法の理解。 学期末試験（最終授業時）。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30810	S	イタリア語初級 (第三外国語)	野里 紳一郎	仏語・伊語	水 5	152 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	イタリア語初級（第三外国語）Ⅰ イタリア語の基本文法の理解。 学期末試験（最終授業時）。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30247	S	イタリア語初級 (第三外国語)	大澤 麻里子	仏語・伊語	金 5	104 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	初修イタリア語 イタリア語共通教科書（東京大学イタリア語教材編集委員会編『Italiano... in partenza! イタリア語のスタート』）を用いて、イタリア語の基礎を勉強します。昨年度 A セメスターからイタリア語を学び始めた人や初歩的な文法事項についてはすでに学習済みの人を対象に、今期は直説法未来（教科書 Lezione6）からはじめて初級～中級レベルの文法の習得を目指します。第1回目の授業に理解度チェックを行い、履修者のレベルに合わせて進め方を調整します。 授業への貢献（授業での積極的な発言を期待します） 小テスト（各单元ごとに小テストを実施します） 課題の提出（学期中、数回課題を出します） 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Italiano... in partenza! イタリア語のスタート 著者（訳者） 東京大学イタリア語教材編集委員会 出版社 白水社 ガイダンス 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31115	S	イタリア語中級 (表現練習)	DANIELI Daniela	仏語・伊語	金 2	K303	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	イタリア語中級表現練習（Lingua italiana, espressioni di livello medio） すでにイタリア語文法の基礎的な知識の上に、ネイティブスピーカーの教員とともに、自然な発音と会話の力や作文力・語彙力をつけることをめざします。受講者の希望等にも考慮しながら、ビデオ教材なども交えて、イタリア文化をテーマに授業をすすめる予定です。通年で開講していますが、セメスターごとに独立して受講することが履修上も内容としても可能です。 平常点と最終授業時の試験。それぞれの開講時の能力・経験を考慮し、受講を通しての達成度を評価します。 プリントを配布する。／Will distribute handouts ガイダンス 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30565	S	イタリア語中級 (読解)	岡本 太郎	仏語・伊語	火 5	1321 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		ダイアログを通してイタリア語の口語表現を探る イタリア映画の実際の映像とスクリプトや、雑誌、ガイドブックなど、生のイタリア語を教材に、現代イタリア語のさまざまな表現について学習し、その文化的背景を考察します。 平常点と学年末の筆記試験。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30221	S	イタリア語中級 (インテンシヴ)	宮坂 真紀	仏語・伊語	月 4	153 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		中級イタリア語の応用 基礎科目の初修外国語および総合科目 L 系列でイタリア語初級クラスを受講した人を対象にイタリア語能力を向上させるための中級コース。読解・文法・作文に取り組む授業 1 コマと、ネイティブ教員の指導のもと会話や聞き取りを中心とする授業 1 コマのあわせて 2 コマを履修することにより、イタリア語の応用力を集中的に身につけることを目指します。 授業への取り組み（課題提出も含む）と学期末試験の結果をもとに評価を行います。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31116	S	イタリア語中級 (インテンシヴ)	マルコ ビオンディ	仏語・伊語	金 2	K301	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		中級イタリア語の応用 初修クラス受講者が集中的にさらにイタリア語能力を向上させるための中級コース。読解・文法練習・作文を中心に運用能力をたかめる授業 1 コマと、会話聞き取りを中心に応用力をつけるネイティブの教員による授業 1 コマのあわせて 2 コマの両方を履修する（両方あわせての履修を推奨するが片方だけでも可能）。1 年間の初修イタリア語学習の基礎の上に、イタリア語の総合的な能力を定着させ、さまざまな専門分野で運用するための能力を養成する。 授業中の参加と、小テストなどの学期中の課題を考慮し、学期末の試験とあわせて評価する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30811	S	イタリア語上級 (会話)	マルコ ビオンディ	仏語・伊語	水 5	K402	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		Facciamo un passo avanti! Questo corso è rivolto sia per chi desidera esercitarsi nell'ascolto e nella conversazione per il livello avanzato (B1).. Per la valutazione si terrà conto delle presenze (di almeno 3/4), della partecipazione, dell'interesse per la materia, del risultato di un minitest a metà corso e di un test scritto finale. 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30758	S	イタリア語上級 (作文)	マルコ ビオンディ	仏語・伊語	水 4	K402	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		イタリア語上級作文 (Lingua italiana- composizione di livello avanzato) L'obiettivo del corso è imparare come scrivere un testo accademico. Redarre un testo accademico non è una cosa facile, non lo è neanche nella propria lingua. Scriverlo in un'altra lingua porta la sfida a un nuovo livello. La scrittura accademica è piena di strutture e frasi fisse che sono probabilmente presenti anche nella tua lingua madre. Compiti durante il semestre e il test alla conclusione del corso					
評価方法 教科書 ガイダンス		プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

総合科目 L その他外国語

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30456	S	アラビア語初級 (第三外国語)	濱田 聖子	古典語・地中海諸言語	火 3	531 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		アラビア語初級（第三外国語） アラビア語初学者を対象に、文字の書き方・発音から始め、初級文法を概観する。授業では、アラブ諸国の共通語である正則アラビア語（文語・書き言葉）を扱い、1 年間で基礎文法を網羅し、辞書を用いて、現代標準アラビア語の文章が読解できるようになることを目指す。					
評価方法 教科書		毎回の課題提出と学期最後のテストで評価します。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 現代アラビア語入門 著者（訳者） 黒柳恒男・飯森嘉助 出版社 大学書林 ISBN 978-4-475-01838-8					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30815	S	アラビア語初級 (第三外国語)	杉田 英明	古典語・地中海諸言語	水 5	103 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		アラビア語初級（第三外国語）Ⅰ アラビア文字の読み方から始めて、1 年間で文語文法の構造を概観します。辞書を引きながら、現代アラビア語の文章が読解できるようになることを目標とします。毎回、教科書の練習問題を割り当てますので、復習が不可欠です。 なお、この時間は文語文法の説明が中心で、日常会話や口語表現などを直接扱っている余裕はありません。ただし、口語や会話の基礎も文語文法にありますので、将来自習したり現地で学んだりする場合には役立つことを申し添えます。					
評価方法 教科書		学期最終日の試験（75%）と提出物その他（25%）による。詳細は最初の回に説明いたしますので必ずご出席下さい。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 現代アラビア語入門 著者（訳者） 黒柳恒男・飯森嘉助 出版社 大学書林 ISBN 978-4-475-01838-8					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30919	S	アラビア語初級 (会話)	教員未定	古典語・地中海諸言語	木 2	K113	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		アラビア語初級（会話） This course is offered by courtesy of the Arabic Islamic Institute in Tokyo (AIIT). The aim of the course is to acquaint the students with the fundamentals of the Arabic language. The emphasis will be on conversation, and the students will be taught to speak Arabic in the correct way using essential and useful daily life expressions. The students will also be introduced to the basics of Arabic writing and grammar, as well as to elements of Arabic art and culture. The classes will be conducted by Ehab Ebeid as a native-speaking adjunct lecturer.					
評価方法 教科書		The evaluation will be based on attendance and participation, as well as small tests conducted in class time. 授業中に指示をする。／Will specify at class time					
ガイダンス		第一回授業日に行く。／Will conduct guidance at first time					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30528	S	アラビア語中級 (第三外国語)	濱田 聖子	古典語・地中海諸言語	火 4	1211 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	アラビア語中級（第三外国語） 比較的簡単なアラビア語の読み物を講読します。 母音符号の付いた読み物から始め、次第に母音符号の付いていない読み物に移行していく予定です。 原則として初級文法を一通り終えた方が対象ですが、なるべく既習文法や語彙を確認しながら進めます。 自分で辞書を引きながら、文章の意味が取れるようになることを目標とします。 割り当ての担当などによる。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30793	S	アラビア語中級 (第三外国語)	杉田 英明	古典語・地中海諸言語	水 4	1223 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	アラビア語中級（第三外国語）Ⅰ 初級文法を一通り終えた方を対象に、文法事項を確認しながら、母音符号の付いた正則アラビア語の比較的簡単な読み物を講読します。自分でアラビア語・英語辞典を引きながら、文章の意味が正確に取れるようになることを目標とします。 これによって、母音符号のない文章が自由に読めるようになるまでの橋渡しをいたします。 割り当ての担当などによります。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30920	S	ヒンディー語初級 (第三外国語)	藤井 毅	アジア・日本研究コース	木 2	1211 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	ヒンディー語（初級） インド共和国の連邦公用語であり、北インド出身のインド系移民のなかでも広く用いられ、推定話者人口 5 億人超を有する「共通標準ヒンディー語」を学びます。表記に用いるデーヴァナーガリー文字と音声の習得より入り、夏学期で指定教科書の 9 課までを終えることを目標とします。 初回の授業を除き、毎回宿題が出ます。その出来を評価します。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Complete Hindi (Teach Yourself Series) 著者（訳者） Rupert Snell and Simon Weightman 出版社 London: John Murray Learning, 2016 ISBN 978-1444-106831 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30976	S	ヒンディー語中級 (第三外国語)	藤井 毅	アジア・日本研究コース	木 3	1211 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	ヒンディー語（中級） Intermediate Hindi course インド共和国の連邦公用語であり、北インド出身のインド系移民のなかでも広く用いられ、推定話者人口 5 億人超を有する「共通標準ヒンディー語」を学びます。ヒンディー語（初級）で用いていた指定教科書の知識に基づき、実際のヒンディー語文を読むことで、より深い知識の獲得を目指します。 初回の授業を除き、毎回の予習の出来を評価します。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance						

総合科目 L その他外国語

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30977	S	インドネシア語初級 (第三外国語)	高地 薫	アジア・日本研究コース	木 3	159 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		インドネシア語入門 (Indonesian language for beginners) インドネシア語はローマ字表記で、発音も日本人にとって比較的容易で、文法の簡易な言語である。この授業では、インドネシア語未修者を対象に、インドネシア語の基本的な文法と語彙を身につけ、基本的な読み書きができるようになることを目的とする。 期末試験 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31020	S	インドネシア語中級 (第三外国語)	高地 薫	アジア・日本研究コース	木 4	159 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		インドネシア語中級 (Indonesian language for Intermediate Students) この授業では、インドネシア語既習者を対象に、原文の精読をする。 インドネシア語は文法が簡易であるため、長文を読むには西欧諸語とは違った技術が必要となる。そうした技術を身につけることを目標とする。 講読するテキストは新聞や雑誌の記事、エッセイ、短編小説など、広い分野から取り上げ、様々なスタイルの文章を用いる。 演習の内容により評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30457	S	ベトナム語初級 (第三外国語)	野平 宗弘	アジア・日本研究コース	火 3	120 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		ベトナム語入門 I ベトナム語を学習するにあたって基礎となる発音、文字の読み方、書き方から始め、基礎文法、簡単な会話表現を学ぶ。 ベトナム語の基礎文法、初歩的な会話表現を習得することを目標とする。 出席と小テストおよび定期試験 授業中に指示をする。／Will specify at class time 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31296	S	ベトナム語中級 (第三外国語)	大泉 さやか	アジア・日本研究コース	金 4	102 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		ベトナム語文献講読 ベトナム語文献の初歩的な読解力を身につけることを目標とする。 授業における音読、訳読を見て、総合的に判断する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30921	S	広東語初級 (第三外国語)	郭 文ホウ	中国語	木 2	109 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	広東語（初級） 広東語は中国の南方の方言である。広東・広西地域のほか、香港・マカオ両特別行政区では教育や公共放送の場で使用されている。本授業は広東語の発音の基礎を学ぶと同時に、文法や作文を学ぶ。広東語教授方法の授業ではないので、広東語ネイティブの受講は原則認めない。 学期中にクイズ（数回）を行なう。これを期末試験の成績と総合評価する。試験時にはイエール式のローマ字表記と繁体字を使うので、習熟しておくこと。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 香港粵語 [基礎会話] 著者（訳者） 吉田雅之 出版社 白帝社 ISBN 978-4-86398-094-5 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30162	S	ヘブライ語初級 (第三外国語)	飯郷 友康	アジア・日本研究コース	月 3	1108 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	ヘブライ語文法初歩 ユダヤ文化を深く理解するために、また中東情勢の一端を把握するために、ヘブライ語の知識は欠かせない。この重要な、そして面白い言語の初歩を、なるべく実用的、実践的に習得したいと思う。ひとまずの目標は、自力で辞書を検索できるようになること―すなわち、文法の基礎を把握すること。そして、ある程度の複雑な長文を理解し得る読解力を身につけること。 単元を終えるごとに簡単な宿題、また期末にレポートの提出を課す。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30297	S	ペルシア語初級 (第三外国語)	前田 君江	アジア・日本研究コース	火 1	K401	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	ペルシア語の文字と基礎文法 本授業の目標は、A セメスターでテキスト読解につなげるための基礎固めをすることである。文字を習得したあとは、人称項目・動詞時制の学習が中心となる。ペルシア語の文法は易しいため、文法の基礎事項について、履修者は予め予習するものとする。授業内では、会話練習、スピーチ、筆記の文法練習と併せて、イラン社会を知るための画像や映像・映画の視聴も行う。 ペルシア語は、英語と同じインド・ヨーロッパ語族で、文法的にも感覚的にも理解しやすい。覚えるべき文法規則も少なく、語順は日本語と同じであるため、最も習得しやすい言語のひとつであるとされる。言語のなじみやすさを入口として、広くアジアや中東の文化にも関心を向ける契機としてほしい。 小論文と期末試験（文法テスト）で評価する。小論文は授業内で視聴した映画の感想を中心とするもの。なお、第2回授業での文字テスト、毎回の単語テストも考慮の対象とする。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 『ペルシア語の文法～初級編～』 著者（訳者） ソホラーブ・アーザルパランド、前田君江 出版社 三恵社 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31125	S	セルビア・クロアチア語初級 (第三外国語)	山崎 信一	ロシア語	金 2	101 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		セルビア・クロアチア語（初級） セルビア・クロアチア語の初等文法をマスターし、簡単な会話能力を身につけることを目標とする。 学期末の試験による。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 ニューエクスプレスプラス セルビア語・クロアチア語 著者（訳者） 中島由美・野町素己 出版社 白水社 ISBN 978-4560088135 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31210	S	セルビア・クロアチア語中級 (第三外国語)	山崎 信一	ロシア語	金 3	101 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		セルビア・クロアチア語（中級） セルビア・クロアチア語の初等文法の学習を終えた者を対象に、読解力を身につけるための文章講読の授業を行う。 平常点による 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30339	S	ポーランド語初級 (第三外国語)	久山 宏一	ロシア語	火 2	119 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		ポーランド語初級 ポーランド語の基礎的な文法を学ぶ。簡単な会話ができ、辞書を活用できることを目標とする。 平常点＋期末試験 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 ニューエクスプレス+（プラス） ポーランド語 著者（訳者） 石井哲士朗・三井レナータ・阿部優子 出版社 白水社 ISBN ISBN978-4-560-08849-4 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30760	S	タイ語初級 (第三外国語)	浅見 靖仁	アジア・日本研究コース	水 3	K113	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 タイ語初級（第三外国語） 半年間で、タイ語の基本的な文法とタイ文字を修得することを目指します。 辞書を使えばタイ語の新聞や雑誌を読むことができるレベルに到達することを目指す人は、A セメスターも継続して履修することを勧めます。S セメスターの履修だけでも、タイを旅行する際、簡単な会話をしたり、看板に書かれているタイ文字を読んだりできるようになります。 評価方法 宿題 10 %、中間試験 10%、期末試験 80%。 教科書 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 ニューエクスプレス・プラス タイ語 著者（訳者） 水野潔 出版社 白水社 ISBN 978-4560087992 ガイダンス 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time							

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31046	S	ポルトガル語初級 (第三外国語)	牧野 真也	スペイン語	木 5	153 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 ポルトガル語の基礎 ポルトガル語を初めて学習する人を対象としており、A セメスターの講義と併せて通年でポルトガル語の基礎的な文法を学びます。 評価方法 授業最終日の筆記試験で評価しますが、欠席 1/4 以上で受験資格を失いますので留意してください。 教科書 プリントを配布する。／Will distribute handouts ガイダンス 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time							

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31021	S	ポルトガル語中級 (第三外国語)	牧野 真也	スペイン語	木 4	153 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 ポルトガル語の基礎 ポルトガル語の初歩的な知識を有する者を対象としており、読解力と聴解力を身に付けることを目指します。 評価方法 出席点 5 割＋平常点 5 割（講読の割り当て部分の発表など）で 60 点以上を合格とします。 教科書 プリントを配布する。／Will distribute handouts ガイダンス 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time							

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31126	S	台湾語初級 (第三外国語)	蔡 承維	中国語	金 2	106 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	台湾語初級 A						
授業の目標概要	「台湾語」は、17 世紀以来、福建南部の泉州、漳州、厦門などから台湾に渡ってきた人々がもたらした言語である。台湾では、2300 万の総人口の 75% を占める 1700 万人の母語と推定される。この言語は、現代中国では「閩南語」と称し、母語話者もおおよそ 1700 万と言われている。歴史的に東南アジアや欧米では、この言語を「福建語」と称している。インドネシア、マレーシア、シンガポール、フィリピンでは福建語は華語の方言の中で最も話者が多く、インドネシア語、マレーシア語においても福建語由来の語彙が 500 以上あるとの研究もある。しかし第二次世界大戦後、各地の言語政策においては、台湾語、閩南語、福建語のメディアにおける使用が厳しく制限される傾向があった。このような状況にもかかわらず、映画、ドラマ、歌謡曲、文学などの流通はさまざまな形で続いた。近年、台湾において振興の動きが著しく、2019 年 7 月、初めての台湾語による公共放送のテレビチャンネル「公視台語台」も設立された。そのほか、方言の使用に対して厳しく制限しているシンガポールでも、2016 年より、準国営且つ唯一のテレビ局も 37 年ぶりに方言（主な福建語）番組の制作、放送を再開した。						
評価方法	この授業では、台湾語の発音とローマ字表記法、基本的な文法と会話表現を習得することを目指す。 ① 毎回のコメントシート 40% ② 自己紹介文 30% ③ 期末テスト 30%						
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 ニューエクスプレスプラス 台湾語 著者（訳者） 村上嘉英 出版社 白水社 ISBN 9784560088395						
ガイダンス	その他 村上嘉英『ニューエクスプレス 台湾語』も可 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2020 年 04 月 10 日 2 限／2nd Period						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30529	S	モンゴル語初級 (第三外国語)	荒井 幸康	アジア・日本研究コース	火 4	K211	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	モンゴル語						
授業の目標概要	初歩的な文法および語彙を習得し、辞書を引きつつ、新聞が読める程度の語学力を身につける 会話では、挨拶や簡単な質問および、自己紹介ができるようにすることを目標とする						
評価方法	毎回小テストを行う予定であるので、その点数と 最終テストおよび、授業での発言で評価する						
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30458	S	トルコ語初級 (第三外国語)	高松 洋一	アジア・日本研究コース	火 3	109 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	現代トルコ語初級文法入門 1 現代トルコ語の初級文法を習得する。S セメスター、A セメスターの通年で完結する。一年後には新聞・雑誌等のトルコ語のテキストを辞典をひきながら読めるようになることをめざす。会話の練習などは行わず、文法体系を身に付けることが中心となる。トルコ語は文法 規則が厳格かつ整然としているので、最初にきちんと文法を身につけないと、簡単な文さえ作れないからである。その代わりあるところまでたどり着ければ、日本語に発想が似ているので文章読解は非常に楽になるだろう。トルコ語学習を通じて異文化に対する理解を深めると同時に、外国語学習でなじみのある印欧諸語や中国語とは全く異なった、むしろ日本語に近いタイプの言語を学ぶことによって、学習者の言語観を豊かなものにしてみたい。						
評価方法 教科書	S セメスターは文字と発音からはじめ、名詞の格、動詞の現在形、-di 過去形、 未来形、 中立形、存在文と所有文をマスターする。教科書の各課に付された練習問題を通して名詞・ 動詞につく基本的な接尾辞と付属語を完全に習得することを目標とする。とりわけトルコ語学習における最初の山場である母音調和、動詞接尾辞、格接尾辞、人称の付属語、所属人称 接尾辞をしっかりと身に付ける。						
ガイダンス	学期末最後の時間に行なう筆記試験の成績をもとに評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 『トルコ語文法 初級・中級 改訂版』 著者（訳者） 東京外国語大学 トルコ語専攻 編 出版社 東京外国語大学生協同組合出版部 ISBN 978-4-903386-18-8 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30530	S	トルコ語中級 (第三外国語)	高松 洋一	アジア・日本研究コース	火 4	109 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	トルコ語中級文献講読 文献講読を通じて、現代トルコ語の初級文法をいちおう習得した者を対象に、既習・未習の文法事項を整理しつつ、語彙を増やしてトルコ語テキスト読解のスキルを身につけることを目標とする。どのようなテキストに 出会っても辞典さえあれば自分で問題を解決できるようになることを目指したい。 あわせて講読する文献の内容を通じて、トルコの社会・文化・歴史などに関する知識を深めることも期待したい。						
評価方法 教科書 ガイダンス	学期末に試験は行わない。毎回指名してやってもらう訳読によって評価する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30250	S 1	日本語中級	大久保 雅子	日本語	月 5	10-205	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	滑らかに話すための日本語発音 伝わりやすく自然な発音でコミュニケーションができるようになることを目標とする。また、大学での口頭発表等に必要な発音の習得を目指す。授業の概要は以下のとおりである。 （１）リズムやアクセントなどの音韻知識を学びながら、発音練習および活動を行う。 （２）シャドーイング等の練習方法を活用し、発音学習方法を身につける。 （３）自己評価・他者評価によって自分の発音上の問題点を把握し、発音を上達させる。						
評価方法	出席 10% 復習クイズ 20% 録音課題 30% 口頭発表 20% 授業中の課題 20%						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
40021	S 2	日本語中級	大久保 雅子	日本語	月 5	10-205	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	滑らかに話すための日本語発音 伝わりやすく自然な発音でコミュニケーションができるようになることを目標とする。また、大学での口頭発表等に必要 な発音の習得を目指す。授業の概要は以下のとおりである。 (1) リズムやアクセントなどの音韻知識を学びながら、発音練習および活動を行う。 (2) シャドーイング等の練習方法を活用し、発音学習方法を身につける。 (3) 自己評価・他者評価によって自分の発音上の問題点を把握し、発音を上達させる。						
評価方法	出席 10% 復習クイズ 20% 録音課題 30% 口頭発表 20% 授業中の課題 20%						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31047	S 1	日本語中級	大久保 雅子	日本語	木 5	10-205	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	滑らかに話すための日本語発音 伝わりやすく自然な発音でコミュニケーションができるようになることを目標とする。また、大学での口頭発表等に必要 な発音の習得を目指す。授業の概要は以下のとおりである。 (1) リズムやアクセントなどの音韻知識を学びながら、発音練習および活動を行う。 (2) シャドーイング等の練習方法を活用し、発音学習方法を身につける。 (3) 自己評価・他者評価によって自分の発音上の問題点を把握し、発音を上達させる。						
評価方法	出席 10% 復習クイズ 20% 録音課題 30% 口頭発表 20% 授業中の課題 20%						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
40127	S 2	日本語中級	大久保 雅子	日本語	木 5	10-205	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	滑らかに話すための日本語発音 伝わりやすく自然な発音でコミュニケーションができるようになることを目標とする。また、大学での口頭発表等に必要 な発音の習得を目指す。授業の概要は以下のとおりである。 (1) リズムやアクセントなどの音韻知識を学びながら、発音練習および活動を行う。 (2) シャドーイング等の練習方法を活用し、発音学習方法を身につける。 (3) 自己評価・他者評価によって自分の発音上の問題点を把握し、発音を上達させる。						
評価方法	出席 10% 復習クイズ 20% 録音課題 30% 口頭発表 20% 授業中の課題 20%						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30011	S 1	日本語上級	宇佐美 洋	日本語	月 1	10-201	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	読解を通じ、日本の歴史を考える Advanced readings in Japanese history						
授業の目標概要	※この授業は留学生向けの授業です。日本人学生の履修はできません。 日本の歴史について書かれた記事の読解を通じ、日本史における特定の事象や、その事象に関する文化的背景についての理解を深めるとともに、歴史的事象と現代との関わりについて批判的に検討できるようになることを目指します。事象の背景にある文化的背景などについては学生自身に調査してきてもらい、互いに共有し、議論していきます。こうした作業を通じ、自分が調査し考察したことを、他者に効果的に表現していくためのトレーニングを行うとともに、他の学生との議論により、自己の考察をより深めていきます。						
評価方法	授業への参加状況（出席も含む） 授業中随時実施するクイズ 最終レポート・プレゼンテーション						
教科書 ガイダンス	授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
40001	S 2	日本語上級	宇佐美 洋	日本語	月 1	10-201	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	読解を通じ、日本の歴史を考える Advanced readings in Japanese history						
授業の目標概要	※この授業は留学生向けの授業です。日本人学生の履修はできません。 日本の歴史について書かれた記事の読解を通じ、日本史における特定の事象や、その事象に関する文化的背景についての理解を深めるとともに、歴史的事象と現代との関わりについて批判的に検討できるようになることを目指します。事象の背景にある文化的背景などについては学生自身に調査してきてもらい、互いに共有し、議論していきます。こうした作業を通じ、自分が調査し考察したことを、他者に効果的に表現していくためのトレーニングを行うとともに、他の学生との議論により、自己の考察をより深めていきます。						
評価方法	授業への参加状況（出席も含む） 授業中随時実施するクイズ 最終レポート・プレゼンテーション						
教科書 ガイダンス	授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30298	S 1	日本語上級	宇佐美 洋	日本語	火 1	10-205	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	読解を通じ、日本の歴史を考える Advanced readings in Japanese history						
授業の目標概要	※この授業は留学生向けの授業です。日本人学生の履修はできません。 日本の歴史について書かれた記事の読解を通じ、日本史における特定の事象や、その事象に関する文化的背景についての理解を深めるとともに、歴史的事象と現代との関わりについて批判的に検討できるようになることを目指します。事象の背景にある文化的背景などについては学生自身に調査してきてもらい、互いに共有し、議論していきます。こうした作業を通じ、自分が調査し考察したことを、他者に効果的に表現していくためのトレーニングを行うとともに、他の学生との議論により、自己の考察をより深めていきます。						
評価方法	授業への参加状況（出席も含む） 授業中随時実施するクイズ 最終レポート・プレゼンテーション						
教科書 ガイダンス	授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
40022	S 2	日本語上級	宇佐美 洋	日本語	火 1	10-205	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	読解を通じ、日本の歴史を考える Advanced readings in Japanese history						
授業の目標概要	※この授業は留学生向けの授業です。日本人学生の履修はできません。 日本の歴史について書かれた記事の読解を通じ、日本史における特定の事象や、その事象に関係する文化的背景についての理解を深めるとともに、歴史的事象と現代との関わりについて批判的に検討できるようになることを目指します。事象の背景にある文化的背景などについては学生自身に調査してきてもらい、互いに共有し、議論していきます。こうした作業を通じ、自分が調査し考察したことを、他者に効果的に表現していくためのトレーニングを行うとともに、他の学生との議論により、自己の考察をより深めていきます。						
評価方法	授業への参加状況（出席も含む） 授業中随時実施するクイズ 最終レポート・プレゼンテーション						
教科書 ガイダンス	授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30816	S 1	日本語上級	木村 政樹	日本語	水 5	10-201	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	文学作品を読む・味わう・まとめる・伝える： その1						
授業の目標概要	授業の目標：日本の近代文学を読むことで、文章を理解する力、語彙力、思考力を身につける。 授業の概要：いくつかの日本の近代文学をじっくり読むことで、言葉の意味や表現の豊かさを学ぶ。その際、時代背景や当時の社会状況について知ること、日本文化についての理解を深める。最終回では、作品ひとつを選んで、その魅力について発表する。また、選んだ作品についてのレポートを提出する。						
評価方法	授業への参加度・レポートをもとに総合的に評価する。						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
40112	S 2	日本語上級	木村 政樹	日本語	水 5	10-201	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	文学作品を読む・味わう・まとめる・伝える： その2						
授業の目標概要	授業の目標：日本の近代文学を読むことで、文章を理解する力、語彙力、思考力を身につける。 授業の概要：いくつかの日本の近代文学をじっくり読むことで、言葉の意味や表現の豊かさを学ぶ。その際、時代背景や当時の社会状況について知ること、日本文化についての理解を深める。最終回では、作品ひとつを選んで、その魅力について発表する。また、選んだ作品についてのレポートを提出する。						
評価方法	授業への参加度・レポートをもとに総合的に評価する。						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30858	S	古典語初級 (ギリシア語) I	上野 慎也	古典語・地中海諸言語	木 1	153 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	古典ギリシア語の手ほどき						
授業の目標概要	古典ギリシア語で綴られた平易な文章を読解するための力を培う。						
評価方法	平常点と期末試験による。平常点とは、授業時間中、教科書の問題演習をする際に、自己の予習結果を発表する事で積み上がる点の事を謂う。「出席点」なるものは存在しない。						
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook						
ガイダンス	書名 古典ギリシア語初歩						
	著者（訳者） 水谷知洋						
	出版社 岩波書店						
	ISBN 978-4000008297						
	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31279	S	古典語初級 (ギリシア語) I	松浦 高志	古典語・地中海諸言語	金 5	112 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	古典ギリシア語初級（前半）						
授業の目標概要	1, 目標 初級文法を 1 年かけて学び、古典ギリシア語で書かれた簡単な文章を読めるようにし、難しい文章であっても文法書と辞書を使えば何とか読めるようにする。 一般に古典ギリシア語を学ぶにはかなりの負担を覚悟しなければならないと思われる。したがって、そのために学修をためらったり、途中であきらめてしまう場合も少なくないと思われる。できるだけそのようにならないよう、履修者の理解度や自宅学習の時間を適宜確認しつつ、学修内容・進度と自宅学習の時間を調整するので、ためらわずに履修してほしい。						
評価方法	2, 古典ギリシア語 ギリシア語の重要性については改めて説明するまでもないだろう。古代ギリシア文明は西洋文化の原点であり、西洋文化の根底にあるものを知ろうとすれば、必然的に古代ギリシア文明に触れることになる。古代ギリシア語を学ぶのは容易とは言えないが、これを学ぶと、古代ギリシア語が擁する哲学・歴史学・文学・科学などあらゆる分野の膨大な文献に直接触れることができ、それらがどのように西洋文明やその他の文明に影響を与えているのかを知ることができるようになる。						
	ギリシア語の文献は紀元前 15 世紀頃の線文字 B 粘土板にさかのぼる。使用地域はやがて東地中海地域から地中海地域全体へ、一時はさらにインド方面にまで広がった。古典ギリシア語とは、紀元前 5-4 世紀にアテーナイを中心とする地域で使われていたギリシア語のことを言う。これを学べば、ホメロス（紀元前 8 世紀頃）から中世ギリシア語に至るまでの各時代・地域のギリシア語や新約聖書のギリシア語も容易に習得できる。文献の豊富さゆえにラテン語、サンスクリット語などととともに印欧比較言語学に豊富な資料を提供するという点でもギリシア語は重要である。						
	学期末試験（60 点）と小テスト（20 点）、練習問題の発表状況（20 点）で行う。						
	おおむね次のようになるように問題の作成・採点等を行う予定である。						
	50 点：形態をある程度理解しており、練習問題を解いてきている。 65 点：形態をだいたい理解しており、練習問題を解く際にそれを用いている。 80 点：形態をほぼ理解しており、構文や語法に注意して練習問題を解いてきている。 90 点：形態や構文、語法をほぼ正しく理解しており、自分の言葉で正しく説明できる。						
教科書	教科書の練習問題を解く際は、単語の形態（名詞なら性・数・格、動詞なら法・時称・相・数・人称など）をきちんと調べておき、また構文や語法については教科書のどの節に説明があるかを調べておくと上達が早い。すなわちそのようにすれば、教科書の練習問題や学期末試験の問題をよく理解して解くことができ、ギリシア語の原典も正確に理解することができるようになる。単に上手（に見えるよう）な和訳ができただけでは評価を得ることができないことに注意せよ。逆に和訳がぎこちなかったとしても、形態や構文等について教科書の内容をきちんと理解した上でのものであれば評価は高くなる。						
ガイダンス	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook						
	書名 『古典ギリシア語初歩』						
	著者（訳者） 水谷智洋						
	出版社 岩波書店						
	ISBN 978-4-00-000829-7						
ガイダンス	その他 3,500 円＋税（ただし変更されることがある）						
	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30922	S	古典語中級 (ギリシア語) I	上野 慎也	古典語・地中海諸言語	木 2	8-418	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		古典ギリシア語散文講読 古典期(前五～四世紀)のアッティカ方言で綴られた散文を精読する。初級で習得した文法の運用能力を錬磨し、実際の読解に必要な作品の背景について基礎知識を蓄える。 平常点による。毎回の訳読の首尾を以てこれに当てる。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30012	S	古典語初級 (ラテン語) I	井上 秀太郎	古典語・地中海諸言語	月 1	122 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		ラテン語初級 辞書を使って独力でラテン語の簡単な文章が読めるように、基本的な文法事項を身につける。 平常点と期末テストに基づいて評価する 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 標準ラテン文法 著者(訳者) 中山恒夫 出版社 白水社 ISBN ISBN978-4-560-01761-6 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30531	S	古典語初級 (ラテン語) II	ヘルマン ゴチェフスキ	古典語・地中海諸言語	火 4	学際交流 ホール	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		Grammatica Latina (2) – Coniugationes verborum 注 この授業は 2018 年度の A セメスターで始まった一年間の初級ラテン語コースの 2 学期目に当たる。すでにこの授業で使われる教科書の 1～17 章を勉強した学生、または同じぐらいのラテン語力を身につけている学生を対象としています。最初からラテン語を始める学生は別の教員の授業を取るか、ゴチェフスキが 2019 年度 A セメスターに出す予定の古典語初級(ラテン語) II を履修してください。 Finis huius cursus est linguam Latinam non per aliam linguam sed per illam ipsam discere. 試験(最後の授業で実施) その他。／Other その他 教科書は以下の二冊を使います。生協でお買い求め下さい。Hans H. Ørberg Lingua Latina per se Illustrata, Pars I: Familia RomanaFocus Publishing 同書の練習問題: Hans H. Ørberg Lingua Latina per se Illustrata, Exercitia Latina IFocus Publishing 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30087	S	古典語中級 (ラテン語) I	井上 秀太郎	古典語・地中海諸言語	月 2	8-416	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ラテン語散文講読 元首政時代の散文を丁寧に読むことにより、ラテン語を読解する能力を向上させる。初級の授業で身につけた知識、特に文法的な事項を逐一確認しながら、読み進めていく。 授業では小ブリニウスの『書簡集』を読んでいく。文中に盛り込まれた古代ローマの社会、文化、政治に関する豊富な情報と合わせ、帝政ローマを代表する文人政治家の端正なラテン語を味わってほしい。					
評価方法 教科書 ガイダンス		平常点に基づいて評価する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30299	S	古典語初級 (サンスクリット語) I	梶原 三恵子	アジア・日本研究 コース	火 1	153 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		サンスクリット初級文法 (I) 古典サンスクリット語の初級文法を習得し、平易なサンスクリット文を読解する運用力を養成することをめざす。S セメスターは、文法の前半部（音論、名詞・形容詞の変化）を扱う。 サンスクリット語は古代・中世インドで宗教聖典および各分野の学術書に用いられた古典語である。仏教などを通してアジアの諸地域の文化にも少なからぬ影響を与えた。また、印欧比較言語学分野においては、ギリシア語・ラテン語とならぶ重要な位置を占める。サンスクリットを学ぶことは、古典教養の基礎を身につけることである。					
評価方法		授業は文法の解説と練習問題による演習を組み合わせる。演習を進める。 授業参加状況（宿題に出した練習問題への取組状況と、毎週の課題の提出回数）と、授業中に何度か行う小テストとの、総合評価による。前者に重点をおく。					
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 『サンスクリット語初等文法』 著者（訳者） J.ゴンダ（鎧淳訳） 出版社 春秋社					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30251	S	古典日本語	矢田 勉 村上 克尚	国文・漢文学	月 5	164 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		古典日本語から近代日本語へ 日本の古典に使用されたことばについて、文字と言語のダイナミクスという観点から理解を深める。古典日本語を、平安朝の古文を典型とするものとしてではなく、漢文や変体漢文、また和漢混淆文や片仮名文も含めて、さまざまな文体が互いの存在を前提としながら機能し、干渉しあっている世界としてとらえることを目指す。 毎年担当者が交代する授業だが、今年度は日本語学・日本語史専攻の矢田勉と日本近現代文学専攻の村上克尚が担当する。今年度は特に、文語文としての古典日本語と近代文章語の交渉に焦点を当てて講ずる。					
評価方法 教科書 ガイダンス		授業最終週に試験を行う。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31280	S	古典中国語	田口 一郎	国文・漢文学	金 5	154 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	古典中国語文法（漢文法）の基礎						
授業の目標概要	中国古典語（漢文）読解に必要な語法理解と読解力を養成する。 テキスト進度分の漢文を、1.きちんと文型を把握した上で、2.助字を正しく理解し、3.現代日本語訳できるようにします。						
評価方法	試験による。						
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook						
	書名 漢文入門 （岩波全書 233）						
	著者（訳者） 小川環樹・西田太一郎						
	出版社 岩波書店						
	ISBN 978-4000201018						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

総合科目 A（思想・芸術）

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31127	S	言語構造論	伊藤 たかね	言語情報科学専攻	金 2	K211	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	言語の認知科学への招待 私たちは、普段、母語をむずかしいと思うこともなく使っているが、その背景にはどのような言語知識が働いているのだろうか。理論言語学・心理言語学・神経言語学の研究にかんする講義を聞き、さらに、音素という小さな単位から、単語、句、文まで、具体的な言語データを授業でともに考えていく作業を通して、私たちがいかに精緻な文法体系を無意識のうちに駆使しているかを実感してもらいたい。ことばを使いこなす人間って、すごい、という素朴な感動を共有したい。 毎回の授業後に提出するミニレポート、授業期間中に課す課題、および学期末の試験とで、総合的に評価を行う。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30817	S	言語応用論	加藤 恒昭	言語情報科学専攻	水 5	521 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	言語とコンピュータ 言語（言葉）は、人間間のコミュニケーションの主たる手段であり、様々な知識を記述・記録するためにも用いられる。このような重要性のため、言語によるコミュニケーションや知識の活用を加速する目的でコンピュータを用いる自然言語処理の研究開発も盛んで、ワープロや Web 検索などが日常的に利用されている。本講義では、このような言語を、科学する立場から眺めていくとともに、そのような言語の科学を応用した自然言語処理技術の仕組みを学んでいく。言語学と言語に関する情報処理のトピックをバランスよく配置し、分野を超えた広い視野で言語を考えることを目指す。言語学、情報処理、いずれの知識も前提としない、むしろそれらに初めて接する初学者を主な受講者とした内容とする、学期中 2~3 回課す小レポート、学期末に課すレポートを半々程度に勘案して評価する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30818	S	記号論	山田 広昭	言語情報科学専攻	水 5	511 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	記号学から文化記号論、メディア学へ 二〇世紀後半において、文化現象や社会現象の捉え方、分析方法に刷新をもたらした記号論の基礎を、その始祖とされるソシュールとパースにおける記号の定義からはじめて、文化記号論のその後の代表的な展開を概観する。それに加えて後半では、さまざまなコミュニケーション・テクノロジーの発展が果たした役割を重視するメディア学への接合をはかる。とくに、メディアの変容と社会や政治との連動に注目することで、現代の社会状況の考察へとつなげたい。 リアクションペーパー（出席チェックを兼ねる）20 パーセント 定期試験 80 パーセント 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31128	S	翻訳論	小林 宜子	言語情報科学専攻	金 2	122 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	アーサー王物語の諸相--その翻訳と翻案の歴史 時代を超え、国境を越えて語り継がれ、書き継がれてきたアーサー王伝説。人々はこの物語に何を託し、この物語を通じて何を訴えようとしてきたのでしょうか。そして現代の私たちは、長い伝統を持つこの物語の中にどのような意味を見出すことができるのでしょうか。本授業では、12 世紀以降の 8 世紀間にイギリス、フランス、アメリカ、日本で書かれた様々なジャンルの作品を読解しながら、アーサー王の物語が翻訳や翻案を通じて新たな意味を獲得し、各々の時代や文化の中で多様な変貌を遂げていった様を詳細に観察し、分析します。 毎回の授業への貢献度、および学期末試験の成績を併せて総合的に評価します。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31572	S	外国文学	阿部 公彦	文学部	月 5	121 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	「スタイル」から考える英語と英文学 この授業では「スタイル」という視点から英語をとらえなおすことを目指します。英語といえ多くの人にとって「勉強」「受験」「実用」「仕事」といった要素と結びつくものでしょう。しかし、現実の英語は決して無色透明なツールではなく、かならず何らかの「色」がついています。世間話であろうと討論であろうと、手紙や新聞記事や文学作品であろうと、かならずそこには「スタイル」がからんでくる。そこに注目すると、英語の持つおもしろさ不思議さ、魅力や、ややこしさがよりはっきり見えてくるかと思います。英語（および言葉一般）への感性をそうやって磨くことで、将来の言語運用にも役立ててもらえればと思います。 最終試験（形式は追って知らせます）＋平常点＋出席 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 『英語のスタイル』 著者（訳者） 豊田昌倫、堀 正広、今林 修（編著） 出版社 研究社 ISBN 4327410969/ 978-4327410964 その他 その他、授業中にも参考資料を配る予定です。 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31571	S	外国文学	塚本 昌則	文学部	水 2	K213	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	フランス文学のエチュード この授業は、文学部・フランス文学研究室の教員がそれぞれ専門とする時代・作家・作品を取り上げて講義し、フランス文学の全貌を解説すると同時に、文学研究の方法と意義についても教養学部前期課程のみなさんにわかりやすく解き明かすことを目的としている。 人文科学は人間の探求を目的としている。その一分野としての文学（および文学研究）は、可能性としての人間を考察する点に特徴がある。それ以前に存在しなかった人物像が、忽然とある作品に出現して文学史に刻印され、人間の幅と奥行きを拡大し、時として後年その人物像を模した人間が現実の世界の中に生まれる（たとえば、カミュの『異邦人』）ことからわかるように、歴史的にどこにも見当たらない人間類型を探ることこそ、文学（および文学研究）がもっとも得意とする発想法である。哲学が現実の人間のあり方の原理を探り、歴史学が過去における人間のあり方を探るとしたら、文学は人間のあり方の持つ可能性を、知識や過去の事実の枠組みを越えて探求する。言い換えれば、現実にはいまだありえない「想定外」の人間像を探求する。そしてフランス文学こそ、今まで、もっともその試みに務めてきた文学であるように思われる。 フランス文学は時代順にいつて人文主義、古典主義、啓蒙主義、ロマン主義、自然主義、シュルレアリスム、実存主義という文芸思潮をたどり、しかもそのすべてにおいて時代の尖端をゆく作品を産み出してきた。一国文学でありながらヨーロッパ世界の精神史の流れを先取り、ないしリードしたと云ってよく、これをたどることによって、副産物として、世界文学への展望を容易に把握することもできる。現況はより複雑な様相を呈しているが、まず基本を学ぶことで現在の状況への認識をさらに深めることができるだろう。 授業では、それぞれの文芸思潮のなかから、いくつかの代表的な作品を選び、翻訳の抜粋を読解することによって、その作品の魅力を説き明かす。時代順にはこだわらず、担当教師がもっともおもしろいと思う作品を取りあげることにする。授業を手がかりに、気になる本があったらぜひその翻訳全体を読み通してほしい。文学の魅力と可能性を再発見する機会となることを目指したい。						
評価方法 教科書 ガイダンス	学期末に提出していただく 4000 字程度のレポートによる（詳細はガイダンスおよび授業中に指示する） プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31580	S	言語文化論	長屋 尚典	文学部	金 5	1225 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	言語の多様性から考える言語学 世界には 6000 から 7000 ほどの言語が存在すると言われるが、その構造は言語ごとに異なり、多様である。たとえば、 「花子さんか」(S) みかんを (O) 食べた (V)」という内容を伝えるために、日本語のように SOV 語順をとる言語もあれば、英語のように SVO 語順をとる言語も存在する。さらには VSO、VOS、OSV、OVS といった語順も存在し、多様である。しかし、完全に不規則というわけでもない。実は SOV 言語と SVO 言語とを比べて、世界の言語の 80% 以上を占めており、人間の言語に「S が V に先行する」「V と O が隣接する」という傾向があることが分かっている。このような言語の特徴は、世界の言語を幅広く観察することによって初めて知ることができる。 このような言語の多様性の問題は、言語を科学的に探求する学問である言語学 linguistics の研究課題のひとつであるが、この授業では、この言語の多様性に注目しながら、言語学という学問体系の導入をおこなう。世界のさまざまな言語の例をとりあげ、世界の言語の驚くべき多様性について学びながら、言語学とはどういう問題に取り組んでいるのかを議論する。						
評価方法 教科書 ガイダンス	授業参加、課題、レポートによって総合的に判断する。なお、履修者多数でレポートによる評価が難しい場合はレポートに代えて試験を実施する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30340	S	現代思想	高橋 哲哉	哲学・科学史	火 2	121 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		和解と赦しの現代哲学 国家、民族など集団間の抗争によって生じた傷をいかに克服し、和解にもたらすか。20 世紀末以来のグローバル化によって世界に広がったこの問題は、現代の哲学的思考の一大テーマでもある。ショアー（ホロコースト）の傷をめぐる戦後世界の政治とともに、ハンナ・アーレント、カール・ヤスパース、ウラジーミル・ジャンケレヴィッチ、ジャック・デリダなどの「責任」と「赦し」についての思考を辿る。					
評価方法 教科書 ガイダンス		学期末試験による。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30013	S	記号論理学 I (理科生)	岡本 賢吾	哲学・科学史	月 1	743 教室	1 年 理科 2 年 理科
講義題目 授業の目標概要		記号論理入門 - 命題論理・一階述語論理の証明論・意味論と、一階理論の代表的事例 記号論理の体系として現在最も標準的となっている、G・ゲンツェンが開発した「自然演繹の体系 (N J / N K)」を、初歩から丁寧に学び、実際の証明構成を行えるようにする。命題論理、述語論理と順を追って検討し、正規化・健全性・完全性など、メタ論理の基本的話題を学んだ後、実際の数学的応用（公理的集合論、順序集合論の初歩など）をいくつか見た上で、形式的自然数論（ハイティング算術／ペアノ算術）に進み、数学的帰納法を含む証明構成を詳しく分析する。論理学、哲学、計算機科学に関心のある人、またより一般的に、数学の論理的構造をよく理解したい人にとって、様々な有用な事項や興味ある情報が提供されるだろう。					
評価方法 教科書 ガイダンス		学期末の試験による。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31281	S	記号論理学 I (理科生)	齋藤 浩文	哲学・科学史	金 5	743 教室	1 年 理科 2 年 理科
講義題目 授業の目標概要		現代形式論理学入門 現代形式論理学の基礎としての命題論理・述語論理について、自然演繹の体系を通して学び、証明の方法に習熟するとともに、意味論の意義についても理解することを目指す。時間が許せば、若干の進んだ話題にも触れる。					
評価方法 教科書 ガイダンス		学期末の試験によって評価する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31129	S	記号論理学 I (文科生)	藤川 直也	哲学・科学史	金 2	1102 教室	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		記号論理学の基本を学ぶ。 古典命題論理、いくつかの多値命題論理、様相命題論理、古典一階述語論理について、その統語論、意味論、タブローを学ぶ。論理学における意味論的な妥当性の定義をよく理解し、タブローを用いた妥当性の判定、反例モデルの構成、日本語の文の記号化ができるようになることを目標とする。					
評価方法 教科書 ガイダンス		学期末テストで評価する プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30819	S	表象文化論	田中 純	表象文化論コース	水 5	512 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		「歴史」の表象文化論―歴史表象と歴史経験の諸問題 わたしたちは歴史や過去の事象を歴史学の学術的な言説からのみ知るのではない。パーソナルな場では故人の遺品や書き残した文書、より公共的には遺跡や遺物などとの直接的な接触を通して、間接的には写真・映像・記録音声のほか、歴史を扱った小説や映画といったフィクションを媒介に、わたしたちは過去に触れている。その経験を「歴史経験」、そこで媒体となるものを「歴史表象」と呼ぼう。この授業ではまず、文学・写真・映画などの各ジャンルにおける具体的な歴史表象の事例を取り上げ（教員の研究テーマとの関係から、戦争やホロコーストに関わる事例が中心となる）、それらがもたらす歴史経験について検討する。そのうえで歴史経験に関する歴史理論・歴史哲学的な考察への導入を行なう。					
評価方法 教科書 ガイダンス		出席＋平常点＋期末レポート 授業中に指示をする。／Will specify at class time 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2020 年 04 月 08 日 5 限／5th Period					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30252	S	美術論	三浦 篤	表象文化論コース	月 5	1313 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		西洋絵画の見方（伝統絵画篇） 現代を生きる私たち日本人が、主体的に西洋絵画に接するために必要な構えやこつ、実践的な見方を学ぶための講義です。対象はルネサンスから 18 世紀までの伝統的な西洋絵画とし、神話画、宗教画、寓意画、肖像画、風景画、風俗画、静物画等々、主題ジャンル別に説明を加えます。知識だけではなく、絵と対話する姿勢や視点を身につけることを重視しているので、講義は画像を見せて、作品を具体的に分析しつつ行うつもりです。美術の好きな人も、美術に近づきたい人も、美術と少し接してみたい人も、1 枚の絵のつぶやきに耳を傾け、背後の文化にも触れてみましょう。きっと新しい世界が広がるはずです。					
評価方法 教科書 ガイダンス		レポートの提出。授業の内容に関連した絵画作品を実際に見て、授業で学んだことを生かしながら、記述、分析、考察した結果を報告する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 『まなざしのレッスン 1. 西洋伝統絵画』 著者（訳者） 三浦篤 出版社 東京大学出版会 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31573	S	美術論	高岸 輝	文学部	水 5	K011	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		美術史学入門 美術史学の入門として、日本美術史、東洋美術史、西洋美術史の各分野から、計 5 名の教員がオムニバス形式で講義を行う。芸術家や美術作品の調査、文字資料を使った検討、鑑定や作品の評価、美術館・博物館における美術展示の実際など、美術史学にかかわる様々な研究方法を概説するとともに、日本・東洋・西洋の古代から現代にいたる主要な研究トピックや国内外での研究動向を紹介する。					
評価方法 教科書 ガイダンス		毎回の授業で行う小課題、および期末のレポートによる。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31130	S	音楽論	長木 誠司	表象文化論コース	金 2	18 号館ホール	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	オペラを観る・オペラを知る⑤ 一昨年に続き、西欧の代表的な舞台音楽ジャンルであるオペラを観るためのイントロダクション的な授業である。昨年の「あいちトリエンナーレ」では、不当な理由で展示自体が公共的な支援を打ち切られたが、芸術とは本来「危険な」ものである。その「アブナさ」を理解せずして芸術に触れることはできない。19 世紀までのヨーロッパ最大の娯楽であると同時に「芸術」であったオペラも例外ではない。今年度は、そうした「アブナさ」をオペラがどのように内包し、またそれをもってなにもに抵抗し、どのように受け容れられてきたかということをテーマにする。もちろんその背後で、オペラはどのような視点で観られ・聴かれるものなのか。どのように観れば面白いのかという視点も取り続けたい。現在オペラ上演の最先端はどのようなになっているのか。オペラはすでに過去のジャンルなのか。以上のような疑問を持つ受講者を望むが、単なるオペラ好きも大いに歓迎する。少しでも別の観方が得られればよいと思う。						
評価方法 教科書 ガイダンス	毎回のレポート（感想文）、そして 1 回の実演体験によるレポート、および試験による。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31579	S	比較文化論	蓑輪 顕量	文学部	水 5	162 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	心と身体と思想 インド・中国には人間の心を見つめる伝統が存在した。インドはヨーガに始まり、サティパッターナと呼ばれる心の観察が存在したが、のちに仏教では独自の視点を入れて、サマタとヴィパッサナーに二大別するようになった。中国では、身体を流れる気と関連づけられて、心が見つめられた。人間の思想と身体的な実践の結びつきを考えながら、人間が自己と世界とを、どのように捉えてきたのかを探索する。また、それは現代の我々が直面する、苦悩などの様々な問題を解決する糸口に繋がるのが期待される。人間の心と体と、そして思想とが密接に関連しながら展開したことを、理解できるようになることを目指す。						
評価方法 教科書 ガイダンス	授業途中で課すレポート 3 割 試験 7 割の割合で評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30923	S	比較文化論	石原 剛	比較文学比較文化研究室	木 2	511 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	アメリカ文化とその多様性：日米比較の視点から 本講義では、アメリカ文化の特色を理解する上で重要な、幾つかのテーマを中心に比較文化の視点を活用して考えていく。特に、「多様性」というアメリカの文化的・社会的特徴を、文学、映画、絵画作品などを適宜紹介しつつ解説していく。情報・コミュニケーション技術や世界市場の飛躍的な進展を迎えた今日、アメリカ文化の世界への拡大がもつ意味について理解を深めることは非常に重要である。そこで、明治以降、アメリカ文化の多大な影響を受けてきた日本の例を題材に、アメリカ文化の「グローバルゼーション」についても取り上げる。また本講義では多様な社会を構築していく上でアメリカが直面した差別や偏見の問題、特に日系アメリカ人の歴史や、日米の戦時プロパガンダの問題を重点的に扱い、異文化が共存していくとはいかなることなのかについて熟考してもらう。						
評価方法 教科書 ガイダンス	課題となっているドキュメンタリー作品に対するコメントや、学期末試験の結果によって総合的に評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30163	S	比較文学	今橋 映子	比較文学比較文 化研究室	月 3	511 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		パリの「ボヘミアン生活」の光と影ー比較文学入門 本授業は、比較文学という学問の入門となるべく、19 世紀パリの神話的な芸術家生活（「ラ・ボエーム」）を主題として、いくつかの軸を立てて展開する。 1）屋根裏部屋で貧しくても愉しく、自分の信念のままに精進する青年芸術家たちの生活（la Bohème）は、19 世紀の作家アンリ・ミュルジェールの小説によって神話化され、世紀末ブッチェニのオペラ（ラ・ボエーム）で世界的に伝播した。ミュルジェールの小説が昨年、日本で初めて全訳されたことを記念し、これを教科書として用い、先ず小説世界を熟知するところから始める。 2）その「ボヘミアン生活」は近代日本では、岩村透という美術批評家のエッセイによって、一挙に知られることになる。「巴里の美術学生」というエッセイを、国会図書館デジタルテキスト（無料）によって読み、岩村が明治大正期に「ラ・ボエーム」のいかなる精神を移入しようとしていたかを考える。 3）現代の比較文学が関心をもつ理論の一つに「アダプテーション」がある。これは文学作品がいかに他の芸術ジャンルに「翻案」されていくかを精緻に捉えようとするものである。「ラ・ボエーム」は小説で成立した後、オペラ、映画、ミュージカル（「レント」）からフィギュアスケートに至るまで「アダプト」され続けている。その様相を追いながら、原作の何が継承され、ジャンルによっていかに変奏されているのかを考える。 4）ボヘミアニズムは、社会学的な「中心と周縁」理論で捉え直せる現象でもある。授業の最終部では再び岩村透を取り上げ、19 世紀日本におけるボヘミアニズムが、「高等遊民」問題とリンクされることで、いかなる事態が生じたかについて講義する。それを通じて、「芸術と社会」という深い問題にこのテーマが繋がっていることに気付くだろう。					
評価方法 教科書		授業出席、小レポート、期末レポートによる総合評価とする。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 ラ・ボエーム 著者（訳者） アンリ・ミュルジェール著（辻村永樹訳） 出版社 光文社文庫					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31575	S	比較思想	菊地 達也	文学部	水 5	1214 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		イスラム教の形成 近年、中東における地域紛争がシーア派對スンナ派という宗派対立の枠組みで語られるケースが増えている。宗派対立が、イランを中心とする諸国家とサウディアラビアなどの国々という国家対立に重ね合わせられることもある。このような単純化された枠組みが信用に値するものでないことはすぐに分かるだろうが、シーア派とスンナ派の宗教上の争点は何か、その争点が政治とどのように関わり合っているのかについてはそれほど知られているわけではない。 本授業では、ユダヤ教、キリスト教という同系統の宗教と比較しながら、預言者ムハンマド没後に生まれた幾つかの争点を巡る思想史を追い、それらの争点がシーア派、スンナ派といった宗派の形成にどのように関わっていったのかを分析することで、ユダヤ教、キリスト教と一線を画すイスラム教思想史の特徴を明らかにする。その上で最終的には、最初期のイスラム思想と現代のそれとの異同を明確にすることを通じて、現在のイスラム教イメージを相対化する視座を獲得してもらいたい。					
評価方法 教科書 ガイダンス		学期末レポートにより判定。授業時に取り組んでもらう課題(2、3 回)も加味。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2020 年 04 月 08 日 5 限／5th Period					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31578	S	比較思想	渡辺 優	文学部	水 5	523 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	宗教学入門 本講義のねらいは、私たちの「宗教」理解をより深く豊かなものとする、あるいは、現代においておよそ「宗教」というものに向き合うにあたり求められる知性のしなやかさを幾分かでも培うことである。（それはそのまま「私と他者のあいだ」をトポスとする宗教学という学問の哀楽を知ることでもあるかもしれない。） 本講義の議論は以下の三部によって構成される。 ①いま「宗教」を考えるということ（の意味と意義） ②宗教学の歴史と今日的課題 ③他者学としての宗教学（の思想的可能性） 「宗教」について私たちが抱きがちなイメージを解きほぐすことからはじめ、宗教学ないし宗教学的な営みの歴史と今日的課題を「宗教」概念批判論を中心に概観したうえで、現代に「宗教学する」ことの思想的な可能性を探求する。とくに③については、宗教学草創期からの鍵概念であった「神秘主義」を主題として講じる予定である。 期末試験（60%）、リアクションペーパーなど授業への参加度（40%） プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31576	S	東洋思想史	横手 裕	文学部	火 5	157 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	中国思想入門 中国では伝統的に、儒教・道教・仏教が三教すなわち「三つの教え」の体系として並存し、それぞれが自らの思想教説を展開させつつ相互に影響を与えあい、中国思想の歴史を形成した。 この中国思想の歴史と内容について、最も重要なポイントを取り上げつつわかりやすく概説する。 中間試験 1 回、定期試験 1 回の予定。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30820	S	西洋思想史	石原 孝二	哲学・科学史	水 5	K212	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	精神障害（精神疾患）と精神医学の思想史 精神障害と精神医学の歴史をたどりながら、理性と狂気が西洋の医学や哲学においてどのように捉えられてきたのかを 探る。 期末試験 その他。／Other 書名 精神障害を哲学する：分類から対話へ 著者（訳者） 石原孝二 出版社 東京大学出版会 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30253	S	経済思想史	松原 隆一郎	経済・統計	金 5	1222 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	経済思想史						
授業の目標概要	経済思想史について概説する。原著者の文章をプリントで配布する。						
評価方法	学期末に、全員に試験を課す。受験しなかった者は受講しなかったとみなす。試験問題の一部は「古典を一冊読み、その感想を解答用紙に書け」というもので、持ち込みは許さない。						
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook						
ガイダンス	書名		経済思想入門				
	著者（訳者）		松原隆一郎				
	出版社		ちくま学芸文庫				
	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30254	S	社会思想史	森 政稔	社会・社会思想史	月 5	1331 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	近代社会形成期の社会思想:時間と空間の視点から						
授業の目標概要	本年度の社会思想史の授業では、ヨーロッパの近代形成期を主対象として、これらが、先立つ古代および中世の思想に対するいかなる関係において成立したのかを、時間と空間の視点を中心に解明することを主目的とする。 この時期の社会思想といえば、16 世紀前半のマキアヴェリや宗教改革思想、そして大航海時代を受けて、主権国家の本格的な形成が始まり、それを巡ってボダンやモナルコマキらの論争があり、そしてイングランド革命期にはホッブズやロックら契約説が形成された。この時期は比較的短い期間に、近代社会の骨格を形成する最重要の理論が形成された。しかもこれらはいずれも重要で現代に及ぼす影響も大きいが、相互に対立する要素を含んでいることもたしかである。 このように一筋縄でいかないものとして、政治思想における近代とは何かを理解しようとするのが、この授業の主目的である。それに加えて、このような思想の形成を支えた条件として、大航海時代におけるヨーロッパ世界の社会空間の変化と、自然観の変容を重要な要因として関係付けることにしたい。						
評価方法	期末試験による。論述タイプの問題を出します。						
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

総合科目 B（国際・地域）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30341	S	国際関係論	石田 淳	国際関係	火 2	1322 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		戦争と平和の国際政治学 戦争と平和の問題を中心に、国際政治の概説的講義を行う。《政治》とは、関係者の同意に基づく価値配分にはかならない。この同意を確保する過程が《交渉》である。社会における正統な構成員の資格基準や適切な行動基準について主要な構成員の間に同意が成立することによって《秩序》が成り立つ。この講義では、政治、外交交渉、国際秩序をキーワードとして、国際政治がいかなる意味において《政治》であるかを浮き彫りにしたい。					
評価方法 教科書		学期末試験 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 『国際政治学』 著者（訳者） 中西寛・石田淳・田所昌幸 出版社 有斐閣					
ガイダンス		第一回授業日を行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31131	S	国際関係論	湯川 拓	国際関係	金 2	1322 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		国際関係について理論的に考える 国際関係論（国際政治学）の入門的な講義であり、国際政治現象を分析的に理解するための「レンズ」あるいは「ものの見方」を得ることを目的とする。そのために、現在の国際社会の来歴を学んだ上で（歴史）、国際関係論という学問における重要概念とその基本的操作について理解する（理論）。 入門的講義ということもあり、国際関係における様々な問題を広範に取り上げる予定である。					
評価方法 教科書 ガイダンス		期末試験の成績に基づき評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日を行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30342	S	国際関係史	川島 真	国際関係	火 2	1331 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		東アジア国際関係史 19 世紀から 21 世紀に至る東アジアの国際関係史について講義をおこなう。主に中国外交史、中国外交について述べるが、適宜、日本や台湾の視点を取り入れ、朝鮮半島も視野に入れる。また、適宜、現状分析も行う。現代から過去を振り返るというより、この時代の背景と政策選択について考察し、歴史的な連続性、変化・変容を見出す。理系の学生も参加することを考慮し、基礎的な事項に触れながら講義することをできる限り心がける。この講義を受講することにより、東アジア国際関係史の基本的な内容とともに、その歴史的な継続性と変容、さらに現在起きている東アジアの諸問題の原因や背景について理解することができるようになるのではないかと考える。					
評価方法 教科書		受講者が多い場合は試験にするが、事前に問題を公開する。ただし、受験生が多い場合には一定程度マークシートを利用した試験を実施することも考える。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 東アジア国際政治史 著者（訳者） 川島真・服部龍二 出版社 名古屋大学出版会 ISBN 978-4815805616					
ガイダンス		第一回授業日を行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30343	S	現代国際社会論	篠田 英朗	国際関係	火 2	532 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	国際秩序と紛争解決 授業の前半部分では、ヘドリー・ブルらのイギリス学派の理論を提示しつつ、国際社会論の観点から国際関係学や現実世界を見ることの意義について考えていく。理論的な国際社会の構成要件を見た後、国際社会を歴史的に捉える視点および主要な制度的活動領域を論じていく。後半では、特に紛争解決論の視点に焦点をあて、国際社会の協調的活動の代表例としての国際平和活動の理論や実践について議論を進めていく。 授業参加度合いと、中間・期末レポート 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 国際社会の秩序 著者（訳者） 篠田英朗 出版社 東京大学出版会 ISBN 4130342517 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30822	S	現代国際社会論	阪本 拓人	国際関係	水 5	525 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	現代アフリカの政治と国際関係 【概要】 現代のサハラ以南アフリカの政治や国際関係について多角的に学ぶ概説的授業である。アフリカの歴史や風土に関する導入ののち、各回の講義で、国家、国民、開発、民主主義、グローバル化、人間の安全保障といった政治学や国際関係論の基本的な概念やテーマを取り上げ、これらを軸に、独立から今日に至るアフリカの国家と国際関係の特徴や変容を、アフリカ内の多様性にも留意しながら、コンパクトに解説していく。 【目標】 アフリカは、近年世界の中で急速に重要性を増す地域のひとつである。この講義では、アフリカが直面してきた多様な課題や問題を取り上げることで、学生がこの地域を多角的に理解するための見取り図を構築していくきっかけを提供したい。また、国家や民主主義、グローバル化といった政治学や国際関係論の基礎的な概念をアフリカの文脈において具体化・操作化することで、アフリカのみならず、政治や国際関係全般に対する見方も豊かにしてもらいたい。 主に期末試験の成績に基づき評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30859	S	平和構築論	水野 孝昭	地域文化研究専攻	木 1	159 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	平和構築とメディア 冷戦後の「平和」が岐路に立たされています。大国間の覇権争いに逆戻りするのか、分断を克服してグローバルな連携を深めていくのか。この授業では、第一次大戦以来の戦争・紛争を対象に「平和の崩壊」を考察します。とくに人々の敵意や戦意をあおるメディアの役割に焦点をあてて世論と外交の関係を具体的に検討して、平和を構築・定着させる試みを検討します。 最終回に論述式の期末試験を行う。評価は授業への参加を含めて行う。 プレゼンテーションをやった学生は、その内容をまとめたレポートの提出で期末試験に代えることができる。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 国際秩序 著者（訳者） 細谷雄一 出版社 中公新書 ISBN 9784121021908 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30164	S	地域文化論 I	後藤 絵美	地域文化研究専攻	月 3	532 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	日本・アジア学概論：国際社会で活躍する基盤を身につける 日本の国内経済は曲がり角を迎え、多方面で構造改革が叫ばれている。一方で国境の垣根はますます低くなり、世界標準（グローバルスタンダード）が押し寄せてくるとともに地球全体で取り組むべき課題も山積している。これからは、国際社会で活躍できる人材が求められている。 近年、アジアの成長は目覚ましく、アジアにおける経済、政治、技術、環境など各動向は、国際社会全体を大きく左右する。すなわち、アジアを学ぶことは国際社会で活躍するために不可欠である。 本講義は、本学の「日本・アジアに関する教育研究ネットワーク(ASNET)」に参画する教員による日本・アジア学の概論と位置づけられる。様々な視点からアジアを切り取る方法論や知識を学ぶことにより、日本・アジア学の魅力を体験し、国際社会で活躍するためにどのような知識・能力・スキルが必要となるのかを理解する。						
評価方法	(1) 平常点（授業内での発言およびリアクションペーパー）、(2) 課題点（期末レポート）、(3) その他加点の合計によって評価する。						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31022	S	地域文化論 I	LOWE David、 板山 真弓	地域文化研究専攻	木 4	K201	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Australia and the Atom: weapons, mines and legacies In the 1950s Australians were captivated by the untold powers of atomic energy, a miraculous power made more exciting by discoveries of large reserves of uranium and the Anglo-Australian testing of atomic weapons in the Australian desert. The dream faded quickly but the legacies have endured, both for Aboriginal communities affected by weapons testing and illnesses suffered by former servicemen involved. This course examines these legacies in the context of ongoing remembering and debates in Australia, and in the context of recurring debates over atomic power generation and storage of atomic waste in South Australia. It considers uranium amidst the rise of other mineral exports, including exports to Japan, in Australia's economy. Among other sources used in this course are the online art exhibition, Black Mist, Burnt Country, and the 1984-5 Royal Commission into atomic testing. It also makes use of films (eg Backs to the Blast), Indigenous art and pop culture such as the music of Midnight Oil and Paul Kelly.						
評価方法	In-class participation exercises 1 review essay 1 in-class test (week 13)						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30344	S	比較地域史	田中 創	歴史学	火 2	522 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ローマ帝国の衰亡と古代末期世界 西ローマ帝国が 476 年に滅んだ一方で、東ローマ帝国はその後も 1,000 年近く永らえたというのが西洋古代世界を締めくくる上での一般的な説明である。しかし、東西の歴史的変容の違いをどのように描き出すか、あるいは帝国が減じるとはということかといった点は、長年来議論の対象となってきた歴史上の難問である。本講義ではこの解決の難しい問題とその長大な研究史を真正面から扱うわけではないが、このような歴史的難問を内包する紀元 4－6 世紀頃の東西地中海世界の歴史に着目し、東西ローマ帝国それぞれが歩んだ異なる道のりを概観する。そして、いくつかの個別的な事象の検証を通じて、歴史に対する視座を豊かにすることを目指したい。世界史の記述がどうしてもこのような形になっているのか？ イスラームとキリスト教はどのような社会背景の中に成り立ったのか？ この時代の文化が現代にどのような影響を及ぼしているのか？ このような数々の一般的な問いに取り組む姿勢をはぐくみたい。						
評価方法	授業内のコメントシートと学期末試験をもとに評価する。						
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30345	S	日本文化論 I	中野 貴文	国文・漢文学	火 2	512 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	「徒然草」を読み直す 「徒然草」は吉田兼好という俗世を捨てた隠者によって書かれた随筆で、その内容は作者の深い人生経験を反映し様々な教訓に富み、中世以降、数多くの読者の共感を得た。今あげた文章は「徒然草」の説明として、よく教科書やネットで目にするものであろう。だが、はっきり言ってほぼ間違っている。作者は吉田兼好ではないし、彼は隠者とはいえないし、「徒然草」は随筆ではないし、作者の実人生を反映していないし、書かれてから 100 年間近くほぼ読まれていない。この授業では、最新の研究知見を紹介しながら作品を丁寧に読むことで、諸君の「徒然草」へのイメージをアップデートすることを目指す。上記の理由により、高校までの教科書等に掲載されている章段は、特に優先して取り上げる予定。						
評価方法 教科書	リアクションペーパーによる平常点とレポート 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 新版 徒然草 現代語訳付き (角川ソフィア文庫) 著者（訳者） 小川剛生 出版社 角川書店 ISBN 978-4044001186 その他 上記の教科書を推奨するが、徒然草全 243 段が掲載されているものならば、これ以外の書を持ってきてもらっても一向に構わない。						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30346	S	日本文化論 I	光延 真哉	国文・漢文学	火 2	122 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	歌舞伎の現代 外国人観光客の増加に伴う日本文化への関心の高まり、あるいは昨今の歌舞伎界における話題性のある数々のトピックスによって、歌舞伎を知りたい、理解したいという潜在的な欲求はいよいよ盛り上がりを見せつつある。このように歌舞伎に漠然とした興味は持っているが、何やら得体が知れず難しそう、だから敬遠する。これが現代日本人がしばしば口にする「歌舞伎は敷居が高い」という現象である。 江戸時代に誕生した歌舞伎は、近代を迎え、古典芸能としての道を歩み始めた。しかしながら、その一方で、同時代演劇としての機能を果たしていたこともまた事実である。この授業では、戦後から現在に到るまでの歌舞伎の流れのなかでも、特に「新作歌舞伎」その他の新しい試みにスポットを当てる。適宜舞台映像を鑑賞しながら歌舞伎という芸能の基礎的な知識を身につけるとともに、現代日本文化の一側面への理解を深め、歌舞伎に対する「敷居の高さ」を解消することを目指す。						
評価方法 教科書 ガイダンス	レポート プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30823	S 1	日本語日本文学 I (理科生)	村上 克尚	国文・漢文学	水 5	522 教室	1 年 理科 2 年 理科
講義題目 授業の目標概要	日本の戦後文学を読む この講義では、敗戦から約 10 年のあいだに発表された戦後文学を取り上げ、同時代の歴史的・社会的状況と重ね合わせて読むことを目指します。それぞれの作品に表われた、戦争体験、日米関係、経済復興の問題などを読み解いていきたいと思います。						
評価方法 教科書 ガイダンス	授業参加 30%、期末レポート 70%で評価します。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30568	S	日本語日本文学Ⅱ	戸塚 学	国文・漢文学	火 5	121 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	日本近代の短篇小説を読む 日本の明治～昭和前期の短篇小説（20～40 頁程度）を精読する。 荷風「醉美人」（『あめりか物語』明 38）、鷗外「普請中」（明 43）、芥川「舞踏会」（大 9）、横光「日輪」（大 12）、志賀「雨蛙」（大 13）、太宰「散華」（昭 19）を予定。受講者の提案があれば作品の差し替えも行う。 作品の一言一句の前で立ち止まり、自問し、解釈を導き出すという、日常的な読書体験とは異なるやり方で文学を読む。扱うのはいずれもよく知られた作品だが、それだけに読めば読むほど新しい視点が生まれてくることが体感できるはずである。						
評価方法	読み方や発表の方法は丁寧に教えるが、課題や発表があるという点では単位取得のためのコストパフォーマンスは悪い。「物語」や「文学」に興味がある、あるいは手間をかけて読むという新しい経験に興味がある学生の参加を勧める。						
教科書 ガイダンス	レジュメによるグループ発表（学期中に一回）40％ 小課題（A 5 のプリント、二回に一回）40％ 最終小レポート（簡単な振り返り）20％ 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30824	S	東洋古典学	谷口 洋	国文・漢文学	水 5	1222 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	『莊子』を読む―超越の思想と語り― 『莊子』は中国の有名な古典であり、高等学校の漢文教科書にも、大鵬の飛翔や胡蝶の夢の話が載っていたりするが、その内容は中国古典の中では異色である。儒家・墨家・法家などの中国古代思想が、現実の政治や人生への強い関心から出発するのに対し、道家のみは、現実の超越を志向する。その中でも、『莊子』は特に思弁的な書物である。その文章も、『老子』の老獪なつぶやきとはむしろ対照的に、雄弁で、みずみずしく、強烈なイメージを喚起する。						
評価方法	現実の社会に出て行くにはまだ少し時間のある前期課程の 2 年間にこそ、若々しい知性と感性を備えた君たちにこそ、『莊子』を読んでほしい。ほんのわずかな時間ではあるが、そのためのきっかけを提供したい。						
教科書 ガイダンス	学期末のレポートを主とする。自分が『莊子』を読んだ体験に基づいて書いてもらうので、読書の時間を十分に確保すること。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30825	S	西洋古典学	筒井 賢治	地域文化研究専攻	水 5	1212 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ギリシア・ローマ文学の概要 ヨーロッパ系文化の基礎をなすギリシア・ローマ古典文学をひとつと紹介する。 近現代の文学と異なり、ギリシア・ローマ文学には形式上の制約が数多くあるので、その点を特に詳しく説明する予定。						
評価方法	できるだけ原典（翻訳）を紹介するようにする。						
教科書 ガイダンス	期末テスト。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31132	S	歴史社会論	赤木 崇敏	歴史学	金 2	1312 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	中央アジア出土文書から見た前近代中国史 4～15 世紀という時代は、北方遊牧民の移動をきっかけにユーラシア大陸にまたがる人と文化の大移動が展開し、ユーラシア各地が相互に連動する時代である。本講義では、単に中国歴代王朝の歴史を通覧するのではなく、このユーラシア規模の変動なかで、社会のあり方や政治制度の実態、人々の生活などがどのように変容したのかを考察するとともに、中国に視座をおいたユーラシア世界史の展開を概観する。 また、その分析の材料として、中央アジア地域（東トルキスタン～河西回廊）から発見された古文書を取りあげたい。さまざまな言語・文字・ジャンルから構成されるこの史料からは、同時代の人々や社会について、中国の史書からは窺えない「生の声」を汲み取ることができる。 この授業では、前近代中国に関する基礎知識を身につけるとともに、歴史の流れを巨視的に掴む力や複数の史料から多角的に歴史事象を眺める力を養うことを目標とする（なお史料については適宜日本語訳を付けます）。 期末試験と平常点（毎回コメントペーパーを提出）で総合的に評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30347	S	近現代史	山口 輝臣	歴史学	火 2	513 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	連続講義：明治史研究の最前線 『明治史研究の最前線』の著者に聞いてみる 2018 年に、今回と同じ講義題目の授業を行った。テキストは『明治史講義【テーマ篇】』（ちくま新書、2018 年）で、「授業の目標、概要」には以下のように記した。 「明治維新 150 年だそうである。維新を中心に、明治に関係する企画がいろいろと行われ、また関連する本も、硬軟・精粗とりまぜて、数多く世に出ることだろう。そうしたなかから「本物」を見抜くにはどうしたら良いのだろうか？ そのための唯一ではなくとも有力な方法として、明治史研究の最前線で活躍している歴史家に直に聞いてみるという手があるはずだ。ただ言うは易し、行うは難し。かれらだって暇ではなく、普段そんな機会はそうそう転がっているものではない。それどころか専門家同士でも、お互いに会って話をすることは稀だったりする。この授業は、そんな貴重な機会を皆さんに提供しようという豪勢な試みである。」 この授業は幸いにも好評を博し、二つの副産物を生んだ。ひとつは、その時の講義と質疑応答を収めた『はじめての明治史：東大駒場連続講義』（ちくまプリマー新書、2018 年）。受講生の鋭い質問もそのまま収録されている。そしてもうひとつは、その時の講義題目を書名とする『明治史研究の最前線』（筑摩選書、2020 年）である。 そこで今回は、『明治史研究の最前線』の執筆者をゲストにお招きし、ゲストによる講義とそれに対する質疑を通じて、文字通り明治史研究の最前線を体感してもらうことにした。第一線で活躍する個性的な歴史家に対し、直に質問できるまたとない貴重な機会であり、質疑の時間をたっぷりとする予定である。是非ともこの授業を活用して、明治史研究のおもしろさを味わってもらいたい。 期末試験を主とするが、授業への参加状況を加味する場合がある。また受講者の人数によっては期末試験に代えて小論文とすることがある。詳細は授業内で告知する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 『明治史研究の最前線』 著者（訳者） 小林和幸編 出版社 筑摩選書 ISBN 9784480016935 ガイダンス 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30860	S	近現代史	岡田 泰平	歴史学	木 1	157 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	植民地から国民国家へ、そして 21 世紀世界へ——東南アジアにおける統治・抵抗・発展 本授業では、東南アジアの多様な統治体制がどのような経緯から出来上がっていったのかを学びます。20 世紀初頭には、タイを除く、ほぼ全ての社会が欧米列強の植民地支配下に置かれました。およそ三つの層が現在の東南アジア世界を作り上げたと考えられます。第一の層としては、欧米列強がやってくる前の宗教的世界——イスラーム、上座仏教、カトリック、儒教、精霊信仰——があります。第二の層としては、英仏蘭米による異なる植民地政策とこれらの植民地主義からの解放の形、そして第三の層としては 20 世紀に中葉に独立したのちの歴史経験——とりわけ冷戦期の経験——があると言えるでしょう。 東南アジア世界は多様です。また、共通文化もほぼありません。東南アジアとは、いわば文明の「受け手」であって、その影響の受け方によってそれぞれの社会の違いが生み出されてきました。本授業における基本的な問いとしては、それぞれの社会がどのように国民統合をしてきたか、というものです。細かい点を理解するよりも、大きな流れ、それぞれの社会の違い、それにも関わらず「受け手」としての類似性を学ぶことを目標とします。 多少の平常点をのぞいては、期末課題のみ。 その他。／Other 第一回授業日に行く。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30826	S	歴史と文化	桜井 英治	歴史学	水 5	1225 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	前近代日本経済の特質と東アジア 古代律令制から近世幕藩制成立期にいたる各期の経済構造とその変容過程を探るとともに、他の東アジア諸国・諸地域の動向と比較しながら、東アジアの辺境に位置する列島社会の特質を明らかにする。 学期末の筆記試験で評価する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31133	S	歴史と文化	小澤 実	歴史学	金 2	522 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	中世スカンディナヴィア世界論 本講義では、8 世紀から 11 世紀にかけて北大西洋世界からユーラシア西部にかけて活動したヴァイキングによる活動が終焉したのち、中世スカンディナヴィア世界が、独自の価値体系を持つ一個の歴史世界として、どのようにして成立し、機能し、変容したのかを概観する。その際、政治・社会・文化の流れをスカンディナヴィアに接する多様な民族や文化との交渉や接触という観点から位置付け、中世におけるグローバルヒストリーの方法論についても検討したい。 学期末の筆記試験による評価 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31574	S	世界史論	島田 竜登	文学部	月 4	1313 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	近代世界とアジア・日本 本講義では、16 世紀以降の近代世界の諸相を検討しながら、グローバル化時代の現代に生きるわれわれにとって、世界史とは何かということを考える。15 世紀末から、アメリカ大陸を含めた世界の一体化が急速に進展する。モノや人、情報がグローバルなスケールで移動し、人々の生活が大きく変化し、現在のわれわれの住む社会を生み出していったのである。本講義は近年盛んとなっているグローバル・ヒストリーの立場から近代世界を考察し、その中で東洋史や西洋史、日本史といった歴史学の意義を考えてみたい。 本講義は、いずれ文学部に進学し、東洋史、西洋史、日本史といった歴史研究を志す学生にはもちろん、社会科学や自然科学を専門とするも、とくに長期的な視点に立って現代を考えようとすることに興味のある学生にも有意義なものとなるであろう。						
評価方法 教科書 ガイダンス	試験を実施する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31297	S	世界史論	磯部 裕幸	歴史学	月 5	522 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	「主権国家の克服？－国際連盟と国際連合の歴史」 本授業では、世界平和の実現を目指してつくられた二つの国際機関、すなわち国際連盟と国際連合の歩みを概観することで、20 世紀の歴史をグローバルな視野から理解することを目指す。 今日、世界各地で領土紛争や内戦または貧困といった問題が発生しているが、それが一国の政府の手に負えなくなった場合、国連をはじめとする国際機関が関与することが多い。そうした意味で、国際問題の解決のために、国連は各主権国家の枠組みを超えて行動するべきだという考え方は、21 世紀を生きる我々にとってそれほど異質なものではないといえよう。 しかしそうした考え方は、例えば 19 世紀においては今日ほど「自明」ではなかった。それでは今日の国連が体現している思想は、いつ、いかに形成され、具体化に向けてどのような試みが行なわれ、そしてどのような挫折を経験したのか。この授業では国際連合の歴史を、特にそれが直面した国際紛争や国際問題に着目しながら、その前身の国際連盟時代と合わせて概観していくことにしたい。そしてそのことは、20 世紀の歴史をいわゆる「一国史」の枠組みではなく、グローバルな視点から理解する一助となるであろう。						
評価方法 教科書 ガイダンス	定期（期末）試験を実施する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31134	S	文化人類学 I	田中 理恵子	文化人類学	金 2	512 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	この授業の目的は、芸術的活動を中心焦点として、文化人類学とその周辺理論を学びながら、「人間」を深く見つめる視点を獲得することにあります。具体的には、芸術人類学が問いかける「みる・きく・よむ」こと、さらには「感じる＝思考する」ことの実践を取り上げて、検討していきます。そのため、学説の歴史的展開なども重視しますが、知識の摂取だけではなく、多くのケーススタディを盛り込む予定です。 This lecture will focus on human activities, such as “to see, to						
評価方法	① 芸術人類学の基本的な考え方を体得する ② 「感じる＝思考する」こと（感覚、身体、情動など）に関する議論を深く理解できる 1. To acquire the basic concept of cultural anthropology 2. To gain a deep understanding of arguments about "feeling = thinking (sense, affect, body, etc., as a way of thinking)" 授業態度（40％）、中間課題（30％）、最終課題（30％） ／Attendance (40%), response papers and exercises during the lectures (30%), final exam (30%).						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30348	S	民族文化論	岩本 通弥	文化人類学	火 2	1212 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		現代民俗学入門―日常学としての民俗学 授業の目標： 現代民俗学の概観を講義する。1970 年以降、認識論的な大転回を遂げたドイツの民俗学理論に基づいて、主として日本の事例に照らし合わせながら、紹介する。 授業の概要： 民俗学とは何か。多様な定義があるものの、日本民俗学の創始者とされる柳田國男は「事象そのものを現象として、ありのままに凝視し、『わかっている』、『当たり前だ』といわれているその奥の真理を洞察すること」（『民間伝承論』1934）だと定義した。身の回りの日常的でありふれた事象への着目が、民俗学の起点となるが、1970 年の「ファルケンシュタインの原則」以降、ドイツでは「民俗」ではなく「日常（alltag）」を対象化し、文化形態の移転のプロセスを分析する科学としての民俗学が構築される。本講義では、未だロマン主義的傾向の強い日本の「民俗」学ではなく、科学としての民俗学を具体例を通して示していく。					
評価方法 教科書 ガイダンス		定期試験期間中に論述式試験 プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30014	S	現代文化人類学	古川 勇氣	文化人類学	月 1	159 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		現代文化人類学 これまでの文化人類学は、いわゆる伝統的世界を対象として、長期のフィールドワークに基づき、「異文化」があるかのように民族誌を書いてきた。しかし今日では、グローバリゼーションの影響で人、モノ、情報などが自由に行き来し、どんな辺鄙な村の人々もスマートフォンを使用しているという同質化が生じている。他方、学校や街などでは異なる言語、異なる生活習慣などを持つ人々が増え、より日常的な「多文化理解」が試されている。こうした中、文化人類学では、人類学者のフィールドに対する特権性が批判されてから、社会や集団「全体」よりも「個」に着目するようになり、さらに領域横断的になっている。他方経済学では、市場経済が信用取引を基盤とすることから、「個」に着目しながらもその背景にある信頼のような社会や文化まで研究の射程におさめようとしている。ともに「個」に注目しながら、グローバリゼーションによる変化の中で、人と人、人とモノ、さらに視野を広げて、人と自然との関係まで視野に入れて、全体像をつかもうとしている。授業では、主に経済人類学および近接の学問分野のテーマから、研究視点や思考方法を学ぶことで、「他者理解」の多様性と可能性を見直すきっかけをつかんでもらうことを目標とする。					
評価方法 教科書 ガイダンス		リアクションペーパー（20%）、中間テスト（40%）、期末テスト（40%）。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

総合科目 C（社会・制度）

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30349	S	日本国憲法	渋谷 秀樹	法・政治	金 2	1313 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 日本国憲法 教科書は、以下の体系に沿ってかかれている。 第1章 憲法総論 1 憲法の概念, 2 憲法の性質, 3 法の支配（立憲主義）, 4 憲法改正の限界 第2章 人権総論 5 人権の根拠と限界, 6 人権の享有主体, 7 私人間効力, 8 新しい人権 第3章 人権各論 9 法の下での平等, 10 思想・良心の自由, 11 宗教の自由, 12 表現の自由, 13 刑事手続上の権利, 14 財産権, 15 生存権, 16 選挙権 第4章 統治機構総論 17 権力分立, 18 民主主義と違憲審査制, 19 天皇, 20 平和主義 第5章 統治機構各論 21 立法の概念, 22 行政の概念, 23 司法の概念, 24 地方自治の本旨 授業は、より体系的なものに組みなおし、また適宜時事的な問題にも触れながら、憲法の基本が理解できるようなもの としたい。 なお、憲法の条文を適宜参照するので、教科書のほかに『六法』を用意されたい。 評価方法 学期末試験による。 教科書 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 憲法への招待 新版 著者（訳者） 渋谷秀樹 出版社 岩波書店 ISBN 978-4-00-431470-7 ガイダンス 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time							

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31788	S	比較社会論	傅 凱儀	社会・社会思想史	金 2	533 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 経済人類学 本講義を通じて、受講者は経済人類学の歴史、概念、方法論、及び諸問題に触れることになる。講義では広い世界史的な 文脈から人類諸社会の経済を俯瞰し、経済学と人類学、さらに 諸研究分野との間のつながりを探求する。20 世紀後半の世界の経済状況を分析しつつ、現 代社会のなかで経済人類学という学問が何をなしえるのかを考察しながら、人間の経済とは何か、その本質と展望を考え る。 経済の多義性を認識しつつ、人間の社会的行為の土台と動因を考察し、人間社会の全体構造との関連において、社会の物 質的必要を満たす経済制度や経済活動を説明することができる。 評価方法 期末に提出するレポート（50%）と授業への貢献度（50%）を総合的に判断し評価する。 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 特に行わない。／Will not conduct guidance							

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30827	S	ジェンダー論	瀬地山 角	社会・社会思想史	水 5	1323 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	セクシュアリティとジェンダーの社会学 セクシュアリティとジェンダーについて、大学生として最低限知っておくべき知識を伝える講義です。2019 年度入学式での上野千鶴子さんの式辞が話題となりました。あのような指摘が未だに必要なほど、東京大学の現状には問題が多くあり、かつそのことに気がついていない学生さんたちが多いのだろーと思ひます。この講義を通じて、ジェンダーやダイヴァーシティに関する最低限の常識を身につけてほしいと願っています。 セクシュアリティ編については、「下ネタの講義」という誤解、風評被害に悩まされていますが、きちんと履修した学生さんはそのような感想を決して持たないはずです。そういった愚かな反応がなぜ起きるのかも含めて、一貫した問題意識の下で「社会科学の立場から性を考える」とはどういうことなのかについて論じていきます。「本能」だと勘違いされている「性」を自然科学とは異なるアプローチで読み解きます。 ジェンダー編は、みなさんの人生設計そのものに関わります。この講義は東大全体で女性の履修者がもっとも多いもので、優秀な女子学生の未来が、男子学生のそれとどう関わりを持つのかについても、この講義を通じて、考えてもらいたいと思います。 今回 2017 年末に出した本を教科書として指定していますが、それに則って講義をするのではありません。講義で触れるいくつかの論点について、『ジェンダーとセクシュアリティで見る東アジア』の中で言及している、というだけです。						
評価方法 教科書	期末試験 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 ジェンダーとセクシュアリティで見る東アジア 著者（訳者） 瀬地山 角 編著 出版社 勁草書房						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30255	S	日本の政治	竹中 治堅	法・政治	月 5	513 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		日本の権力構造：安倍長期政権の解明 安倍晋三内閣は 8 年目を迎え、長期政権となっている。 安倍首相は発足当初から「三本の矢」：大胆な金融緩和、機動的な財政運営、成長戦略を掲げ、経済成長政策に積極的に取り組んだ。2015 年秋頃より「働き方改革」「人づくり革命」などを掲げ、重点を社会・労働政策に切り替えて、政権を運営してきている。冷静に見ると、安倍内閣はアナウンスなく、社会民主主義政策の本格的実施に踏み切ったとも言える。また対外政策では TTP、次いで TPP11、さらに日 EU 間の FTA 交渉を妥結に導いた。その一方、「積極的平和主義」を主唱、集団的自衛権についての憲法解釈の変更にも踏み切り、15 年 9 月に安保関連法制を成立させた。この結果、日本には集団的自衛権を一定の条件のもとで行使できるようになった。また、従来に比べ、アメリカをはじめとする他国の軍隊に後方支援を行える条件が緩やかになったことにも注目しなくてはならない。さらには憲法改正に意欲を示し、自民党内で改憲議論が進んでいる。 安倍首相は以上の政策をどのように実現していくのだろうか。安倍内閣の下で政策はどのように立案され、実施されているのか。 振り返ってみると小泉内閣は 2001 年 4 月から 2006 年 9 月までの長期政権であった。その後、存続期間が 1 年前後の短命政権が続いた。安倍内閣の場合はどうか。 2000 年代以降の日本の政治を分析する上で一つのことを留意する必要がある。それは、1990 年代から 2001 年にかけて日本の統治構造が大きく変革されたということである。この変革は日本の権力構造を大きくかえ、その中で、長期政権や短期政権が現れている。基本的には首相の指導力は高まっており、その傾向は安倍内閣の下でも続いている。 2018 年度の「日本の政治」の目的は二つである。第一の目的は、日本の権力構造や政策決定過程のあり方を理解することである。より具体的には次の三つを理解してもらいたい。一つは日本の権力構造の長期的変化のあり方。二つは日本の政治過程、政策決定過程の動態。三つは、この二つを踏まえた上での現在の安倍内閣の政策決定過程のあり方。 また、講義と併せて、①戦後日本の政治の歩み、②現代日本の権力構造を分析する代表的な本、論文をシラバスにそって講読することが、重要な履修条件となる。 第二の目的は受講者にレポートの一つの書き方を修得してもらうことである。レポートを書くことの目的は単にレポートで取り上げるテーマについて 情報としての知識を身につけることにとどまるものではない。レポートを書く作業を通じてわからないことを調べる力、ものごとについて考える力、多くの事象 を重要な点にしばって観察する力を養うことになる。 授業では SNS の活用などにより双方向性を作り出すことを試みる。 日本政治を見る力を養うために、本授業の受講者に多くのことを学んでもらいたい。従って、本講義の受講者は以下の三つの履行条件を満たすことが求められる。 ① 期末試験 講義内容を基に出題される期末試験を受験すること。 ② 課題 毎週出される課題を宿題として行い、提出すること。 ③ レポート作成 安倍政権の政策の一つ選んで、その政策決定過程について授業の内容を参考にしながら分析すること。 課題、レポートの内容については第 1 回授業時に説明する。					
評価方法							
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 首相支配：日本政治の変貌、日本の統治構造、二つの政権交代、自民党：一強の実像 著者（訳者） 竹中治堅 飯尾潤 竹中治堅 中北浩嗣 出版社 中公新書 中公新書 勁草書房 中公新書 その他 首相支配はKindle版を利用					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31601	S	現代経済理論	渡辺 安虎	経済学部	金 2	743 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		経済学研究の現在を理解する 経済学及び関連分野の第一線で研究に従事している研究者が、それぞれの分野における研究の現状をわかりやすく解説し、経済学や関連分野のおもしろさや有効性についての理解が広がることを目標とする。 「経済学？ (だ) ？」「経済学 www」といった知的態度の学生の履修も強く歓迎する。					
評価方法		各講師担当部分から出題する期末試験を行う。					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31282	S	現代経済理論	鍾 非	経済・統計	金 5	523 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	経済分析の基礎：「数学的因果関係」である関数から始まるミクロ経済学・マクロ経済学・数理統計学 数学的因果関係は、$y=f(x)$ という関数（函数：function）によって表される。函数における因果の「極限的つながり」を示す「微分」($\Delta x \rightarrow 0, \Delta y/\Delta x$) について、（厳密さを無視し）面白く語ってみよう。紙幅の制限に配慮し、ほとんどの東大生にとって常識である微分の定義式を海馬に深く刻みつつ（場所とらず）、「知的想像力」も少し働かそう（「ユーモア」という特製調味料を小さじ 1/4096）。恋人を喜ばせるため、誕生日にプレゼントを贈る者（なかならず大学生）が多い。恋人の「嬉しさ（y：果）」と「プレゼントの値段（x：因）」の数学的因果関係（＝数量関係＝（増加）関数）に注目したい（「嬉しさ」or「笑顔」の度合いも数値化可能）。おにぎり一個に比べ、ドイツの高級車・ベンツ一台（Δx＝ベンツの値段－おにぎりの値段）をもらった後の恋人の嬉しさに雲泥の差があることは至極当然であり、おにぎり一個と比べて幕内弁当ひとつ（Δx＝幕内弁当の値段－おにぎりの値段）を食べさせた後の恋人の僅かな喜びの増分（Δy）をも見逃さず、値段の僅差である Δx と比較・吟味するのが、微分。もちろん、「ゼロに限りなく近づく値段の（微小な）増分」($\Delta x \rightarrow 0$) をより精確に強調したければ、（一番安いのがおにぎりであることを考慮に入れて）やや高価な幕内弁当を二番目に安いだろう食パンに置き換えたほうが、もっと適切（ただし、大多数の場合）。微分の親戚は、積分（同じ事例による定義のユーモア溢れる展開は、ご想像にお任せしますよ）。本講義は、因果関係の大本を異なる角度から捉える微積分（文系の高校数学でも必修）の紹介を皮切りに、経済分析における様々な概念を、その数量的本質を踏まえて詳しく解説。「ものの値段が上がれば、消費者はどれほど買い控えるか？」（ミクロ経済学）「一国の経済成長率が上昇すると、失業率はどうか変わるか？」（マクロ経済学）「説明変数が 1 % 上がると、従属変数はどう反応するか？」（数理統計学）などなど、ミクロ経済学（例えば「効用」）・マクロ経済学（例えば「比較静学」「動学」）・数理統計学（例えば「回帰分析」）にとって、微積分を出発点とする数量分析こそ、揺るがぬ礎。数、実数、有理数、無理数、関数、因果関係、微積分、指数関数、対数関数、行列（以上、文系の高校数学）、限界、平均、弾力性、（不）効用、価格、収入、予算制約、利潤、費用、極大（or 極小）化、FOC、消費者・生産者（or 企業）行動、市場、均衡（or 不均衡）、価格の自動調節機能（or 「（神の）見えざる手」）、競争、独占、市場の失敗、余剰、パレート最適（or 効率性）、国家（or 「政府の見える手」、習近平の台詞）、税、所得税、消費税、関税、公共財、モラル・ハザード、逆選択、ただのり、（不）平等、Gini 係数、GDP、失業（率）、金利、貨幣、乗数効果、IS-LM 曲線、金融・財政、財政赤字（黒字）、腐敗（or 「政府の失敗」）、成長（率）、インフレ（デフレ）、確率、平均、偏差、偏差値、分散（標準偏差）、共分散、相関係数、最小二乗法（少なからぬ専門用語を掲げたものの、全部ではない；英文省略）といった重要な基本概念を深く掘り下げて吟味。なお、授業中に試験と似通った計算問題をも適宜出題・解答。「地に足のついた姿勢で、根掘り葉掘りわからせる」のが、方針。絡み合った複雑な事柄を平易に解説することに努める。「脳筋（～知性）」を鍛えるのにこだわった授業を心掛ける。たとえば、成長率の表し方（マクロ経済学）を紹介するとき、なぜ「e (Napier's Number)」という無理数を base とする指数関数（$\exp x$）およびその「いとこ」にあたる自然対数（$\ln x$）が決定的に重要であるかを、「逆関数」という指数関数と対数関数の関係にさかのぼって証明していく。一昔前、数学をほとんど使わぬ統計学のテキストを書いたある先生が、本のタイトルを「涙なし・・・」（未確認）とした。それと正反対の意味で（その考え方を否定したくなく、「悔し涙なし・・・」をむしろ肯定したい）、本講義のサブ・タイトルを「嬉し涙ありの経済分析」としてもなかなか興味深い。教育者の着眼点や意図が異なる、大層有益な意見対立だからだ。文系レベルの高校数学にアレルギーさえなければ、誰もが興味津々に受講可能。もちろん、理系受講生や数学を得意とする者を決して飽きさせない（恐悦至極）。一年生も二年生も他学部生も PEAK 生も聴講生も大歓迎（出席自由；計算のプロセスを重視）。テキスト（分量多し、全部読まなくていい）、レジメ（テキストの一部＝試験範囲；全部必読）、過去問（詳細な解答を含む）は ITC-LMS (Information Technology Center-Learning Management System) にて公開（閲覧するには、履修登録が必要）。思えば、ノーベル賞経済学者 Paul Anthony Samuelson (neo-classical synthesis：新古典派総合) は名著 Foundations of Economic Analysis (経済分析の基礎) の扉に、「Mathematics is a language」という、彼が尊敬していた数学者・物理学者・物理化学者 Josiah Willard Gibbs (1839-1903) の言葉を引用した。本講義を通じてその素朴にして興味深い言葉の醍醐味をほんの少しでも味わっていただければ幸い。世間にありふれた「物知りクイズ」と一味、二味も違う、頭の体操である「IQ クイズ」（地頭のみで考えるクイズ）を、授業の翌日にネット出題（自信のある者は答えを zhongf@hotmail.co.jp まで送信）、翌々日に ITC-LMS で正解発表（& 正解者表彰）。ガイダンスの「こころ」（本質）を興味深く理解するには、初回 quiz の醍醐味をじっくり味わうのが、大前提。地頭のみで考えよう（以下の記述を、物知りクイズの達人にプレゼントする）。「因果関係」という前述のキーワードを踏まえて言えば、「物知りクイズ」は「果」のみを追い求める無味乾燥な暗記作業に過ぎず、「因あっての果」や両者のつながりを理路整然と究明するのが、IQ クイズ。AI（人工知能）が日進月歩するなか、IQ 指数を高めよう。博覧強記≠頭脳明晰。 注意：試験アンケートは一切実施せず。その代わりに、昨年度の本試験を今年度模試として授業時間中（or 時間外）に実施（解答を含めて全て ITC-LMS にて発表。過去問も）。 ○クイズ∩試験＝∅。 ○新聞を熟読玩味。 ○スマホ・携帯は酷使せず。						
評価方法 教科書 ガイダンス	定期試験。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30828	S	経済政策	安部 竜一郎	経済・統計	木 5	511 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		経済政策を問い直す 経済政策が常に論争的となるのはなぜか。国民経済を領域とする経済政策はグローバル経済のもとでどこまで可能なのか。環境問題や男女格差、貧困の是正が課題とされているにも関わらず、現実逆行しているようにみえるのはなぜか。本講義では、こうした問いに答えるため、経済政策の基礎的な枠組みを学びつつ、通例のマクロ経済学や厚生経済学など「狭義の経済学」の枠組みを超えて、自然と人間-社会との相互作用という視点から経済政策を考える。					
評価方法 教科書 ガイダンス		期末試験 90%、レスポンスシート及び小テスト 10%。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30829	S	現代教育論	佐々木 英和	心理・教育学	水 5	1311 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		教育・学校心理学 誰もが経験し、かつ言葉としても認知している「教育」。意識的であれ無自覚的であれ、この「教育なるもの」の定義を「教養育てること」として初期設定したり、「学校の中に教育が存在する」と決めつけてしまったりする人が多くないか。もしそうだとすれば、そこに根源的な間違いが潜んでおり、それにより教育実践の可能性が大きく制約されてしまうし、それどころか難題の発生源となることもある。実際、不登校問題など、学校教育の現場で「教師－児童・生徒・学生」関係がうまくいかない背景として、教育者なりの「善意」に基づいた「べき論」が被教育者に一方的に押しつけられるために生じる心理的抑圧の問題が存在しているケースも少なくない。いずれにせよ、教育に対する「思い入れ」の強さがそのまま「思い込み」の強化に転じてしまう愚から脱する必要がある。 上記のような立場を基本とする本講義は、教育に関して視野を拡大するとともに、根本的な発想の転換が図れるような力量を育成しながら、教育に関する見識を受講者なりに醸成し創造的に論じられる力を育成することを主目的とする。そのための学習支援戦略は、主に以下の三つである。 第一に、大前提として、授業構成を「一般教養の一分野としての教育を学ぶ」という発想と「教育を切り口として教養概念を問い直す」という発想との二本柱で成り立たせ、両者を交差させながら展開する。これにより、表層的には学校に焦点化されがちな教育問題の背景には、家族・地域社会・組織等における人間関係や各種メディアの影響などが複雑に絡みあっており、深みと広がりのある心理社会的問題が存在していることを確認する。 第二に、「教育現場において生じる問題及びその背景」に効果的に迫っていくための手法として、教育問題を「教育の論じられ方の問題」として扱うことを出発点にして、教育学的知識や実践事例などを参照しながら、教育について多角的に検討することにより、受講者が抱えがちな諸々の固定観念を流動化させていく。特に、教育イメージを子どもや学校だけに限定しないとともに、それを「教える－教わる」関係から解放することにより開かれてくる様々な可能性および課題について考察していく。 第三に、「教育現場における心理社会的課題及び必要な支援」を考える際に、「教えこみ」から「学びあい」への転換こそが、教育実践として有効であることを、単なる知的理解としてでなく、体験的に味わってもらう。具体的には、受講者どうしでペアやグループを組み、お互いの話を傾聴しあう実習を行うことなどにより、親や子ども達、悩みを抱えた教師などに対する接し方を実感してもらい、コミュニケーション問題の解決に不可欠なスキルの基本を経験できるように配慮する。					
評価方法 教科書 ガイダンス		学期途中と学期末とで2回程度レポートを実施し、それを基本として成績評価する。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2020 年 04 月 08 日					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30861	S	現代教育論	橋本 和幸	心理・教育学	木 1	1313 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	教育・学校心理学 この授業では、「教育現場において生じる問題及びその背景」と「教育現場における心理社会的課題及び必要な支援」について、授業担当者が教育領域の心理臨床家（スクールカウンセラーや教育相談センター相談員）として実践したことに基づいて説明する。 具体的には、「教育現場において生じる問題及びその背景（いじめ、不登校、学業不振など）」と、「教育現場における心理社会的課題及び必要な支援」について扱う。 教育現場における社会心理的課題は、対人関係、発達の問題、精神疾患などを想定し、支援は学校内外の支援体制とその方法を紹介する。						
評価方法	学期中にレポートの提出を求める。 レポートと期末試験の成績を総合的に評価する。						
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30088	S	教育臨床心理学	石垣 琢磨、 西口 雄基	心理・教育学	月 2	1313 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	臨床心理学概論 臨床心理学は、多様な個々のクライアントの具体的福祉向上をめざす、実践（心理臨床）のための「学」である。しかし、それを学問体系として、あるいは、科学として理解するためには、精神分析学や精神医学とならび、認知・発達・社会などの心理学諸分野の知識が不可欠である。本講義では、「発達」をキーワードに、「臨床心理学の成り立ち」と、それに基づく「臨床心理学の代表的な理論」と介入法、教育臨床心理学と教育支援についての理解を目的とする。						
評価方法	期末試験を行う。						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30350	S	教育臨床心理学	石川 亮太郎	心理・教育学	火 2	1323 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	臨床心理学概論 臨床心理学は、多様な学派の理論をもとに、個々のクライアントの様々な問題にアプローチし、生活の質の向上をめざす学問である。臨床心理学を理解するためには、精神分析学、精神医学、認知・発達・社会などの心理学諸分野の知識が不可欠である。本講義では、児童・思春期におこりやすい心理的問題や疾患を事例にあげながら、臨床心理学の基礎となる理論や治療法について説明し、学生に臨床心理学の基本を理解してもらう。						
評価方法	期末試験による。						
教科書 ガイダンス	授業中に指示をする。／Will specify at class time 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31283	S	教育臨床心理学	前田 基成	心理・教育学	金 5	900 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	臨床心理学概論 近年、いじめや不登校の問題行動のほか、自然災害や犯罪被害に関連して心のケア、カウンセリングということが社会的に注目されている。本講義では心の健康である精神保健、適応論と不適応、中学生・高校生の青年期に見られる問題行動などについて、その心理的メカニズムを臨床心理学の基礎知識に基づいて学習する。						
評価方法	期末試験による。						
教科書 ガイダンス	授業中に指示をする。／Will specify at class time 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

総合科目 D（人間・環境）

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30351	S	環境物質科学	佐藤 守俊	化学	火 2	1214 教室	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		物質循環と環境化学 環境問題は近年、高濃度汚染による局地的な被害（いわゆる公害問題）から低濃度汚染による地球規模の慢性被害へと、質的に変化を遂げてきた。環境中に排出された化学物質はどのような挙動をとり、どのような運命をたどるのであろうか。そのことを考える際、忘れてはならない事は、もともと天然においても化学物質は動いているのであり、地球上での循環・滞留を繰り返しているという事である。 本講義では、環境化学・地球化学の立場から、環境中における種々の化学物質・元素の自然の分布とそれに対する人為の影響について検討する。具体的なテーマとしては、CO₂による地球温暖化、フロンによるオゾン層破壊、酸性雨などについても取り上げる。					
評価方法 教科書 ガイダンス		学期末試験を行う。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30830	S	生態学	鈴木 準一郎	生物	木 5	512 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		生態学 生態学は、身近な環境での生き物の生活史から、地球レベルでの生物圏の挙動や物質循環に至るまで、広いスケールを対象にする。同時に、個体内の遺伝的多様性、個体レベルでの種多様性、個体群（集団）や生物群集の動態と多様性、そして物質循環とエネルギー流を示す生態系に至るまで、多段階の階層性を持つことになるので、生態学の理解は多岐に渡り、一筋縄ではいかない面がある。しかし、それが自然界で生活している生き物と生態系の実態であり、生態学を学ぶ面白さでもある。 本講義の初回は生態学とはどのような学問かを紹介した後、前半（担当、鈴木）には主に植物生態の視点から、日本の自然の特徴／環境と生物の応答／環境条件と生物群集／陸域のバイオーム／生態系での物質とエネルギーの流れ／土壌の生態学などを解説する。後半には、生物群集と多種共存の機構／生物の個体数変動／自然選択と生活史の適応進化／性選択と血縁選択／種間の相互作用と共進化／生態的過程と進化的過程の相互作用などを解説する。 全体として、基礎科学としての生態学だけに留まらず、人間社会との接点に位置する自然環境や生物多様性の保全、そして生態系への人為的負荷と地球環境への視点など、応用的な側面も併せて講義する。					
評価方法 教科書 ガイダンス		期末試験 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日を行う。／Will conduct guidance at first time 2020 年 04 月 09 日 5 限／5th Period 当該講義室					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30256	S	社会環境論	松原 宏	人文地理学	月 5	514 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		産業立地と地域経済の理論 グローバル化や情報化が進むなかで、空間・場所・地域の意義が改めて問われている。本講義では、経済地理学の基礎理論である立地論について解説するとともに、その現代的な適用と今後の課題について考えていきたい。					
評価方法		試験					
教科書		数回書いてもらう質問票も評価に含める 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 現代の立地論 著者（訳者） 松原 宏編 出版社 古今書院					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30224	S	社会生態学	永田 淳嗣	人文地理学	月 4	1331 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		熱帯・亜熱帯地域の人文地理学 東アジア、東南アジアの熱帯、亜熱帯地域における、社会変容、資源利用、開発と環境の問題などを、具体的な事例に則して考えるとともに、人文地理学の基礎的な視点や方法論を学ぶ。 試験 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30979	S	社会生態学	梶田 真	人文地理学	木 3	K011	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		公共事業と地域経済・社会 本講義では、マクロな制度や政策とミクロな地域との関係について、公共事業と地域経済・社会との関係を事例に検討していきます。この検討作業を通じて、受講者のみなさんに全国あるいはグローバルなスケールで起きている様々な動きとローカルな地域の動態とがどのように結びついているのかを（人文）地理学的な視点から理解していくための見方・考え方を習得してもらいたいと思います。 成績はレポートによって評価します。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30352	S	地域生態学	平井 幸弘	人文地理学	火 2	1222 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		ラグーンをめぐる環境誌 ―動態地誌の視点から― 1992 年の地球サミットでは、「気候変動枠組み条約」と「生物多様性条約」と言う環境に関わる 2 つの重要な国際条約が採択された。これに象徴されるように、地球温暖化への対応や生物多様性の保全という課題を抱える現代社会では、人と自然の関係を今一度捉え直すことが、私たちに求められている。 本講義では、主として東南アジアの水辺を対象とし、3 つの視点（気候変動・海面上昇の影響評価、エビ養殖の集約化、新しいツーリズムの展開）から現代の環境問題について考えて見たい。 具体的には、授業担当者が 1990 年代後半から研究対象地域としている、ベトナム中部フエにあるベトナム最大のタムジャンラグーンおよびその周辺地域を取り上げ、そこで近年起こっている特徴的な環境問題に焦点を当て、それぞれを相互に関連させながら、人と自然の関係また地域の特質について、動態地誌の視点から考える。 授業時のコメントペーパー、および最終レポートを合わせて評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 ベトナム・フエ ラグーンをめぐる環境誌 ―気候変動・エビ養殖・ツーリズム― 著者（訳者） 平井幸弘 出版社 古今書院 ISBN 978-4-7722-7138-7 その他 ガイダンス 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2020 年 04 月 07 日 2 限／2nd Period					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30166	S	人間行動基礎論（理科生）	本吉 勇	心理・教育学	月 3	1323 教室	1 年 理科 2 年 理科
講義題目 授業の目標概要		心理学概論 人間は、環境から受け取った光や音の情報をもとに、外界のモノや出来事を認識し、過去の記憶や与えられた状況に応じて適切に反応し、また他の人間と相互作用することができる。このすぐれて知的な能力はすべて脳の情報処理によるものである。認知科学(cognitive science)とは、心理学・神経生理学・情報工学が密接に結びつきながら、その仕組みを解明し制御することをめざす巨大な学問領域である。 本講義では、多くの錯覚デモや模擬実験を体験しながら、知覚、認識、記憶、感情、思考、社会性といった「人の心の基本的な仕組み及び働き」を支えている脳情報処理の原理原則と、その背後にある生理学的・計算論的メカニズムの基礎を学ぶ。それによって、進化と学習が生み出した優れた情報処理マシンとしての脳と人間を理解するための視点を身につけることをめざす。人工知能を含めた現代と未来の脳工学技術や、「心理学の成り立ち」にも触れる。					
評価方法 教科書 ガイダンス		出席および期末試験による。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30924	S	人間行動基礎論（理科生）	大久保 街亜	心理・教育学	木 2	1323 教室	1 年 理科 2 年 理科
講義題目 授業の目標概要		心理学概論 「心理学の成り立ち」並びに「人の心の基本的な仕組み及び働き」について知識を身につけ体系立てて説明できることを目標とする。現生人類はHomo sapiens と呼ばれる。これは「人間、知的なるもの」と訳される。知性が人間の基本的特徴であることが、この名称からよくわかる。この授業では心理学の立場から人間の知性について講義する。それにあたり、はじめに学問としての心理学の成り立ちを関連諸科学との比較や歴史的展開を通じて紹介する。また、実証的な科学である心理学の測定について検討する、それらを踏まえ、知性について、知覚、記憶、思考、感情といった側面を検討しつつ、基本的な心の仕組みや働きについて学習する。それらを通して人間の知性について理解を深め、心理学の基礎を理解し、願わくは「人間とは何か？」という根本的な疑問を考えるきっかけとしてほしい。					
評価方法 教科書 ガイダンス		レポート（30%、学期中に何回か提出を求める）、小テスト（20%、学期中に何回か行う）、期末テスト（50%）の3つから総合的に評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31285	S	情報認知科学	鈴木 宏昭	心理・教育学	金 5	1313 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		知覚・認知心理学 記憶、推論、問題解決などの高次認知における、内的資源(情報処理機構、経験的知識、生得的制約)と外的資源(状況、道具、他者)の利用、およびその間の相互作用について論じる。これらを通して、人間の知性を多様な資源の巧みな組合せによる創発として捉える可能性を提示する。					
評価方法 教科書 ガイダンス		学期末試験による。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 教養としての認知科学 著者（訳者） 鈴木宏昭 出版社 東京大学出版会 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30257	S	認知脳科学	石金 浩史	心理・教育学	月 5	1323 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		神経・生理心理学 <目標> ・「脳神経系の構造及び機能」を説明することができる。 ・視覚の特性とその神経科学的基盤を説明することができる。 ・「記憶、感情等の生理学的反応の機序」を説明することができる。 ・「高次脳機能障害の概要」を説明することができる。 ・脳と心の関係を調べる実験的技法を研究に応用できる。 <概要> 本講義では様々な精神機能の実現に深く関与する「脳」を研究対象とする神経科学分野に関して、いくつかのトピックを選び、基礎的な知識から最新の知見まで紹介する。この分野は心理学・生物学をはじめとして医学・工学・物理学等が結集してその解明に突き進んでいる学際的なフロンティア領域であり、幅広くその応用が期待されている。そして、脳研究の知見は「我々がいかなる存在であるのか」ということを垣間見せてくれる。授業では「心の諸特性」とそれを司る「脳のメカニズム」がどのような実験手法で解明されてきたのかを、視聴覚教材を用いて体験しながら学ぶ。講義では、まず、脳が実現している私達人間の視覚・記憶・感情などの心的特性を学ぶ。また、脳神経系の構造及び機能を学んだ上で、視覚特性を説明する視覚系の概要や記憶・感情等の生理学的反応の機序を理解する。また、高次脳機能障害の概要を学び、そこから示唆されたことを証明した実験研究などを紹介する。さらに、心理・生物データの特性や標準的な科学的取り扱い、およびそれらに基づいた論理展開や解釈の仕方も勉強した上で、原著論文のデータを交えつつ、「ニューロンの活動」から「皮質レベルの活動」、そして「行動や意識」のレベルにいたるまでの「脳」と「心」の関係を包括的に理解することを目指す。					
評価方法 教科書 ガイダンス		期末試験成績による。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30353	S	認知脳科学	四本 裕子	心理・教育学	火 2	1313 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		神経・生理心理学 認知脳科学、認知心理学、神経科学に関する幅広い分野の基礎を学ぶ。脳機能の各種測定法、脳刺激法を学ぶとともに、脳の構造やはたらき、脳の発達、感覚・知覚、記憶、睡眠など、さまざまな人間の認知的側面とそれに関連する脳のはたらきについて学ぶ。基本的な内容と合わせて、最近の研究によって明らかになった知見を紹介し、認知脳科学についての幅広い理解と興味をうながすことを目標とする。					
評価方法 教科書 ガイダンス		学期末の筆記試験。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30225	S	適応行動論	大槻 久	心理・教育学	月 4	1323 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	人間の行動と心理の進化的理解 本講義の目標は、人間の身体や行動および心理の特性を進化の観点から理解することである。全ての生物種は進化という途方もなく長いプロセスを経て現在地球上に存在している。従って人間を一つの生物種である「ヒト」として捉えた時、我々の体や心も決して進化とは無縁でなく、そこには進化の痕跡が数多く残されていると考えられる。このような観点から人間の行動を理解する学問は人間行動進化学、心理を理解する学問は進化心理学と呼ばれ、近年目覚ましい発展を遂げている。またヒトの疾患の存在理由を進化的に理解する学問は進化医学と呼ばれる。 本講義では進化論が近現代の人間観・世界観に与えたインパクトを解説した後（第1回）、進化生物学の基本的な概念を学習する（第2～5回）。次に霊長類の特徴や人類の進化史を学び、生物としてのヒトの理解を深める（第6回～第7回）。これらの内容を踏まえた上で、進化が我々の身体や行動そして心理に及ぼしている影響について様々な例を挙げて解説する（第8回～第13回）。具体的にはヒトの生活史、社会性、配偶行動を取り上げる。「人間とは何か」という大きな問題に対し、従来の人文科学や社会科学にはなかった新しい文理融合的アプローチによって迫りたい。 期末試験により評価（持ち込み不可） 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30686	S	社会行動論	北村 英哉	心理・教育学	水 2	1323 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	社会・集団・家族心理学 本授業は主に専門領域で言えば、心理学、なかでも社会心理学領域の講義を柱とし、家族心理学を補う。社会心理学は人間関係、集団関係の心理学領域であり、三面記事的な「社会」とは異なる。人間についても、自然法則、経済法則などといった他の分野と同様、あるいは独自の形で法則性が見られ、心理学とは人間を科学的に研究・解析してその法則性を樹立する学問分野である。イメージとしては行動科学、人間科学、認知科学といった用語の方が適合するかもしれない。一方、常に社会との関係性をも意識し、広く人文科学と社会科学をつなげる領域総合的な観点を有することも社会心理学の利点と魅力である。社会心理学分野は多岐にわたり、個人の行動分野から対人行動、自己、対人相互作用、集団過程、集合現象、家族関係など広く、経済学や政治学とも密接な関係をもつ隣接分野である。本講義は全体に目配りしながら、「対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程」、「人の態度及び行動」、「家族、集団及び文化が個人に及ぼす影響」など、「公認心理師」の社会・集団・家族の選択科目分野が学べるような講義になっている。 人間関係は誰もが一生経験し、どのような職業についても無関係であることはなく、しかしながら単なる「人間関係のノウハウ」のような通俗本に取り上げられているものとは異なる。その知見は、実験や調査などの実証研究を土台とし、定義された専門用語によってはじめて正確に描写、記述することができきわめて専門的な知識である。その専門的知識は深めるほどに個人の独創的・創造的な応用によってより深く、鋭く日常と接続し、本人の技量にしたがって一生役立てていける知識基盤となる。そして重要なのはそれは自分ためだけではなく、他者のためにもなり、またそれは結局ひいては自分のためであることを利他行動の授業回において明確に示すであろう。また心理学は一般に方法の学問と言われるように、その内容だけでなく、研究方法、知の獲得の仕方に特徴と味わいがあり、物の見方の学習こそが一生用いていくことができる最も応用可能な点である。 心理学は題材として人間を俎上に載せ、またその人間のひとは他でもない自分自身であるだろうが、だからと言ってそれは学ばずして十分理解できるものでもなく、そのパースペクティブを獲得することがなければ一生気づかずに過ごしてしまう貴重な知見を豊富に含んでいる。とりわけ進化的なパースペクティブや体内物質、遺伝についての知見は、自分自身で気づくには圧倒的に不可能なアイデアであったり、鋭く実証的な科学的知見であったりする。そもそも統計解析を重視する心理学にあって、人と環境の交互作用は知見の中心であるが、人は直観的に「交互作用効果」が理解できるように頭脳がしつらえられていない。これはきわめて現代的な進展であり、そうした学問の進展は生涯学び続けなければ、どんどん古びてしまうものである。 世間で心理学や人間について誤った言説が溢れているのは人が容易に新たな知見を学習しないからであると言っている。受講者は一生にわたってこれらの知識を現代人として更新していったほしい。そういう意味で本講義の目標はよりよい現代人になることであり、基本的な人間の性質というものへの感受性を高め、その捉え方についてより科学的なスタンスを自分自身に確立させることを目標とする。						
70%テストによる。それ以外の学期途中の小課題の提出 2-3 回およびリアクションペーパー等によって 30%を評価する。社会心理学のモデルを専門用語によって理解し、正確に説明できるかが求められる目標である。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 『進化と感情から解き明かす社会心理学』 著者（訳者） 北村英哉・大坪庸介 出版社 有斐閣 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time							

スポーツ・身体運動実習		開講区分	S	
授業の目標・概要	週1回の授業を通じて 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技能を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。			
授業計画	第1回目の授業で、種目選択を行う。場所は9号館前の掲示板を参照すること。 スポーツコース（テニス、サッカー等）、フィットネスコース、サイエンスコースから選択する。その曜限に開設されている種目と説明は http://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/shintai/ を参照のこと。 種目選択以降は、各種目に分かれて行う。			
授業の方法	所定の場所で実施する。基本的には自分の身体を動かして、実習することが第一であるが、選択種目、担当教員により様々なアプローチがなされる。雨天時等で実施場所に変更がある場合等の連絡は、教務課掲示板ではなく、9号館前の掲示板に掲示する。			
成績評価方法	1 出席 スポーツ・身体運動実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。 2 達成度 各自が選択履修している授業について、学習達成度の評価を行う。 3 その他 授業中にどのような態度で参加し、そのように自己の役割を認識し、実行しているか、学習内容をどれだけ理解しているのか、等を評価する。			
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook			
履修上の注意	種目選択後のキャンセルは認めない。併せて、1つの学期に3コマ以上登録することは認めない。 種目選択後の種目変更は、特別な事情（病気、怪我など）が無い限り認めない。			
学習上のアドバイス	1コマ1単位であり、2Sセメスター終了時までには2単位、2Aセメスターに2単位、計4単位を上限として履修することができる。盗難が多いので注意する。体育館は、土足、飲食禁止。			
関連ホームページ	http://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/shintai/			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること				
時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30167	月 3	スポーツ・身体運動実習	実技担当	2年 文科 理科
30354	火 2	スポーツ・身体運動実習	実技担当	2年 文科 理科
30687	水 2	スポーツ・身体運動実習	実技担当	2年 文科 理科
30862	木 1	スポーツ・身体運動実習	実技担当	2年 文科 理科
31135	金 2	スポーツ・身体運動実習	実技担当	2年 文科 理科

スポーツ・身体運動実習（メディカルケア）		開講区分	S	
授業の目標・概要	週1回の授業を通じて 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体管理・操作技能を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。			
授業計画	第1回目 種目選択（場所は9号館玄関掲示板を参照） 月3、火2、水2、木1、金2のどれかのスポーツ・身体運動実習に出て、自分の選択するメディカルケアコースの登録をする。出席できない場合は身体運動棟で登録する。 第2回目以降 各自の選択した曜限での授業			
授業の方法	各自の状況に応じて、各自に合った運動を処方して行う。 毎回日誌をつけて、自己の状況を確認する。			
成績評価方法	1 出席 この授業の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。 2 達成度 各自が選択履修している授業について、学習達成度の評価を行う。 3 その他 授業中にどのような態度で参加し、どのように自己の役割を認識し、実行しているか、学習内容をどれだけ理解しているのか、等を評価する。			
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook			
履修上の注意	初回のみスポーツ・身体運動実習の授業に参加する。次回から MC の曜限に移行し、教務登録も MC の曜限です。 体育館は土足、飲食禁止。 盗難注意。			
学習上のアドバイス	基本的には健康診断等で保健センターから指示された者が受講するが、本人の申し出によりメディカルケア担当教員の判断によって指示されれば、受講できる。またセメスター途中でも、メディカルケアコースに移動すること、また回復により元の授業に復帰することも可能なので、担当教員とよく相談する。			
関連ホームページ	http://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/shintai/			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30015	月 1	スポーツ・身体運動実習（メディカルケア3）	実技担当	2 年 文科 理科
30258	月 5	スポーツ・身体運動実習（メディカルケア1）	実技担当	2 年 文科 理科
30301	火 1	スポーツ・身体運動実習（メディカルケア3）	実技担当	2 年 文科 理科
30609	水 1	スポーツ・身体運動実習（メディカルケア2）	実技担当	2 年 文科 理科

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30355	S	身体運動科学	工藤 和俊	スポーツ・身体 運動	火 2	761 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	運動の巧みさと上達の科学 一流のアスリートや、ダンサーや、音楽演奏家は、日々の弛まぬ練習によってきわめて高度な技（スキル）を体得します。本講義では、このような高度熟練パフォーマンスに代表される運動の巧みさ/上手（うま）さに関する以下のような素朴な疑問について、認知行動科学、神経科学、非線形数理科学など学際的立場から議論します。 ・上手なひととそうでないひととはどこが違うの？ ・どうすれば運動が上手になるの？ ・スランプはどうして起こるの？ ・練習でできていたことが試合でできなくなることがあるのは何故？						
評価方法 教科書 ガイダンス	レポートにより行う。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30863	S	身体運動科学	八田 秀雄	スポーツ・身体 運動	木 1	743 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	運動生理生化学 運動におけるエネルギー代謝の知識を健康増進や競技のトレーニングに役立てる 生きていることはエネルギーを生み出していることである。そしてエネルギーは基本的には糖や脂肪からミトコンドリアが酸素を利用して ATP の形で生み出されている。運動時にはさらにエネルギー必要量が高まる。そこで本講義では運動時を中心に糖や脂肪がどう代謝されているのかを中心にして、運動時における体内の変化を学ぶ。運動することはエネルギー消費量を高めるが、それだけが運動の効果ではない。運動を継続することで体内の状況をよくすることができる。エネルギー代謝の知識を活かし、今後の健康維持にどのように運動を取り入れていけばよいのかを学ぶ。また健康増進だけでなく競技におけるエネルギー代謝に関する内容も話題として取り上げる。 また乳酸及び運動と疲労に関する内容も多い。乳酸は糖からできるエネルギーであり、老廃物ではなく、無酸素状態だからできるものではない。乳酸ができるから疲労するのではなく、むしろ疲労するような運動をしているので、それに対処するためにできるのが乳酸である。 世の中脂肪燃焼がよくいわれるが、あるサプリメントを摂ったからといって脂肪がどんどん減るようなことはあり得ない。運動で代謝を高めるから脂肪が減るのである。また運動では必ず糖を利用するが、糖を利用することは無駄なことではなく、糖尿病の予防になり、結果としては脂肪の減量にも結びつく。そこでこの講義でのもう一つの柱は、おかしな健康情報がいかに多いのかについても学ぶことである。お茶を飲むだけで脂肪が減るかのようなおかしな情報を鵜呑みにせず振り回されない姿勢＝メディアリテラシーを身につけることも。本授業の目標である。						
評価方法 教科書 ガイダンス	レポート（6 月始めと学期末提出予定）2 回で 90%。 平常点 10%。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30089	S	健康スポーツ医学	福井 尚志	スポーツ・身体 運動	月 2	1331 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	健康スポーツ医学 現代生活では身体を動かす機会が少なくなったことで健康がさまざまな障害されることが多くなった。糖尿病、高血圧、高脂血症（脂質異常症）、心臓病、脳血管障害などの生活習慣病がその代表であるが、肩こりや腰痛も多くの場合運動の不足と関連している。これらの健康障害を改善しまた予防するためにスポーツがすすめられる。一方、スポーツを一生懸命に行ったことでかえって健康を害する人もいる。過度の運動から病気になり、あるいはスポーツ中に怪我や障害を負うことも多い。スポーツ障害の原因は何か、予防のために何をすればよいか、また障害が起った場合スポーツ復帰のためにどういうことをすればよいのかを考え研究するのがスポーツ医学である。本講座では駒場にいる内科、整形外科、精神科、産業医、歯科の専門家から現代人が知っておくべき健康医科学、スポーツ医学などの医学的知識および健康に関する知識を学ぶ。						
評価方法	筆記試験（講義を分担する教員がそれぞれ出題する） 教員によっては出席状況も考慮して評価する場合がある。						
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 教養としての身体運動・健康科学 著者（訳者） 東京大学身体運動科学研究室編 出版社 東大出版会						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30302	S	身体運動メカニクス	竹下 大介	スポーツ・身体 運動	火 1	1313 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	スポーツ動作を科学する 身体運動メカニクスでは、身体と運動をキーワードに、特にスポーツ動作について、自然科学的な研究成果を体系的に講義する。この授業では、通常、健康であれば意識外に迫いやられる「身体や運動」について再認識し、それを自然科学的観点から直視して深く考えること、そしてダイナミックなスポーツ動作の成り立ちをバイオメカニクスの観点から理解することを目的とする。						
評価方法 教科書	試験 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 身体と動きで学ぶスポーツ科学 著者（訳者） 深代千之ら 出版社 東京大学出版会 ISBN 978-4-13-053701-8						
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31812	S	情報メディア基礎論	酒井 麻千子	情報学環	水 5	K213	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	情報と法 デジタル技術や情報通信技術の発展により、情報の発信・享受・流通のあり方が多様化し、日常生活においても著作権法をはじめとする法律の知識が必要となる場面が生じている。本授業では、日々生じる現代的問題を対象に、知的財産法や個人情報保護法・プライバシー、表現の自由といったいわゆる情報法についての基本的な考え方を学び、将来新たな課題に直面した際に、自ら考え対処するための方針を得ることを目指す。 酒井による講義のほかに、コンサルタントや弁護士等の実務に携わるゲストスピーカーによる講義も予定している。						
評価方法	期末試験（70%）、出席点（30%）にて評価する。 ゲストスピーカーの講義の際に出席をとる。						
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30259	S	科学技術基礎論Ⅱ	佐野 和美	哲学・科学史	月 5	101 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	科学技術と社会の間を考える 科学技術は、日々進歩し複雑化している。私たちの生活を便利かつ豊かにしてくれる反面、難解になりすぎて近寄り難いものと思われがちである。科学は決して万能ではない。しかし、難しくなりすぎた科学技術は市民にとって遠い存在になってしまう。市民自らが科学技術の是非を判断するべきとされ科学リテラシーの必要性が叫ばれているが、科学技術と社会との距離が遠い状況では、なかなか理解が進まない。 この授業では、科学技術を享受する市民の立場、そして科学技術を使う科学者・技術者の立場、双方の立場にたって科学技術のあり方を考えていく。 テーマは、生命倫理に関わる問題、地球温暖化やゴミ処理などの環境問題、原子力発電やエネルギー問題など身近な話題を中心に、受講者の興味と関心によって変える可能性がある（各受講生にアンケートを取り、話題提供してもらって、それらのテーマをもとにグループに分かれてディスカッションをする。ちなみに、2019 年度は、原子力、宇宙開発、戦争と科学、科学の価値、生命倫理、医療倫理、AI などを取り上げた）。 テーマの数によって、授業の構成を変える可能性がある。話題提供された問いに対して事前にある程度調べ、講義中に他の受講生とディスカッションをしながら、自分事として考えていくことを期待する。						
評価方法	出席状況とディベートへの貢献度、授業の感想等の提出物（各回に記入してもらうメモ用紙）および最終課題のレポートでの評価とする。						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 5 限／5th Period						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31049	S	現代倫理	吉永 明弘	哲学・科学史	木 5	513 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	「都市の環境倫理」入門 現代倫理学の一分野である「環境倫理学」について講義する。ただし、いわゆる自然環境の倫理学ではなく、都市や人工物の倫理学を主なテーマとする。現代人の半数以上は都市に住んでおり、都市の環境こそが身近な環境となっているからである。そのなかで、科学技術の倫理についても言及する。						
評価方法	学期末に試験を行う。						
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook						
ガイダンス	書名 都市の環境倫理						
	著者（訳者） 吉永明弘						
	出版社 勁草書房						
	ISBN 4326602600						
	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31556	S	現代工学基礎 I	加藤 浩徳	工学部	水 5	K211	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	社会イノベーションと国際プロジェクト わが国は戦後から 70 年以上が経過する間、急速な少子高齢化など多様な社会構造の変化を経験し、国内経済の様々な仕組みが曲がり角を迎えていることを受けて、近年多方面で構造改革が叫ばれている。一方でグローバル化の進展とともに人・カネ・モノ・情報が国境を超えて容易に移動するようになり、世界標準（グローバルスタンダード）が押し寄せてくるとともに、地球環境問題のようにグローバルスケールで取り組むべき課題も山積している。そのため、これからは、コミュニティのような地域社会で貢献できる人材とともに、国際社会で活躍できる人材が求められている。本講義では、貧困、環境・エネルギー問題といったグローバルで展開される問題と、人材育成、技術移転、紛争解決、地域開発、防災といったローカルな問題の両者について、社会イノベーションを切り口に議論する。						
評価方法	出席および、事例講義のレポートと WS のパフォーマンスにより成績評価を行う。出席については、毎回配布される出欠表に、自分のサイン（氏名）を記入すること。WS の詳細は後日提示される。事例講義のレポートは、3 回のレポートの合計によって評価する。						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31557	S	社会システム工学基礎 I	羽藤 英二	工学部	木 5	1106 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		「東京のインフラストラクチャー（社会基盤学）」 東京は世界有数のメガシティである。単に巨大であるだけでなく、緻密なインフラシステムを有する先端性、日本最大の城下町江戸の血を引く歴史性、豊かな海に面し繊細な地形と川に恵まれた自然性など、多様多彩な特徴や魅力を潜在的に備えたユニークな大都市である。同時に、幾度も深刻な災害に襲われ、その都度再生してきた復興都市でもある。本講義では、社会基盤を構成するそれぞれの専門学術領域の立場から東京のインフラストラクチャーを論じることを通じて、現代都市を構成する社会基盤と都市そのものを理解し考えるための視座と機会を提供するものである。					
評価方法		)課題内容：3 回のレポートの合計によって評価します(各 33 点)。1～13 までの講義において、それぞれレポート課題が提示されます（講師が講義中に課題を指示します。感想を書かせる場合もあります）。そのうち任意の三回を選択して、レポートを提出してください。 三回提出された場合のみ、成績評価の対象となりますので、注意してください。なお、四回以上の提出は認めません。 2)提出方法：レポートは、原則として、ITC-LMS 上に提出するものとします。提出期限は課題を指示されてから 2 回後の講義終了時まで、ただし第 12 回・第 13 回の講義のレポートについては、7/23（木）17：00 までに提出すること。 3)レポートの体裁：各レポートは、表紙を含めて A4 用紙 3 枚以内とします。レポート冒頭に対象とした講義タイトル及びその教員名、及び学籍番号・氏名・科類を明記すること。以上の体裁を満たしていないレポートは採点できないことがありますので、充分注意してください。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31558	S	社会システム工学基礎 I	安原 幹	工学部	金 5	1312 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		「建築空間のデザイン&リサーチ」 建築学の扱う範囲は多岐に渡り、意匠、計画、歴史、構造、構法、材料、環境といった全ての分野が、現実の社会と密接に関係している。建築学の目的は、これら諸分野の技術を統合し、様々な社会的な課題を空間的に解決したり、あるいは新しい建築空間の創造を通じて、来たるべき社会のあり方を指し示すことである。本授業は、建築学、そして建築実務における諸分野の専門家による多様な講義を通じて、建築における最新の研究事例、また建築が直面する様々な現代的課題や、それらに対する具体的なアプローチ、解決手法を学ぶことを目的とする。					
評価方法		各回のレポートを担当教員が採点し、総合して成績を決定する。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31559	S	総合工学基礎 I	小野 靖	工学部	金 2	1211 教室	1 年 理科 2 年 理科
講義題目 授業の目標概要		核融合プラズマ実験基礎講座－人工太陽は創れるか？－ 海中の重水素の原子核を融合して無尽蔵のエネルギーを得る核融合エネルギー開発は、いわば人工太陽の研究といえます。エネルギー問題の最終解と位置づけられる人工太陽＝核融合開発は、ようやく実用炉が見渡せる段階となり、現在、工学実証のための国際熱核融合炉 ITER を建設する一方で、その先にある経済性の高い原型炉の開発が進み、この数年はベンチャー企業まで生んでいます。 この授業は、講義と実験を組み合わせた「新しいタイプの核融合エネルギー開発の入門授業」といえます。 講義では、核融合炉の原理、特に核融合炉の心臓部である炉心プラズマ閉じ込めと関連技術について理解を深めると共に、軽水炉に対抗しうる経済性の高い核融合炉実現へ進むための最新の研究動向について紹介します。 また、専門に進むための入門実験として東京大学本郷の核融合プラズマ閉じ込め実験を実際に体験し、プラズマの振る舞いについて考えてもらいます。美しく輝くプラズマの挙動を観察し、考える中で、核融合エネルギー開発の現状と将来について理解を深めていただければ幸いです。					
評価方法		授業で教えた範囲について確認テストを行い、実験についてはレポートを提出してもらい、出席点を加味して成績評価を行う予定です。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2020 年 04 月 10 日 2 限／2nd Period 授業の教室と同じ					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31560	S 1	生体医工学基礎 I	高井 まどか	工学部	火 2	1102 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		バイオマテリアル入門－医療への貢献 今日の生物工学や遺伝子工学、医療工学などの目覚ましい発展により、従来の医療では困難であった疾患の早期発見や再生医療、遺伝子治療などの高度先進医療も現実のものになろうとしています。工学の領域でも、このような医療福祉に対する社会的要請に応じて、医用材料、すなわちバイオマテリアルの研究・開発が注目を集めています。この講義では、高度先進医療を支える先端バイオマテリアルについて様々な角度から紹介し、工学と医学・生物学の融合により切り開かれる未来型医療について、皆さんと一緒に考えていきます。バイオマテリアルの入門として、バイオマテリアルの基礎から最先端研究までを紹介します。					
評価方法 教科書 ガイダンス		レポートおよび出席 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31561	S	生体医工学基礎 I	南 豪	工学部	金 2	1214 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		化学生命工学基礎 「化学」によって我々は自らの創造力を駆使し、自然界に存在する分子を手本に、自然界にはない方法で新たな機能を持つ分子や美しい構造を次々に生み出すことができます。 「生命」は化学物質の変換を精妙に行い自律的に活動を続ける複雑なシステムです。生命を「化学」の視点で眺め、理解することは、我々自身を深く知ることになるのはもちろんのこと、生命現象を巧みに操り、役立てるという目標につながります。 21 世紀の人類社会がかかえる課題解決のためにもはや欠かすことが出来ない「化学」と「生命工学」、そして両者の融合による「化学生命工学」。「化学生命工学」は我々の生活にどれくらい浸透し、我々の明日をどのように変え、未来に貢献していくのか？ これらの領域が果たす役割の重要性と魅力について、各講師が日本・世界の動向や、時に最新の成果も交えながら分かりやすく紹介します。 本講義では、有機化学、合成化学、触媒化学、グリーンサステナブルケミストリー、高分子化学、超分子化学、分子生物学、生化学、タンパク質工学、細胞工学、酵素工学、抗体工学、糖鎖工学、ケミカルバイオロジー、バイオイメージング、創薬、などのトピックについて扱う予定です。 化学生命工学科のホームページ(http://www.chembio.t.u-tokyo.ac.jp/)から本講義の紹介・最新情報のページにアクセスできます。					
評価方法 教科書 ガイダンス		2 回のレポートの提出および出席により総合的に評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31563	S 1	環境・エネルギー工学基礎 I	森田 一樹	工学部	金 2	514 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 環境・基盤マテリアル入門 我が国を支えてきたものづくり、すなわち製造業やその技術の発展には、経験や感覚を要する職人の育成はもとより、そのプロセスの根幹となる原理原則に則った技術革新もまた重要である。多くの材料や製品は原料から素材を作り、合成・加工することにより生産されているが、製品寿命を終えると循環されるという持続可能な新たなものづくりシステム構築も促進されつつある。中でも、ベースメタル、セラミックス、ポリマーなど社会の基盤を支えるマテリアルの循環システムやその機能が我々の生活にもたらす影響は非常に大きい。マテリアル循環プロセスにおいては古くは公害、今は CO2 問題、資源・エネルギー問題と枚挙に暇がなく、人類の持続的繁栄に直結している。また、密かに進化し続ける鉄鋼材料が、スカイツリーやゲートブリッジの出現をもたらし、ボディーの高強度軽量化による自動車の燃費や安全性を大きく向上させている。 これらのプロセス技術やパフォーマンス設計を支える学理を体系化した学問領域が、環境・基盤マテリアル工学である。物質や材料を取り扱う工学の基本であり、教養学部で学ぶ物質科学を広くベースにしている。 本講義では、入学直後の皆さんが高校で学んだ物理や化学の知識から、環境・基盤マテリアル工学を通して、自然現象からものづくり技術、パフォーマンス設計、そして持続可能社会への繋がりを理解することを目標とする。その近道として、ものづくりのベースとなる熱力学や力学の基本を理解した上で、社会を支える基盤マテリアルの創成やその循環プロセス設計について、事例を交えて紹介する。 評価方法 教科書 ガイダンス 出席および講義時間中に課すレポート 2 回 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2020 年 04 月 10 日 2 限／2nd Period							

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31562	S	環境・エネルギー工学基礎 I	小野 靖	工学部	金 5	1211 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 エネルギー環境論 ーサステイナブルな社会は実現できるかー エネルギーは我々の日常から最先端の科学技術まですべての人間活動を生み出す根元といえます。エネルギーなしに考えられる技術は何一つ無いことは明らかですが、そのエネルギーをいかに作りだし、輸送し、制御して、人間が使いやすい形で利用していくかはまさに今世紀の最重要課題といえます。システムの構築次第で社会全体が効率的に働いたり、逆に危機に際して大混乱に陥ることも想定され、社会活動や地球環境を決定する第一義の技術なのです。この講義ではそのエネルギー・環境技術の現状はどんなものか？未来技術はどうあるべきなのか、最新技術はどこまで進んだのか？数人の教官が体系的な講義を行います。エネルギー発生では火力、原子力、核融合、太陽光、風力、シェールガス・オイル、バイオマス、燃料電池、エネルギー輸送では超高压送電、水素エネルギー、スマートグリッド、電力貯蔵では SMES、エネルギー利用ではエネルギーシステム、交通システム、電気自動車、環境保全技術・・・等々、新聞を賑わす最新技術がどんなものなのか、各分野の専門家による講義とプリンストン大学教授の特別講演を含む、一部英語を織り交ぜた授業で理解を深めてもらう予定です。 評価方法 教科書 ガイダンス 出席と期末試験（持ち込み不可）による。授業で説明した基本事項について質問し、一部は数式を用いて定量的な結論を導いてもらいます。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2020 年 04 月 10 日							

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31564	S	環境・エネルギー工学基礎 I	大友 順一郎	工学部	金 5	K113	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		化学システム工学入門 一次世代社会のための化学と材料－ 化学とは物質の性質、構造ならびにこれら相互間の反応を研究する自然科学の一部門である。物質を扱う限り、化学的な視点が不可欠であることはいうまでもない。一方、現実の環境問題やエネルギー問題などに取り組もうとすると、化学の知識だけでは不十分であることがわかる。なぜならば、我々が直面している課題は、様々な要因が絡みっており、複雑な様相を呈しているからである。このようなときには、対象を要素から構成されるシステムとしてとらえる、システムのアプローチが大きな力を発揮する。化学システム工学は、これらの問題を取り扱うための方法論を提示する学問である。 本総合科目においては、化学システム工学を基に、化学的な視点（化学反応、材料、エネルギー）に立脚しながら、我々人間社会が直面している課題（気候変動、大気・水環境、安全とリスク、人工臓器・再生医療など）を取り上げることで、エネルギー変換化学、環境化学、安全安心、医療を対象とした、現実の「マクロ」の問題にどのように取り組むかについて講義と議論を行う。					
評価方法		レポートと出席					
教科書		プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス		第一回授業日を行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31555	S	ヘルス・サイエンス概論	小西 祥子	医学部	金 5	512 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ヘルス・サイエンスへの招待 人間の健康問題を考えるためには、生命科学・行動科学・情報科学・社会科学などの多様なアプローチを統合した学際的努力が必要です。そのためには、生化学・生理学・解剖学・遺伝学などの生命現象の基礎をなす学問だけでなく、疫学・生物統計学・医療倫理学・精神保健学・医療経済学・人類生態学・国際保健学・人口学などの保健・医療に関わる応用学問の実践が不可欠です。本授業では、医学部・健康総合科学科の教員が行っている健康社会の実現を目指した実際の研究活動事例を通して、現代が抱える「ヘルス・サイエンス」の問題と将来展望について学びます。					
評価方法		出席 40%、レポート 60%					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31554	S	看護学概論 I	上別府 圭子 佐藤 伊織	医学部	木 5	532 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		生きることを支える科学 高度に医療技術が発展してきた現代社会では、逆説的ではあるが、疾患を抱えたまま生活する者は多くなり、また、健康への様々なニーズが顕在化してきている。このような社会では、従来の医学モデルでは解決できない様々な課題が生じ始めてきている。特に少子高齢化が高度に進んだ日本においては、この社会を看護学モデルで扱い新たな対処方法を構築することに対する社会的期待が高まっている。つまり、生きることを支える学問である看護学は、人々の健康問題を、身体的、精神的、社会的、霊的に捉えることで、より人々に適合したケアを提供することが出来る。本講義では、看護学の概要と特徴を提示し、今日的な健康問題を解決するための最新の研究成果を紹介することで、今後の看護学発展による国民の健康向上への道筋を議論する。					
評価方法		出席点および毎回のレポート得点で評価を行う 最終レポートはない。また、出席回数が7回以下の場合は、単位取得できない。					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31589	S	環境と生物資源	宮下 直	農学部	水 5	159 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	生物多様性と保全 いま、地球環境は激変の時代にあり、生態系の劣化や生物種の絶滅が急速に進んでいる。これは我々人類にとっても重大な問題となっている。水、土、大気、食糧、どれをとっても我々の生活に不可欠であり、そうした「自然の恵み」を抜きにして人類の将来を語ることはできないからである。本講義では、特に生物の豊かさを意味する「生物多様性」に焦点を当て、それが維持されている仕組みや、劣化の実態とその背景要因、生物多様性の保全や再生、そして持続的な利用の在り方の視点から、生物と人間社会の関係性を語る。 具体的には、最初の 2 回で講義全体の枠組みを概説した後で、生態学の基本理論に基づいた生態系のダイナミズムを紹介する。次いで、海、山、里山といった現場に焦点を当て、それぞれの生態系の構造や機能、そこで起きている諸問題とその解決法を紹介する。そして最後には、生物多様性の価値について、それが生み出される仕組みも含めて「生態系サービス」の観点から論じる。						
評価方法 教科書	レポートに出席点を加味 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 生物多様性概論：自然のしくみと社会のとりくみ 著者（訳者） 宮下 直・瀧本 岳・鈴木 牧・佐野光彦 出版社 朝倉書店						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31590	S	食糧と環境	高橋 一生	農学部	金 5	1101 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	海洋生物資源の特性と利用 地球表面積の 70%を占める水圏（海洋および陸水）は、潮干帯から沿岸、外洋、深海、熱帯域、極域、陸水に至る、多様で変異に富む環境で構成される。水温、塩分、水圧等の大きく異なる棲息環境に、バクテリア、プランクトンなどの微小な生物から、各種の無脊椎動物、魚類、大型ほ乳類に至る多種多様な生物が進化的に適応放散し、独自の生活史を発展させてきた。水圏には地球上のほぼすべての動物門が棲息しており、その多様性は陸上の比ではない。水中での生活を可能にするために、陸上生物には見られない特殊な器官やユニークな代謝経路を発達させた種も多い。そして、これら多様な生物の相互作用により、複雑で豊かな生態系が形成されてきた。しかし、陸上生物である我々 ヒトにとって、水圏にはまだまだ未解明の現象が多く、そこに未知の利用可能性や新たな研究領域の発展可能性を秘めたフロンティアが存在する。一方、広大に見える水圏でも、そこに棲息する生物量は有限である。水圏生態系における物質循環および生物生産の仕組みを理解し、ヒトと水圏生態系の関わりあい方、および再生可能資源としての水圏生物の持続的有効利用のあり方を探ることが、これからの自然共生型の持続可能な社会を構築していくうえでの鍵となる。 本講義では、水圏に棲息する生物およびそれをとりまく環境を対象に、（１）水圏環境および生態系内での物質循環と生物生産について理解すること、（２）食料資源、生化学資源、エネルギー資源などの観点から、水圏生物の持続的有効利用に向けた知識を習得すること、を目標に授業を進める。						
評価方法 教科書	出席状況、受講態度、レポートの内容をもとに評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook						
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31591	S	森林環境資源学	蔵治 光一郎	農学部	水 5	101 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		森とダム、森の最終形、森と癒し 世界の森林が危機的な状況にあり、植林によって環境問題に貢献していることをアピールする企業の CM が TV や新聞に頻繁に流されている。その一方で、日本の国土の 68.5% は森林に覆われている。日本は世界有数の森林大国であり、森林は日本最大の「地主」である。さて、皆さんは、このような広大な面積をもつ森林の実態を、どれだけ知っているだろうか。 高校までの生物や地理で、生き物としての樹木や森林に生息する動物、世界の森林の分布などを勉強した人は多いだろう。しかし森林の全体像を知るためには、森林内で何が起きているかを知る自然科学や、森林を取り扱うための技術といった「理系のアプローチ」だけでなく、森林の歴史、経済・経営、法制度、行政・財政といった「森林と人とのかかわり」＝「文系のアプローチ」の両方をあわせて学ぶことが不可欠である。その意味で、森林は、東京大学前期課程の総合科目で学ぶ対象として最もふさわしい対象の一つである。 森林を学ぶための場として、東京大学は、北海道、東京、千葉、埼玉、山梨、静岡、愛知の 7 県に、山手線の内側の面積の 5 倍以上の面積の森林を演習林として保有しており、その面積は、東京大学の全キャンパス面積の 98% を占めている。 本講義は、駒場キャンパスの教室で、東京大学を卒業して社会で活躍する皆さんが教養として知っておくべき「森林の基礎の基礎」についての講義と、演習林で開講する 1 泊 2 日のフィールドワーク（現地講義）をあわせて行うことで、森林を机上での学習と実体験により総合的に理解することを目的として開講する。フィールドワークでは、現場に常駐して教育研究を行っている教員の指導のもと、森林の現物に触れるとともに、教員と学生のディスカッションを行う。 ※受講人数は 70 名に制限します。受講希望者が 70 名を上回った場合はセレクションを行います。 ※講義室での講義を 7 回行い、別に、1 泊 2 日のフィールドワークを行います。フィールドワークは以下の 1～3 から 1 つを選んで参加します。1～3 にはそれぞれ定員がありますので希望の場所に行けるとは限りません。また、もし空きがあれば、複数のフィールドワークに参加することもできます。 1. テーマ：森とダム 場所：生態水文学研究所（愛知県瀬戸市） 日程：5 月 30 日（土）、31 日（日） 2. テーマ：森の最終形 場所：千葉演習林（千葉県鴨川市） 日程：6 月 13 日（土）、14 日（日） 3. テーマ：森と癒し 場所：富士癒しの森研究所（山梨県山中湖村） 日程：6 月 20 日（土）、21 日（日）					
評価方法		講義室での講義の出席、講義のレポート、フィールドワークのレポートの 3 つの得点を合算して評価する。 2 つ以上のフィールドワークに参加し、それぞれレポートを提出した学生は、各フィールドワークのレポートの最高得点をフィールドワークの得点とする。					
教科書 ガイダンス		プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行く。／Will conduct guidance at first time					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31592	S	水と土の環境科学	吉野 邦彦	農学部	木 5	121 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		食をささえる水と土の環境科学 2050 年までに 90 億人を越えようとしている人口を養っていくためには、食料生産の維持・増大は欠かせない。2015 年 9 月の国連サミットで採択された SDGs を達成するためには、自然環境との調和を図りつつ食料生産の基盤を整備するとともに快適な地域空間を創出する必要があるが、これは容易ではない。様々な個別の問題を自然と社会の法則性や物質の普遍的な特性に基づいて解明し問題解決をすることを可能にするような高度の科学性と専門性が求められる。特に、植物の生育と生態系を条件づける水と土、さらに地域空間における物質循環に関する科学と技術が不可欠である。また、日本国内に限定すると今後、人口減少と高齢化が進むことも考慮すべき重要な事項となる。 この講義では、食料生産、いわゆる農業について、生産効率向上の工夫や持続的な農業生産に関する課題を紹介するとともに農業に関連して生じている様々な環境問題やそのメカニズムを社会的背景と物質循環についての基礎知識やモニタリング技術を含めてわかりやすく解説する。 この講義によって、普段気にしていない水と土を巡る物質循環の科学の私たちの社会・生活における重要性が理解できるようになることを期待する。					
評価方法		出席を前提として、レポートで評価する。レポート課題は、各教員の講義において提示され（最終回でもまとめて提示）、そこから 4 課題を選択する。レポート提出の締め切りは 7 月下旬。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31593	S 1	住環境の科学	稲山 正弘	農学部	木 5	162 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		人と木と木造建築 地球温暖化などの環境問題に対し、木材の適切な利用を核とした資源循環型社会への移行が世界的に求められています。本講義では、森林資源から木造建築に至るまでの様々な観点で「人と木と木造建築」について学んでいきます。すなわち、木材の微細構造から基礎的物性などに関する基礎知識や、未利用資源あるいはリサイクル利用に関する社会科学的な分野の基礎知識等を学び、木材を有効活用してつくられる製材・木質材料（集成材・合板・繊維板等）の特徴や、木造住宅に至るまでの生産・流通などについて学び、木造建築の設計に必要な基礎知識や様々な木造建築の事例、および居住空間等木材を使用した環境のアメニティ等について学習します。					
評価方法 教科書 ガイダンス		各教員における出席点とレポート点を集計して評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31602	S	心身の実践科学	佐々木 司	教育学部	木 5	1331 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		現代の社会を生きる心身の知恵 この授業は、急速に変化する現代社会を生きていく上で、またそのような社会の中で相互扶助による貢献を第一義とする市民的エリートとして成長するために不可欠な心身の実践科学とその知識について、理論と実践両面から学ぶことを目的とします。インターネットや SNS の急速な普及（四半世紀前にはこの世に存在しなかった）と情報氾濫、生活の 24 時間化・国際化、産業構造の変化、これらに伴う対人関係の変化など、現代のわれわれを取り巻く環境と状況は加速度的に変化し続けています。このような変化は、当然ながら、心身の健康、ストレス、学習に大きな影響を及ぼし、人間関係、将来設計、社会での適応のあり方、精神疾患などにも影響を及ぼしています。これらは学生の皆さんの現在の生活のみでなく将来の社会人としての活躍にも当然ながら深く関係する問題です。この授業では、教育学部身体教育学コースでの研究内容を紹介しつつ、生活習慣、学習、脳、精神医学、社会など様々な観点からこれらの問題について考えていきます。この中には、学生相談ネットワーク本部の先生方をゲストに招いて行う、学生支援の実践した講義も多数含まれます。この講義での学習を通じ、学生生活における健康の維持・向上とともに、将来の社会での活躍のあり方について考えを深める上でも必要な知識とスキルを習得してもらえればと思います。					
評価方法 教科書 ガイダンス		なお平成 27 年度から開始された学生同士の相互扶助を目的としたピアサポートプログラムに参加希望の学生には、特に履修を勧めます。学生ピアサポーター（一定の研修プログラムを修了した本学学生を相談支援研究開発センター長が認定）として必要な基礎知識の習得に必須の講義が含まれます。当然ですが、それ以外の学生の履修も大いに、かつ平等に歓迎します。 毎回レポートを授業時間内に課す。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30356	S 1	システム論	福永 アレックス	情報図形	火 2 金 2	K113	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		システム論 「システム」とは、相互に影響を及ぼしあう要素から構成されるまとまりや仕組みであり、その概念は分野横断的に幅広く応用されている。例えば、国や企業等の社会システムはたんなる人の集合ではなく、複雑な社会システムである。一方、インターネット等の複雑な人工物も、たんなるコンピューターの集合でなく、「システム」である。本授業ではこのような複雑なシステムを理解、構築、操作する為に役立つ汎用モデル化技術を紹介する。一方、これらのモデル化技術の本質的な限界についても考察する。					
評価方法 教科書 ガイダンス		第一回の講義で説明する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

総合科目 E（物質・生命）

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30016	S	振動・波動論	島田 宏	物理	月 1	523 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	振動・波動論 音や光は我々が生存してゆく上で決定的に重要な情報を担い、音楽、美しい景色、絵画、写真と生活に喜びを与えてくれる。 音と光は共に波動現象の典型例であるが、我々の知的興味を引き付ける振動・波動現象は身近なところに数多く存在する。 たとえば、ブランコはどうして漕げるのだろうかとか、海の波はどうして波打ち際で砕けるのだろうかなど。 また、建造物や製品の設計においても、振動・波動の影響は欠かせない。 このように我々の日常と密接に関わっている振動・波動現象を、物理学の基本法則により根本的に理解することがこの講義の目的である。 その内容は古典的な場の理論の初歩を含み、引き続き量子力学、場の量子論を学ぶ者にとっては必須なものでもある。 主な項目は以下の通りであるが、実際の内容や順序は教員によって多少の違いがあり、特に＊印のついた項目は省略される場合がある。 1. 序論 2. 1 自由度系の振動 ・単振動 ・減衰振動 ・強制振動、共鳴、Q 値 ・パラメーター励振 ＊簡単な非線形振動 3. 連成振動 ・2 自由度系 ・基準振動、うなり ・N 自由度系 4. 1 次元の波動 ・弦、弾性体、気柱 ・縦波と横波 ・波動方程式 ・反射と透過 ＊波のエネルギー ＊インピーダンス 5. フーリエ級数、変換の方法 ・考え方、基本事項、線形性 ・波束 ・位相速度と群速度 ＊不確定性関係 ＊6. 2, 3 次元の波 ・波動方程式 ＊平面波 ＊球面波 ＊水の表面波 ＊反射と屈折 ＊干渉、回折						
評価方法 教科書 ガイダンス	定期試験およびレポート 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30261	S	相対論	加藤 光裕	物理	月 5	523 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	相対性理論入門 アインシュタインによる相対性理論は、量子力学と並んで、現代科学の基礎をなす基本法則のひとつである。本講義では、主に特殊相対性理論について、その歴史的背景も踏まえつつ入門的部分を学ぶ。時間があれば、一般相対性理論についても触れる。						
評価方法 教科書 ガイダンス	試験による。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30357	S	量子論	加藤 雄介	物理	火 2	721 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		量子力学入門 量子力学における基本的な概念と理論の枠組みを、基礎的な物理系の学習を通して体験する。また、発展的な例を通して、量子論が現代物理学の中でどのように展開しているか概観する。これによって量子論の概要を正しく把握し、今後の学習の基礎付けとすることをめざす。					
評価方法 教科書 ガイダンス		レポート（2 割程度）と定期試験（8 割程度）の結果によって行う。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30831	S	統計物理学	堀田 知佐	物理	水 5	531 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		統計物理学 統計物理は、自然界の身近なマクロな現象をミクロなレベルから解き明かす、現代物理学の基礎的な学問である。 鉄は何で磁石に引かれるのだろうか？ゴムは良く伸びるけど、手を離せばもとに戻ってしまう、 そんな身近な疑問も、分子、原子、電子といったミクロな構成要素が 無数に集まって統計的にどう振る舞うかを定式化すれば 簡単明瞭に理解することができる。 熱力学では抽象的なマクロ変数をもとに熱平衡という概念を扱った。その際にエントロピーという一見正体不明の物理量が出てきただろう。 ところが統計物理の言葉では、そのエントロピーの正体も少数の原理を仮定するだけで、実に明快に定義することができるのである。 本講義では、統計物理の枠組みを初歩から理解し、そのうえでゴムや磁石などの問題を具体的にに取り上げ、物理学の面白さを知ってもらい、また物理的なものの見方を理解してもらうことを目標にする。 定期試験をもとに評価する。場合によってはレポートを学期内に課すこともある。					
評価方法 教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31138	S	現代物理学	立川 裕二	物理	金 2	531 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		「現代物理学」という科目名であるが、物理の中でも数理物理のさらに一部についてのものになる。また、参加者が生まれてから以降に理解されたという意味での現代的なことも含む内容を心がけるが、主にはそれに至るために必要な、前世紀から知られている事に関する講義が主になる。その意味で「現代数理物理の一部をのぞきみるためのはじめの数歩」とでも名付けるのがより良いような内容になる予定である。 数理物理の最近の話題、また、最近の話題を理解するために必要な種々の話題に触れる。講義の内容をきちんと理解するというよりは、自分の理解していないことがたくさんあるのだということを再確認して、それ自体を楽しんでももらえたら本望である。					
評価方法 教科書 ガイダンス		学期末に提出するレポート課題に対して参加者が電子的に提出したレポートを講師が採点することによって行う。 その他。／Other その他 講義ノートは講義のウェブページにおいて公開する予定である。 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2020 年 04 月 10 日 2 限／2nd Period 通常の講義室					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31139	S	物理科学 I（文科生）	池上 高志	物理	金 2	K212	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		複雑系の理論 この講義では、現在の科学の認識論を支えている 20 世紀の物理学、量子力学、非線形科学、カオス、を解説し、それが現在のコンピュータ、インターネットウェブ、人工知能(AI)、人工生命(AL)、複雑系、にどのように関わっているかを講義する。					
評価方法 教科書 ガイダンス		学期中の 2，3 回のレポートと、夏休みのレポート 1 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31140	S	物質化学（文科生）	渡辺 正	化学	金 2	1225 教室	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		化学の知恵をもとに、日常生活（食品・体のしくみ・身近な製品・環境など）を見つめ直す。 中学校理科と高校『化学基礎』程度の知識をもとに、命や暮らしと化学のかかわりをつかむ。 原子・分子のミクロ世界を想像する力をつけ、暮らしを支える多彩な製品の特性、架橋中で進む出来事の素顔を、エネルギーの出入りにも注目しつつ把握する。 カタカナの化学用語や物質名、英語の化学用語に関心をもつ姿勢も養う。					
評価方法		出席（毎回提出していただく用紙の記入態様も勘案）、中間テスト（行うかどうかも含め開講後に伝達）、最終試験の総合で評価する。					
教科書		中間テスト（未定）と最終試験で問う中身のうち 2～3 割は、講義中の補足説明（教科書にない事項）から採る予定。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 教養の化学——暮らしのサイエンス 著者（訳者） 渡辺 正（訳） 出版社 東京化学同人 ISBN 978-4-8079-0953-7 その他 定価 2400 円＋税					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31581	S	基礎方程式とその意味	岡田 康志	理学部	木 5	109 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		基礎方程式とその意味を考える 物理学がもつ「基礎方程式」（基本法則といってもよい）を掘り下げその意味を考える。 本講義では現代物理学の大きな柱として、相対論と量子力学を扱う。 高校までの知識をもとに、それらの基本方程式を導くとともに、具体的な現象への応用例を通じて、方程式の背後にある物理的な意味の理解を目指す。 これらの基礎方程式は、これまでの古典的なイメージと大きくかけ離れたものであるが、 学生の皆さんの新しい知的冒険を始める一助となるものとしたい。					
評価方法 教科書 ガイダンス		レポートによって成績を評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31582	S	分子化学概論	合田 圭介	理学部	月 5	512 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	分子化学概論／Introduction to Molecular Chemistry ナノテクノロジー、バイオテクノロジーなどの新しい技術の誕生・発展に伴って、物質や生体が機能を発現するメカニズムを分子レベルでとらえ、制御することができつつある。一方で、化学を基盤とした基礎・応用科学の急速な発展に伴って、高校の化学と専門課程の化学のギャップは大きくなる一方である。本講義では将来、化学のみならず生物科学や物質関連科学を志向する 1、2 年生にとって不可欠である最新の化学の考え方を理学部化学科の教員がわかりやすく解説する。レーザーと分子イメージング、環境に調和した有機合成、生物を観る・測る・操作する分析化学などを具体的なテーマとして取り上げ、学部初年のレベルから化学研究の最前線に至る道筋を明らかにすることを目標とする。						
評価方法 教科書 ガイダンス	出席および試験（一部はレポートに替える場合あり）による。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2020 年 04 月 06 日						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31603	S 1	化学薬学概論	金井 求	薬学部	木 5	1311 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ケミカルバイオロジー I（化学からみたケミカルバイオロジー） 医薬を創製し、人類の健康を守ることは薬学の大きな目標の一つである。この目標のために、薬学では、生体や疾患の仕組みを解明するための研究、薬や毒などの物質と生体との相互関係を解明するための研究、生体に有用な物質を創製するための研究などが、互いに連携をとりながら日夜進められている。本講義では、薬学研究の中から主として有機化学あるいは物理化学研究を取り上げ、これらの研究が新薬の創製にいかにか重要であるかを平易に解説する。						
評価方法 教科書 ガイダンス	レポート提出、授業態度（出席等） 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30358	S	超分子化学	平岡 秀一	化学	火 2	523 教室	2 年 理科
講義題目 授業の目標概要	分子認識と分子自己集合 殆どの場合、分子は孤立して存在するというより、常に他の分子と相互作用している。特に溶液中では、必ず分子間における相互作用が存在する。このような分子間相互作用は分子骨格を形成する化学結合（共有結合）に比べてとても弱い、分子間相互作用が生命系の複雑な仕組みと深く関わり、秩序立ったシステムの形成・維持に寄与している。本授業では、ほぼ全ての分子間相互作用を扱い、さらに分子間相互作用の理解を深めるため、分子軌道により解釈される共有結合との比較も行う。 水素結合やファンデルワールス力は分子間相互作用の一つで、高校化学の教科書でも取り扱われている。しかし、分子間相互作用について、いくつもの基本的な疑問がある。水素結合はどのような元素間で形成されやすく、なぜそうなのか？DNA の塩基対は水素結合で形成されているが、AT ペアより GC ペアの方が強いのはなぜか？単に水素結合の数だけで説明して良いのか？タンパク質はポリペプチドから形成され、アミド間の水素結合により一義構造へ折り畳まれるが、なぜアミド結合が選ばれたのか？なぜ水に溶けにくい物質は水を嫌って集合化するのか？また、水以外にこのような特性を示す溶媒は存在するのか？ファンデルワールス力は分子間相互作用の中で最も弱い、無視できるほど弱いのか？分子が自発的に集合し、秩序構造を形成する自己集合という現象は、生命システムの形成に欠かせないが、どうやって自己集合体が形成されるのか？自己集合も化学反応の一つだが、その反応機構は、一般的な化学反応と同じような考え方で解釈できるのか？ 本授業では、これらの問題について「分子間相互作用」というキーワードをもとに合理的に考え、結論を導き出していく。						
評価方法 教科書 ガイダンス	出席、期末試験による。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 溶液における分子認識と自己集合の原理 著者（訳者） 平岡秀一 出版社 サイエンス社 ISBN 978-4-7819-1403-9 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

基礎化学		開講区分	S	
授業の目標・概要		「化学」は単に物質の名前を覚えたり、反応式を暗記するような学問ではなく、基礎的な概念に基づいて、多様な物質の構造や性質を体系的かつ包括的に扱う学問である。本講義では、高校で学んだ化学の知識を基礎として、化学に関わる身近な現象や最先端の技術を題材にしながら、その根底にある化学的な概念をできるだけ平易に解説する。これによって、化学の学問体系を大づかみに理解するとともに、化学の面白さを学ぶことを目標とする。また、本講義は、化学系の基礎科目や専門的な内容を扱う総合科目を学ぶための入門的な役割をもつ。本講義で扱う主な項目を以下に示す。 1. 物質の構成（原子の構造、分子の形成、固体の構造と物性、光と分子） 2. 物質の変化（熱力学の法則、化学平衡、反応速度論） 3. 有機化合物（構造と結合、有機電子論、分析化学、触媒化学） 4. 機能性分子と生体関連分子（高分子化学、超分子化学、核酸、タンパク質）		
成績評価方法		定期試験の成績による。		
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook		
※講義の詳細については、UTASを参照すること				
時間割 コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
30230	月 5	佃 達哉、井上 将行	525 教室	1 年 文科 理一(1-12)理二三(1-8)
30305	火 2	寺尾 潤、山口 和也	743 教室	1 年 文科 理一(13-21)理二三(14-18)
31092	金 2	寺尾 潤、高鍋 和広	1331 教室	1 年 文科 理一(31-39)理二三(19-24)
31262	金 5	村田 滋、野崎 京子	525 教室	1 年 文科 理一(22-30)理二三(9-13)

有機反応化学			開講区分	S
授業の目標・概要 理科生はクラス指定された曜日・時間帯で受講する。この科目では、有機化合物の構造・性質・反応・機構について学ぶ。以下に標準的な講義項目を示す。ただし、項目の順序や内容は各教員によって若干異なる。 - 序論 - 物質化学における有機化学の位置づけ。 - 炭素が関与する化学結合 - 炭素の原子価状態，正四面体モデル，混成軌道，電気陰性度と結合の極性 - メタン，エチレン，アセチレンの分子軌道（σ 軌道と π 軌道） - 異性現象と立体化学 - 異性体，立体配座，立体配置，不斉現象，キラリティー，RS 表示 - 有機化合物の性質 - 分子間力，水素結合，分散力，酸と塩基，共役系，芳香族性 - 有機化合物の反応およびその機構 - 脂肪族求核置換反応，脱離反応，付加反応，付加環化反応，転位反応，芳香族求電子置換反応，カルボニル化合物の反応 - 一次反応，二次反応，反応中間体，反応遷移状態，化学平衡 - 目的化合物の合成 - 逆合成解析，生理活性物質の合成，機能物質の合成 成績評価方法 教科書 担当教員の UTAS シラバスを参照の事。 その他。／Other ※講義の詳細については、UTAS を参照すること				
時間割 コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
30002	月 1	加藤 敬行	511 教室	2 年 文科 理一(11,13-19)理二三(10-13,19,22)
30798	水 5	滝川 浩郷	524 教室	2 年 文科 理一(1-3,5,8-10,22,27-29,32)理二三(1-4,7,9,20-21)
31068	金 1	福島 和樹	531 教室	2 年 文科 理一(4,6-7,12,20-21,23-25)理二三(16-18,23-24)
31091	金 2	浦野 泰照	1101 教室	2 年 文科 理一(26,30-31,33-39)理二三(5-6,8,14-15)

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31565	S	物質・生命工学基礎ⅠA	竹中 充	工学部	火 2	109 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ナノ物理・情報エレクトロニクスの基礎 ナノテクノロジー、情報化社会、エレクトロニクスという言葉聞いたことがあるだろう。これらの先端技術は、electron（電子）のもつ性質を自在に活用し、工学として人間社会に役立てるという考え方の上に成り立っている。エレクトロニクスは、現代社会のあらゆる方面にわたって不可欠な基盤技術であるだけでなく、今後到来すると予想される人工知能社会や量子情報社会においてもそれらを支える必須の基盤技術として、その重要性は増す一方である。この発展を支えているのは、トランジスタを多数組み合わせたプロセッサやメモリなどの集積回路(VLSI)であり、半導体レーザー、光スイッチ、光ファイバなどを用いた光エレクトロニクスである。半導体集積回路(VLSI)は、コンピュータや携帯端末などあらゆる電子機器の心臓部であり高機能化をめざして活発な研究が続けられている。また、光通信や光情報処理技術の必要性が増すと共に、光ファイバ、半導体レーザーなどの光エレクトロニクスデバイスも急速に発展しつつあり、グローバルな通信ネットワークを支えている。これらのシステムやデバイスの基盤となる半導体結晶や新しい光・電子材料の開拓など、ナノテクノロジーも含めた基礎物性の分野（物性科学との境界領域）も重要である。特に次世代のデバイスは、ナノメートル(10 ⁻⁹ m)スケールの物理学（ナノ物理）を理解することなしにありえない。本講義では、工学部電気電子工学科の教員が現代社会を支える情報エレクトロニクスの基礎をわかりやすく解説し、AI や量子コンピューター等にもつながる研究の最前線の状況についても紹介したい。						
評価方法	A 半導体の基礎物性、B トランジスタ・電子デバイス、C 光エレクトロニクス・光通信、D 集積回路技術のトピックについてレポートを課して成績を決定する。期末試験は実施しない。						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31567	S	物質・生命工学基礎ⅠB	山口 和也	工学部	火 2	741 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	量子計測化学序論 化学は学問の基礎であると同時に、物質創成の学問であることからあらゆるものづくりの基盤でもある。しかし化学の本質的な理解には、原子や分子レベルのミクロな現象を理解することが求められ、高校化学でも取り扱っていないはじめての概念が多く、大学の化学とのギャップから理解が困難であることが多い。そこで本講義では化学が社会で活用されている身近な例を取り上げつつ、化学を理解するために必要不可欠な量子化学を中心に基礎を学ぶ。大学で必要な化学の重要概念にフォーカスして学習することで、大学で学ぶ化学の全体像を掴むことを目的とする。そして、暗記ではなく、化学を理解することを目指す。本講義は、量子化学の理解の助けになるとともに、構造化学・物性化学の講義への橋渡しとしても位置づけられる。						
評価方法	期末試験、毎回の出席、演習の点数による総合評価						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31566	S	物質・生命工学基礎ⅠB	古澤 明	工学部	水 5	741 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	量子コンピューター入門 量子コンピューターの研究は、微細加工技術が進歩し、情報処理を担う「素子」が原子レベルに近づきつつある今日、当然の流れと言えよう。「素子」が原子レベルに近づくと、その動作はニュートン力学ではなく量子力学という運動法則に支配される。そこでは、アインシュタインとボーアの論争に代表されるシュレーディンガーの猫状態やEPR相関（一種のテレパシー??）が実際に起こる。量子コンピューターでは、これらの摩訶不思議な「量子効果」を用いて、情報のやり取りや情報処理を行う。この講義では、量子コンピューターの原理と現状についての入門的な講義を行う。						
評価方法	前半、後半それぞれの課題に対するレポートおよび出席状況を考慮して評価を行う。						
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 量子コンピュータ入門 著者（訳者） 宮野健次郎、古澤 明 出版社 日本評論社 ISBN 978-4-535-78479-6						
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30359	S	動物科学	道上 達男	生物	火 2	514 教室	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	動物科学 本講義では、1 年生で履修した生命科学Ⅰ及びⅡの内容を踏まえた上で、動物の機能・構造・分類などに関する内容を概説する。具体的には授業計画に記載した内容（おおむね「キャンベル生物学原書 11 版」の 32-34 章、40-51 章に対応）を予定しているが、順序や区切りは変更される可能性もあるので、初回の講義で概要は改めて説明する。 主に学期末試験によって評価するが、小テストも 1～2 回行う（小テストの成績は全体の評価には反映させない）。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日を行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31141	S	動物科学	大杉 美穂	生物	金 2	513 教室	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	動物科学 動物個体の発生、構造、機能についての基礎的な内容を、どのような実験によって得られた知見であるかについて触れながら概説する。特に、受精・発生については哺乳類と他の脊椎動物との間にはどのような違いがあるかといった視点からの解説を行い、がんや生殖医療・再生医療など、日常生活で耳にする事柄についての動物科学的な理解も目指す。 学期末の試験により評価する 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30360	S	植物科学	阿部 光知	生物	火 2	533 教室	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	植物の形作りを知る 植物の発生現象に関するさまざまな内容を理解することを目標とする。 植物特有の発生現象に焦点を当て、環境に応じて姿・形を変えていく植物の発生の面白さを学んでいく。単なる知見の紹介にとどまらず、研究の内容や歴史に触れながら講義を進めていく。 試験に加えて、授業のたびに質問・感想を書いてもらい、平常点として評価する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日を行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31142	S	植物科学	佐藤 直樹	生物	金 2	524 教室	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	植物の不思議を考える 植物に関するさまざまな内容を幅広く理解することを目標とする。 基礎科目としての生命科学を履修した基礎の上に、植物特有の現象に焦点を当てながら、植物の形態、生理、生化学などを中心として学習する。植物の進化や環境との関係、人間社会との関係などについても扱う。 毎週の平常点と、課題レポート、および 期末試験。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 しくみと原理で解き明かす 植物生理学 著者（訳者） 佐藤直樹 出版社 裳華房 ISBN ISBN978-4-7853-5229-5 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30361	S	進化学	嶋田 正和	生物	火 2	1225 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	進化生物学 進化生物学の全貌を、生体分子と遺伝子、個体と群れ・血縁集団、赤の他人からなる社会など、階層を縦断して学ぶ。まず、生物進化における適応現象、自然選択理論の3つのレベル（遺伝子・個体・集団）、遺伝的浮動と純化淘汰による分子進化の中立説などの基本的理論を説明する。次に、動物の群れ行動や社会的行動の血縁選択理論、進化のゲーム理論を解説し、生物多様性の進化（種分化）を学ぶ。さらに赤の他人と協力しながら生きるヒト（人間）の社会行動や心理の進化論的解釈も含めて理解する。このような授業内容を踏まえ複眼的に進化生物学を学ぶことで、優生思想、性差別、遺伝的決定論による差別を批判的に考察できるようにする。						
評価方法	出席と小テスト ー30% 期末試験 ー70%						
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2020 年 04 月 07 日 2 限／2nd Period 講義室						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
40128	S 2	現代生命科学 I (文科学、理一生)	坪井 貴司	生物	金 2	523 教室	1 年 文科 理一 2 年 文科 理一
講義題目 授業の目標概要	人体の不思議をめぐる旅 生命科学は、どこまで進んでいるかという点について、私たちヒトを題材にして、講義を行います。遺伝子は何故必要なのか、精神異常は何が原因なのか、ホルモンは何故分泌されるのか、などに、私たちに身近にある問題を例をにとり、最先端の生命科学がその問題に対して、どこまで理解出来ているのかについて、解説します。						
評価方法 教科書	期末試験によって、評価します。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 知識ゼロからの東大講義 そうだったのか！ヒトの生物学 著者（訳者） 坪井貴司 出版社 丸善出版 ISBN 9784621304518						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31287	S 1	現代生命科学 I (文科学、理一生)	笹川 昇	生物	金 5	524 教室	1 年 文科 理一 2 年 文科 理一
講義題目 授業の目標概要	ヒトを中心とした生命科学 われわれ人間にとって一番身近な生き物はヒトです。この講義ではヒトの話題を中心として、生命科学の現在の進展状況について概説していきます。総合科目の観点から、このくらいのことは知っておきたいという内容を授業で取り上げ、それについて科学的に論じられるようになることを目標とします。						
評価方法 教科書	試験を中心に評価しますが、最近では出席を取るようになりました。その場合は出席点も重要な評価対象となります。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 現代生命科学 第2版 著者（訳者） 東京大学生命科学教科書編集委員会 出版社 羊土社 ISBN 978-4-7581-2091-3						
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
40027	S 2	現代生命科学Ⅱ (文科生、理一生)	FERJANI Ali	生物	火 2	1213 教室	1 年 文科 理一 2 年 文科 理一
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	植物の不思議を考える 植物に関するさまざまな内容を幅広く理解することを目標とする。 植物特有の現象に焦点を当てながら、植物の形態、生理、生化学などを中心に扱う。特に、植物のからだの成り立ちとそれを構成する主要な器官の形態形成・発生制御の仕組みについて取り上げ、総合的に解説する。また、現代の植物生理学の中心となっているモデル植物「シロイヌナズナ」について詳説し、シロイヌナズナを利用することで、どのように遺伝子が持つ生理学的機能を明らかにできるかについて紹介する。 毎週の平常点と、課題レポート、および 期末試験。 具体的なことは講義の中で指示する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31583	S	現代生物学	吉田 大和	理学部	金 5	531 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	現代生物学/Modern Biology 現代生物学の目標は、生命現象の基本原則（普遍性）と多様性がどのような仕組みで生み出され、また、それらがどのような過程を経て進化してきたのか、という問題について、本質的理解を得ることにある。このため多様な生命現象を対象として、分子・ゲノム、オルガネラ、細胞、組織、器官、個体、集団に至るさまざまなレベルで研究がなされている。本講義では、今まさに進展しつつある最先端の生物学について、その基礎と発展を学ぶ。具体的には、理学部生物学科で人類学・動物学・植物学の各分野を担当する教員が、それぞれの専門研究分野について概説した後、当該分野の最新の研究成果を紹介し、今後、解決されるべき重要課題について講義する。この講義を通じて生物学の面白さを見出し、人類発展における生物学の意義を考えてもらうことを期待している。 出席回数と期末試験で評価する。試験問題は、13 回の各講義から 1 題ずつ出題し、任意の 4 題を選択して解答する。ノート・参考書・辞書などの持ち込み可。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31584	S	人類科学	井原 泰雄	理学部	火 5	532 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	人間の本質にせまる科学 生物としてのヒトをあつかう自然人類学の視点から、人類の進化、ヒトの特異性、現代社会におけるヒトの科学について学習し、我々自身に関する理解を深める。 出席およびレポートにより評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31585	S	生物情報科学	角田 達彦	理学部	水 1	531 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	生物情報科学 生命科学の最先端の分野である生物情報科学についての基礎をオムニバス形式で紹介する。生物情報科学研究に必要とされる生命科学と情報科学の双方の基礎的な知識と技術を習得する。 出席状況および期末試験により評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31604	S 1	生物薬学概論	村田 茂穂	薬学部	金 5	1311 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ケミカルバイオロジーⅡ（生物系薬学からみたケミカルバイオロジー） 医療が発達したといわれる現在においても、治療が難しいあるいは治療手段すらない病気が多く、これらの疾患に対する新しい医薬品の開発・創製（創薬）が切望されています。創薬の出発点は治療標的の同定、すなわち病気の鍵となる標的分子の発見とその作用機序の解明にあります。この理解に基づき医薬品の候補となる化合物（低分子有機化合物から生体高分子までを含む）を探索し、安全かつ有効な医薬品が開発されていきます。こうした研究には、「化学的観点あるいは化学的手法を用いて生命現象を解明すると同時に、生体機能を制御する学問分野」であるケミカルバイオロジーの視点が極めて重要です。 病気は身体の中で日常的に営まれている正常な生命活動の破綻により惹起されます。つまり病気の理解のためには正常な生命活動のメカニズムを十分に理解することが不可欠です。実際、生命科学研究の進展により新しい病気の発症機構が次々と明らかになっており、生命科学研究の最先端が薬学研究のフロンティアでもあります。本授業科目では、ケミカルバイオロジーの視点から、生物系薬学分野での最先端の研究結果を織り交ぜながら紹介し、創薬への貢献について解説します。					
評価方法 教科書 ガイダンス		授業への出席とレポートの提出による。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30262	S	惑星地球科学 I (理科生)	小宮 剛	宇宙地球科学	月 5	524 教室	1 年 理科 2 年 理科
講義題目 授業の目標概要		地球惑星科学概論 I 人類が生活する惑星地球の構成および進化の基本を理解する。地学の基礎を包括的に学ぶ授業として、惑星地球の全体像と進化を説明する。					
評価方法		学期末試験を授業の最終日に行う。 出席を取る。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30090	S	惑星地球科学Ⅱ(理科生)	中村 尚 升本 順夫	宇宙地球科学	月 2	1222 教室	1 年 理科 2 年 理科
講義題目 授業の目標概要	地球気候の形成・変動と大気海洋システム ノーベル平和賞に輝いた IPCC（気候変動に関する政府間パネル）から 2007 年に発表された評価報告書は、地球温暖化と環境変化に関する社会の大きな関心と呼んだが、その後の経済状況の低迷や 2011 年の原発事故を経て、地球温暖化に関する社会の関心は一見低下したかのように見受けられる。その一方、2018 年夏や 2019 年秋に経験したように、社会に大きな影響を及ぼす猛暑・冷夏、暖冬・寒冬、豪雨・豪雪・早魃などの異常気象への関心は防災上の観点からも益々高まりつつあり、異常気象と地球温暖化との関連性が依然として指摘されている。こうした折、IPCC から評価報告書が 5 年前に発表され、地球温暖化への関心が再び高まりつつある。人間活動に伴い二酸化炭素など大気中の温室効果気体の濃度が増加し、地上気温に顕著な上昇傾向が見られるのは紛れもない事実である。IPCC 評価報告書に拠れば、今世紀末までには顕著な温暖化が予測されており、海面上昇や海水域の顕著な減少、海洋の酸性化、中緯度大陸の乾燥化など、地球環境に及ぼす深刻な影響が懸念されている。温暖化対策の切り札の 1 つとして推進されてきた原子力発電事業が今後縮小される中、再生可能エネルギーへの移行が順調に進まない限り、温暖化リスクがさらに高まる可能性も否定できない。そのような中、2015 年末に「パリ協定」が締結され、地球温暖化に対する世界的な取り組みが開始された。 このように、温室効果気体の排出や起こり得る環境変化に対して何らかの対策を採ろうとする動きが盛んであるが、そこにまず求められるのは地球気候の成り立ちとその過去から現在に至る変遷、さらには温暖化のメカニズムと予測される気候の将来変化に関する科学的理解である。本講義の目的は正にそれであって、地球温暖化を環境問題として社会倫理の観点から論じたり、温暖化の事実のみを盲目的に受け容れた上でその対策について論じたりすることでもない。将来平均状態として温暖化した大気海洋系も、内在する自然変動のために常に揺らぎ、天候変動が各地にもたらされ、異常気象が引き起こされる。また、最新の研究により、温暖化のシグナルがこうした自然気候変動パターンの変化として現れやすいこと、またそれ故に温暖化シグナルの地域予測にある程度の不確実性が不可避なこと、さらには 10 年規模の長期自然変動により、地球温暖化が加速したり停滞したりすることなどが示唆されている。よって、気候系の自然変動や天候変動のメカニズムの理解を深めることは、温暖化した将来の防災・社会適合上の観点からも重要である。本講義では、受講者が高校で地学を履修してこなかったことを前提とし、地球気候の成り立ちや大気・海洋の循環やその変動のメカニズムの基礎を解説したのち、地球温暖化やオゾンホールに代表される人為的気候変化のメカニズムや予測されている気候への影響について解説する。						
評価方法 教科書 ガイダンス	期末試験により行なう。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30832	S	惑星地球科学Ⅱ(理科生)	磯崎 行雄	宇宙地球科学	水 5	1102 教室	1 年 理科 2 年 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		地球科学の基礎：とくに地球表層環境の物質とその変遷史 地球表層環境の歴史は、固体地球の歴史と密接に関連している。約 40 年に及ぶ地球生命および環境の歴史を、固体地球の歴史と対比しながら解説する。人類が直面する地球環境問題を考える上での基礎知識の習得を期待する。 学期末試験、および各講義ごとに行う小テストにより評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31586	S	地球惑星物理学入門	橘 省吾	理学部	火 2	1311 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		物理で理解する地球惑星科学 地球惑星でおこる多くの現象は、物理学的なアプローチで研究されている。たとえば、気象は流体力学、地球内部は固体物理学、宇宙空間はプラズマ物理学、惑星形成は天体力学などを基礎としてさまざまに展開している。本講義では、このような物理学について基礎方程式を示すとともにその背景にある物理的意味を詳説し、具体的にそれがどのように最新の地球惑星物理学研究の中で使われているかを講義する。 出席と期末試験。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30533	S	惑星地球科学実習	澤木 佑介	宇宙地球科学	火 3, 火 4	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		惑星地球科学実習 科学は自然現象の観察、データ収集とその取り扱い、解釈という三つの過程を経て論じられ、発展してきました。特に、地球科学は野外実習を通して体験的に科学を学ぶことができ、それらを身近に体験することのできる学問です。本実習では野外観察・室内実験・実習とその議論を通して、地球科学のみならず、科学的なものの考え方を学びます。 実習室の広さ、使用する道具や材料の数に限りがあるので、受講者希望者数が予定数(40 人)を超えた場合は、初回授業時に抽選もしくはテスト等による選択を行います。初回を体調不良で休む場合には必ずメールにて連絡すること。 月曜日、火曜日の 2 回同じ授業を行うので、いずれかの曜日を選択して下さい。また、本授業は 3, 4 限の 2 コマ続きで行います。 実習・実験の参加状況、レポートによります。 また、全出席が求められます。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2020 年 04 月 07 日 3 限／3rd Period 駒場 21KOMCEE EAST 5F 地球実習室					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30226	S	惑星地球科学実習	澤木 佑介	宇宙地球科学	月 3, 月 4	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	惑星地球科学実習 科学は自然現象の観察、データ収集とその取り扱い、解釈という三つの過程を経て論じられ、発展してきました。特に、地球科学は野外実習を通し体験的に科学を学ぶことができ、それらを身近に体験することのできる学問です。本実習では野外観察・室内実験・実習とその議論を通して、地球科学のみならず、科学的なものの考え方を学びます。 実習室の広さ、使用する道具や材料の数に限りがあるので、受講者希望者数が予定数(40 人)を超えた場合は、初回授業時に抽選もしくはテスト等による選択を行います。初回を体調不良で休む場合には必ずメールにて連絡すること。 月曜日、火曜日の 2 回同じ授業を行うので、いずれかの曜日を選択して下さい。また、本授業は 3, 4 限の 2 コマ続きで行います。						
評価方法	実習・実験の参加状況、授業態度、レポートによります。 また、全出席が求められます。						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2020 年 04 月 06 日 3 限／3rd Period 駒場 21KOMCEE EAST 5F 地球実習室						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30017	S	宇宙科学Ⅰ（理科生）	鈴木 建	宇宙地球科学	月 1	525 教室	1 年 理科 2 年 理科
講義題目 授業の目標概要	天文学・宇宙物理学の基礎的内容 宇宙における天体現象が、現代科学の手法を用いてどのように理解されているのかを、自ら噛み砕いて把握することが、本講義の目標である。						
評価方法	期末試験（義務）+ 中間レポート（任意）						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30362	S	宇宙科学Ⅱ（理科生）	松原 隆彦	宇宙地球科学	火 2	1232 教室	1 年 理科 2 年 理科
講義題目 授業の目標概要	宇宙論の基礎と概要 宇宙は全体としてどのようなものなのか、どのようにして今の姿になり、どのような成り立ちをしているのかを明らかにしようとする宇宙論について、入門的な基礎と概要を講義する。私たちは宇宙の中でどのような場所にいるのか、現在までに明らかになっている科学的知識の範囲を学ぶ。						
評価方法	講義内容に沿った定期試験を実施する。						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30227	S	宇宙科学実習Ⅰ	吉田 慎一郎	宇宙地球科学	月 4	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	観測データの解析による宇宙科学実習 この授業では、国内外の天体望遠鏡、宇宙望遠鏡による天体の観測データを用い、受講者が実際に手を動かして天体の物理学的、天文学的情報を引き出す方法の基礎を学びます。 場所:KOMCEE5 階 宇宙実習室						
評価方法	レポートによる。						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31256	S	宇宙科学実習Ⅰ	吉田 慎一郎	宇宙地球科学	金 4	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		観測データの解析による宇宙科学実習 この授業では、国内外の天体望遠鏡、宇宙望遠鏡による天体の観測データを用い、受講者が実際に手を動かして天体の物理学的、天文学的情報を引き出す方法の基礎を学びます。 場所:KOMCEE5 階 宇宙実習室					
評価方法 教科書 ガイダンス		レポートによる。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30794	S	宇宙科学実習Ⅱ	谷川 衡	宇宙地球科学	水 4	E26 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		宇宙科学の問題に対するデータ処理と数値計算 情報教育棟の計算機を使い、観測によって得られた星、星団、銀河、宇宙の大規模構造などの天文のデータ処理や、天体の運動に関する数値計算を、自ら行うことにより、現在明らかになっている宇宙像を認識する。また、それに伴いプログラミング言語やグラフィックスの初歩を学習する。データ処理や数値計算に必要なプログラミング言語の予備知識は、特に要求しない。なお、実習室の関係上、1 クラス 40 名程度が限度である。従って、この人数を目安とし、それを超える履修希望者がいる場合は第 1 回授業日に抽選を行うので、必ず出席すること。					
評価方法 教科書 ガイダンス		出席、実習課題、レポート課題によって行う。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31024	S	宇宙科学実習Ⅱ	谷川 衡	宇宙地球科学	木 4	E26 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		宇宙科学の問題に対するデータ処理と数値計算 情報教育棟の計算機を使い、観測によって得られた星、星団、銀河、宇宙の大規模構造などの天文のデータ処理や、天体の運動に関する数値計算を、自ら行うことにより、現在明らかになっている宇宙像を認識する。また、それに伴いプログラミング言語やグラフィックスの初歩を学習する。データ処理や数値計算に必要なプログラミング言語の予備知識は、特に要求しない。なお、実習室の関係上、1 クラス 40 名程度が限度である。従って、この人数を目安とし、それを超える履修希望者がいる場合は第 1 回授業日に抽選を行うので、必ず出席すること。					
評価方法 教科書 ガイダンス		出席、実習課題、レポート課題によって行う。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31143	S	惑星地球科学Ⅰ (文科生)	小河 正基	宇宙地球科学	金 2	532 教室	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		地球内部の研究の歴史 「山はどうやってできたのか?」、「地震や火山活動はなぜ起こるのか?」「地球は 45 億年の間にどのようにその姿を変えたのか?」といった疑問に地球科学者がどのように答えていったかについて、研究者の個性がどう学問の発展に影響したかといった話題にも触れつつ、学問の発展の歴史を辿りながら解説する。					
評価方法 教科書 ガイダンス		期末試験 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31144	S	宇宙科学 I（文科生）	榎戸 輝揚	宇宙地球科学	金 2	1106 教室	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		宇宙科学入門：天文学の謎と現代の宇宙像 観測に基づく最新の宇宙像を理解するのが目標である。宇宙科学の多様な分野を各講義で概説する。純粋な知的好奇心の 発露として、私たちがどんな世界に生き、どんな宇宙に住んでいるかを知り、ひいては自分や人類を客観的にとらえ、宇 宙科学の発展史や科学研究の営みに理解を深める。文科生向けに数式操作などは極力避ける予定である。					
評価方法 教科書 ガイダンス		期末試験（必須）＋中間レポート 2 回（任意） 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31594	S	微生物の科学	勝山 陽平	農学部	金 5	1108 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		微生物のバイオテクノロジー バイオテクノロジーは、ヒト以外の生物、特に微生物が保持する様々な能力を人類のために役立てることを目的とした科 学技術である。アルコール飲料の醸造に端を発するこの技術は数千年の歴史を持つ。現代では食糧生産、環境浄化、医薬 品生産などを通じて社会を支える重要な科学技術である。また、最近では遺伝子組換え技術の発展に伴い、進化工学や合 成生物学、ゲノム編集といった新たな概念が生まれ、バイオテクノロジーの応用範囲は広がりつつあり、持続可能な社会 を構築する上で重要な技術の一つである。本講義では、バイオテクノロジーを支える主要な学問である応用微生物学を中 心に、これが食糧、医薬そして学問の発展などに果たしている意義を、私たちが現在行っている研究を例に挙げつつ講義 する。それを通してバイオテクノロジーの中身を正確に理解し、応用微生物学（バイオテクノロジー）と現代社会の関係 を把握することを目標にする。					
評価方法		試験の成績を主（82 点満点）とし、出席点（18 点満点）も用いる。試験は、第 3 回授業以降の 9 人の教員が 1 問ずつ出題す る中から、5 問を選択して解答する。試験では、自分のノート（コンピューターでメモを取っている人は、そのプリント アウトは持ち込んでよい）、授業で配布したプリントのみ持ち込みを許可する。出席は、第 5 回授業以降の 9 回の授業で 確認する。一回の出席を 2 点の出席点とする。その他の詳細は、第 1 回授業でのガイダンスで告知する。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31595	S	植物医科学	山次 康幸	農学部	水 5	106 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	植物医科学概論 世界人口は、2050 年には 90 億を突破すると予想されていますが、それを養う食糧生産の増加率は鈍り、人口増加率の半分にも達しません。そんな中で世界の食糧生産のうち三分の一が微生物病や害虫病、雑草害、生理病、気象害などからなる「植物病」によって失われていることはあまり知られていません。これは世界の飢餓人口を十分に養える量です。この危機的な状況を克服するには、植物を病気から守り、治療する研究を推進する必要があります。一方で、近年の環境問題への意識の高まりとともに、持続性の高い先端農業への転換が強く期待されています。農薬や遺伝子組換え作物に変わらうものとして植物圏微生物叢やゲノム編集作物などが注目を集めています。これら幅広い研究課題を担う学問分野が「植物医科学」です。植物医科学は世界が協調して取り組むべき開発目標 SDGs の 17 のゴールのうち、生産、陸上資源、イノベーション、エネルギーなど実に 10 のゴールに密接に関連する重要な研究分野です。 植物医科学は「植物基礎医科学」と「植物臨床医科学」の二つの側面を持ちます。植物病を防ぐには「なぜ植物は病気にかかるのか」という根本的な疑問についてメカニズムを徹底的に究明する必要があり、そのために最先端の分子生物学、ゲノム科学、AI、バイオイメーjing、バイオテクノロジーなど多面的なアプローチにより日々研究が進められています。これらを包括する学問領域が「植物基礎医科学」です。 一方、我が国だけで 2 万種類以上もある植物病を診断し、治療・予防する学問領域が「植物臨床医科学」です。この領域では、「植物基礎医科学」で得られた基礎的な知見を農業現場に活かすことを目的に、最先端の遺伝子組換え技術、ゲノム編集技術、バイオインフォマティクスなどを駆使して、植物病の診断・治療・防除・予防のための高度先端臨床技術の開発を行います。さらに、生産現場で発生する植物の病気を診断し治療する「植物医師」の養成と組織化を担う社会科学的な研究分野をも包含します。 本講義では、植物学、微生物学、分子生物学から社会科学までを含む極めて幅広い学問領域である「植物医科学」について、基礎から最先端にわたり易しくかみ砕いて紹介し、「植物医科学入門」の講義構成を心掛けました。植物・微生物・昆虫の関わりについて、分子レベルの課題から有機農業、ゲノム編集作物、環境保全など社会的課題に至るまで平易に紹介し、広く普遍的な生命現象を俯瞰できるように構成しています。この分野にはこれまで触れたことのない方々が多いと思います。この講義を通じて皆さんが日頃見過ごしているに違いない身近にたくさんある植物の病気や植物環境微生物に興味をもって頂き、食糧・環境問題にそれらが深く関わっていることを知って頂きたいと考えています。						
評価方法 教科書	出席並びに試験による 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 植物医科学（上） 著者（訳者） 難波成任 出版社 養賢堂 ISBN 978-4842504384						
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31596	S	応用動物科学 I	村田 幸久	農学部	木 5	523 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	動物生命科学へのいざない 哺乳動物が持つ複雑で雑多な生命現象、新たなバイオテクノロジーについて最新の情報を含め、オムニバス形式で解説する。授業内容は、哺乳類生殖学・感染症学・ペットの問題行動・発生工学・記憶と学習・アレルギーの科学・栄養学・RNA 学・ワクチンの科学などが挙げられ、広範な話題が提供される。						
評価方法 教科書	出席数と毎回の講義に関するレポートにて評価します。 教科書は使用しない。／Will not use textbook						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31597	S 1	食の科学	佐藤 隆一郎	農学部	火 5	1101 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	食に関する生命科学 食はヒトの生命活動に不可欠であり、栄養素の供給のみならず香り、味覚を介して感覚を刺激し、さらに体内において疾病の発症を遅延・予防する機能性を発揮する。食の持つ機能を多面的角度から学ぶ。 各講義の終了前に、当日の講義内容に関する小テストを行う。第 7 回目の授業終了時には、第 1 回～第 6 回の授業内容の総合試験(持ち込み不可)を行う。同時に、その日(第 7 回授業)の講義内容に関する小テストを行う。7 回の小テストの結果+最終日総合試験結果を総合的に判断し、成績評価を行う。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31598	S 1	天然物の科学	高山 誠司	農学部	水 5	514 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	生命を支える生理活性物質 生物が作り出す分子の実体解明から天然物科学がスタートした。それらの中には、生殖、発生・分化、成長、恒常性維持などにおいて、きわめて微量で特有の作用を示すものがある。これらを総称して、「生理活性物質」と呼んでいる。農学部ではこれまで、最先端の精製・構造解析技術を取り入れることで、ビタミン、薬理活性物質、ホルモン、フェロモンなど様々な生理活性物質の発見に成功してきた。新たな生理活性物質の発見は、生命の理解を飛躍的に深化させると同時に、人類の生活の向上に大いに貢献する。そして今日では、生物に関するゲノム情報など多彩な情報の蓄積に伴い、生理活性物質の探索は新たな局面を迎え、従来では全く想定されなかった分子が次々と発見されるに至っている。本科目では、新たな生理活性物質の発見に挑戦している教師陣による講義を通じて、生理活性物質化学の考え方と研究の現状について学ぶ。 出席とレポートにより行う。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31599	S 1	生物素材の科学	齋藤 継之	農学部	木 5	113 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	バイオマスの科学 「バイオマス」とは、動植物などから生まれた生物（bio）資源（mass）の総称で、再生可能素材・再生可能エネルギーの原料として、近年急速に注目が集まっています。地球温暖化対策、循環型社会の構築、農山村の活性化、地域環境の改善など様々な方面での活用が望まれており、化石資源の乏しい我が国において次世代社会での利用が期待されている重要な資源です。 本講義では、高校までの勉強で触れられることがなかったバイオマスに関する基礎を学ぶことができ、さらに地球上に存在する様々なバイオマスの化学的・生物学的変換に関する最新の研究およびバイオマスを材料として利用するための最先端の技術などに関して知識を深めることを目標としています。 試験により評価します。試験は最終週（第 7 回講義）に、授業と同時限および同教室で行います。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31600	S	森の生物学	久保田 耕平	農学部	金 5	1214 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	森の生物学：共存する森林生物 授業の目標、概要 森林は、生物多様性のもっとも高い生態系のひとつである。そこでは、多種多様な植物、動物、微生物が互いに影響（相互作用）し合いながら、それぞれを取り巻く環境条件に適応して繁殖し、共存している。 森林内の植物は、取り巻く光環境や水環境に自らを適応させ、光合成により有機物を生産して、森林全体の物質収支を支えている。動物は、その植物を食べて有機物を得ている。さらに、植物や動物の遺体を分解して有機物を無機化するのには、菌類などの微生物の役目である。分解された有機物は、やがて再び植物によって有機物へと合成されていく。こうして、森林内で主役を演じる三者の間を有機物が巡っていくが、有機物の受け渡しに平行して、三者の間では、様々な相互作用が起こっている。例えばナラ類は、異なる光条件下でそれぞれの環境に適するよう、生理機能や樹形を変化させる。また、ブナアオシャチホコやスギカミキリはブナやスギの葉や幹を餌にするが、樹木は摂食を防ぐ様々な仕組みを発動して危害を抑制する。森林内には、植食性動物だけでなく、動物や菌類を捕食したり寄生したりする動物も多数生息しており、それらの間でも多種多様な相互作用が繰り広げられている。一方、林床の落ち葉や枯れ木には、腐朽菌が生息しており、有機物の分解を進めている。その他微生物には、マツタケのようにマツの根に共生して植物の生長を助けたり、逆にならたけ病菌のように様々な樹木に甚大な病害を与えたりして、直接的に樹木と相互作用するものもいる。 この講義では、このような森林で見られる樹木の環境への適応と植物－動物－微生物間の複雑な相互関係を、多面的に紹介し、解説する。						
評価方法	毎回の授業の終わりに授業内容に関する課題を与える。その課題に対するレポートを授業時間内に書いて提出する。さらに、最後の週に試験をおこなう。これら二つを合わせて評価をおこなう。						
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31288	S	自然現象とモデル	長谷川 宗良	統合自然科学科	金 5	511 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	自然現象とモデル 授業の目標、概要：自然科学では様々な現象のモデル化を行い、観測結果とモデルに基づいた計算結果を比べることで、モデルの成否を判断し、良いモデルは科学理論として受け入れられる。本講義では、物質の性質、すなわち物性科学にテーマを絞り、自然現象がモデルによっていかに説明されるか学んでもらう。 例えば、リニアモーターカー、スーパーコンピューター、量子通信技術といった最先端の科学技術は、物質の性質、例えば電気伝導度、比熱、屈折率、磁性などを巧みに制御することによって機能している。これらの性質は、物質中の電子の応答の結果である。 しかし、物質中の電子は、莫大な数があり、直感の通じない量子の世界にあるため、物質の性質と電子応答を関係づけるのは困難である。このため、電子の応答を上手にモデル化し、また多数の粒子に特有な現象をモデル化することで、物質の性質と電子の応答の関係を解説する。 本講義は、統合自然科学科・物質基礎科学コースの物理・化学の教員により行われ、実験を専門とする教員は演示実験を取り入れ、理論を専門とする教員はエレガントな学問体系や理論モデル、コンピュータを利用した先端的な科学について分かりやすく解説する。						
評価方法 教科書 ガイダンス	出席およびレポート 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30833	S	先進科学Ⅰα	野口 篤史	先進科学	水 5	E38 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	量子技術と量子コンピュータ（アドバンスト理科） 【※ガイダンスは通常利用教室と異なる教室で行うため、注意すること】 近年、大学だけでなく、大企業やベンチャー企業までもが量子コンピュータの開発や応用を目指した研究を進めており、夢のコンピュータである量子コンピュータを使える世界が音を立てて近づいてきている。量子コンピュータが扱う量子情報を担う物理系は、分子や原子からなるものから、超伝導体の電気回路からなる人工的な素子まで様々なものが研究されてきた。この講義では、量子コンピュータが扱う量子ビットの基礎を学ぶ。また、授業の中では IBM Q Experience が提供する超伝導量子コンピュータ実機を使用可能なクラウドサービスを利用し、量子アルゴリズムを実際にプログラムし、量子コンピュータにて実行する演習を行う。また、授業の後半ではハードウェアとしての超伝導量子コンピュータの仕組みやその他の量子技術について解説する。 最終日の授業には、実際に超伝導量子コンピュータの研究をおこなっている実験室の見学をする。 python の記述経験や量子力学への知識の有無は問わないので、量子コンピュータ・量子力学に興味のある学生を歓迎します。 受講者数を 20 名程度に制限するので、ガイダンス時に数学などに関する基礎学力の確認と量子力学への学習意欲に関する調査を行う。その結果、4 日以内に、第二回以降の受講対象者の学生証番号を正門横掲示板に発表する。						
評価方法 教科書 ガイダンス	学期中の演習レポートと出席状況をもとに評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2020 年 04 月 08 日 5 限／5th Period 11 号館 1101 教室						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30834	S	先進科学Ⅱα	市橋 伯一	先進科学	水 5	E42 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	生命進化概論（アドバンスト理科） 【※ガイダンスは通常利用教室と異なる教室で行うため、注意すること】 「生物学は進化という観点がなくて何も理解できない」というのは進化生物学者のドブジャンスキーの言葉である。生物とは自然界で唯一進化する能力をもつ存在である。生物はおよそ 40 億年前に化合物の集まりとして誕生し、その後数億年を経て原核生物、真核生物、さらに多細胞生物へと進化し、ヒトが誕生した。いまや自然界はスケールの異なる無数の生物で埋め尽くされている。なぜ生物は進化するのだろうか？ いかなる仕組みでこんなにも多種多様に進化し得たのだろうか？ どこから来て、そしてどこへ行くのだろうか？ そこにはどんな法則や傾向があるのだろうか？ これらの答えを得るために、今現在も数多くの科学者が研究を続けている。本講義では、これまでに行われてきた生命進化の研究を紹介し、実際に進化の計算機シミュレーションを通じてその研究の一端を体験してもらう。これにより進化という現象を計算機の中に再現できるようになり、生命進化の何が当然で、何が奇跡だったのかを理解できるようになる。 本講義では講義とあわせて受講者に python を使って進化シミュレーションを行ってもらい、シミュレーションにはプログラミング技術が必要であるが、意欲さえあればこれまでの経験は問わない。必要な知識は授業中に身につけることができる。進化という現象は生物学を学ぶだけではなく、最適化のアルゴリズムとしても、そして私たち人間の特性を知るためににも重要な知識である。生物の知識の有無や理系文系を問わず意欲のある受講者を歓迎する。 なお、受講者数を 20 名程度に制限するので、ガイダンス時に生命科学の基礎学力の確認と学習意欲に関する調査を行う。その結果、1 週間以内に、第二回以降の受講対象者の学生証番号を正門横掲示板に発表する。						
評価方法	毎回の小レポート 本科目では初回ガイダンス時にあらかじめ基礎学力と意欲の面で優秀な受講者の選抜を行うため優 3 割ルール適用外となっており、3 割を超えて優を与える場合もあります。						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 11 号館 1108 教室						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31145	S	先進科学Ⅲα	柳澤 実穂	先進科学	金 2	K302	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	物理学による生命の記述（アドバンスト理科） 【※ガイダンスは通常利用教室と異なる教室で行うため、注意すること】 「生命の神秘」を見たとき、それを物理学で説明できたならば、その「神秘さ」は失われてしまうのでしょうか。あるいは、「物質の神秘さ」をもたらすのでしょうか。皆さんの答えがそのどちらであったとしても、生命現象の根底には数多くの物理法則が存在しています。例えば、細胞運動ではタンパク質溶液の液体－固体相転移（ゾル－ゲル相転移）やタンパク質の反応拡散波が鍵となります。また近年、細胞内ではタンパク質や核酸が会合し、膜を持たないオルガネラとして機能することが分かってきました。相分離と呼ばれるこの現象の原理は、ドレッシングにみられる水と油の分離と同じものです。しかし、理論的に記述できる試験管中での相分離や相転移と細胞内での振る舞いには違いがあり、説明できない点も多く存在します。こうした溝を埋めるべく、生物学と物理学が協力して研究を展開してきています。本講義では、物理学で説明できる（はずの）物質と生物の境界を明確化することで、現在の物理学で説明できる「物質の神秘さ」や説明できない「生命の神秘さ」を味わうことを目指します。そのため、物理学は得意ではないけれど好きな生物学を極めたい、あるいは、生物学は得意ではないけれど物理学を極めたい、という方を歓迎します。 本講義の前半では、ソフトという力学的性質の定義から、従来の気体・液体・個体とは異なるソフトマター全般の力学的性質について理解します。その後、生物細胞を題材に力学や熱力学、統計力学の知識を総動員しながら、生命を特徴付ける「生物の形、物質の移送、運動」といった現象について物理的に表現します。さらに、物質である人工細胞と生細胞を実際に観察したり、マイクロキャピラリーと呼ばれる非常に細いガラス管を操作して直接操作したりすることによる、生物らしさの体験も行います。 授業では、講義に加えてデモ実験も行うため、人数を 20 人程度に制限します。そのため、受講希望者が 20 名を超える場合には、ガイダンス時に微分積分に関する基礎学力の確認と、生物学と物理学の複合領域への学習意欲に関する調査による選抜を行います。その場合、優 3 割ルール適用外となり、3 割を超えて有を与える場合があります。また選抜結果は、4 日以内に第 2 回以降の受講対象者の学生証番号を正門横掲示板に発表しますので、注意してください。						
評価方法 教科書 ガイダンス	レポートと出席状況、定期試験をもとに評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日を行う。／Will conduct guidance at first time 11 号館 1108 教室						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30263	S	先進科学Ⅳα	加藤 英明	先進科学	月 5	518 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	構造生命科学概論（アドバンスト理科） 【※ガイダンスは通常利用教室と異なる教室で行うため、注意すること】 我々ヒトは約 2 万種類の遺伝子を持っており、遺伝子によってコードされたタンパク質は驚くほど多様な機能を発揮する。例えば我々が目で物を見ることができるのはロドプシンと呼ばれる膜タンパク質が光を受容し、その情報を細胞内に伝えるためであり、我々が記憶や情動といった複雑な脳機能を発揮するのは、元を辿ればカリウムイオンチャネルやナトリウムイオンチャネルといった膜タンパク質が適切なタイミングで特定のイオン種を細胞内外へ輸送するためである。しかし、タンパク質が「光を受容し、その情報を細胞内に伝える」とは一体どういうことだろうか。タンパク質が「適切なタイミングで特定のイオンだけを輸送する」とは、原子レベルで考えた時に一体何が起きているのだろうか。化学的に見ると「20 種類のアミノ酸が連なった鎖」に過ぎないタンパク質がこれだけ多彩な機能を示すのは、タンパク質がそのアミノ酸の種類や並び方によって特定の立体構造に折り畳まれ、その複雑な形に応じて機能を発揮するためである。タンパク質の複雑な機能を理解するためにはその形を理解することが肝要であり、それを可能としてくれるのがタンパク質立体構造解析であり、構造生物学（構造生命科学）である。本講義では、タンパク質立体構造解析の手法の中でも、その手法開発や関連研究について 20 以上のノーベル賞が送られている X 線結晶構造解析、クライオ電子顕微鏡法に焦点を当て、その原理や実例を紹介する。さらには、タンパク質の構造から一体どういった情報を読み取ることができるのか、タンパク質の構造情報を用いることで一体何ができるようになるのか、タンパク質エンジニアリングや創薬などを例に交え、講義と簡単な演習を行う予定である。 なお、受講者数を 20 名程度に制限するので、ガイダンス時に生命科学や生物物理への興味と学習意欲に関する調査を行う。その結果、1 週間以内に、第二回以降の受講対象者の学生証番号を正門横掲示板に発表する。						
評価方法 教科書 ガイダンス	レポートと発言点 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日を行う。／Will conduct guidance at first time 12 号館 1225 教室						

総合科目 F（数理・情報）

微分積分学続論		開講区分	S	
授業の目標・概要		多変数の微分積分学における様々な基本的手法を取り上げ、例を中心として必要な理論を学び、具体的な問題を扱えるようにする。 数学・物理学はもちろんのこと、幅広い理学・工学で用いられる重要かつ有用な手法を取り扱うので、将来少しでも数学的道具を使うのであれば必須の内容である。		
成績評価方法		主として定期試験によるが、担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場合がある。		
教科書		授業中に指示をする。／Will specify at class time		
関連ホームページ		https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/advanced_calculus.html		
※講義の詳細については、UTAS を参照すること				
時間割 コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
30363	火 2	橋本 義武	524 教室	2 年 文科 理科
30364	火 2	高山 茂晴	531 教室	2 年 文科 理科
31050	木 5	阿部 紀行	514 教室	2 年 文科 理科
31051	木 5	高山 茂晴	522 教室	2 年 文科 理科

常微分方程式		開講区分		S
授業の目標・概要		種々の量の時間発展は、多くの場合、常微分方程式を用いて記述できる。また、電柱の間にぶら下がった電線の形状や屈折する光の経路をはじめ、さまざまな曲線の幾何学的性質を常微分方程式によって特徴付けることができる。常微分方程式は、自然科学や工学，社会科学などの多くの分野で重要な役割を演じている。この講義では、常微分方程式の理論的基礎を学ぶとともに、幾つかの重要な具体例を取り上げ、それぞれの方程式の解法と解の性質について解説する。これらの内容の理解には、微分積分学，および線型代数学で学んだ固有値・固有ベクトルに関する基礎知識が必要となる。したがって、本講義はこれらの知識の総合的応用篇であるとともに、進んで偏微分方程式論を学ぶための入門篇でもある。		
成績評価方法		主として定期試験によるが、担当教員によっては小テストやレポート等を含めて評価する場合がある。		
教科書		授業中に指示をする。／Will specify at class time		
関連ホームページ		https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/ode.html		
※講義の詳細については、UTAS を参照すること				
時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
30841	木 1	阿部 紀行	511 教室	2 年 文科 理一(1-10)
30842	木 1	足助 太郎	512 教室	2 年 文科 理一(11-17)
30843	木 1	平地 健吾	513 教室	2 年 文科 理一(18-24)
30844	木 1	緒方 芳子	514 教室	2 年 文科 理一(25-32)
30845	木 1	長谷川 立	521 教室	2 年 文科 理一(33-39)
30846	木 1	松尾 厚	522 教室	2 年 文科 理二三(1-2,5,7-11,17)
30847	木 1	岩木 耕平	722 教室	2 年 文科 理二三(3-4,13-16,18,21)
30848	木 1	柏原 崇人	742 教室	2 年 文科 理二三(6,12,19-20,22-24)

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30264	S	解析学基礎	金子 宏	数学	月 5	521 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		解析学基礎 解析学の要である無限操作を誤りなく扱うには深い理解が必要である。この講義では、実数の連続性と ϵ - δ 論法に基づき、数列や関数列の収束などの解析学の基礎となる概念をきちんと取り扱うことによって理解を深める。 主として定期試験によるが、担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場合がある。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30835	S	解析学基礎	岡崎 龍太郎	数学	水 5	722 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		解析学基礎 解析学の要である無限操作を誤りなく扱うには深い理解が必要である。この講義では、実数の連続性と ϵ - δ 論法に基づき、数列や関数列の収束などの解析学の基礎となる概念をきちんと取り扱うことによって理解を深める。 主として定期試験によるが、担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場合がある。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30864	S	数理科学概論 I (文科生)	関口 英子	数学	木 1	523 教室	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		数理科学概論 I 文科生向けに一変数関数の微分法の基本的な考え方から始めて、二変数関数の偏微分法の基礎と応用ならびに重積分に関する基礎的な内容を扱う科目である。社会科学に関連する題材を織り交ぜ、数学的な概念を把握することに重点をおいて講義する。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、担当教員によって順序は異なることがある。この科目を履修した後に、より進んだ内容を理科生向け総合科目「微分積分学統論」で学ぶことができるが、そのためには「数学 II」「数理科学概論 II」もあわせて履修しておくことが望ましい。 主として定期試験によるが、担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場合がある。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30365	S	数理科学概論Ⅲ(文科生)	林 修平	数学	火 2	1312 教室	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		1 次元カオス力学系入門 決定性の中に潜む予測不可能性や不確定性を扱うカオス理論は自然科学のみならず社会科学も含んだ広範な分野に登場します。この講義では、教養文科 1 年生程度の予備知識を前提として、数学としての 1 次元カオス力学系理論の重要なアイデアや手法を学びます。初等的な 1 変数関数であってもそれを繰り返し適用するだけで複雑な軌道が発生し、豊かなカオスの数学理論が展開されます。例えば、 $f(x)=ax(1-x)$ のような簡単な 2 次関数を通して、理解しにくいカオスのもつ「複雑さ」をどのように理解するかを見ていきます。考える対象は 1 変数関数に限定していますが、一般の力学系においても重要な概念が提供されるので力学系理論入門という見方もできます。ここで力学系(dynamical systems)と呼んでいるのは物理の力学(mechanics)ではなく、時間発展に対する軌道の定性的な性質を調べる数学の一分野です。 レポートにより評価。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30265	S	統計データ解析Ⅱ	吉田 朋広	数学	月 5	E42 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		統計データ解析Ⅱ ビッグデータの時代と言われている。近年、データの計測およびストレージ技術の発達とともに、大規模データから適切に情報抽出し、それを意思決定に活用することが必須のリテラシーとなっている。いっぽうデータの形式と対応する解析法の変化は著しく、新しい方法を正しく利用するために、普遍的な統計科学の原理を理解することが重要である。基礎となる統計数理とともに、具体的な統計解析手法とその運用を、統計ソフトウェアによるデータ解析実習を通じて習得する。 統計データ解析Ⅱでは、統計ソフトウェア R の説明の後、高次元大規模データに潜む相関構造を発見し計量する多変量解析、および時系列データの基本的な解析法を学ぶ。統計手法の運用とデータハンドリングを実習することに加え、微分積分学、線型代数学等の前期課程数学と連携し、数理科学的側面を意識しながら、実験を介して統計手法の合理性と体系を感得する。					
評価方法 教科書 ガイダンス		出席、および課題の発表あるいはレポートによる。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30366	S	統計データ解析Ⅱ	小池 祐太	数学	火 2	E41 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		統計データ解析Ⅱ ビッグデータの時代と言われている。近年、データの計測およびストレージ技術の発達とともに、大規模データから適切に情報抽出し、それを意思決定に活用することが必須のリテラシーとなっている。いっぽうデータの形式と対応する解析法の変化は著しく、新しい方法を正しく利用するために、普遍的な統計科学の原理を理解することが重要である。基礎となる統計数理とともに、具体的な統計解析手法とその運用を、統計ソフトウェアによるデータ解析実習を通じて習得する。 統計データ解析Ⅱでは、統計ソフトウェア R の説明の後、高次元大規模データに潜む相関構造を発見し計量する多変量解析、および時系列データの基本的な解析法を学ぶ。統計手法の運用とデータハンドリングを実習することに加え、微分積分学、線型代数学等の前期課程数学と連携し、数理科学的側面を意識しながら、実験を介して統計手法の合理性と体系を感得する。					
評価方法 教科書 ガイダンス		出席およびレポートによる。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30836	S	統計データ解析Ⅱ	小池 祐太	数学	水 5	E41 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		統計データ解析Ⅱ ビッグデータの時代と言われている。近年、データの計測およびストレージ技術の発達とともに、大規模データから適切に情報抽出し、それを意思決定に活用することが必須のリテラシーとなっている。いっぽうデータの形式と対応する解析法の変化は著しく、新しい方法を正しく利用するために、普遍的な統計科学の原理を理解することが重要である。基礎となる統計数理とともに、具体的な統計解析手法とその運用を、統計ソフトウェアによるデータ解析実習を通じて習得する。 統計データ解析Ⅱでは、統計ソフトウェア R の説明の後、高次元大規模データに潜む相関構造を発見し計量する多変量解析、および時系列データの基本的な解析法を学ぶ。統計手法の運用とデータハンドリングを実習することに加え、微分積分学、線型代数学等の前期課程数学と連携し、数理科学的側面を意識しながら、実験を介して統計手法の合理性と体系を感得する。					
評価方法 教科書 ガイダンス		出席およびレポートによる。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30091	S	ベクトル解析	加藤 晃史	数学	月 2	1311 教室	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ベクトル解析 1 年生で学んだ「微分積分学」において実数を値に持つ関数の微積分を扱ったが、自然科学では運動する点の速度のようにベクトルに値を持つ時間の関数や、各点の電荷密度のように空間上の関数などが、よくあらわれる。さらに電磁気学における磁場のように、空間上の関数であってベクトルに値を持つものが扱われることも多い。ベクトルに値をもつ関数はベクトル場と呼ばれ、実数に値をもつ通常の関数はスカラー場とも呼ばれる。そのような種々の関数があらわれ、微積分学的な性質とベクトルのもつ性質が組み合わさって重要な役割を演じる自然現象が、電磁気学や流体力学をはじめとして数多くの場面で見かけられる。本科目では自然現象の記述と考察に適用できるそのような数学的枠組みについて解説する。					
評価方法 教科書 ガイダンス		主として定期試験によるが、小テストやレポートを含めて評価する場合もある。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30092	S	ベクトル解析	足助 太郎	数学	月 2	1312 教室	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ベクトル解析 1 年生で学んだ「微分積分学」において実数を値に持つ関数の微積分を扱ったが、自然科学では運動する点の速度のようにベクトルに値を持つ時間の関数や、各点の電荷密度のように空間上の関数などが、よくあらわれる。さらに電磁気学における磁場のように、空間上の関数であってベクトルに値を持つものが扱われることも多い。ベクトルに値をもつ関数はベクトル場と呼ばれ、実数に値をもつ通常の関数はスカラー場とも呼ばれる。そのような種々の関数があらわれ、微積分学的な性質とベクトルのもつ性質が組み合わさって重要な役割を演じる自然現象が、電磁気学や流体力学をはじめとして数多くの場面で見かけられる。本科目では自然現象の記述と考察に適用できるそのような数学的枠組みについて解説する。					
評価方法 教科書 ガイダンス		主として定期試験によるが、小テストやレポートを含めて評価する場合もある。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31146	S	ベクトル解析	三竹 大寿	数学	金 2	723 教室	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ベクトル解析 1 年生で学んだ「微分積分学」において実数を値に持つ関数の微積分を扱ったが、自然科学では運動する点の速度のようにベクトルに値を持つ時間の関数や、各点の電荷密度のように空間上の関数などが、よくあらわれる。さらに電磁気学における磁場のように、空間上の関数であってベクトルに値を持つものが扱われることも多い。ベクトルに値をもつ関数はベクトル場と呼ばれ、実数に値をもつ通常の関数はスカラー場とも呼ばれる。そのような種々の関数があらわれ、微積分学的な性質とベクトルのもつ性質が組み合わさって重要な役割を演じる自然現象が、電磁気学や流体力学をはじめとして数多くの場面で見かけられる。本科目では自然現象の記述と考察に適用できるそのような数学的枠組みについて解説する。					
評価方法 教科書 ガイダンス		主として定期試験によるが、小テストやレポートを含めて評価する場合もある。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31147	S	ベクトル解析	清水 勇二	数学	金 2	724 教室	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ベクトル解析 1 年生で学んだ「微分積分学」において実数を値に持つ関数の微積分を扱ったが，自然科学では運動する点の速度のようにベクトルに値を持つ時間の関数や，各点の電荷密度のように空間上の関数などが，よくあらわれる．さらに電磁気学における磁場のように，空間上の関数であってベクトルに値を持つものが扱われることも多い．ベクトルに値をもつ関数はベクトル場と呼ばれ，実数に値をもつ通常関数はスカラー場とも呼ばれる．そのような種々の関数があらわれ，微積分学的な性質とベクトルのもつ性質が組み合わさって重要な役割を演じる自然現象が，電磁気学や流体力学をはじめとして数多くの場面で見かけられる．本科目では自然現象の記述と考察に適用できるそのような数学的枠組みについて解説する．					
評価方法 教科書		主として定期試験によるが，小テストやレポートを含めて評価する場合もある． 授業中に指示をする。／Will specify at class time 書名 基礎と応用 ベクトル解析 著者（訳者） 清水勇二 出版社 サイエンス社 ISBN ISBN 978-4-7819-1133-5					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

図形科学 B			開講区分		S
授業の目標・概要			3次元立体形状の図的表現および形状処理について、手描作図に基づいた図法幾何学を通して学び、立体形状の把握・伝達・構想能力を養う。 主な項目は以下のとおり。 1.投影法 1.1 投影—投影の原理,各種投影法 1.2 軸測投影,透視投影 2.正投影による空間図形の表現と解析 2.1 点・直線・平面—主・副投影,直線の実長,平面の実形,交わり 2.2 基本的立体—多面体,(円)錐,(円)柱,球,その他の曲面 2.3 基本立体の交わり—切断,相貫 ※初回授業は 192 教室を利用する		
成績評価方法 教科書			出席点、講義期間中に課したレポートおよびセメスター末試験。 授業中に指示をする。／Will specify at class time		
※講義の詳細については、UTAS を参照すること					
時間割 コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス	
30054	月 2	横山 ゆりか	184 教室, 192 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理一(5-6,8,29)理二三(1-3,6-9,20-22)	
30670	水 2	奈尾 信英	184 教室, 192 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理一(12-14,38)理二三(5,12-13,16,18-19,24)	
30742	水 3	金井 崇	184 教室, 192 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理一(10,15,18,22-23,27-28,30)理二三(23)	
30773	水 4	椎名 久美子	184 教室, 192 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理一(7,11,16-17,19,24,36-37)	
30955	木 3	腰原 幹雄	184 教室, 192 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理一(1-4,9,21,26,31-34,39)	
31236	金 4	齋藤 綾	184 教室, 192 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理一(20,25,35)理二三(4,10-11,14-15,17)	

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30001	S	基礎統計	安藤 雅和	経済・統計	月 1	1323 教室	1 年 文科 理一(1-10)理二三(1-6,8,13) 2 年 文科 理一(1-7,36-38) 理二三(6,8,14,16)
講義題目 授業の目標概要	基礎統計 統計学は、日常生活や社会で起こる様々な現象を観察し、そこから得られる数値データを分析（記述、検証など）して、その現象の法則性を探っていくことを目的としている。近年のコンピュータの普及に伴い、容易にソフトウェアを用いてデータ分析ができるようになってきたが、データの特性や分析の目的に応じた統計手法を用いるためには、統計学の基礎的概念を理解し、数値結果を適切に評価する能力を身につける必要がある。そこで、本講義では、統計学の基礎的概念と統計手法について解説し、どのように現実の問題に適用されているのかを身近な例を用いて説明する。通常、データには対象について知りたいと思う性質とは無関係な変動が加わる可能性があり、そのような偶然的な変動は、確率論の法則に従うものと考えられるため、確率論についても取り上げることとする。そして、確率論を背景にして体系づけられた統計的推測について、推定と仮説検定を通して学ぶ。受講後には、新たな問題に直面した時に自ら統計分析を行い問題解決ができるようになることを目指す。						
評価方法 教科書	成績は、定期試験(70%)、レポート(30%)により総合的に評価する。括弧内は目安。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 入門統計解析 著者（訳者） 倉田博史・星野崇宏 出版社 新世社 ISBN ISBN978-4-88384-140-0						
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30231	S	基礎統計	来島 愛子	経済・統計	月 5	743 教室	1 年 文科 理一(26-33)理二三(12,21-24) 2 年 文科 理一(23-27,29-30,39) 理二三(5,12-13,24)
講義題目 授業の目標概要	統計学入門 コンピュータの発達により非常に多くのデータを収集し、分析することが可能となった現在、自然科学や社会科学、多くの分野において統計学の考え方や統計的方法を正しく使うことが必要不可欠となっている。本講義では統計学の基礎となる概念、考え方を解説する。統計学において確率論も重要な基礎であり、記述統計（データの収集・要約）、推測統計（推定・検定）と合わせて扱う。大学の専門課程などにおいてデータを統計的に分析することができるように考え方を身につけることが目標である。						
評価方法 教科書	期末試験による。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 入門統計解析 著者（訳者） 倉田博史・星野崇宏 出版社 新世社 ISBN 978-4-88384-140-0						
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31003	S	基礎統計	小林 正人	経済・統計	木 4	1323 教室	1 年文科 理一(13-17)理二三(7,11,14-16) 2 年 文科 理一(20-22,31-35) 理二三(17-18,23)
講義題目 授業の目標概要	基礎統計 確率論や推定・検定などの統計的推論の基礎は、理系、文系を問わずデータを扱う学問・技術には不可欠であり、共通言語となっている。この講義では、社会に出た後や後期課程に進学してから必要な統計学の知識と技術を提供することを目指としている。数学的な取扱いは省略し、データを用いた推論の実際の手続きに限定して解説する。回帰分析については教科書の内容を超えた内容も講義をおこなう。						
評価方法 教科書	期末試験に加え、講義中の発言を考慮する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 まずはこの一冊から 意味がわかる統計学 著者（訳者） 石井俊全 出版社 ベレ出版 ISBN 4860643046						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31090	S	基礎統計	倉田 博史	経済・統計	金 2	1323 教室	1 年文科 理一(11-12,18-25)理二三(9-10) 2 年 文科 理一(8-10,13-14,28) 理二三(1-4,7,9-10,19)
講義題目 授業の目標概要		統計学入門 本講義では、初めて統計学を学ぶ学生を対象に、データ解析・統計学の考え方と実際について、その基本事項を解説する。対象は文理を問わない。専門学部で諸科学を学ぶ際に特に重要な、確率分布（＝現象のモデル化）、独立同一分布性（＝同一条件の下での繰り返し実験）、統計的推測（＝データから母集団への推論）の考え方を理解することに焦点を当てる。					
評価方法 教科書		期末試験による。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 入門統計解析 著者（訳者） 倉田博史・星野崇宏 出版社 新世社 ISBN 978-4-88384-140-0					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31261	S	基礎統計	宮田 敏	経済・統計	金 5	1106 教室	1 年 文科 理一(34-39)理二三(17-20) 2 年 文科 理一(11-12,15-19) 理二三(11,15,20-22)
講義題目 授業の目標概要		基礎統計 統計学とは、調査や実験で得られたデータを基に、そのデータを生み出した背景因子の関係を推測する方法を提供する学問である。本講義は、統計学に初めて触れる初学者を対象に、統計学とデータ解析の基本的な概念と手法を紹介する。					
評価方法 教科書		原則として毎回レポートの提出を求める。成績は、レポートと期末試験により総合的に評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30266	S	計算機プログラミング	山口 和紀	情報図形	月 5	E41 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		プログラム構成論 本講義では、プログラミングの基礎となるデータモデルの考え方を理解し、代表的なデータモデル、例えば、リスト、スタック、キュー、集合、木、グラフ、論理などについては、活用できるようになることを目指す。					
評価方法 教科書		演習への参加、課題レポートの完成度 教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31588	S	計算機プログラミング	森 純一郎	理学部	月 5	E26 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		データマイニング入門 ビックデータ解析技術、人工知能技術の利活用が社会で進む中で、それらの基礎となるデータ分析技術は情報処理技術を学ぶ上で重要となっている。本授業では、データ分析・データマイニングの基礎について学ぶとともに演習を通して実際にデータを分析するプロセスを学ぶ。本授業は、学部後期課程におけるデータサイエンス、人工知能、機械学習、自然言語処理などの関連授業との接続を念頭に、それらの基礎となる知識を習得することを目標とする。					
評価方法 教科書		主に各回のプログラミング課題ならびに授業全体の最後に行うミニプロジェクトのレポート内容によって評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30368	S 1	計算機システム概論	森畑 明昌、 千葉 滋、 松本 正晴	情報図形	火 2 金 2	521 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	計算機システム概論 計算機システムは現代の情報化社会の基盤となっています。本講義では、計算機システムについて、様々な側面から、それがどのように構成されているか、それを設計・利用する上で理解しなければならない基本原理は何か、ということ学びます。 具体的に扱うトピックは以下の通りです。 1. 計算機アーキテクチャと高速化技術 2. Operating System 3. データベースシステム 4. 分散・並列処理 5. 科学技術計算 6. 人工知能 7. セキュリティ 8. プログラミング言語						
評価方法 教科書 ガイダンス	定期試験によって評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31587	S	計算の理論	今井 浩、 小林 直樹	理学部	火 5	512 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	計算の複雑さと形式的意味論 計算は、小学校で学ぶ四則演算から始まって、高校までに多項式・関数そしてその微分・積分など様々なものを学ぶ。高校では、教科情報でコンピュータによる計算も少し学び、プログラミングも経験しているだろう。大学では、より高次の計算を対象として学び、情報科学技術が社会基盤となった現代における基盤の学問として理工系分野ではどの分野でも、社会科学分野でもかなりの分野で勉学してくことになる。 本講義は、情報科学の立場から、計算を科学していく。計算とは、何らかの機構を用いて入力情報から所望の条件を満たす出力情報を得る過程であり、人間が自ら能動的に得ることができる操作である。その立場からは、自然界の種々のことも計算という観点で解釈して、新たな世界を開くこともできる。ここでの計算は、高校までのものと違い、理論として確固たる基盤をもつ対象であり、その神髄を知ることは次世代の情報科学技術を創出し、今とは違った情報社会を構築していくことにつながる。 講義は、大学 1、2 年次の学生を対象に、このような計算の理論をわかりやすく講究し、人類が自ら操作して得る新たな科学としての情報科学を理解することを目指す。計算の理論を学ぶことにより、知能に関する研究も自らの視野に入れることができるようになり、そのような方向も示すことにより、初学者を計算と知能を最先端で研究する情報科学の理論にいざなう。						
評価方法 教科書 ガイダンス	レポート提出。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31568	S	情報システム基礎 I	古関 隆章	工学部	金 5	1212 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	情報システム基礎 I 「足からロケットまで---走る／飛ぶ／探る科学入門」 人や物を効率良く運ぶことが、文明社会の成立に欠かせず、移動手段を提供する技術が、我々の生活の基本を支え、そして生活を楽しく豊かにするために大切です。実際、日常的な生活の中で、自動車や鉄道などの身近な交通は不可欠なものとなっていることを実感しているでしょう。人々は太古の昔から、速くて、快適で、便利な移動手段を求めてきました。近年は、これに加えて、安全性への意識も高まっており、環境への負担の少ない交通、高齢社 会への移行に伴い「交通弱者でも移動の自由が奪われない」バリアフリーに対応した交通など、移動手段の「質」に対する要求もさらに高いものとなっています。このような様々な要求に応える「運ぶ」営みのために、電気や情報の技術が貢献できることは多く、交通における電気・電子・情報技術の役割はますます大きくなっています。 本講義では、このような視点から、電気エネルギーおよび情報通信や計算機技術を積極的に用いて人や物を「うまく」運ぶ方法論をオムニバス形式で解説します。高校や教養学部で習う物理や数学の延長上にどのようにこれらの技術が構築されているかをできるだけわかりやすく具体的に解説するとともに、最新の研究動向を紹介します。						
評価方法 教科書 ガイダンス	講義への参加状況と、期末レポート 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31569	S	モデリングとシミュレーション基礎Ⅰ	神原 淳	工学部	木 5	E21 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	モデリングと未来予測入門 ～原子（マテリアル）から地球まで、1 ピコ（1 兆分の 1）秒から 100 年先までを予測する～						
授業の目標概要	高効率なエネルギー利用や、地球温暖化、資源セキュリティなど、今日の日本は数多くの課題に直面しています。これら不確実な将来と向き合いながら、安全で快適、そして環境に優しい社会を構築していく上で、将来起こりうる事柄を予測できれば、方針・方向性を見出す助けになります。 どんなに複雑な事柄であっても、それらをモデル化し、単純な数式で表現することで、起こりうる事象をある程度の確度で予測することが可能になります。対象の大小、時間の長短に関わらず取り組む方法は基本的には同じです。 そこで、本講義は、身の回りで起きている様々な事象をモデル化してシミュレーションし、未来を予測する基本アプローチを実践的に修得することを目的とします。題材として、実験装置の中で起こる反応の原子・分子の動きから、実際の材料生産現場や台所での調理の際に制御している熱伝導現象、さらに地球規模での環境問題や市場発展など、1 ピコ（1 兆分の 1）秒から数分、数 10 年の時間スケールを取り上げます。 また、得られた結果をただ「見せる」だけでなく「魅せる」ためのプレゼン技術についても修得します。 以上を通じて、文系理系を問わず多くの皆さんにモデル化と未来予測の全体像と楽しさと素晴らしさを学んでもらうことを目的としています。						
評価方法	講義への出席と、毎回の講義で出す課題に対するレポート提出にて評価。						
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts						
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31570	S 1	モデリングとシミュレーション基礎Ⅰ	菅野 太郎	工学部	火 2, 金 2	K011	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	コンピュータモデルで社会を観るー社会システムデザインのための科学的アプローチー						
授業の目標概要	社会問題の解決や社会制度設計に役立てるために、人の行動データや WEB 上のビッグデータから統計、数理、認知科学、社会科学、計算機科学などの原理に基づいて様々な人間集団や社会のモデルを構築し、エージェントシミュレーション、ネットワークシミュレーション、インタラクティブシミュレーションなどのコンピュータシミュレーション技術を用いてその振舞いをダイナミックに予測、解析する手法が注目されつつある。本講義では、こうした社会モデリングとシミュレーション技術を活用した社会システムデザイン・分析の代表例と最新の適用事例について紹介しその可能性について議論する。 1 「社会システムのモデリングとシミュレーションのための基礎知識」 1.1 基本用語と社会システムデザインの概要 1.2 ヒューマンモデリングⅠ（ヒューマンモデルとは） 1.3 ヒューマンモデリングⅡ（チーム・組織・インタラクション） 1.4 コンピュータシミュレーションの使い方（理解・予測と検証、発見と共創） 2 「基本モデルの紹介」 2.1 ライフゲームと創発性 2.2 社会心理モデルとゲーム理論Ⅰ 2.3 社会心理モデルとゲーム理論Ⅱ 2.4 社会心理モデルとゲーム理論Ⅲ 3 「応用例の紹介（金融市場のモデリングとシミュレーション）」 3.1 金融市場の特徴と金融データの統計解析 3.2 金融市場のモデリング 3.3 金融市場のコンピュータシミュレーション 3.4 金融市場制度設計に向けて 4 「まとめ」 4.1 まとめ						
評価方法	出席と期末レポートによって評価						
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook						
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30367	S	図形科学演習Ⅰ	舘 知宏	情報図形	火 2	167 教室, 184 教室, 192 教室	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		平面図形、立体図形、立体模型の製作 目標： 形状を用いた思考は、言語や数式を用いたものとは本質的に異なるプロセスで理解や創造を飛躍的に手助けする。また図や模型製作による表現は、設計（デザイン）・製造分野における共同作業に欠かせないコミュニケーション手段でもある。本授業では、手描き製図と模型制作を通じて諸概念の図形的理解を深め、設計および、形を通した諸科学現象の解明のための基礎技能を修得する。 概要： 1. 様々な物理現象に現れるボロノイ図について幾何学的理解を深め、平面図形のオフセット、二次曲線でできた Medial Axis の作図を行う。 2. 視覚における透視投影の仕組みについて理解し、実際に立体形状の透視図を作成する。 3. 線織面・可展面について学び、立体の切断と可展面の展開の作図、曲線折紙の設計・模型製作を行う。 ボロノイ図、透視図、模型製作課題について評価を行い総合点で評価する 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					
評価方法 教科書 ガイダンス							

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30837	S	図形科学演習Ⅱ	山口 泰	情報図形	水 5	E26 教室	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法		グラフィクスプログラミング Python プログラミングを通じて、2 次元および 3 次元コンピュータグラフィックスの基礎について学習する。 基本的には課題(毎週全 12 or 13 回)で評価する予定である。 場合によって、学期末の筆記試験を実施する可能性もある。					
教科書 ガイダンス		プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

学術フロンティア講義

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31643	S	化学システム工学で拓く 未来社会	杉山 弘和	工学部	月 5	2.0	104 教室	1 年 理科 2 年 理科
授業の目標概要		化学システム工学科の教員が、持続可能な未来社会を創るための化学を分かりやすく説明します。以下のテーマを学びます。 【環境分野】 ・大気環境汚染を計測し、解決する ・「環境にやさしい」を工学的に検証する 【エネルギー分野】 ・光触媒で太陽エネルギーを水素に変換する ・リチウムイオン電池でエネルギーを有効利用する 【医療分野】 ・化学とバイオの力で病気に立ち向かう ・診断・治療ナノシステムを化学で創る 「化学と社会のつながり」を考えたい学生諸君の参加を歓迎します。教員や大学院生と交流する機会も設けます。希望者には本郷キャンパス・化学システム工学科研究室見学会も案内します（参加は自由です）。 ※このゼミは 4 月 6 日（月）（全学体験ゼミナール）、7 日（火）（全学自由研究ゼミナール/学術フロンティア講義）6 限（18：45～）7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。						
評価方法		主に出席・レポート						
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook						
ガイダンス		特定日に行う。／Will conduct guidance at another time 6 限／6th Period 工学部合同ガイダンス						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31653	S 1	これからの食糧生産を支える植物・土壌科学	妹尾 啓史	農学部	月 5	1.0	511 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		今世紀半ばには 90 億人を超えると予想されている世界の人口を支えるためには作物生産性の向上が必須である。そのためには、土壌が有する物質変換や肥沃度維持の仕組み、植物の養分吸収や栄養環境適応の仕組みを明らかにして生産性向上に結び付けることが必要である。また、問題土壌や環境変動下での作物生産、雑草を克服した作物生産は今後の重要課題であり、劣悪な土壌や病害虫などのストレスに耐性を持つ作物の育種や、根寄生雑草を防除する新たな化学的手法が開発されている。一方、生産性向上と環境保全を両立した農業技術の開発が地球環境と地域環境の保全のために重要である。本授業科目では、このような研究に携わっている農学部ならびに生物生産工学研究センターの教員による最先端の講義を行う。						
評価方法		出席とレポートによる						
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook						
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31792	S	Sound-Art Creation	池上 高志	芸術創造 連携研究 機構	月 5	2.0	K011	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		The class will aim to teach the history of sound expression, techniques of sampling and recording technology, and introducing new modes of listening. The course will be divided between practical exercising and lectures covering the history of sound expression, which will introduce different people's works in the field.						
評価方法		創造性 45% 勤勉/動機 45% 技術的能力 10%						
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 サイレンス 著者（訳者） ジョン ケージ						
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance 5 限／5th Period 視聴覚室						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31633	S	サイバネティクス入門 —物理・生物・社会と 情報を繋げるシステム の科学—	成瀬 誠	工学部	火 2	2.0	162 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		サイバネティクスとは、生物を含む自然系、機械を含む人工物、さらにはこれらを含む社会について、その基本構造を統一的に捉えることを指向した科学技術の概念である。生物が環境中の情報を計測し、処理し、自ら行動として環境に働きかける一連の流れを、信号処理、通信、さらにフィードバック制御に関わる数学で捉える。その上で、この原理を人工物に応用することで、自ら考え、判断・学習し、行動できる知的な機械を実現する方法論へ展開する。数学者ウィーナーによって 1947 年に創始されたこの学問体系は、生物、機械、社会を含むあらゆる物理的現象に関わる基本構造の抽出と、機能の設計・解析・制御などの方法論として今でも発展し続けており、脳工学、生体工学、バーチャルリアリティ、システム科学、人工知能（AI）などの現代的工学技術の礎のひとつとなっている。 この授業は、最先端の工学技術に関する講義と研究室の見学を通して、サイバネティクスの基本概念を理解してもらうことにある。様々な事象に対して、数学・物理学・情報学を駆使した現象の解析やモデル化を通し、新しい原理や方法論あるいは機構やシステムを創り出し、様々な分野での応用を可能にする工学の考え方や実際の最先端の研究に関し、工学部計数工学科システム情報工学コースの教員がオムニバス形式で紹介する。ブレインマシンインタフェース、バーチャルリアリティ、ロボティクス、音声・画像信号処理、生体医用工学といった最先端かつ広範な話題に触れることができ、しかも、それらが計測・解析・制御というサイバネティクスの共通の原理で語られることに驚きを覚えるであろう。人間の能力をいかにして機械などの人工物が獲得できるかを知る上でも、数学・物理学・情報学の基礎がどのように実践され役立つかを学ぶ上でも、人間と AI を含む機械が共生する将来像を考える上でも、この科目は充実した学識に触れる良い機会を提供できる。また、実際の研究現場を見学することにより、講義内容がどのような環境で着想され、育てられ、発展しているのかを見ることがもできる。 具体的には以下に挙げるような、認識、行動、物理、情報、総合の 5 分野にわたるテーマに関する講義と研究室見学を行う。具体的な講義の内容の詳細と日程およびレポートの提出要領二関しては、掲示および初回の講義で案内する。 ※このゼミは 4 月 6 日（月）（全学体験ゼミナール）、7 日（火）（全学自由研究ゼミナール/学術フロンティア講義）6 限（18：45～）7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。						
評価方法		レポート提出と出席によって成績評価する。						
教科書		授業中に指示をする。／Will specify at class time						
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31806	S	環境安全衛生入門 ー身のまわりのリスクから学び、安心へつなげるー	飯本 武志	環境安全 本部	水 4	2.0	525 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		ふと目を向ければ、私たちの身のまわりには様々なリスクがあることに気付きます。いつも使っている駒場東大前駅のホーム。18 時 40 分、やや狭いうえ柵もないホームに 5 限終わりの学生がひしめき合う横を、急行電車が猛スピードで走り抜けていきます。これまで事故が起きなかったからこれからは起きないという保証はありません。そこには常にリスクが存在しています。では、そのリスクを低減するためにはどうしたらよいでしょうか？ 安全で安心な社会の実現には、身のまわりの環境や安全についての多角的な視点と理解が必要です。本講義では、身近な話題から自然災害に至るまで、現在我々が抱えている諸問題とその解決に向けたアプローチについて、各分野の専門家が対話形式を盛り込んでわかりやすく解説します。文系・理系を問わずすべての学生を対象とし、将来の我が国を担う皆さんが環境と安全の分野に対して正しく興味をもち、安心へとつながる道筋を自分で考えることができるようサポートします。						
評価方法		9 回以上の出席数と、毎回の講義中にまとめるショートレポートの内容によって可否を判定する。 なお、以下のいずれかの項目に該当する場合は、出席としては扱わない。 1. 授業開始 30 分以内に入室しなかった場合、または、担当講師の許可を事前に得ずに退室した場合 2. 各回の講義内容に準拠したレポートの内容ではなかった場合 3. レポートを代筆をさせた場合、または、した場合						
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2020 年 04 月 08 日 4 限／4th Period						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31674	S	数理学の研究フロンティア：宇宙、物質、生命、情報	河東 泰之	数理学 研究科	水 5	2.0	104 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		本講義では、宇宙の起源、物質の起源、生命の進化、情報と人工知能などの現代科学のフロンティアを、最前線の若手研究者が数理学という切り口で俯瞰する。授業担当教員がモデレータとなり、理化学研究所の若手研究者をゲストに招き、以下の話題を議論する。ゲスト氏名と話題は、初田哲男によるイントロダクション、井上芳幸「ブラックホールを通して紐解く宇宙の歴史」、日高義将「物質の起源を探る」、黒澤元「数理でせまる生物の時間の謎」、窪田陽介「線形代数から見るトポロジカル物理」、入江広隆「量子コンピュータ入門」、田中章詞「機械学習の数理」である。						
評価方法		出席の把握のため、毎回、質問感想等をミニレポートとして提出してもらおう。出席状況により可否を評価する。						
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31723	S	合唱音楽の実践的研究	長木 誠司	芸術創造 連携研究 機構	木 2	2.0	音楽 実習 室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		音楽の実践を授業として学ぶ場である。テノール歌手として活躍し、合唱指導のキャリアも長い辻裕久氏を講師に迎え、さまざまな合唱作品の練習を通して、混声合唱を基本から学びながら曲を作っていく。可能ならば、最後に簡単な発表会（演奏会）のようなものを考えている。						
評価方法		平常点（出席）による。						
教科書		授業中に指示をする。／Will specify at class time						
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2 限／2nd Period コミプラ北館 2 階 音楽実習室						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31688	S	歴史史料と地震・火山 噴火	加納 靖之	地震研究 所	木 4	2.0	166 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		【概要】 東京大学の地震研究所と史料編纂所が連携して設立された地震火山史料連携研究機構では、地震学者と歴史学者が協力して史料の収集・編纂と分析と、地震活動や火山活動の長期的な情報を提供するデータベースの構築を行っている。この連携研究機構が提供する講義では、歴史史料を用いた地震・火山噴火の研究について、背景となる知識やこれまでの成果、今後の展望について解説する。全体を理解するために必要な概論ののち、具体的な事例－貞観の地震と富士山の噴火、明応の南海地震、慶長の豊後地震と伏見地震、宝永の南海地震と富士山噴火、安政の江戸地震など－を取り上げ、歴史学および地震学・火山学のそれぞれの立場から説明する。どのように歴史史料を読みとき、どのように現象を理解するのかを学び、また、異分野融合研究の意義や在り方に触れる。 授業は、佐竹健治（地震研究所）・榎原雅治（史料編纂所）・杉森玲子（史料編纂所）・加納靖之（地震研究所）が分担します。						
評価方法		【目標】 ・歴史学や地震学の基礎を、具体的な事例を通して学ぶ ・複数の研究分野からのアプローチでより深く現象を理解できることを知る ・これらの研究のおもしろさや解決すべき課題について考える 【こんな人に来てほしい】 文系理系を問わず、歴史、地球、防災などに関心のある人。また、本や資料を読むのが好きな人、観察や観測をもとに推理するのが好きな人など。 （参考）地震火山史料連携研究機構の概要 地震火山史料連携研究機構は、東京大学の地震研究所と史料編纂所が連携して設立されました。この学際的な研究機構では、歴史学者と地震学者が協力して史料の収集・編纂と分析を実施し、日本における地震活動や火山活動の長期的な情報を提供できる科学的なデータベースを構築しています。このような歴史時代のデータは、地震や火山の危険性の長期的な予測には不可欠です。						
教科書		レポートによる評価。 レポートの内容（予定）：講義で扱った地震（噴火）の一つを選び、レポートを作成する。講義内容に自分で調べたことを加えてまとめること。						
ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 4 限／4th Period 授業と同じ						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31706	S	心に挑む―東大の心理学	岡ノ谷 一夫、 菊池 由葵子	心理・教育学	木 4	2.0	1313 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		東京大学の心理系教員によるオムニバス形式の講義である。心理学を目指す諸君には、東京大学における心理学研究の多様性と深みを知り、進路選択の参考にしてほしい。その他の学生諸君には、現代心理学がどのような方法で心の理解に挑戦しているのかを学ぶきっかけとしてほしい。それぞれの話題は最先端でありかつ親しみやすいことを目指す。						
評価方法		レポート（詳細は初回ガイダンス時に指示する）						
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook						
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31632	S	数理工学のすすめ	郡 宏	工学部	木 5	2.0	104 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		数理工学とは、工学的問題解決のための数理的手法を（必要とあれば新しい概念や原理も）創り出す学問のことです。（ http://www.keisu.t.u-tokyo.ac.jp/ も参照してください。）本講義では、数理工学において、どのようにして、新しい原理や数理的手法が開発され、発展していったか（発展しつつあるか）について、実例を交えて解説します。とくに、以下の7つの話題を扱います。 ・動的現象のモデリング入門 自然、人工物、社会には複雑な動的現象が多く存在し、それらを理解・制御するためには数理モデリングと解析が不可欠です。モデリングがどのようになされるか、またどのような解析方法があるのか、いくつかの例を用いて解説します。 ・秘密計算：データを隠したままで分析するには 複数のデータを持ち寄ってデータ全体の性質を調べたいときに、個々のデータの詳細は秘密にしたままで必要な性質のみを知ることができる暗号技術「秘密計算」について、その数学的原理と、現在期待されている応用例について紹介します。 ・計算代数統計 データ解析で必要となる計算において、抽象代数がどのように役立つか、例を交えて説明します。 ・組合せ最適化入門 巨大な有限の組合せの中から最良の解を効率良く求める「組合せ最適化」の理論とアルゴリズムの入門的な解説を行います。 ・計算幾何入門 科学・工学の諸問題に現れる幾何データを計算機上で効率的に取り扱うための理論やアルゴリズムを、いくつかの例を用いて解説します。 ・機械学習の数理 機械が学習するということはどういうことか？ 数理工学の立場からその基本原理を紹介し、現実のデータサイエンスや知識発見への応用例を示します。 ・連続最適化と制御器設計 不安定なシステムを安定化するための制御器設計問題が半正定値計画問題という連続最適化問題として定式化できることを紹介します。 参考書：(1)蛸原義雄：LMI によるシステム制御，森北出版株式会社 (2)田村明久，村松正和：最適化法，共立出版株式会社 ※このゼミは4月6日（月）（全学体験ゼミナール）、7日（火）（全学自由研究ゼミナール/学術フロンティア講義）6限（18：45～）7号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。						
評価方法		7 テーマの講義のうち4 テーマについて、講義内容のまとめと感想、自分自身でさらに調べた事、講義中の例題の解などをレポート形式で提出する。						
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook						
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31668	S	悦ばしきイタリア地中海・シーズン 6	池上 俊一	教養学部	木 5	2.0	107 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		2013 年度から教養学部後期課程に「イタリア地中海研究コース」が発足しているが、広く前期課程の学生にもイタリア文化圏や古代中世の地中海文化圏に親しみ、またその魅力と奥深さを知ってもらいたいと考えている。そのために「悦ばしきイタリア地中海」と題する講義シリーズを、学術フロンティア講義としてほぼ隔年で開講し、今年は 6 回目である。講師は、後期課程の上記コースに関与する駒場の教員だけでなく、全体の半数程度は、本郷あるいは他大学などから気鋭の講師を招待する。具体的なプログラムは、セメスター開始前に下記のホームページで発表する。またキャンパス内各所の掲示板上にポスターを掲示する予定。						
評価方法		レポートによる評価。						
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook						
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31682	S	「現代の数学 ― その源泉とフロンティア―」	齋藤 秀司	数理科学 研究科	木 5	2.0	521 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		現在の数学研究の現場で話題になっている事柄を平易に解説する。 高等学校で学んだ数学、大学の前期課程で学ぶ数学が、どのように現代の数学につながっているか、現代の数学の研究の源泉はどこにあり、どのようなことがわかっているか、何を求めて研究が行われているかということを、最前線で活躍する数学者がいくつかのトピックについて数回ずつ解説する。						
評価方法		レポートと出席による合否判定						
教科書		授業中に指示をする。／Will specify at class time						
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31624	S	エコで安全で健康な社会 を実現する機械工学	牛田 多加志	工学部	金 2	2.0	162 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		機械工学は、エコで安全で健康な社会を実現するための重要な基盤技術として、社会や産業の発展に大きく貢献してきました。そして、機械工学は未来に向けてさらに飛躍的な発展を遂げようとしています。このような機械工学の全貌を機械工学科の教授および外部講師（ソニー、J R 東海、コマツ）により分かりやすく解説します ※このゼミは 4 月 6 日（月）（全学体験ゼミナール）、7 日（火）（全学自由研究ゼミナール/学術フロンティア講義）6 限（18：45～）7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。						
評価方法		出席およびレポート						
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook						
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2020 年 04 月 10 日 2 限／2nd Period						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31707	S	公認心理師の職責	石垣 琢磨	心理・教 育学	金 2	2.0	166 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		2017 年に公認心理師法が施行され、国家資格「公認心理師」が誕生することになった。公認心理師は、「医師」「教師」「薬剤師」等と並ぶ重要な国家資格であり、人文系ではほぼ唯一の本格的な国家資格である。資格者は心理学の知識にもとづいた仕事をする。働く場所は、病院、学校、福祉施設、司法施設、企業など 5 分野である。 公認心理師の資格を得るためには、大学で必修の 25 科目を履修して卒業し、大学院で必修の 10 科目を履修して修了し、国家試験を受けなければならない。 ●本科目『公認心理師の職責』は公認心理師の必修科目なので、公認心理師の資格を希望する者は必ず履修すること。 また、公認心理師の説明会も兼ねるので、関心のある者はこの科目を履修してほしい。						
評価方法		試験とレポート						
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 公認心理師エッセンシャルズ 著者（訳者） 子安増生・丹野義彦 出版社 有斐閣						
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31695	S	「調査でみる社会、歴史、アジア」	遠藤 基郎	史料編纂所 ・東洋文化研究所 ・社会科学研究所	金 5	2.0	115 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		本講義は、学部教育の総合的改革の一つとして、本郷地区キャンパスに設置された社会科学研究所、史料編纂所、東洋文化研究所の本郷文系研究所が連携・協力して開講する、学部前期課程 2 年生を対象とした、研究疑似体験型の講義である。 3 研究所の教員が、それぞれの分野の研究者の立場から、調査とは何か、なぜ調査を行うのか、調査を解釈する上で大切なことは何か、といった問いについて解説する。具体的には各研究所で実際に研究をしている調査事例や調査対象などに直接・間接に触れることで、調査を行う上での基本と醍醐味を学ぶ。 講義を通じて、受講者は後期課程進学後のあらゆる専門教育で必要とされる、調査に関する心構えや基本的な技法（「調査研究リテラシー」）を身につけることを目的とする。文系、理系を問わず、将来研究者となることに関心を持つ学生にとって特に有益な授業である。 【参考 3 研究所の概要】 史料編纂所： 古代から明治維新期に至る前近代日本史史料に関する研究所。史料編纂事業の歴史は古く、塙保己一が江戸幕府の援助を得て創設した和学講談所にまで遡る。附置研究所としては 1949 年に設置。国内外に所在する各種史料の蒐集と分析を行い、これを史料集として編纂・公開する研究事業を通じ、広く日本史研究に寄与することを目的とする。 東洋文化研究所： 「東洋文化に関する総合的研究」を目的として、1941 年に創設されたアジアに関する専門研究所。調査の対象は研究者によって多様だが、アジア全域にわたるそれぞれの対象地域について、資料調査と現地調査に基づき、政治、経済、宗教、歴史、考古、文学、美術など、さまざまな角度から、日々精力的に研究を進めている。 社会科学研究所： 敗戦後の東京大学再生のための最初の改革として、南原繁総長（当時）のイニシアティヴによって 1946 年に設置。戦時中の苦い経験の反省のうえにたち、「平和民主国家及び文化日本建設のための、真に科学的な調査研究を目指す機関」として構想された。法学・政治学・経済学・社会学の 4 つの社会科学のディシプリンを総合して研究を進めている。 出席状況とレポートの内容によって、可否の評価を行う。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2020 年 04 月 10 日 5 限／5th Period 駒場キャンパス未定						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31705	S	30 年後の世界へ——「世界」と「人間」の未来を共に考える	石井 剛	中国語	金 5	2.0	K011	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		「グローバル化」は新たな段階を迎えつつある。人・モノ・情報のボーダーレスな移動によって生じたさまざまなコンフリクトは、人類が近代に達成したさまざまな価値や制度に揺さぶりをかけている。これに拍車をかけるのは、第四次産業革命とも言われる新たなテクノロジー社会の到来であり、気候変動を核心とする人類と地球生態系のサステイナビリティの危機であり、医療・生命技術の発展がもたらした生命のボーダーレス化である。 いったい、わたしたちがいま生き、これから向かおうとしている世界はどのようなすがたをしているのだろうか。これまでそうだと思っていた世界の分節が機能不全を呈しつつある時、わたしたちはもう一度、わたしたちが生きる「世界」そのものを問い直し、新たな「世界」像を構築するための想像力を開放する必要がある。そのことは同時に、「人間」に対する再定義をも迫っている。現在の人間は、自然とのつながりだけでなく、機械や情報ネットワークなどの人工物とのつながりのなかではじめて人間たりえている。人種、民族、ジェンダー、階級、個人、健康、生死、環境、技術、制度などなど、人間を構成する諸条件を現代的状況のなかで問い直すことは、新しい世界像を構築することと切り離すことはできないはずだ。」（「世界人間学宣言」座談会アジェンダより） これは、駒場の教員たちが集まって 2019 年 12 月 9 日に開催された「世界人間学宣言」座談会の開催趣旨文の一部です。ここ東京大学駒場キャンパスは、リベラルアーツを旗印として、学問分野の垣根を越えながら広く「問う」ことにおいて、智慧への愛好（philosophia）を共にする場です。人類史的な、否、地球史的な大きな転換点にあるいま、「世界」と「人間」を問い直すことは、わたしたち人類の智慧によって希望を切り拓くために不可欠な課題です。これは同時に、既存の学問の前提を取り外すことをわたしたちに要求しています。駒場はこうした要請に応えうる、世界にも稀な場であると言えるでしょう。なぜなら、そこには東京大学に入学したばかりの前期課程生がすべて集まり、三千人を超える学生の一人ひとりが、それぞれに相応しい専門の学問を見出す前に、アカデミックに生きるための技法（アート）として、「問う」姿勢を身につけることを約束されているからです。問うことの自由を手し、渾沌とした世界に働きかけ、新たな学問を切り拓くこと、それが駒場の教養教育の役割であり、駒場に課せられた時代の要請なのです。言い換えれば、わたしたちの駒場キャンパスは前期課程のみなさんと共にあることによって、学問のフロンティアに立ち続けています。フロンティアならではの喜びを分かち合いながら、希望の未来像についてみなで共に考えること、それが駒場における研究教育の意義にほかなりません。 この授業では、それぞれの研究分野の第一線で活躍している研究者が順番に登壇しながら、わたしたちの未来を考えるための「問い」をひらきます。テーマは「30 年後」ですので、そこに明確な答えは用意されていません。しかし、答えのない「問い」を問う姿勢こそが、この時代を覆うさまざまなチャレンジに応じるためのパスポートにほかならず、駒場で学ぶわたしたちの特権であると言えます。 この授業を主催するのは、東京大学東アジア藝文書院（East Asian Academy for New Liberal Arts, EAA）です。EAA は「東アジア発のリベラルアーツ」を標榜し、東アジアという土壌の上に新しい研究教育のプラットフォームを構築し、今後の世界における新しい大学のあり方を提示することを目指しています。 共に未来を考えたい学生さんたちの参加を大いに歓迎いたします。						
評価方法		毎回の授業で課されるリアクションペーパーによって評価します。						
教科書		授業中に指示をする。／Will specify at class time						
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						
		2020 年 04 月 10 日 5 限／5th Period						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31625	S	スタートアップ・ワーク ショップ（駒場）	長藤 圭介	工学部	集中	1.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	アイデアの発想力の向上と一緒にプロジェクトをする仲間探しを目的とし、ビジネス・メディアアート・社会課題解決 のスタートアップのアイデアをグループで発想・発表・投票するアイデアソン形式のワークショップを行う。 ソニー・東大社会連携講座の一環で、多様な所属・年次の学生が参加し、スタートアップ関係者やアイデアを募集する企業人が企画・進行する。 5,6 限に駒場・本郷・他大で不定期に 7 回程度開催予定、3 回以上参加することで単位が付与される。ここで、本気で実践したいと思うプロジェクトを生み、社会連携講座のオーディションへのエントリーに繋げることが望ましい。 ※このゼミは 4 月 6 日（月）（全学体験ゼミナール）、7 日（火）（全学自由研究ゼミナール/学術フロンティア講義）6 限（18：45～）7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。							
評価方法 教科書 ガイダンス	ワークショップへの参加状況 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2020 年 04 月 08 日 5 限／5th Period21KOMCEE East K214 教室							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31645	S	海研究のフロンティア I	早稲田 卓爾	工学部	集中	2.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	本講義は、東京大学海洋アライアンスを構成する教員による、駒場キャンパス、本郷キャンパス、柏キャンパスの実験施設の見学と講義を通して、海洋研究の最先端に触れることが目的である。例えば、海中ロボットの実験施設、船体運動を計測する大水槽、海洋生物などを研究する施設、洋上風車の研究をする施設、海洋の流れのメカニズムを解明する実験装置などを見学することができます。 講義に関する追加情報は、以下に記載されます。 http://www.oa.u-tokyo.ac.jp/ ※ガイダンス：4 月 13 日（月）6 限に駒場 1 号館 104 教室で行う。 ※このゼミは 4 月 6 日（月）（全学体験ゼミナール）、7 日（火）（全学自由研究ゼミナール/学術フロンティア講義）6 限（18：45～）7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。							
評価方法 教科書 ガイダンス	出席および講義アンケート 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time 2020 年 04 月 13 日 6 限／6th Period 駒場 1 号館 104 教室							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31807	S	彫刻演習－見方の角度を 考える	加治屋 健司	芸術創造 連携研究 機構	集中	2.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。 概要： 彫刻は目の前の現実と直面することから制作を始めるメディアである。始める為には何がどの様に現れていて、それを個人がどの様に見てしまったのかを実感として認めた上で、その実感を疑うことが必要である。認めることと疑うこと、その果てしない、のっぴきならない作業の果てに残された物体が彫刻ではないだろうか。認め、疑い、残されたものを受け容れる...ことから始める。この彫刻的作業を、いくつかの彫刻制作の演習－見方の角度を考えることから体験してもらおう。 目標： 制作を通じて、彫刻制作の方法と思考を学ぶ。 彫刻を、彫刻とは別の領域、社会に展開／活用する為の方法を学ぶ。 実制作者の視点による彫刻／立体表現の変遷について学ぶ。 本授業は富井大裕（美術家・武蔵野美術大学准教授）が担当する。 試験はおこなわず、各課題への取り組みかたを評価の対象とする。 段階的に課題／制作を進めていくので、4日間全てに参加してください。 授業の目標上、所謂、職人的な技術の達成（例：綺麗に仕上げる）は評価の対象にはしません。 評価方法 教科書 ガイダンス 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31813	S	スタートアップ・トレーニング（駒場）	長藤 圭介	工学部	集中	1.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 アイデアの価値検証スキルの体得と学生のアイデアのブラッシュアップを目的とし、Value Proposition Canvas や顧客インタビュー、ピッチ法などの座学・演習と、個別メンタリングを行う。 ソニー・東大社会連携講座の一環で、多様な所属・年次の学生が参加し、ソニー社員およびスタートアップ関係者・新規事業創出担当者が企画・進行する。スタートアップ・ワークショップなどで生まれたアイデアの原石をここで磨き、社会連携講座のオーディションへのエントリーに繋げることが望ましい。オーディションへ通過したチームのアイデアを事例に進行することも検討する。 ※このゼミは4月6日（月）（全学体験ゼミナール）、7日（火）（全学自由研究ゼミナール/学術フロンティア講義）6限（18：45～）7号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 評価方法 教科書 ガイダンス 講義への参加状況 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2020 年 04 月 08 日 5 限／5th Period21KOMCEE East K214 教室								

全学自由研究ゼミナール

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31712	S	SDGs を学べる授業を つくろう	網野 徹哉 伊勢坊 綾 中村 長史	教養教育 高度化機構	月 2	2.0	KALS	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 持続可能な開発目標（SDGs）は、ミレニアム開発目標（MDGs）の後継として 2015 年の国連総会で採択され、17 の目標が定められている。MDGs が途上国の貧困削減や社会開発に焦点を当てていたのに対し、SDGs は世界中の国々の経済・社会・環境といったより広い問題を扱うものである。その広さゆえ総花的であるという批判もある一方、多くのアクターを巻き込めるという利点も指摘されている。 この授業では、このような SDGs について高校生が効果的に学べる授業を設計してみることで、SDGs についての自分自身の学びを深めることを目指す。他者に教えることは、本人にとって最も身につく学びとなる。 具体的な到達目標は、以下の通りである。 ①SDGs が作成された背景について説明することができる ②SDGs の意義について説明することができる ③SDGs の課題について説明することができる ④SDGs の 17 の目標について説明することができる ⑤SDGs について学習者の学びを深めるような 50 分間の授業を設計することができる 評価方法 最終成果物＝授業案（50%）、平常点＝議論への貢献（50%） 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31676	S	数理解体力学への招待	米田 剛	数理科学 研究科	月 3	2.0	120 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 この講義では、教養 1 年生程度の予備知識（微積分と線形代数）を前提として、流体方程式研究の重要なアイデアや手法、数学としての乱流研究の考え方を、下記の教科書の輪講を通して学びます。ミレニアム懸賞問題や渦の非線形相互作用の数学解析が主な話題となっています。 なお、履修人数を 20 名程度に制限する予定です。 評価方法 平常点およびレポートにより評価する。 教科書 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 数理解体力学への招待 著者（訳者） 米田剛 出版社 サイエンス社（SGC ライブラリ） ガイダンス 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31616	S	『世界開発報告』を読む	森川 想	工学部	月 5	2.0	115 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 最新版の『世界開発報告』を会読します。講師は開発の専門家ではありませんが、開発を学ぶことは、先進国・途上国を問わず現代社会の課題を見つめることに直結すると考えています。報告そのものや、その根拠となっている文献をクリティカルに読み、議論することで、社会課題解決のために世界各国で行われているプラクティスの可能性と限界や、科学技術（社会科学・自然科学）と公共政策の関係等について考え、見直す機会としていただければ幸いです。 評価方法 議論への貢献 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31656	S	動物細胞研究法入門	高橋 伸一郎	農学部	月 5	2.0	517 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		動物の生命現象を解明しようという努力は、個体の観察から始まったことは言うまでもない。これが組織、そして細胞へと機能の解析が進んだのは、「細胞培養」という技術が開発されたことに依るところが大きい。細胞は、分離して培養することができる生物の最小単位と言われている。これらの細胞を用いて、それぞれの細胞に特異的な生命現象や、普遍的な現象の機構などを検討できるようになったのは大きな進歩である。その後、遺伝子工学技術が開発され、動物細胞に外来遺伝子を導入し高発現したり、内在性遺伝子の発現を抑制したりすることも可能となった。この技術の開発により、細胞レベルで、興味がある遺伝子の機能、これがコードするタンパク質の機能などを調べることができるようになり、細胞生物学的研究が開花した。本講義では、このような動物細胞を用いた研究の原理と手法、実例などを紹介、動物細胞を用いた研究で何ができるのかを知ることを目標とする。						
評価方法		出席と理解度テスト						
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook						
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31667	S	ドイツ筆記体（Deutsche Schreibschrift）入門	石原 あえか	教養学部	月 5	2.0	516 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		最近、高校までの英語授業で筆記体を習ったことがない、したがって書いたこともないという学生が多くなっていると聞きます。しかし近代ドイツ文学（たとえば 18・19 世紀）やその時代の一次文献資料（公文書・書簡等）を扱う歴史学などの分野では、髭文字と呼ばれるドイツ特有の活字「フラクトゥア」や、現在の筆記体どころか、古い筆記体を解読する必要があります。研究には必須の技術ではあるけれど、なかなか通常の授業では教える機会がない、そうした文献学的解読技術の実践的初歩をこのゼミナールでは行いたいと考えています。						
評価方法		平常点（授業への積極的な参加、提出物等を含む）および試験						
教科書		プリントを配布する。／Will distribute handouts						
		書名 HANS IM GLUECK eingerichtet von J. u. M. A. Witt						
		著者（訳者） Brueder Grimm						
		出版社 Insel						
		ISBN 3-458-08530-0						
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31679	S	もう一つの微積分学	阿部 紀行	数理科学 研究科	月 5	2.0	116 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		実数の中に有理数はたくさん入っています。逆に、有理数の「穴を埋める」と実数ができる、ともいえます。このような手続きは完備化と呼ばれますが、この完備化によって得られた実数が、通常の微分や積分などを行う上での舞台となります。ところで、有理数に対して別の完備化を行うことができます。それは各素数 p に対して行うことができ、 p 進数と呼ばれる数を与えます。では、 p 進数の上で微分や積分といった理論を展開することはできるのでしょうか？できたとして、どのようなことが得られるのでしょうか？その一端を垣間見ることにします。						
評価方法		レポートによる。						
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook						
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31704	S	サイバーセキュリティ	宮本 大輔	情報基盤 センター	月 5	2.0	159 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		昨今、社会におけるサイバーセキュリティを脅かす事件や事故が毎日のように発生している。それらがどのような形で発生し、その裏側でどんなことが起きているのかについて、本学の情報セキュリティ教育研究センターの教員、ならびに、ヤフー株式会社からお招きするセキュリティ専門家が、わかりやすい言葉で解説していく。 はじめにセキュリティの概論や総論について、技術・経営・法律・人材育成などの観点から解説する。その後、セキュリティの最新のトレンドを形成している分野（オリンピック関連、AI、Fintech 等）や、サイバー社会の多種多様なサービスと、セキュリティとの関係を解説する。それぞれの分野とセキュリティがどのように関係し、安心・安全なサービスを提供するためにどのような努力がなされているのかについては、企業（Yahoo! JAPAN）の現場の事例を基に、リアリティのある話題を、わかりやすく解説していく。 授業は講義形式で実施し、毎回提出する講義レポートにより成績評価を行う。						
評価方法		講義レポートによる						
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31713	S	模擬国連で学ぶ 国際関係と合意形成	網野 徹哉 中村 長史	教養教育 高度化機構	月 5	2.0	KALS	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		国際社会で生じる問題は、自然現象ではなく社会現象である以上、一人一人の力によってわずかながらでも良くすることもできるし、さらに悪くしてしまうこともあります。履修者の皆さんには、この点を意識し、自分の頭で国際問題の解決策を考えられるようになってほしいと考えています。 この授業では、「模擬国連会議（Model United Nations）」というアクティブラーニングの手法を用いて、国際問題の解決法を考えます。多様な利害・価値観に配慮することの重要性を理解するには体感してみることが早道ですが、模擬国連会議では、一人一人が米国政府代表や中国政府代表などの担当国になりきって国際問題について話し合います。立場を固定されている点ではディベートと同様です。しかし、相手を論破することで勝利を目指すディベートと異なり、模擬国連会議では合意形成が目的であるため相手の利害・価値観を尊重したうえでの妥協が重要になります。この点を重視し、授業内では対立の激しい議題・担当国を設定して、ロールプレイとシミュレーションに取り組みます。 2019 年度 A セメスターに続き、二度目の開講となります。 具体的な到達目標は、以下の通りです。 ①国際問題の構造や原因を説明できる【中間レポートで評価】 ②国際問題をめぐる多様な立場（利害・価値観）を説明できる【中間レポートで評価】 ③国際問題の解決・管理における妥協の重要性を説明できる【中間レポートで評価】 ④国連の資料を自ら調べて国際問題の分析に用いることができる【期末レポートで評価】 ⑤国際問題の解決策について、選択肢を複数挙げて比較衡量したうえで、妥当と考えられるものを説得的に示すことができる【期末レポートで評価】 ⑥模擬国連会議の教育手法としての特徴を説明できる【期末レポートで評価】						
評価方法		期末レポート（50%）と、中間レポート（模擬国連会議のふりかえりレポート：25%×2）により、評価します。						
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行く。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31714	S	平和のために 東大生ができること	岡田 晃枝	教養教育 高度化機構	月 5	2.0	K402	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		戦争を知らないどころか、核戦争に巻き込まれる危険が真剣に議論されていた冷戦すら過去のものとなってから生まれた世代は、戦争体験や被爆証言をどのように受け継いでゆけばよいのか。特定の国民・民族・個人の歴史証言を記録する意味とは何か。そしてそれは世界の平和に寄与するものたりえるのか。このゼミでは軍縮と平和について、感情論に陥らず、イデオロギー色をできるだけ排して、学び合い、語り合う。 今学期は、SDGs（持続可能な開発目標）の Goal16「平和と公正をすべての人に」をテーマに、中央アジア諸国を事例として、ソ連からの政治・経済・社会の移行期に生じた（あるいは生じている）さまざまな問題を「体制移行国の課題」として取り上げる。関連する文献を多数読むほか、映像資料なども利用する。なお、A セメスターに中央アジアの国への国際研修を出講する可能性があるため、それに参加したい学生は、この授業を履修しておいてほしい。						
評価方法		授業への貢献度による						
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31708	S	実践的プログラミング	金子 知適	情報・図形	月 5	2.0	E38 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		プログラミングによる問題解決では、与えられた問題に対して、計算時間を見積りながら適切なアルゴリズムを考えることと、それをプログラムとして実現することの両方が必要となる。本授業では「国際大学対抗プログラミングコンテスト」などに出題された問題を題材として、アルゴリズムを考えてプログラムを作る能力を実践的に養うことを目指す。プログラミングの経験を受講の前提とする。詳細は http://www.graco.c.u-tokyo.ac.jp/icpc-challenge/ を参照のこと。						
評価方法		演習問題の解答状況およびゼミへの参加状況によって評価する						
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31716	S	Comparative Study of Immigrant Education	高橋 史子	教養教育 高度化機構	火 2	2.0	K303	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 <Objectives of this course> Students will • Receive an overview of immigrant children and education globally, • Learn the basic sociological concepts and theories relevant to immigrants and education, • Learn the educational policies, practices, issues, etc., about immigrants in several countries and areas such as the US, France, Germany, the UK, Australia, Canada, Japan, South Korea, Singapore, Taiwan, etc., and • Compare and contrast the educational policies, practices, issues, etc., concerning immigrants in certain counties in a group research project. Examples of topics for group research: Education and [Integration policy, nationalism, citizenship, gender, social class, parental or educational strategy, language, acculturation, academic achievement, identity etc.] <Expected outcomes of this course> Students will be expected to • Explain the current flow of immigrants, focusing on a few countries, • Explain the basic sociological concepts and theories relevant to immigrants and education, • Participate in and contribute to group work in a comparative study of the education of immigrants, • Present the outcomes of group research in class, and • Participate in and contribute to class discussions, comparing educational policies, practices, issues, etc., concerning immigrants in certain counties. 評価方法 •Review Work (20%) Students will be expected to take a few quizzes to review the contents discussed during class every week. Comments and questions will be welcomed. 教科書 •Group Research Presentation (40%) by Lecturer (15%), by TA (15%), by other groups (10%) . ガイダンス 授業中に指示をする。／Will specify at class time 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2020 年 04 月 07 日 2 限／2nd Period								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31694	S	「洛中洛外図屏風」を 読む—中・近世の京都 の都市景観と都市生活	及川 亘	史料編纂所	火 3	2.0	1105 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 現代人の生活はしばしば「都市的」と形容される。生活の都市化によって、われわれは都市を基軸とする社会的分業がもたらす様々な日常の便利さや快適さを享受するとともに、都市ならではの問題にも直面する。日本列島で初めてそれらを民衆レベルまで含めて体験することになったのは、中世の人々であると言ってよいだろう。本授業では、16 世紀前半から 17 世紀前半の京都を描いた「洛中洛外図屏風」を素材として、そこに描かれるものを一つ一つ読み解きながら、中世から近世に至る都市景観の変化や、都市に住む人々の生活のあり方について考える。 評価方法 授業内での報告と授業への参加度により評価する。 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31814	S	現代中東基礎講座 I	鈴木 啓之 高橋 英海	地域文化 研究専攻	火 4	2.0	1311 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 【授業の目的】 この授業では、現代中東の諸相を横断的に学び、現代社会を理解するための基礎教養を身につけていきます。 【到達目標】 (1) 中東地域で起きた出来事について、具体例を3つ以上挙げて説明することができる。 (2) 中東地域での事象を事例として、自らの意見を述べることができる。 (3) 関連する3点以上の言葉を、因果関係で結びつけて整理し、示すことができる。 (4) 任意のテーマについて、関連するキーワードを3点以上用いて論述することができる。 (5) 自らの関心に引きつけて、中東地域の具体的な事象を論じることができる。 (6) 中東地域に関わる任意のテーマに関して、自ら参考文献を調べ、まとめることができる。 評価方法 ・以下の3点の項目から評価します（ボーナス課題については別途加算されます） 1. グループワークへの参加（50%：達成目標の1、2に対応） 2. ミニテスト（15%：達成目標の3に対応） 3. 学期末プレゼン（35%：達成目標の4、5、6に対応） ・適宜ボーナス課題（各5点）があるので、欠席した場合や理解を深めたい方は参加してください（特に就職活動などで欠席が予想される場合は利用するようにしてください） 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2020 年 04 月 07 日 4 限／4th Period								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31673	S 1	プロジェクト志向の翻訳と MT「実用化」時代の 翻訳者コンピテンス	影浦 峯	教育学部	火 3, 火 4	2.0	E39 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 2016 年に Google が日本語に関わるニューラル MT を公開して以来、MT の実用性に関して（ほとんどの場合特に取るに足らない）議論がなされてきた。一方、翻訳論の領域では、翻訳者に必要なコンピテンスの概念が外在的に定式化される傾向にあり、それと翻訳の品質管理の関係も議論されている。本ゼミナールでは、プロジェクト志向の翻訳（実際のプロによる翻訳の大部分はプロジェクトとしてなされる）に必要な翻訳コンピテンスの概要を理解し、入門的にその一部を体験する。 ※履修人数を 20 名に制限する 評価方法 (1) 授業への参加度、(2) 簡単な課題、(3) 翻訳実習の結果、の 3 点から総合的に評価する。 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31614	S	Medical Biology 入門	尾藤 晴彦	医学部	火 5	2.0	K113	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 Medical Biology 入門：生命現象から病気の治療へ 多様な医学研究 当講義は、文系理系を問わず全科類の学生に向けて、医学部の教員によって行われる講義である。本学医学部では、「解明されていないこと、解決法が求められていることに対して新しい医学を発信する」、すなわち広い意味で医学研究を推進する人材の育成を目指している。本講義はその一環として行われる。 近年、人工知能や IoT を用いた病気の予知、iPS 細胞による病態解明、免疫チェックポイント阻害剤を用いたがん治療やロボットを用いた精密な手術など、医学研究の発展とそれに向けられた興味は学際的で多岐にわたる。実はそれらの情報の背後には長年にわたる地道な基礎研究の積み重ねがあるが、そこに携わる研究者から直接研究についての考え方やより深い背景を学ぶ機会は驚くほど限られている。高校まではこうした最先端の医学研究を研究者自身が深く紹介するカリキュラムはほとんどなかったのではないだろうか。そこで将来多方面で活躍するだろう本学のみなさんに、この大学の医学系研究科で行われているこれらの研究活動についてなじみを持ってもらいたいと考え、本講義を企画した。 評価方法 本授業は出席と提出するアンケートの記入内容で成績評価を行う。 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2020 年 04 月 07 日 5 限／5th Period								

全学自由研究ゼミナール

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31631	S	物理学汎論	沙川 貴大	工学部	火 5	2.0	K114	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		物理学は、力学、熱力学、電磁気学、量子力学、...等といくつもの科目にわけて講義されることが多いが、実際は人類の膨大な思考の積み重ねによって、一つの統一された学問を形成している。そこで本講義では、歴史と最新の発展をふまえて、物理学の全体像を三部構成で俯瞰することを目標とする。 まず第一部では、相対性理論を解説する。時間の遅れやローレンツ収縮などの不思議な現象を通して、時空や対称性といった物理学の基本的な考え方を学ぶ。 第二部では、「光子」を題材にして量子力学をゼロから学び、ミクロな世界の物理法則が如何にマクロな世界とは異なっているかを議論する。さらに、量子暗号や量子テレポーテーションなど、量子力学の性質をフル活用した最先端の量子情報技術の紹介を通して、量子力学をより深く理解することを目指す。 最後に第三部では、統計力学について解説を行い、マクロな自然現象がミクロな粒子の集団的振る舞いによってどのように記述されるかを述べる。さらにフェルミ粒子やボーズ粒子といった異なる統計性をもつ粒子の集団的振る舞いの違いを示すことで、低温状態で現れる超伝導や超流動といった多彩な物性の発現を理解することを目指す。						
評価方法 教科書 ガイダンス		レポートによる。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31652	S	考える力を養う／ コントラクトブリッジ	浅井 潔	理学部	火 5	2.0	114 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		本ゼミナールでは、コントラクトブリッジの基礎を初歩から学び、簡単にプレイできる実戦経験を身につける。さらに、判断力、分析力を駆使し、確率を見積って最適なプレイを選ぶ考え方を実践を通じて身に着ける。 コントラクトブリッジは、カード（トランプ）を使用して行う競技であり、チェス、囲碁、将棋と共に頭脳スポーツと呼ばれている。世界中に愛好者があり、ブリッジの国際組織（WBF = World Bridge Federation）には100か国以上が加盟している。担当教員は日本リーグ1部でプレイした経験を持つ上級者である。本授業は公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟の協力を得る。						
評価方法 教科書 ガイダンス		合格・不合格：宿題の成績、ゲーム達成度および授業への出席実績に基づいて行う。 その他。／Other その他 Web ページ及び無料学習用ソフトを使用 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2020 年 04 月 07 日 5 限／5th Period114 教室						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31654	S 1	微生物研究の最前線 ～東大生が学んで おくべきこと～	石井 正治	農学部	火 5	1.0	515 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		食品、医療、環境、農業分野など、微生物は私たちの生活と密接に関わっています。本講義では、本学大学院農学生命科学研究科に所属する若手教員が、それぞれの専門分野における微生物研究に関して最先端のトピックスを紹介し、諸々の最先端手法を駆使して、多様な微生物についてどのような研究が行われているかを知る絶好の機会となることを請け合います。 履修の制限はありませんが、微生物に興味を持っている学生諸君の積極的な履修を期待します。						
評価方法 教科書 ガイダンス		各回、講義の内容をまとめたレポート（A4 用紙、1-2 枚程度）等を ITC-LMS 経由で提出してもらいます。 レポート、出席などを総合的に勘案して、成績評価を行います。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2020 年 04 月 07 日						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31677	S	無限次元ヒルベルト空間 の初歩を学ぶ	下村 明洋	数理科学 研究科	火 5	2.0	108 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		前期課程 1 年生対象の線型代数学では、線型空間（更に、計量線型空間（内積空間））について学習すると思われる。線型代数学で学ぶ線型空間は、次元によらずに導入される概念を除いて、殆どが有限次元の場合である。 この授業では、無限次元ヒルベルト空間（或いは、もう少し一般に、無限次元バナッハ空間）の初歩について、それに関する基礎的な文献を受講生が輪講形式で発表する事によって学ぶ。無限次元のヒルベルト空間やバナッハ空間とそれらに於ける線型作用素の理論は、関数解析と呼ばれる分野であり、フーリエ解析、関数空間論、偏微分方程式論、確率論等を学ぶ際に必須であると考えられる。関数解析は、解析学（微分積分学を発展させた分野）の範疇に属する。現代の解析学では、無限次元の関数空間の知見が不可欠と考えられる。また、量子力学は、数学的には可分無限次元ヒルベルト空間の枠組みで定式化される。無限次元の有用性や有限次元との違い（難しさ）を理解するのが目標である。この科目では、受講生による日本語での発表形式で行うので、関数解析の内容の理解とともに、発表内容を他の人に説明する能力を身に付ける事も目標とする。 この科目の履修には、極限や関数列の一樣収束等の厳密な微分積分学の基礎と、学部 1 年レベルの線型代数学の基礎を理解している事が前提である。前期課程科目である事から、ルベグ積分論の理解までは仮定しない。2 年生を想定して開講しているが、1 年生でも前提とする能力があれば受講可能である。 この科目は授業形態の観点から少人数で行うのが望ましいので、履修希望者が多数の場合には、選抜を行う事がある。詳しくは第 1 回の授業で説明するので、この科目の履修を検討している人は必ず第 1 回の授業に出席すること。						
評価方法 教科書 ガイダンス		発表内容や授業への取り組み状況等で評価する予定である。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31685	S	作曲・指揮	伊東 乾	学際情報学府	火 5	2.0	学際交流 ホール	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		作曲：自作あるいは既存の楽曲を弦楽四重奏等に編み、助演指導者（東京藝術大学学部在学学生等）と実演検討する。指揮：P.ブーレーズと伊東の Angular Dyniamics に機械学習処理を導入した Spectral Cobducting の基礎を扱う。						
評価方法 教科書 ガイダンス		実習参加を前提とする。附随して小レポートなど。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31687	S 1	豊かな人生設計に必要な 金融リテラシーを学ぶ ～実務の最前線で奮闘する 官僚が語る～	湯山 智教 仲 浩史 三井 秀範	公共政策大学院	火 5	1.0	522 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		人生 100 年時代の到来や、ライフスタイルの多様化など、私たちを取り巻く環境は大きく変化しつつあります。加えて、FinTech の台頭や、低金利環境の長期化など、現在の金融をめぐる状況も急速に変化しています。こうした中で、豊かな人生を送る上では、金融についての正しい知識（金融リテラシー）を身に付け、安定的な資産形成を行っていくことの重要性が以前にも増して高まっています。 本講義では、金融庁の現役官僚をゲストスピーカーとして招き、昨今の経済社会や金融をめぐる環境変化を踏まえながら、私たち一人一人が豊かな人生を送る上で知っておくべき金融リテラシーについて講義を行います。具体的には、ライフプランニング、資産形成、保険、FinTech、暗号資産（仮想通貨）といったテーマを扱うことを予定しています。 文系・理系を問わず、金融リテラシーに関心のある学生の皆さんの幅広い参加を期待しています。						
評価方法 教科書 ガイダンス		授業への参加及び毎回の授業実施時にとるアンケートにより評価します。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31696	S	生命科学の最前線	岡田 由紀	定量生命科学 研究所	火 5	2.0	115 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		定量生命科学研究所で行われている研究を題材に、その分野の歴史や最新の知見を講義形式で紹介する。 出席 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31802	S 1	社会を知る、自分を知る	岡本 佳子	教養教育 高度化機構	火 5	1.0	516 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		本授業は「教養学部生のためのキャリア教室」の一環として、学外機関と連携しながら様々な社会課題やミッションにチームで取り組む授業です。2020 年度 S1 タームは財務省からの協力を受けて、国内外の財政や経済を学び、政策立案を体験する授業を行います。自身を取り巻く社会の一端を垣間見ること、自分の立ち位置や今後の人生を考えてみるのが最終的な目的です。オプションとして関係機関の見学や連携先の職員の方々との懇談の実施も予定しています。						
評価方法		前提知識は不要ですが予習を前提に授業での議論を行いますので、受講者には積極的な準備や参加が期待されます。 テーマ（予定）：政策立案を学び、日本の将来を考える 現在、日本の経済・社会構造はかつてない変化を遂げており、次世代を見据えると、社会保障制度、国と地方のあり方等、様々な制度について改革が求められています。同時に世界経済の情勢も日々刻々と変化し、国際社会との関わりも新しいフェーズに入っています。そうした中、それらの構造変化への処方箋が「政策」になります。本講義では、日本の将来を考えつつ、どのように対応していくか、政策立案の体験もしながら、各政策分野の視点を学習します。						
教科書 ガイダンス		全ての授業出席を前提に、授業参加度（予習状況や課題状況を含む）、最終プレゼンテーションを総合的に評価し、合否判定を行います。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31803	S 1	国連と文化 1	井筒 節	教養教育 高度化機構	水 3	1.0	K214	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		戦争の惨害から将来の世代を救い、全ての人の人権と尊厳を守り、一層大きな自由の中で社会的進歩と生活水準の向上を促進する決意のもとに創設され、2020 年に 75 周年を迎える国連。 国連教育科学文化機関（UNESCO）憲章に「戦争は人の心の中で生れるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」とあるように、国際社会では、これまでの軍事・経済・政治を中心とした視点に加え、人間の心のウェルビーイングに目を向けた国際的パートナーシップの必要性に注目が集まっています。 人々の心に働きかけるためには、文化や芸術が大きな役割を担います。よって、この授業では、国連システムの基礎や、2030 年までの国際優先事項である「持続可能な開発目標（SDGs）」について学びながら、心の交流や文化・芸術の力に注目した、未来志向の国際協力について考えます。 ＊この授業は、S2 タームの集中講義として行われる「国連と文化 2」（夏休み期間中の約 1 週間、国連ニューヨーク本部にて実施予定）の事前準備および選考を兼ねます。ニューヨークでの集中講義に参加を希望する者は必ず初回ガイダンスに参加し、極力この授業を履修すること。ニューヨークでの集中講義を履修する予定のない者も、この授業の履修を歓迎します。						
評価方法 教科書 ガイダンス		授業への参加とレポートにより評価を行います。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31793	S	問題解決のための思考法	宇野 健司	学生による 全学自由研究 ゼミナール	水 4	2.0	K211	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 通称「宇野ゼミ」。大手シンクタンク（調査研究機関）の現役プロフェッショナルによるMBA（ビジネススクール）形式のディスカッション授業です。企業の組織論・経営戦略論、個人のキャリア形成など実践的なテーマを取り上げます。ディスカッションを通じ、「自分の意見を堂々と表明する」「他人の意見を尊重し、誠意を持って傾聴する」「批評・批判よりも、問題解決型の前向きな意見交換を行う」「柔軟かつ適切に議論をまとめる」など、社会人になってからも必要なコミュニケーション・スキルを育成します。 また講師の体験談（海外大学院MBA留学、専門スキル習得、就活、転職など）をもとに、「将来のキャリアをどう築いて行けば良いのか？」などについても、現実的なアドバイスをします。 授業の目的は、 （1）ディスカッション・スキルを身に付けること （2）自分のキャリアについて考えること （3）講師・クラスメイトから刺激を受け、意識を高め、将来に向けてより自発的に行動できるようになること 一定の問題意識を持った意欲的な学生の参加を希望します。 （双方向でのディスカッション授業の性質上、例年、講師・クラスメイトがとても親密になり、授業外でも友好的なコミュニケーションとして、卒業後も存続している状況です。） 履修希望者が定員（30名）を超える場合が多いので、第一回授業日に必ず参加するようにしてください。出席した学生を優先します。 評価方法 授業への参加度による評価（テスト、レポート等の提出はありません） 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2020 年 04 月 08 日 4 限／4th Period 教室内								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31649	S	最新の宇宙像	河野 孝太郎	理学部	水 5	2.0	121 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 近年、宇宙観測の技術は急速に発展を遂げており、私達人類が持つ宇宙像は、大きく塗り替えられている。最先端の宇宙観測とその成果を、理学系研究科附属天文学教育研究センターに所属する様々な分野の専門家がわかりやすく紹介する。天体現象だけでなく観測の手法についての解説も行う。天文学の知識を系統的に与えることが目的ではなく、多様な宇宙の姿やその観測技術・研究手法に興味を持ってもらい、科学的な思考方法に慣れてもらうことに主眼をおく。 レポートにより評価を行う。 評価方法 レポートにより評価を行う。 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31655	S	昆虫と節足動物の生物学	松尾 隆嗣	農学部	水 5	2.0	166 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 「昆虫採集」や「夏休みの自由研究」、あるいは「ファール昆虫記」といった接点で昆虫や節足動物に子供のころ親しんだ経験を持つ人も、その後は疎遠になってしまうことが多いのではないだろうか。昆虫と節足動物は種数で動物全体の約 8 割を占めるグループであり、生態系で果たす役割や人間の社会に及ぼす影響はおそらく皆さんが考える以上に大きい。東大農学部では多くの研究室で昆虫や節足動物を対象にした研究が行われている。本ゼミナールでは、実際に昆虫や節足動物を扱っている農学部の教員がそれぞれの専門分野からトピックを紹介する。大学 1・2 年生にとっては高度な内容を含むこともあるが、昆虫と節足動物がいかに多様な観点から注目され研究されているのかを学んでいただきたい。予定している各回のトピックは以下の通り（変更する可能性があります）。 ・昆虫の闘争行動 ・遺伝子組換え昆虫による害虫防除 ・環境保全型水田の豊かな節足動物群集：害虫―天敵―ただの虫 ・昆虫に学ぶオスとメスの生物学 ・農業をする昆虫：養菌性キクイムシ ・幼虫は、変態することをいつどのように決めるのか？ ・次世代の養蚕 ・害虫管理に対する昆虫の多様な進化的応答 ・昆虫ウイルスとバイオテクノロジー ・昆虫における匂い・味・フェロモンの受容体 ・クモ類の生態と進化 ・昆虫の生殖隔離とその進化 ・昆虫の個体群分化と種分化 また実際の体験を通して理解を深めるために、弥生キャンパスの昆虫・節足動物関係の研究室を巡る見学会と、西東京キャンパス（演習林・農場）での昆虫野外調査の体験実習を企画している（それぞれ参加希望者が一定数を超えた場合に実施）。 原則として、1 回目の授業（ガイダンスを含む）に参加した人のみ履修を認めます（2 回目以降からの履修を認めない）。事情により 1 回目の授業に参加できない場合は「事前に」担当教員から許可を得てください。履修希望者が多数になった場合は、何らかの方法により選抜することがあります。 評価方法 出席および受講態度で成績を評価する。受講態度を評価する目的で不定期に小テストを実施する。 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31690	S	危機対応の社会科学	飯田 高	社会科学 研究所	水 5	2.0	516 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 社会科学研究所の全所的プロジェクトとして実施してきた「危機対応の社会科学」（略称・危機対応学）についてオムニバス形式の講義を行う。危機対応学は、社会に発生する様々な危機（クライシス）および社会そのものの危機的状況と、それに対する社会や個人の対応のあり方について、社会科学の観点から総合的に考察する新たな学問を目指している。講義では、社会における危機の発生と対応のメカニズムの解明であり、同時にそこから「危険（リスク）」を「機会（チャンス）」に転じるための諸条件について、講義参加者と共に考えていく。 評価方法 出席とレポート 教科書 授業中に指示をする。／Will specify at class time ガイダンス 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2020 年 04 月 08 日 5 限／5th Period								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31697	S	現代生物学研究の 独創と創造	堀越 正美	定量生命科学 研究所	水 5	2.0	156 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		現代の学生は将来、自分が研究者、科学者としてどのように人生を生きていくのか、研究の独創や創造はどのように生み出されるのか、また、論理的に考えるとはどういったことなのか等について、まったくと言ってよいほど考えてきていないように思われる。そのような状況を踏まえ、教養学部の中から研究者としての将来を考える志の高い学生に対して、現代生物学研究の現状や研究者のあり方について考える機会を提供したい。 本全学自由研究ゼミナールは、東京大学の授業の中では異色な授業と言われている。考える力、考え抜く力、世界に通用する力、そして独創性を発揮する力を身につけるにはどうしたらよいかと考えている学生、研究者や科学者を目指したい学生、自分の考えを述べ議論するような授業に参加したい人に勧める。						
評価方法 教科書 ガイダンス		出席 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31715	S	多文化社会と教育 —移民の子どもたちを めぐる現状と課題の理解	高橋 史子	教養教育 高度化機構	水 5	2.0	K303	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		<概要> 日本は正式に”移民”を受け入れると発表していないものの、外国人流入数では OECD 加盟国中 4 位であり（OECD, 2017）、実質上の「移民受け入れ国」と言っても過言ではない。また、2019 年春からは単純労働分野への外国人受け入れも拡大された。外国人の定住化・滞在の長期化も進んでおり、日本社会の多民族化・多文化化*は進んでいると考えられる。 民族・人種・文化に関係なく、平等に社会に参加するために教育は重要な役割を果たす。本ゼミは、家庭、学校、地域、労働市場などさまざまな観点から、移民の子どもたちの生活世界に対する理解を深め、多文化社会と教育に関する基本的な概念や理論について学び、日本に在住する移民や難民の子どもたちの教育に関する課題と展望について検討する。 *ただし、日本の多文化社会化は今に始まったことではない。もともと、日本社会にはアイヌや在日コリアンなど、さまざまな民族的・文化的背景を持つ人々が生活してきた。 <目標> ・日本に住む移民の子どもたちについて、出身国、数、渡日背景、移民世代（移民 1 世、2 世・・・）などの基本的な情報を説明できる。 ・家庭、学校、地域、労働市場などを切り口に、移民の子どもたちの生活世界に対する理解を深め、基本的な概念や理論を説明できる。 ・学校や地域における多文化共生に向けた教育的取り組みについて学び、多様性と平等、公正の観点から論じることができる。 ・本ゼミに関連するテーマについて文献購読やフィールドワークを通じて調べ、授業で学んだ知識と結びつけて発表を行う。 ・本ゼミで取り扱ったテーマの中から一つ選び、移民の子どもたちの教育をめぐる現状と課題についてレポートで論じる。						
評価方法		・振り返りフォーム（20%）・・・各回で学んだ知識、概念、理論に関する簡単な復習。疑問点や感想も書いてください。 ・発表（40%）・・・7 月 15 日（水）本ゼミで取り扱ったテーマの中から一つ選び、移民の子どもたちの教育をめぐる現状と課題についてリサーチを行い発表します。教員（15%）、TA（15%）、他の受講者（10%）で評価を行います。評価基準についてはホームページ上のループブックを参照してください。 ・レポート（40%）・・・締切：7 月 31 日（金）オンラインで提出。発表で受けたコメント等を踏まえ、						
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 『移民から教育を考える—子どもたちをとりまくグローバル時代の課題—』 著者(訳者) 額賀美紗子・芝野淳一・三浦綾希子編 出版社 ナカニシヤ出版 ISBN 978-4-7795-1369-5						
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2020 年 04 月 08 日 5 限／5th Period						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31724	S	East-West Interactions and the Formation of Modern Societies	松原 健太郎	法学部	水 5	2.0	1103 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		In the first instance, this seminar discusses how East-West interactions took place in the course of modern history, and how specific processes of interaction shaped modern societies. While starting with some of the epistemological problems of how to conceptualise East and West in the first place, and the implications of such concepts, our main focus will be on the formation of East Asian societies and the problems surrounding the integration of these "modernised" societies into the international order, the latter also undergoing significant change in this process. Topics will include: the dichotomies between (what are deemed) universal values on one hand and traditional social institutions on the other; the uneasy relationships between "modernisation" "westernisation" and "colonisation" in these societies; intellectual attempts to categorise and compare different civilisations; and how Myth, Memory and History are manipulated and recycled in such attempts. At a slightly deeper level, we aim to delve into some of the central issues related to how a student (or future graduate of this university) might form her/his intellectual identity as an individual who: a) was educated in a Japanese university, becoming part of Japanese society in the process; but b) wishes to operate in a global context, primarily (for better or for worse) in the English language. In this latter context, it will often fall on that future graduate to explain aspects of Japanese (or perhaps more widely East Asian) cultures and societies, and this will have to be done using a relatively universal language of concepts and categories, originating in European thought. In this seminar we will attempt to understand both the historical experiences of East Asian societies and the implications of the formation and existence of such a language.						
評価方法		Students will be evaluated on the basis of participation in class and a final report, to be written on a topic agreed upon by the student and instructor.						
教科書 ガイダンス		授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31815	S	現代世界のグローバル化とメディア	高山 博	文学部	水 5	2.0	518 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		グローバル化と情報化が急速に進展する中、世界の構造も日本の社会やシステムも劇的に変貌しつつある。国内外で活躍する人材には、国外の情報を的確に選別・分析し、世界の中における日本の位置や、世界全体の動きを冷静に見通す能力がますます必要とされている。この授業では、国外のメディアから出される情報を検討しながら、現代世界のグローバル化を考察する。変革期を乗り越え、グローバル化した世界でリーダーシップを発揮できる人材となるために必要な知識の獲得と情報分析技術の取得を目指す。 最初の授業で、受講者をヨーロッパ地域、アメリカ地域、アジア・アフリカ地域の三つのグループに分け、毎週各グループから一人ずつ、その担当する地域に関する重要な記事（日本語以外の新聞・雑誌からのもの）の報告と分析を行う。選考を行うので、氏名、学生証番号、学年、科類、連絡先（メールアドレスなど）とともに、受講希望理由を A4 サイズの紙一枚にまとめ、最初の授業に持参すること。 ※履修人数を 18 名に制限する。						
評価方法		授業での報告・ディスカッションを基に評価する。						
教科書 ガイダンス		授業中に指示をする。／Will specify at class time 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31717	S	20 年先輩のリアルを 知りにいく -きくこととつたえることの ワークショップ	高橋 史子	教養教育 高度化機構	水 6	2.0	K303	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 ゲスト講師 浅利雅士（楽天株式会社） ～2003 年東京大学教育学部卒。数社での勤務経験のなかで、他人の話を聞いてサービスを考えたり、社内のメンバーの話を聞いてプロジェクトマネジメントに活かしたりする作業を多く行ってきたそうです。自身でもさまざまな研修やワークショップに参加し、他人の話を聞くということを大事にしてきたという経験を活かし、今回のゼミの共同企画していただいています。～ <概要> このゼミでは、受講者の多くのみなさんよりおよそ 20 年先輩である東大卒業生に会いに行き、入学からこれまでの 20 年間の振り返りような話をきいてきてもらいます。仕事の話やプライベートの話、趣味の話などなど、何が話題の中心になるかわかりませんが、話をきいてきた上で、みなさんにゼミでその話を共有していただきます。受講生一人が卒業生一人の話をききにいき、クラス全体できいてきた話をできるだけ、そのまま伝えるという作業をします。最終的には受講者数と同じ数だけの卒業生の過去 20 年の話をできるだけ知っている状態になることを目指しています。 さて、「きく」ということをあなたは普段どれくらい意識的に行っているでしょうか。また、他人の話をどれくらい「きく」ことができているでしょうか。そして、他人の話を聞く際に、どのような姿勢で、どのような考えを持って聞き、どのようなリアクションをしているのでしょうか。 卒業生話をききに行く前に、このゼミでは、「そもそも私は他人の話をどのようにきいているのだろうか」という、素朴な疑問を基に、自分自身がどのような話のきき方をしているかを徹底的に知ることを目指します。「正しい」聞き方やコミュニケーションスキルを磨くというようなことを目指しているわけではありません。もしかすると、このゼミを受けたあとに、受講者の皆さんそれぞれにとっての「正しいきき方」や「より良いきき方」というものができるようになるかもしれません。が、それ自体はこのゼミの目的ではありません。あくまで、自分のきき方の「現在地」を知る、それがこのゼミの目指すところです。 <授業の目標> ・自分が他人の話を聞くときに、どのように聞いているかを知る。 ・話の聞き手の姿勢や態度が話し手にどのような影響を与えるかを知る。 ・話し手、聞き手によって、話の内容がどのように変化するかを理解する。 ・自分が持っているフレームワークや仮説から離れて他人の話をきけるようになる。 ・相手の話に対して、要約を試みたり、評価をしたり、アドバイスをしたりせずにきけるようになる。 ・一緒にゼミに参加する人の話をできるだけありのままきく。 ・できるだけ多くの先輩の東大入学後からこれまでに振り返った話を知っている状態になる。 ・“20 年先輩”から聞いた話を、他人に伝えられるような形でまとめる。 <ゲスト講師からのメッセージ> 駒場を離れてから、だいたい 20 年くらいになります。自分も周りの友人も、本当に多様な人生を歩んでいます。大学生の頃には、卒業後の生活にこんなにも多様なストーリーがありうなんて全く想像もつきませんでした。 仕事の肩書だけを見れば、民間企業で働いていた、起業していた、弁護士だったり公務員だったり研究者だったりします。でも、どんなことを得意として働いているか、それまでどんな経験をしてきたか、それを純粋にきいてみると、それぞれに全く異なる多様な働き方・生き方があったりします。そうした先輩のリアルを駒場の頃の僕が知っていたら、今とはまた異なるかたちでの人生の選択があったかもしれない。そんな思いからこの講義を企画しました。 みなさんにはこの 1 3 回の講義を通じて、できるだけ多くの先輩のできるだけリアルな卒業後のストーリーを知ってほしいと思っています。しかも、先輩の”かっこいい”プレゼンテーションや完成されたインタビュー記事からではなく、みなさん自身が話をききにいき、この場所でシェアすることを通じて。そうすることで、できるだけリアルな部分が残った、みなさんからの距離が近いストーリーが知れるんじゃないかと思っています。 ただし、「話し手が言いたいことは何か」と要約することに集中したり、事前に立てた仮説を検証したり、内容の良し悪しや優劣をジャッジしたりするようなききかたでは、そうした話はとらえられません。だから、どうすればありのままの話がきけるのかを数回に渡って一緒に考えるところから、講義をスタートしていくつもりです。その後、僕たちが用意した先輩リストの中からみなさんに対象を選んでもらい、各々でストーリーをきいてきてもらおうと思います。その結果をここにいたみなさんが何らかの方法でシェアしあって、結果としてみなさんができるだけ多くの先輩のリアルを知っている状態になる。というのが理想の進み方です。 基本的にはこの手順通りに、事前に毎回やることを決めて進めていきますが、様子をみながら変えていく可能性はありますのでご了承ください。 また、きくゼミといっても、インタビューのテクニックの講義ではないですし、先輩から将来へのアドバイスをもらおうというものでもないです。なので、すぐに役立つ類の話はないかもしれません。でも、人の話をじっくりきいてみることやその話をもとにみなさんで対話することを通じて、何かが強く心に残るだろうということだけは保証します。 概要は以上です。これから約 3 ヶ月間、20 年のリアルと一緒に味わってみましょう。 評価方法 8 割以上の出席。30 分以上の遅刻は欠席扱いとします。 各回の振り返りや課題などに取り組むこと。文字にして共有してもらいたいと思います。 教科書 ガイダンス 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行く。／Will conduct guidance at first time 2020 年 04 月 08 日 6 限／6th Period								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31816	S	難民から学ぶ 「人間の安全保障」： 私たちは何ができるか？	佐藤 安信	教養学部	木 3	1.0	K113	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		日本が外交の原則とし、政府開発援助(ODA)の指針ともしている、「人間の安全保障」を理解し、実践するための入門的なセミナー。とりわけ、その中心的な地球規模の課題の1つである、「難民」に焦点を当てる。2015年の国連の持続的開発目標(SDGs)や2018年の国連の難民に関するグローバル・コンパクトなどを題材に、私たちに何ができるかを考える。講師として難民当事者や、難民保護や人権保護の実務者を招き、その体験談から、難民らの生活や活動を知り、その背景や構造問題を探求し、その解決と予防について考え、討論する。参加者も、グループで様々な難民問題について、調査し、可能ならば、難民や庇護申請者からの聞き取りをし、提言を含めた発表を行う。英語のみで行う場合もある。						
評価方法		参加、発表、レポートで総合評価						
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook						
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31804	S 1	図書館の学び・活用・提案①	岡本 佳子	教養教育 高度化機構	木 4	1.0	K302	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		「図書館の学び・活用・提案」(通称「こまとちゃんゼミナール」)は、教養学部生のホームライブラリーとなる駒場図書館の使い方を身に付け、大学の学習や研究に役立てるとともに、図書館と学生の協働や学びについて考える授業です。担当教員による授業進行を中心に、駒場図書館からの協力を得て実施します。 S1 ターム実施分「図書館の学び・活用・提案①」では、大学図書館をより深く利用するための実習を行います。具体的には、1. 駒場図書館の概要を知る、2. 学習や研究のための図書館の活用方法(参考図書スペースやレファレンスサービス等)を学ぶ、3. 情報を探すための基本的なデータベースの使い方を実習する(学外 GW サービスの利用を含む)を通して、学内で利用可能なリソースを使いこなすことを目標とします。詳細は Web サイト (http://www.sr.komex.c.u-tokyo.ac.jp/index.html) を参照の上、初回ガイダンスに参加してください。 ※受講人数を 20 名程度に制限します ※本授業の受講生は S2 ターム実施の「図書館の学び・活用・提案②」への連続履修が望ましいです ※授業内容は受講人数等により変更する可能性があります ※「こまとちゃん」は駒場図書館の公式キャラクターです 出席状況、授業への貢献度、課題提出状況とその内容から可否判定を行います						
評価方法		教科書は使用しない。／Will not use textbook						
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31823	S	国際環境エネルギー経済学 「エネルギーのベストミックスとは～政策とビジネスの現場から」「A I に負けない課題解決能力の向上を目指して」	瀬川 浩司 松井 英生	教養学部	木 4	2.0	K303	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		電気・石油・ガスの三大エネルギーは、現代の私たちの生活や産業活動に欠かせないものです。これらは、空気のように当たり前のものとして、我々の身近に存在しています。 しかし、日本は国内でエネルギーをまかなうことは難しく、そのことが強く再認識されたのは、東日本大震災でした。原子力発電に対する厳しい見方と共に、電力不足に対する不安の高まりも見られました。 他方、国際社会に目を向けると、地球温暖化は喫緊の課題であり、「パリ協定」によって日本を含む各国の CO2 排出量抑制に向けた取組が進められようとしています。 こうした中、日本がどのようにエネルギーを選択し確保するか、いわゆる「ベストミックス」をいかに実現するか、国を挙げて議論が行われています。エネルギー問題に適切に対応していくことが、日本の経済社会の発展における最大の鍵と言っても過言ではありません。 そこで、本講義では、経済社会の帰趨を左右する環境・エネルギー問題の実情を説明し、近い将来に経済界、官界、政界、学会、報道機関、などで我が国を支えることになる聴講生の皆さんが、自分なりにエネルギーのベストミックスを考えられるようになることを目的とします。このため、細かい事象やデータを覚えるのではなく、環境・エネルギー問題を巡る大きな流れを理解できるよう解説すると共に、最近のトピックスについて質疑応答や議論を行います。 エネルギー政策の有識者、最前線で取り組んでいる経済産業省若手官僚、国会議員、環境・エネルギービジネスの現場で活躍しているビジネスパーソンなどをゲスト講師として迎え、臨場感のある現場の話と共に、裏話なども披露していただきます。このため、教養学部のみならず、法学部、経済学部、文学部、工学部の学生にとっても有意義であると考えます。 後半では、それまでの講義を踏まえて、聴講生の考える日本のエネルギーのあるべきベストミックスを含め、今後のビジョンについてグループディスカッションを行います。 また、今後のわが国経済社会の発展のために必要とされる人材に求められる課題解決能力の向上を目指して、環境・エネルギー問題のみならず聴講生が直面する様々な課題に関して質疑応答を行います。 特に A I の進展が人間の能力を超えるのではないかと懸念が広がっている状況において、A I に負けないためにはどのような人間になって行くことが求められるかに解説を致します。 最終授業では提出して頂くレポートに関してプレゼンテーションを行います。						
評価方法		エネルギー、経済関連の事象について、それぞれの関連性などに関し大筋把握した上で、今後の我が国のあり方について聴講生がそれぞれの考え方をまとめるための材料を提供することを目的とした講義であることから、正解、不正解を評価するような試験は行わず、最後の講義において、それまでの講義を踏まえて聴講生からエネルギー問題に関する考え方をレポートに基づき発表をしていただき、その内容が論理的に整理されているかにより評価する。						
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31666	S	農作物を知る	河鰭 実之	農学部	木 5	2.0	105 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		普段何気なく食べ、また観賞する農作物はいったいどのようにつくられ、またどのような特徴があるのだろうか、それらの植物としての特徴、伝統的な栽培から最新の技術、生態系との関わり、社会文化との関わりなどを交えながら、文系の学生にもわかりやすく説明する。本セミナーを通して、人類にとって必須の食料・農産物の持続的生産に関する課題、新しい農業への取り組みなどをより具体的に知り、農業問題について身近に感じて考えてもらいたい。						
評価方法		出席とレポート						
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31698	S	最新の大気・海洋研究— 気候・海洋学入門／ Recent progress of atmosphere and ocean studies: Introduction to climate research and oceanography	佐藤 正樹	大気海洋 研究所	木 5	2.0	115 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		台風や集中豪雨など激甚化する気象災害、地球温暖化と気候・環境変化、海洋生物資源の枯渇、海洋プラスチックゴミ、これら大気と海洋が関わる問題が現代社会の大きな課題になっています。大気海洋科学はこうした問題に正面から取り組む分野です。本ゼミナールでは、大気海洋研究所で行っている幅広い研究の中から興味深いトピックスを集めました。地球と人類の未来を左右する気候や海洋、そして海の生き物や生態系についての理解を深めることにより、地球環境と我々の将来について考えるきっかけを提供します。						
評価方法		講義の中で行う演習の提出と、全体を通したレポート課題の提出による。						
教科書		授業中に指示をする。／Will specify at class time						
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31699	S	最先端のビジネスと法 務戦略	玉井 克哉	先端科学技術 研究センター	木 5	2.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		UTAS を参照						
評価方法		UTAS を参照						
教科書		UTAS を参照						
ガイダンス		UTAS を参照						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31702	S	週刊・福島復興知学講義	秋光 信佳	アイソトープ 総合センター	木 5	2.0	116 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所事故により、放射性物質による環境汚染はもとより、それに付随した超学際的な諸問題が発生した。この間、東京大学を含めた全国の大学関係者が福島を中心とした被災地に赴き、多様な復旧・復興活動を行った。その過程で得られた多くの智恵と知識（これらを「復興知」と定義する）は、次世代に確実に伝えるべきことがらである。本講義では、被災地で活動してきた各分野の専門家が、①復興知・放射線に関する基礎的知識、②社会的視座からの復興知、③復興知の実例（イノベーションコースト構想など）を通じた次世代型復興学、について体系的に講義する。この講義を通じて、専門課程に進学する前の学生に、社会学、災害研究、リスク・コミュニケーション研究、政策研究、農学、工学、理学、医学、放射線影響学、など多様な分野を融合した「復興知学」を身につけてもらい、災害の多い日本の未来を総合的に設計できる基盤の育成を目指す。その上で、日本ならではの新しい学問領域を世界に発信できる人材の育成を目指す。						
評価方法		出席を重視した評価を行う。						
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook						
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2020 年 04 月 05 日 5 限／5th Period						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31794	S	日本の医療の光と影	土谷 良樹	学生による 全学自由研究ゼミナール	木 5	2.0	K301	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		東京大学教養学部へ、ようこそ。君たちは『医療』の社会性について考察したことはあるだろうか？ 高騰する医療費問題。脳死臓器移植や透析差し控えのような医療倫理。世界に冠たる先進国日本における無保険者問題。 障がい者差別。働き過ぎが命を奪う過労死。福島原発事故により生業を奪われた人々の暮らし。HIV 感染者に対する医療と差別。医学の道に進むかどうかは別として、我が国におけるこういった様々の問題について、教養学部生の間に自由な立場で一緒に考えよう。当ゼミ、日本の医療の光と影は、学生の希望により開かれる全額自由研究ゼミナールであり、開講されて 10 年に渡って開催し続けている、少人数制の自主ゼミである。 今期は、障がい者問題、医療費問題、そして死のあり方の 3 つのテーマを深めていく。参加すれば、科類を超えた友人ができ、視野が広がるものと思う。						
評価方法		出席 50%で、合格とする。						
教科書		ただし、最終日の学生発表への参加は必須とする。						
ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook						
		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31795	S	障害者のリアルに迫る	野澤 和弘	学生による 全学自由研究ゼミナール	木 5	2.0	K303	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		障害をもつ当事者や、障害問題に関わる実践家や専門家など、多彩なゲストの語りを聞き、対話を重ねる中で、障害および人間についての深い理解を目指す。						
評価方法		リアクションペーパーを授業後に提出し、その内容を踏まえて成績を判断する						
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook						
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						
		2020 年 04 月 09 日 5 限／5th Period						

時間 割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31808	S	読み破る政治学 ー多読・乱読・精読ゼミー	牧原 出	先端科学技術 研究センター	木 5	2.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		今年で8年目となるこのゼミでは、多読、乱読、ときに精読を心がけ、古今東西の政治学に関する本を「読み破る」ことを目標にします。毎週1冊本を読んで短いペーパーを書いて全員が事前にそれを読んだ後ゼミが始まります。ゼミでは、いくつかのペーパーを取り上げて、全学生が意見を言う、質問をする、反論をする、といった議論を繰り返します。もちろん人の意見をじっくり聞くことも大事です。教員はできるだけ議事進行に努めますが、ここぞというときには今学生に必要と判断したコメントを出すようにします。学生同士の議論が基本です。そこから何が得られるのでしょうか。もちろん政治と政治学についてよりよい読みを目指して理解を深めることはとりあえずの課題です。しかしそれだけではありません。まずは自分の考えを構築してみましよう。その上で他の学生からの質問で驚いたり考えたりすることで、一冊の本に対する多様な理解があることを知るでしょう。集合知としての本に対する理解というものがあることに気づいてほしいと思います。そこから初めて自分の読みが広がります。このように自分の読みを深め広げることこそが、これから勉学を深めたり、研究に踏み込んだり、自分の人生を生きぬく力を得ることができるのです。ゼミでは、そのためにいろいろな仕掛けを用意しています。著者同席の回や、「私の勧める一冊」という回もあるでしょう。ゼミ終了後のブック・サロン、ブック・トリップ、ラボ・アドヴェンチャーもあるでしょう。すでの多くの修了生がいますが、夏休み・冬休みにはOB・OGも参加する合宿を行います。合宿で何をするかは未定ですが、ここ数年、夏合宿は本の集中的な講読、冬合宿は本に関するドキュメンタリーを製作することが課題でした。						
		※受講人数：あらかじめ制限はしない。						
		※開講場所：駒場Ⅱキャンパス・先端科学技術研究センター13号館2Fセミナー室（225号室）						
評価方法		平常点による。						
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook						
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31675	S	ホモトピー型理論	植田 一石	数理科学 研究科	金 1	2.0	518 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		このゼミナールでは、 https://homotopytypetheory.org/book/ からダウンロードできる"The HoTT Book"を題材にして、ホモトピー型理論や univalent foundations について学ぶ。						
評価方法		発表を中心とした授業への参加による。						
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook						
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31657	S 1	伊豆に学ぶプラス2020S1 「感じる・考える・行動する」 サイクルの発動	鴨田 重裕	農学部	金 2	1.0	115 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		この講義の最大の目標は、伊豆ゼミ運営に関わる学生スタッフの育成と組織化である。学生スタッフとは一ゼミ生でありながら、伊豆ゼミをよく理解するファシリテーターとしてゼミにおいて自律的に活躍してゼミの目指すべき方向性を示す、伊豆ゼミの中核となる存在である。大役であればこそ、大きく成長する機会となるであろう。大役と聞いてちょっと尻込みする貴方・貴女へは、「育てるのがプラスの講義」「案ずるより産むが易し」と励ましたい。 さて、近年「環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律」が制定されるなど環境教育の重要性は社会的認知度を増した。実際、「持続可能な社会の実現」というキーワードを意識せずには将来を考えられない状況にある。しかし、環境教育は初等・中等教育において既に「完了」したことであり、大学生ともなればその手の「環境教育」は卒業済みなのでもう考えることはないといった風になってはいないだろうか。法が謳うように、環境保全活動及び環境教育を自ら進んで行うような流れになっているだろうか。 環境教育が重要だとされるが、その真意はなかなか学生の皆さんには伝わりにくいのではないかな。もしかすると伊豆ゼミは、その伝わり難い部分を少しでも補えるのではなかろうか。これまでに受けて来た環境教育は、おそらく大学受験ではほとんど役に立たなかったと思われる。受験で役に立たなかったことを、社会に出てからも役に立たないことだと思いついていない節はなかろうか。「環境保全の意欲」が低いのは、身につまされる経験がなければ致し方ないことも知れない。真に社会の役に立つ人材となるために、そんな誤解は早々に解くべきでしょう。 「伊豆に学ぶ」シリーズでは、環境の問題、景観の問題、獣害の問題など身近な森林が抱える様々な問題を意識化するために、現地に足を運び、伊豆半島に特徴的な事象観察を行い、また、実体験を交えて自分の五感で体験学習した。受講者は色々なことを気付ける自分に気付くという思いがけない体験をしたと思う。そもそも学びとは一体何なのだろうか、少し自問する気分も生じたのではあるまいか。また、同じ体験をしながらも、自分とは違った見方、感じ方で捉える同世代の大きな存在も強く意識したに違いない。伊豆ゼミは、高い志と低い垣根の両立を目指して丁寧に組み上げ、第一に「感じる」ことを大事にしている。正味4日程の短い間に、様々な「つながり」を感じられる仕掛けに仕上げたつもりである。 本講義「伊豆に学ぶプラス」は、伊豆ゼミの果実を確かなものにすることを大きな目標とし、真剣に考え・顧みて、議論することを大切にしている。最近の若者を支配する「空気を読む」ことを半ば強要するような雰囲気には、異を唱えたい。同じるばかりに気が行つては、自由にとことん議論して真に和するということがないのではないかと心配になる。和して同ぜず。色々な背景を背負った受講生同士が異なる意見を吐露し合い、むしろ意見が違っても大切に思っている根っこの部分が同じであつたり共通性があつたりすることに気付くこと、そういう仲間の存在のありがたさを知ることを実現する「場」を本ゼミに具現したい。受講生同士のつながりから、己と社会のつながりをいかに構築していくかを模索し、社会の一員として環境保全に取り組むべきと強く意識できることを期待したい。学生が主体となり、自由に学ぶ「場」を実現すること、それが全ての伊豆に学ぶシリーズに共通する理念であり、伊豆に学ぶプラス生が果たす役割である。総合大学ならではの面白さを追求したいと考えている。						
評価方法		授業態度、取組姿勢を重視し、プレゼンテーションとファシリテーションの質を評価する。						
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31689	S	東アジア秩序と米中関係から 学ぶ国際政治	佐橋 亮	東洋文化 研究所	金 2	2.0	118 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	国際関係論、または国際政治学には様々な側面がある。経済相互依存や軍拡、内戦といった現象から学ぶことも、憲法や国際法からアプローチすることもできれば、歴史を紐解いたり、難民や国際公務員・NGO 関係者のインタビューから学んだりすることも有益だろう。世界に関心をもったのであれば、色々なアプローチから学ぶことを強く勧める。 この講義（といっても一方向に留めるつもりは全くない）では、あくまでも一つのアプローチとして、私たちの教室が位置する、この東アジアの国際政治がどのように展開してきたのか、大国政治、同盟、多国間協力などの視点から学びたい。この数年、熾烈な対立を経験している米中関係は必然的に話題の多くを占めることになる。 テーマを考えるために必要な、歴史的事実と理論を紹介するが、本講義は体系的に理論を学ぶものでも、米中関係全史のようなものでもない。重要なトピックを取り上げて、それを毎回多くの角度から吟味することで、国際政治を分析する視角を養うことが目的である。							
評価方法 教科書	文献講読のための発表（論点整理）25%、グループ発表25%、最終レポート40%、議論への参加点10% 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 冷戦後の東アジア秩序 著者（訳者） 佐橋亮 出版社 勁草書房 ISBN その他 2020 年 3 月刊行予定							
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31709	S	情報システム利用入門	山口 和紀	情報・図形	金 5	2.0	E21 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	本学の教育計算機システムを利用して、一般的な情報システムの利用方法を初歩から学ぶ、情報システムのモデル、端末の操作方法、応用ソフトウェアの基本的な利用を中心とする。情報に関する深い理解や高度な機構の理解は対象としない。							
評価方法	課題レポート提出による合格・不合格							
教科書 ガイダンス	授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31796	S	グラフィック デザイン概論	保田 容之介	学生による 全学自由研究ゼミナール	金 5	2.0	K402	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	機能性と美しさを両立するという狭義の意味での「デザイン」はますます日常生活と切り離せない身近な存在になりました。例えばそれはみなさんが近い将来に頻繁に使用するプレゼンテーション資料のレイアウトなどでも感じ取ることが出来るでしょう。 本講義では現役のデザイナー / クリエイティブディレクターにより、論理的・学術的な視点で「デザイン」をひもといていきます。 座学としてグラフィックデザインの歴史から始まり、色などの基礎教養、書体解説、写真技法、デジタルツール解説などのデザインの実務で使用する知識や、UI/UX などの基礎知識を学び、積極的に手を動かして考えを発表するワークショップやフィールドワークも行います。 それによって講義の外でもデザインを楽しみ、将来各分野を牽引していく みなさんがデザインの視点から新たな価値を生み出すことを期待しています。 是非本講義を経る前と後の視点の変化を実感してください。							
評価方法 教科書 ガイダンス	出席及び授業内課題 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2020 年 04 月 10 日 5 限／5th Period21KOMCEE East K114							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31621	S	ロボティック医療システム	光石 衛	工学部	集中	1.0	シラバス 参照	1 年 理科 2 年 理科
授業の目標概要 【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開されることがあるので留意してください。手術ロボットによって、（１）臓器や骨格の裏側や内部などの医師が通常では見ることができない部位を見ることができるようになる。また、（２）医師が通常手では困難な狭い領域や臓器の裏側の手術、微細な手術、高精度な手術が可能となる。さらに、（３）遠隔地での診断や手術も可能となる。 本ゼミナールでは、当該研究室で開発されている世界最先端の深部脳神経外科超微細手術支援システム、眼科手術支援システム、最小侵襲人工膝関節置換術支援システム、遠隔低侵襲手術支援システム、集束超音波を用いた非侵襲結石破壊システムなどを実際に操作する。次に、ものづくり技術・知識、コンピュータ・ネットワークなどの情報学の知識、医学的知識を駆使して実現する手術ロボットはどのようにして構築されるのか、その入門を学ぶ。 第１回（駒場）：ガイダンスと概略説明 第２回（本郷：土曜、あるいは、日曜）：手術ロボットのの実体験（その１） 第３回（本郷：土曜、あるいは、日曜）：手術ロボットのの実体験（その２）、手術ロボットをどのようにして構築するかの基礎の解説 ※受講人数：20 名に制限する。 ※このゼミは４月６日（月）（全学体験ゼミナール）、７日（火）（全学自由研究ゼミナール/学術フロンティア講義）6 限（18：45～）7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 出席（2／3）と最終レポート１回（1／3）にて採点 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特定日を行う。／Will conduct guidance at another time 2020 年 04 月 08 日 6 限／6th Period 1 号館 1 0 2 教室								
評価方法 教科書 ガイダンス								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31622	S	電池レス IoT デバイスのための エネルギーハーベスティング	鈴木 雄二	工学部	集中	1.0	シラバス参照	1 年 理科 2 年 理科
授業の目標概要 近年、IoT（モノのインターネット）が注目され、ばらまき型の無線センサやウェアラブルデバイスが我々の生活で使われ始めようとしています。これらのデバイスの電源には、ボタン電池などが用いられていますが、頻繁に交換や充電をしなければなりません。ある報告によれば、IoT への応用の 90%が電力供給に課題があるとされており、普及の大きな障害になっています。 本ゼミナールで対象とするエネルギーハーベスティング（Energy Harvesting、環境発電）は、環境の中に薄く広く存在する振動や熱などのエネルギーから微弱な電力を取り出すもので、無線センサやウェアラブルデバイスを電池なしに駆動できる技術として最近多くの取り組みが行われています。 本ゼミナールでは、特に、環境の振動を用いた振動発電、熱・温度差を用いた熱発電をとりあげ、講義と実験を通じて発電原理・しくみの理解と、腕時計型ウェアラブルデバイス、農業用無線センサなど、応用デバイスの社会への展開について学習します。 ※このゼミは４月６日（月）（全学体験ゼミナール）、７日（火）（全学自由研究ゼミナール/学術フロンティア講義）6 限（18：45～）7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 出席とプレゼンテーション プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance								
評価方法 教科書 ガイダンス								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31623	S	空飛ぶ車を実現する ための機械工学	柳本 潤	工学部	集中	1.0	シラバス 参照	1 年 理科 2 年 理科
授業の目標概要		空飛ぶ車を実現するためには、社会インフラ・法制度のみならず、「車」そのものをどのようにして実現し製造するのか？を考え、技術開発を進める必要があります。機械である「車」を実現するための機械要素・センシング・材料について調査・設計・解析を行います。 1. 空飛ぶ小型トラック・自動車に利用される骨格・スキン材料を開発する 空飛ぶ小型の個人用移動体に利用できる骨格・スキン材料を開発します。軽量・高い強度・安全性・量産性と価格など考慮する必要があります。 2. バネの変形と疲労を考えよう 機械の中には歯車・ばねが多用されます。ばねに作用する力を考察し、変形を考え、疲労破壊を勉強し、壊れないばねにするための方法を考えます。 3. Computer Aided Engineering による棒線材圧延工程設計 非線形 FEM を利用した使いやすい CAE 解析システムを利用して、長大橋や自動車用部材の素材である棒線のための、圧延工程設計を体験します。 4. 歯車が加工される瞬間の温度を捉えるためのセンサを開発する。 最高温度が 1000℃に達する中、応答速度を 1ms まで短くするためには、素材の力学・熱特性を十分に検討して提案・設計する必要があります。 5. レーザ光が物質の中を光速で進む様子を捉えることのできる、超スロー モーションカメラを開発する。 このカメラを使って、レーザ光がフェムト秒の時間スケール（1 フェム ト秒は 10-15 秒）で進みながら引き起こす物理現象を映し出し、光の特性を探っていきます。 6. 筋電位（EMG） 信号に基にした外骨格を開発する。 外骨格は、運動障害を持つ人が物をつかんだり歩行することを可能にし、体力、持久力と術後のリハビリテーションを向上させます。 ※このゼミは 4 月 6 日（月）（全学体験ゼミナール）、7 日（火）（全学自由研究ゼミナール/学術フロンティア講義）6 限（18：45～）7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。						
評価方法 教科書 ガイダンス		出席、課題 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31627	S 1	ナノマイクロ 3D アート を探究しよう	中川 桂一	工学部	集中	1.0	シラバス 参照	1 年 理科 2 年 理科
授業の目標概要		1. バイオミメティクスおよびナノマイクロ 3D 構造創製法の基礎を学ぶ 2. 自然界のマイクロ 3D 構造を、先端顕微鏡観察機器で、高分解能観察し、その芸術性を堪能するとともに、物理的機能を考察する。 ※このゼミは 4 月 6 日（月）（全学体験ゼミナール）、7 日（火）（全学自由研究ゼミナール/学術フロンティア講義）6 限（18：45～）7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。						
評価方法 教科書 ガイダンス		出席、発表内容、レポートにより評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time 2020 年 04 月 13 日 6 限／6th Period117 教室						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31628	S 1	3次元スキャナ・プリンタを 使ったデジタルものづくり体験	中川 桂一	工学部	集中	1.0	シラバス参照	1年 理科 2年 理科
授業の目標概要		物体の形状をスキャンする装置を用いて、3次元形状をコンピュータに取り込み、そのデータ処理について実習する。また、処理したデータを3Dプリンタで出力し、オリジナルの物体との比較をし、再現性の確認を行う。 ※このゼミは4月6日（月）（全学体験ゼミナール）、7日（火）（全学自由研究ゼミナール/学術フロンティア講義）6限（18：45～）7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。						
評価方法 教科書 ガイダンス		出席、発表内容、レポートにより評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time 2020年04月13日6限／6th Period117教室						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31629	S 1	ウェアラブル体感型 VR システムを作ってみよう	中川 桂一	工学部	集中	1.0	シラバス 参照	1年 理科 2年 理科
授業の目標概要		布などウェアラブルな基板のうえに電子回路を精密に配線、実装する精密組み立て技術の基礎を学ぶ。さらに、この精密組み立て技術で作ったウェアラブルセンサ、アクチュエータを用いて、振動等をフィードバックする体感型 VR システムの構築を試みる。講義と実習を交えた体験型講義形式で学ぶ。 ※このゼミは4月6日（月）（全学体験ゼミナール）、7日（火）（全学自由研究ゼミナール/学術フロンティア講義）6限（18：45～）7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。						
評価方法 教科書 ガイダンス		出席、発表内容、レポートにより評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time 2020年04月13日6限／6th Period117						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31650	S	未来を拓く化学	小澤 岳昌	理学部	集中	1.0	シラバス 参照	1年 理科 2年 理科
授業の目標概要		地球レベルから生命現象までの広範な物質世界を、分子レベル、分子集合体レベルで解明し、新しい自然観を探究する現代化学のフロンティアを講ずる。化学の各分野の教員が、最先端の研究について易しく解説し、化学の未来について考える。講義中に研究室見学を行う。						
評価方法 教科書 ガイダンス		出席 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time 2020年04月06日6限／6th Period1 号館108教室：全学自由研究ゼミ（佃先生「化学の最前線を体験する」）と合同で行う						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31658	S	ジビエを通して獣害問題 と向き合う S 1 学園祭でのジビエ販売を 通して問題の本質を考え 伝える企画系ゼミ	鴨田 重裕	農学部	集中	1.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		<このシラバスが目に留まった人へ。受講の有無にかかわらずシラバスだけでも一読いただけると嬉しく思います。> 日本のいたるところで人と獣との軋轢が増している。 天敵となる肉食獣オオカミを絶滅させたことが原因であるとして、外国産オオカミを導入しようという提案も聞こえてくる。果たしてオオカミを導入すればすべてが解決するのか。その辺りも本ゼミで議論すべきポイントとなるであろう。最後のオオカミが目撃されたのは 20 世紀に入ってからすぐの頃だから、いわゆる「獣害」の拡大が目立つようになるまでのタイムラグがずいぶん長いように思われる。 このゼミでは人の暮らしぶりの変容に注目して、我が国の国土の問題を学生の皆さんと一緒に考えたい。問題を考えるばかりではなく、この国のありようを、そして私たちは何をすべきなのかを考えたい。そして、それについて社会に発信することに取り組んでみよう。 南伊豆も獣害と向き合う地域の一つで、農林業は獣の影響が深刻です。しかし、どんなに深刻な問題が地域に存在していても、東京で暮らしていると、問題の重大性が希薄にしか伝わってこず、他人事になりがちです。本ゼミを通して獣害問題をすこしでも自分事として考えられるようにしたいものです。 2019 年にはイノシシが J R 国立駅近くや足立区の河川敷に出没したと報じられました。私たちが獣との軋轢の問題を自分事としてとらえるに至るには、今より相当に深刻の度合いを増すまで待たねばならないのでしょうか？ 「伊豆に学ぶ」シリーズでは、現代人を取り巻く様々な関係が希薄であること、それがために諸処に自分と様々な対象物や対象事象との繋がりに実感が伴わないこと、皆が当事者意識を持ってないことが問題をさらに深刻化させていることなどを重要な気付きとして位置付けています。 伊豆ゼミを受講した学生であっても、ゼミ中に得たその「感覚」はそのまま放置すると、あっという間に風化してしまいます。それは実にもったいないことです。 本自由研究ゼミナールは、体験ゼミ「伊豆に学ぶ」とは少し違う角度から本件について考察を深めていきたいと考えています。違う角度とは何か？このゼミナールでは自律的に企画することにより、「伊豆に学ぶ」とは違った視点で、発信することを通して深く考える力や行動する力を涵養してもらいたい。 感じる力、考える力、行動する力。東大生に足りないものは何であろう。 一度立ち止まって、ゆっくりじっくり自分流に自分の人生を振り返ってみて欲しい。多くの東大生が回り道をしながら、効率重視で最短を突き進むべきと考えがちであるように見受けられますが、果たしてそれで良いのでしょうか。ともすれば価値観まで人任せにしまっていたりしないでしょうか。皆が価値あると言うものにしか価値を見出せなかったり、自分にとってどういう価値があるのかを考えもしなかったり、そんなことはありませんか？ このゼミでは五月祭・駒場祭に「ジビエを通して獣害問題と向き合う」企画を打ち出します。このゼミはまず動くことから始めるゼミです。企画のデザインをどうしようというところから手作りする、そんな実験的なゼミです。私はこの手の実験が成立するところを何度も見て来ました。今回、どんな面白い展開になるかは、君たち次第ということになります。 。 ※受講人数：特に設定しない ※講義の目標：自主・自律に動けるようになること。様々な問題を他人ごととしない気分を身に付けること。学園祭企画を立ち上げること。 ※開講場所：駒場（必要に応じて樹芸研究所を訪ねる） ※駒場での講義：企画進捗に合わせて 3, 4 回とゼミ既修者との交流。 ※五月祭：先学期のゼミ生が実施する模擬店（伊豆の獣害問題の提示とイノシシソーセージを販売する）経営に合流する。 ※駒場祭：新たな企画を立ち上げ、駒場祭にて伊豆の獣害問題の提示やイノシシソーセージを販売する企画を実施する。 授業中の取り組み姿勢、企画立案および企画実行の取り組み姿勢、責任ある行動を重視する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time 2020 年 04 月 13 日 2 限／2nd Period12 号館 1221 教室（4/20, 5/11, 5/25, 6/8, 7/13 にも実施します）						
評価方法 教科書 ガイダンス								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31659	S	ビントゥバーチョコレート作り体験から学ぶべきこと S 1	鴨田 重裕	農学部	集中	1.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		なぜチョコレート作りを大学の教材に？ 大学生も教養として、チョコレート作りもできたらいいかも知れない。 今あなたはこんな風に思いましたか。 いいえ。本ゼミでは雑学として、皆さんをチョコレートに向き合わせるつもりはありません。あくまでも「考える」きっかけとしてチョコレートをとりあげてみたいと思っているのです。 敢えて言えば、チョコレートを作れる大学生を育てたい訳ではないのです。 育てたいのは自律的に考えられる大学生です。「自律的に考えられる」の先には、当然のこととして、判断して行動することが含まれます。 何を考えるべきなのか？ それを自分で見つけるには、豊かな感性が必要になります。感覚が研ぎ澄まされていなくては、考えるべきポイントを見つけ出すことなどできません。 ここまで書いたようなことは、残念ながら受験勉強では身に付きにくいと思われます。むしろ受験勉強の邪魔になることもあるかも知れません。受験のテクニックとしては、自律的に自分のやり方を模索するより常法をしっかりと身に付けることの方が重要です。感性など、受験にはもはや不要かも知れません。 受験勉強を終え大学に入学した君たちには、是非ここで立ち止まって熟考していただきたい。これから君たちが生きていく世界がいったいどんなことになっていこうとしているか。自分はどの様に社会の中で生きていくべきか。遣り甲斐のある社会参加の仕方をどの様に探していこうかと。 ちょこっと話が行き過ぎたかも知れないので、チョコレート嚙に戻そう。 今現在、チョコレートはとても普通な存在です。普通のモノ、在り来たりモノって、皆さんよく知っている気分になるものです。大切なことは、そのよく知っているつものチョコについて、実はほとんど知らないということを知るコト。 思い込んでいることっていうものは、これをリセットするのはなかなか難しいことです。 意識することのなかった事柄やプロセスに、しっかり意識を向けることは、これまた難しいことです。 それを可能にする手法・手段として、全学体験ゼミ「伊豆に学ぶ」シリーズや、「森に学ぶ」シリーズを用意しています。本自由研究ゼミはその流れの中に位置づけられているものです。 意識することのなかったプロセスを、一通り体験することで見えること・気付くことがあるというコトへの気付き。 南伊豆の樹芸研究所では温泉熱を利用した温室で熱帯産有用植物を育てている。その温室で収穫したカカオを使ってチョコレートを作り市販したのが5年前のことです。日本国産カカオによるチョコレートを市販した第一号案件となります。 「伊豆に学ぶ」シリーズでは、現代人を取り巻く様々な関係が希薄であること、それがために諸処に自分と様々な対象物や対象事象との繋がりに実感が伴わないこと、皆が当事者意識を持ってないことが問題をさらに深刻化させていることなどを重要な気付きとして位置付けています。 伊豆ゼミを受講した学生であっても、ゼミ中に得たその「感覚」はそのまま放置すると、あっという間に風化してしまいます。それは実にもったいないことです。 本自由研究ゼミナールは、体験ゼミ「伊豆に学ぶ」とは少し違う角度から本件について考察を深めていきたいと考えています。違う角度とは何か？このゼミナールでは自律的に企画することにより、「伊豆に学ぶ」とは違った視点得て、発信することを通して深く考える力や行動する力を涵養してもらいたい。 感じる力、考える力、行動する力。東大生に足りないものは何であろう。 一度立ち止まって、ゆっくりじっくり自分流に自分の人生を振り返ってみて欲しい。多くの東大生が回り道をしながら、効率重視で最短を突き進むべきと考えがちであるように見受けられますが、果たしてそれで良いのでしょうか。ともしれば価値観まで人任せにしてしまっていたりしないのでしょうか。皆が価値あると言うものにしか価値を見出せなかったり、自分にとってどういう価値があるのかを考えもしなかったり、そんなことはありませんか？ このゼミでは学園祭に「ビントゥバーチョコレート作り体験」を来訪者にしてもらおう企画を打ち出します。このゼミはまず動くことから始めるゼミです。企画のデザインをどうしようというところから手作りする、そんな実験的なゼミです。私はこの手の実験が成立するところを何度も見て来ました。今回、どんな面白い展開になるかは、君たち次第ということになります。自由と自主の取り組みを存分にお楽しみください。 ※受講人数：特に設定しない ※講義の目標：自主・自律に動けるようになること。様々な問題を他人ごとにしない気分を身に付けること。学園祭企画を立ち上げること。 ※開講場所：駒場と弥生キャンパス（五月祭） ※駒場での講義：隔週で月曜6限を基本。企画進捗に合わせてゼミ生同士で打合せや作業を。 ※五月祭：先学期のゼミ生が実施するビントゥバーチョコレート作り体験企画に合流します。 ※駒場祭：新たにビントゥバーチョコレート作り体験ができる企画を立ち上げます。（S 2ゼミ） 授業中の取り組み姿勢、企画立案および企画実行の取り組み姿勢、責任ある行動を重視する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time 2020 年 04 月 13 日 2 限／2nd Period12 号館 1221 教室（4/27, 5/18, 5/25, 6/8, 7/13 にも実施します）						
評価方法 教科書 ガイダンス								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31669	S	最先端の生命科学研究を 駒場で体験する	新井 宗仁	教養学部	集中	2.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 教養学部後期課程(理系)・統合自然科学科の「統合生命科学コース」には、ライフサイエンス研究の若きトップランナーが集結し、生命科学のフロンティアを開拓している。本ゼミの履修学生は、最先端の研究を展開している研究室に数名ずつ配属され、未解明の研究課題に実際に取り組んでもらう。 研究の進め方は教員と相談して決める。研究室によって曜限を指定する場合、指定しない場合、集中して行う場合がある。セメスターの最後に、履修者全員が参加して成果報告会を開催する。 統合生命科学コースの特徴は、先端性と多様性である。准教授が独立した研究室を運営できるため、26もの研究室がある。その研究テーマは極めて多様であり、分子生物学や細胞生物学、植物生理学といった理学的な基礎研究から、神経科学、内分泌学といった医科学的な研究、そして、創薬などを目指した薬学・農学・工学的な研究まで多岐にわたる。ノーベル生理学・医学賞を受けたオートファジー研究が駒場で開始されたという事実が象徴するように、流行にとらわれない独創性の高い研究が行われている。実験や理論などのアプローチ法も多彩である。若き教員が柔軟な発想で、先端的でチャレンジングな研究テーマを選び、熱心に学生を指導するのみでなく、教員自らが現場に立って実験をしている研究室も多い。 ガイダンス資料はゼミのウェブサイト (http://folding.c.u-tokyo.ac.jp/seminar/) にも掲載する。ガイダンス後に学生の希望を集計して配属先を決定する。ガイダンスに出席できない場合には、ウェブサイトに記載された方法で希望を提出すること。 生命科学が大好きで、新しい分野を切り拓きたいという熱い思いを持つ学生を歓迎する。また、文系から理系への転向を考えている学生も受講できる。熱い現場で、熱い教員たちが学生諸君を待っている。 担当教員と研究テーマ： 阿部 光知 植物の形づくりの遺伝学 新井 宗仁 計算機を使って理論的に新規タンパク質をデザインする 大杉 美穂 マウス受精卵の細胞分子生物学 佐藤 守俊 生命現象を操作する技術を作ろう 坪井 貴司 真正粘菌の細胞内で起きている現象を目で見てみよう！ 道上 達男 ツメガエル胚の形づくりに力はどうに関わるか 矢島潤一郎 光学顕微鏡を用いたバイオナノマシンの機能定量 吉本敬太郎 分子認識型核酸をみつけよう&調べよう！ 若杉 桂輔 新たなタンパク質分子を設計し、創ってみよう 評価方法 研究への取り組みや成果報告会での発表をもとに評価する。 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time 2020 年 04 月 13 日 その他(「授業目標、概要」参照)／Others(Refer to "Course Objectives")12:15～12:45 に 1 号館 108 教室								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31670	S	2020 年度 S セメスター 最先端のサイエンスを 駒場で研究体験する プログラム	内田 さやか	教養学部	集中	2.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 本ゼミは、駒場キャンパスの後期課程「教養学部 統合自然科学科」に所属する研究室に直接来て、最先端のサイエンスを体験してもらうプログラムである。これまで、講義科目や分野ごとに学習した自然科学が、先端のサイエンスへどのように深化、融合、創成されるのかを、研究室での実習を通じて実感できる。つまり、最先端のサイエンスと基礎科目や総合科目との”架け橋”が本ゼミの特徴といえる。受講者は、配属先の研究室で、実験、データ解析、討論、文献調査、などを体験することで、研究活動の実践的な方法論を学ぶことができる。 1つの研究室が数名の学生を受け入れる。ゼミの進め方は、受け入れ教員との相談の上決定するが、研究室によって、曜日時限を指定する場合と、指定せずに集中で行う場合がある。成果報告会 兼 懇談会を学期末試験終了後に開催し、教員、大学院生を交え、発表と討論を行う予定である。 本ゼミのガイダンスは、4月9日(木) 昼休み(12:15～12:30) に 1 号館 120 教室にて行う。その際に、各ゼミの内容や進め方について、資料を配布する。ガイダンス後に学生の希望を集計し、配属先を決定する。(ガイダンスに出席できない場合でも、下記の HP からガイダンス資料を参照し、資料に記載された手続きに則れば、本ゼミは受講可能である) ※本ゼミに関する最新情報とガイダンス資料は、 世話人(内田さやか)の HP: http://park.its.u-tokyo.ac.jp/suchida/ に掲載する 評価方法 ゼミへの取り組みによる 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time 2020 年 04 月 09 日 12:15-12:30 に 1 号館 120 教室								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31671	S	生命の普遍原理に迫る 研究体験ゼミ	石原 秀至	生物普遍 性研究機 構	集中	2.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。東京大学生物普遍性連携研究機構（Universal Biology Institute, UBI）に関連する研究室で研究体験型のゼミをおこなう。過去半世紀にわたる生命科学の進展により、我々は生体内で起こる分子レベルの反応の詳細や、それに関わる分子種についての膨大な知識を集積してきた。一方で、それら分子が総体として織りなす「生きている状態」とは、そもそもどういう状態なのか？そして、そのような状態を特徴付ける法則や原理は何か？このような基本的な問題について、我々人類はまだほとんど理解できていない。この問いは生物学のみに閉じた課題ではなく、現象の記述と理解に必要な数理科学の発展や、新たな実験・計測技術の開発を必須とする。この意味で現代生命科学は科学諸分野のフロンティアを押し広げるとともに、これらを再統合する現場ともなっている。UBI では、生物に共通する普遍的な法則とメカニズムの解明を目指し、従来の生物学の枠を越えて、数理科学、理論物理、分子生物学、生物物理学、進化生物学、有機化学、ナノバイオテクノロジー、細胞イメージングなど、広範な分野の研究者が共同で研究に取り組んでいる。 本ゼミでは、通常の学生実験や授業とは異なる、最先端の科学研究の現場を体験する機会を提供する。履修者は下記のいずれかの研究室に配属し、学問分野の垣根を越えた、分野横断的な科学研究に触れながら、基本的な実験技術やデータ解析手法を学習したり、数理演習や計算機実習を通じて理論研究の基礎を学んだりする。未知の分野にチャレンジし、将来的に自ら新しい分野を開拓していこうと思う意欲的かつ野心的な学生を歓迎する。 担当教員と研究テーマ 【駒場キャンパス】 金子 邦彦: 生命システムの進化に関するモデル・シミュレーション 澤井 哲: 細胞のナビゲーションを、実験的・理論的に理解する 若本 祐一: 細胞表現型ゆらぎと適応・進化の関係を探る実験研究 石原 秀至: 生命現象の数理モデルのシミュレーション 太田 邦史・小田有沙: 栄養飢餓時の分子の振る舞いと細胞の生存戦略を探る 佐藤 守俊: バイオイメージングに関する原著論文の輪講 道上 達男: 胚の形態形成に関わる”力”を調べる実験 矢島 潤一郎: タンパク質の作動機構解明に関わる実験 豊田 太郎・竹内 昌治: 人工細胞観察デバイスを微細加工技術で創って、人工細胞を実際に観察する 小林 徹也: 細胞複製過程の熱力学を考える 市橋 伯一: RNA ゲノムを持つ人工細胞を継代してみ、寄生体が自然発生すること、細胞構造によって防ぐことができることを実験とシミュレーションで体験する 柳澤 美穂: 細胞モデルを用いた生命現象の物理的理解 【本郷キャンパス】 入江 直樹: 最も進化した脊椎動物はどれだ？ -遺伝子発現情報解析からの探索- 樋口 秀男: 顕微鏡を創って、分子や細胞の運動を観察する 古澤 力: 進化過程の計算機シミュレーションによって何が解るか？ 岡田 康志: 顕微鏡を作って生きた細胞を計測する 伊藤 創祐: 情報理論や確率的な熱力学を用いた生命現象の理論的研究 最新の情報は以下を参照。 http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/UBI/education.html								
評価方法		講義・実習への出席、取り組み姿勢、成果報告会での発表をもとに評価する。						
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook						
ガイダンス		特定日に行う。／Will conduct guidance at another time						
2020 年 04 月 10 日その他(「授業目標、概要」参照)／Others(Refer to "Course Objectives")昼休みに 1 号館 162 教室								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31686	S	駒場すずかんゼミナール 『学藝饗宴』	鈴木 寛	公共政策 大学院	集中	2.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		爛熟期を迎えた 19 世紀末フランスのサロン、とりわけ詩人マラルメの「火曜会」を範とする本ゼミは、文部科学副大臣も務めた東京大学公共政策大学院教授の鈴木寛（すずかん）主催のもと、『学藝饗宴』と題して学術と藝術を総合する教養教育を目指すものである。 「すずかんゼミ」として過去長く開講されてきた歴史を持ち、2017 年度より新しく本題にて開講されているこのゼミの主な授業内容は、ゼミ生同士の対話および各界の第一線で活躍するゲストを講師に招き行うセッションである。過去にお招きした講師の方々については、是非 Facebook ページにて確認してほしい。2019 年度 A セメスターでは《触れられない》あるいは《黎明》をテーマに据え、蘊奥の窮理において立ち足はかかる不可能性や曖昧さと対峙し、一歩奥へと踏み出すことを試みた。 今年度 S セメスターのテーマは《ノマドロロジー》と《罪》である。「既存の枠組みから抜け出しつつ、新たな枠組みを創出してゆく循環的な在り方」と「悪の意識が生み出した紐帯に絡め取られること」の間にある繋がりや隔たりを、多面的に考察してゆく。そのために用いられる手法は自然科学、人文科学、社会科学といったカテゴリを横断するものになるだろう。 本ゼミは、特定の問題についての答えを与えるものではない。むしろ、関心のある領域をそれぞれが見出し、頭から離れなくなるような問いを得ることを目的とする。問いに際して、論理や経験から答えを導こうとするだけではなく、個々人が自らの真善美を追求し、感性を磨きあげることに重きをおく。分からないものの分からなさには好奇心を抱き、それを自らの血肉としてゆっくりと結実させようと試みるような学生を歓迎する。 ※本講義は集中講義形式の授業であるが、履修者・先輩・オムニバス講師等が主体的に開催する毎週のサブゼミが火曜日 19～21 時に行われる。集中講義も基本的に同時時間帯である。また、集中講義の一環として、学期末（期末試験後）に合宿を予定している。 ※選考をガイダンス時に行い、受講者を 10～20 名程度に限定する。 ※過去の選考課題、その他の詳細は Facebook ページ（https://www.facebook.com/MinervaKomaba/）を参照すること。						
評価方法		集中講義ならびにサブゼミへの積極的な参加と貢献をもって評価の対象とする。						
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time 2020 年 04 月 07 日 6 限／6th Period1 号館 2 階 164 教室						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31693	S	学部学生のための 研究入門コース-UROP1 (Undergraduate Research Opportunity Program 1)	川越 至桜	生産技術 研究所	集中	2.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。 駒場リサーチキャンパスにある生産技術研究所（生研）では、I T、ナノテクノロジー、バイオや環境の分野を始めとした、工学全般における様々な最先端の研究を行っている。このような先端研究について、従来の受動的な授業とは異なり、自分自身の手を動かしながら研究を進め、実験や実習を通して実践的に学んでいくのが、本ゼミナールの特徴である。 研究テーマに関しては、生研で行われている数々の研究から興味のあるテーマを選択する。授業の形態としては、選択したテーマを研究している研究室の一員として、設定した目的や計画のもと研究を進め、最後に研究成果の発表を行う。具体的な方法、内容や日時などの研究の進め方については、研究室の教員と相談しながら決めること。 このような実際の研究プロセスを体験することにより、研究のノウハウを学んでいく入門コースである。 授業内容や研究テーマの詳細については、ホームページ（http://www.oshimalab.iis.u-tokyo.ac.jp/UROP/）を参照のこと。 ※履修人数を 20 名に制限する。 ※開講場所：生産技術研究所 ※ガイダンスは、4 月 6 日（月）および 4 月 8 日（水）の 2 日間、12 時 20 分より教養学部 1 号館 104 教室にて行う。2 回とも同一内容で実施。 日頃の研究への取り組み、報告書、および研究発表により、成績を評価する。						
評価方法		授業中に指示をする。／Will specify at class time						
教科書 ガイダンス		特定日に行う。／Will conduct guidance at another time 2020 年 04 月 06 日その他（「授業目標、概要」参照）／Others(Refer to "Course Objectives")4 月 6 日および 4 月 8 日の 2 日間、12 時 20 分より 教養学部 1 号館 104 教室 で行う。						

時間割 コード	開 講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31719	S	ブランドデザインスタジオ 22 『「海」をブランドデザインする』	真船 文隆 宮澤 正憲 岡本 佳子	教養教育 高度化機構	集中	2.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		●プログラムについて 『正解のない問いに、共に挑む』特別教育プログラムです。参加者の皆さんが今後、広く社会一般で活用し得る「共創」の手法を「21 KOMCEE（理想の教育棟）」を舞台に、東京大学×博報堂ブランドデザインのコラボレーションにより学んでもらいます。全回、ワークショップ形式で行われ、現役の広告会社社員、ブランド・コンサルタントがプログラム・デザインおよびファシリテーションを担当します。本プログラムでは参加者の多様性を重視する目的により、参加学生と一定数の社会人参加者が一緒になってプロジェクトチームを結成し、チームでのアイデア創出を行ってもらうことを予定しています。本プログラムでは参加者の多様性を重視する目的により、参加学生と一定数の社会人参加者が一緒になってプロジェクトチームを結成し、チームでのアイデア創出を行ってもらうことを予定しています。【URL】http://www.bdstudio.komex.c.u-tokyo.ac.jp/ ●この授業について 今回のブランドデザインスタジオは、『「海」をブランドデザインする』をテーマに設定します。 経済学者・思想家のジャック・アタリは「いつの時代においても、経済、政治、軍事、社会、文化の分野で活躍するのは海と港を支配する者たちだ。ほとんどのイノベーションは、海上において、そして航海のためにつくられた」「人類史上の重要な出来事の舞台は常に海なのである」と述べています。 「海」は地表の約7割を占める広大な場であり、無数の生物が棲息し、また、水循環等により陸上の生物の生命も支える場所です。古来より漁業や交易など人間の経済活動の舞台となり、多くの神話や伝説、文学やエンターテインメント・コンテンツのテーマともなってきました。いっぽうで、台風や高潮、津波などの甚大な自然災害をもたらす存在でもあります。現在、海について、漁業資源の破壊、ゴミの堆積、海水温と海面水位の上昇、海中酸素の減少と生物種の絶滅など、さまざまな問題が進行しています。前述のジャック・アタリは海を破壊する人類について「母親を殺せば自身も死んでしまうことがわかっていながらも、母親に少しずつ毒を盛る子」と例えて、警告を発しています。 海は、私たちの生活にとって身近な存在であり、海水浴や釣り、マリンスポーツで遊んだり海や海辺の景観を楽しんだりする方も多いでしょう。 ただし、日本全体で見ると、海水浴客は全国的に減少しており、日本生産性本部「レジャー白書」によれば、国内の海水浴客数はピークだった1985年の約3790万人から2016年には約730万人と約5分の1に減少。日本観光振興協会によると、2005年には1277あった海水浴場の数は、10年に1203、15年に1128、17年に1095と減少の一途をたどっています。日本財団が2017年に実施した意識調査では「海に親しみを感じる」と答えたのが50～60代は4割を超えたのに対し10～20代は3割弱にとどまるなど、若年層ほど海への愛着が薄れているとも指摘されています。 今回のブランドデザインスタジオは、「海」に関する新しいブランドを創り出すことをゴールに置きます。参加いただく皆さんには、まず多様なリサーチや議論を通じて「海」というテーマを多面的に捉え直し、また生活者が「海」に対してどのような考えを気持ちを抱いているのか、どのように行動し生活の中で付き合っているのかを探索していただきます。その後、集めた情報を分析・統合し、テクノロジーの進化や社会の変化などの未来を見据えたうえで、「海」に関する新しい「ブランド」を創出していただきます。「ブランド」は、新たな商品やサービスなど自由に発想していただきます。「ブランド」の力で、海と生活者や世の中とのこれまでにない関わりを生み出していく。そんな新しい提案を世に問うていただきたいと思います。 本授業における最終成果物として、授業終了後に一般公開する形でプレゼンテーションをしていただく予定です。 全ての授業への参加を前提に、個人ワークの提出内容、グループワークへの貢献、最終プレゼンテーション内容により評価します。						
評価方法								
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time 2020年04月09日その他(「授業目標・概要」参照)／Others(Refer to "Course Objectives")						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31797	S	タイ医学ゼミナール	宮原 由佳	学生による 全学自由研究ゼミナール	集中	2.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 【こんな方にオススメの集中講義です】 ・UNESCO 認定：無形文化遺産（タイ古式マッサージ）＆世界の記憶（ルーシーダットン（タイヨガ））をぜひ身に付けたい！ ・タイの伝統医学に興味がある！ ・自分の肩こりや疲労を癒したい！ ・タイ古式マッサージを習得し、家族や友人を癒したい！ ・プロの施術を感じてみたい！ ・ヘルスプロモーションに興味がある！ ・タイの医療の現状について知りたい！ ・タイ文化について知りたい！ タイ古式マッサージの施術を受けているときはもちろん、施術をしている側も自身の心と身体に向きあうことができるこのレッスンは、自主ゼミ（2016 年度 A セメ、2017 年度 A セメ、2018 年度 A セメ）、全学ゼミ（2018 年度 S セメ、2019 年度 S セメ）にて大変有意義な時間として好評を得、今回の全学ゼミに繋がりました。 ***** 《1) 実技練習メイン》 〔タイ古式マッサージ 全身リラクゼーションバージョン・ベーシック編／仰向け、うつ伏せ、横向き、座位。約 60 分の施術テクニック習得目標〕 プロ級の技に集中講義でチャレンジ！！ ワットポー タイトラディショナル メディカルスクール（タイ王国第一級王立ワットポー寺院）にて、外国人として初めて伝統に基づいた本格的な修養を積み講師として認定された宮原が、これまでの多国籍にわたる方々へ施術・指導してきた経験をもとに、東大で特別レッスンをを行います。講師からの施術も交え、学生同士ペアになり、互いに施術をし合いながらレッスンをを行います。 タイ古式マッサージは、UNESCO から無形文化遺産に認定されました（2019 年）。ウォームアップには、UNESCO から”世界の記憶”に認定（2011 年）されているルーシーダットン（仙人体操／タイヨガ）を取り入れていきます。 《2) 理論》 〔タイ医学歴史・概要、タイハーブ療法、タイ国におけるタイ古式マッサージを活用したヘルスプロモーション政策、補完代替療法などについて学び、ディスカッション。〕 評価方法 出席、レポートによる総合評価 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 特に行わない。／Will not conduct guidance								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40294	S 2	新書で考える教育と社会	中村 高康	教育学部	月 1, 木 1	2.0	116 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 授業担当者の専門分野である教育社会学では、研究者たちによって学問的見識に基づく様々な社会発信が行なわれている。そうした社会発信の一つの手段である「新書」（岩波新書、中公新書、ちくま新書など）は初学者には格好のテキストとなる。そこでこのゼミナールでは、こうしたテキストを多数取り上げ、それに入門的な解説を加えつつ講読する。受講者全員で自由に議論を行うことで、学生諸君の教育と社会に関する知的好奇心喚起の一助となることを目指す。 評価方法 成績は、授業参加度（報告レジメ＋メモ＋出席）が中心となるが、期末に簡単なレポートを提出してもらうこともある。それらを総合的に評価する。 教科書 授業中に指示をする。／Will specify at class time ガイダンス 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 1 限／1st Period 授業教室								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40297	S 2	理論と実践から芸術を学ぶ	岡本 佳子	教養教育 高度化機構	火 2, 金 2	2.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 【授業の概要】 芸術に関する講読や創作体験を通して、座学と実践の両面から芸術を学ぶ授業です。2020 年度 S2 タームでは演劇と音楽を対象に、作品や理論を参照しながら実際に創作を行うワークショップを行います。これらを通して芸術に触れ、自分なりの表現を体験することを目指します。実施にあたり第一線で活躍する学外のゲスト講師からの協力を得て開講します。音楽や演劇の実技経験は不問ですので、興味はあるけれどもこれまで機会がなかったという人や、異なる物の見方や自分を表現する新しい方法を探している人も歓迎します。受講者には授業外でも準備に取り組み、芸術作品に多く触れる積極性を期待します。 ガイダンスは 4 月 7 日（火）と 4 月 10 日（金）それぞれの昼休み、さらに第 1 回授業日の 6 月 5 日（金）、計 3 回行いますので、いずれかに必ず出席の上登録してください。詳細は授業 Web サイト（http://www.sr.komex.c.u-tokyo.ac.jp/courses/arts.html）に掲載します。 【音楽】（第 2 回～第 7 回） ゲスト講師：野口 桃江（現代音楽作曲家） テーマ（予定）：「楽譜のアルケオロジと共感覚的ワークショップ」 桐朋学園大学音楽学部 作曲理論学科卒業。同大学研究科修了。仏リヨン国立高等音楽院にて電子音響とオーケストレーションを学んだ後、蘭デン・ハーグ王立音楽院 ArtScience 学科修士課程修了。現代音楽をベースに、光、映像、生体情報を用いた作品制作とパフォーマンスを世界各所で行っている。 【演劇】（第 8 回～第 13 回） ゲスト講師：西尾 佳織（劇作家、演出家、鳥公園主宰） テーマ（予定）：「リサーチから作品をつくる」 劇作家、演出家、鳥公園主宰。幼少期をマレーシアで過ごす。東大表象文化論卒業、東京芸大芸術環境創造科修了。2007 年に鳥公園を結成以来、全作品の脚本・演出を担当。「正しさ」から外れながらも確かに存在するものたちに、少しトボけた角度から、柔らかな光を当てようと試みている。 評価方法 全ての授業への出席を前提に、演習・ワークショップへの貢献度（発表を含む）、2 つのミニレポートの内容により総合的に合否判定します。 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time 2020 年 04 月 07 日その他(「授業目標、概要」参照)／Others(Refer to "Course Objectives")								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40308	S 2	図書館の学び・活用・提案②	岡本 佳子	教養教育 高度化機構	木 4	1.0	K302	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 「図書館の学び・活用・提案」（通称「こまとちゃんゼミナール」）は、教養学部生のホームライブラリーとなる駒場図書館の使い方を身に付け、大学の学習や研究に役立てるとともに、図書館と学生の協働や学びについて考える授業です。担当教員による授業進行を中心に、駒場図書館からの協力を得て実施します。 S2 ターム実施分「図書館の学び・活用・提案②」では、駒場図書館所蔵の資料を発信するための実習を行います。具体的にはビブリオバトル実施（予定）のほか、チームでテーマを決め、関連する資料を選定し紹介文を執筆します。執筆した文章はチームでのブラッシュアップを経て、ウェブサイトや展示等で公開することを目指します。 そのほか授業内外（授業外実施の場合は希望者のみ）にて、駒場図書館のバックヤード見学、学外図書館の見学を予定しています。詳細は Web サイト（http://www.sr.komex.c.u-tokyo.ac.jp/index.html）を参照の上、ガイダンスに参加してください。ガイダンスは 4 月 9 日（木）4 限の「図書館の学び・活用・提案①」の第 1 回授業日と 6 月 4 日（木）4 限の「図書館の学び・活用・提案②」第 1 回授業日、あわせて 2 回行います。 ※受講人数を 20 名程度に制限します ※本授業の受講者は「図書館の学び・活用・提案①」を受講済みである者としてします ※授業内容は受講人数等により変更する可能性があります ※「こまとちゃん」は駒場図書館の公式キャラクターです 評価方法 出席状況とチームワークへの貢献度、課題の提出状況とその内容で合否判定を行います 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time 2020 年 04 月 09 日 4 限／4th Period「図書館の学び・活用・提案①」実施教室								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40280	S 2	伊豆に学ぶプラス2020S2 「感じる・考える・行動する」 サイクルの発動	鴨田 重裕	農学部	金 2	1.0	115 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		この講義の最大の目標は、伊豆ゼミ運営に関わる学生スタッフの育成と組織化である。学生スタッフとは一ゼミ生でありながら、伊豆ゼミをよく理解するファシリテーターとしてゼミにおいて自律的に活躍してゼミの目指すべき方向性を示す、伊豆ゼミの中核となる存在である。大役であればこそ、大きく成長する機会となるであろう。大役と聞いてちょっと尻込みする貴方・貴女へは、「育てるのがプラスの講義」「案ずるより産むが易し」と励ましたい。 さて、近年「環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律」が制定されるなど環境教育の重要性は社会的認知度を増した。実際、「持続可能な社会の実現」というキーワードを意識せずには将来を考えられない状況にある。しかし、環境教育は初等・中等教育において既に「完了」したことであり、大学生ともなればその手の「環境教育」は卒業済みなのでもう考えることは無いといった風になってはいないだろうか。法が謳うように、環境保全活動及び環境教育を自ら進んで行うような流れになっているだろうか。 環境教育が重要だとされるが、その真意はなかなか学生の皆さんには伝わりにくいのではないかと。もしかすると伊豆ゼミは、その伝わり難い部分を少しでも補えるのではなかろうか。これまでに受けて来た環境教育は、おそらく大学受験ではほとんど役に立たなかったと思われる。受験で役に立たなかったことを、社会に出てからも役に立たないことだと思いついていない節はなかろうか。「環境保全の意欲」が低いのは、身につまされる経験がなければ致し方ないことかも知れない。真に社会の役に立つ人材となるために、そんな誤解は早々に解くべきでしょう。 「伊豆に学ぶ」シリーズでは、環境の問題、景観の問題、獣害の問題など身近な森林が抱える様々な問題を意識化するために、現地に足を運び、伊豆半島に特徴的な事象観察を行い、また、実体験を交えて自分の五感で体験学習した。受講者は色々なことを気付ける自分に気付くという思いがけない体験をしたと思う。そもそも学びとは一体何なのだろうか、少し自問する気分も生じたのではあるまいか。また、同じ体験をしながらも、自分とは違った見方、感じ方で捉える同世代の大きな存在も強く意識したに違いない。伊豆ゼミは、高い志と低い垣根の両立を目指して丁寧に組み上げ、第一に「感じる」ことを大事にしている。正味4日程の短い間に、様々な「つながり」を感じられる仕掛けに仕上げたつもりである。 本講義「伊豆に学ぶプラス」は、伊豆ゼミの果実を確かなものにすることを大きな目標とし、真剣に考え・顧みて、議論することを大切にしている。最近の若者を支配する「空気を読む」ことを半ば強要するような雰囲気には、異を唱えたい。同じるばかりに気が行つては、自由にとことん議論して真に和することがないのではないかと心配になる。和して同ぜず。色々な背景を背負った受講生同士が異なる意見を吐露し合い、むしろ意見が違っても大切に思っている根っこの部分が同じであったり共通性があったりすることに気付くこと、そういう仲間の存在のありがたさを知ることを実現する「場」を本ゼミに具現したい。受講生同士のつながりから、己と社会のつながりをいかに構築していくかを模索し、社会の一員として環境保全に取り組むべきと強く意識できることを期待したい。学生が主体となり、自由に学ぶ「場」を実現すること、それが全ての伊豆に学ぶシリーズに共通する理念であり、伊豆に学ぶプラス生が果たす役割である。総合大学ならではの面白さを追求したいと考えている。						
評価方法		授業態度、取組姿勢を重視し、プレゼンテーションとファシリテーションの質を評価する。						
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行く。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40270	S 2	【電気電子情報体験ゼミ】 青色 LED を作ろう	杉山 正和	工学部	集中	1.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。 本郷キャンパスあるいは駒場Ⅱキャンパスにある電子・情報系の研究室にて集中開催する。 最新情報は http://www.ee.t.u-tokyo.ac.jp/~sugiyama/taiken/ を参照のこと。 受講するためには、ガイダンスに出席して履修許可を得ること（人数調整のため）。 電気電子工学科・電子情報工学科の研究室に仲間入りする。普段研究室で行われている最先端の研究から1週間で実施可能なテーマを選び、教職員や大学院生の指導を受けて、1・2年生諸君が主体となって研究を進める。日ごろの受け身の実験とは異なり、貴方たち自身で考えて行動し、未知の結果を得る醍醐味をぜひ味わってほしい。 発光ダイオード(LED)は、電流を効率よく光に変換するデバイスである。LED でできた信号機が最近増えているのに気づいた人も多いのではないだろうか。最近注目を集めている青色 LED を実際に作製し、LED の原理、構造、作製プロセスを実感していただく。最先端の機器を用いて、窒化ガリウム (GaN) の結晶を作製するところから始める。自分で作製した LED が光ったときの感動は計り知れない。 ※このゼミは4月6日(月) (全学体験ゼミナール)、7日(火) (全学自由研究ゼミナール/学術フロンティア講義)6限(18:45～)7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。						
評価方法		8/7に行われる合同発表会にて成果報告をすることにより単位を取得する。						
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特定日に行く。／Will conduct guidance at another time 2020年04月08日6限／6th Period1号館164教室						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40279	S 2	農地土壌から作物への 放射性物質移行を実践的に学ぶ	田野井 慶太郎	農学部	集中	1.0	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		この講義では、福島第一原発事故に起因した農業環境における放射能汚染の実状および調査研究により得られた知見の習得を目標とします。実際に、栽培された植物と土壌のサンプリングから測定までを実習することにより放射性物質の植物への移行や食の安全を深く理解することを目指します。 チェルノブイリ原発事故や福島第一原発事故では多くの放射性物質が環境中に放出され、農地も広く汚染が広がりました。本講義では、実際の農地で施された放射性物質低減策とその効果のメカニズムを学びます。さらに、実習として植物中の放射性物質を測定する実習を行います。 受講者は5名程度を想定しています。履修希望者が上限を超えた場合には履修動機により選抜します。						
評価方法 教科書 ガイダンス		出席とレポートで評価します。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance その他(「授業目標、概要」参照)／Others(Refer to "Course Objectives")						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40281	S 2	ジビエを通して獣害問題と向き合う S 2 学園祭でのジビエ販売を通して 問題の本質を考え伝える企画系ゼミ	鴨田 重裕	農学部	集中	1.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。＜このシラバスが目に留まった人へ。受講の有無にかかわらずシラバスだけでも一読いただけると嬉しく思います。＞日本のいたるところで人と獣との軋轢が増している。天敵となる肉食獣オオカミを絶滅させたことが原因であるとして、外国産オオカミを導入しようという提案も聞こえてくる。果たしてオオカミを導入すればすべてが解決するのか。その辺りも本ゼミで議論すべきポイントとなるであろう。最後のオオカミが目撃されたのは 2 0 世紀に入ってからすぐの頃だから、いわゆる「獣害」の拡大が目立つようになるまでのタイムラグがずいぶん長いように思われる。このゼミでは人の暮らししぶりの変容に注目して、我が国の国土の問題を学生の皆さんと一緒に考えたい。問題を考えるばかりではなく、この国のありようを、そして私たちは何をすべきなのかを考えたい。そして、それについて社会に発信することに取り組んでみよう。 南伊豆も獣害と向き合う地域の一つで、農林業は獣の影響が深刻です。しかし、どんなに深刻な問題が地域に存在していても、東京で暮らしていると、問題の重大性が希薄にしか伝わってこず、他人事になりがちです。本ゼミを通して獣害問題をすこしでも自分事として考えられるようにしたいものです。 2019 年にはイノシシが J R 国立駅近くや足立区の河川敷に出没したと報じられました。私たちが獣との軋轢の問題を自分事としてとらえるに至るには、今より相当に深刻の度合いを増すまで待たねばならないのでしょうか？ 「伊豆に学ぶ」シリーズでは、現代人を取り巻く様々な関係が希薄であること、それがために諸処に自分と様々な対象物や対象事象との繋がりに実感が伴わないこと、皆が当事者意識を持ってないことが問題をさらに深刻化させていることなどを重要な気付きとして位置付けています。 伊豆ゼミを受講した学生であっても、ゼミ中に得たその「感覚」はそのまま放置すると、あっという間に風化してしまいます。それは実にもったいないことです。 本自由研究ゼミナールは、体験ゼミ「伊豆に学ぶ」とは少し違う角度から本件について考察を深めていきたいと考えています。違う角度とは何か？このゼミナールでは自律的に企画することにより、「伊豆に学ぶ」とは違った視点で、発信することを通して深く考える力や行動する力を涵養してもらいたい。 感じる力、考える力、行動する力。東大生に足りないものは何であろう。 一度立ち止まって、ゆっくりじっくり自分流に自分の人生を振り返ってみて欲しい。多くの東大生が回り道をしながら、効率重視で最短を突き進むべきと考えがちであるように見受けられますが、果たしてそれで良いのでしょうか。ともすれば価値観まで人任せにしまっていたりしないでしょうか。皆が価値あると言うものにしか価値を見出せなかったり、自分にとってどういう価値があるのかを考えもしなかったり、そんなことはありませんか？ このゼミでは五月祭・駒場祭に「ジビエを通して獣害問題と向き合う」企画を打ち出します。このゼミはまず動くことから始めるゼミです。企画のデザインをどうしようというところから手作りする、そんな実験的なゼミです。私はこの手の実験が成立するところを何度も見て来ました。今回、どんな面白い展開になるかは、君たち次第ということになります。 ※受講人数：特に設定しない ※講義の目標：自主・自律に動けるようになること。様々な問題を他人ごととしない気分を身に付けること。学園祭企画を立ち上げること。 ※開講場所：駒場（必要に応じて樹芸研究所を訪ねる） ※駒場での講義：企画進捗に合わせて 3、4 回とゼミ既修者との交流。 ※五月祭：先学期のゼミ生が実施する模擬店（伊豆の獣害問題の提示とイノシシソーセージを販売する）経営に合流する。 ※駒場祭：新たな企画を立ち上げ、駒場祭にて伊豆の獣害問題の提示やイノシシソーセージを販売する企画を実施する。 授業中の取り組み姿勢、企画立案および企画実行の取り組み姿勢、責任ある行動を重視する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time 2020 年 06 月 08 日 2 限／2nd Period12 号館 1221 教室（6/15, 6/29, 7/13 にも実施します）								
評価方法 教科書 ガイダンス								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40282	S 2	ビントゥパーチョコレート 作り体験から学ぶべきこと S 2	鴨田 重裕	農学部	集中	1.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。 なぜチョコレート作りを大学の教材に？ 大学生も教養として、チョコレート作りもできたらいいかも知れない。 今あなたはこんな風に思いましたか。 いいえ。本ゼミでは雑学として、皆さんをチョコレートに向き合わせるつもりはありません。あくまでも「考える」きっかけとしてチョコレートをとりあげてみたいと思っていますのです。 敢えて言えば、チョコレートを作れる大学生を育てたい訳ではないのです。 育てたいのは自律的に考えられる大学生です。「自律的に考えられる」の先には、当然のこととして、判断して行動するということが包含されます。 何を考えるべきなのか？ それを自分で見つけるには、豊かな感性が必要になります。感覚が研ぎ澄まされていなくては、考えるべきポイントを見つけ出すことなどできません。 ここまで書いたようなことは、残念ながら受験勉強では身に付きにくいと思われます。むしろ受験勉強の邪魔になることもあるかも知れません。受験のテクニックとしては、自律的に自分のやり方を模索するより常法をしっかりと身に付けることの方が重要です。感性など、受験にはもはや不要かも知れません。 受験勉強を終え大学に入学した君たちには、是非ここで立ち止まって熟考していただきたい。これから君たちが生きていく世界がいったいどんなことになっていこうとしているか。自分はどの様に社会の中で生きていくべきか。遣り甲斐のある社会参加の仕方をどの様に探していこうかと。 ちょこっと話が行き過ぎたかも知れないので、チョコレート嚙に戻そう。 今現在、チョコレートはとても普通な存在です。普通のモノ、在り来たりモノって、皆さんよく知っている気分になるものです。大切なことは、そのよく知っているつもののチョコについて、実はほとんど知らないということを知るコト。 思い込んでいることっていうものは、これをリセットするのはなかなか難しいことです。 意識することのなかった事柄やプロセスに、しっかり意識を向けることは、これまた難しいことです。 それを可能にする手法・手段として、全学体験ゼミ「伊豆に学ぶ」シリーズや、「森に学ぶ」シリーズを用意しています。本自由研究ゼミはその流れの中に位置づけられているものです。 意識することのなかったプロセスを、一通り体験することで見えること・気付くことがあるというコトへの気付き。 南伊豆の樹芸研究所では温泉熱を利用した温室で熱帯産有用植物を育てている。その温室で収穫したカカオを使ってチョコレートを作り市販したのが5年前のことです。日本国産カカオによるチョコレートを市販した第一号案件となります。 「伊豆に学ぶ」シリーズでは、現代人を取り巻く様々な関係が希薄であること、それがために諸処に自分と様々な対象物や対象事象との繋がりに実感が伴わないこと、皆が当事者意識を持ってないことが問題をさらに深刻化させていることなどを重要な気付きとして位置付けています。 伊豆ゼミを受講した学生であっても、ゼミ中に得たその「感覚」はそのまま放置すると、あっという間に風化してしまいます。それは実にもったいないことです。 本自由研究ゼミナールは、体験ゼミ「伊豆に学ぶ」とは少し違う角度から本件について考察を深めていきたいと考えています。違う角度とは何か？このゼミナールでは自律的に企画することにより、「伊豆に学ぶ」とは違った視点得て、発信することを通して深く考える力や行動する力を涵養してもらいたい。 感じる力、考える力、行動する力。東大生に足りないものは何であろう。 一度立ち止まって、ゆっくりじっくり自分流に自分の人生を振り返ってみて欲しい。多くの東大生が回り道をしながら、効率重視で最短を突き進むべきと考えがちであるように見受けられますが、果たしてそれで良いのでしょうか。ともすれば価値観まで人任せにしてしまっていたりしないでしょうか。皆が価値あると言うものにしか価値を見出せなかったり、自分にとってどういう価値があるのかを考えもしなかったり、そんなことはありませんか？ このゼミでは学園祭に「ビントゥパーチョコレート作り体験」を来訪者にしてもらおう企画を打ち出します。このゼミはまず動くことから始めるゼミです。企画のデザインをどうしようというところから手作りする、そんな実験的なゼミです。私はこの手の実験が成立するところを何度も見て来ました。今回、どんな面白い展開になるかは、君たち次第ということになります。自由と自主の取り組みを存分にお楽しみください。 ※受講人数：特に設定しない ※講義の目標：自主・自律に動けるようになること。様々な問題を他人ごとにしないうる気分を身に付けること。学園祭企画を立ち上げること。 ※開講場所：駒場と弥生キャンパス（五月祭） ※駒場で講義：隔週で月曜6限を基本。企画進捗に合わせてゼミ生同士で打合せや作業を。 ※五月祭：先学期のゼミ生が実施するビントゥパーチョコレート作り体験企画に合流します。 ※駒場祭：新たにビントゥパーチョコレート作り体験ができる企画を立ち上げます。（S2ゼミ）						
評価方法 教科書 ガイダンス		授業中の取り組み姿勢、企画立案および企画実行の取り組み姿勢、責任ある行動を重視する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time 2020 年 06 月 08 日 2 限／2nd Period12 号館 1221 教室（6/22, 7/6, 7/13 にも実施します）						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40309	S 2	国連と文化 2	井筒 節	教養教育 高度化機構	集中	2.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。 アントニオ・グテーレス新事務総長がリーダーを務める国連本部（米国ニューヨーク）を訪れ、国連システムによる平和と安全、開発、人道、人権をめぐる活動につき、国連事務局、国連開発計画（UNDP）、国連児童基金（UNICEF）、国連人口基金（UNFPA）等で働く国連職員から、世界の現状と国連の活動の実際を学びます。 また、各自ニューヨークの文化活動を体験し、これに基づき、国際課題に対する未来志向の提言をまとめ、グループ討議を行います。 （国連職員による講義は、日本語と英語で行われ、通訳は入りません。また、渡米時期は8月中もしくは9月上旬の約1週間、旅費等は原則自己負担を予定しています。） *履修希望者は、S1 タームの全学自由研究ゼミ「国連と文化1」の初回ガイダンスに参加し、履修登録して下さい。「国連と文化I」が、このニューヨーク集中講義の事前準備および選考を兼ねます。希望者が予定人数を超えた場合は、レポートによって選考を行います。 評価方法 授業への参加とレポートにより評価を行います。 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time 2020 年 04 月 08 日 3 限／3rd Period「国連と文化1」実施教室								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40312	S 2	【電気電子情報体験ゼミ】 コンピューター・マイクロ チップを作ろう	池田 誠 杉山 正和	工学部	集中	1.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。 本郷キャンパスあるいは駒場Ⅱキャンパスにある電子・情報系の研究室にて集中開催する。 最新情報は http://www.ee.t.u-tokyo.ac.jp/~sugiyama/taiken/ を参照のこと。 受講するためには、ガイダンスに出席して履修許可を得ること（人数調整のため）。 電気電子工学科・電子情報工学科の研究室に仲間入りする。普段研究室で行われている最先端の研究から1週間で実施可能なテーマを選び、教職員や大学院生の指導を受けて、1・2年生諸君が主体となって研究を進める。日ごろの受け身の実験とは異なり、貴方たち自身で考えて行動し、未知の結果を得る醍醐味をぜひ味わってほしい。 皆さんが使っているパソコンからスーパーコンピュータ、また、ケータイからクレジットカード、Suicaに至るまで、その心臓部はVLSIと呼ばれるシリコンのマイクロチップである。簡単なコンピュータとして働くマイクロチップを自らデザインしてみよう。あなたがデザインは、企業の最先端のラインで製品となり、しばらくの後、あなたの許に戻ってくる。作製したマイクロチップを使用したコンピュータを構成し、実際にプログラミングして動作を確認してみよう。世界でたった1つの、あなたのデザインによるコンピュータが誕生する。 ※このゼミは4月6日（月）（全学体験ゼミナール）、7日（火）（全学自由研究ゼミナール/学術フロンティア講義）6限（18：45～）7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 8/7に行われる合同発表会にて成果報告をすることにより単位を取得する。 評価方法 8/7に行われる合同発表会にて成果報告をすることにより単位を取得する。 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time 2020 年 04 月 08 日 6 限／6th Period164 教室								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40313	S 2	【電気電子情報体験ゼミ】 神経回路でプラスチック 地雷を見つけよう	廣瀬 明 杉山 正和	工学部	集中	1.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。 本郷キャンパスあるいは駒場Ⅱキャンパスにある電子・情報系の研究室にて集中開催する。 最新情報は http://www.ee.t.u-tokyo.ac.jp/~sugiyama/taiken/ を参照のこと。 受講するためには、ガイダンスに出席して履修許可を得ること（人数調整のため）。 電気電子工学科・電子情報工学科の研究室に仲間入りする。普段研究室で行われている最先端の研究から1週間で実施可能なテーマを選び、教職員や大学院生の指導を受けて、1・2年生諸君が主体となって研究を進める。日ごろの受け身の実験とは異なり、貴方たち自身で考えて行動し、未知の結果を得る醍醐味をぜひ味わってほしい。 われわれ人間は、人の顔を一目で見分けられます。これは普通のコンピュータには難しい芸当です。実は脳の中の神経回路（ニューラル・ネットワーク）は、人の顔の認識が得意だけでなく、壁の模様の中のわずかなシミなども簡単に見つけ出すことができ、そのような「パターン処理」が得意です。その原理を使って、地中に埋められた地雷を見つけ出す地中レーダーの実験を体験してみましょう。 体験実験のポイントは次の2つです。まず、あなた専用の高周波アンテナを自作して、地中を探るためのレーダー・システムを構築します。あなた自身のユニークなアンテナを作製してください。次に、実際に（模擬の）プラスチック地雷を地中に埋めてレーダー情報を取得し、「自己組織化マップ」とよばれるニューラル・ネットワークを上手に使うことで、地雷が見えるかどうか試してみます。レーダーと脳機能を結びつけることで、難しい仕事が可能になることを体験してください。 ※このゼミは4月6日（月）（全学体験ゼミナール）、7日（火）（全学自由研究ゼミナール/学術フロンティア講義）6限（18：45～）7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 8/7に行われる合同発表会にて成果報告をすることにより単位を取得する。 評価方法 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time 2020年04月08日6限／6th Period1号館164教室								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40314	S 2	【電気電子情報体験ゼミ】 マイクロマシン（MEMS） をつくろう	三田 吉郎 杉山 正和	工学部	集中	1.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。 本郷キャンパスあるいは駒場Ⅱキャンパスにある電子・情報系の研究室にて集中開催する。 最新情報は http://www.ee.t.u-tokyo.ac.jp/~sugiyama/taiken/ を参照のこと。 受講するためには、ガイダンスに出席して履修許可を得ること（人数調整のため）。 電気電子工学科・電子情報工学科の研究室に仲間入りする。普段研究室で行われている最先端の研究から1週間で実施可能なテーマを選び、教職員や大学院生の指導を受けて、1・2年生諸君が主体となって研究を進める。日ごろの受け身の実験とは異なり、貴方たち自身で考えて行動し、未知の結果を得る醍醐味をぜひ味わってほしい。 半導体集積回路作製技術(プロセス)を用いて微小な機械構造を作ることができる。これをアメリカではMEMS、日本ではマイクロマシンと呼び、加速度センサ、インクジェットプリンタのヘッド、プロジェクタ等幅広い分野での応用が期待されている。マイクロマシンの研究は、電気工学、機械工学、材料工学等、工学の幅広い分野にまたがる学際的要素を必要とし非常にエキサイティングである。本実習では、大規模集積システム設計教育研究センター(VDEC)のCADを利用してマイクロ構造を設計し、武田先端知スーパークリーンルームにおいて試作し、評価を行なう。 ※このゼミは4月6日（月）（全学体験ゼミナール）、7日（火）（全学自由研究ゼミナール/学術フロンティア講義）6限（18：45～）7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 評価方法 実施期間中(8/3-7)研究室にて実験・実習を行い、8/7に行われる合同発表会にて成果報告をすることにより単位を取得する。 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time 2020年04月08日6限／6th Period1号館164教室								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40315	S 2	【電気電子情報体験ゼミ】 光学非線形現象で細胞を 可視化しよう	小関 泰之 杉山 正和	工学部	集中	1.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。 本郷キャンパスあるいは駒場Ⅱキャンパスにある電子・情報系の研究室にて集中開催します。最新情報はhttp://www.ee.t.u-tokyo.ac.jp/~sugiyama/taiken/を参照のこと。受講するためには、ガイダンスに出席して履修許可を得ること(人数調整のため)。電気電子工学科・電子情報工学科の研究室に仲間入りし、普段研究室で行われている最先端の研究から1週間で実施可能なテーマを選び、教職員や大学院生の指導を受けて、1・2年生諸君が主体となって研究を進める。先端的な装置を用いて工夫しながら実験を進める醍醐味をぜひ味わってほしい。 近年、エレクトロニクス、レーザ技術、情報処理技術が大きく発展しました。その結果、光を高度に制御し、物質を高速かつ高精度に計測し、解析することが可能になっています。そのような最先端のエレクトロニクスの応用の一つとして期待されているのがバイオ・医用領域です。特に近年、パルスレーザを高度に活用する光学顕微鏡が次々と開発され、活発な研究が進められています。短パルスレーザを用いた高精度計測技術、超解像顕微鏡、蛍光タンパク質など、関連技術がノーベル賞を受賞したことも記憶に新しいところです。 本実習では、パルスレーザとレーザ顕微鏡に触れ、その仕組みを理解するとともに、様々な生体試料を観察し、その画像データを処理することで、細胞の状態や動き、食品中の生体分子の空間分布などを解析します。その中で、電子・情報技術がどのようにバイオ・医用領域で活用されているかを実感していただき、将来の発展の方向性を議論したいと考えています。 ※このゼミは4月6日(月)(全学体験ゼミナール)、7日(火)(全学自由研究ゼミナール/学術フロンティア講義)6限(18:45～)7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 8/7に行われる合同発表会にて成果報告をすることにより単位を取得する。 評価方法 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time 2020年04月08日6限／6th Period1号館164教室								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40316	S 2	【電気電子情報体験ゼミ】 セキュリティホールを 調べてみよう	松浦 幹太 杉山 正和	工学部	集中	1.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。 本郷キャンパスあるいは駒場Ⅱキャンパスにある電子・情報系の研究室にて集中開催する。 最新情報はhttp://www.ee.t.u-tokyo.ac.jp/~sugiyama/taiken/を参照のこと。 受講するためには、ガイダンスに出席して履修許可を得ること(人数調整のため)。 電気電子工学科・電子情報工学科の研究室に仲間入りする。普段研究室で行われている最先端の研究から1週間で実施可能なテーマを選び、教職員や大学院生の指導を受けて、1・2年生諸君が主体となって研究を進める。日ごろの受け身の実験とは異なり、貴方たち自身で考えて行動し、未知の結果を得る醍醐味をぜひ味わってほしい。 情報セキュリティ技術は、情報通信システムの利用者を様々な脅威から守ってくれる。実際、Webブラウザや自動現金預け払い機のように身近なシステムの中でも、多様な情報セキュリティ技術が使われている。しかし、適切な使い方を心がけなければ、セキュリティホールの罠にはまりかねない。その仕組みを学び、インターネットによる実態調査や、本人確認装置あるいはセキュリティモジュールの攻撃実験などによって、脆弱性の実態を調べる。 ※このゼミは4月6日(月)(全学体験ゼミナール)、7日(火)(全学自由研究ゼミナール/学術フロンティア講義)6限(18:45～)7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 実施期間中(8/3-7)研究室にて実験・実習を行い、8/7に行われる合同発表会にて成果報告をすることにより単位を取得する。 評価方法 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time 2020年04月08日6限／6th Period164教室								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40317	S 2	【電気電子情報体験ゼミ】 光ファイバでレーザを作ろう	山下 真司 杉山 正和	工学部	集中	1.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。 本郷キャンパスあるいは駒場Ⅱキャンパスにある電子・情報系の研究室にて集中開催する。 最新情報は http://www.ee.t.u-tokyo.ac.jp/~sugiyama/taiken/ を参照のこと。 受講するためには、ガイダンスに出席して履修許可を得ること（人数調整のため）。 電気電子工学科・電子情報工学科の研究室に仲間入りする。普段研究室で行われている最先端の研究から1週間で実施可能なテーマを選び、教職員や大学院生の指導を受けて、1・2年生諸君が主体となって研究を進める。日ごろの受け身の実験とは異なり、貴方たち自身で考えて行動し、未知の結果を得る醍醐味をぜひ味わってほしい。 レーザと光ファイバ、ともに現在の情報社会を支える、高速大容量通信の2大要素である。インターネット経由で動画を自由に楽しめるのも、大陸間の海底から都市の幹線まで網目のように張り巡らされた光ファイバを通して、レーザが作る光デジタル信号が縦横無尽に伝送されるおかげである。このレーザは、波長と位相のそろった光を放つ光源であるが、これを実際に作ったことのある人はいるだろうか？レーザを作るには、光を増幅する装置と、光を閉じ込めるための鏡、そして、光が発生するタイミングを制御する特殊なしくみがあれば良い。光の伝送路である光ファイバは、髪の毛ほどの太さのガラス線であるが、ある工夫を施した光ファイバは光の増幅作用を持つ。このような光ファイバを使うと、実験室にある道具・機器を用いて、自分自身でレーザをつくることができる。光の物理や、情報伝達の仕組みに興味がある方には、非常に興味深い体験となること間違いない。 ※このゼミは4月6日（月）（全学体験ゼミナール）、7日（火）（全学自由研究ゼミナール/学術フロンティア講義）6限（18：45～）7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 評価方法 実施期間中(8/3-7)研究室にて実験・実習を行い、8/7に行われる合同発表会にて成果報告をすることにより単位を取得する。 教科書 ガイダンス 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time 2020年04月08日6限／6th Period1号館164教室								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40318	S 2	【電気電子情報体験ゼミ】 身近なモノを インターネットにつなごう	森川 博之 杉山 正和	工学部	集中	1.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。 本郷キャンパスあるいは駒場Ⅱキャンパスにある電子・情報系の研究室にて集中開催する。 最新情報は http://www.ee.t.u-tokyo.ac.jp/~sugiyama/taiken/ を参照のこと。 受講するためには、ガイダンスに出席して履修許可を得ること（人数調整のため）。 電気電子工学科・電子情報工学科の研究室に仲間入りする。普段研究室で行われている最先端の研究から1週間で実施可能なテーマを選び、教職員や大学院生の指導を受けて、1・2年生諸君が主体となって研究を進める。日ごろの受け身の実験とは異なり、貴方たち自身で考えて行動し、未知の結果を得る醍醐味をぜひ味わってほしい。 ユビキタスコンピューティング環境では今まで予想し得なかったモノがネットワークに接続され、これまでにない革新的なサービスが実現される。このゼミでは、センシング機能と無線通信機能を備えたマイクロコンピュータを用いて、インテリジェントなモノを実際に作成する。例えば、カップが空になったら自動的に店員にメールを送ってくれるスマートカップの作成などを行う。センサネットワーク、インターネット、無線通信、電波伝搬、組み込みOS、マイクロコンピュータの仕組みなどをプログラミングならびにハードウェアいじりを通して学ぶとともに、10年後、20年後の世界に想いをめぐらす。 評価方法 実施期間中(8/3-7)研究室にて実験・実習を行い、8/7に行われる合同発表会にて成果報告をすることにより単位を取得する。 教科書 ガイダンス 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time 2020年04月08日6限／6th Period1号館164教室								

全学体験ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31672	S	ラテンアメリカ音楽演奏入門 1	石橋 純	教養学部	月 5	2.0	音楽実習室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 ラテンアメリカの音楽を実演体験します。 中心となるのは、南米北部〜カリブの島々で演奏される 4 弦小型ギター《クアトロ》の演奏です。南米では 400 年以上も演奏されつづけている伝統楽器です。演奏しやすく、「ギターを始めたけれど F コードで挫折」という人でも簡単に弾きこなせます。しかもコードの響きが美しく、柔軟な音楽性を持っています。ダイナミックにかき鳴らしてよく、リズムカルにカッティングしてかっこよく、繊細に爪弾いても魅力的な楽器です。南米民謡はもちろん、JPOP からクラブミュージックまでどんなジャンルでも演奏することができます。持ち運びにも便利。この楽器を覚えれば、歌伴には 6 弦ギターがいらなくなります。 授業では、主としてベネズエラの伝統音楽を練習する予定です。ラテンアメリカ音楽の知識や五線譜の読譜力などは不要ですが、ギターをいじった経験（スリーコードを押さえられる程度）があるほうが入りやすいです。弦楽器初心者も歓迎です。弦楽器初心者も歓迎です（ただし自習時間を確保してください）。義務教育のリコーダーと鍵盤ハーモニカ以外に楽器に触ったことがなかったという人が立派なクアトロ奏者になった過去の事例もあります。 クアトロを通じてベネズエラ音楽の基礎を教習しますが、マンドリン、ヴァイオリン、フルート、クラリネット、ベース、パーカッションなどでベネズエラ音楽を演奏したいという方は随時それらの楽器で練習していただきます（クアトロ以外にクラシックギター、エレキベース、マンドリン、バンドーラ、マラカス、コンガ、ボンゴ、ギロ、クラベスその他小打楽器を備品として貸し出します。備品にない楽器は自前の楽器を持ち込んでください）。ソロ歌手志望も大歓迎します（とくに 2 外スペイン語選択の歌手募集。ソロ歌手には特別にスペイン語歌唱の個人指導を提供します）。 クアトロの奏法ならびに南米音楽の実演だけでなく、学期末の成果発表コンサートを履修生が自主制作することも、このゼミで学ぶ重要な「体験」のひとつです。広報・音響技術・照明・舞台美術・舞台演出・舞台化粧・写真・ビデオ編集・グラフィックデザインその他イベント制作全般に興味のある方もふるってご参加ください。 当ゼミは海外メディアからも注目されています。ネット経由でスペイン語を使って全世界とつながる活動に関心のある方もお待ちしております。 出席重視、遅刻厳禁。成果発表コンサートに演奏参加することが単位取得条件。演奏技術の優劣は評価しません。下手でも楽しんで演奏し、仲間と音楽を共有し、イベントを作ることには意義があります。							
評価方法	出席重視、遅刻厳禁。成果発表コンサートに演奏参加することが単位取得条件。演奏技術の優劣は評価しません。下手でも楽しんで演奏し、仲間と音楽を共有し、イベントを作ることには意義があります。							
教科書	その他。／Other							
ガイダンス	その他 楽譜と歌詞を揃えたオリジナル教材を頒布 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time							

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31680	S	数理物理への誘い －解析力学と相対性理論－	加藤 晃史	数理科学研究科	月 5	2.0	157 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 現代物理学は難しいと考えられがちだが、数学的構造と物理的内容を区別してそれぞれをきちんと理解すれば、教養レベルの数学と物理の知識で十分に理解可能である。本ゼミナールは、解析力学と相対性理論を題材として数理物理の広大な世界への入門としたい。 予備知識としては 1 年次に学ぶ力学、線形代数、微積分、微分方程式などの基礎的な知識（特にテイラー展開や合成関数の微分の連鎖律など）を仮定するが、未修であっても必要に応じて適宜解説する予定である。 わずかな基本原理を仮定し、論理的な考察によって驚くべき結果を次々と見出したアインシュタインら先人達の驚きを追体験しよう。							
評価方法	出席・レポート・質問や発表等のゼミへの貢献度などで評価する。							
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook							
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31801	S	IoT は教育をどう変えるか？	坂口 菊恵	教養教育 高度化機構	火 2	2.0	101 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 2019 年度は「大学入学共通テストにおける英語スピーキングテスト」「GIGA スクール構想」など、良くも悪くも教育と ICT の関係が注目される 1 年間となりました。スキャンダル、バラマキなど色々とメディアを賑わすニュースもありましたが、2018 年の PISA 調査で日本の学校内学習における ICT 利用率が OECD 加盟諸国内で最下位に近いという結果が出たことを考えると、今後学習空間における ICT 利用、さらには今後教育現場に入ってくるであろう IoT 利用が進むことは間違い無いでしょう。 一方、私たち一人ひとりにとってみるとこうした機会は「何を使って」「どう学び」「その結果どうなるのか」を改めて考え直す機会であるとも言えるかもしれません。学校・公共空間・職場・家庭...人は様々な場所で様々な学習をしています。本ゼミナールでは、実際に教育・学習空間に入ってくる ICT、IoT ツールを実際に触ってみながら令和時代の教育について考えてみたいと思います。 評価方法 グループワークでの調査、プレゼンテーション 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31681	S 1	多変数関数の微分	清野 和彦 志甫 淳	数理科学研究科	火 2, 金 2	2.0	511 教室	1 年 文科 理科
授業の目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 理系の 1 年生が S セメスターに学ぶ熱力学では、物理的な状態を表す関数が多変数関数であるため、状態の変化は多変数関数の微分によって表されます。しかし、大学に入学したばかりの 1 年生のほとんどは多変数関数の微分どころか多変数関数にさえ触れたことがありません。一方、多変数関数の微分が数学の講義で扱われるのは S2 タームの後半から A セメスターのはじめにかけてです。そこで、このゼミナールでは多変数関数の微分についてゆっくりと学びます。必要なことは熱力学の講義でも説明されますし、少し待てば数学の講義でも学ぶ内容ですので、数学が気になって熱力学の本当の内容に集中できない人や、数学が苦手で見ただけで数学の記号が出てきただけでめまいがして熱力学どころではなくなってしまう、というような人を念頭において話を進める予定です。 なお、熱力学の物理学としての内容には一切触れませんし、熱力学で使う数学のすべてを網羅するものでもありません。逆に、熱力学には直接出てこない内容も扱います。あくまでも数学の授業ですので、誤解のないようにお願いします。また、1 変数関数の微分をよく理解していることを前提にしませんので、多変数関数の微分とはどんなものかということに興味のある文系の学生も歓迎します。 評価方法 毎回の小テストと、それを補充するレポートによる。 教科書 プリントを配布する。／Will distribute handouts ガイダンス 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31630	S	ゲームデザイン論 ～先端技術が生み出す新しいあそび～	苗村 健	工学部	火 5	2.0	K402	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 先端技術を駆使した新しい「あそび」として、さまざまな「ゲーム」が、産業的にも文化的にも大きな功績を残してきました。この全学体験ゼミナールでは、人類にとっての「あそび」とは何なのかを考え、その中で未来の「ゲーム」はどうあるべきかを発想するための基礎を体験的に学びます。 ゲーム制作においては、あそびとしてルールを作る・相互の関係性を結ぶ・ストーリーを空想する・身体を使うなどの要素を考慮するだけでなく、エンジニアリングやマーケティングの側面も重要になります。これらを総じて「ゲームデザイン論」と称し、総合的な学びの機会とします。 ※このゼミは 4 月 6 日（月）（全学体験ゼミナール）、7 日（火）（全学自由研究ゼミナール/学術フロンティア講義）6 限（18：45～）7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 評価方法 出席と企画発表の成果で評価します。 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2020 年 04 月 07 日 5 限／5th Period 授業の教室								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31647	S	Arduino を使って 応用システムを作ろう A	廣瀬 明	工学部	火 6	2.0	K301	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 IT の普及と発展により、我々の身の回りには新しい製品やサービスが登場し、時として生活スタイルを大きく変えたり、ビジネスの枠組み自体に大きな影響を与えたりすることがある。購買者や利用者として製品やサービスが提供するメリットを享受することはたやすいが、逆に購買者や利用者を興奮させたり、目を見開かせたりする製品やサービスを創造することは容易ではない。では、購買者や利用者を「これはすごい!」、「これは便利だ」、「これは心地よい」、「これは楽しい」と言わせるモノを創ってみようではないかというのがこのゼミの狙いである。 まずは、「作ってみた」というレベルから開始して、最終的には製品やサービスが果たす「社会的なゴール」を意識したレベルのモノづくりに取り組んで欲しいと考えている。従って、ゼミに参加するにあたっては何にチャレンジしたいのか、具体的な目標を持って臨んでもらいたい。個々のゼミ生の目標に基づき、専門家による指導を受けたり、製造現場を見学に出向いたりしたいと考えている。また、構築した応用システムは、完成後、想定される利用者に試用してもらい、利用者の評価を受ける予定である。さらに、本ゼミでは起業を支援した実績があり、起業にチャレンジしたい学生諸君の参加を大いに歓迎する。 ※受講人数： 10 名に制限する。 ※開講場所： 駒場 KOMCEE West 3 階 K301 号室 を予定 受講を希望する学生は、廣瀬（ahirose@ee.t.u-tokyo.ac.jp）まで必ず事前にメールで申し込みこむこと。（希望者多数の場合には抽選とする） ※このゼミは 4 月 6 日（月）（全学体験ゼミナール）、7 日（火）（全学自由研究ゼミナール/学術フロンティア講義）6 限（18：45～）7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 評価方法 ガイダンス、講義、実習、システム構築、プレゼンテーション、発表会への参加。 教科書 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Arduino をはじめよう 著者(訳者) Missimo Banzi (船田 巧) 出版社 オーム社 (オライリー・ジャパン) ISBN 978-4-87311-537-5 ガイダンス 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time 工学部の合同ガイダンスが設定される場合（別途周知される予定）にはこれに参加するほか、第 1 回講義で行う								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31626	S	飛行ロボットを作って飛ばす	土屋 武司	工学部	水 5	2.0	シラバス 参照	1 年 理科 2 年 理科
授業の目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 「空の産業革命」ドローン時代が幕を開けようとしている。 我々はドローン（無人航空機）を飛行ロボットと呼んでいる。 本ゼミでは、室内で安全に飛行できる大きさ数 10cm～1m 程度、重量数 100g の飛行ロボットを設計、製作し飛行させることを目標とする。小さくても飛行ロボットには航空工学の要素が詰まっており、講義、実習を通じてこれを理解する。全日本学生室内ロボットコンテストのレギュレーションに沿った機体とする。 http://indoor-flight.com/ なお、今学期はドローンをビジネスから考えて創造する新コースを準備している。ドローンビジネスを展開する方々とディスカッションし、また企業も訪問して「空の産業革命」を体感する。製作・飛行を行う班と別れて活動する。 ※駒場からの移動時間を考慮し、17 時 40 分から開始する。 ※開講場所は本郷キャンパス工学部 7 号館 70 号講義室。工作場所は同キャンパス内工学部 13 号館。 ※このゼミは 4 月 6 日（月）（全学体験ゼミナール）、7 日（火）（全学自由研究ゼミナール/学術フロンティア講義）6 限（18：45～）7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 評価方法 授業への参加、貢献度による。 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31691	S	工学研究の最前線を支える 実験装置を体感・体験する	吉永 直樹	生産技術 研究所	水 5	2.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 大学における基礎的学習やこれをベースに展開する研究が、その後どのように社会に還元され実装されるかを実感する機会は今まであまり無かったであろう。本体験ゼミナールでは、工学研究を対象に、これが実社会とどのように結びついているか、その社会実装に向けてどのような工夫がなされているかについて、工学研究の実験的・実証的研究のために本学で活躍している試験装置や、普段は見かけることのあまり無い実験機器、可視化装置を実際に間近に見て体験することにより、工学研究の最前線・最先端の現場をより身近に臨場感を持って知り、理解を深めることを目的とする。 本体験ゼミナールでは、これらの装置やそこから生み出される研究成果の理論的内容や背景を理解するというより、むしろこのような装置から社会に直接的・間接的に役立つアウトプットが生み出されている実態を「知ってもらう」ことに主眼を置いており、したがって文系、理系を問わず、実物を間近に見て体験することに興味を持つ学生諸君の参加を期待している。 ※ガイダンスは 4 月 7 日および 4 月 15 日の 12:20～12:45 に行う（場所は 1 号館 105 教室）。 ※受講人数を 25 名に制限する。 なお、25 名を超えた場合は受講者の公平を期してくじ引き等で受講生を選抜することがある。また、電力事情等により施設見学の日程が変更となる場合があるのでガイダンス時の情報提供等に注意されたい。 評価方法 出席点とレポートの提出により評価する。 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time 2020 年 04 月 07 日および 4 月 15 日の 12:20～12:45 に 1 号館 105 教室								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31703	S	ささえあいレシポ ～ピアサポートを知る&動く～	高野 明	相談支援研究 開発センター	水 5	2.0	151 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 ピアサポートとは、学生生活上で支援(援助)を必要としている学生に対し、仲間である学生同士で手助けを行う活動です。本学では、学生のみなさんの支え合いと自主的成長を促進するために、学生ボランティアのピアサポーターを組織し、学生による学生を支えるピアサポート活動を全学的に展開しています。 この授業では、ピアサポートの理論と実践方法について体験的に学習し、相互扶助のキャンパスづくりに貢献できる知識とスキルを習得・体験することを目標とします。授業は、ピアサポート活動に関わる教員による講義と実習、学生同士のディスカッションによって構成されます。受講者には、相互扶助のキャンパス作りに関する学習への積極的なコミットメントが求められます。 なお、この授業を受講することで、ピアサポーター認定のための予備研修・総括講義を受けたことになり、登録後すぐに活動ができます。						
評価方法		授業での発表や毎回授業で実施するレポート作成をもとに評価します。						
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31805	S	自由に読み、書き、表現する 2 —コラムランド 2020S—	椿本 弥生	教養教育 高度化機構	金 2	2.0	K213	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 ■概要 文章を読んだり書いたりするのは好きですか？ 自分の専門分野以外の文章も、もっと読んだり書いたりしたい。自分が書いたものを誰かに読んでもらいたい。誰かが書いたものを読んでみたい。でも、なかなかそんな機会がない…。このゼミは、その機会を提供します。 このゼミは、全員参加型のゼミです。毎週変わるお題に対して各自が自由に発想をひろげ、作品としてまとめて投稿します。ゼミ内では、それらを作者名をふせた状態で読み、グループで話し合って「今週のイチオシコラム」を決定します。最後の最後に、各作品の作者名を公開します。 ゼミタイトルは「コラム」ですが、ここで対象とする文章は何でもありです。詩、散文、論説など、自由に書いてください。 毎週の作品の分量は、A4 用紙 1 枚以内。余白もフォントサイズも指定しません。用紙いっぱいを書く必要もありません（書きたいかたはぜひどうぞ）。一般的に文章評価の研究で重視される「文章の内容・構成・表現」という観点以外の部分も、コラムの総合的表現のうちとします。お題について、豊かに発想を膨らませてください。 楽しんで文章を書く、人が書いたものを興味深く読む、多様な視点をもって積極的にディスカッションに参加する。これらが好きな人をお待ちしています。得意か不得意かは問いません。 このゼミが、みなさんの「言葉で自分を表現する」練習の舞台になれば幸いです。 なお担当教員は、文章評価を自身の専門のひとつとしています。 （この講義は、2019 年度 A セメスターに実施した「コラムランド」の修正進化版です）						
評価方法		1) 全体の 2/3 回以上の出席 2) 全体の 2/3 回以上の執筆・・・1 と 2 は両方満たすことが必要。60% 3) 毎回の授業態度（主に、ディスカッションへの建設的な参加）・・・40% 上記を総合して評価します。						
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31678	S	じっくり学ぶ数学 I	牛腸 徹 志甫 淳	数理科学 研究科	金 5	2.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科
授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 数学を学ぶ上で微積分学と線型代数学は最も基本的なものです。そこで、論理的な順番には余りこだわらずに、微積分学や線型代数学における基本的な考え方を順番に取り上げて、何をどう考えているのかとか、何がアイディアなのかということになるべくはっきりした形で説明してみようと思います。それにより、正規の数学の講義と合わせて、皆さんにより良く微分積分学や線型代数学を身につけていただく助けになればと考えています。 一応、ゼミは講義形式で行おうと考えていますが、時間の余裕のある方には演習問題を解いて頂く時間を取りたいと思っています。また、文系の方でも十分理解していただけるのではないかと思いますので、文系、理系を問わず、興味のある方でしたらどなたでも歓迎します。 ※開講場所：数理科学研究科棟 117 号室 ※授業登録はできませんが、もう一度、数学をじっくり学び直したいと思われる 2 年生の参加も歓迎します。							
評価方法 教科書 ガイダンス	問題を解いたノート提出 プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31683	S	極限的プラズマの世界 —核融合から宇宙まで—	吉岡 和夫	新領域創成科学 研究科	金 5	2.0	516 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 宇宙空間の物質のほとんどは、原子がイオンと電子に分離した「プラズマ」状態にあると言われており、惑星磁気圏や恒星表面、さらにはブラックホールなどの環境下においてプラズマの振る舞いが重要な役割を果たしている。また、日常生活範囲内においても、蛍光灯やディスプレイだけでなく、半導体プロセスや医療分野、さらには電気推進ロケットや核融合発電においてもプラズマが応用されている。本ゼミナールでは、入門的なプラズマの講義を行った後に、日常では見られない極限的なプラズマとして核融合実験装置での実験および地球上層大気での流星プラズマの観測を中心とした体験学習を実施する。							
評価方法 教科書 ガイダンス	出席点による評価を行うが、原則として講義および実習への出席が必須となる。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance 2020 年 04 月 10 日 5 限／5th Period							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31721	S	囲碁で養う考える力	森畑 明昌	教養教育 高度化機構	金 5	2.0	K501	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 囲碁は、古い歴史を持つ日本の伝統文化であるばかりでなく、国際的にも広く普及し親しまれている頭脳のスポーツである。本ゼミナールでは、囲碁のルールを学び、お互いの実戦を通じて、判断力、分析力、洞察力、集中力などを養う。指導に際しては日本棋院の全面的な協力を得る。 囲碁は初めての人を対象として、基本のルールから教える。 第 1 回にガイダンスを行い、希望者が多い場合は、第 1 回目のガイダンスの際に書いてもらう作文によって、履修者を（未経験者の中から）決定する。 ※受講人数：40 名に制限する。 ※代表教員は森畑 評価方法 講義への参加状況をもとに合否を判定する。 教科書 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 東大教養囲碁講座 ―ゼロからわかりやすく 著者（訳者） 石倉昇・梅沢由香里・黒瀧正憲・兵頭俊夫 出版社 光文社（新書） ISBN 978-4334034108 ガイダンス 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 5 限／5th PeriodKOMCEE West レクチャーホール								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31618	S	ロボット競技を 体験しよう C	國吉 康夫 西川 鋭	工学部	金 6	2.0	K113	2 年 文科 理科
授業の目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 ロボット競技とは、決められたルールに従ってオリジナルのロボットを製作して競わせるものである。ルールを徹底的に分析し、討論して最適戦略と最適マシン仕様を策定し、機械工学、電子工学、情報工学、人工知能を学び、身につけ、協力して最強のマシンを設計・製作・改良・検証する。勝つためには、訴求力あるプレゼン資料の作成や、力を発揮する組織運営、あらゆる事象を想定した危機管理など、文系的能力も不可欠である。 本ゼミでは、これらの総合的取り組みの様々な段階を実体験することで、一つの具体的目標に向けて、全員が徹底的に頭脳を振り絞り、創造力を発揮することで、総合的に人間力を高めることを狙う。 専門的な知識は前提としない。文理問わず興味を持った人に来てもらいたい。 本ゼミは 1 年 S セメスターの A から 2 年 A セメスターの D までで構成される。A に参加した学生には、基礎からの講義および実習を行い、基礎的な知識・技能の習得をまず達成する。その後、次学期以後の当ゼミに参加して発展的内容に取り組むことで学習効果が十分に得られるが、どうするかは本人の自由である。 発展的な内容を体験したい学生や、本格的なロボットの企画設計、製作等の活動を通した「ものづくり」を体験したい場合は、「NHK 大学ロボコン」に参加するチーム「東京大学 RoboTech」の活動への参加も歓迎する。 講義は平日 5 限後に駒場で行い、実習は集中講義形式をとり、本郷で行う（土曜、日曜、長期休暇中に行う場合がある）。※履修人数を 20 名に制限する。 ※関連 HP：http://www.isi.imi.i.u-tokyo.ac.jp/lectures/robot-semi.htm http://www.mech.t.u-tokyo.ac.jp/robotech/ ※このゼミは 4 月 6 日（月）（全学体験ゼミナール）、7 日（火）（全学自由研究ゼミナール/学術フロンティア講義）6 限（18：45～）7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 評価方法 講義及び実習への参加度合いにより、合格・不合格を判定する。 各学生の得意分野を積極的に評価する。たとえば、文系の学生で機械加工等が得意でなくとも、論理的分析やプレゼン資料作成で評価するなど、多様性を重んじる。 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31810	S	ロボット競技を 体験しよう A	國吉 康夫 西川 鋭	工学部	金 6	2.0	K113	1 年 文科 理科
授業の目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 ロボット競技とは、決められたルールに従ってオリジナルのロボットを製作して競わせるものである。ルールを徹底的に分析し、討論して最適戦略と最適マシン仕様を策定し、機械工学、電子工学、情報工学、人工知能を学び、身につけ、協力して最強のマシンを設計・製作・改良・検証する。勝つためには、訴求力あるプレゼン資料の作成や、力を発揮する組織運営、あらゆる事象を想定した危機管理など、文系的能力も不可欠である。 本ゼミでは、これらの総合的取り組みの様々な段階を実体験することで、一つの具体的目標に向けて、全員が徹底的に頭脳を振り絞り、創造力を発揮することで、総合的に人間力を高めることを狙う。 専門的な知識は前提としない。文理問わず興味を持った人に来てもらいたい。 本ゼミは1年SセメスターのAから2年AセメスターのDまでで構成される。Aに参加した学生には、基礎からの講義および実習を行い、基礎的な知識・技能の習得をまず達成する。その後、次学期以後の当ゼミに参加して発展的内容に取り組むことで学習効果が十分に得られるが、どうするかは本人の自由である。 発展的な内容を体験したい学生や、本格的なロボットの企画設計、製作等の活動を通した「ものづくり」を体験したい場合は、「NHK 大学ロボコン」に参加するチーム「東京大学 RoboTech」の活動への参加も歓迎する。 講義は平日5限後に駒場で行い、実習は集中講義形式をとり、本郷で行う（土曜、日曜、長期休暇中に行う場合がある）。※履修人数を20名に制限する。 ※関連 HP : http://www.isi.imi.i.u-tokyo.ac.jp/lectures/robot-semi.htm http://www.mech.t.u-tokyo.ac.jp/robotech/ ※このゼミは4月6日（月）（全学体験ゼミナール）、7日（火）（全学自由研究ゼミナール/学術フロンティア講義）6限（18：45～）7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 評価方法 講義及び実習への参加度合いにより、合格・不合格を判定する。 各学生の得意分野を積極的に評価する。たとえば、文系の学生で機械加工等が得意でなくとも、論理的分析やプレゼン資料作成で評価するなど、多様性を重んじる。 教科書 ガイダンス 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31613	S	医学に接する	石川 俊平	医学部	集中	2.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。参加する学生を4～6人のグループに分け、医学部の研究室や病院の医局に行き、現在の医学を実際に体験してもらう授業である。 平日の夕方定期的に教室を訪問するコースと、夏休みを利用して集中的に医学の現状を体験するコースの2つのコースがある。 「授業計画」を確認し、履修希望者は4月4日（土）のガイダンスに必ず出席すること。 評価方法 「合格」または「不合格」で判定 出席状況が大きな比重を占める。 教科書 ガイダンス 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time 2020年04月04日13：30から 医学部2号館3階大講堂（本郷キャンパス）								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31615	S	全国高校生社会 イノベーション選手権 I	小松崎 俊作	工学部	集中	2.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 世界的に漂う閉塞感を打ち破るのは、新しい価値を生み出すイノベーションしかありません。世界の人々が賞賛する、日本らしい優れたモノやサービスを次々に生み出してゆくことが日本の生き残る道ではないでしょうか。そのためにはイノベーションを生み出すことのできる人材を育てることが重要です。 中等教育においても、創造性を育てることが新たな教育指導要領に盛り込まれ、イノベーション教育が爆発的に広まろうとしています。そこで私たち（工学部社会基盤学科）は、イノベーション創造に取り組む全国の高校生にとって目標とする大会を創出すべく、2018 年度から全国高校生社会イノベーション選手権（イノチャン）を開始しました。（2019 年 8 月の第 2 回大会には全国から 98 チームのエントリーがあり、観音寺第一高校（香川県）が優勝、柏崎翔洋中等教育学校（新潟県）が準優勝となりました。） この全学体験ゼミナールは、駒場生の皆さんにもイノチャン企画・運営に参加していただき、イノベーションを生み出す作法や楽しさを知っていただくこと、自ら新規事業（イノチャン）を興す体験を一度でも得ていただくことを目的としています。 ※このゼミは 4 月 6 日（月）（全学体験ゼミナール）、7 日（火）（全学自由研究ゼミナール/学術フロンティア講義）6 限（18：45～）7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 ※全国高校生社会イノベーション選手権（イノチャン）は、東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻（工学部社会基盤学科）主催事業です。 大会運営への貢献と、ワークショップ（集中講義）での発言等を総合的に判断する						
評価方法 教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31634	S	超高分解能電子顕微鏡で 観る物質中の原子のならび	伊藤 剛仁	工学部	集中	1.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 原子ってどんな姿をしていると思いますか？ 本体験ゼミでは、世界最高性能の電子顕微鏡を用いて物質中の原子像の観察に挑戦します。そして、その原理や仕組みを学びます。物質中の原子 1 つ 1 つを並べて、物質の機能や性質を自在にデザインできたら・・・というナノテクノロジーの夢に、少しずつ近づいている最先端技術の一端を体験してほしいと思います。 ※このゼミは 4 月 6 日（月）（全学体験ゼミナール）、7 日（火）（全学自由研究ゼミナール/学術フロンティア講義）6 限（18：45～）7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 これに加えて、本ゼミの個別ガイダンスを別途行います(日時や場所は合同説明会で伝えます)。参加希望者は合同説明会と個別ガイダンスの両方へ出席して下さい。 実験や講義への参加による評価 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time 2020 年 04 月 08 日 6 限／6th Period105 教室						
評価方法 教科書 ガイダンス								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31635	S	感動体験！ 鉄の世界から未来を眺める	松浦 宏行	工学部	集中	1.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開されますので留意してください。 皆さんは「鉄鋼」という言葉にどのようなイメージを持っていますか。「鉄は国家なり」、「鉄は産業の米」などと言われるように遥か以前より国家・産業・社会の基盤となる重要なキーワードとして捉えられてきました。鉄鋼材料は過去から現在に渡って社会の基盤材料として活躍し、おそらく今後もその位置を維持し続けるものと考えられます。 本講義では鉄鋼材料の製造プロセスを学び、さらにその理解を深めるために、生産現場、つまり「製鉄所」を見学します。日本の製鉄所は 100 年以上の歴史と技術と先人の努力を蓄積し、世界随一の製造技術と効率を発揮しています。高さ 100 m にも及ぶ「高炉」や 1600 ℃以上の溶鋼が作り出される「転炉」、総延長 1 km 以上の「熱間圧延工程」など、いずれもテレビで見かけたことがあると思いますが、実際にそこでどのようなものがどのようにして作られ、そして最先端の製造技術が具体的にどうやって活かされているのか現場を通して学びます。 日本の製造業の根幹である鉄鋼材料を生み出す現場とその技術、そしてそこで働く方々の想いを一緒に学びましょう。 【注意】ゼミに関する重要事項は 4 月 8 日（水）6 限に行われるマテリアル工学科共通の講義ガイダンスで説明しますので、履修希望者は必ず参加してください。 ※このゼミは 4 月 6 日（月）（全学体験ゼミナール）、7 日（火）（全学自由研究ゼミナール/学術フロンティア講義）6 限（18：45～）7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。						
評価方法 教科書 ガイダンス		工場見学への出席・レポート 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time 2020 年 04 月 08 日 6 限／6th Period1 号館 105 教室						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31636	S	バイオマテリアル作り体験	吉田 亮	工学部	集中	1.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 人工臓器に代表される医療機器の材料をバイオマテリアルと呼ぶ。バイオマテリアルの中には、骨など代替するセラミックス、金属材料、さらには血管などに使われる高分子材料がある。本講義では、高分子で機能性バイオマテリアルである高分子ハイドロゲルをつくる体験、生体信号を検出するセンサーを作る体験、生体と材料が接した際に起こる反応を人工関節モデルとしてつくる体験、などを行う（内容は年によって若干変わります）。 ※このゼミは 4 月 6 日(月), 7 日(火)6 限（18：45～）に駒場キャンパス 7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。						
評価方法 教科書 ガイダンス		出席および実験のレポート 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time 2020 年 04 月 08 日 6 限／6th Period1 号館 105 教室						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31637	S 1	コンピューターで 蛋白質分子のしくみを調べよう	鈴木 康介	工学部	集中	2.0	シラバス 参照	1 年 理科 2 年 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 本授業の目的は工学部応用化学科の研究室で表記題目に関する化学実験を実施して、研究室の研究活動を体験することで化学に対する理解を深める。 ※このゼミは 4 月 6 日（月）（全学体験ゼミナール）、7 日（火）（全学自由研究ゼミナール/学術フロンティア講義）6 限（18：45～）7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。						
評価方法 教科書 ガイダンス		実験への参加状況で評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time 2020 年 04 月 09 日 6 限／6th Period1 号館 1 階 112 教室						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31638	S 1	固体触媒を使って 有機合成化学を体験しよう	鈴木 康介	工学部	集中	2.0	シラバ ス参照	1 年 理科 2 年 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 本授業の目的は工学部応用化学科の研究室で表記題目に関する化学実験を実施して、研究室の研究活動を体験することで化学に対する理解を深める。 ※このゼミは 4 月 6 日（月）（全学体験ゼミナール）、7 日（火）（全学自由研究ゼミナール/学術フロンティア講義）6 限（18：45～）7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。						
評価方法 教科書 ガイダンス		実験への参加状況で評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time 2020 年 04 月 09 日 6 限／6th Period1 号館 1 階 112 教室						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31639	S	リチウムイオン電池を 作ってみよう	山田 裕貴	工学部	集中	2.0	シラバス 参照	1 年 理科 2 年 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 リチウムイオン電池はスマートフォンやノートパソコンなどに使われている繰り返し充電可能な電池です。最近では、電気自動車や電力貯蔵用途としての採用も進んでおり、貯蔵エネルギー量の更なる増加が求められています。本ゼミでは、まだ実用化されていない新規材料を含む様々な電極材料を用いてリチウムイオン電池を作製し、その充放電特性の違いを評価します。それにより、リチウムイオン電池の構造と反応メカニズム、更なる高性能化における課題について学びます。 ※このゼミは 4 月 6 日（月）（全学体験ゼミナール）、7 日（火）（全学自由研究ゼミナール/学術フロンティア講義）6 限（18：45～）7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。						
評価方法 教科書 ガイダンス		出席による評価 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31640	S	細胞培養に 挑戦してみよう	伊藤 大知	工学部	集中	2.0	シラバス 参照	1 年 理科 2 年 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 新規医薬品開発、医用材料の開発、材料の環境リスクの評価、再生医療にまで必要不可欠な、培養細胞を用いたバイオアッセイ法を体験学習する。培養細胞に抗がん剤やナノマテリアルを投与し、代表的な生存率測定アッセイにより細胞に与える影響を調べる。 細胞培養は、化学システム工学・化学工学・生物化学工学・材料工学・バイオエンジニアリングなど工学系分野から、医学研究分野まで、幅広い分野で用いられている技術である。細胞も液体窒素で凍結保存されているものを解凍して容易に培養を始めることができる。さらに培養した細胞の状態を調べる各種アッセイ法は幅広く用いられている。近年は各種試薬がキット化されて、廃液などの環境や人体への影響を調べることににも応用できる。 本ゼミではこれらに実際に行ってみて、バイオ技術がいかに身近なものになっているかを体感してください。 ※このゼミは 4 月 6 日（月）（全学体験ゼミナール）、7 日（火）（全学自由研究ゼミナール/学術フロンティア講義）6 限（18：45～）7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。説明会の後、1 週間以内に参加希望を電子メールで taichi@m.u-tokyo.ac.jp にお送りください。またその際に、氏名・学生番号・学年・科類を明記してください。						
評価方法 教科書 ガイダンス		出席と理解度による総合的評価 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time その他(「授業目標、概要」参照)／Others(Refer to "Course Objectives")本郷キャンパス 臨床研究棟 A または 工学部 3 号館 または 駒場キャンパス II 生産技術研究所						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31641	S	医薬品工場を 見学してみよう	杉山 弘和	工学部	集中	2.0	シラバス 参照	1 年 理科 2 年 理科
授業の目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 医薬品工場を見学し、薬の製造プロセスを化学システム工学の視点から考えます。訪問先は中外製薬浮間工場（JR 埼京線北赤羽駅徒歩約 15 分）です。バイオ医薬品（モノクローナル抗体を始めとするタンパク質からなる薬で、抗がん剤などに使われる）を製造する最新鋭工場です。製薬企業のモノづくりを実際に見ることのできる大変貴重な機会です。教員や大学院生、企業の専門家と交流する機会もあります。研究室見学の機会も適宜設けます。 本ゼミは以下の流れで進めます。 1) 5 月～6 月前半の土曜日のうち、半日 1 回で製造プロセスと関連研究を事前学習します。場所は本郷キャンパス工学部 3 号館です。具体的な日程は後日発表します。 2) 6 月 20 日（土）午前に工場見学をします。現地集合・解散です。 3) 後日レポートを提出してもらいます。 ※受け入れ人数に制限があるため、受講生を選抜します。以下の情報を含むメールを送付してください。 A) 氏名・学籍番号・学年・科類 B) 志望動機・本ゼミに期待すること 締め切り：4 月 9 日（木）正午 連絡先：化学システム工学専攻 黒田 裕章 h-kuroda@pse.t.u-tokyo.ac.jp 選抜結果は 4 月 14 日（火）正午までにはお知らせします。 ※このゼミは 4 月 6 日（月）（全学体験ゼミナール）、7 日（火）（全学自由研究ゼミナール/学術フロンティア講義）6 限（18：45～）7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 評価方法 工場見学への参加とレポート 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 特に行わない。／Will not conduct guidance								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31642	S	化学システム工学を冒険しよう ～ショートオムニバス & 研究室見学～	脇原 徹	工学部	集中	2.0	シラバス 参照	1 年 理科 2 年 理科
授業の目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 この授業は、化学システム工学がどのような学問かを本郷キャンパスで体験することを目的とし、オムニバス形式の講義と研究室見学を組み合わせで行います。 化学システム工学における研究分野は、環境、医療、エネルギー、材料・デバイス、産業応用、安全・安心と多岐にわたっています。化学の知識に基づいて課題をシステムの思考でモデル化し、システム全体として最適な解を提供する化学システム工学の方法論は、様々な分野に応用することができるからです。 実際に本郷で行われている研究を知ること、化学システム工学の方法論が具体的にどのように研究に活かされているのか、また、その研究が社会にどのように貢献しているかを学びます。 ※このゼミは 4 月 6 日（月）（全学体験ゼミナール）、7 日（火）（全学自由研究ゼミナール/学術フロンティア講義）6 限（18：45～）7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 評価方法 出席及びレポートにより評価を行う 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31644	S	鉱物資源はどこでできるのか? ーフィールド調査と鉱物採集の旅ー	加藤 泰浩	工学部	集中	1.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 私達の文明の発展は、様々な鉱物資源によって支えられています。また、ある種の鉱物は宝石と呼ばれ、その美しさで私達の心を満たしてくれます。このような「鉱物資源」は、どこで、そしてどのようにして出来るのでしょうか?東京周辺でも、1970年代までは様々な鉱山が稼行し、鉱物資源が採掘されていました。また実は、美しい鉱物が採れる場所というもの、東京近郊に多数存在しています。そこでこの授業では、東京周辺で日帰りの野外巡検を行い、こうした鉱物資源を実際に採取・観察してもらいます。そして、それを通じて鉱物の魅力に触れてもらうとともに、私達の生活を支える鉱物資源への理解を深めてもらうことを目標とします。 ※このゼミは 4 月 6 日 (月) (全学体験ゼミナール)、7 日 (火) (全学自由研究ゼミナール/学術フロンティア講義) 6 限 (18:45~) 7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 野外巡検終了後にレポートを作成してもらい、その内容により成績評価を行います。 評価方法 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 特に行わない。／Will not conduct guidance								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31646	S	海で学ぶ ー臨海実験所における 海洋体験実習ー	早稲田 卓爾	工学部	集中	2.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。 海洋という幅広い分野を総合して考えることの出来る人材の育成および、海洋関連研究者・大学院生の活動を支援することが、機構「海洋アライアンス」の目的である。本講義は、海洋アライアンスに関連する教員が、東京大学三崎臨海実験所において行う学部 1・2 年生を対象とした体験ゼミナールである。臨海実験場は 1886 年にわが国最初の、世界でも最も古い臨海実験所の一つとして設立された。本講義では、海洋生物学だけでなく、広く理学・工学・農学における海洋分野の研究に関連する実習演習を、短期集中講義(宿泊施設を利用した合宿)として実施する。実験所内の最新設備を利用した実習、近隣の海浜における自然観察、定員 25 名の実習船臨海丸 (17 トン) における航海実習などを行う。また、専門教員が関連するレクチャーを行う。 http://www.oa.u-tokyo.ac.jp/ 以下、予定されている実習内容 ・ 臨海丸による乗船実習(プランクトンネット、ROV 観察) ・ 臨海丸レーダー・ソナー見学 ・ 和船の操船実習 ・ ROV 操作実習 (栈橋にて) ・ 栈橋での灯火採集 ・ 採集生物の分類 ・ 顕微鏡による生物観察 ・ 海岸での地質見学 ・ 海水分析 ・ 油壺マリンパーク水族館見学 ・ Short Lecture Series ※受講人数: 20 名に制限する。 ※ガイダンス: 4 月 13 日 (月) 6 限に駒場 1 号館 104 教室で行う。 ※開講期間: 9/9 から 9/11 の間の 3 日間 ※開講場所: 東京大学三崎臨海実験所 ※このゼミは 4 月 6 日 (月) (全学体験ゼミナール)、7 日 (火) (全学自由研究ゼミナール/学術フロンティア講義) 6 限 (18:45~) 7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 評価方法 アンケートおよびレポートをもって可否を判断する。 教科書 プリントを配布する。／Will distribute handouts ガイダンス 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time 2020 年 04 月 13 日 6 限/6th Period 駒場 1 号館 104 教室								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31648	S	東大アントレプレナーシップ・ サマー・ブートキャンプ (UTokyo Entrepreneurship Summer Bootcamp for Freshmen)	各務 茂夫	工学部	集中	2.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。世界が直面する様々な問題の課題解決に主体的に貢献できるベンチャーマインドに溢れた東大生を育成するために、学部1・2年生を対象としたアントレプレナーシップ教育の短期集中プログラム（ブートキャンプ）を学外合宿で実施する。※このゼミは4月6日（月）（全学体験ゼミナール）、7日（火）（全学自由研究ゼミナール/学術フロンティア講義）6限（18：45～）7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 評価方法 ①クラス討議での貢献（30%）②演習・グループワークでの貢献（30%）③レポート（40%） 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31651	S	化学の最前線を体験する	佃 達哉	理学部	集中	2.0	シラバス 参照	1 年 理科 2 年 理科
授業の目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。数人のグループを単位として理学部化学科の研究室に加わり、教員の指導の下、最先端の化学に関する実験を経験する。通常の学生実験とは異なり、各研究室において、現在研究が繰り広げられている、まさに「生きた」化学を体験する。本ゼミにより、化学研究のフロンティアに触れるとともに、基本的な研究の進め方や考え方、最新の実験設備の使用方法や付随する技術を学ぶ。実験終了後には、成果発表会を開き、グループごとに研究の意義、実験の結果などについて報告する。同報告会を通し、研究成果のアピールの仕方やプレゼンテーションに関するスキルについても会得する。 ※受講人数：20名程度 ※ガイダンス：4月6日（月）6限駒場1号館108教室で行う。 ※開講場所：理学部化学本館、西館、東館 ※開講期間：8月第1週の3日間を予定している（詳細はガイダンスで紹介する）。 評価方法 出席ならびに研究成果発表会における発表内容をもって成績を判定する 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time 2020年04月06日6限／6th Period 駒場1号館108教室								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31660	S	春の奥秩父を巡る	山田 利博 坂上 大翼 平尾 聡秀 浅野 友子	農学部	集中	2.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 森林は多様な生物の生息場所であるとともに、人にとっても水や食物などさまざまな恩恵をもたらす存在です。日本の国土の約 7 割は森林に覆われていますので、森林を知るとは、自然の成り立ちや、人と自然のかかわりを知ることそのものであるといえます。しかし、現代の日常生活では、森林の生命の営みや森林の恵みを経験的に知る機会は決して多くありません。秩父演習林の位置する奥秩父山系は関東甲信越地方の水源地であり、深い森林と切り立った溪谷が原生的な自然を形作っています。気軽に行ける場所ではありませんが、関東地方で人間の影響の少ない自然に触れることができる数少ない地域です。 本ゼミでは、秩父地方の自然史や生業に関する事前講義を踏まえ、奥秩父山系の森林生態系の見学を行います。具体的には、標高に伴う森林の推移、森林に対する自然攪乱、樹木の更新、動植物の分布、シカによる植生衰退など、森林生態系の動きについて体験的に学びます。また、薪炭林としての二次林や放棄された人工林など、過去から現在までの森林利用を学ぶとともに、山村での郷土食を体験します。最終的には、手つかずの原生林と、資源利用されてきた二次林・人工林を比較し、森林の成り立ち・人と森林のかかわりについて、自らの体験をもとに考えていただくことを目標とします。本ゼミを通じて、奥秩父地域の自然を体験し、経験的に自然を知るという科学の基本的なアプローチを学ぶことを期待しています。 ※受講人数を 10 名以下に制限します。 ※受講希望者はガイダンスに参加して下さい。 ※担当教員：山田利博・平尾聡秀・浅野友子・坂上大翼 ※この全ゼミは 4 月 6 日(月)6 限 18:45~20:30 に 1313 教室にて行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。						
評価方法		出席とレポートで評価します。						
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook						
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2020 年 04 月 09 日 5 限／5th Period120 教室						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31661	S 1	危険生物の知識 (春編)	石橋 整司 齋藤 暖生 井上 広喜 久本 洋子 前原 忠	農学部	集中	2.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 森林に生息する生物の中には人間を含めた他の生物に対して有害ないしは不快なものも含まれている。こうした生物から被害を受けないようにする知識はフィールドで作業をする場合大切であるが、同時にそれらの生物が生態系の中で果たす役割についての理解なしに「有害」、「危険」と退けてしまうことは自然についての正しい知識を身につけることにはならない。そこで、人間にとって「有害」、「危険」、「不快」といわれる生物を実際のフィールドで観察、学習し、これらの生物に対する対処法を身につけると同時に、自然の中での人間との関わりについて学ぶ。 ※受講可能人数：最大 20 名まで。 ※ガイダンス：4/16（木）5 限の第 1 回事前講義時に行う。 ※現地講義開講場所：大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所および千葉演習林。 ※駒場キャンパスでの 2 回の事前講義と富士癒しの森研究所、千葉演習林における 2 回の現地講義、駒場での 1 回の事後講義を行う。開講日は以下のように予定している。 第 1 回事前講義（ガイダンスを含む）【駒場キャンパス】 4 月 16 日（木）5 時限 114 教室 第 2 回事前講義【駒場キャンパス】 4 月 23 日（木）5 時限 114 教室 第 1 回現地講義【富士癒しの森研究所管内】 5 月 9 日（土）～10 日（日）（1 泊 2 日） 第 2 回現地講義【千葉演習林管内】 5 月 23 日（土）日帰り 事後講義【駒場キャンパス】 5 月 28 日（木）5 時限 114 教室 各演習林への交通費、宿泊費、食費等の実費は自己負担。負担額等の概要については第 1 回事前講義時に説明する。 ※このゼミは 4 月 6 日(月)6 限（18：45～）に駒場キャンパス 1313 教室にて行われる農学部全学体験ゼミナール合同説明会への参加を予定しています。 評価方法 出席態度とレポートで評価する。なお現地講義に参加できない学生の履修は原則として認められない。 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2020 年 04 月 16 日 5 限／5th Period114 教室								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31662	S	人の手で造り管理する森林－ 林業・風景計画の視点から	石橋 整司 佐藤 貴紀 田中 延亮 水内 佑輔	農学部	集中	2.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 日本は国土面積の約7割を森林が占めており、その広大な森林の4割にあたるおよそ1,000万ヘクタールは、人の手で造り管理している森林（人工林）である。戦後の木材需要増を背景に、木材生産を目的としたスギ・ヒノキ中心の森林造成が各地で進められたものの、その後の輸入木材の増加に伴い、木材生産を生業とした林業は衰退していった。そして林業の衰退とともに、スギ・ヒノキの森林には人手がかけられなくなり、森林を健全に保ち良質な木材を生産するための管理（間伐を中心とした育林）が放棄されるようになった。放棄され荒廃した森林は豪雨時の土砂災害の増加や水源涵養機能の低下につながっている。 一方、木材生産目的の人工林と比べると事例は少なく面積も小さいものの、従来、自然環境保全やレクリエーションを目的とした森林造成も行われてきた。森林は、安らぎや癒しの効果をもつ空間であるためレクリエーションや保健休養の場として機能し、また森林の景観（ランドスケープ）は行楽、芸術や文化の創造・継承の対象であり、時に国家や都市のシンボルとしての役割が付与され、それらのアイデンティティ形成にも寄与してきた。林業の衰退した昨今、こうした木材生産とは異なる目的で造成された森林も注目を集めている。 本講座では、造成目的の異なる森林や森林関連施設を訪れ、造成の背景や造成後の管理方法を学ぶ。またスギ・ヒノキからなる典型的な木材生産目的の森林へ立ち入り、地域住民とともに樹木や植生の調査を体験する。こうして様々な森林の現状や管理方法を学習、体験し、人の手で造り管理する森林への見識を深め、今後の望ましい森林造成や管理のあり方について考える。 ※このゼミは4月6日(月)6限（18：45～）に駒場キャンパス 1313 教室にて行われる農学部全学体験ゼミナール合同説明会への参加を予定しています。								
評価方法		駒場の講義と2回の現地講義への出席態度（現地講義への出席は必須とする）と、レポートによって評価する。						
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook						
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2020 年 04 月 17 日 6 限／6th Period1 号館 114 教室						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31663	S 1	体験して考える森林ガイド ボランティアの現在と未来	安村 直樹 竹本 周平	農学部	集中	2.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。						
		●授業の目標 東京大学大の附属施設である田無演習林においては、地域貢献の一環として、身近な樹木に親しみその特徴を知る「子供樹木博士養成講座」（以下、「樹木博士」と略す）を春と秋の年 2 回実施しています。このような森林ガイドイベントはあちこちで催されており、その実施には多くの場合ボランティアが重要な役割を果たしています。しかし、現状としてイベント主催者側とボランティア側の希望がマッチングされる機会は十分でなく、前者には人手不足、後者には出番の不足の問題があるように見受けられます。本講義では、「樹木博士」に参加し実際に森林ガイドを担当することを通じて、森林ガイドイベントの運営側やボランティア側の立場について考えを深め、最終的にはボランティアがいつそう活躍する未来についての具体的な議論につなげます。本講義で得られる体験や視座は、みなさんの今後のボランティア体験をより深いものにするだけでなく、将来みなさんがボランティア組織の運営側に立った際にも大いに生きてくるでしょう。						
		●授業の概要 講義は駒場キャンパスでの座学と西東京市の田無演習林（一部は駒場）での実地実習で構成されています。座学では、総論として森林ガイドボランティアの現状、具体論として「樹木博士」などイベント等の運営事例について、とくにボランティアの関わり方に重点をおいて学びます。実地実習では、「樹木博士」での森林ガイドボランティアの実践に備えるため、教員が実際のイベントを模してみなさんを指導します。基本的な樹木識別法だけでなく、樹木の特徴をわかりやすく伝えるためのポイントや、イベント参加者の自然体験をより深めることに役立つ「気づき」の「わかちあい」を促す方法、またイベント実施時の安全衛生リスク管理などを身につけて頂きます。また、上記のボランティア体験と学びを相対化することを目的として、森林あるいは科学館でガイド等のボランティア活動をしている一般市民、あるいはそうしたボランティア組織の管理者を対象に聞き取り調査をおこなう予定です。「樹木博士」の終了後、田無演習林を具体例として、ボランティアがよりいっそう活躍できるための課題とその解決策について議論します。						
		●「樹木博士」の概要とボランティアに求める役割 田無演習林での「樹木博士」は、子供を対象とした 10～30 種類の樹木についての体験学習イベントです。ここ最近では、地域の小学生を中心に例年 30 人前後の参加があります。難易度別にいくつかのグループに分かれた参加者は、午前中にガイドの解説を聴きながら見学路を一周りして樹木の特徴と名前を学習し、午後には学習した樹木の枝を見て名前を当てるテストに取り組みます。テストの後、自然に親しむネイチャーゲームなどのアクティビティを楽しみます。学生のみなさんには、ボランティアとして森林ガイド（樹木解説の講師役）および、アクティビティ実施の補助を務めていただきます。テストの正答率にこだわる必要はありませんが、参加者が森林や樹木に興味をもち、それを持続させられるような働きかけをしてください。また、参加者が楽しく安全に過ごせるよう努めることも大切な役割のひとつです。						
		●講義予定 ①4 月 10 日(金)2 限駒場：ガイダンス、②4 月 24 日(金)2 限駒場：樹木観察のポイント／駒場の樹木を知る、③4 月 26 日(日)田無演習林：「樹木博士」やネイチャーゲームの体験、④5 月 8 日(金)2 限駒場：イベント等の運営、とくにボランティアの関与についての具体論／ネイチャーゲーム実施方法についての打合せ、⑤5 月 15 日(金)2 限駒場：森林ガイドボランティアに関する総論／聞き取り調査（下記）の準備、⑥5 月 24 日(日)田無演習林：樹木解説やネイチャーゲーム実施の予行演習／ボランティア活動に携わる市民あるいはボランティア組織管理者への聞き取り、⑦5 月 29 日(金)2 限駒場：聞き取り内容のふりかえり／導入を考える／樹木解説の練習、⑧6 月 7 日(日)田無演習林：「樹木博士」の実践／ボランティアの未来についての議論						
評価方法 教科書 ガイダンス	授業終了後、レポート提出を求める。講義の性質上、原則として欠席しないことがレポート作成の前提となる。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2020 年 04 月 10 日 2 限／2nd Period 授業教室と同じ（1 号館 119 教室）							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31664	S	森に学ぶ（ふらの）前編 北海道の大地に学ぶ	鴨田 重裕 平尾 聡秀 鎌田 直人	農学部	集中	1.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。 【注意】この授業は高校時代に山岳部やワンダーフォーゲル部に所属した人を対象とするものではありません。山野に興味あるけど、サークルに属するほどではないかも知れない人に、安全に山を楽しんでもらう機会と、同時に山や森林で営まれる林業を意識し考えてもらう機会を作るために実施する講義です。人並みの体力は必要ですが、山歩きとしては初級向けですので誰でも参加できます。 伊豆ゼミでは伝えきれない自然を感じる部分を本ゼミにてお届けしたいと思っています。伊豆ゼミとセットでの履修をお奨めします。 北海道・富良野と聞いて何を思い浮かべるだろうか。東大演習林！と答える君はもしかして演習林通？もちろんそういう答えを期待している訳ではない。でも、この体験ゼミ受講後、それはきっと強く印象に残るのではなからうか（と書くのは簡単だ）。でもこのゼミではその北海道演習林にすぐには行かない。演習林にほど近い山を歩いてみる。十勝山系富良野岳。（ずっと演習林を見たいという向きは、もうひとつの体験ゼミを履修されるとよい。冬の北海道演習林を満喫できるゼミが用意されている。）富良野岳（ふらのだけ）は、北海道中央部にある山である。標高 1,912m、大雪山の南西部から連なる十勝岳連峰の最南端に位置する。火山ではあるが、山麓の安政火口を除き、古い時代に活動を終えたと考えられる。そのため、安政火口近辺を除いて全山高山植物が豊富で、特に山頂部は夏の時期は広大なお花畑が広がる。隣接する十勝岳が有史以来の激しい噴火のため、山頂部に植物に乏しいのと対照的である。出典：フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』						
評価方法		本ゼミ主宰者が学生時分に何度も訪れた山。これまでに登った数ある北海道の山の中でもお気に入りの山のひとつだ。自然、自然と言うけれど、手つかずの自然など日本のどこにもほとんど残っていない。北海道の山上といえども完全なる自然とは言えないかも知れないが、大自然を感じるにはうってつけの場所だ。いつ行ってもその大きさに圧倒される。大自然のただ中に身を置いて、人間の小ささを感じてみよう。そして、自分が押しつぶされそうな日頃の重大問題のことを思ってみよう。何かしら道が開けることがあるかも知れない。このゼミでは、少なからぬ百名山登山家に見受けられるような、ただ頂上に立つことを主目的とするようなせわしない登り方はしない。ゆっくりと、足下の植物たちを観察しながら、空気を、日差しを、そして歩くことそれ自体を楽しみながら歩くので、とくに健脚でなくても大丈夫。大自然を十分に満喫したそのあとに、今度は人が向きあう森に向きあってもらう。そこでは人が自然に向き合う営み、すなわち林業という一次産業を意識してみたい。大方の日本人は日本は先進国だと思っていると思う。先進国とは一次産業を捨て高次産業にシフトすることを意味するのだろうか？本当にそうなのだろうか？自然の中にどっぷりと身を置いたことで、内にちょっと変化が起った君たちには、たっぷりとその様なことを考えてもらいたい。答えはない。答えは君達が積み上げていくものなのだ。よく考えたあとで、仕上げにもう一度大自然の中に身を置いてみよう。						
教科書 ガイダンス		講義の受講態度と課題（レポート等）により可否を判定する。レポートの出来栄も大切であるが、自然としっかりと向き合う受講態度が特に大切である。 また、安全な山行に直結するので、信頼関係を構築しようという姿勢も受講態度に含めて評価する。 無断欠席は不合格とする。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time 2020 年 04 月 16 日 6 限／6th Period164 教室（4／17 の 5 限に同じ内容で行う。何れかに出席のこと）						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31665	S	フィールドで考える 野生動物の保護管理	楠本 大 鈴木 牧 久本 洋子 當山 啓介 福井 大	農学部	集中	2.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。 日本では現在、増えすぎた野生偶蹄類による農林業被害や生態系へのダメージが深刻化し、年間数十万頭にのぼる野生シカやイノシシが捕殺されている。その一方で、絶滅の危機にさらされ保護を必要としている動物種も多くある。これらの問題は、元をたざせば人間の社会構造や経済事情の変化によってもたらされたものである。野生動物との持続的な未来関係を築いていくためには、動物と人間社会の関係を深く理解し行動していく事が欠かせない。しかし残念ながら、渋谷近辺での大学生生活では、野生動物と出会う機会すら限りなくゼロに等しい。 このゼミでは、野生動物の「保護と管理」について、房総半島の自然の中で体得的に学習する。野生動物の調査方法を体験し、駆除動物の肉から料理を作り、実社会で野生動物問題に取り組んでいる人たちと出逢う中で、生命の多様性、そして人間自身の多様性について、深く考える機会を提供したい。経済学・法学・生態学・農学・林学など各分野からのアプローチが必要な分野であるため、全科類の学生が主体的に貢献できるのも本ゼミの大きな特長である。みなさんも、異分野交流の刺激と、自分の直感で生命と対峙する楽しさを、雄大な自然の中でぜひ堪能して頂きたい。 出席と最終日のレポート、プレゼンテーションや討議により評価する。						
評価方法 教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2020 年 04 月 08 日 6 限／6th Period1 号館 115 教室						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31684	S	最先端メディカルゲノム サイエンスを体験する	松田 浩一	新領域創成科学 研究科	集中	2.0	シラバス 参照	1 年 理科 2 年 理科
授業の目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 メディカル情報生命専攻に所属する教員・若手研究者が、それぞれのキャンパスで実施する体験的プログラムに参加し、現代生物学・基礎医学研究の最先端の現場を体験することができます。 合わせて、実施キャンパスの見学説明等も行いますので、実際の大学院での研究がどんな雰囲気のところ、どのように行われるのかを直接肌で感じ取り、今後の進路選択にも役立つ貴重な経験が出来るでしょう。 ★履修ガイダンスとして、下記メディカル情報生命専攻 HP の「カリキュラム」→「教養学部生へ」→『全学体験ゼミナール』を是非訪問してください。 『S セメスター開催予定プログラム』（履修者は下記から一つを選択できます） (1) 泊 幸秀 先生「遺伝情報を消去!?～RNA サイレンシングを体験する～」 (2) 野田 尚宏 先生「産総研を体験する」 (3) 宮崎 健太郎 先生「微生物は宝の山？」 (4) 伊藤 耕一 先生「細胞のなかの生体分子同士の相互作用を検出する」 (5) 山下 理宇 先生「実データを使った生物学的な情報抽出体験」 (6) 糸川 昌成 先生「医学研を体験しよう！ ー来て・見て・触れて医学研ー」 ※ 詳細や更新内容については、メディカル情報生命専攻のホームページ 【URL】: http://www.cbms.k.u-tokyo.ac.jp に掲示するので随時確認してください。 ※ 各プログラムは、それぞれの実施キャンパス、実施期間、予定日時が異なります。また、UTAS への履修登録に加え、別途メールで実習申込を行い採用される必要があります。詳細情報は「授業計画」を参照してください。 各プログラム責任者からの出席状況を取りまとめこれに基づき評価(合格、不合格、欠席)を決定する。								
評価方法								
教科書 ガイダンス								
教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31692	S	工学体験ゼミ	川越 至桜	生産技術研究所	集中	2.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 工学や科学技術は、私たちの暮らしに深く関わる分野であり、実社会と密接に結びついている。一方で、これまでに学習してきた基礎的内容や、基礎がベースとなっている研究が、その後どのように社会に実装されているのかといった、科学技術と社会とのつながりを実感する機会は少ない。 本授業では、工学や科学技術を通して、基礎学習が研究や社会にどのようにつながっているのかを実感することを目的とする。実際に研究している現場を見学するとともに、自ら手を動かして簡単な実験等を体験し、グループワークやディスカッションを通して、工学や科学技術の社会的意義や役割を理解していく。 また、体験したことを一般社会に伝えるための方法等についても考え、企画立案演習なども行う。 ※履修人数を 15 名に制限する ※開講場所：生産技術研究所（駒場Ⅱリサーチキャンパス）								
評価方法								
教科書 ガイダンス								
レポートの内容、および、授業への参加状況、参加意欲、発表・発言の内容や積極性などを総合的に加味して評価する。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time 2020 年 04 月 07 日 4 月 7 日(火)および 4 月 9 日(木)の 2 日間、12 時 20 分より教養学部 1 号館 104 教室で行う。								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31798	S	空間デザイン実習	松本 文夫	総合研究博物館	集中	2.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 空間デザインを通して「アイディアをカタチにする」体験をするのがこの授業の目標である。概念と形象をつなぐことは、アートやデザインなど多くの創造的活動の根幹をなす作業である。この授業では、受講者自身が空間デザインのアイディアを立案し、具体的なカタチをつくりあげるまでを実習する。概念構築と形態創造における独創的かつ意欲的な取り組みに期待する。空間設計の知識や模型制作の経験は必要としない。文系/理系に関わらず、デザイン・造形・建築などに関心があれば、ぜひ履修してほしい。 4 月 9 日の授業ガイダンスにおいて小課題を実施する。履修希望者が予定数を上回るときはこの小課題によって選抜を行う。 授業ガイダンスに参加できない者は、事前に担当教員に申し出ること（指定期限後の申し出は受け付けない）。該当者には小課題にかわるレポートの提出を求める（4 月 9 日の内容とは異なる）。詳しくは UTAS/シラバスの「履修上の注意」の項を参照のこと。 ※履修人数を 20 名に制限する ※開講期間：2020 年 6 月 13 日(土)、6 月 20 日(土)、6 月 27 日(土) ※開講場所：東京大学総合研究博物館小石川分館								
評価方法 提出作品の内容により評価する。								
教科書 ガイダンス プリントを配布する。／Will distribute handouts 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time 2020 年 04 月 09 日 5 限／5th Period1 号館 2 階 164 教室								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31799	S	フォーミュラレーシングカー を作る C	草加 浩平	工学部	集中	2.0	シラバス 参照	2 年 文科 理科
授業の目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。 本ゼミでは 9 月に開催が予定されている自動車技術会主催の「全日本学生フォーミュラ大会」に出場するフォーミュラレーシングカーの企画、設計、製作、試験、改良の一連のプロジェクトを体験する。これにより、「ものづくり」の楽しさ、面白さ、難しさを感じ取ると共に、工学の基礎を身に付け、更には自分の進むべき道を見つけることを目標とする。自動車産業が総合産業であるのと同じく、本プロジェクトに要求される内容も単に工学的知識だけでなく、企業との交渉、広報活動、ドライビングなど多岐にわたる。ゼミ参加メンバー各自がそれぞれに自分の得意とするあるいは興味の有る分野の仕事を見つけ、進める。このため本ゼミでは工学部進学希望者に限らず、文科系、理科系全ての学生を対象とする。水曜日の 5 限に駒場で、あるいは土・日等の休日に本郷で行う集中講義形式とする。（詳細日程はゼミ参加者で相談して決める） 授業では自動車の基礎、ものづくりの基礎を講義・演習（この部分を必修とする）を通して教える。それらの基礎の上に、希望者に関しては「東京大学フォーミュラファクトリー」の活動に参加してもらい、フォーミュラレーシングカーの企画から設計、製作、試験、改良などの一連の作業に取り組み、仮想的企業活動を体験する。 本ゼミは 1 学年 S セメスターの「フォーミュラレーシングカーを作る A」に始まり、A セメスターの「同 B」・・・と各セメスターに開講するが、S セメスター開講の A で基礎を教える。2 年次以降の学生でも一連のゼミを受講する場合は「フォーミュラレーシングカーを作る A」を受講すること。「フォーミュラレーシングカーを作る A」を受講した学生は「同 B」以後の受講を可能とする。「同 B」以後のゼミは、主に輪講形式で実施する。更に専門課程進学後の 3 年から 4 年夏に掛けては工学部共通科目「創造的ものづくりプロジェクト」の 1 テーマとして、修士 1 年に対しては工学系研究科共通科目「創造性工学プロジェクト」の 1 テーマとして設定されており、文科系であっても他学部聴講あるいは他研究科聴講の形で受講できる。 具体的製作活動は「全日本学生フォーミュラ大会」出場チームである「東京大学フォーミュラファクトリー」の活動として行う。製作活動は本郷キャンパス工学部 8 号館「メカノデザイン工房」及び「工学部ものづくり実験工房」、工学部 8 号館「自動車の設計教育寄付講座(草加・伊藤研究室)実験室」で行う。 ※4 月 15 日(水)6 限(18:45～)に安全教育を実施します (KOMCEE East K214 教室で実施)。これは実習受講のために必須なので、受講希望者は必ず出席すること。出席できない場合は、事前に草加まで連絡すること。 ※開講場所；講義：駒場、実習；本郷キャンパス工学部 8 号館地下 2 階「メカノデザイン工房」他 ※このゼミは 4 月 6 日（月）（全学体験ゼミナール）、7 日（火）（全学自由研究ゼミナール/学術フロンティア講義）6 限（18：45～）7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 必修項目への出席およびプロジェクトへの参加度合いにより、合格・不合格を判定する。								
評価方法 提出作品の内容により評価する。								
教科書 ガイダンス プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2020 年 04 月 08 日 5 限／5th Period1 号館 107 教室								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31800	S	フォーミュラレーシングカー を作る A	草加 浩平	工学部	集中	2.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。本ゼミでは 9 月に開催が予定されている自動車技術会主催の「学生フォーミュラ日本大会」に出場するフォーミュラレーシングカーの企画、設計、製作、試験、改良の一連のプロジェクトを体験する。これにより、「ものづくり」の楽しさ、面白さ、難しさを感じ取ると共に、工学の基礎を身に付け、更には自分の進むべき道を見つけることを目標とする。自動車産業が総合産業であるのと同じく、本プロジェクトに要求される内容も単に工学的知識だけでなく、企業との交渉、広報活動、ドライビングなど多岐にわたる。ゼミ参加メンバー各自がそれぞれに自分の得意とするあるいは興味の有る分野の仕事を見つけ、進める。このため本ゼミでは工学部進学希望者に限らず、文科系、理科系全ての学生を対象とする。水曜日の 5 限に駒場で、あるいは土・日等の休日に本郷で行う集中講義形式とする。（詳細日程はゼミ参加者で相談して決める） 授業では自動車の基礎、ものづくりの基礎を講義・演習（この部分を必修とする）を通して教える。それらの基礎の上に、希望者に関しては「東京大学フォーミュラファクトリー」の活動に参加してもらい、フォーミュラレーシングカーの企画から設計、製作、試験、改良などの一連の作業に取り組み、仮想的企業活動を体験する。 本ゼミは 1 学年 S セメスターの「フォーミュラレーシングカーを作る A」に始まり、A セメスターの「同 B」・・・と各セメスターに開講するが、S セメスター開講の A で基礎を教える。2 年次以降の学生でも一連のゼミを受講する場合は「フォーミュラレーシングカーを作る A」を受講すること。「フォーミュラレーシングカーを作る A」を受講した学生は「同 B」以後の受講を可能とする。「同 B」以後のゼミは、主に輪講形式で実施する。更に専門課程進学後の 3 年から 4 年夏に掛けては工学部共通科目「創造的ものづくりプロジェクト」の 1 テーマとして、修士 1 年に対しては工学系研究科共通科目「創造性工学プロジェクト」の 1 テーマとして設定されており、文科系であっても他学部聴講あるいは他研究科聴講の形で受講できる。 具体的製作活動は「全日本学生フォーミュラ大会」出場チームである「東京大学フォーミュラファクトリー」の活動として行う。製作活動は本郷キャンパス工学部 8 号館地下 2 階 0069 号室「メカノデザイン工房」及び「工学部ものづくり実験工房」、工学部 8 号館 0061N 号室「自動車の設計教育寄付講座(草加・伊藤研究室)実験室」で行う。 ※4 月 15 日(水)6 限に安全教育を実施します (KOMCEE East K214 教室で実施)。これは実習受講のために必須なので、受講希望者は必ず出席すること。出席できない場合は、事前に草加まで連絡すること。 ※開講場所；講義；駒場、実習；本郷キャンパス工学部 8 号館地下 2 階 0069 号室「メカノデザイン工房」他 ※このゼミは 4 月 6 日（月）（全学体験ゼミナール）、7 日（火）（全学自由研究ゼミナール/学術フロンティア講義）6 限（18：45～）7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 必修項目への出席およびプロジェクトへの参加度合いにより、合格・不合格を判定する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2020 年 04 月 08 日 5 限／5th Period1 号館 107 教室								
評価方法 教科書 ガイダンス								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40276	S 2	アイデアを形にするモノづくり体験 ～ロボットから家電まで～	川原 圭博	工学部	集中	2.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 人工知能や、バーチャルリアリティ、自動運転や 3D プリンタによるものづくり革命など、情報技術が今の時代の社会変革を牽引していると言っても過言では無い。今の時代、社会に出た後、どのような夢を実現するにおいても、情報技術を活用しない訳にはいかない。世界中でソフトウェアエンジニアが枯渇しており、腕利きのソフトウェアエンジニアは高待遇で迎え入れられている。とはいえ、ものづくりやプログラミングで必要となる知識は多岐にわたり、未だ初学者にはハードルが高い存在であることは確かである。 本ゼミは、ものづくりやプログラミングに興味はあるけれど、どこから手をつけていいかわからない、もしくは、初学者から中級者へのステップアップを目指したいと思っている人に、コンセプト立案から、ものづくり、そしてプレゼンテーションまでを一気に体験することができる機会を提供することを目的としている。 作るモノは、参加者一人一人が決める。例えば、日常の不便を解消する IoT デバイスやロボットなどなんでも構わない。ものづくりと、プログラミングの基礎を学ぶために、BBC Micro:bit のような初学者でも取りつきやすいシングルボードコンピュータを活用し、ものづくりのノウハウを体得し、流れを習得することに主眼を置く。 ※このゼミは 4 月 6 日（月）（全学体験ゼミナール）、7 日（火）（全学自由研究ゼミナール/学術フロンティア講義）6 限（18：45～）7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 最終発表をした人に単位を認定する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time 2020 年 06 月 01 日 6 限／6th Period21KOMCEE West K303								
評価方法 教科書 ガイダンス								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40277	S 2	エネルギー資源の 「開発」を学ぶ	小林 肇	工学部	集中	2.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。現代社会の基盤を支える一次エネルギー源の約 6 割は石油・天然ガスに依存しており、その傾向は今後も継続する。これら石油、天然ガスを含む地下資源の鉱床の探査、掘削、生産の一連の工程を「開発」と呼ぶ。石油産業は世界で最も巨大な産業の一つであり、石油企業大手（石油メジャー）の純利益は一社で 4 兆円を超えるが、その 7-8 割は「開発」部門での収益である。 一方、エネルギー資源の約 96%を海外から輸入している日本では、この「開発」を身近に感じる機会は少ない。しかし、先進国の中で石油産業が基幹産業となっていないのは日本だけであり、世界的には石油メジャーは収益力の強い超優良企業の代表と見なされている。また、近年のシェールガス革命でも明らかのように、資源開発は新技術が世界情勢を直接変革する技術革新の現場でもある。 本体験ゼミナールでは、エネルギー資源の乏しい日本において貴重な資源開発の現場である国内の油ガス田を見学し、エネルギー資源の開発と、資源開発に関わる技術システムを実フィールドで学習する。また、海外石油開発現場における石油開発の最先端の紹介及びその開発・生産された化石燃料を環境負荷を最小限に抑えて有効に活用する水素 SS、総エネハウス等の取り組みの紹介を通して、化石燃料の開発から生産・利用のそのライフサイクルの中での環境負荷低減・地球温暖化防止に向けての企業 の取り組みへの理解を深める。学生は、資源開発の実際とそのエンジニアリングセンスをこの体験を通して習得する。 ※このゼミは 4 月 6 日（月）（全学体験ゼミナール）、7 日（火）（全学自由研究ゼミナール/学術フロンティア講義）6 限（18：45～）7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。						
評価方法		産業と技術の理解には、現場で直接学んだ知識を自身でまとめ、体系的に捉え直すことが重要である。資源開発の現場を見学した後、そこで学んだ知見をまとめたレポートで成績を評価する。						
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特定日を行う。／Will conduct guidance at another time 2020 年 04 月 06 日 6 限／6th Period 工学部合同ガイダンス（743 教室）						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40278	S 2	原子力・核融合の 研究開発現場を見てみよう	大野 雅史	工学部	集中	2.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開されることがあるので留意してください。原子力や核融合の研究開発現場を視察し、関連技術の現状と課題を理解することにより、これらの技術に対する認識を深め、将来に向けた展望を培うための契機とすることを目的とする。具体的には、原子力発電や原子力関連技術研究開発の現状と課題、核融合研究開発に関する現状と課題、加速器や量子ビームに関する研究開発状況とその多面への応用、などについての視察や、現場の研究者・技術者とのディスカッションを通じた学習を行なうことにより、上記の目的を達成することとする。 ※このゼミは 4 月 6 日（月）（全学体験ゼミナール）、7 日（火）（全学自由研究ゼミナール/学術フロンティア講義）6 限（18：45～）7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。						
評価方法		出席状況調査結果とレポートによる。						
教科書 ガイダンス		プリントを配布する。／Will distribute handouts 特定日を行う。／Will conduct guidance at another time 2020 年 06 月 03 日 6 限／6th Period162 教室						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40283	S 2	海の生命科学入門	菊池 潔	農学部	集中	2.0	シラバス 参照	1 年 理科 2 年 理科
授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。 日本は海に囲まれた島国ですが、学生たちが海の科学を体験的に学ぶ機会は多くありません。本ゼミナールでは浜名湖という現場を通して、水圏生物を対象とした研究の一面を学ぶことをめざします。 浜名湖は狭い水路で太平洋とつながった海水・汽水湖です。入り口が浅く、奥が深い浜名湖の物理化学的な構造はどうなっているのでしょうか。そこではどのような生物が、どのように生息しているのでしょうか。それらはどのように生まれ発達していくのでしょうか。そして人々は水の中の生物生産をどのように利用して来たのでしょうか。これらを考えることで、海の科学の入り口に立ちます。 ※受講人数：12 名程度に制限する。 ※開講場所：附属水産実験所 静岡県浜松市西区舞阪町弁天島 ※体験実習期間：未定 ※このゼミは 4 月 6 日(月)6 限に駒場キャンパス 1313 教室にて行われる農学部全学体験ゼミナール合同説明会への参加を予定しています。							
評価方法	出席と学習状況で可否を決めます。							
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook							
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40284	S 2	乳牛、馬、豚(今年は豚コレラの対策として中止)、山羊達と触れ合い動物種による習性の違いを知ろう。	李 俊佑	農学部	集中	2.0	シラバス参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 東天牧場では馬、牛、ヤギそして豚を飼育しています。一つの牧場でこのように多種の家畜を飼育し、またそれを学生達が自由に接する事ができるのはここだけでも知れませんが、防疫上で殆どの牧場では動物と直接に触れ合う事が禁止されています。だから、今はチャンス。実際の家畜飼育現場での体験活動を通じて、動物の種による習性の違いを勉強でき、又、多種の畜産品の生産コストの仕組みに関して一層の理解を深め、日本と世界の畜産がどう違うかを牧場体験ゼミナールで分かっている。トラクターとパワーショベルを体験して牧草生産と堆肥の処理等も学ぶ。他に、放射線による農業環境への影響に関しても勉強する。 ※このゼミは4月6日(月) 18時45分～19時45分に1313教室にて行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。 評価方法 出席と実習に対する態度により評価する。 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time 2020 年 04 月 06 日 6 限／6th Period1313 教室								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40285	S 2	徹底検証・スギ&ヒノキ ～もっと知ろう、木材のこと～	石橋 整司 齋藤 暖生 當山 啓介 安村 直樹 藤原 章雄	農学部	集中	2.0	シラバス参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 日本には「森林の文化」、「木の文化」があるといわれる。たしかに日本の国土は森林が成長するのに適した温暖多雨な気候であるため、高山などの一部の地域を除いて森林に覆われており、自然が少なくなったといわれている現在でも国土の約7割を森林が占めている。古来日本人はその生活の中で森林と密接な結びつきをもち、衣食住に関わるさまざまな資源を得る場として、また生活空間の一部として利用してきた。 こうした日本の「森林の文化」、「木の文化」を支えてきた代表的な樹種である「スギ」や「ヒノキ」は今でも国土の森林の多くの面積を占めており、日常的に森林や木材に関わることの少ない人々の間でもよく知られた樹種である。しかし、「スギ」や「ヒノキ」が日本で育まれてきた「木の文化」にどのように貢献してきたのか、日本人は「スギ」や「ヒノキ」の何に価値を見出して利用してきたのか、そもそも「スギ」や「ヒノキ」とはどのような特性を持つ樹なのか、という一歩踏み込んだ知識を持っている人は意外に少ない。 全学体験ゼミナール「君はスギとヒノキのことを本当に知っているのか? (入門編)」では、「スギ」や「ヒノキ」という樹種の特性や日本人との関わり、歴史、実態について広く学ぶことを通して、日本の「森林の文化」、「木の文化」そして日本人と森林との関係を学ぶものである。 本ゼミナールはガイダンスを含む駒場での6回の講義(木曜日5限)と千葉演習林における1泊2日の現地講義で構成されている。講義の日程(予定)は以下の通りであるが、各回の講義内容や講義の順番は変更となる可能性があるのでガイダンスで確認してほしい。 6月4日(木) ガイダンスおよび第1回講義「日本人とスギ&ヒノキ」 6月11日(木) 第2回講義「スギとヒノキの林業経営」 6月18日(木) 第3回講義「年輪を読む」 6月25日(木) 第4回講義「木工素材としてのスギとヒノキ」 6月27日(土)～28日(日) 千葉演習林他での現地講義「林業」 「スギとヒノキを育てる現場・使う現場」 7月2日(木) 第5回講義「花粉症と外部費用」 7月9日(木) 第6回講義「スギとヒノキを活かす」 現地講義の際の交通費・宿泊費は自己負担となる。詳細な講義日程等についてはガイダンスの際に説明する。 ※このゼミは4月6日(月)6限(18:45～)に駒場キャンパス1313教室にて行われる農学部全学体験ゼミナール合同説明会への参加を予定しています。 評価方法 出席態度とレポートで評価する。なお、現地講義に参加できない学生の履修は認められない。また、現地講義の宿泊施設や講義日程の都合により、履修希望者が多くなった場合はレポート等により履修者の制限を行う事がある。 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2020 年 06 月 04 日 5 限／5th Period1 号館114 教室								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40286	S 2	森に学ぶ（ふらの）後編 北海道の大地に学ぶ	鴨田 重裕	農学部	集中	1.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。 【注意】この授業は高校時代に山岳部やワンダーフォーゲル部に所属した人を対象とするものではありません。山野に興味あるけど、サークルに属するほどではないかも知れない人に、安全に山を楽しんでもらう機会と、同時に山や森林で営まれる林業を意識し考えてもらう機会を作るために実施する講義です。人並みの体力は必要ですが、山歩きとしては初級向けですので誰でも参加できます。 伊豆ゼミでは伝えきれない自然を感じる部分を本ゼミにてお届けしたいと思っています。伊豆ゼミとセットでの履修をお奨めします。 北海道・富良野と聞いて何を思い浮かべるだろうか。東大演習林！と答える君はもしかして演習林通？もちろんそういう答えを期待している訳ではない。でも、この体験ゼミ受講後、それはきっと強く印象に残るのではなかろうか（と書くのは簡単だ）。でもこのゼミではその北海道演習林にすぐには行かない。演習林にほど近い山を歩いてみる。十勝山系富良野岳。（ずっと演習林を見たいという向きは、もうひとつの体験ゼミを履修されるとよい。冬の北海道演習林を満喫できるゼミが用意されている。）富良野岳（ふらのだけ）は、北海道中央部にある山である。標高 1,912m、大雪山の南西部から連なる十勝岳連峰の最南端に位置する。火山ではあるが、山麓の安政火口を除き、古い時代に活動を終えたと考えられる。そのため、安政火口近辺を除いて全山高山植物が豊富で、特に山頂部は夏の時期は広大なお花畑が広がる。隣接する十勝岳が有史以来の激しい噴火のため、山頂部に植物に乏しいのと対照的である。出典: フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』							
評価方法	本ゼミ主宰者が学生時分に何度も訪れた山。これまでに登った数ある北海道の山の中でもお気に入りの山のひとつだ。自然、自然と言うけれど、手つかずの自然など日本のどこにもほとんど残っていない。北海道の山上といえども完全なる自然とは言えないかも知れないが、大自然を感じるにはうってつけの場所だ。いつ行ってもその大きさに圧倒される。大自然のただ中に身を置いて、人間の小ささを感じてみよう。そして、自分が押しつぶされそうな日頃の重大問題のことを思ってみよう。何かしら道が開けることがあるかも知れない。このゼミでは、少なからぬ百名山登山家に見受けられるような、ただ頂上に立つことを主目的とするようなせわしない登り方はしない。ゆっくりと、足下の植物たちを観察しながら、空気を、日差しを、そして歩くことそれ自体を楽しみながら歩くので、とくに健脚でなくても大丈夫。大自然を十分に満喫したそのあとに、今度は人が向きあう森に向きあってもらおう。そこでは人が自然に向き合う営み、すなわち林業という一次産業を意識してみたい。大方の日本人は日本は先進国だと思っていると思う。先進国とは一次産業を捨て高次産業にシフトすることを意味するのだろうか？本当にそうなのだろうか？自然の中にどっぷりと身を置いたことで、内にちょっと変化が起った君たちには、たっぷりとその様なことを考えてもらいたい。答えはない。答えは君達が積み上げていくものなのだ。よく考えたあとで、仕上げにもう一度大自然の中に身を置いてみよう。 講義の受講態度と課題（レポート等）により可否を判定する。レポートの出来栄も大切であるが、自然としっかりと向き合う受講態度が特に大切である。 また、安全な山行に直結するので、信頼関係を構築しようという姿勢も受講態度に含めて評価する。 無断欠席は不合格とする。							
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time 2020 年 04 月 16 日 6 限／6th Period 1 6 4 教室（4／1 7 の 5 限に同じ内容で行う。何れかに出席のこと）							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40287	S 2	伊豆に学ぶ（夏）1 前編 山、温泉、そして海。 自然と人の繋がりをまなぶ	鴨田 重裕	農学部	集中	1.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。 ※初級者向け。1 年生に受講いただくことを意識している講義です。学びの原点を見つめます。是非 1 年時に受講してください。このゼミでは、特別な装置や仕掛けに依らずに、ごくごくありふれたモノに気付き・学びを真摯に追求するものです。文系・理系は関係なく、真剣に議論できることが受講生に求める条件となります。 ※「伊豆に学ぶ（夏）1 前編」「伊豆に学ぶ（夏）1 後編」をセットで履修すること。 【注意】受講希望者は必ずシラバスを熟読のうえ申し込んでください。 【注意 2】本体験ゼミは農学部が主宰するものであるが、農学部以外の学部に進学するつもりの方にも知ってもらいたい農学分野のことを話題にあげる。文系学生にとってハードルが高いゼミにはしない。理系文系を問わず、日本の山林をどうするべきかに興味を持ってもらいたい、そして日本社会の行く末を考えるきっかけとしていただきたい。 樹芸研究所と聞いて何する所?と思われるだろうか。私たちは「樹芸」を樹に親しみ、樹を暮らしに役立て、樹を育むことを包含することと定義している。樹芸研究所が 開講する一連の体験ゼミ(通称：伊豆ゼミ)は「人の暮らしと生態系の関わり」を基調に、「樹芸」体験を盛り込んで、学ぶことの原点を見直すことに重きを置いている。現代社会において見えにくくなっている様々な「つながり」を意識の俎上にあげる構成をとる。「森林を観る」とはどういうことなのか。植生が違ふとどういう違いが生じるのかなど、そんな「森林」に関する「？」を現物をそっくりそのまま見て、触って実感してもらいたい。理屈をこねまわすよりも、実物を見て「何をどう感じるか」ということを大事にする。 伊豆ゼミの舞台となる樹芸研究所と下賀茂寮のある伊豆半島は、その昔フィリピン海プレートに乗って海底火山が北上し、その海洋プレートが大陸プレートに潜り込む際に、本州に衝突して陸地となったという。猿人や原人がいた頃の話でそう古くない。また、日本においてフィリピン海プレートに乗る点で、他地域とは何か足元から違うような気分になってくる。少々こじつけに過ぎたかも知れないが、斯様に伊豆半島は海と縁の深い地である。伊豆半島は黒潮に突き出す格好であるので、その気候は海の影響を強く受ける。海はまた陸から注ぐ川の影響を受ける。本体験ゼミナールが目指すものは、伊豆半島の自然を満喫すること、その自然と人との繋がりを学ぶことである。基調テーマは「人の暮らしと生態系の関わり」。そこに「樹芸」体験を盛り込み、自分の手、足、目、耳、鼻など体全体を駆使して、おもしろく、楽しく学んでいただく。「海」といえば「泳ぐ」と短絡する向きもあるだろうが、このゼミはただ海で泳ぐようなゼミではない。少しアカデミックな視点を取り入れた海の楽しみ方や山の楽しみ方など、普段の講義では学べない様々なことを体験してもらうことにしている。本ゼミのメインディッシュは薪炭林実習。何故、燃料革命なるものが興ったか、身をもって思い知った後、薪の素晴らしさを石窯にて存分に体験していただく。ふだん何気なく当たり前の様に使っているエネルギーのありがたさを感じられたらしめたものである。汗を流した後は、火山半島ならではの、東大印の天然かけ流し温泉につかりながら、プレートテクトニクスに思いを馳せるもまた良し。 本ゼミの特徴の一つと言える森林教育プログラム作成・実施するというアクティビティの存在も大きい。伊豆ゼミを体験した後に、皆で協力して体験プログラムの作成に取り組み、他のゼミ生を参加者に見立てて実施するというもの。プログラムを作る側に立つことで、体験ゼミの仕組みやゼミで何を伝えたいかといったことを、より実感を伴って理解することができよう。 「伊豆に学ぶ」に参加した者の多くは学びの原点回帰を体験できたような気分になる。果たしてそれは夢なのだろうか、はたまた幻なのだろうか。是非ご自身で確かめていただきたい。スタッフ一同丁寧に準備してお待ちしている。						
評価方法		講義の受講態度により可否を判定する。						
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time 2020 年 04 月 16 日 5 限／5th Period 1 6 4 教室（同じ内容のガイダンスを 4／1 7 の 6 限に 1 6 4 教室、5／2 1 の 6 限に 1 6 4 教室で行う）						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40288	S 2	伊豆に学ぶ（夏）1 後編 山、温泉、そして海。 自然と人の繋がりをまなぶ	鴨田 重裕	農学部	集中	1.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。※初級者向け。1 年生に受講いただくことを意識している講義です。学びの原点を見つめます。是非 1 年時に受講してください。このゼミでは、特別な装置や仕掛けに依らずに、ごくごくありふれたモノに気付き・学びを真摯に追求するものです。文系・理系は関係なく、真剣に議論できることが受講生に求める条件となります。 ※「伊豆に学ぶ（夏）1 前編」「伊豆に学ぶ（夏）1 後編」をセットで履修すること。 【注意】受講希望者は必ずシラバスを熟読のうえ申し込んでください。 【注意 2】本体験ゼミは農学部が主宰するものであるが、農学部以外の学部に進学するつもりの方にも知ってもらいたい農学分野のことを話題にあげる。文系学生にとってハードルが高いゼミにはしない。理系文系を問わず、日本の山林をどうするべきかに興味を持ってもらいたい、そして日本社会の行く末を考えるきっかけとしていただきたい。樹芸研究所と聞いて何する所?と思われたらどうか。私たちは「樹芸」を樹に親しみ、樹を暮らしに役立て、樹を育むことを包含することと定義している。樹芸研究所が 開講する一連の体験ゼミ(通称：伊豆ゼミ)は「人の暮らしと生態系の関わり」を基調に、「樹芸」体験を盛り込んで、学ぶことの原点を見直すことに重きを置いている。現代社会において見えにくくなっている様々な「つながり」を意識の俎上にあげる構成をとる。「森林を観る」とはどういうことなのか。植生が違ふとどう違うのか、生じるのかなど、そんな「森林」に関する「？」を現物をそっくりそのまま見て、触って実感してもらいたい。理屈をこねまわすよりも、実物を見て「何をどう感じるか」ということを大事にする。 伊豆ゼミの舞台となる樹芸研究所と下賀茂寮のある伊豆半島は、その昔フィリピン海プレートに乗って海底火山が北上し、その海洋プレートが大陸プレートに潜り込む際に、本州に衝突して陸地となったという。猿人や原人がいた頃の話でそう古くない。また、日本においてフィリピン海プレートに乗る点で、他地域とは何か足元から違うような気分になってくる。少々こじつけに過ぎたかも知れないが、斯様に伊豆半島は海と縁の深い地である。伊豆半島は黒潮に突き出す格好であるので、その気候は海の影響を強く受ける。海はまた陸から注ぐ川の影響を受ける。本体験ゼミナールが目指すものは、伊豆半島の自然を満喫すること、その自然と人との繋がりを学ぶことである。基調テーマは「人の暮らしと生態系の関わり」。そこに「樹芸」体験を盛り込み、自分の手、足、目、耳、鼻など体全体を駆使して、おもしろく、楽しく学んでいただく。「海」といえば「泳ぐ」と短絡する向きもあろうが、このゼミはただ海で泳ぐようなゼミではない。少しアカデミックな視点を取り入れた海の楽しみ方や山の楽しみ方など、普段の講義では学べない様々なことを体験してもらうことにしている。本ゼミのメインディッシュは新炭林実習。何故、燃料革命なるものが興ったか、身をもって思い知った後、薪の素晴らしさを石窯にて存分に体験していただく。ふだん何気なく当たり前の様に使っているエネルギーのありがたさを感じられたらしめたものである。汗を流した後は、火山半島ならではの、東大印の天然かけ流し温泉につかりながら、プレートテクトニクスに思いを馳せるのもまた良し。 本ゼミの特徴の一つと言える森林教育プログラム作成・実施するというアクティビティの存在も大きい。伊豆ゼミを体験した後に、皆で協力して体験プログラムの作成に取り組み、他のゼミ生を参加者に見立てて実施するというもの。プログラムを作る側に立つことで、体験ゼミの仕組みやゼミで何を伝えたいかといったことを、より実感を伴って理解することができよう。 「伊豆に学ぶ」に参加した者の多くは学びの原点回帰を体験できたような気分になる。果たしてそれは夢なのだろうか、はたまた幻なのだろうか。是非ご自身で確かめていただきたい。スタッフ一同丁寧に準備してお待ちしている。						
評価方法		講義の受講態度により可否を判定する。						
教科書 ガイダンス		無断欠席は不合格とする。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特定日に行く。／Will conduct guidance at another time 2020 年 04 月 16 日 5 限／5th Period164 教室（同じ内容のガイダンスを 4／17 の 6 限に 164 教室、5／21 の 6 限に 164 教室で行う）						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40289	S 2	伊豆に学ぶ（夏）2 前編 山、温泉、そして海。 自然と人の繋がりをまなぶ	鴨田 重裕	農学部	集中	1.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。 ※初級者向け。1 年生に受講いただくことを意識している講義です。学びの原点を見つめます。是非 1 年時に受講してください。このゼミでは、特別な装置や仕掛けに依らずに、ごくごくありふれたモノに気付き・学びを真摯に追求するものです。文系・理系は関係なく、真剣に議論できることが受講生に求める条件となります。 ※「伊豆に学ぶ（夏）2 前編」「伊豆に学ぶ（夏）2 後編」をセットで履修すること。 【注意】受講希望者は必ずシラバスを熟読のうえ申し込んでください。 【注意 2】本体験ゼミは農学部が主宰するものであるが、農学部以外の学部に進学するつもりの方にも知ってもらいたい農学分野のことを話題にあげる。文系学生にとってハードルが高いゼミにはしない。理系文系を問わず、日本の山林をどうするべきかに興味を持ってもらいたい、そして日本社会の行く末を考えるきっかけとしていただきたい。 樹芸研究所と聞いて何する所?と思われるだろうか。私たちは「樹芸」を樹に親しみ、樹を暮らしに役立て、樹を育むことを包含することと定義している。樹芸研究所が 開講する一連の体験ゼミ(通称：伊豆ゼミ)は「人の暮らしと生態系の関わり」を基調に、「樹芸」体験を盛り込んで、学ぶことの原点を見直すことに重きを置いている。現代社会において見えにくくなっている様々な「つながり」を意識の俎上にあげる構成をとる。「森林を観る」とはどういうことなのか。植生が違っているとどう違うのかなど、そんな「森林」に関する「?」を現物をそっくりそのまま見て、触って実感してもらいたい。理屈をこねまわすよりも、実物を見て「何をどう感じるか」ということを大事にする。 伊豆ゼミの舞台となる樹芸研究所と下賀茂寮のある伊豆半島は、その昔フィリピン海プレートに乗って海底火山が北上し、その海洋プレートが大陸プレートに潜り込む際に、本州に衝突して陸地となったという。猿人や原人がいた頃の話でそう古くない。また、日本においてフィリピン海プレートに乗る点で、他地域とは何か足元から違うような気分になってくる。少々こじつけに過ぎたかも知れないが、斯様に伊豆半島は海と縁の深い地である。伊豆半島は黒潮に突き出す格好であるので、その気候は海の影響を強く受ける。海はまた陸から注ぐ川の影響を受ける。本体験ゼミナールが目指すものは、伊豆半島の自然を満喫すること、その自然と人との繋がりを学ぶことである。基調テーマは「人の暮らしと生態系の関わり」。そこに「樹芸」体験を盛り込み、自分の手、足、目、耳、鼻など体全体を駆使して、おもしろく、楽しく学んでいただく。「海」といえば「泳ぐ」と短絡する向きもあるが、このゼミはただ海で泳ぐようなゼミではない。少しアカデミックな視点を取り入れた海の楽しみ方や山の楽しみ方など、普段の講義では学べない様々なことを体験してもらうことにしている。本ゼミのメインディッシュは薪炭林実習。何故、燃料革命なるものが興ったか、身をもって思い知った後、薪の素晴らしさを石窯にて存分に体験していただく。ふだん何気なく当たり前の様に使っているエネルギーのありがたさを感じられたらしめたものである。汗を流した後は、火山半島ならではの、東大印の天然かけ流し温泉につかりながら、プレートテクトニクスに思いを馳せるもまた良し。 本ゼミの特徴の一つと言える森林教育プログラム作成・実施するというアクティビティの存在も大きい。伊豆ゼミを体験した後に、皆で協力して体験プログラムの作成に取り組み、他のゼミ生を参加者に見立てて実施するというもの。プログラムを作る側に立つことで、体験ゼミの仕組みやゼミで何を伝えたいかといったことを、より実感を伴って理解することができよう。 「伊豆に学ぶ」に参加した者の多くは学びの原点回帰を体験できたような気分になる。果たしてそれは夢なのだろうか、はたまた幻なのだろうか。是非ご自身で確かめていただきたい。スタッフ一同丁寧に準備してお待ちしている。						
評価方法		講義の受講態度により可否を判定する。						
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time 2020 年 04 月 16 日 5 限／5th Period 1 6 4 教室（同じ内容のガイダンスを 4／1 7 の 6 限に 1 6 4 教室、5／2 1 の 6 限に 1 6 4 教室で行う）						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40290	S 2	伊豆に学ぶ（夏）2 後編 山、温泉、そして海。 自然と人の繋がりをまなぶ	鴨田 重裕	農学部	集中	1.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。※初級者向け。1 年生に受講いただくことを意識している講義です。学びの原点を見つめます。是非 1 年時に受講してください。このゼミでは、特別な装置や仕掛けに依らずに、ごくごくありふれたモノに気付き・学びを真摯に追求するものです。文系・理系は関係なく、真剣に議論できることが受講生に求める条件となります。 ※「伊豆に学ぶ（夏）2 前編」「伊豆に学ぶ（夏）2 後編」をセットで履修すること。 【注意】受講希望者は必ずシラバスを熟読のうえ申し込んでください。 【注意2】本体験ゼミは農学部が主宰するものであるが、農学部以外の学部に進学するつもりの方にも知ってもらいたい農学分野のことを話題にあげる。文系学生にとってハードルが高いゼミにはしない。理系文系を問わず、日本の山林をどうするべきかに興味を持ってもらいたい、そして日本社会の行く末を考えるきっかけとしていただきたい。樹芸研究所と聞いて何する所?と思われたらどうか。私たちは「樹芸」を樹に親しみ、樹を暮らしに役立て、樹を育むことを包含することと定義している。樹芸研究所が 開講する一連の体験ゼミ(通称：伊豆ゼミ)は「人の暮らしと生態系の関わり」を基調に、「樹芸」体験を盛り込んで、学ぶことの原点を見直すことに重きを置いている。現代社会において見えにくくなっている様々な「つながり」を意識の俎上にあげる構成をとる。「森林を観る」とはどういうことなのか。植生が違ふとどう違うのか、生じるのかなど、そんな「森林」に関する「？」を現物をそっくりそのまま見て、触って実感してもらいたい。理屈をこねまわすよりも、実物を見て「何をどう感じるか」ということを大事にする。 伊豆ゼミの舞台となる樹芸研究所と下賀茂寮のある伊豆半島は、その昔フィリピン海プレートに乗って海底火山が北上し、その海洋プレートが大陸プレートに潜り込む際に、本州に衝突して陸地となったという。猿人や原人がいた頃の話でそう古くない。また、日本においてフィリピン海プレートに乗る点で、他地域とは何か足元から違うような気分になってくる。少々こじつけに過ぎたかも知れないが、斯様に伊豆半島は海と縁の深い地である。伊豆半島は黒潮に突き出す格好であるので、その気候は海の影響を強く受ける。海はまた陸から注ぐ川の影響を受ける。本体験ゼミナールが目指すものは、伊豆半島の自然を満喫すること、その自然と人との繋がりを学ぶことである。基調テーマは「人の暮らしと生態系の関わり」。そこに「樹芸」体験を盛り込み、自分の手、足、目、耳、鼻など体全体を駆使して、おもしろく、楽しく学んでいただく。「海」といえば「泳ぐ」と短絡する向きもあろうが、このゼミはただ海で泳ぐようなゼミではない。少しアカデミックな視点を取り入れた海の楽しみ方や山の楽しみ方など、普段の講義では学べない様々なことを体験してもらうことにしている。本ゼミのメインディッシュは新炭林実習。何故、燃料革命なるものが興ったか、身をもって思い知った後、薪の素晴らしさを石窯にて存分に体験していただく。ふだん何気なく当たり前の様に使っているエネルギーのありがたさを感じられたらしめたものである。汗を流した後は、火山半島ならではの、東大印の天然かけ流し温泉につかりながら、プレートテクトニクスに思いを馳せるのもまた良し。 本ゼミの特徴の一つと言える森林教育プログラム作成・実施するというアクティビティの存在も大きい。伊豆ゼミを体験した後に、皆で協力して体験プログラムの作成に取り組み、他のゼミ生を参加者に見立てて実施するというもの。プログラムを作る側に立つことで、体験ゼミの仕組みやゼミで何を伝えたいかといったことを、より実感を伴って理解することができよう。 「伊豆に学ぶ」に参加した者の多くは学びの原点回帰を体験できたような気分になる。果たしてそれは夢なのだろうか、はたまた幻なのだろうか。是非ご自身で確かめていただきたい。スタッフ一同丁寧に準備してお待ちしている。						
評価方法		講義の受講態度により可否を判定する。						
教科書 ガイダンス		無断欠席は不合格とする。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特定日に行く。／Will conduct guidance at another time 2020 年 04 月 16 日 5 限／5th Period164 教室（同じ内容のガイダンスを 4／17 の 6 限に 164 教室、5／21 の 6 限に 164 教室で行う）						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40291	S 2	伊豆に学ぶ（夏） 3 前編 山、温泉、そして海。 自然と人の繋がりをまなぶ	鴨田 重裕	農学部	集中	1.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。 ※既習者向け。自主と自由のゼミ。やりたいことを好きなように企画することができます。学びの原点を見つめます。このゼミでは、特別な装置や仕掛けに依らずに、ごくごくありふれたモノに気付き・学びを真摯に追求するものです。文系・理系は関係なく、真剣に議論できることが受講生に求める条件となります。 ※「伊豆に学ぶ（夏） 3 前編」「伊豆に学ぶ（夏） 3 後編」をセットで履修すること。 【注意】受講希望者は必ずシラバスを熟読のうえ申し込んでください。 【注意 2】本体験ゼミは農学部が主宰するものであるが、農学部以外の学部に進学するつもりの方にも知ってもらいたい農学分野のことを話題にあげる。文系学生にとってハードルが高いゼミにはしない。理系文系を問わず、日本の山林をどうするべきかに興味を持ってもらいたい、そして日本社会の行く末を考えるきっかけとしていただきたい。 樹芸研究所と聞いて何する所?と思われるだろうか。私たちは「樹芸」を樹に親しみ、樹を暮らしに役立て、樹を育むことを包含することと定義している。樹芸研究所が 開講する一連の体験ゼミ(通称：伊豆ゼミ)は「人の暮らしと生態系の関わり」を基調に、「樹芸」体験を盛り込んで、学ぶことの原点を見直すことに重きを置いている。現代社会において見えにくくなっている様々な「つながり」を意識の俎上にあげる構成をとる。「森林を観る」とはどのようなことなのか。植生が違っているとどう違うのかなど、そんな「森林」に関する「?」を現物をそっくりそのまま見て、触って実感してもらいたい。理屈をこねまわすよりも、実物を見て「何をどう感じるか」ということを大事にする。 伊豆ゼミの舞台となる樹芸研究所と下賀茂寮のある伊豆半島は、その昔フィリピン海プレートに乗って海底火山が北上し、その海洋プレートが大陸プレートに潜り込む際に、本州に衝突して陸地となったという。猿人や原人がいた頃の話でそう古くない。また、日本においてフィリピン海プレートに乗る点で、他地域とは何か足元から違うような気分になってくる。少々こじつけに過ぎたかも知れないが、斯様に伊豆半島は海と縁の深い地である。伊豆半島は黒潮に突き出す格好であるので、その気候は海の影響を強く受ける。海はまた陸から注ぐ川の影響を受ける。本体験ゼミナールが目指すものは、伊豆半島の自然を満喫すること、その自然と人との繋がりを学ぶことである。基調テーマは「人の暮らしと生態系の関わり」。そこに「樹芸」体験を盛り込み、自分の手、足、目、耳、鼻など体全体を駆使して、おもしろく、楽しく学んでいただく。「海」といえば「泳ぐ」と短絡する向きもあるだろうが、このゼミはただ海で泳ぐようなゼミではない。少しアカデミックな視点を取り入れた海の楽しみ方や山の楽しみ方など、普段の講義では学べない様々なことを体験してもらうことにしている。本ゼミのメインディッシュは薪炭林実習。何故、燃料革命なるものが興ったか、身をもって思い知った後、薪の素晴らしさを石窯にて存分に体験していただく。ふだん何気なく当たり前の様に使っているエネルギーのありがたさを感じられたらしめたものである。汗を流した後は、火山半島ならではの、東大印の天然かけ流し温泉につかりながら、プレートテクトニクスに思いを馳せるもまた良し。 本ゼミの特徴の一つと言える森林教育プログラム作成・実施するというアクティビティの存在も大きい。伊豆ゼミを体験した後に、皆で協力して体験プログラムの作成に取り組み、他のゼミ生を参加者に見立てて実施するというもの。プログラムを作る側に立つことで、体験ゼミの仕組みやゼミで何を伝えたいかといったことを、より実感を伴って理解することができよう。 「伊豆に学ぶ」に参加した者の多くは学びの原点回帰を体験できたような気分になる。果たしてそれは夢なのだろうか、はたまた幻なのだろうか。是非ご自身で確かめていただきたい。スタッフ一同丁寧に準備してお待ちしている。						
評価方法		講義の受講態度により可否を判定する。						
教科書 ガイダンス		無断欠席は不合格とする。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time 2020 年 04 月 16 日 5 限／5th Period 1 6 4 教室（同じ内容のガイダンスを 4／1 7 の 6 限に 1 6 4 教室、5／2 1 の 6 限に 1 6 4 教室で行う）						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40292	S 2	伊豆に学ぶ（夏）3 後編 山、温泉、そして海。 自然と人の繋がりをまなぶ	鴨田 重裕	農学部	集中	1.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。※既習者向け。自主と自由のゼミ。やりたいことを好きなように企画することができます。学びの原点を見つめます。このゼミでは、特別な装置や仕掛けに依らずに、ごくごくありふれたモノに気付き・学びを真摯に追求するものです。文系・理系は関係なく、真剣に議論できることが受講生に求める条件となります。 ※「伊豆に学ぶ（夏）3 前編」「伊豆に学ぶ（夏）3 後編」をセットで履修すること。 【注意】受講希望者は必ずシラバスを熟読のうえ申し込んでください。 【注意2】本体験ゼミは農学部が主宰するものであるが、農学部以外の学部に進学するつもりの方にも知ってもらいたい農学分野のことを話題にあげる。文系学生にとってハードルが高いゼミにはしない。理系文系を問わず、日本の山林をどうするべきかに興味を持ってもらいたい、そして日本社会の行く末を考えるきっかけとしていただきたい。樹芸研究所と聞いて何する所?と思われたらどうか。私たちは「樹芸」を樹に親しみ、樹を暮らしに役立て、樹を育むことを包含することと定義している。樹芸研究所が 開講する一連の体験ゼミ(通称：伊豆ゼミ)は「人の暮らしと生態系の関わり」を基調に、「樹芸」体験を盛り込んで、学ぶことの原点を見直すことに重きを置いている。現代社会において見えにくくなっている様々な「つながり」を意識の俎上にあげる構成をとる。「森林を観る」とはどういうことなのか。植生が違ふとどういう違いが生じるのかなど、そんな「森林」に関する「？」を現物をそっくりそのまま見て、触って実感してもらいたい。理屈をこねまわすよりも、実物を見て「何をどう感じるか」ということを大事にする。 伊豆ゼミの舞台となる樹芸研究所と下賀茂寮のある伊豆半島は、その昔フィリピン海プレートに乗って海底火山が北上し、その海洋プレートが大陸プレートに潜り込む際に、本州に衝突して陸地となったという。猿人や原人がいた頃の話でそう古くない。また、日本においてフィリピン海プレートに乗る点で、他地域とは何か足元から違うような気分になってくる。少々こじつけに過ぎたかも知れないが、斯様に伊豆半島は海と縁の深い地である。伊豆半島は黒潮に突き出す格好であるので、その気候は海の影響を強く受ける。海はまた陸から注ぐ川の影響を受ける。本体験ゼミナールが目指すものは、伊豆半島の自然を満喫すること、その自然と人との繋がりを学ぶことである。基調テーマは「人の暮らしと生態系の関わり」。そこに「樹芸」体験を盛り込み、自分の手、足、目、耳、鼻など体全体を駆使して、おもしろく、楽しく学んでいただく。「海」といえば「泳ぐ」と短絡する向きもあろうが、このゼミはただ海で泳ぐようなゼミではない。少しアカデミックな視点を取り入れた海の楽しみ方や山の楽しみ方など、普段の講義では学べない様々なことを体験してもらうことにしている。本ゼミのメインディッシュは新炭林実習。何故、燃料革命なるものが興ったか、身をもって思い知った後、薪の素晴らしさを石窯にて存分に体験していただく。ふだん何気なく当たり前の様に使っているエネルギーのありがたさを感じられたらしめたものである。汗を流した後は、火山半島ならではの、東大印の天然かけ流し温泉につかりながら、プレートテクトニクスに思いを馳せるもまた良し。 本ゼミの特徴の一つと言える森林教育プログラム作成・実施するというアクティビティの存在も大きい。伊豆ゼミを体験した後に、皆で協力して体験プログラムの作成に取り組み、他のゼミ生を参加者に見立てて実施するというもの。プログラムを作る側に立つことで、体験ゼミの仕組みやゼミで何を伝えたいかといったことを、より実感を伴って理解することができよう。 「伊豆に学ぶ」に参加した者の多くは学びの原点回帰を体験できたような気分になる。果たしてそれは夢なのだろうか、はたまた幻なのだろうか。是非ご自身で確かめていただきたい。スタッフ一同丁寧に準備してお待ちしている。						
評価方法		講義の受講態度により可否を判定する。						
教科書 ガイダンス		無断欠席は不合格とする。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time 2020 年 04 月 16 日 5 限／5th Period 1 6 4 教室（同じ内容のガイダンスを 4／1 7 の 6 限に 1 6 4 教室、5／2 1 の 6 限に 1 6 4 教室で行う）						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40293	S 2	癒しの森と地域社会 (夏)	浅野 友子 齋藤 暖生 三浦 直子 藤原 章雄	農学部	集中	1.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 日本は先進国の中で極めて高い森林率を誇っている。農山村地域の大部分を占める森林は、高度経済成長期以降、単に木材生産だけでなく、保健休養活動や健康増進に資する環境資源としても期待されてきた。しかしながら、そのような目的に適うように森林が整備され、地域社会の中で観光資源あるいは健康増進インフラなどとして活用されている例は極めて稀である。 癒しの場として適切な森林の実現が困難となる要因は、①植物の成長・枯死といった自然に由来するもの、②森林の所有権や法制度といった社会的なものに大別できる。本ゼミナールは、癒しの場としての観点から森林の特性および森林をめぐる社会のあり方について基本的な視点を学ぶことをねらいとする。駒場キャンパスでの講義、体験を重視した富士癒しの森研究所での現地講義を通じて、知性と感性を働かせながら学ぶ。 富士癒しの森研究所の所在する山梨県山中湖村は、富士山の麓にある観光地であり、別荘も多数存在し、癒しの場として森林の活用が望まれている。しかし、近年ほとんどの森林では、枯れ木の処理、アクセス路の管理、適切な除伐や間伐、などの手入れが行われておらず、大きな樹木や繁茂した灌木がむしろ景観の阻害となったり、樹木が倒れて人や家屋に対して危険であったりする。つまり、ここにおいても森林が地域の環境資源として十分に活用されていない。 富士癒しの森研究所では、この地域課題の解決に向けて、「癒しの森プロジェクト」という地域と協働した研究・教育活動に取り組んでいる。このプロジェクトでは、とくに森林の持つ人間への「癒し」の機能に着目し、地域の自然および社会の特性に応じて人々と森林との関係を再構築しようとしている。 本ゼミナールは、癒しの森プロジェクトの一環として実施するものである。富士癒しの森研究所およびその周辺での現地講義では、観光やリゾート空間として利用されている森林をいくつか訪れる。そこで地域の方々の案内で、それぞれの森の楽しみ方を体験する。事前講義と現地講義を通じて、地域にある森林を「地域づくり」にどのように生かそうかを考える機会にしてほしい。 ※受講可能人数：20 名まで。 ※ガイダンス：6 月 8 日の第 1 回目の講義の際に行う。 ※現地講義開講場所：大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所。 ※現地講義開講期間：7 月 3 日（金）夜から 7 月 5 日（日）の 2 泊 2 日を予定。 ※講義は駒場キャンパスにおける 4 回の講義（6 月 8 日(月)、6 月 15 日（月）、6 月 22 日（月）、6 月 29 日（月）の 5 限に実施予定）と 7 月 3 日（金）から 7 月 5 日（日）にかけて富士癒しの森研究所で実施する 2 泊 2 日の現地集中講義で行う。 富士癒しの森研究所への交通費、宿泊費、食費等の実費は自己負担となる。負担額等の現地講義の概要については 6 月 8 日の第 1 回講義時に説明する。 ※このゼミは 4 月 6 日(月)6 限（18：45～）に駒場キャンパス 1313 教室にて行われる農学部全学体験ゼミナール合同説明会への参加を予定しています。						
評価方法 教科書 ガイダンス		出席とレポートで評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2020 年 06 月 08 日 5 限／5th Period1 号館 149 教室						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40310	S 2	「それ何マグロ？」 身近な生命科学実習 ーマグロ属魚類の魚種類判別ー	鹿島 勲	教養教育 高度化機構	集中	1.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。本実習では、分子生物学的手法を用いたマグロ属に属する魚の種別判別実験の体験を通じて、実験科学のお作法（実験器具の使い方や実験ノートのとり方）、ニュースなどでもよく出てくる DNA、PCR、次世代シーケンシングといった生命科学用語・技術、実験結果の解釈・考察方法を学習することを目的とする。 【実習の内容】 ① 本実習内容の説明 ② マグロから DNA 抽出 ③ 遺伝子増幅法（PCR 法）による DNA の増幅と DNA 配列特異的切断酵素による切断 ④ DNA 断片を電気泳動により分離して検出 ⑤ 得られた DNA のパターンからマグロの種別判別 ⑥ 結果に関する発表および、ディスカッション 【ガイダンス】 2020 年 4 月 9 日（木）お昼休み KOMCEE EAST 3 階 教育開発室 ※実施する教室など、最新情報は下記お知らせを各自確認すること。 【実習実施日】 集中講義として、下記の日時に行う。 （実験の進行状況により下記の時刻に終了できない場合がある。） 2020 年 8 月 4 日（火）10:00～18:00 2020 年 8 月 5 日（水）10:00～18:00 2020 年 8 月 6 日（木）10:00～18:00 【実習実施教室】 KOMCEE EAST 3 階 教育開発室（予定） 【関連ホームページ】 お知らせ：http://www.adves.c.u-tokyo.ac.jp/news/practical/ 実習 HP：http://www.adves.c.u-tokyo.ac.jp/practical/ 【2020S 実習専用連絡先】 practical2020s@adves.c.u-tokyo.ac.jp							
評価方法	①出席、②実験ノートの提出、③課題の提出、④ミニプレゼンテーションにより評価する。 ※安全管理上、レクチャーを受講しない学生は実験に参加することはできない 詳細は、各自下記 URL を確認すること。 実習 HP：http://www.adves.c.u-tokyo.ac.jp/practical/							
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time 2020 年 04 月 09 日その他（「授業目標、概要」参照）／Others(Refer to "Course Objectives")昼休み お知らせ：http://bit.ly/381XvEN から最新情報を確認。							

「国際研修」の履修について

国際研修の各授業では、以下の共通目標が定められている。

異なる言語・文化の環境に触れ、国際交流の現場を体験し、グローバルな視野を養う機会を得る。

授業内容としては、（１）海外の学生との合同学習などを含む短期の海外研修、（２）海外教育機関との海外での共同教育プログラム、（３）海外の学生との日本国内での研修、（４）海外の教育機関が提供するプログラムを利用した研修、といったさまざまな活動がある。そのような機会によって得られる成果が、主題科目の単位として認定される。

国際研修の受講にあたっては、海外渡航経験の有無は問わない。国際研修はむしろ、学生にとってのはじめての海外経験を、後押しする科目である。進んで自分の視野を開こうとする、学生の積極的な参加姿勢がのぞまれる。

授業によっては、参加者の選抜を行ったり、ある水準以上の語学力を求めたりする場合がある。研修のため海外に渡航する前に事前講義が実施される授業や、他の科目の履修が条件とされる授業もある。履修科目登録期間後に選抜の結果が発表される授業もある。その場合は履修を希望する授業にまず登録し、選抜にもれた場合は履修科目確認・訂正期間に登録を削除すること。また、履修が許可された後から出発までの期間の履修の辞退は、担当教員に膨大な負担をかけることになるので、あらかじめ十分に授業内容、渡航に際する留意事項、費用を確認して履修登録すること（履修を取りやめることで学生個人に対して生じるキャンセル料は原則学生負担になる）。学生が負担する費用については、授業によって異なる。それぞれの授業のシラバスを参照し、ガイダンスに出席して説明を受けること。

国際研修

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	教室	対象
40299	S 2	素粒子物理実験の最前線と、それが社会にもたらすものを CERN で見つけよう (Let's find out the latest development of particle physics research and its contribution to our society)	松田 恭幸	集中	2.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。 【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意してください。「国際研修」科目では、異なる言語・文化の環境に触れ、国際交流の現場を体験し、グローバルな視野を養う機会を得ることを目標とする。 この科目では世界最大級の素粒子物理学研究所である CERN を訪問する。素粒子物理学研究の最前線を現地で学ぶとともに、国内外の様々な大学・研究所に所属する研究者との対話を通して、国境や宗教・文化の違いを超えて大型プロジェクトを動かすことの意義について考える。 In this course, we'll visit CERN, one of the largest research institute for particle physics in the world, and learn the latest development of the research field of particle physics, and together with researchers working there, we discuss the implications of international collaborations funded and participated by multiple countries/areas.					
評価方法 教科書 ガイダンス		授業への積極的な参加と、帰国後のレポートによる。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	教室	対象
40300	S 2	中国語サマースクール	菊池 真純、 伊藤 徳也	集中	2.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。 【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意してください。 【注意】この授業は開講日程の都合上、参加申し込みが通常と異なるため留意してください。 中国語を 1 年間学んだ学生を対象に、さらなる実力の養成のため、集中的に中国語を学ぶ特訓のプログラムを実施する。東アジアを足場に活躍する人材にとって、中国語は、中国の文化や社会を知るためだけでなく、世界的な知的交流に参画するための必須条件となるであろう。中国の現地で中国語に磨きをかけるとともに、フィールドワーク的な作業を通して、語学のスキルを磨きあげることがめざす。 "					
評価方法		サマースクール期間中に実施するテスト、レポート等を総合的に評価する。					
教科書 ガイダンス		授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	教室	対象
40302	S 2	ソウル大学校韓国語研修 サマープログラム	月脚 達彦	集中	2.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。 【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意してください。TLP 韓国朝鮮語を履修している 2 年生、初修外国語韓国朝鮮語を 1 年間履修したことがある者、および共通韓国朝鮮語（前期課程において総合科目 L 系列の韓国朝鮮語）の中級以上の授業を履修している（履修したことがある）者を主たる対象として、ソウル大学校での語学研修を行う。会話を中心とした実践的な韓国朝鮮語力を身に付けることを目的とする。また、また、アクティブ・ラーニングや文化体験などを通じて韓国の社会や文化について学ぶ。					
評価方法 教科書 ガイダンス		現地での活動状況、修了試験によって評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	教室	対象
40303	S 2	イタリアで考古学を体験する	村松 真理子	集中	2.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。 【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意してください。ナポリ近郊、ソンマ・ヴェスヴィアーナ市にある本学の研究施設で考古学発掘を体験する。ローマ時代のヴィラ建築で、専門家とともに発掘の現場がどのようなものか見学するだけでなく、その作業を体験する。国際的なチームによる発掘現場の作業やネットワークにふれると同時に、ナポリ近辺の他の発掘調査や研究機関・考古学博物館・大学を訪ね、現地の文化遺産と記憶の継承の問題についても考える。					
評価方法		事前学習や帰国後の成果発表会への参加および現地での活動ぶりを評価し、あわせて帰国後の最終レポートを評価する					
教科書 ガイダンス		プリントを配布する。／Will distribute handouts 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time 日程は教務課掲示板および教養学部地域文化研究「イタリア地中海コース」の HP で知らせる					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	教室	対象
40304	S 2	The University of Tokyo Summer Internship Program in Kashiwa (UTSIP Kashiwa)	岩原 紘伊	集中	2.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。 【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意してください。 【注意】開講日程の都合上、この授業を履修する場合は、S セメスター/S2 ターム開講の他授業を履修することができないので、注意してください（開講日程の異なる集中講義等を除く）。 Students attending this course cannot take credits for other courses in S semester or S2 term, except for intensive courses whose schedule does not overlap with this course. UTSIP Kashiwa is an international internship program provided by the Graduate School of Frontier Sciences (GSFS:新領域創成科学研究科) where Junior Division students can study together with undergraduate students from abroad in laboratories as well as in lectures. The program will be conducted in English.					
評価方法		Students are required to submit a short report on their lab activities and research results, together with the slides used in the final presentation. The evaluation is based on these as well as comments on their achievements from the professor in charge of the lab.					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time 2020 年 04 月 07 日 6 限／6th Period 国際研修全体ガイダンス内で行う。会場はグローバル駒場のサイトを確認すること。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	教室	対象
40305	S 2	ボン大学ドイツ語サマ ースクール	斉藤 渉	集中	2.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。 【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意してください。 「国際研修」科目では、異なる言語・文化の環境に触れ、国際交流の現状を体験し、グローバルな視野を養う機会を得ることを目標とする。 ボン大学 Rheinische Friedrich-Wilhelms-Universität Bonn で約 2 週間ドイツ語集中講座を受講し、実践的なドイツ語能力習得を目指す。午前中は話す、聞く、書くを中心としたドイツ語集中コース、午後や週末はドイツ・ヨーロッパ事情の講義やワークショップ、ドイツの社会や文化に触れる研修等を行う。 授業への積極的な参加と、帰国後のレポート（4000 字程度）の提出、（メールによる提出）。					
評価方法							
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	教室	対象
40306	S 2	TLP フランス語夏季研修	寺田 寅彦	集中	2.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等が必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。 【注意】この授業は選抜試験を5～6月、夏季研修を8～9月頃に実施予定。S2タームの履修確認訂正期間（2020年度は6/13-18）までに選抜が終わらない可能性もあるため、その場合は、選抜者決定次第、教務課で履修登録をする。成績報告についてはプログラム終了次第、可能な限り速やかに行われるが、所定の成績確認日より後に登録・公開される見込みが高い。 アンジェ市（Angers）フランスでフランス語研修を行いフランス語の運用能力を高め、学生交流を行うことで高い国際感覚を養う。各国の学生と授業だけではなくエクスカッションや各種催しを通じて交流の現場を体験し、またホームステイ（予定）を通じて異なる言語・文化の環境に触れてグローバルな視野を養う機会を得る取り組みを行う					
評価方法 教科書 ガイダンス		研修への参加状況と現地での学習成果。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	教室	対象
40307	S 2	フィールドワークを通じて考えるインドネシアの環境と生活	岩原 紘伊	集中	2.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等が必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。 【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に登録・公開される見込みが高いため、留意すること。 急速な経済成長や近代化の流れのなかで、インドネシアではゴミ問題や水質汚染など深刻な環境問題が生じている。本研修では、インドネシアの大学、NGO、企業、地域社会を訪問し、インドネシアにおける環境問題の実情とそれに対する様々な取り組みを、フィールドワークを通じて学ぶ。バリ島では村落において参与観察を行うことで、人々の日常生活に直に触れながら環境問題について考える機会を設定している。研修を通じた学びの一つの成果として、現地研修の最後に環境教育ワークショップを行う予定である。本研修の目標は、履修者にグローバルな課題である環境問題について自らの経験から多角的に理解を深めてもらうところにある。なお、バリ島のフィールドワークやワークショップはウダヤナ大学文学部日本語学科の学生たちの協力を受け実施する予定であり、現地の学生と意見交換し、協働する機会を設けている。					
評価方法 教科書 ガイダンス		出発前研修への取組、現地における課題の遂行への態度、研修後の報告書の内容から評価します。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time 2020年04月14日6限／6th Period KIBER（旧6号館）110					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	教室	対象
40311	S 2	スペイン語 TLP 研修 (サマープログラム)	受田 宏之	集中	2.0	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等が必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。 【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意してください。本研修は、スペイン語 TLP2 年生の希望者を対象とするサマープログラムで、9 月前半に 2 週間ほどメキシコに滞在する。 定員を 20 名前後としており、それを超える申請のある場合は選抜を行う。 大学で習得したスペイン語を積極的に使うこと、さらにはそれを通じて協定校の学生ら現地の人たちと交流することを目標としている。 具体的な訪問地として、首都のメキシコシティとグアナファト州を考えている。 メキシコシティでは、2 つの協定校（EL COLEGIO DE MEXICO と UNAM）を訪問し、スペイン語でのプレゼンを含め様々な交流活動に励むほか、博物館や史跡の見学も行う。 グアナファト州では、世界遺産である旧市街の語学学校でインテンシブなコースを受講するほか、サンミゲルアジェンデ等、近辺の町や村を訪問する。					
評価方法 教科書 ガイダンス		現地での活動状況と修了後のレポートによって評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

PEAK 科目

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30978	S	ことばと文学(PEAK)	武田 将明	PEAK 前期	木 3	516 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
■2015 年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 A 系列の科目として扱われます。							
講義題目 授業の目標概要		Reading Modern Japanese Short Stories This class introduces the history of modern Japanese literature through reading representative short stories published from 1895 to 2012. We will spend two weeks for a story (or a set of stories). In the first week, I explicate the social and literary background of the story, ask your first impressions and decide the topics for discussion (so you are supposed to read through the story before attending the class). Then, you are to submit via email a short essay on any of the topics (about 300 words) by Monday night. The second week is mainly dedicated to the discussion based on your essay. Positive contributions to the discussion are always appreciated. The English translations of all stories are provided via itc-lms as pdf files. If you are interested in the originals, do not hesitate to ask me.					
評価方法 教科書 ガイダンス		Your participation in the discussion (20 percent). Six short essays (50 percent). One long essay (about 1000 words: 30 percent). プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30608	S	思想・芸術Ⅱ(PEAK)	ダルグリーシ ュブレガム	PEAK 前期	水 1	121 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
■2015 年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 A 系列の科目として扱われます。							
講義題目 授業の目標概要		Introduction to Political Theory Thought is the means by which we elaborate who we are, assert our membership of a culture, authorise institutions within society, make claims upon each other and encounter difference in a global world. It stands to reason that without philosophical reflection upon the core concepts at the heart of the social sciences and humanities, life today would have neither rationale nor articulated meaning. It is thus precisely for these reasons that IPTII introduces students to some of the core concepts that they encounter and deploy in their undergraduate studies.					
評価方法		Multiple choice questions (30%) Participation (20%) Final Exam (50%)					
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Political Theory: An Introduction (4th Edition) 著者(訳者) Andrew Heywood 出版社 Basingstoke, U.K. and New York: Palgrave Macmillan, 2015 ISBN 978-1-137-43726-6					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30821	S	思想・芸術IV(PEAK)	HOLCA Irina	PEAK 前期	水 5	154 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
■2015 年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 A 系列の科目として扱われます。							
講義題目	What is “Modern,” “Japanese,” “Literature”? Exploring Japan’s Modernity through Literary Discourse						
授業の目標概要	This course will explore developments and trends in modern Japanese literature, society, and culture. We will analyse literary discourse dealing with the encounters between Japan and the world from the beginning of the Meiji period up to the Second World War, as well as works illustrating the way modernisation redefined human relations during the same period of time. At the end of this course, students will have sufficient information about the historical, social, and cultural background of the literary works read in class, and will be able to put them into perspective, questioning the dichotomies “Japan-West,” “modern-traditional,” and looking at literature as their locus of dialogue. They will have also learned about various literary theories and analytical methodologies, which will allow them to engage with the texts in a critical way, in order to produce meaningful discussions, presentations, and essays.						
評価方法	Attendance: 10% Participation (comments): 30 % Presentation: 30% Final project (essay): 30%						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30165	S	国際関係(PEAK)	鈴木 早苗	PEAK 前期	月 3	122 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
■2015 年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 B 系列の科目として扱われます。							
講義題目	Introduction to International Relations						
授業の目標概要	This is an introductory course on international relations and aims to obtain theoretical perspectives to understand international phenomena. We plan to cover a wide range of issues related to international relations. This course consists of three parts. The first concerns history and structure of international system to learn basic concepts in international relations. The second part deals with how to order and manage international system and the role of nation-states. Finally, we will learn how to analyze transnational and global issues beyond nation-state in international relations.						
評価方法	participation and final exam						
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30569	S	歴史(PEAK)	バクスター, ジョシュア	PEAK 前期	火 5	120 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
■2015 年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 B 系列の科目として扱われます。							
講義題目 授業の目標概要	History of Modern Japan This course is designed to introduce students to the history of Japan from the Tokugawa period until the end of the twentieth century. As a survey course, the content will focus on major historical events such as the Meiji Restoration, the colonization of Korea, the rise of fascism, the fifteen-year war, the postwar economic recovery, and the bursting of the bubble in the 1990s. The use of translated primary sources and films will be used to supplement the readings. The objective is to offer students a traditional historiography of Japan and to introduce them to prominent historical figures through readings of primary sources. Thus the structure of the course will follow the familiar narrative of western modernization, militarization and the postwar economic miracle so that students will have a strong foundation on which to later form a critique of this history in their senior courses.						
評価方法	2 Quizzes 10% Group Assignments 10% Participation 20% Short Paper (5 double-spaced pages) 25% Final Exam 35%						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31048	S	国際・地域Ⅱ(PEAK)	バクスター, ジョシュア	PEAK 前期	木 5	515 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
■2015 年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 B 系列の科目として扱われます。							
講義題目 授業の目標概要	Tokugawa Cities This course will explore the three most important cities of Tokugawa Japan: Edo, Kyoto and Osaka. These three cities were among the largest of the early modern world and were home to a vibrant urban culture. Edo, the shogun's capital, was nothing but a small fishing village in the early 1600s but, within a century, grew to probably the largest city in the world with over a million people. Kyoto was the imperial capital, famous for its temples and the arts. Osaka was a merchant's city, full of economic activity dominated by the growth of a money economy. While roaming the streets of these three cities, students will be asked to think about how people lived, worked and played. What did they think about the city around them? Who performed the labour to build such cities? And, where did they go to have fun? In order to explore these questions in class the use of maps, primary sources, screen paintings, prints, films, and short stories will be utilized.						
評価方法	•25% Class Participation •15% Edo-Tokyo Museum Assignment •25% Short Essay (5 pages double-spaced) •35% Final Exam						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31284	S	社会・社会思想(PEAK)	滝田 祥子	PEAK 前期	金 5	K302	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
■2015 年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 C 系列の科目として扱われます。							
講義題目 授業の目標概要	Introduction to Japanese Social Theory Using the textbook specifically aiming at bridging a longstanding gap between Eastern and Western social theory, this course will offer an opportunity for students to explore the rich diversity of social-theoretical critique in contemporary Japanese social theory.						
評価方法	Class participation and presentations: 50% Final paper: 50%						
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook						
ガイダンス	書名 Japanese Social Theory: From individualization to globalization in Japan today						
	著者（訳者） :Anthony Elliott, Masataka Katagiri and Atsushi Sawai eds.						
	出版社 Routledge						
	ISBN 978-0-415-67145-3						
	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30532	S	社会・制度Ⅱ(PEAK)	ジロドウ イ ザベル	PEAK 前期	火 4	515 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
■2015 年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 C 系列の科目として扱われます。							
講義題目 授業の目標概要	Science, Technology and Global Governance Science is becoming of increasing interest to policy makers as global challenges demand scientific knowledge and scientists themselves have been drawn into many multilateral negotiations. Drawing on science and technology studies (STS), international relations (IR), and earth system governance as complementary fields of inquiry, this course engages students with theoretical and practical aspects of the rapid development of science-policy interfaces. Three ranges of topics are explored from the critical perspective : science-policy interfaces and transnational governance (weeks 2 to 5) ; science diplomacy and environmental peace building (weeks 6 to 8) ; ‘boundary organizations’ and their contribution to earth system governance (weeks 9 to 12) ; the last session (week 13) is devoted to the simulation of a consultation process addressing some of the pressing challenges captured by the 2030 U.N. Development Agenda (SDGs). Through short interactive lectures and a number of case studies, students acquire a robust grasp of the multifaceted interplay existing between science, technology, global environmental governance and foreign policy.						
評価方法	Evaluation is based on active participation to classroom discussions and learning activities as described above (60%). In addition, students are asked to write two short essays (mid-term and final) on issues discussed in the classroom (40%).						
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30300	S	社会・制度Ⅲ(PEAK)	成田 大樹	PEAK 前期	火 1	154 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
■2015 年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 C 系列の科目として扱われます。							
講義題目 授業の目標概要	Introduction to Economic Policy This course is designed to supplement a standard introductory course of economics and will discuss some of the fundamental concepts of economics, with a focus on policy evaluation and analysis. Drawing on the basics of microeconomics with a reference to some more contemporary frameworks (asymmetric information, game theory, behavioral economics, etc.), the course will provide conceptual foundations for evaluating various types of economic policy, including trade policy, antitrust policy, policy of public good provision (environment, knowledge, etc.), and macroeconomic policies. While the knowledge of advanced mathematics is not required for course participation, the students should note that the lectures will include discussions of some mathematical economic models. Meanwhile, although the course mainly targets students who have already studied introductory economics, it sets no prerequisites for registration and is open to all students.						
評価方法	1. Assignments Assignments (homework of technical problems and a final essay) will be given. 2. Quizzes Quizzes will be given during the class.						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31136	S	心理(PEAK)	渡辺 安里依	PEAK 前期	金 2	149 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
■2015 年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 D 系列の科目として扱われます。							
講義題目 授業の目標概要	Introduction to Psychology This is an introductory course that will provide an overview of psychology. The course introduces basic concepts of psychology, including biological, developmental, and social explanations of human and animal behaviour, and how they apply to our everyday settings. Through discussions on various scientific approaches used in the field of psychology, the course provides opportunities for students to broaden their perspective, to pursue their interest, and to think critically.						
評価方法	class participation, quizzes, final exam						
教科書	その他。／Other						
ガイダンス	その他 No textbooks assigned (handouts for assigned readings will be given out during class) 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31784	S	スポーツ・身体運動実習 I (PEAK)	竹下 大介、 宮田 紘平	PEAK 前期	木 4	(実習)	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
■2015 年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 D 系列の科目として扱われます。							
講義題目 授業の目標概要	Recreational activities for the promotion of fitness and wellness Provide an understanding of the fitness components and the importance of good strength, flexibility and endurance in physical health and wellness. Expose students to variety of activities that can be incorporated into a daily lifestyle. Apply the training principles for the management of the fitness components.						
評価方法	Basically by attendance and reports.						
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook						
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2020 年 04 月 09 日 4 限／4th PeriodRoom 518 in building 5						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30260	S	身体運動科学(PEAK)	竹下 大介、 宮田 紘平、 結城 笙子	PEAK 前期	月 5	515 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
■2015 年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 D 系列の科目として扱われます。							
講義題目 授業の目標概要	Exercise and health science: Application of physiological concepts for the promotion of fitness and wellness The course is designed to provide a theoretical basis for understanding the physiological responses to exercise and the adaptations that occur during exercise. The lecture/discussion areas include the wellness concept, nutrition and support system of the body (cardiovascular, respiratory, metabolic, musculoskeletal and nervous) function. Upon successful completion of the course, students will understand the physiological adaptations that occur following exercise training, the benefits of exercise and the health risks associated with inactivity.						
評価方法	Basically by reports						
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook						
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31286	S	エネルギー工学の基礎 (PEAK)	岡田 至崇、 アーサン ナズムル	PEAK 前期	金 5	K401	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
■2015 年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 D 系列の科目として扱われます。							
講義題目 授業の目標概要	Basic Energy Engineering Today's energy industry is dominated by fossil fuels (coal, oil and natural gas) and some nuclear power generation. However, the need for sustainable energy sources and also to reduce greenhouse gas emission will necessitate a move to renewable technologies in the future. The objective of this course is to understand different energy generating technologies such as fossil and nuclear power plants and also the emerging renewable sources such as solar and wind energy. We will cover the fundamental thermodynamic foundations of energy conversion, the operation of solar cells and associated semiconductor physics, photosynthesis and biomass/biofuels as means of energy conversion, and finally, wind power generation. Some examples of current and future energy projects around the world will also be covered.						
評価方法	End of term exam (70% of total mark) Assignments (20%) Attendance (10%)						
教科書 ガイダンス	授業中に指示をする。／Will specify at class time 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30168	S	生態学の基礎 (PEAK)	リチャード シェファースン 吉村 仁	PEAK 前期	月 3	K402	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
■2015 年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 E 系列の科目として扱われます。							
講義題目 授業の目標概要	Fundamentals of Ecology (Basic Ecology) To provide students with a foundational understanding of ecology and evolution						
評価方法	Participation: 10%, Final exam: 90%						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31257	S	情報科学(PEAK)	Suppakitpaisarn Vorapong	PEAK 前期	金 4	E41 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
■2015 年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 F 系列の科目として扱われます。							
講義題目 授業の目標概要		In this course, students will learn how to efficiently process their information using a computer. Students may use an existing program to do that, but it sometimes more efficient to write a new program. We will teach how to do that using a programming language, called Ruby, at the first part of this course. Then, in the second part, we will discuss how to reduce the running time of your program. The program with small running time will have a big advantage when your information is large. To process some information, we may have to write a complicated program. We can avoid that by making our computer "learn" that complicated program by themselves. We will discuss the machine learning concepts at the third part of this course.					
評価方法 教科書 ガイダンス		10 in-class exercises, 2 projects, 1 workshop presentation, and a final examination 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30795	S	統計学(PEAK)	リチャード シ ェフアーソン	PEAK 前期	水 4	E42 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
■2015 年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 F 系列の科目として扱われます。							
講義題目 授業の目標概要		Fundamentals of Statistics To provide students with a basic knowledge of probability and statistics, and to introduce students to scientific programming using R, the statistical programming language.					
評価方法 教科書 ガイダンス		Class and Homework (20%), Practical exam (30%), Final exam (50%) 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30093	S	全学自由研究ゼミナール (PEAK)(化学基礎) (Introductory Chemistry)	ウッドワ ード・ジョナサ ン・ロジャー	PEAK 前期	月 2	120 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		An introduction to the key physical principles underpinning the whole of modern chemistry, focusing on key ideas from quantum mechanics, molecular statistics and thermodynamics.					
授業の目標概要		This course aims to provide a comprehensive introduction to the key ideas in Physical Chemistry with a focus on Quantum Mechanics and Thermodynamics. By the end of the course, students should be able to 1) Understand the failure of classical mechanics. 2) Explain the key principles of quantum mechanics. 3) Rationalize the structure of atoms based on quantum mechanics. 4) Explain why the periodic table has the form that it has. 5) Describe the models of chemical bonding and use these models to predict the shapes and stabilities of molecules. 6) Understand the structure of gases including the effects of intermolecular forces. 7) Make calculations based on the kinetic theory of gases 8) Understand the relationship between the properties of individual molecules and of bulk samples. 9) Appreciate the significance of the Boltzmann distribution 10) Understanding key ideas in thermodynamic including work, heat, enthalpy, entropy and Gibbs energy. 11) Applying the basic concepts of thermodynamics to chemical equilibria					
評価方法		The course will be evaluated based on in class participation and a final examination.					
教科書		授業中に指示をする。／Will specify at class time					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30980	S	全学自由研究ゼミナ ール(PEAK)(数学 I②) (MathematicsI②)	鮑 園園	PEAK 前期	木 3	517 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		Multivariable calculus					
授業の目標概要		This course covers the differentiation and integration of a function of several variables. It mainly consists of three parts: partial derivatives, multiple integrals and vector calculus. Improper integral for single variable function, implicit function theorem will also be taught. Some applications of these mathematical concepts will be introduced. This course is a continuation of the single-variable Calculus that I taught in Autumn of 2019.					
評価方法		Written examination at the end of the semester and homework.					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30761	S	全学自由研究ゼミナール (PEAK)(数学Ⅱ②) (MathematicsⅡ②)	松尾 厚	PEAK 前期	水 3	531 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		Introductory course in linear algebra (continued) Students will study the properties of vectors, matrices and determinants as well as the concepts of abstract vector spaces and linear maps on such spaces. Various applications of these concepts will also be presented. Written examination at the end of the semester and class participation. プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30018	S	全学自由研究ゼミナール(PEAK)(物理学基礎) (Introductory Physics)	甘蔗 寂樹	PEAK 前期	月 1	K501	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		Introduction to Classical Mechanics This calculus-based Classical Mechanics course provides the foundation for further study of physics and engineering. Written examination at the end of the semester 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31817	S	全学自由研究ゼミナール (PEAK)(Decision Analysis Practice)	前田 章	PEAK 前期	水 2	K214	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Decision Analysis practice This course serves as a practice session of the Decision Sciences course that has been offered in the autumn semester. It is designed to provide students who have taken that course with an opportunity to deepen their understanding of the theory and practice in Decision Analysis. Each student in this course will work on a group or individual project. The goal of the project is to identify, formulate, and solve a real world decision problem. First four weeks are review sessions. On the fifth week, students will start their project work, aiming at final presentations on the last two weeks.					
評価方法 教科書 ガイダンス		Grading (either “Pass” or “Fail”) is based on performance in the project work. No final exam. プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31818	S	全学自由研究ゼミナール(PEAK)(Methodologies in Youth Research)	ナオミ バ ーマン	PEAK 前期	金 4	K114	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Methodologies in Youth Research This course introduces the theory and practice of social research methodologies, with a particular focus on youth. It will provide students with the tools and techniques of social research in order to understand, describe and explain contemporary social issues affecting young people. Additionally, students will be encouraged to engage with key epistemological and ethical debates that surround social science research generally, and youth methodologies in particular. Students will have an opportunity to deepen their understanding of key approaches as well as experiencing ‘first hand’ the connection between research and the construction of knowledge, by applying these understandings to a group research project. In this task students will work together using one social research method to investigate a youth-related topic of their choice. This will involve all elements of the research process from design and sampling, data collection, analysis to writing up results, and will culminate in a short presentation.					
評価方法		Assessment will be comprised of: • Class participation and homework (20%) • Group Research Project and Presentation (40%) • Reflection Paper (40%).					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					